2022 年度
講義要綱･シラバス



日本保健医療大学

保健医療学部　　看護学科/理学療法学科

JAPAN　UNIVERSITY　OF　HEALTH　SCIENCES

I.　看護学科　１年次シラバス

II.　看護学科　２・３・４年次シラバス

III.　理学療法学科　１・２・３年次シラバス

IV.　理学療法学科　４年次シラバス

Ⅰ.

2022年度　看護学科　１年次生

講義要綱・シラバス



日本保健医療大学

保健医療学部 看護学科

JAPAN UNIVERSITY OF HEALTH SCIENCES

【1年生】2022年度　看護学科授業科目

No.	区分1	区分2	科目コード	科目名	学期	必修	単位数	時間数	授業形態	科目責任者	頁
1	基礎系科目	外 国 語	22-11101	英語Ⅰ(総合英語)	1前	必修	1	30	演習	稲田貴子	1-4
2	基礎系科目	外 国 語	22-11102	英語Ⅱ(医療英語Ⅰ)	1後	必修	1	30	演習	稲田貴子	5-8
3	基礎系科目	人間と文化	22-11105	朝鮮語	1後	選択	1	30	演習	溝口甲順	9
4	基礎系科目	人間と文化	22-11106	スタディ・スキル	1前	選択	1	15	講義	正田泰基	10
5	基礎系科目	人間と文化	22-11107	コモン・スキル	1前	選択	1	15	講義	小佐野美智子	11
6	基礎系科目	人間と文化	22-11108	人間論	1前	必修	1	15	講義	金海博之	12
7	基礎系科目	人間と文化	22-11109	心理学	1後	必修	2	30	講義	正田泰基	13
8	基礎系科目	人間と文化	22-11110	メンタルヘルス	1前	必修	1	15	講義	東中須恵子	14
9	基礎系科目	人間と文化	22-11111	コミュニケーション論	1前	必修	1	30	演習	東中須恵子	15
10	基礎系科目	人間と文化	22-11115	情報科学Ⅰ	1前	必修	1	30	演習	小野目如快	16-19
11	基礎系科目	人間と文化	22-11117	社会学	1後	選択	2	30	講義	村井洋	20
12	基礎系科目	人間と文化	22-11118	基礎ゼミ	1前	必修	1	30	演習	上本野唱子	21-32
13	基礎系科目	人間と文化	22-11119	囲碁の文化と思考力開発	1後	選択	1	30	演習	小松英子	33
14	基礎系科目	人間と文化	22-11120	生物	1前	必修	1	15	講義	今西健一	34
15	基礎系科目	人間と文化	22-11121	化学	1前	必修	1	15	講義	若月聡	35
16	基礎系科目	人間と文化	22-11122	ボディメカニクス	1前	必修	1	15	講義	正田泰基	36
17	基礎系科目	人間と文化	22-11123	生涯発達論	1後	必修	2	30	講義	上本野唱子	37
18	基礎系科目	人間と文化	22-11124	ボランティア論Ⅰ	1後	選択	1	15	講義	正田泰基	38
19	基礎系科目	人間と文化	22-11127	文化人類学	1後	選択	1	15	講義	東亜紀	39
20	専門基礎系科目	健康と社会	22-11201	人体の構造と機能学 (総論)	1前	必修	1	15	講義	松山永久	40
21	専門基礎系科目	健康と社会	22-11202	人体の構造と機能学Ⅰ (骨、神経、筋肉)	1前	必修	1	15	講義	松山永久	41
22	専門基礎系科目	健康と社会	22-11203	人体の構造と機能学Ⅱ (循環器、呼吸器系)	1前	必修	1	15	講義	松山永久	42
23	専門基礎系科目	健康と社会	22-11204	人体の構造と機能学Ⅲ (脳神経、消化器系)	1後	必修	1	15	講義	松山永久	43
24	専門基礎系科目	健康と社会	22-11205	人体の構造と機能学Ⅳ (腎、泌尿器、生殖器他)	1後	必修	1	15	講義	松山永久	44
25	専門基礎系科目	健康と社会	22-11207	生化学	1後	必修	1	15	講義	今西健一	45
26	専門基礎系科目	健康と社会	22-11208	微生物学	1後	必修	1	15	講義	今西健一	46
27	専門基礎系科目	健康と社会	22-11209	病理学	1後	必修	2	30	講義	松山永久	47-48
28	専門基礎系科目	健康と社会	22-11222	公衆衛生学	1後	必修	1	15	講義	須釜幸男	49
29	専門基礎系科目	健康と社会	22-11224	健康体育	1前	選択	1	30	演習	正田泰基	50-51
30	専門基礎系科目	健康と社会	22-11225	健康とスポーツ(医療と健康)	1前	選択	1	15	講義	熊坂隆行	52
31	看護学専門科目	看護学の基本	22-11301	看護学概論	1前	必修	2	30	講義	近藤誓子	53
32	看護学専門科目	看護学の基本	22-11302	看護過程展開方法論Ⅰ	1後	必修	2	30	講義	近藤誓子	54
33	看護学専門科目	看護学の基本	22-11304	看護技術方法論Ⅰ(共通基本技術)	1前	必修	1	15	講義	近藤誓子	55
34	看護学専門科目	看護学の基本	22-11305	看護技術方法論Ⅱ(ヘルスアセスメント)	1後	必修	1	30	演習	近藤誓子	56-57
35	看護学専門科目	看護学の基本	22-11306	看護技術方法論Ⅲ(日常生活の援助)	1後	必修	2	60	演習	近藤誓子	58-61
36	看護学専門科目	看護学方法論	22-11309	地域・在宅看護概論Ⅰ(地域における看護)	1後	必修	1	15	講義	増野章子	62-63
37	看護学専門科目	看護の実践	22-11339	基礎看護学実習Ⅰ (対象の理解と看護活動の場を知る)	1前	必修	1	45	実験・実習	近藤誓子	64
38	看護学専門科目	看護学の統合と実践	22-11362	看護統合実習Ⅰ (くらしの中の看護)	1後	必修	1	45	講義	近藤誓子 中島富志子	65

	【 科目コードの詳細】								
	1	2	1	0	1		学科コード			科目区分コード	
	学科		科目区分	番号			11	看護学科		1	基礎科目
							12	理学療法学科		2	専門基礎科目
										3	専門科目

科目コード	22-11101
授業科目名	英語Ⅰ(総合英語)A
配当年次	1学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	演習
担当教員	稲田 貴子
実務家教員	
授業科目の概要	今まで中学・高校で6年間英語を学んできたことを土台にして、さらなる英語の総合力(Listening/Speaking/Reading/Writing)の伸張を図ることを目的とする。つまり、基本的な単語や文法を学ぶ、分かりやすい内容のリスニングを理解できるようになる、比較的簡単な英語表現を使用して自分が言いたいことを表現できるようになる、短めの英文を読み必要な情報を正確に収集し速読できるようになる、英語と日本語の発想の違い、論理的な組み立て方の違いを理解しながら基本的な表現を身に付け、自分の考えを正確に表現できる力を養う等のスキルを磨くことを目指す。単語・文法・読解も学習しつつ、聞ける、話せる、書けるようになることは、現在のグローバル社会では必要なことである。また、グローバルな内容の比較的読みやすい英文を含む英語の総合学習を通して、今日の日本及び世界に対する理解を深めることも大切なことである。
授業の到達目標	1.中学・高校6年間の英語学習を通して学んだ英語のおさらいをする。 2.語彙力を養い、使える文法を身につけ、基礎学力を伸ばす。 3.英語の4技能(聴く、読む、書く、話す)を鍛える。 4.英文を聴いて必要な情報を収集する力と、英文を正確に読むことのできる力を身につける。 5.日常会話で使えるような比較的簡単な英語表現を用いて自分の考えを文法・語法的に正しく表現できるようにする。
特に関連する科目	英語Ⅱ(医療英語Ⅰ)　英語Ⅲ(医療英語Ⅱ)
授業の具体的な進め方	原則、対面授業。教科書を見ながら授業を聞き学習すること。短い英文を聴いて内容を理解する練習:学生生活での身近な話題を扱う会話の聴解を行う。また、練習問題を使い簡単な文法の復習を行う。これらの練習の過程で語彙力を養い、英語と日本語の論理的組み立て方の違い等を学び、また語法的に正しい英語で明確に書ける力を身につける。必要な単語を授業中に記入してもらうので、単語帳を用意すること。毎回次の授業で単語テストをする。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/11	月	2	稲田貴子	講義室4	オリエンテーション: シラバスの説明等
2	4/18	月	2	稲田貴子	講義室4	Unit 1: It's nice to meet you
3	4/25	月	2	稲田貴子	講義室4	Unit 2: Take a hike
4	5/9	月	2	稲田貴子	講義室4	Unit 3: Don't wear your high heels
5	5/16	月	2	稲田貴子	講義室4	Unit 4: There's nothing in my backpack
6	5/23	月	2	稲田貴子	中講義室2	Unit 5: What a small world!
7	5/30	月	2	稲田貴子	講義室4	Unit 6: Let's eat
8	6/6	月	2	稲田貴子	講義室4	Review等
9	6/13	月	2	稲田貴子	講義室4	Unit 7: It's a date
10	6/20	月	2	稲田貴子	中講義室2	Unit 8: I have to study
11	6/27	月	2	稲田貴子	中講義室2	Unit 9: What do you think of my sketch?
12	7/4,7/11	月	1	稲田貴子	中講義室2	Unit 10: Kanji is so difficult
13	7/4,7/11	月	2	稲田貴子	中講義室2	Unit 11: I'll make a birthday cake
14	7/18	月	2	稲田貴子	講義室4	Unit 12: Saturday or Sunday?
15	7/25	月	2	稲田貴子	中講義室2	Review等

成績評価方法・基準		原則、期末テスト100%で評価する。15回のうち6回欠席すると、テストを受ける資格を失うので気を付けること。60点以下は不合格。不合格者は、再試・最終試験で対処する。全部落ちたら、単位認定は不可。
授業外における学習(予習・復習)		【予習の仕方(約20分)】 教科書は各Unitとも同じ構成になっていますので、授業中に特別な指示がないかぎり、各Unitは同じ様な仕方で予習して下さい。 1) 各Unitの英文に分からない単語があれば、印をつけて辞書で調べる。 2) 'Grammar Point' の「まずはこれを覚えよう!」を覚える。その次に、文法の解説を読み問題 (grammar check A&B) をやってみる。 3) 'Express Yourself' のAをよく読み、Bをやってみる。 【授業中】 毎回授業に出席し積極的に参加して下さい。出席は毎回取ります。テキスト、ノート、筆記用具、辞書は毎回持参すること。ペア・グループワークも行います。質問がある時は手を上げて聞いて下さい。 【復習の仕方(約40分)】 1) 授業中に聴解練習で空欄を埋めた英文を、最低2回音読して内容を理解すること。 2) 練習問題は、予習で分からなかった部分に注意を払い、正解をよく理解する。特に、単語・語順・文法をよく勉強する。 3) 'Express Yourself' の英文は、全文を覚えながら手で書いてみる。教科書を用いて内容を確認し、分かりにくい個所をよく調べる。文法を理解し、語彙・口語表現を覚えるようにする。理解できなかったところを充分に復習して解決して下さい。それでも分からないところは、次回の授業で質問して下さい。
教科書・参考文献等	教科書	Robert Hickling / 臼倉美里 著『English First Starter』(金星堂、2020年) ISBN: 9784764739697
	参考書	英和・和英辞典;『トレーニングノートα 英文法』『ステップ英文法』(図書館で閲覧可)。便利なアプリ(Weblio英語辞書、ALC英辞郎、Google翻訳)
	その他	単語カードを購入し、活用して下さい。また、辞書でよく調べるようにして下さい。
連絡先・オフィスアワー		研究室17(2階)授業日のランチタイム、メールアドレス　t-inada@jhsu.ac.jp:相談のある時は事前にメールで予約して下さい。
その他		講義中はスマートフォンの電源を切ること。 7/4～7/15の間(12回と13回)は、基礎Ⅰ実習に行かない期間に受講する。

科目コード	22-11101
授業科目名	英語Ⅰ（総合英語）B
配当年次	1学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	演習
担当教員	稲田 貴子
実務家教員	
授業科目の概要	今まで中学・高校で6年間英語を学んできたことを土台にして、さらなる英語の総合力（Listening/Speaking/Reading/Writing）の伸張を図ることを目的とする。つまり、基本的な単語や文法を学ぶ、分かりやすい内容のリスニングを理解できるようになる、比較的簡単な英語表現を使用して自分が言いたいことを表現できるようになる、短めの英文を読み必要な情報を正確に収集し速読できるようになる、英語と日本語の発想の違い、論理的な組み立て方の違いを理解しながら基本的な表現を身に付け、自分の考えを正確に表現できる力を養う等のスキルを磨くことを目指す。単語・文法・読解も学習しつつ、聞ける、話せる、書けるようになることは、現在のグローバル社会では必要なことである。また、グローバルな内容の比較的読みやすい英文を含む英語の総合学習を通して、今日の日本及び世界に対する理解を深めることも大切なことである。
授業の到達目標	1.中学・高校6年間の英語学習を通して学んだ英語のおさらいをする。 2.語彙力を養い、使える文法を身につけ、基礎学力を伸ばす。 3.英語の4技能（聴く、読む、書く、話す）を鍛える。 4.英文を聴いて必要な情報を収集する力と、英文を正確に読むことのできる力を身につける。 5.日常会話で使えるような比較的簡単な英語表現を用いて自分の考えを文法・語法的に正しく表現できるようにする。
特に関連する科目	英語Ⅱ　英語Ⅲ
授業の具体的な進め方	原則、対面授業。教科書を見ながら授業を聞き学習すること。短い英文を聴いて内容を理解する練習：学生生活での身近な話題を扱う会話の聴解を行う。また、練習問題を使い簡単な文法の復習を行う。これらの練習の過程で語彙力を養い、英語と日本語の論理的組み立て方の違い等を学び、また語法的に正しい英語で明確に書ける力を身につける。必要な単語を授業中に記入してもらうので、単語帳を用意すること。毎回次の授業で単語テストをする。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/11	月	1	稲田貴子	講義室4	オリエンテーション：シラバスの説明等
2	4/18	月	1	稲田貴子	講義室4	Unit 1: It's nice to meet you
3	4/25	月	1	稲田貴子	講義室4	Unit 2: Take a hike
4	5/9	月	1	稲田貴子	講義室4	Unit 3: Don't wear your high heels
5	5/30	月	1	稲田貴子	講義室4	Unit 4: There's nothing in my backpack
6	5/23	月	1	稲田貴子	中講義室2	Unit 5: What a small world!
7	5/30	月	1	稲田貴子	講義室4	Unit 6: Let's eat
8	6/6	月	1	稲田貴子	講義室4	リスニング演習
9	6/13	月	1	稲田貴子	講義室4	Unit 7: It's a date
10	6/20	月	1	稲田貴子	中講義室2	Unit 8: I have to study
11	6/27	月	1	稲田貴子	中講義室2	Unit 9: What do you think of my sketch?
12	7/4,7/11	月	1	稲田貴子	中講義室2	Unit 10: Kanji is so difficult
13	7/4,7/11	月	2	稲田貴子	中講義室2	Unit 11: I'll make a birthday cake
14	7/18	月	1	稲田貴子	講義室4	Unit 12: Saturday or Sunday?
15	7/25	月	1	稲田貴子	中講義室2	リスニング演習

成績評価方法・基準		原則、期末テスト100%で評価する。15回のうち6回欠席すると、テストを受ける資格を失うので気を付けること。60点以下は不合格。不合格者は、再試で対処する。再試が落ちたら、単位認定は不可。
授業外における学習（予習・復習）		【予習の仕方（約20分）】 教科書は各Unitとも同じ構成になっていますので、授業中に特別な指示がないかぎり、各Unitは同じ様な仕方で予習して下さい。 1）各Unitの英文に分からない単語があれば、印をつけて辞書で調べる。 2）'Grammar Point' の「まずはこれを覚えよう!」を覚える。その次に、文法の解説を読み問題（grammar check A&B）をやってみる。 3）'Express Yourself' のAをよく読み、Bをやってみる。 【授業中】 毎回授業に出席し積極的に参加して下さい。出席は毎回取ります。テキスト、ノート、筆記用具、辞書は毎回持参すること。グループワークも行います。質問がある時は手を上げて聞いて下さい。 【復習の仕方（約40分）】 1）授業中に聴解練習で空欄を埋めた英文を、最低2回音読して内容を理解すること。 2）練習問題は、予習で分からなかった部分に注意を払い、正解をよく理解する。特に、単語・語順・文法をよく勉強する。 3）'Express Yourself' の英文は、全文を覚えながら手で書いてみる。教科書を用いて内容を確認し、分かりにくい個所をよく調べる。文法を理解し、語彙・口語表現を覚えるようにする。理解できなかったところを充分に復習して解決して下さい。それでも分からないところは、次回の授業で質問して下さい。
教科書・参考文献等	教科書	Robert Hickling / 臼倉美里 著『English First Starter』（金星堂、2014） ISBN: 9784764739697
	参考書	英和・和英辞典;『トレーニングノートα 英文法』（『ステップ英文法』図書館で閲覧可）。便利なアプリ(Weblio英語辞書、ALC英辞郎、Google翻訳)
	その他	単語カードを購入し、活用して下さい。また、辞書でよく調べるようにして下さい。
連絡先・オフィスアワー		研究室17（2階）授業日のランチタイム、メールアドレス　t-inada@jhsu.ac.jp：相談のある時は事前にメールで予約して下さい。
その他		講義中はスマートフォンの電源を切ること。 7/4～7/15の間（12回と13回）は、基礎Ⅰ実習に行かない期間に受講する。

科目コード	22-11101
授業科目名	英語Ⅰ(総合英語)C
配当年次	1学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	演習
担当教員	稲田 貴子
実務家教員	
授業科目の概要	今まで中学・高校で6年間英語を学んできたことを土台にして、さらなる英語の総合力(Listening/Speaking/Reading/Writing)の伸張を図ることを目的とする。つまり、基本的な単語や文法を学ぶ、分かりやすい内容のリスニングを理解できるようになる、比較的簡単な英語表現を使用して自分が言いたいことを表現できるようになる、短めの英文を読み必要な情報を正確に収集し速読できるようになる、英語と日本語の発想の違い、論理的な組み立て方の違いを理解しながら基本的な表現を身に付け、自分の考えを正確に表現できる力を養う等のスキルを磨くことを目指す。単語・文法・読解も学習しつつ、聞ける、話せる、書けるようになることは、現在のグローバル社会では必要なことである。また、グローバルな内容の比較的読みやすい英文を含む英語の総合学習を通して、今日の日本及び世界に対する理解を深めることも大切なことである。
授業の到達目標	1.中学・高校6年間の英語学習を通して学んだ英語のおさらいをする。 2.語彙力を養い、使える文法を身につけ、基礎学力を伸ばす。 3.英語の4技能(聴く、読む、書く、話す)を鍛える。 4.英文を聴いて必要な情報を収集する力と、英文を正確に読むことのできる力を身につける。 5.日常会話で使えるような比較的簡単な英語表現を用いて自分の考えを文法・語法的に正しく表現できるようにする。
特に関連する科目	英語Ⅱ　英語Ⅲ
授業の具体的な進め方	原則、対面授業。教科書を見ながら授業を聞き学習すること。短い英文を聴いて内容を理解する練習;学生生活での身近な話題を扱う会話の聴解を行う。また、練習問題を使い簡単な文法の復習を行う。これらの練習の過程で語彙力を養い、英語と日本語の論理的組み立て方の違い等を学び、また語法的に正しい英語で明確に書ける力を身につける。必要な単語を授業中に記入してもらうので、単語帳を用意すること。毎回次の授業で単語テストをする。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/11	月	4	稲田貴子	講義室4	オリエンテーション: シラバスの説明等
2	4/18	月	4	稲田貴子	講義室4	Unit 1: It's nice to meet you
3	4/25	月	4	稲田貴子	講義室4	Unit 2: Take a hike
4	5/9	月	4	稲田貴子	講義室4	Unit 3: Don't wear your high heels
5	5/16	月	4	稲田貴子	講義室4	Unit 4: There's nothing in my backpack
6	5/23	月	4	稲田貴子	中講義室2	Unit 5: What a small world!
7	5/30	月	4	稲田貴子	講義室4	Unit 6: Let's eat
8	6/6	月	4	稲田貴子	講義室4	リスニング演習
9	6/13	月	4	稲田貴子	講義室4	Unit 7: It's a date
10	6/20	月	4	稲田貴子	中講義室2	Unit 8: I have to study
11	6/27	月	4	稲田貴子	中講義室2	Unit 9: What do you think of my sketch?
12	7/4,7/11	月	3	稲田貴子	中講義室2	Unit 10: Kanji is so difficult
13	7/4,7/11	月	4	稲田貴子	中講義室2	Unit 11: I'll make a birthday cake
14	7/18	月	4	稲田貴子	講義室4	Unit 12: Saturday or Sunday?
15	7/25	月	4	稲田貴子	中講義室2	リスニング演習

成績評価方法・基準		原則、期末テスト100%で評価する。15回のうち6回欠席すると、テストを受ける資格を失うので気を付けること。60点以下は不合格。不合格者は、再試で対処する。再試が落ちたら、単位認定は不可。
授業外における学習(予習・復習)		【予習の仕方(約20分)】 教科書は各Unitとも同じ構成になっていますので、授業中に特別な指示がないかぎり、各Unitは同じ様な仕方で予習して下さい。 1) 各Unitの英文に分からない単語があれば、印をつけて辞書で調べる。 2) 'Grammar Point' の「まずはこれを覚えよう!」を覚える。その次に、文法の解説を読み問題 (grammar check A&B) をやってみる。 3) 'Express Yourself' のAをよく読み、Bをやってみる。 【授業中】 毎回授業に出席し積極的に参加して下さい。出席は毎回取ります。テキスト、ノート、筆記用具、辞書は毎回持参すること。グループワークも行います。質問がある時は手を上げて聞いて下さい。 【復習の仕方(約40分)】 1) 授業中に聴解練習で空欄を埋めた英文を、最低2回音読して内容を理解すること。 2) 練習問題は、予習で分からなかった部分に注意を払い、正解をよく理解する。特に、単語・語順・文法をよく勉強する。 3) 'Express Yourself' の英文は、全文を覚えながら手で書いてみる。教科書を用いて内容を確認し、分かりにくい個所をよく調べる。文法を理解し、語彙・口語表現を覚えるようにする。理解できなかったところを充分に復習して解決して下さい。それでも分からないところは、次回の授業で質問して下さい。
教科書・参考文献等	教科書	Robert Hickling / 臼倉美里 著『English First Starter』(金星堂、2014) ISBN: 9784764739697
	参考書	英和・和英辞典;『トレーニングノートα 英文法』(『ステップ英文法』図書館で閲覧可)。便利なアプリ(Weblio英語辞書、ALC英辞郎、Google翻訳)
	その他	単語カードを購入し、活用して下さい。また、辞書でよく調べるようにして下さい。
連絡先・オフィスアワー		研究室17(2階)授業日のランチタイム、メールアドレス　t-inada@jhsu.ac.jp:相談のある時は事前にメールで予約して下さい。
その他		講義中はスマートフォンの電源を切ること。 7/4～7/15の間(12回と13回)は、基礎Ⅰ実習に行かない期間に受講する。

科目コード	22-11101
授業科目名	英語Ⅰ(総合英語)D
配当年次	1学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	演習
担当教員	稲田 貴子
実務家教員	
授業科目の概要	今まで中学・高校で6年間英語を学んできたことを土台にして、さらなる英語の総合力(Listening/Speaking/Reading/Writing)の伸張を図ることを目的とする。つまり、基本的な単語や文法を学ぶ、分かりやすい内容のリスニングを理解できるようになる、比較的簡単な英語表現を使用して自分が言いたいことを表現できるようになる、短めの英文を読み必要な情報を正確に収集し速読できるようになる、英語と日本語の発想の違い、論理的な組み立て方の違いを理解しながら基本的な表現を身に付け、自分の考えを正確に表現できる力を養う等のスキルを磨くことを目指す。単語・文法・読解も学習しつつ、聞ける、話せる、書けるようになることは、現在のグローバル社会では必要なことである。また、グローバルな内容の比較的読みやすい英文を含む英語の総合学習を通して、今日の日本及び世界に対する理解を深めることも大切なことである。
授業の到達目標	1.中学・高校6年間の英語学習を通して学んだ英語のおさらいをする。 2.語彙力を養い、使える文法を身につけ、基礎学力を伸ばす。 3.英語の4技能(聴く、読む、書く、話す)を鍛える。 4.英文を聴いて必要な情報を収集する力と、英文を正確に読むことのできる力を身につける。 5.日常会話で使えるような比較的簡単な英語表現を用いて自分の考えを文法・語法的に正しく表現できるようにする。
特に関連する科目	英語Ⅱ　英語Ⅲ
授業の具体的な進め方	原則、対面授業。教科書を見ながら授業を聞き学習すること。短い英文を聴いて内容を理解する練習:学生生活での身近な話題を扱う会話の聴解を行う。また、練習問題を使い簡単な文法の復習を行う。これらの練習の過程で語彙力を養い、英語と日本語の論理的組み立て方の違い等を学び、また語法的に正しい英語で明確に書ける力を身につける。必要な単語を授業中に記入してもらうので、単語帳を用意すること。毎回次の授業で単語テストをする。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/11	月	3	稲田貴子	講義室4	オリエンテーション: シラバスの説明等
2	4/18	月	3	稲田貴子	講義室4	Unit 1: It's nice to meet you
3	4/25	月	3	稲田貴子	講義室4	Unit 2: Take a hike
4	5/9	月	3	稲田貴子	講義室4	Unit 3: Don't wear your high heels
5	5/16	月	3	稲田貴子	講義室4	Unit 4: There's nothing in my backpack
6	5/23	月	3	稲田貴子	中講義室2	Unit 5: What a small world!
7	5/30	月	3	稲田貴子	講義室4	Unit 6: Let's eat
8	6/6	月	3	稲田貴子	講義室4	リスニング演習
9	6/13	月	3	稲田貴子	講義室4	Unit 7: It's a date
10	6/20	月	3	稲田貴子	中講義室2	Unit 8: I have to study
11	6/27	月	3	稲田貴子	中講義室2	Unit 9: What do you think of my sketch?
12	7/4,7/11	月	3	稲田貴子	中講義室2	Unit 10: Kanji is so difficult
13	7/4,7/11	月	4	稲田貴子	中講義室2	Unit 11: I'll make a birthday cake
14	7/18	月	3	稲田貴子	講義室4	Unit 12: Saturday or Sunday?
15	7/25	月	3	稲田貴子	中講義室2	リスニング演習

成績評価方法・基準		原則、期末テスト100%で評価する。15回のうち6回欠席すると、テストを受ける資格を失うので気を付けること。60点以下は不合格。不合格者は、再試で対処する。再試が落ちたら、単位認定は不可。
授業外における学習(予習・復習)		【予習の仕方(約20分)】 教科書は各Unitとも同じ構成になっていますので、授業中に特別な指示がないかぎり、各Unitは同じ様な仕方で予習して下さい。 1) 各Unitの英文に分からない単語があれば、印をつけて辞書で調べる。 2) 'Grammar Point' の「まずはこれを覚えよう!」を覚える。その次に、文法の解説を読み問題 (grammar check A&B) をやってみる。 3) 'Express Yourself' のAをよく読み、Bをやってみる。 【授業中】 毎回授業に出席し積極的に参加して下さい。出席は毎回取ります。テキスト、ノート、筆記用具、辞書は毎回持参すること。グループワークも行います。質問がある時は手を上げて聞いて下さい。 【復習の仕方(約40分)】 1) 授業中に聴解練習で空欄を埋めた英文を、最低2回音読して内容を理解すること。 2) 練習問題は、予習で分からなかった部分に注意を払い、正解をよく理解する。特に、単語・語順・文法をよく勉強する。 3) 'Express Yourself' の英文は、全文を覚えながら手で書いてみる。教科書を用いて内容を確認し、分かりにくい個所をよく調べる。文法を理解し、語彙・口語表現を覚えるようにする。理解できなかったところを充分に復習して解決して下さい。それでも分からないところは、次回の授業で質問して下さい。
教科書・参考文献等	教科書	Robert Hickling / 臼倉美里 著『English First Starter』(金星堂、2014) ISBN: 9784764739697
	参考書	英和・和英辞典;『トレーニングノートα 英文法』(『ステップ英文法』図書館で閲覧可)。便利なアプリ(Weblio英語辞書、ALC英辞郎、Google翻訳)
	その他	単語カードを購入し、活用して下さい。また、辞書でよく調べるようにして下さい。
連絡先・オフィスアワー		研究室17(2階)授業日のランチタイム、メールアドレス t-inada@jhsu.ac.jp:相談のある時は事前にメールで予約して下さい。
その他		講義中はスマートフォンの電源を切ること。 7/4～7/15の間(12回と13回)は、基礎Ⅰ実習に行かない期間に受講する。

科目コード	22-11102
授業科目名	英語Ⅱ(医療英語Ⅰ)A
配当年次	1学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	演習
担当教員	稲田 貴子
実務家教員	
授業科目の概要	英語Ⅰの基礎の上に、看護の場面において汎用性の高い口語表現を学習し、会話能力、表現能力の充実を目的とする。国際社会にあって広く利用されている英語は、グローバルに活躍する人間として必要である。看護においても、英語によるコミュニケーションは近年重要性を増している。ここでは、英語Ⅰにより身に付けた英語表現能力を基に、保健・医療・福祉の場において英語によるコミュニケーションを可能にすることを目標として、教科書に沿って様々な医療英単語や会話表現を習得する。
授業の到達目標	1.看護の現場に即して、汎用性の高い英単語や英語の口語表現を身に付け、英会話・表現能力を伸ばすことができる。 2.将来病院での勤務中に、外国人の患者さんに対応できるような英語によるコミュニケーション力を養うことができる。
特に関連する科目	英語Ⅰ　英語Ⅲ
授業の具体的な進め方	教科書を見ながら、授業を聞いて下さい。ダイアローグを基に、会話の練習をします。オリエンテーション時にやり方を伝授しますので、正しいやり方を守ってペア・グループワークをして下さい。正しく行わなくては、効果が半減しますので、気を付けて下さい。また、覚えなくてはいけない医療英単語が出てきますので、単語帳を用意して下さい。必要な単語を記入してもらいます。そして、毎回次の授業で単語テストをします。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	9/26	月	2	稲田貴子	講義室4	オリエンテーション: シラバスの説明等
2	9/28	水	1	稲田貴子	講義室4	Unit 1 自己紹介から始めましょう
3	10/3	月	2	稲田貴子	講義室4	Unit 2 患者さんに質問しましょう
4	10/17	月	2	稲田貴子	講義室4	Unit 3 場所や方向は正しく教えましょう
5	10/24	月	2	稲田貴子	講義室4	Unit 4 患者さんの具合を聞きましょう
6	10/31	月	2	稲田貴子	講義室4	Unit 5 診察時に必要な言い方を覚えましょう
7	11/7	月	2	稲田貴子	講義室4	Unit 6 相手によく確認しましょう
8	11/14	月	2	稲田貴子	講義室4	Review等
9	11/21	月	2	稲田貴子	講義室4	Unit 7 行為を促す言葉をかけましょう
10	11/28	月	2	稲田貴子	講義室4	Unit 8 的確な指示や依頼をしましょう
11	12/5	月	2	稲田貴子	講義室4	Unit 9 食べ物に関する言い方を覚えましょう
12	12/12	月	2	稲田貴子	講義室4	Unit 10 薬に関する言い方を覚えましょう
13	12/19	月	2	稲田貴子	講義室4	Unit 11 患者さんの要望に応えましょう
14	1/16	月	2	稲田貴子	講義室4	Unit 12 治療方針について説明しましょう
15	1/23	月	2	稲田貴子	講義室4	Review等

成績評価方法・基準		原則、期末テスト100%で評価する。15回のうち6回欠席すると、テストを受ける資格を失うので気を付けること。60点以下は不合格。不合格者は、再試・最終試験で対処する。全部落ちたら、単位認定は不可。
授業外における学習(予習・復習)		【予習の仕方(約20分)】 教科書は各Unitとも同じ構成になっていますので、授業中に特別な指示がないかぎり、各Unitは同様な仕方で予習して下さい。 例えば、1) 各Unitの英文に分からない単語があれば、印をつけて辞書で調べる。 2) DとEはやってみる。 3) 'Useful Expressions/Useful words' や 'キュア＆ホスピタリティ' は読んでおく。 【授業中】 毎回授業に出席し積極的に参加して下さい。出席は毎回取ります。テキスト、ノート、筆記用具、辞書は毎回持参すること。 ペアワークを行います。質問がある時は手を上げて聞いて下さい。 【復習の仕方(約40分)】 1) 授業中に聴解練習で空欄を埋めた英文を、最低2回音読して内容を理解すること。特に、役に立つフレーズや表現は覚えること。 2) 練習問題は、予習で分からなかった部分に注意を払い、正解をよく理解する。特に、単語をよく勉強すること。 3) 教科書で習った内容を見返し、分かりにくい個所をよく復習する。文法を理解し、語彙・口語表現を覚えるようにする。
教科書・参考文献等	教科書	古関博美, 野口陽子 著 『English for Cure and Hospitality Ⅰ』 (鷹書房弓プレス、2018年) ISBN 9784803412543
	参考書	英和・和英辞典: 『トレーニングノートα 英文法』『ステップ英文法』(図書館で閲覧可)、便利なアプリ(Weblio英語辞書、ALC英辞郎、Google翻訳)
	その他	単語カードを購入し、活用して下さい。また、辞書でよく調べるようにして下さい。
連絡先・オフィスアワー		連絡先:研究室17(2階) メールアドレス:t-inada@jhsu.ac.jp オフィスアワー:授業の前後、又は授業日のランチタイム 相談のある時は事前にメールで予約して下さい。
その他		講義中はスマートフォンの電源を切ること。

科目コード	22-11102
授業科目名	英語Ⅱ(医療英語I)B
配当年次	1学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	演習
担当教員	川鍋 好正
実務家教員	
授業科目の概要	英語Ⅰの基礎の上に、看護の場面において汎用性の高い口語表現を学習し、会話能力、表現能力の充実を目的とする。国際社会にあって広く利用されている英語は、グローバルに活躍する人間として必要である。看護においても、英語によるコミュニケーションは近年重要性を増している。ここでは、英語Ⅰにより身に付けた英語表現能力を基に、保健・医療・福祉の場において英語によるコミュニケーションを可能にすることを目標として、教科書に沿って様々な医療英単語や会話表現を習得する。
授業の到達目標	1.看護の現場に即して、汎用性の高い英単語や英語の口語表現を身に付け、英会話・表現能力を伸ばすことができる。 2.将来病院での勤務中に、外国人の患者さんに対応できるような英語によるコミュニケーション力を養うことができる。
特に関連する科目	英語Ⅰ　英語Ⅲ
授業の具体的な進め方	教科書を見ながら、授業を聞いて下さい。ダイアローグを基に、会話の練習をします。オリエンテーション時にやり方を伝授しますので、正しいやり方を守ってペアワークをして下さい。正しく行わなくては、効果が半減しますので、気を付けて下さい。また、覚えなくてはいけない医療英単語が出てきますので、単語帳を用意して下さい。必要な単語を記入してもらいます。そして、毎回次の授業で単語テストをします。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	9/27	火	3	川鍋 好正	講義室4	オリエンテーション：シラバスの説明等
2	10/4	火	3	川鍋 好正	講義室4	Unit 1 自己紹介から始めましょう
3	10/11	火	3	川鍋 好正	講義室4	Unit 2 患者さんに質問しましょう
4	10/18	火	3	川鍋 好正	講義室4	Unit 3 場所や方向は正しく教えましょう
5	10/25	火	3	川鍋 好正	講義室4	Unit 4 患者さんの具合を聞きましょう
6	11/1	火	3	川鍋 好正	講義室4	Unit 5 診察時に必要な言い方を覚えましょう
7	11/8	火	3	川鍋 好正	講義室4	Unit 6 相手によく確認しましょう
8	11/15	火	3	川鍋 好正	講義室4	リスニング演習
9	11/22	火	3	川鍋 好正	講義室4	Unit 7 行為を促す言葉をかけましょう
10	11/29	火	3	川鍋 好正	講義室4	Unit 8 的確な指示や依頼をしましょう
11	12/6	火	3	川鍋 好正	講義室4	Unit 9 食べ物に関する言い方を覚えましょう
12	12/13	火	3	川鍋 好正	講義室4	Unit 10 薬に関する言い方を覚えましょう
13	12/20	火	3	川鍋 好正	講義室4	Unit 11 患者さんの要望に応えましょう
14	1/10	火	3	川鍋 好正	講義室4	Unit 12 治療方針について説明しましょう
15	1/17	火	3	川鍋 好正	講義室4	リスニング演習

成績評価方法・基準		原則、期末テスト100%で評価する。
授業外における学習(予習・復習)		【予習の仕方(約20分)】 教科書は各Unitとも同じ構成になっていますので、授業中に特別な指示がないかぎり、各Unitは同様な仕方で予習して下さい。 例えば、1) 各Unitの英文に分からない単語があれば、印をつけて辞書で調べる。 2) DとEはやってみる。 3) 'Useful Expressions/Useful words' や 'キュア＆ホスピタリティ' は読んでおく。 【授業中】 毎回授業に出席し積極的に参加して下さい。出席は毎回取ります。テキスト、ノート、筆記用具、辞書は毎回持参すること。ペアワークを行います。質問がある時は手を上げて聞いて下さい。 【復習の仕方(約40分)】 1) 授業中に聴解練習で空欄を埋めた英文を、最低2回音読して内容を理解すること。特に、役に立つフレーズや表現は覚えること。 2) 練習問題は、予習で分からなかった部分に注意を払い、正解をよく理解する。特に、単語をよく勉強すること。 3) 教科書で習った内容を見返し、分かりにくい個所をよく復習する。文法を理解し、語彙・口語表現を覚えるようにする。
教科書・参考文献等	教科書	古関博美, 野口陽子 著 『English for Cure and Hospitality Ⅰ』 (鷹書房弓プレス) ISBN 9784803412543
	参考書	英和・和英辞典; 『トレーニングノートα 英文法』(『ステップ英文法』図書館で閲覧可)。便利なアプリ(Weblio英語辞書、ALC英辞郎、Google翻訳)
	その他	単語カードを購入し、活用して下さい。また、辞書でよく調べるようにして下さい。
連絡先・オフィスアワー		研究室17(2階)授業日のランチタイム、メールアドレス t-inada@jhsu.ac.jp:相談のある時は事前にメールで予約して下さい。
その他		講義中はスマートフォンの電源を切ること。

科目コード	22-11102
授業科目名	英語Ⅱ(医療英語I)C
配当年次	1学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	演習
担当教員	川鍋 好正
実務家教員	
授業科目の概要	英語Ⅰの基礎の上に、看護の場面において汎用性の高い口語表現を学習し、会話能力、表現能力の充実を目的とする。国際社会にあって広く利用されている英語は、グローバルに活躍する人間として必要である。看護においても、英語によるコミュニケーションは近年重要性を増している。ここでは、英語Ⅰにより身に付けた英語表現能力を基に、保健・医療・福祉の場において英語によるコミュニケーションを可能にすることを目標として、教科書に沿って様々な医療英単語や会話表現を習得する。
授業の到達目標	1.看護の現場に即して、汎用性の高い英単語や英語の口語表現を身に付け、英会話・表現能力を伸ばすことができる。 2.将来病院での勤務中に、外国人の患者さんに対応できるような英語によるコミュニケーション力を養うことができる。
特に関連する科目	英語Ⅰ　英語Ⅲ
授業の具体的な進め方	教科書を見ながら、授業を聞いて下さい。ダイアローグを基に、会話の練習をします。オリエンテーション時にやり方を伝授しますので、正しいやり方を守ってペアワークをして下さい。正しく行わなくては、効果が半減しますので、気を付けて下さい。また、覚えなくてはいけない医療英単語が出てきますので、単語帳を用意して下さい。必要な単語を記入してもらいます。そして、毎回次の授業で単語テストをします。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	9/27	火	2	川鍋 好正	講義室4	オリエンテーション：シラバスの説明等
2	10/4	火	2	川鍋 好正	講義室4	Unit 1 自己紹介から始めましょう
3	10/11	火	2	川鍋 好正	講義室4	Unit 2 患者さんに質問しましょう
4	10/18	火	2	川鍋 好正	講義室4	Unit 3 場所や方向は正しく教えましょう
5	10/25	火	2	川鍋 好正	講義室4	Unit 4 患者さんの具合を聞きましょう
6	11/1	火	2	川鍋 好正	講義室4	Unit 5 診察時に必要な言い方を覚えましょう
7	11/8	火	2	川鍋 好正	講義室4	Unit 6 相手によく確認しましょう
8	11/15	火	2	川鍋 好正	講義室4	リスニング演習
9	11/22	火	2	川鍋 好正	講義室4	Unit 7 行為を促す言葉をかけましょう
10	11/29	火	2	川鍋 好正	講義室4	Unit 8 的確な指示や依頼をしましょう
11	12/6	火	2	川鍋 好正	講義室4	Unit 9 食べ物に関する言い方を覚えましょう
12	12/13	火	2	川鍋 好正	講義室4	Unit 10 薬に関する言い方を覚えましょう
13	12/20	火	2	川鍋 好正	講義室4	Unit 11 患者さんの要望に応えましょう
14	1/10	火	2	川鍋 好正	講義室4	Unit 12 治療方針について説明しましょう
15	1/17	火	2	川鍋 好正	講義室4	リスニング演習

成績評価方法・基準		原則、期末テスト100%で評価する。
授業外における学習(予習・復習)		【予習の仕方(約20分)】 教科書は各Unitとも同じ構成になっていますので、授業中に特別な指示がないかぎり、各Unitは同様な仕方で予習して下さい。 例えば、1) 各Unitの英文に分からない単語があれば、印をつけて辞書で調べる。 2) DとEはやってみる。 3) 'Useful Expressions/Useful words' や 'キュア＆ホスピタリティ' は読んでおく。 【授業中】 毎回授業に出席し積極的に参加して下さい。出席は毎回取ります。テキスト、ノート、筆記用具、辞書は毎回持参すること。ペアワークを行います。質問がある時は手を上げて聞いて下さい。 【復習の仕方(約40分)】 1) 授業中に聴解練習で空欄を埋めた英文を、最低2回音読して内容を理解すること。特に、役に立つフレーズや表現は覚えること。 2) 練習問題は、予習で分からなかった部分に注意を払い、正解をよく理解する。特に、単語をよく勉強すること。 3) 教科書で習った内容を見返し、分かりにくい個所をよく復習する。文法を理解し、語彙・口語表現を覚えるようにする。
教科書・参考文献等	教科書	古閑博美, 野口陽子 著 『English for Cure and Hospitality Ⅰ』 (鷹書房弓プレス) ISBN 978480341254-3
	参考書	英和・和英辞典; 『トレーニングノートα 英文法』(『ステップ英文法』図書館で閲覧可)。便利なアプリ(Weblio英語辞書、ALC英辞郎、Google翻訳)
	その他	単語カードを購入し、活用して下さい。また、辞書でよく調べるようにして下さい。
連絡先・オフィスアワー		研究室17(2階)授業日のランチタイム、メールアドレス t-inada@jhsu.ac.jp:相談のある時は事前にメールで予約して下さい。
その他		講義中はスマートフォンの電源を切ること。

科目コード	22-11102
授業科目名	英語Ⅱ(医療英語I)D
配当年次	1学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	演習
担当教員	稲田 貴子
実務家教員	
授業科目の概要	英語Ⅰの基礎の上に、看護の場面において汎用性の高い口語表現を学習し、会話能力、表現能力の充実を目的とする。国際社会にあって広く利用されている英語は、グローバルに活躍する人間として必要である。看護においても、英語によるコミュニケーションは近年重要性を増している。ここでは、英語Ⅰにより身に付けた英語表現能力を基に、保健・医療・福祉の場において英語によるコミュニケーションを可能にすることを目標として、教科書に沿って様々な医療英単語や会話表現を習得する。
授業の到達目標	1.看護の現場に即して、汎用性の高い英単語や英語の口語表現を身に付け、英会話・表現能力を伸ばすことができる。 2.将来病院での勤務中に、外国人の患者さんに対応できるような英語によるコミュニケーション力を養うことができる。
特に関連する科目	英語Ⅰ　英語Ⅲ
授業の具体的な進め方	教科書を見ながら、授業を聞いて下さい。ダイアローグを基に、会話の練習をします。オリエンテーション時にやり方を伝授しますので、正しいやり方を守ってペアワークをして下さい。正しく行わなくては、効果が半減しますので、気を付けて下さい。また、覚えなくてはいけない医療英単語が出てきますので、単語帳を用意して下さい。必要な単語を記入してもらいます。そして、毎回次の授業で単語テストをします。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	9/21	水	1	稲田貴子	講義室4	オリエンテーション：シラバスの説明等
2	9/26	月	1	稲田貴子	講義室4	Unit 1 自己紹介から始めましょう
3	10/3	月	1	稲田貴子	講義室4	Unit 2 患者さんに質問しましょう
4	10/17	月	1	稲田貴子	講義室4	Unit 3 場所や方向は正しく教えましょう
5	10/24	月	1	稲田貴子	講義室4	Unit 4 患者さんの具合を聞きましょう
6	10/31	月	1	稲田貴子	講義室4	Unit 5 診察時に必要な言い方を覚えましょう
7	11/7	月	1	稲田貴子	講義室4	Unit 6 相手によく確認しましょう
8	11/14	月	1	稲田貴子	講義室4	リスニング演習
9	11/21	月	1	稲田貴子	講義室4	Unit 7 行為を促す言葉をかけましょう
10	11/28	月	1	稲田貴子	講義室4	Unit 8 的確な指示や依頼をしましょう
11	12/5	月	1	稲田貴子	講義室4	Unit 9 食べ物に関する言い方を覚えましょう
12	12/12	月	1	稲田貴子	講義室4	Unit 10 薬に関する言い方を覚えましょう
13	12/19	月	1	稲田貴子	講義室4	Unit 11 患者さんの要望に応えましょう
14	1/16	月	1	稲田貴子	講義室4	Unit 12 治療方針について説明しましょう
15	1/23	月	1	稲田貴子	講義室4	リスニング演習

成績評価方法・基準		原則、期末テスト100%で評価する。
授業外における学習(予習・復習)		【予習の仕方(約20分)】 教科書は各Unitとも同じ構成になっていますので、授業中に特別な指示がないかぎり、各Unitは同様な仕方で予習して下さい。 例えば、1) 各Unitの英文に分からない単語があれば、印をつけて辞書で調べる。 2) DとEはやってみる。 3) 'Useful Expressions/Useful words' や 'キュア＆ホスピタリティ' は読んでおく。 【授業中】 毎回授業に出席し積極的に参加して下さい。出席は毎回取ります。テキスト、ノート、筆記用具、辞書は毎回持参すること。ペアワークを行います。質問がある時は手を上げて聞いて下さい。 【復習の仕方(約40分)】 1) 授業中に聴解練習で空欄を埋めた英文を、最低2回音読して内容を理解すること。特に、役に立つフレーズや表現は覚えること。 2) 練習問題は、予習で分からなかった部分に注意を払い、正解をよく理解する。特に、単語をよく勉強すること。 3) 教科書で習った内容を見返し、分かりにくい個所をよく復習する。文法を理解し、語彙・口語表現を覚えるようにする。
教科書・参考文献等	教科書	古閑博美, 野口陽子 著 『English for Cure and Hospitality Ⅰ』 (鷹書房弓プレス) ISBN 9784803412543
	参考書	英和・和英辞典;『トレーニングノートα 英文法』(『ステップ英文法』図書館で閲覧可)。便利なアプリ(Weblio英語辞書、ALC英辞郎、Google翻訳)
	その他	単語カードを購入し、活用して下さい。また、辞書でよく調べるようにして下さい。
連絡先・オフィスアワー		研究室17(2階)授業日のランチタイム、メールアドレス t-inada@jhsu.ac.jp:相談のある時は事前にメールで予約して下さい。
その他		講義中はスマートフォンの電源を切ること。

科目コード	22-11105
授業科目名	朝鮮語
配当年次	1学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	選択
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	演習
担当教員	溝口 甲順
実務家教員	
授業科目の概要	基本的な文法事項の習得を基礎とし、初歩的な朝鮮語のテキスト講読及び日常的なコミュニケーションに必要な表現練習を行い、自分の考え・体験等を発言できる会話能力を養う。アジアへの経済進出・人事交流が盛んになっている現在、これらの国々の言語を習得し、コミュニケーションを図ることは意義がある。アジアの中でも、「朝鮮半島」を対象とし、朝鮮語の発音の規則・文法を学び、朝鮮語の日常的なコミュニケーションを図ることができるようになることを目的とする。
授業の到達目標	朝鮮語の文字と発音を習って、日常よく使われる簡単な会話を通して、基本語彙と基本文型と文法を学びます。また、日本語との類似点、相違点を探りつつ、コリアの文化と歴史への関心を高めていきます。
特に関連する科目	
授業の具体的な進め方	Google meetを利用した双方向の遠隔授業を行う。語学の勉強は、毎日の復習予習が大切なので、授業時間に習ったことは必ずその日に復習して下さい。読む練習だけでなく、書く練習をし、文字を覚えることが望ましいです。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	2/14	火	1	溝口 甲順	遠隔	オリエンテーション
2	2/14	火	2	溝口 甲順	遠隔	第1課 講義開始にあたって
3	2/14	火	3	溝口 甲順	遠隔	第2課 ハングルを覚えよう
4	2/14	火	4	溝口 甲順	遠隔	第3課 ハングルのまとめ・旅行会話(1)
5	2/15	水	1	溝口 甲順	遠隔	第4課 パッチムと基本単語Ⅰ
6	2/15	水	3	溝口 甲順	遠隔	第5課 発音の変化と基本単語Ⅱ
7	2/15	水	3	溝口 甲順	遠隔	第5課 文字と発音の復習
8	2/15	水	4	溝口 甲順	遠隔	まとめ・旅行会話(2)
9	2/16	木	1	溝口 甲順	遠隔	第6課 私は中村です。(本文・単語)
10	2/16	木	2	溝口 甲順	遠隔	第6課 私は中村です。(文法・練習)
11	2/16	木	3	溝口 甲順	遠隔	第7課 故郷はどちらですか。(本文・単語)
12	2/16	木	4	溝口 甲順	遠隔	第7課 故郷はどちらですか。(文法・練習)・旅行会話(3)
13	2/17	金	1	溝口 甲順	遠隔	第8課 お昼の約束がありますか。(本文・単語)
14	2/17	金	2	溝口 甲順	遠隔	第8課 お昼の約束がありますか。(文法・練習)
15	2/17	金	3	溝口 甲順	遠隔	総復習・旅行会話(4)

成績評価方法・基準		授業内小テスト・発表70% 課題30%
授業外における学習(予習・復習)		毎回の授業で前回の学習内容を確認するので、復習しておいてください。
教科書・参考文献等	教科書	溝口甲順(ミゾグチ カプスン)著『アルギシゥン韓国語』(白帝社、2002年) ISBN:9784891745721
	参考書	辞書や参考書は、授業の時に適宜紹介します。
	その他	
連絡先・オフィスアワー		講義当日Googleclassroomで対応
その他		

科目コード	22-11106
授業科目名	スタディ・スキル
配当年次	1学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	選択
単位	1単位
時間数	15時間
授業形態	講義
担当教員	正田 泰基
実務家教員	
授業科目の概要	本学に入学してくる学生の学習歴は多様である。本学の専門科目を学修する上で基礎的なスキルが不足している学生に対して、「計算と数字」「言葉と文章」について復習し、自ら学ぶ姿勢を身につける。
授業の到達目標	看護師に必要な計算能力と、文章力、漢字の知識を持つ。
特に関連する科目	
授業の具体的な進め方	各授業で設定された課題解決が出来るようになるように努力してもらいます。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/21	木	3	正田泰基	講義室4	漢字・計算・漢字テスト
2	4/28	木	3	正田泰基	講義室4	漢字テスト・計算
3	5/12	木	3	正田泰基	講義室4	漢字テスト・計算テスト・文章題
4	5/19	木	3	正田泰基	講義室4	漢字テスト・計算テスト・文章題
5	5/26	木	3	正田泰基	講義室4	漢字テスト・計算テスト・文章題テスト・読解
6	6/2	木	3	正田泰基	講義室4	漢字テスト・計算テスト・文章題テスト・読解
7	6/9	木	3	正田泰基	講義室4	漢字テスト・計算テスト・文章題テスト・読解テスト
8	6/16	木	4	正田泰基	講義室4	漢字テスト・計算テスト・文章題テスト・読解テスト

成績評価方法・基準		毎回のテストをもって評価する。 このスケジュールで合格しない者は、補講を行う。
授業外における学習（予習・復習）		苦手な分野について重点的に復習が必要です。
教科書・参考文献等	教科書	当日にプリントを配布します。
	参考書	
	その他	
連絡先・オフィスアワー		連絡先：研究室32（3階） メールアドレス：y-masada@jhsu.ac.jp オフィスアワー：月曜日 12:40～13:30
その他		

科目コード	22-11107
授業科目名	コモン・スキル
配当年次	1学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	選択
単位	1単位
時間数	15時間
授業形態	講義
担当教員	小佐野 美智子
実務家教員	
授業科目の概要	保健医療に携わる専門職者（本学では看護師・保健師）の目指すところは、対象者との信頼関係を構築し、質の高い看護を提供することである。信頼関係を構築するためには、第一印象が重要となる。本授業では接遇やマナー、さらに身だしなみについて学修し、基本的な態度を身につける。
授業の到達目標	1. 医療機関で求められる接遇・マナーについて習得する 2. 社会人としての在り方、組織人としての在り方について学び、取得する 3. 患者様及び同僚上司や他職種との関わりの中で円滑なコミュニケーションが取れる為のスキルを習得する
特に関連する科目	看護学実習
授業の具体的な進め方	講義、講義内での発表及びグループワーク有り（頻回）、講義毎に振り返りレポート及び課題レポートの提出有り

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	5/14	土	1	小佐野 美智子	講義室2	医療人・看護師としての仕事に対する考え方「あり方とやり方」・捉え方・「報告・連絡・相談」
1	5/14	土	2	小佐野 美智子	講義室2	自己分析・気質分類（自己理解と他者理解，4つの気質の特徴，気質に応じたアプローチ方法）
3	5/28	土	1	小佐野 美智子	講義室2	マネジメントとは何か（チーム医療について）・接遇6原則（見る・聴く）・意識的行動の無意識化
4	5/28	土	2	小佐野 美智子	講義室2	接遇6原則（届ける・伝える），短時間で伝わるように伝える技術PREP法の習得と実践・言葉遣い
5	6/11	土	1	小佐野 美智子	講義室2	接遇6原則（意識する・安心感を与える）・身だしなみの重要性と注意点・情報共有の重要性（医療安全）
6	6/11	土	2	小佐野 美智子	講義室2	ルールについて考え方と捉え方・現場で求められるレベルの挨拶・姿勢・歩き方・物の受け渡しを正しく身に着ける
7	6/25	土	1	小佐野 美智子	講義室2	現場に出る前に押さえておきたい学生言葉と話し言葉・書き言葉 ・ストレスマネジメント
8	6/25	土	2	小佐野 美智子	講義室2	ケーススタディ・現場で起きている事例についての検討と考察

成績評価方法・基準		各回のレポート50%，定期試験50%
授業外における学習（予習・復習）		各回の予習・復習は合計で60分以上必要である。
教科書・参考文献等	教科書	小佐野美智子『患者接遇パーフェクト・レッスン　2019年新版』（医学通信社、2019年）ISBN：9784870587083
	参考書	講義内で紹介する。
	その他	必要に応じて資料を配布する
連絡先・オフィスアワー		質問等は授業前後及びメールにて対応する 連絡先：michiko.osano@medi-cplan.co.jp オフィスアワー：授業前後に質問してください。
その他		

科目コード	22-11107
授業科目名	人間論
配当年次	1年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1
時間数	15
授業形態	講義
担当教員	金海博之
実務家教員	
授業科目の概要	人間の普遍的本質である「人間性」を理解し、人としての存在意義やその理想、生きる目的を考察することを通して、豊かな人間性を培うために何をすべきであるのかについて学習する。 時代や民族の違いに関わらず人間が普遍的に有している本質である「人間性」とは何なのかということを思考することを通して、人として存在する意義について学習する。 社会の構成員である私たち一人ひとりが人間としての自覚に立って、豊かな人間性を養っていくためにどうすれば良いのか。人としての理想や生きる目的について学習する。
授業の到達目標	1.本学の建学の精神と理念、設立理念に基づいた4つの教育目標、大学が求める学生像を理解できる。 2.儒教の三綱五常の精神を基本とする人間性について学び、人間性を高揚させることの重要性について理解できる。 3.共存共栄の精神である共済主義精神について学び、医療専門職として利他の精神を活かして行く大切さを理解できる。 4.古き良き日本人の精神性、人間性の高さについて理解できる。 5.人間性、共済主義精神に基づいた組織の在り方、組織を運営する心得について理解できる。
特に関連する科目	なし
授業の具体的な進め方	授業形態は講義形式。レジュメを配布し読み上げ、理念や考え方を学習し習得する。パワーポイントに論点をまとめ、スライドや動画で参考資料や補足をし、医療福祉の現場のみならず、大学生活、家庭、今後の生き方などに多面的に活かせるよう、機会を提供する。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	6/4	土	1	金海博之	講義室2	建学の精神や理念に基づいて、人間性の高揚と共存共栄の精神について
2	6/4	土	2	金海博之	講義室2	共済主義精神の実践、国際文化交流について
3	6/4	土	3	金海博之	講義室2	儒教の三綱五常の精神を基本とする人間性について
4	6/4	土	4	金海博之	講義室2	古き良き日本人の精神性、人間性の高さについて
5	7/2	土	1	金海博之	講義室2	豊かな人間性を育むために、結婚、恋愛、純潔、親心、育児、食生活、礼節など人間性を高揚させることについて
6	7/2	土	2	金海博之	講義室2	共済主義精神や人間性に基づく組織の在り方、運営する心得について
7	7/2	土	3	金海博之	講義室2	社会人としての報告、連絡、相談など組織内での動き方について、青年として大義に生きる、職業観、融和の精神について
8	7/2	土	4	金海博之	講義室2	まとめ

成績評価方法・基準		レポート　100% ＊レポートについては、コメントし返却する。
授業外における学習（予習・復習）		講義後に配布資料、課題図書や参考文献を用いて復習し補完すること。 概ね60分以上必要である。
教科書・参考文献等	教科書:	必要に応じてプリントを配布する。
	参考書:	質問は教務課で対応（kyomuns-info@jhsu.ac.jp）します。
	その他:	特になし
連絡先・オフィスアワー		質問等は授業前後に対応する。
その他		

科目コード	22-11109
授業科目名	心理学
配当年次	1学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	2単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	正田 泰基
実務家教員	
授業科目の概要	心理学は、われわれが身近に感じる心の働きを科学的に検証する学問であり、その対象領域は多岐にわたる。本講義では、それらの中でも特に重要とされる領域について概観し、心理学の理論と研究対象について理解することを目的とする。 1）心に対する科学的アプローチについて知る。 2）多岐にわたる心理学の領域と、それらが生まれた歴史的背景について知る。 3）身体的成長と心理的発達の相互関係について理解することができる。 4）人間の情報処理過程を理解し、さまざまな記憶を分類できる。 5）動機づけとそれによって引き起こされるフラストレーションについて知る。 6）ストレスの諸理論、ストレスが引き起こす様々な問題について知る。 7）日常的なさまざまな行動と脳の機能の関連について知る。 8）心理学のさまざまな実験や調査を体験する。 9）心理学の研究結果を用いて、日常生活のさまざまな行動を理解できる。
授業の到達目標	1.身体的成長と心理的発達の相互関係について理解できる 2.動機づけとそれによって引き起こされるフラストレーションを理解できる 3.多岐にわたる心理学の領域と、それらが生まれた歴史的背景について理解できる
特に関連する科目	精神保健　精神看護学概論　精神看護方法論
授業の具体的な進め方	理論的な学習ののち、豊富な具体例をもとに、学生同士の意見を積み上げ、より具体的な理解が進むよう授業を展開する。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	9/21	水	2	正田泰基	講義室2	発達段階、愛着、トラウマなどの要因が絡む例を見る
2	9/28	水	2	正田泰基	講義室2	発達と愛着について
3	10/5	水	1	正田泰基	講義室2	発達と愛着について
4	10/12	水	1	正田泰基	講義室2	広汎性発達障害と愛着障害
5	10/19	水	1	正田泰基	講義室2	解離
6	10/26	水	2	正田泰基	講義室2	PTSD
7	11/2	水	2	正田泰基	講義室2	アダルトチルドレン
8	11/9	水	2	正田泰基	講義室2	まとめ
9	11/16	水	2	正田泰基	講義室2	防衛機制・パーソナリティ障害
10	11/30	水	2	正田泰基	講義室2	パーソナリティ障害
11	12/7	水	2	正田泰基	講義室2	行動療法
12	12/14	水	2	正田泰基	講義室2	行動療法
13	12/21	水	2	正田泰基	講義室2	行動療法と教育
14	1/11	水	2	正田泰基	講義室2	行動療法と教育
15	1/18	水	1	正田泰基	講義室2	認知行動療法

成績評価方法・基準		毎回の課題提出70%、8回の課題30%で評価を行います。
授業外における学習（予習・復習）		予習は特に必要ありません。復習は、授業での配布資料、板書ノートを用いて内容を確認してください。
教科書・参考文献等	教科書	授業中にプリントを配布します。
	参考書	随時紹介します。
	その他	
連絡先・オフィスアワー		連絡先：研究室32（3階） メールアドレス：y-masada@jhsu.ac.jp オフィスアワー：月曜日12：40～13：30
その他		

科目コード	22-11110
授業科目名	メンタルヘルス
配当年次	1学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	15時間
授業形態	講義
担当教員	東中須 恵子、菊地 淳
実務家教員	看護職：東中須 恵子、菊地 淳
授業科目の概要	メンタルヘルスとは「心の健康」のことをいい、厚生労働省は「精神的に満たされた状態mental well-being と定義づけている。本授業では、1.ストレス理論をもとに、家庭、学校、職場、地域、更に、大規模な事故や自然災害などに遭遇した人々がストレス不調に気づいた時、セルフケアが適切に行われる"メンタルヘルス対策の強化方法を学ぶ。更に、2.心の健康だけではなく、心の健康の回復、維持増進の方法を学ぶ。また、3.看護師のメンタル事情について学習する。
授業の到達目標	1. 自己効力・エンパワーメントが理解できる。 2. ストレス、バーンアウトなどメンタルヘルス上の具体的な課題を見出し、ストレスマネジメントの具体的な方法が理解できる。 3. 看護職に特有なメンタルヘルスの問題を通して、具体的な対処方法を考えることができる。
特に関連する科目	コミュニケーション論　人間関係論　精神看護概論
授業の具体的な進め方	・講義と演習を交えて進める。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/13	水	2	東中須恵子	講義室4	①授業概要ガイダンス、②メンタルヘルスとは
2	4/20	水	2	東中須恵子	講義室4	講義：ウエルビーイングとメンタルヘルス
3	4/27	水	2	東中須恵子	講義室4	講義：こころの痛み
4	5/18	水	2	東中須恵子	講義室4	講義と演習：ストレスの発生とストレスマネジメント、ストレスチエック
5	5/25	水	2	東中須恵子	講義室4	演習：自律訓練法
6	6/1	水	2	東中須恵子	講義室4	講義と演習：自己強化の方法（セルフエフィカシー）
7	6/8	水	2	東中須恵子	講義室4	講義：働く人のメンタルヘルス、病気の人のメンタルヘルス
8	6/15	水	2	東中須恵子	講義室4	講義と事例演習：医療職のメンタルヘルスを考える

成績評価方法・基準		定期試験：100%
授業外における学習（予習・復習）		・授業中に解決できない事案については、積極的に調べたり質問をしたりしてください。 適宜質問に応じます。予習・復習にはおおむね60分必要です。
教科書 ・参考文献等	教科書	・特に指定しません、適宜資料を配布します。
	参考書	
	その他	
連絡先・オフィスアワー		連絡先：研究室12（2階） メールアドレス：nakasu@jhsu.ac.jp オフィスアワー：月曜日16:45～17:30
その他		

科目コード	22-11111
授業科目名	コミュニケーション論
配当年次	1学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	演習
担当教員	東中須 恵子、菊地 淳
実務家教員	看護職：東中須 恵子、菊地 淳
授業科目の概要	コミュニケーションの良し悪しで看護の質が左右されるといってもいいほど、看護におけるコミュニケーションの重要性はいくども唱えられている。しかし、看護現場においては看護の対象者からニーズがつかめず一方的な指導や指摘になっている。また、学習者を取り巻く生活環境を鑑みると、人との関わりが得意ではないことが推測される。本授業に於いては、1.日常におけるコミュニケーションに関する基礎知識と技術、2.医療現場で活用する医療コミュニケーションの知識と技術、3.社会人基礎力としての必須技術を講義と演習を通して学修する。
授業の到達目標	対人関係における自己理解および他者理解を深め、コミュニケーションの基礎的知識と技術を学ぶ。 1. コミュニケーションに関する理論や構造を理解する。 2. 対人関係における自己の傾向を知る。 3. 対人関係における他者について考え。理解する。 4. コミュニケーションにおける技法を理解し、修得する。 5. 医療場面におけるコミュニケーションの重要性や相互作用を理解する。
特に関連する科目	基礎ゼミ　心理学　サイコセラピーとカウンセリング　他看護学専門科目全般
授業の具体的な進め方	配布資料を中心に講義・演習形式の授業を行う。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/12	火	3	東中須恵子	講義室4	オリエンテーション、 コミュニケーションの理論と構造
2	4/12	火	4	東中須恵子	体育館	演習：構成的グループエンカウンター
3	4/19	火	3	東中須恵子	講義室4	日常コミュニケーションについて考える
4	4/19	火	4	東中須恵子	講義室4	言語的コミュニケーション、非言語的コミュニケーション
5	4/26	火	3	東中須恵子	体育館	演習：言語的コミュニケーション、非言語的コミュニケーション
6	4/26	火	4	東中須恵子	講義室4	ライフストーリー
7	5/17	火	3	東中須恵子	講義室4	人間関係づくりとしてのスキル：カウンセリング的技法
8	5/17	火	4	東中須恵子	体育館	演習：カウンセリング的技法
9	5/24	火	3	東中須恵子	講義室4	コミュニケーションにおける観察力
10	5/24	火	4	東中須恵子	講義室4	看護学生と社会人力
11	5/31	火	3	東中須恵子	講義室4	個人コラージュ体験①
12	5/31	火	4	東中須恵子	講義室4	個人コラージュ体験②
13	6/7	火	3	東中須恵子	講義室4	事例体験：医療コミュニケーション
14	6/7	火	4	東中須恵子	学内演習室	まとめ：演習
15	6/14	火	3	東中須恵子	講義室4	自己表現とアサーション

成績評価方法・基準		講義、グループワークへの取り組みと参加状況 40% 課題レポート・ミニレポート 20%　定期試験40%
授業外における学習（予習・復習）		講義後は、講義で配布される資料、参考文献を用いて復習をおこなうこと。予習・復習には講義ごとに概ね60分以上必要である。
教科書・参考文献等	教科書	教科書は指定しない。必要に応じて資料・教材を配布する。
	参考書	適宜参考図書の紹介をする。
	その他	特になし
連絡先・オフィスアワー		東中須恵子 連絡先：研究室12（2階） メールアドレス：nakasu@jhsu.ac.jp オフィスアワー：月曜日16:45～17:30 菊地淳 連絡先：研究室9（2階） メールアドレス：j-kikuchi@jhsu.ac.jp オフィスアワー：月曜日16:45～17:30
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 医療コミュニケーション・スキルを学び実践できるための知識とスキルを獲得する。

科目コード	22-11115
授業科目名	情報科学I A
配当年次	1学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	演習
担当教員	小野目 如快
実務家教員	
授業科目の概要	コンピュータとインターネットを道具として活用するための基礎的技術と、我々をとりまく「情報」を扱うための手法を習得する。授業ではICT(情報通信技術)をコミュニケーション・情報獲得・データ表現、情報公開のための道具と位置づけ、看護学を専攻する学生として、また情報社会を生きる一人の人間としてそれらを活用するための手法を学ぶ。この授業はコンピュータを利用した演習を中心としているが、単にPC操作方法を学ぶだけではなく、課題解決のために、情報を効果的に収集、分析、表現する手法等、広い意味での「情報」を扱うことのできる能力を身につけることを目標とする。
授業の到達目標	1. Windowsのファイル管理を中心とした基本操作が出来るようになる。 2. ワープロソフト(Word)で自在に文書を作成出来るようになる。 3. プレゼンテーションソフト(PowerPoint)を使用し、内容を分かりやすく表現出来るようになる。 4. 表計算ソフト(Excel)を使用し、情報を適切に加工して表現出来るようになる。
特に関連する科目	この授業で学習することは、他の授業や実習に関連し、レポート作成、プレゼンテーションソフトを使っての発表、情報収集及び検索、研究等で必要となる。
授業の具体的な進め方	情報処理室でのパソコンを使用した演習とする。授業後半は課題の時間とし、次の授業で返却する。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/11	月	1	小野目如快	情報処理室	Windowsの基本操作
2	4/18	月	1	小野目如快	情報処理室	ファイル管理
3	4/25	月	1	小野目如快	情報処理室	Wordの演習(1) 基本編集
4	5/9	月	1	小野目如快	情報処理室	Wordの演習(2) 書式設定
5	5/16	月	1	小野目如快	情報処理室	Wordの演習(3) 文書作成
6	5/23	月	1	小野目如快	情報処理室	Wordの演習(4) 表と罫線
7	5/30	月	1	小野目如快	情報処理室	Wordの演習(5) 図形描画
8	6/6	月	1	小野目如快	情報処理室	Wordの演習(6) オブジェクト処理
9	6/13	月	1	小野目如快	情報処理室	PowerPointの演習
10	6/20	月	1	小野目如快	情報処理室	Excelの演習(1) 基本
11	6/27	月	1	小野目如快	情報処理室	Excelの演習(2) グラフ
12	7/4,7/11	月	3	小野目如快	情報処理室	Excelの演習(3) データベース
13	7/4,7/11	月	4	小野目如快	情報処理室	Excelの演習(4) 関数1
14	7/18	月	1	小野目如快	情報処理室	Excelの演習(5) 関数2
15	7/25	月	1	小野目如快	情報処理室	まとめ Officeソフトの連携

成績評価方法・基準		課題提出100%。毎回課題を課し、採点して返却する。
授業外における学習(予習・復習)		予習:教科書に一通り目を通しておくこと(20分) 復習:課題以外にも、教科書の演習問題に積極的にチャレンジしてみること(40分)
教科書・参考文献等	教科書	小野目如快著『Office2019で学ぶコンピュータリテラシー Windows10対応』 (実教出版社 2019年12月) ISBN:9784407348897
	参考書	
	その他	必要に応じてプリントを配布する。
連絡先・オフィスアワー		連絡先:onome@home.email.ne.jp 質問等は授業前後に対応する。
その他		7/4～7/15の間(12回と13回)は、基礎Ⅰ実習に行かない期間に受講すること。

科目コード	22-11115
授業科目名	情報科学I B
配当年次	1学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	演習
担当教員	小野目 如快
実務家教員	
授業科目の概要	コンピュータとインターネットを道具として活用するための基礎的技術と、我々をとりまく「情報」を扱うための手法を習得する。授業ではICT（情報通信技術）をコミュニケーション・情報獲得・データ表現、情報公開のための道具と位置づけ、看護学を専攻する学生として、また情報社会を生きる一人の人間としてそれらを活用するための手法を学ぶ。この授業はコンピュータを利用した演習を中心としているが、単にPC操作方法を学ぶだけではなく、課題解決のために、情報を効果的に収集、分析、表現する手法等、広い意味での「情報」を扱うことのできる能力を身につけることを目標とする。
授業の到達目標	1. Windowsのファイル管理を中心とした基本操作が出来るようになる。 2. ワープロソフト(Word)で自在に文書を作成出来るようになる。 3. プレゼンテーションソフト(PowerPoint)を使用し、内容を分かりやすく表現出来るようになる。 4. 表計算ソフト(Excel)を使用し、情報を適切に加工して表現出来るようになる。
特に関連する科目	この授業で学習することは、他の授業や実習に関連し、レポート作成、プレゼンテーションソフトを使っての発表、情報収集及び検索、研究等で必要となる。
授業の具体的な進め方	情報処理室でのパソコンを使用した演習とする。授業後半は課題の時間とし、次の授業で返却する。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/11	月	2	小野目如快	情報処理室	Windowsの基本操作
2	4/18	月	2	小野目如快	情報処理室	ファイル管理
3	4/25	月	2	小野目如快	情報処理室	Wordの演習(1) 基本編集
4	5/9	月	2	小野目如快	情報処理室	Wordの演習(2) 書式設定
5	5/16	月	2	小野目如快	情報処理室	Wordの演習(3) 文書作成
6	5/23	月	2	小野目如快	情報処理室	Wordの演習(4) 表と罫線
7	5/30	月	2	小野目如快	情報処理室	Wordの演習(5) 図形描画
8	6/6	月	2	小野目如快	情報処理室	Wordの演習(6) オブジェクト処理
9	6/13	月	2	小野目如快	情報処理室	PowerPointの演習
10	6/20	月	2	小野目如快	情報処理室	Excelの演習(1) 基本
11	6/27	月	2	小野目如快	情報処理室	Excelの演習(2) グラフ
12	7/4,7/11	月	3	小野目如快	情報処理室	Excelの演習(3) データベース
13	7/4,7/11	月	4	小野目如快	情報処理室	Excelの演習(4) 関数1
14	7/18	月	2	小野目如快	情報処理室	Excelの演習(5) 関数2
15	7/25	月	2	小野目如快	情報処理室	まとめ Officeソフトの連携

成績評価方法・基準		課題提出100%。毎回課題を課し、採点して返却する。
授業外における学習（予習・復習）		予習：教科書に一通り目を通しておくこと(20分) 復習：課題以外にも、教科書の演習問題に積極的にチャレンジしてみること(40分)
教科書・参考文献等	教科書	小野目如快著『Office2019で学ぶコンピュータリテラシー Windows10対応』 (実教出版社 2019年12月) ISBN:9784407348897
	参考書	
	その他	必要に応じてプリントを配布する。
連絡先・オフィスアワー		連絡先：onome@home.email.ne.jp 質問等は授業前後に対応する。
その他		7/4～7/15の間（12回と13回）は、基礎Ⅰ実習に行かない期間に受講すること。

科目コード	22-11115
授業科目名	情報科学I C
配当年次	1学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	演習
担当教員	小野目 如快
実務家教員	
授業科目の概要	コンピュータとインターネットを道具として活用するための基礎的技術と、我々をとりまく「情報」を扱うための手法を習得する。授業ではICT（情報通信技術）をコミュニケーション・情報獲得・データ表現、情報公開のための道具と位置づけ、看護学を専攻する学生として、また情報社会を生きる一人の人間としてそれらを活用するための手法を学ぶ。この授業はコンピュータを利用した演習を中心としているが、単にPC操作方法を学ぶだけではなく、課題解決のために、情報を効果的に収集、分析、表現する手法等、広い意味での「情報」を扱うことのできる能力を身につけることを目標とする。
授業の到達目標	1. Windowsのファイル管理を中心とした基本操作が出来るようになる。 2. ワープロソフト(Word)で自在に文書を作成出来るようになる。 3. プレゼンテーションソフト(PowerPoint)を使用し、内容を分かりやすく表現出来るようになる。 4. 表計算ソフト(Excel)を使用し、情報を適切に加工して表現出来るようになる。
特に関連する科目	この授業で学習することは、他の授業や実習に関連し、レポート作成、プレゼンテーションソフトを使っての発表、情報収集及び検索、研究等で必要となる。
授業の具体的な進め方	情報処理室でのパソコンを使用した演習とする。授業後半は課題の時間とし、次の授業で返却する。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/11	月	3	小野目如快	情報処理室	Windowsの基本操作
2	4/18	月	3	小野目如快	情報処理室	ファイル管理
3	4/25	月	3	小野目如快	情報処理室	Wordの演習(1) 基本編集
4	5/9	月	3	小野目如快	情報処理室	Wordの演習(2) 書式設定
5	5/16	月	3	小野目如快	情報処理室	Wordの演習(3) 文書作成
6	5/23	月	3	小野目如快	情報処理室	Wordの演習(4) 表と罫線
7	5/30	月	3	小野目如快	情報処理室	Wordの演習(5) 図形描画
8	6/6	月	3	小野目如快	情報処理室	Wordの演習(6) オブジェクト処理
9	6/13	月	3	小野目如快	情報処理室	PowerPointの演習
10	6/20	月	3	小野目如快	情報処理室	Excelの演習(1) 基本
11	6/27	月	3	小野目如快	情報処理室	Excelの演習(2) グラフ
12	7/4,7/11	月	1	小野目如快	情報処理室	Excelの演習(3) データベース
13	7/4,7/11	月	2	小野目如快	情報処理室	Excelの演習(4) 関数1
14	7/18	月	3	小野目如快	情報処理室	Excelの演習(5) 関数2
15	7/25	月	3	小野目如快	情報処理室	まとめ Officeソフトの連携

成績評価方法・基準		課題提出100%。毎回課題を課し、採点して返却する。
授業外における学習（予習・復習）		予習：教科書に一通り目を通しておくこと（20分） 復習：課題以外にも、教科書の演習問題に積極的にチャレンジしてみること(40分)
教科書・参考文献等	教科書	小野目如快著『Office2019で学ぶコンピュータリテラシー Windows10対応』 （実教出版社 2019年12月） ISBN：9784407348897
	その他	必要に応じてプリントを配布する。
連絡先・オフィスアワー		連絡先：onome@home.email.ne.jp 質問等は授業前後に対応する。
その他		7/4～7/15の間（12回と13回）は、基礎１実習に行かない期間に受講すること。

科目コード	22-11115
授業科目名	情報科学I D
配当年次	1学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	演習
担当教員	小野目 如快
実務家教員	
授業科目の概要	コンピュータとインターネットを道具として活用するための基礎的技術と、我々をとりまく「情報」を扱うための手法を習得する。授業ではICT（情報通信技術）をコミュニケーション・情報獲得・データ表現、情報公開のための道具と位置づけ、看護学を専攻する学生として、また情報社会を生きる一人の人間としてそれらを活用するための手法を学ぶ。この授業はコンピュータを利用した演習を中心としているが、単にPC操作方法を学ぶだけではなく、課題解決のために、情報を効果的に収集、分析、表現する手法等、広い意味での「情報」を扱うことのできる能力を身につけることを目標とする。
授業の到達目標	1. Windowsのファイル管理を中心とした基本操作が出来るようになる。 2. ワープロソフト(Word)で自在に文書を作成出来るようになる。 3. プレゼンテーションソフト(PowerPoint)を使用し、内容を分かりやすく表現出来るようになる。 4. 表計算ソフト(Excel)を使用し、情報を適切に加工して表現出来るようになる。
特に関連する科目	この授業で学習することは、他の授業や実習に関連し、レポート作成、プレゼンテーションソフトを使っての発表、情報収集及び検索、研究等で必要となる。
授業の具体的な進め方	情報処理室でのパソコンを使用した演習とする。授業後半は課題の時間とし、次の授業で返却する。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/11	月	4	小野目如快	情報処理室	Windowsの基本操作
2	4/18	月	4	小野目如快	情報処理室	ファイル管理
3	4/25	月	4	小野目如快	情報処理室	Wordの演習(1) 基本編集
4	5/9	月	4	小野目如快	情報処理室	Wordの演習(2) 書式設定
5	5/16	月	4	小野目如快	情報処理室	Wordの演習(3) 文書作成
6	5/23	月	4	小野目如快	情報処理室	Wordの演習(4) 表と罫線
7	5/30	月	4	小野目如快	情報処理室	Wordの演習(5) 図形描画
8	6/6	月	4	小野目如快	情報処理室	Wordの演習(6) オブジェクト処理
9	6/13	月	4	小野目如快	情報処理室	PowerPointの演習
10	6/20	月	4	小野目如快	情報処理室	Excelの演習(1) 基本
11	6/27	月	4	小野目如快	情報処理室	Excelの演習(2) グラフ
12	7/4,7/11	月	1	小野目如快	情報処理室	Excelの演習(3) データベース
13	7/4,7/11	月	2	小野目如快	情報処理室	Excelの演習(4) 関数1
14	7/18	月	4	小野目如快	情報処理室	Excelの演習(5) 関数2
15	7/25	月	4	小野目如快	情報処理室	まとめ Officeソフトの連携

成績評価方法・基準		課題提出100%。毎回課題を課し、採点して返却する。
授業外における学習（予習・復習）		予習：教科書に一通り目を通しておくこと（20分） 復習：課題以外にも、教科書の演習問題に積極的にチャレンジしてみること(40分)
教科書・参考文献等	教科書	小野目如快著『Office2019で学ぶコンピュータリテラシー Windows10対応』 （実教出版社 2019年12月） ISBN：9784407348897
	参考書	
	その他	必要に応じてプリントを配布する。
連絡先・オフィスアワー		連絡先：onome@home.email.ne.jp 質問等は授業前後に対応する。
その他		7/4～7/15の間（12回と13回）は、基礎Ｉ実習に行かない期間に受講すること。

科目コード	22-11117
授業科目名	社会学
配当年次	1学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	選択
単位	2単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	村井 洋
実務家教員	
授業科目の概要	社会学は社会を人間の集団として理解し、社会の仕組みを解いていくことが重要な課題である。そこで、まず集団の中の人間という基本的な原理を理解し、家族、地域社会、国家という社会集団について学習する。次に、科学技術と人間という課題を設定して、科学技術の成果と人間社会、環境に関わることを社会学的に学習する。これらの学習を通して、医療従事者にとって重要な社会倫理について理解を深め、地域社会における医療従事者の役割について社会学的な観点から考えることができるようにする。 本講義は可能な限りディスカッション、作業、視聴覚教材を活用して行う。
授業の到達目標	1. 時事問題を含んだ現代社会の動向を理解できる。 2. 現代社会の特徴をいくつかの基礎概念を通して理解できる
特に関連する科目	直接関連する具体的科目はないが、社会学的な観点から考える姿勢はどの科目にも必要である。
授業の具体的な進め方	ディスカッション、作業、視聴覚教材を取り入れて授業を行う。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	9/30	金	4	村井洋	講義室2	社会学を学ぶ意味とは何か。「わたし」の視点から人間関係の成り立ち、学校、病院のような制度や組織の視点から「役割」や「規範」の意味について。
2	10/7	金	4	村井洋	講義室2	スポーツと社会はどう結びついているか　近代社会のものの考え方がスポーツのルールや運営に明らかに現れている事実を理解する。
3	10/14	金	4	村井洋	講義室2	メディアは社会にどう影響しているか。新聞、テレビ、SNSと社会
4	10/21	金	4	村井洋	講義室2	「近代」社会の特徴について。とくに科学、経済と産業、文化、政治、国家について。
5	10/28	金	4	村井洋	講義室2	「近代家族」の機能と形態。個人のライフコース（誕生から死亡までの人生行路）における家族の意義。
6	11/4	金	4	村井洋	講義室2	現代の家族の特徴ならびに日本の民法（親族法）における結婚、親子関係について。
7	11/11	金	4	村井洋	講義室2	地域社会の変化と問題点について、都市と農村、現代の都市型社会における地域問題を理解する。
8	11/18	金	4	村井洋	講義室2	政治と社会。政治的態度　イデオロギー　投票行動　政治権力のあり方について
9	11/25	金	4	村井洋	講義室2	社会保障を基礎づける考え方：もし社会保障制度がなかったらという問いを、映像資料およびJ.ロールズの『正義論』を題材に考える。
10	12/2	金	4	村井洋	講義室2	日本の社会保障：導入にいたる経緯と現行制度　本の医療保険制度
11	12/9	金	4	村井洋	講義室2	感染症と社会：　COVID-19の特徴と感染状況、社会変化
12	12/16	金	4	村井洋	講義室2	社会倫理：伝統的倫理思想のあらましと現代的性格：仏教、儒教、キリスト教の世界観について。現代社会にどう適用するか。
13	12/23	金	4	村井洋	講義室2	社会倫理(2)現代における「愛」の問題：現代社会の「疎外」を克服する試み（E.フロム）、H.アーレントほか
14	1/13	金	4	村井洋	講義室2	労働と社会：資本主義社会と労働、ブラック企業、「働き方改革」
15	1/20	金	4	村井洋	講義室2	グローバル社会と平和：テロリズムと社会、デモクラシーと平和、宗教と社会、国際金融

成績評価方法・基準		各時間内に課す小レポート15% 中間試験25%定期試験60%
授業外における学習（予習・復習）		授業ノートを読み返し、疑問点を整理し次回の「ミニッツ・ペーパー」に記入する。講義中提示する参考文献を手に取り読む。
教科書・参考文献等	教科書	特に指定しない。毎回ハンドアウト（担当者作成の資料）を配布する。
	参考書	森岡清志 『社会学入門－基礎概念とその展開』（放送大学教育振興会、2010年）その他は講義において紹介する。
	その他	医療が社会の中の事業であることを意識し皆さんの将来に深く関わる学修であることを認識したうえで、社会がつねに変化の中にあること、また、改良すべき問題点を生み出していることを意識して臨んで欲しいと思います。
連絡先・オフィスアワー		連絡先：murai.hiroshi@coral.plala.or.jp オフィスアワー　金曜日12:40～13:00ごろ
その他		

科目コード	22-11118
授業科目名	基礎ゼミ 1
配当年次	1学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	演習
担当教員	上本野 唱子、今井 充子、松井 貴子、棚橋 愛
実務家教員	看護職：上本野唱子　今井充子　松井貴子　棚橋 愛
授業科目の概要	大学で学ぶためにすべての科目で必要となる基本的な学ぶ力と、社会人としてのもしくは将来、医療の現場で必要とされる態度についての基礎を少人数のグループで学びます。大学で学ぶということは、高校までの学習と異なり、受け身の学習から自主的に学ぶ力を身につけることにあります。自主的な学びに必要な「調べる」、「読む」、「書く」、「まとめる」、「発表する」といった力を、感情や主観に流されずに物事を判断しようとする思考プロセス（クリティカルシンキング）を使い身につけることを目指します。
授業の到達目標	1.テーマや事象に沿って調べることができる。 2.文章を読み、内容をまとめて、記述することができる。 3.プレゼンテーション技法を身につける。 4.クリティカル・シンキングを身につける。 5.自己のキャリアをデザインできる。 6.社会人としてもしくは医療現場で必要とされる態度の基礎を身につける。
特に関連する科目	本学教育課程における科目すべてに関連する。
授業の具体的な進め方	講義と演習を中心とした授業を展開する。演習は、各自の人間性を高めるとともに看護職としての資質の向上を図るように進める。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/8	金	4	上本野唱子 松井貴子 重石真宏	講義室4	大学での学習、自己学習、Google（G-mail、Classroom、カレンダー）を活用した学習方法 社会人基礎力とは 学生としての責任　社会人としての責任　自由とは 医療職者として身につける態度とは 社会人基礎力自己チェック 授業ガイダンス 授業計画とゼミ配置　ゼミ担当教員紹介、看護学科4年間の学習の概要 ポートフォーリオの活用方法
2	4/15	金	4	上本野唱子 星野谷優子	講義室4	医療職者としての基本的なマナー　服装・化粧方法・立ち居振る舞い　接遇時のマナー
3	4/22	金	4	今井充子 三枝弘	講義室4	メールのやりとりの基本文献検索および文献の引用方法
4	4/29	金	3	棚橋愛	講義室4	大学生活のリスクやトラブル①（3G合同）　3人1組で1項目を担当
5	5/13	金	3	棚橋愛	講義室4	大学生活のリスクやトラブル②（3G合同）　スライドを使用した発表
6	5/27	金	3	棚橋愛	講義室4	ディベート①（3G合同）　ディベートの方法　テーマおよび役割の決定、ディベート準備
7	6/3	金	3	棚橋愛	講義室4	ディベート②（3G合同）　ディベート第1試合
8	6/3	金	3	棚橋愛	講義室4	ディベート③（3G合同）　ディベート第2試合　ディベート第3試合
9	6/10	金	3	棚橋愛	中講義室1	文章の要約①　『20代にとって大切な17のこと』の要約
10	6/17	金	3	棚橋愛	中講義室1	文章の要約②　要約の発表
11	6/24	金	4	上本野唱子　他	講義室4	「看護師として働く」とは（60分）キャリアデザイン①（30分）　自己の将来像、レポートテーマの決定
12	7/1	金	3	棚橋愛	中講義室1	キャリアデザイン②　描いた将来像についての文献検索
13	7/19	火	3	棚橋愛	講義室4	キャリアデザイン③　発表に向けてレジュメの作成
14	7/22	金	3	棚橋愛	中講義室1	キャリアデザイン④　発表に向けてスライドおよび原稿の作成
15	7/29	金	3	棚橋愛	中講義室1	キャリアデザイン⑤（60分）　スライドを用いて発表手紙の基本・最終課題の説明（30分）社会人基礎力自己チェック

成績評価方法・基準		授業への参加状況、レポート等を総合して評価する。 学長への手紙30%　＋　その他70%　＝　100%
授業外における学習（予習・復習）		グループワークが中心となるため、メンバー同士の学習内容がそろうように自主的に予習・復習を行い、自己の不足の部分は補っていくこと。 予習・復習には概ね60分以上必要である。
教科書 ・参考文献等	教科書	本田健『20代にとって大切な17のこと』（きずな出版、2021）ISBN：9784866631349
	参考書	吉原恵子ほか『スタディスキルズ・トレーニング－大学で学ぶための25のスキル－』（実務出版、2017）ISBN：9784407340617
	その他	
連絡先・オフィスアワー		連絡先：研究室21 メールアドレス：a-tanahashi@jhsu.ac.jp オフィスアワー：水曜　12:40～13:10
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。

科目コード	22-11118
授業科目名	基礎ゼミ 2
配当年次	1学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	演習
担当教員	上本野 唱子、今井 充子、松井 貴子、佐藤 安代
実務家教員	看護職：上本野唱子　今井充子　松井貴子　佐藤安代
授業科目の概要	大学で学ぶためにすべての科目で必要となる基本的な学ぶ力と、社会人としてのもしくは将来、医療の現場で必要とされる態度についての基礎を少人数のグループで学びます。大学で学ぶということは、高校までの学習と異なり、受け身の学習から自主的に学ぶ力を身につけることにあります。自主的な学びに必要な「調べる」、「読む」、「書く」、「まとめる」、「発表する」といった力を、感情や主観に流されずに物事を判断しようとする思考プロセス（クリティカルシンキング）を使い身につけることを目指します。
授業の到達目標	1.テーマや事象に沿って調べることができる。 2.文章を読み、内容をまとめて、記述することができる。 3.プレゼンテーション技法を身につける。 4.クリティカル・シンキングを身につける。 5.自己のキャリアをデザインできる。 6.社会人としてもしくは医療現場で必要とされる態度の基礎を身につける。
特に関連する科目	本学教育課程における科目すべてに関連する。
授業の具体的な進め方	講義と演習を中心とした授業を展開する。演習は、各自の人間性を高めるとともに看護職としての資質の向上を図るように進める。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/8	金	4	上本野唱子 松井貴子 重石真宏	講義室4	大学での学習、自己学習、Google（G-mail、Classroom、カレンダー）を活用した学習方法 社会人基礎力とは 学生としての責任　社会人としての責任　自由とは 医療職者として身につける態度とは 社会人基礎力自己チェック 授業ガイダンス 授業計画とゼミ配置　ゼミ担当教員紹介、看護学科4年間の学習の概要 ポートフォーリオの活用方法
2	4/15	金	4	上本野唱子 星野谷優子	講義室4	医療職者としての基本的なマナー　服装・化粧方法・立ち居振る舞い　接遇時のマナー
3	4/22	金	4	今井充子 三枝弘	講義室4	メールのやりとりの基本文献検索および文献の引用方法
4	4/29	金	3	佐藤安代	講義室4	大学生活のリスクやトラブル①（3G合同）　3人1組で1項目を担当
5	5/13	金	3	佐藤安代	講義室4	大学生活のリスクやトラブル②（3G合同）　スライドを使用した発表
6	5/27	金	3	佐藤安代	講義室4	ディベート①（3G合同）　ディベートの方法　テーマおよび役割の決定、ディベート準備
7	6/3	金	3	佐藤安代	講義室4	ディベート②（3G合同）　ディベート第1試合
8	6/3	金	4	佐藤安代	講義室4	ディベート③（3G合同）　ディベート第2試合　ディベート第3試合
9	6/10	金	3	佐藤安代	中講義室2	文章の要約①　『20代にとって大切な17のこと』の要約
10	6/17	金	3	佐藤安代	中講義室2	文章の要約②　要約の発表
11	6/24	金	4	上本野唱子　他	講義室4	「看護師として働く」とは（60分）キャリアデザイン①（30分）　自己の将来像、レポートテーマの決定
12	7/1	金	3	佐藤安代	中講義室2	キャリアデザイン②　描いた将来像についての文献検索
13	7/19	火	3	佐藤安代	講義室4	キャリアデザイン③　発表に向けてレジュメの作成
14	7/22	金	3	佐藤安代	中講義室2	キャリアデザイン④　発表に向けてスライドおよび原稿の作成
15	7/29	金	3	佐藤安代	中講義室2	キャリアデザイン⑤（60分）　スライドを用いて発表手紙の基本・最終課題の説明（30分）社会人基礎力自己チェック

成績評価方法・基準		授業への参加状況、レポート等を総合して評価する。 学長への手紙30%　＋　その他70%　＝　100%
授業外における学習（予習・復習）		グループワークが中心となるため、メンバー同士の学習内容がそろうように自主的に予習・復習を行い、自己の不足の部分は補っていくこと。 予習・復習には概ね60分以上必要である。
教科書 ・参考文献等	教科書	本田健『20代にとって大切な17のこと』（きずな出版、2021）ISBN：9784866631349
	参考書	吉原恵子ほか『スタディスキルズ・トレーニング－大学で学ぶための25のスキル－』（実務出版、2017）ISBN：9784407340617
	その他	
連絡先・オフィスアワー		連絡先：研究室4 メールアドレス：y-satou@jhsu.ac.jp オフィスアワー：連絡ください。相談しましょう。
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。

科目コード	22-11118
授業科目名	基礎ゼミ 3
配当年次	1学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	演習
担当教員	上本野 唱子、今井 充子、松井 貴子、松井 貴子
実務家教員	看護職:上本野唱子　今井充子　松井貴子
授業科目の概要	大学で学ぶためにすべての科目で必要となる基本的な学ぶ力と、社会人としてのもしくは将来、医療の現場で必要とされる態度についての基礎を少人数のグループで学びます。大学で学ぶということは、高校までの学習と異なり、受け身の学習から自主的に学ぶ力を身につけることにあります。自主的な学びに必要な「調べる」、「読む」、「書く」、「まとめる」、「発表する」といった力を、感情や主観に流されずに物事を判断しようとする思考プロセス(クリティカルシンキング)を使い身につけることを目指します。
授業の到達目標	1.テーマや事象に沿って調べることができる。 2.文章を読み、内容をまとめて、記述することができる。 3.プレゼンテーション技法を身につける。 4.クリティカル・シンキングを身につける。 5.自己のキャリアをデザインできる。 6.社会人としてもしくは医療現場で必要とされる態度の基礎を身につける。
特に関連する科目	本学教育課程における科目すべてに関連する。
授業の具体的な進め方	講義と演習を中心とした授業を展開する。演習は、各自の人間性を高めるとともに看護職としての資質の向上を図るように進める。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/8	金	4	上本野唱子 松井貴子 重石真宏	講義室4	大学での学習、自己学習、Google(G-mail、Classroom、カレンダー)を活用した学習方法 社会人基礎力とは 学生としての責任　社会人としての責任　自由とは 医療職者として身につける態度とは 社会人基礎力自己チェック 授業ガイダンス 授業計画とゼミ配置　ゼミ担当教員紹介、看護学科4年間の学習の概要 ポートフォーリオの活用方法
2	4/15	金	4	上本野唱子 星野谷優子	講義室4	医療職者としての基本的なマナー　服装・化粧方法・立ち居振る舞い　接遇時のマナー
3	4/22	金	4	今井充子 三枝弘	講義室4	メールのやりとりの基本文献検索および文献の引用方法
4	4/29	金	4	松井貴子	講義室4	大学生活のリスクやトラブル①(3G合同)　3人1組で1項目を担当
5	5/13	金	4	松井貴子	講義室4	大学生活のリスクやトラブル②(3G合同)　スライドを使用した発表
6	5/27	金	4	松井貴子	講義室4	ディベート①(3G合同)　ディベートの方法　テーマおよび役割の決定、ディベート準備
7	6/3	金	3	松井貴子	中講義室1	ディベート②(3G合同)　ディベート第1試合
8	6/3	金	4	松井貴子	中講義室1	ディベート③(3G合同)　ディベート第2試合　ディベート第3試合
9	6/6	月	3	松井貴子	小講義室1	文章の要約①　『20代にとって大切な17のこと』の要約
10	6/13	月	3	松井貴子	小講義室1	文章の要約②　要約の発表
11	6/24	金	4	上本野唱子 他教員	講義室4	「看護師として働く」とは(60分)キャリアデザイン①(30分)　自己の将来像、レポートテーマの決定
12	6/20	月	3	松井貴子	小講義室1	キャリアデザイン②　描いた将来像についての文献検索
13	6/27	月	3	松井貴子	小講義室1	キャリアデザイン③　発表に向けてレジュメの作成
14	7/18	月	3	松井貴子	小講義室1	キャリアデザイン④　発表に向けてスライドおよび原稿の作成
15	7/29	金	4	松井貴子 上本野唱子	講義室4	キャリアデザイン⑤(60分)　スライドを用いて発表手紙の基本・最終課題の説明(30分)社会人基礎力自己チェック

成績評価方法・基準		授業への参加状況、レポート等を総合して評価する。 学長への手紙30%　＋　その他70%　＝　100%
授業外における学習(予習・復習)		グループワークが中心となるため、メンバー同士の学習内容がそろうように自主的に予習・復習を行い、自己の不足の部分は補っていくこと。 予習・復習には概ね60分以上必要である。
教科書 ・参考文献等	教科書	本田健『20代にとって大切な17のこと』(きずな出版、2021)ISBN:9784866631349
	参考書	吉原恵子ほか『スタディスキルズ・トレーニング－大学で学ぶための25のスキル－』(実務出版、2017)ISBN:9784407340617
	その他	
連絡先・オフィスアワー		連絡先:研究室16 メールアドレス:t-matsui@jhsu.ac.jp オフィスアワー:水曜日　12:30～15:00
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての(専門機関における)実務経験を活かした講義(演習)を行う。

科目コード	22-11118
授業科目名	基礎ゼミ 4
配当年次	1学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	演習
担当教員	上本野 唱子、今井 充子、松井 貴子、飯泉 悦子
実務家教員	看護職：上本野唱子　今井充子　松井貴子　飯泉悦子
授業科目の概要	大学で学ぶためにすべての科目で必要となる基本的な学ぶ力と、社会人としてのもしくは将来、医療の現場で必要とされる態度についての基礎を少人数のグループで学びます。大学で学ぶということは、高校までの学習と異なり、受け身の学習から自主的に学ぶ力を身につけることにあります。自主的な学びに必要な「調べる」、「読む」、「書く」、「まとめる」、「発表する」といった力を、感情や主観に流されずに物事を判断しようとする思考プロセス（クリティカルシンキング）を使い身につけることを目指します。
授業の到達目標	1.テーマや事象に沿って調べることができる。 2.文章を読み、内容をまとめて、記述することができる。 3.プレゼンテーション技法を身につける。 4.クリティカル・シンキングを身につける。 5.自己のキャリアをデザインできる。 6.社会人としてもしくは医療現場で必要とされる態度の基礎を身につける。
特に関連する科目	本学教育課程における科目すべてに関連する。
授業の具体的な進め方	講義と演習を中心とした授業を展開する。演習は、各自の人間性を高めるとともに看護職としての資質の向上を図るように進める。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/8	金	4	上本野唱子 松井貴子 重石真宏	講義室4	大学での学習、自己学習、Google（G-mail、Classroom、カレンダー）を活用した学習方法 社会人基礎力とは 学生としての責任　社会人としての責任　自由とは 医療職者として身につける態度とは 社会人基礎力自己チェック 授業ガイダンス 授業計画とゼミ配置　ゼミ担当教員紹介、看護学科4年間の学習の概要 ポートフォーリオの活用方法
2	4/15	金	4	上本野唱子 星野谷優子	講義室4	医療職者としての基本的なマナー　服装・化粧方法・立ち居振る舞い　接遇時のマナー
3	4/22	金	4	今井充子 三枝弘	講義室4	メールのやりとりの基本文献検索および文献の引用方法
4	4/29	金	4	飯泉悦子	中講義室1	大学生活のリスクやトラブル①（3G合同）　3人1組で1項目を担当
5	5/13	金	4	飯泉悦子	中講義室1	大学生活のリスクやトラブル②（3G合同）　スライドを使用した発表
6	5/27	金	4	飯泉悦子	中講義室1	ディベート①（3G合同）　ディベートの方法　テーマおよび役割の決定、ディベート準備
7	6/3	金	4	飯泉悦子	中講義室1	ディベート②（3G合同）　ディベート第1試合
8	6/3	金	4	飯泉悦子	中講義室1	ディベート③（3G合同）　ディベート第2試合　ディベート第3試合
9	6/10	金	4	飯泉悦子	中講義室1	文章の要約①　『20代にとって大切な17のこと』の要約
10	6/17	金	4	飯泉悦子	中講義室1	文章の要約②　要約の発表
11	6/24	金	4	上本野唱子　他	講義室4	「看護師として働く」とは（60分）キャリアデザイン①（30分）　自己の将来像、レポートテーマの決定
12	7/1	金	4	飯泉悦子	中講義室1	キャリアデザイン②　描いた将来像についての文献検索
13	7/19	火	3	飯泉悦子	小講義室1	キャリアデザイン③　発表に向けてレジュメの作成
14	7/22	金	4	飯泉悦子	中講義室1	キャリアデザイン④　発表に向けてスライドおよび原稿の作成
15	7/29	金	4	飯泉悦子	中講義室1	キャリアデザイン⑤（60分）　スライドを用いて発表手紙の基本・最終課題の説明（30分）社会人基礎力自己チェック

成績評価方法・基準		授業への参加状況、レポート等を総合して評価する。 学長への手紙30%　＋　その他70%　＝　100%
授業外における学習（予習・復習）		グループワークが中心となるため、メンバー同士の学習内容がそろうように自主的に予習・復習を行い、自己の不足の部分は補っていくこと。 予習・復習には概ね60分以上必要である。
教科書・参考文献等	教科書	本田健『20代にとって大切な17のこと』（きずな出版、2021）ISBN：9784866631349
	参考書	吉原恵子ほか『スタディスキルズ・トレーニング－大学で学ぶための25のスキルー』（実務出版、2017）ISBN：9784407340617
	その他	
連絡先・オフィスアワー		連絡先：研究室4 メールアドレス：e-iizumi@jhsu.ac.jp オフィスアワー：ご連絡いただいたのち調整いたします。
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。

科目コード	22-11118
授業科目名	基礎ゼミ 5
配当年次	1学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	演習
担当教員	上本野 唱子、今井 充子、松井 貴子、山下 知子
実務家教員	看護職：上本野唱子　今井充子　松井貴子　山下知子
授業科目の概要	大学で学ぶためにすべての科目で必要となる基本的な学ぶ力と、社会人としてのもしくは将来、医療の現場で必要とされる態度についての基礎を少人数のグループで学びます。大学で学ぶということは、高校までの学習と異なり、受け身の学習から自主的に学ぶ力を身につけることにあります。自主的な学びに必要な「調べる」、「読む」、「書く」、「まとめる」、「発表する」といった力を、感情や主観に流されずに物事を判断しようとする思考プロセス（クリティカルシンキング）を使い身につけることを目指します。
授業の到達目標	1.テーマや事象に沿って調べることができる。 2.文章を読み、内容をまとめて、記述することができる。 3.プレゼンテーション技法を身につける。 4.クリティカル・シンキングを身につける。 5.自己のキャリアをデザインできる。 6.社会人としてもしくは医療現場で必要とされる態度の基礎を身につける。
特に関連する科目	本学教育課程における科目すべてに関連する。
授業の具体的な進め方	講義と演習を中心とした授業を展開する。演習は、各自の人間性を高めるとともに看護職としての資質の向上を図るように進める。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/8	金	4	上本野唱子 松井貴子 重石真宏	講義室4	大学での学習、自己学習、Google（G-mail、Classroom、カレンダー）を活用した学習方法 社会人基礎力とは 学生としての責任　社会人としての責任　自由とは 医療職者として身につける態度とは 社会人基礎力自己チェック 授業ガイダンス 授業計画とゼミ配置　ゼミ担当教員紹介、看護学科4年間の学習の概要 ポートフォーリオの活用方法
2	4/15	金	4	上本野唱子 星野谷優子	講義室4	医療職者としての基本的なマナー　服装・化粧方法・立ち居振る舞い　接遇時のマナー
3	4/22	金	4	今井充子 三枝弘	講義室4	メールのやりとりの基本文献検索および文献の引用方法
4	4/29	金	4	山下知子	中講義室1	大学生活のリスクやトラブル①（3G合同）　3人1組で1項目を担当
5	5/13	金	4	山下知子	中講義室1	大学生活のリスクやトラブル②（3G合同）　スライドを使用した発表
6	5/27	金	4	山下知子	中講義室1	ディベート①（3G合同）　ディベートの方法　テーマおよび役割の決定、ディベート準備
7	6/3	金	4	山下知子	中講義室1	ディベート②（3G合同）　ディベート第1試合
8	6/3	金	4	山下知子	中講義室1	ディベート③（3G合同）　ディベート第2試合　ディベート第3試合
9	6/10	金	4	山下知子	中講義室2	文章の要約①　『20代にとって大切な17のこと』の要約
10	6/17	金	4	山下知子	中講義室2	文章の要約②　要約の発表
11	6/24	金	4	上本野唱子　他	講義室4	「看護師として働く」とは（60分）キャリアデザイン①（30分）　自己の将来像、レポートテーマの決定
12	7/1	金	4	山下知子	中講義室1	キャリアデザイン②　描いた将来像についての文献検索
13	7/18	月	3	山下知子	小講義室2	キャリアデザイン③　発表に向けてレジュメの作成
14	7/22	金	4	山下知子	中講義室2	キャリアデザイン④　発表に向けてスライドおよび原稿の作成
15	7/29	金	4	山下知子	中講義室2	キャリアデザイン⑤（60分）　スライドを用いて発表手紙の基本・最終課題の説明（30分）社会人基礎力自己チェック

成績評価方法・基準		授業への参加状況、レポート等を総合して評価する。 学長への手紙30%　＋　その他70%　＝　100%
授業外における学習（予習・復習）		グループワークが中心となるため、メンバー同士の学習内容がそろうように自主的に予習・復習を行い、自己の不足の部分は補っていくこと。 予習・復習には概ね60分以上必要である。
教科書 ・参考文献等	教科書	本田健『20代にとって大切な17のこと』（きずな出版、2021）ISBN：9784866631349
	参考書	吉原恵子ほか『スタディスキルズ・トレーニング－大学で学ぶための25のスキル－』（実務出版、2017）ISBN：9784407340617
	その他	
連絡先・オフィスアワー		連絡先：研究室19 メールアドレス：t-yamashita@jhsu.ac.jp オフィスアワー：木曜日　16：40～18：10
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。

科目コード	22-11118
授業科目名	基礎ゼミ 6
配当年次	1学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	演習
担当教員	上本野 唱子、今井 充子、松井 貴子、工藤 久美子
実務家教員	看護職：上本野唱子　今井充子　松井貴子　工藤久美子
授業科目の概要	大学で学ぶためにすべての科目で必要となる基本的な学ぶ力と、社会人としてのもしくは将来、医療の現場で必要とされる態度についての基礎を少人数のグループで学びます。大学で学ぶということは、高校までの学習と異なり、受け身の学習から自主的に学ぶ力を身につけることにあります。自主的な学びに必要な「調べる」、「読む」、「書く」、「まとめる」、「発表する」といった力を、感情や主観に流されずに物事を判断しようとする思考プロセス（クリティカルシンキング）を使い身につけることを目指します。
授業の到達目標	1.テーマや事象に沿って調べることができる。 2.文章を読み、内容をまとめて、記述することができる。 3.プレゼンテーション技法を身につける。 4.クリティカル・シンキングを身につける。 5.自己のキャリアをデザインできる。 6.社会人としてもしくは医療現場で必要とされる態度の基礎を身につける。
特に関連する科目	本学教育課程における科目すべてに関連する。
授業の具体的な進め方	講義と演習を中心とした授業を展開する。演習は、各自の人間性を高めるとともに看護職としての資質の向上を図るように進める。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/8	金	4	上本野唱子 松井貴子 重石真宏	講義室4	大学での学習、自己学習、Google（G-mail、Classroom、カレンダー）を活用した学習方法 社会人基礎力とは 学生としての責任　社会人としての責任　自由とは 医療職者として身につける態度とは 社会人基礎力自己チェック 授業ガイダンス 授業計画とゼミ配置　ゼミ担当教員紹介、看護学科4年間の学習の概要 ポートフォーリオの活用方法
2	4/15	金	4	上本野唱子 星野谷優子	講義室4	医療職者としての基本的なマナー　服装・化粧方法・立ち居振る舞い　接遇時のマナー
3	4/22	金	4	今井充子 三枝弘	講義室4	メールのやりとりの基本文献検索および文献の引用方法
4	4/29	金	4	工藤久美子　他	中講義室1	大学生活のリスクやトラブル①（3G合同）　3人1組で1項目を担当
5	5/13	金	4	工藤久美子　他	中講義室1	大学生活のリスクやトラブル②（3G合同）　スライドを使用した発表
6	5/27	金	4	工藤久美子　他	中講義室1	ディベート①（6G合同）　ディベートの方法　テーマおよび役割の決定、ディベート準備
7	6/3	金	3	工藤久美子　他	中講義室1	ディベート②（6G合同）　ディベート第1試合
8	6/3	金	4	工藤久美子　他	中講義室1	ディベート③（6G合同）　ディベート第2試合　ディベート第3試合
9	6/10	金	4	工藤久美子	小講義室1	文章の要約①　『20代にとって大切な17のこと』の要約
10	6/17	金	4	工藤久美子	小講義室1	文章の要約②　要約の発表
11	6/24	金	4	上本野晶子	講義室4	「看護師として働く」とは（60分）キャリアデザイン①（30分）　自己の将来像、レポートテーマの決定
12	7/1	金	4	工藤久美子	小講義室1	キャリアデザイン②　描いた将来像についての文献検索
13	7/18	月	3	工藤久美子	小講義室1	キャリアデザイン③　発表に向けてレジュメの作成
14	7/22	金	4	工藤久美子	小講義室1	キャリアデザイン④　発表に向けてスライドおよび原稿の作成
15	7/29	金	4	工藤久美子	小講義室1	キャリアデザイン⑤（60分）　スライドを用いて発表手紙の基本・最終課題の説明（30分）社会人基礎力自己チェック

成績評価方法・基準		授業への参加状況、レポート等を総合して評価する。 学長への手紙30%　＋　その他70%　＝　100%
授業外における学習（予習・復習）		グループワークが中心となるため、メンバー同士の学習内容がそろうように自主的に予習・復習を行い、自己の不足の部分は補っていくこと。 予習・復習には概ね60分以上必要である。
教科書・参考文献等	教科書	本田健『20代にとって大切な17のこと』（きずな出版、2021）ISBN：9784866631349
	参考書	吉原恵子ほか『スタディスキルズ・トレーニング－大学で学ぶための25のスキル－』（実務出版、2017）ISBN：9784407340617
	その他	
連絡先・オフィスアワー		連絡先：研究室18 メールアドレス：k-kudo@jhsu.ac.jp オフィスアワー：月曜日　09：00～17：00
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。

科目コード	22-11118
授業科目名	基礎ゼミ 7
配当年次	1学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	演習
担当教員	上本野 唱子、今井 充子、松井 貴子、齊藤 敦子
実務家教員	看護職：上本野唱子　今井充子　齊藤敦子
授業科目の概要	大学で学ぶためにすべての科目で必要となる基本的な学ぶ力と、社会人としてのもしくは将来、医療の現場で必要とされる態度についての基礎を少人数のグループで学びます。大学で学ぶということは、高校までの学習と異なり、受け身の学習から自主的に学ぶ力を身につけることにあります。自主的な学びに必要な「調べる」、「読む」、「書く」、「まとめる」、「発表する」といった力を、感情や主観に流されずに物事を判断しようとする思考プロセス（クリティカルシンキング）を使い身につけることを目指します。
授業の到達目標	1.テーマや事象に沿って調べることができる。 2.文章を読み、内容をまとめて、記述することができる。 3.プレゼンテーション技法を身につける。 4.クリティカル・シンキングを身につける。 5.自己のキャリアをデザインできる。 6.社会人としてもしくは医療現場で必要とされる態度の基礎を身につける。
特に関連する科目	本学教育課程における科目すべてに関連する。
授業の具体的な進め方	講義と演習を中心とした授業を展開する。演習は、各自の人間性を高めるとともに看護職としての資質の向上を図るように進める。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/8	金	4	上本野唱子 松井貴子 重石真宏	講義室4	大学での学習、自己学習、Google（G-mail、Classroom、カレンダー）を活用した学習方法 社会人基礎力とは 学生としての責任　社会人としての責任　自由とは 医療職者として身につける態度とは 社会人基礎力自己チェック 授業ガイダンス 授業計画とゼミ配置　ゼミ担当教員紹介、看護学科4年間の学習の概要 ポートフォーリオの活用方法
2	4/15	金	4	上本野唱子 星野谷優子	講義室4	医療職者としての基本的なマナー　服装・化粧方法・立ち居振る舞い　接遇時のマナー
3	4/22	金	4	今井充子 三枝弘	講義室4	メールのやりとりの基本文献検索および文献の引用方法
4	4/29	金	1	齊藤敦子	中講義室1	大学生活のリスクやトラブル①（3G合同）　3人1組で1項目を担当
5	5/13	金	1	齊藤敦子	中講義室1	大学生活のリスクやトラブル②（3G合同）　スライドを使用した発表
6	5/27	金	1	齊藤敦子	中講義室1	ディベート①（3G合同）　ディベートの方法　テーマおよび役割の決定、ディベート準備
7	6/3	金	1	齊藤敦子	中講義室1	ディベート②（3G合同）　ディベート第1試合
8	6/3	金	2	齊藤敦子	中講義室1	ディベート③（3G合同）　ディベート第2試合　ディベート第3試合
9	6/10	金	1	齊藤敦子	中講義室1	文章の要約①　『20代にとって大切な17のこと』の要約
10	6/17	金	1	齊藤敦子	中講義室1	文章の要約②　要約の発表
11	6/24	金	4	上本野唱子　他		「看護師として働く」とは（60分）キャリアデザイン①（30分）　自己の将来像、レポートテーマの決定
12	7/1	金	1	齊藤敦子	中講義室1	キャリアデザイン②　描いた将来像についての文献検索
13	7/21	木	2	齊藤敦子	中講義室1	キャリアデザイン③　発表に向けてレジュメの作成
14	7/22	金	1	齊藤敦子	中講義室1	キャリアデザイン④　発表に向けてスライドおよび原稿の作成
15	7/29	金	1	齊藤敦子	中講義室1	キャリアデザイン⑤（60分）　スライドを用いて発表手紙の基本・最終課題の説明（30分）社会人基礎力自己チェック

成績評価方法・基準		授業への参加状況、レポート等を総合して評価する。 学長への手紙30%　＋　その他70%　＝　100%
授業外における学習（予習・復習）		グループワークが中心となるため、メンバー同士の学習内容がそろうように自主的に予習・復習を行い、自己の不足の部分は補っていくこと。 予習・復習には概ね60分以上必要である。
教科書 ・参考文献等	教科書	本田健『20代にとって大切な17のこと』（きずな出版、2021）ISBN：9784866631349
	参考書	吉原恵子ほか『スタディスキルズ・トレーニング－大学で学ぶための25のスキル－』（実務出版、2017）ISBN：9784407340617
	その他	
連絡先・オフィスアワー		教員　齊藤敦子 連絡先：研究室20 メールアドレス：at-saitou@jhsu.ac.jp オフィスアワー：水曜日13：00～16：00
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。

科目コード	22-11118
授業科目名	基礎ゼミ 8
配当年次	1学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	演習
担当教員	上本野 唱子、今井 充子、松井 貴子、増野 章子
実務家教員	看護職：上本野唱子　今井充子　松井貴子　増野 章子
授業科目の概要	大学で学ぶためにすべての科目で必要となる基本的な学ぶ力と、社会人としてのもしくは将来、医療の現場で必要とされる態度についての基礎を少人数のグループで学びます。大学で学ぶということは、高校までの学習と異なり、受け身の学習から自主的に学ぶ力を身につけることにあります。自主的な学びに必要な「調べる」、「読む」、「書く」、「まとめる」、「発表する」といった力を、感情や主観に流されずに物事を判断しようとする思考プロセス（クリティカルシンキング）を使い身につけることを目指します。
授業の到達目標	1.テーマや事象に沿って調べることができる。 2.文章を読み、内容をまとめて、記述することができる。 3.プレゼンテーション技法を身につける。 4.クリティカル・シンキングを身につける。 5.自己のキャリアをデザインできる。 6.社会人としてもしくは医療現場で必要とされる態度の基礎を身につける。
特に関連する科目	本学教育課程における科目すべてに関連する。
授業の具体的な進め方	講義と演習を中心とした授業を展開する。演習は、各自の人間性を高めるとともに看護職としての資質の向上を図るように進める。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/8	金	4	上本野唱子 松井貴子 重石真宏	講義室4	大学での学習、自己学習、Google（G-mail、Classroom、カレンダー）を活用した学習方法 社会人基礎力とは 学生としての責任　社会人としての責任　自由とは 医療職者として身につける態度とは 社会人基礎力自己チェック 授業ガイダンス 授業計画とゼミ配置　ゼミ担当教員紹介、看護学科4年間の学習の概要 ポートフォーリオの活用方法
2	4/15	金	4	上本野唱子 星野谷優子	講義室4	医療職者としての基本的なマナー　服装・化粧方法・立ち居振る舞い　接遇時のマナー
3	4/22	金	4	今井充子 三枝弘	講義室4	メールのやりとりの基本文献検索および文献の引用方法
4	4/29	金	1	増野章子　他	中講義室1	大学生活のリスクやトラブル①（3G合同）　3人1組で1項目を担当
5	5/13	金	1	増野章子　他	中講義室1	大学生活のリスクやトラブル②（3G合同）　スライドを使用した発表
6	5/27	金	1	増野章子　他	中講義室1	ディベート①（3G合同）　ディベートの方法　テーマおよび役割の決定、ディベート準備
7	6/3	金	1	増野章子　他	中講義室1	ディベート②（3G合同）　ディベート第1試合
8	6/3	金	2	増野章子　他	中講義室1	ディベート③（3G合同）　ディベート第2試合　ディベート第3試合
9	6/10	金	1	増野章子	中講義室2	文章の要約①　『20代にとって大切な17のこと』の要約
10	6/17	金	1	増野章子	中講義室2	文章の要約②　要約の発表
11	6/24	金	4	上本野唱子	講義室4	「看護師として働く」とは（60分）キャリアデザイン①（30分）　自己の将来像、レポートテーマの決定
12	7/1	金	1	増野章子	中講義室2	キャリアデザイン②　描いた将来像についての文献検索
13	7/21	木	2	増野章子	中講義室2	キャリアデザイン③　発表に向けてレジュメの作成
14	7/22	金	1	増野章子	中講義室2	キャリアデザイン④　発表に向けてスライドおよび原稿の作成
15	7/29	金	1	増野章子	中講義室2	キャリアデザイン⑤（60分）　スライドを用いて発表手紙の基本・最終課題の説明（30分）社会人基礎力自己チェック

成績評価方法・基準		授業への参加状況、レポート等を総合して評価する。 学長への手紙30%　＋　その他70%　＝　100%
授業外における学習（予習・復習）		グループワークが中心となるため、メンバー同士の学習内容がそろうように自主的に予習・復習を行い、自己の不足の部分は補っていくこと。 予習・復習には概ね60分以上必要である。
教科書 ・参考文献等	教科書	本田健『20代にとって大切な17のこと』（きずな出版、2021）ISBN：9784866631349
	参考書	吉原恵子ほか『スタディスキルズ・トレーニング－大学で学ぶための25のスキル－』（実務出版、2017）ISBN：9784407340617
	その他	
連絡先・オフィスアワー		連絡先：増野 章子（研究室18） メールアドレス：a-mashino@jhsu.ac.jp オフィスアワー：水曜日 13:00～16:00
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。

科目コード	22-11118
授業科目名	基礎ゼミ　9
配当年次	1学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	演習
担当教員	上本野 唱子、今井 充子、松井 貴子、星野谷 優子
実務家教員	看護職：上本野唱子　今井充子　松井貴子　星野谷優子
授業科目の概要	大学で学ぶためにすべての科目で必要となる基本的な学ぶ力と、社会人としてのもしくは将来、医療の現場で必要とされる態度についての基礎を少人数のグループで学びます。大学で学ぶということは、高校までの学習と異なり、受け身の学習から自主的に学ぶ力を身につけることにあります。自主的な学びに必要な「調べる」、「読む」、「書く」、「まとめる」、「発表する」といった力を、感情や主観に流されずに物事を判断しようとする思考プロセス（クリティカルシンキング）を使い身につけることを目指します。
授業の到達目標	1.テーマや事象に沿って調べることができる。 2.文章を読み、内容をまとめて、記述することができる。 3.プレゼンテーション技法を身につける。 4.クリティカル・シンキングを身につける。 5.自己のキャリアをデザインできる。 6.社会人としてもしくは医療現場で必要とされる態度の基礎を身につける。
特に関連する科目	本学教育課程における科目すべてに関連する。
授業の具体的な進め方	講義と演習を中心とした授業を展開する。演習は、各自の人間性を高めるとともに看護職としての資質の向上を図るように進める。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/8	金	4	上本野唱子 松井貴子 重石真宏	講義室4	大学での学習、自己学習、Google（G-mail、Classroom、カレンダー）を活用した学習方法 社会人基礎力とは 学生としての責任　社会人としての責任　自由とは 医療職者として身につける態度とは 社会人基礎力自己チェック 授業ガイダンス 授業計画とゼミ配置　ゼミ担当教員紹介、看護学科4年間の学習の概要 ポートフォーリオの活用方法
2	4/15	金	4	上本野唱子 星野谷優子	講義室4	医療職者としての基本的なマナー　服装・化粧方法・立ち居振る舞い　接遇時のマナー
3	4/22	金	4	今井充子 三枝弘	講義室4	メールのやりとりの基本文献検索および文献の引用方法
4	4/29	金	1	星野谷優子	中講義室1	大学生活のリスクやトラブル①（3G合同）　3人1組で1項目を担当
5	5/13	金	1	星野谷優子	中講義室1	大学生活のリスクやトラブル②（3G合同）　スライドを使用した発表
6	5/27	金	1	星野谷優子	中講義室1	ディベート①（3G合同）　ディベートの方法　テーマおよび役割の決定、ディベート準備
7	6/3	金	1	星野谷優子	中講義室1	ディベート②（3G合同）　ディベート第1試合
8	6/3	金	2	星野谷優子	中講義室1	ディベート③（3G合同）　ディベート第2試合　ディベート第3試合
9	6/10	金	1	星野谷優子	小講義室1	文章の要約①　『20代にとって大切な17のこと』の要約
10	6/17	金	1	星野谷優子	小講義室1	文章の要約②　要約の発表
11	6/24	金	4	上本野唱子　他	講義室4	「看護師として働く」とは（60分）キャリアデザイン①（30分）　自己の将来像、レポートテーマの決定
12	7/1	金	1	星野谷優子	小講義室1	キャリアデザイン②　描いた将来像についての文献検索
13	7/18	月	1	星野谷優子	小講義室1	キャリアデザイン③　発表に向けてレジュメの作成
14	7/22	金	1	星野谷優子	小講義室1	キャリアデザイン④　発表に向けてスライドおよび原稿の作成
15	7/29	金	1	星野谷優子	小講義室1	キャリアデザイン⑤（60分）　スライドを用いて発表手紙の基本・最終課題の説明（30分）社会人基礎力自己チェック

成績評価方法・基準		授業への参加状況、レポート等を総合して評価する。 学長への手紙30%　＋　その他70%　＝　100%
授業外における学習（予習・復習）		グループワークが中心となるため、メンバー同士の学習内容がそろうように自主的に予習・復習を行い、自己の不足の部分は補っていくこと。 予習・復習には概ね60分以上必要である。
教科書・参考文献等	教科書	本田健『20代にとって大切な17のこと』（きずな出版、2021）ISBN：9784866631349
	参考書	吉原恵子ほか『スタディスキルズ・トレーニング－大学で学ぶための25のスキルー』（実務出版、2017）ISBN：9784407340617
	その他	
連絡先・オフィスアワー		連絡先：研究室7 メールアドレス：y-hoshinoya@jhsu.ac.jp オフィスアワー：金曜日　11：10～12：40
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。

科目コード	22-11118
授業科目名	基礎ゼミ 10
配当年次	1学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	演習
担当教員	上本野 唱子、今井 充子、松井 貴子、菊地 淳
実務家教員	看護職：上本野唱子　今井充子　松井貴子　菊地　淳
授業科目の概要	大学で学ぶためにすべての科目で必要となる基本的な学ぶ力と、社会人としてのもしくは将来、医療の現場で必要とされる態度についての基礎を少人数のグループで学びます。大学で学ぶということは、高校までの学習と異なり、受け身の学習から自主的に学ぶ力を身につけることにあります。自主的な学びに必要な「調べる」、「読む」、「書く」、「まとめる」、「発表する」といった力を、感情や主観に流されずに物事を判断しようとする思考プロセス（クリティカルシンキング）を使い身につけることを目指します。
授業の到達目標	1.テーマや事象に沿って調べることができる。 2.文章を読み、内容をまとめて、記述することができる。 3.プレゼンテーション技法を身につける。 4.クリティカル・シンキングを身につける。 5.自己のキャリアをデザインできる。 6.社会人としてもしくは医療現場で必要とされる態度の基礎を身につける。
特に関連する科目	本学教育課程における科目すべてに関連する。
授業の具体的な進め方	講義と演習を中心とした授業を展開する。演習は、各自の人間性を高めるとともに看護職としての資質の向上を図るように進める。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/8	金	4	上本野唱子 松井貴子 重石真宏	講義室4	大学での学習、自己学習、Google（G-mail、Classroom、カレンダー）を活用した学習方法 社会人基礎力とは 学生としての責任　社会人としての責任　自由とは 医療職者として身につける態度とは 社会人基礎力自己チェック 授業ガイダンス 授業計画とゼミ配置　ゼミ担当教員紹介、看護学科4年間の学習の概要 ポートフォーリオの活用方法
2	4/15	金	4	上本野唱子 星野谷優子	講義室4	医療職者としての基本的なマナー　服装・化粧方法・立ち居振る舞い　接遇時のマナー
3	4/22	金	4	今井充子 三枝弘	講義室4	メールのやりとりの基本文献検索および文献の引用方法
4	4/29	金	2	菊地　淳	中講義室1	大学生活のリスクやトラブル①（3G合同）　3人1組で1項目を担当
5	5/13	金	2	菊地　淳	中講義室1	大学生活のリスクやトラブル②（3G合同）　スライドを使用した発表
6	5/27	金	2	菊地　淳	中講義室1	ディベート①（3G合同）　ディベートの方法　テーマおよび役割の決定、ディベート準備
7	6/3	金	1	菊地　淳	中講義室1	ディベート②（3G合同）　ディベート第1試合
8	6/3	金	2	菊地　淳	中講義室1	ディベート③（3G合同）　ディベート第2試合　ディベート第3試合
9	6/10	金	2	菊地　淳	中講義室1	文章の要約①　『20代にとって大切な17のこと』の要約
10	6/17	金	2	菊地　淳	中講義室1	文章の要約②　要約の発表
11	6/24	金	4	上本野唱子　他	講義室4	「看護師として働く」とは（60分）キャリアデザイン①（30分）　自己の将来像、レポートテーマの決定
12	7/1	金	2	菊地　淳	中講義室1	キャリアデザイン②　描いた将来像についての文献検索
13	7/19	火	3	菊地　淳	中講義室1	キャリアデザイン③　発表に向けてレジュメの作成
14	7/22	金	2	菊地　淳	中講義室1	キャリアデザイン④　発表に向けてスライドおよび原稿の作成
15	7/29	金	2	菊地　淳	中講義室1	キャリアデザイン⑤（60分）　スライドを用いて発表手紙の基本・最終課題の説明（30分）社会人基礎力自己チェック

成績評価方法・基準		授業への参加状況、レポート等を総合して評価する。 学長への手紙30%　＋　その他70%　＝　100%
授業外における学習（予習・復習）		グループワークが中心となるため、メンバー同士の学習内容がそろうように自主的に予習・復習を行い、自己の不足の部分は補っていくこと。 予習・復習には概ね60分以上必要である。
教科書 ・参考文献等	教科書	本田健『20代にとって大切な17のこと』（きずな出版、2021）ISBN：9784866631349
	参考書	吉原恵子ほか『スタディスキルズ・トレーニング－大学で学ぶための25のスキル－』（実務出版、2017）ISBN：9784407340617
	その他	
連絡先・オフィスアワー		連絡先：研究室9 メールアドレス：j-kikuchi@jhsu.ac.jp オフィスアワー：火～金曜日　13：30～19：00
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。

科目コード	22-11118
授業科目名	基礎ゼミ 11
配当年次	1学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	演習
担当教員	上本野 唱子、今井 充子、松井 貴子、寺井 佳奈江
実務家教員	看護職：上本野唱子　今井充子　松井貴子　寺井佳奈江
授業科目の概要	大学で学ぶためにすべての科目で必要となる基本的な学ぶ力と、社会人としてのもしくは将来、医療の現場で必要とされる態度についての基礎を少人数のグループで学びます。大学で学ぶということは、高校までの学習と異なり、受け身の学習から自主的に学ぶ力を身につけることにあります。自主的な学びに必要な「調べる」、「読む」、「書く」、「まとめる」、「発表する」といった力を、感情や主観に流されずに物事を判断しようとする思考プロセス（クリティカルシンキング）を使い身につけることを目指します。
授業の到達目標	1.テーマや事象に沿って調べることができる。 2.文章を読み、内容をまとめて、記述することができる。 3.プレゼンテーション技法を身につける。 4.クリティカル・シンキングを身につける。 5.自己のキャリアをデザインできる。 6.社会人としてもしくは医療現場で必要とされる態度の基礎を身につける。
特に関連する科目	本学教育課程における科目すべてに関連する。
授業の具体的な進め方	講義と演習を中心とした授業を展開する。演習は、各自の人間性を高めるとともに看護職としての資質の向上を図るように進める。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/8	金	4	上本野唱子 松井貴子 重石真宏	講義室4	大学での学習、自己学習、Google（G-mail、Classroom、カレンダー）を活用した学習方法 社会人基礎力とは 学生としての責任　社会人としての責任　自由とは 医療職者として身につける態度とは 社会人基礎力自己チェック 授業ガイダンス 授業計画とゼミ配置　ゼミ担当教員紹介、看護学科4年間の学習の概要 ポートフォーリオの活用方法
2	4/15	金	4	上本野唱子 星野谷優子	講義室4	医療職者としての基本的なマナー　服装・化粧方法・立ち居振る舞い　接遇時のマナー
3	4/22	金	4	今井充子 三枝弘	講義室4	メールのやりとりの基本文献検索および文献の引用方法
4	4/29	金	2	寺井佳奈江	中講義室1	大学生活のリスクやトラブル①（3G合同）　3人1組で1項目を担当
5	5/13	金	2	寺井佳奈江	中講義室1	大学生活のリスクやトラブル②（3G合同）　スライドを使用した発表
6	5/27	金	2	寺井佳奈江	中講義室1	ディベート①（3G合同）　ディベートの方法　テーマおよび役割の決定、ディベート準備
7	6/3	金	2	寺井佳奈江	中講義室1	ディベート②（3G合同）　ディベート第1試合
8	6/3	金	2	寺井佳奈江	中講義室1	ディベート③（3G合同）　ディベート第2試合　ディベート第3試合
9	6/10	金	2	寺井佳奈江	中講義室2	文章の要約①　『20代にとって大切な17のこと』の要約
10	6/17	金	2	寺井佳奈江	中講義室2	文章の要約②　要約の発表
11	6/24	金	4	上本野唱子　他	講義室4	「看護師として働く」とは（60分）キャリアデザイン①（30分）　自己の将来像、レポートテーマの決定
12	7/1	金	2	寺井佳奈江	中講義室2	キャリアデザイン②　描いた将来像についての文献検索
13	7/18	月	2	寺井佳奈江	小講義室1	キャリアデザイン③　発表に向けてレジュメの作成
14	7/22	金	2	寺井佳奈江	中講義室2	キャリアデザイン④　発表に向けてスライドおよび原稿の作成
15	7/29	金	2	寺井佳奈江	中講義室2	キャリアデザイン⑤（60分）　スライドを用いて発表手紙の基本・最終課題の説明（30分）社会人基礎力自己チェック

成績評価方法・基準		授業への参加状況、レポート等を総合して評価する。 学長への手紙30%　＋　その他70%　＝　100%
授業外における学習（予習・復習）		グループワークが中心となるため、メンバー同士の学習内容がそろうように自主的に予習・復習を行い、自己の不足の部分は補っていくこと。 予習・復習には概ね60分以上必要である。
教科書・参考文献等	教科書	本田健『20代にとって大切な17のこと』（きずな出版、2021）ISBN：9784866631349
	参考書	吉原恵子ほか『スタディスキルズ・トレーニング－大学で学ぶための25のスキル－』（実務出版、2017）ISBN：9784407340617
	その他	
連絡先・オフィスアワー		連絡先：研究室8 メールアドレス：k-terai@jhsu.ac.jp オフィスアワー：メールにてご相談ください
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。

科目コード	22-11118
授業科目名	基礎ゼミ 12
配当年次	1学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	演習
担当教員	上本野 唱子、今井 充子、松井 貴子、田中勇気
実務家教員	看護職：上本野唱子　今井充子　松井貴子　田中勇気
授業科目の概要	大学で学ぶためにすべての科目で必要となる基本的な学ぶ力と、社会人としてのもしくは将来、医療の現場で必要とされる態度についての基礎を少人数のグループで学びます。大学で学ぶということは、高校までの学習と異なり、受け身の学習から自主的に学ぶ力を身につけることにあります。自主的な学びに必要な「調べる」、「読む」、「書く」、「まとめる」、「発表する」といった力を、感情や主観に流されずに物事を判断しようとする思考プロセス（クリティカルシンキング）を使い身につけることを目指します。
授業の到達目標	1.テーマや事象に沿って調べることができる。 2.文章を読み、内容をまとめて、記述することができる。 3.プレゼンテーション技法を身につける。 4.クリティカル・シンキングを身につける。 5.自己のキャリアをデザインできる。 6.社会人としてもしくは医療現場で必要とされる態度の基礎を身につける。
特に関連する科目	本学教育課程における科目すべてに関連する。
授業の具体的な進め方	講義と演習を中心とした授業を展開する。演習は、各自の人間性を高めるとともに看護職としての資質の向上を図るように進める。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/8	金	4	上本野唱子 松井貴子 重石真宏	講義室4	大学での学習、自己学習、Google（G-mail、Classroom、カレンダー）を活用した学習方法 社会人基礎力とは 学生としての責任　社会人としての責任　自由とは 医療職者として身につける態度とは 社会人基礎力自己チェック 授業ガイダンス 授業計画とゼミ配置　ゼミ担当教員紹介、看護学科4年間の学習の概要 ポートフォーリオの活用方法
2	4/15	金	4	上本野唱子 星野谷優子	講義室4	医療職者としての基本的なマナー　服装・化粧方法・立ち居振る舞い　接遇時のマナー
3	4/22	金	4	今井充子 三枝弘	講義室4	メールのやりとりの基本文献検索および文献の引用方法
4	4/29	金	2	上本野唱子	中講義室1	大学生活のリスクやトラブル①（3G合同）　3人1組で1項目を担当
5	5/13	金	2	田中勇気	中講義室1	大学生活のリスクやトラブル②（3G合同）　スライドを使用した発表
6	5/27	金	2	田中勇気	中講義室1	ディベート①（3G合同）　ディベートの方法　テーマおよび役割の決定、ディベート準備
7	6/3	金	1	田中勇気	中講義室2	ディベート②（3G合同）　ディベート第1試合
8	6/3	金	2	田中勇気	中講義室2	ディベート③（3G合同）　ディベート第2試合　ディベート第3試合
9	6/10	金	2	田中勇気	小講義室1	文章の要約①　『20代にとって大切な17のこと』の要約
10	6/17	金	2	田中勇気	小講義室1	文章の要約②　要約の発表
11	6/24	金	4	上本野唱子　他	講義室4	「看護師として働く」とは（60分）キャリアデザイン①（30分）　自己の将来像、レポートテーマの決定
12	7/1	金	2	田中勇気	小講義室1	キャリアデザイン②　描いた将来像についての文献検索
13	7/21	木	2	田中勇気	小講義室1	キャリアデザイン③　発表に向けてレジュメの作成
14	7/22	金	2	田中勇気	小講義室1	キャリアデザイン④　発表に向けてスライドおよび原稿の作成
15	7/29	金	2	田中勇気	小講義室1	キャリアデザイン⑤（60分）　スライドを用いて発表手紙の基本・最終課題の説明（30分）社会人基礎力自己チェック

成績評価方法・基準		授業への参加状況、レポート等を総合して評価する。 学長への手紙30%　＋　その他70%　＝　100%
授業外における学習（予習・復習）		グループワークが中心となるため、メンバー同士の学習内容がそろうように自主的に予習・復習を行い、自己の不足の部分は補っていくこと。 予習・復習には概ね60分以上必要である。
教科書 ・参考文献等	教科書	本田健『20代にとって大切な17のこと』（きずな出版、2021）ISBN：9784866631349
	参考書	吉原恵子ほか『スタディスキルズ・トレーニング－大学で学ぶための25のスキル－』（実務出版、2017）ISBN：9784407340617
	その他	
連絡先・オフィスアワー		連絡先：研究室　5 メールアドレスy-tanaka@jhsu.ac.jp オフィスアワー：月曜日　16：45～17：30
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。

科目コード	22-11119
授業科目名	囲碁の文化と思考力開発
配当年次	1学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	選択
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	演習
担当教員	小松 英子
実務家教員	棋士：小松 英子
授業科目の概要	囲碁は日本の伝統文化の一つで、日本の歴史・文化に深く根付いている。囲碁に基く格言も多い。囲碁の上達には緻密な作戦の立て方、相手の出方に対応した柔軟な戦略、細心のゲーム運び等が要求される。このような能力は将来、社会人として活躍する上で、多くの応用が可能であり、一生を通してのカになると思われる。囲碁は理論に基づくゲームであり、構想力、思考力、創造力等の総合的な力を必要とする。また、その作戦は人生を設計する際の方法論としても参考になる。本講義では囲碁の歴史・文化を学び、実践を通して、思考力・大局観、人生観等を身につけて行く
授業の到達目標	1. 囲碁の基本マナーと基本ルールを身に付ける。 2. 19路盤で打てる。 3. 基本的な攻め方、守り方を身に付ける 4. 日本文化としての囲碁の歴史や、現代の内外の囲碁界の実情について理解し、思考力・大局観、人生観を身につける。
特に関連する科目	特になし
授業の具体的な進め方	この授業では、囲碁を全く知らない、もしくはほとんど打ったことがない初心者を対象に、日本棋院所属のプロ棋士が9路盤を使って初歩からやさしく解説します。 履修生同士の実践（対局）に十分な時間をかけ、個別に丁寧な解説を行いますので、実力を向上することができます。 指導者は日本棋院所属のプロ四段の棋士です。 日本文化としての囲碁の歴史や、現代の内外の囲碁界の実情についても説明し、思考力・大局観、人生観を身につけられるようにします。 9路盤からはじめて19路盤で打つまで実践を基本として入門から基礎まで指導します。 なお、初級レベル、中級レベルの方は、担当講師（プロ棋士）が個別に指導することも取り入れます。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	9/21	水	4	小松英子	中講義室1	ガイダンス（囲碁の基本マナーと基本ルール）、礼儀作法
2	9/21	水	5	小松英子	中講義室1	囲めば取れること、着手禁止点・コウのルール、陣地の囲い方
3	9/28	水	4	小松英子	中講義室1	9路盤で囲碁を打つ （講義と並行して実践練習）① 基本ルール
4	9/28	水	5	小松英子	中講義室1	9路盤で囲碁を打つ （講義と並行して実践練習）② 基本ルール
5	10/5	水	4	小松英子	中講義室1	9路盤で囲碁を打つ（シチョウ・ナカデ・石の連絡と切断、陣地の戸締りなど）
6	10/5	水	5	小松英子	中講義室1	9路盤で囲碁を打つ石を取るコツ（相手を碁盤の端に追い込む・二線のカミトリ ・ゲタ・打って返し ・両アタリなど）
7	10/12	水	4	小松英子	中講義室1	9路盤での攻め方、守り方①ナナメにご用心！（キリ）、入れてください、入れてあげません（ヨセ）
8	10/12	水	5	小松英子	中講義室1	9路盤での攻め方、守り方② 石がくっついたらご挨拶（ツケにはハネorノビ） 離して打ってきたら離して打つ、など
9	10/19	水	4	小松英子	中講義室1	19路盤で囲碁を打つ（講義と対局）①～⑦ 効率のよい陣地の囲い方（隅・辺・中央の違いなど） 布石の基本（カカリ・シマリ・隅の一間トビ・ケイマ・三々・辺の二間など）
10	10/19	水	5	小松英子	中講義室1	19路盤で囲碁を打つ（講義と対局）①～⑦ 効率のよい陣地の囲い方（隅・辺・中央の違いなど） 布石の基本（カカリ・シマリ・隅の一間トビ・ケイマ・三々・辺の二間など）
11	10/26	水	4	小松英子	中講義室1	19路盤で囲碁を打つ（講義と対局）①～⑦ 効率のよい陣地の囲い方（隅・辺・中央の違いなど） 布石の基本（カカリ・シマリ・隅の一間トビ・ケイマ・三々・辺の二間など）
12	10/26	水	5	小松英子	中講義室1	19路盤で囲碁を打つ（講義と対局）①～⑦ 効率のよい陣地の囲い方（隅・辺・中央の違いなど） 布石の基本（カカリ・シマリ・隅の一間トビ・ケイマ・三々・辺の二間など）
13	11/2	水	4	小松英子	中講義室1	19路盤で囲碁を打つ（講義と対局）①～⑦ 効率のよい陣地の囲い方（隅・辺・中央の違いなど） 布石の基本（カカリ・シマリ・隅の一間トビ・ケイマ・三々・辺の二間など）
14	11/2	水	5	小松英子	中講義室1	19路盤で囲碁を打つ（講義と対局）①～⑦ 効率のよい陣地の囲い方（隅・辺・中央の違いなど） 布石の基本（カカリ・シマリ・隅の一間トビ・ケイマ・三々・辺の二間など）
15	11/9	水	4	小松英子	中講義室1	まとめ

成績評価方法・基準		演習での基本ルール、攻め方・守り方の習得度 70% 定期試験（筆記）30%
授業外における学習（予習・復習）		授業内で学んだ事項（ルールや攻め方、守り方）を友だち同士で対局してください。
教科書・参考文献等	教科書	基本がわかる囲碁トレーニング 1 入門編 （日本棋院） ISBN 9784818205130 基本がわかる囲碁トレーニング 2 基礎編 （日本棋院） ISBN 9784818205147
	参考書	
	その他	
連絡先・オフィスアワー		非常勤講師控室 質問等は授業の前後に直接担当教員に。または教務課にお知らせください。
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 棋士としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。

科目コード	22-11120
授業科目名	生物
配当年次	1学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	15時間
授業形態	講義
担当教員	今西 健一
実務家教員	
授業科目の概要	地球上の生き物に共通に見られる生命現象を学習することにより、人間の生命現象を理解することを目的としている。本講義では、人体の機能を理解するとともに、生命の起源と連続性を学び、生物学的思考を身につける。細胞の構造、生体を構成している物質、生体維持のエネルギー、各器官の発生とその働き、個体の調節、刺激が伝達される仕組み、遺伝情報の維持及び伝達、人と環境について学習する。後に学ぶ看護学の学習に必要な基礎知識を深める。
授業の到達目標	1. 生物に共通する細胞、組織、器官を理解する。 2. 物質代謝とエネルギー代謝、身体の恒常性の維持を理解する。 3. 生殖、発生、遺伝について理解する。 4. ヒトの体を中心に、ヒトの特性を理解する。
特に関連する科目	人体の構造と機能学　生化学　微生物学
授業の具体的な進め方	教科書に即して、スライドを使用して講義を行う。参考資料の内、可能なものはタブレットで見れます。各講義後に内容に関する課題をアップし、評価します。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/13	水	3	今西健一	講義室4	生物学とはどのような学問か、生命とはなにか、生物とはどのようなものか、細胞とはどのようなものか
2	4/20	水	3	今西健一	講義室4	体をつくる分子にはどのようなものがあるか
3	4/27	水	3	今西健一	講義室4	体の中で物質はどのように変化するか
4	5/11	水	2	今西健一	講義室4	遺伝子と遺伝はどのように関係しているか
5	5/18	水	3	今西健一	講義室4	ヒトの体はどのようにできているか
6	5/25	水	4	今西健一	講義室4	エネルギーはどのように獲得されるか
7	6/1	水	3	今西健一	講義室4	ヒトはどのように運動するか
8	6/8	水	3	今西健一	講義室4	体の恒常性はどのように維持されるか

成績評価方法・基準		毎回の課題提出(40%)、定期試験(60%)
授業外における学習(予習・復習)		授業計画に即して次回の授業内容について教科書で予習すること。復習後は課題を提出すること。予習・復習には講義ごとに60分以上必要である。
教科書・参考文献等	教科書	八杉貞雄　著『ヒトを理解するための 生物学(改訂版)』(裳華房、2021年)ISBN: 9784785352424
	参考書	齊藤省吾　編集『≪新体系看護学全書 基礎科目≫生物学』(メヂカルフレンド社、2007年)ISBN: 9784839231224
	その他	特になし
連絡先・オフィスアワー		連絡先:研究室3　k-imanishi@jhsu.ac.jp オフィスアワー:講義後およびメールで対応します。
その他		

科目コード	22-11121
授業科目名	化学
配当年次	1学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	15時間
授業形態	講義
担当教員	若月 聡
実務家教員	
授業科目の概要	化学の基礎理論や化学物質と生活とのかかわりについて学習する。人体から選んだテーマに沿って科学的な考え方を伝え、生体で作動しているメカニズムと科学的な基礎と関連性を理解させる。男女の本質を理解するために必要な科学知識等を概説し、細胞の仕組みやたんぱく質とアミノ酸の化学について、脂肪と生体エネルギーの関係や科学的な肥満の根拠について、デオキシリボ核酸(DNA)のイメージや遺伝子について、人類の進化について学習し、基本的な化学を理解する。その他に、後に学ぶ薬理学、医学、生理学、等の学習に必要な基礎知識を学習する。
授業の到達目標	1. 物質の成り立ちを理解しする 2. 物質量の表現を使えるようになる 3. 有機化学の基礎的概念を習得する 4. 2年次以降の専門科目を受講する上での知識を身につける。
特に関連する科目	人体の構造と機能学　生化学　看護学専門科目
授業の具体的な進め方	講義を中心とし、問題演習を行うことで、知識を定着させていく。 テキストを使用するが、単元や学生の理解度に応じて、テキスト記載以外の内容も扱うので、ノートはしっかりとることが基本である。 多くの専門科目に必要となる化学の基礎であり、1回目の講義内容が2回目へ、2回目が3回目へとつながっていく。各自前回の復習をしっかりした上で、講義に臨むことが必要である。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/14	木	3	若月聡	講義室4	身のまわりの化学　身近な物質
2	4/21	木	4	若月聡	遠隔	元素と原子　物質量と化学の単位
3	4/28	木	4	若月聡	遠隔	物質の三態と気体
4	5/12	木	4	若月聡	遠隔	液体・溶液と濃度
5	5/19	木	4	若月聡	遠隔	化学反応　化学平衡
6	5/26	木	4	若月聡	遠隔	原子　分子　イオン　化学結合
7	6/2	木	4	若月聡	遠隔	有機化合物の化学
8	6/9	木	4	若月聡	遠隔	まとめ　（　各回に於ける演習に対する解説を含む　）

成績評価方法・基準		定期試験　70%　　演習(授業時)30%　演習については、授業・各回に於いて実施する。
授業外における学習(予習・復習)		各回の授業に対し、予習45分以上、復習45分以上。 予習においては不明・疑問な事項等を確認しする。 復習においては学習事項を振り返りより深化し、知識体系の定着を図る。
教科書 ・参考文献等	教科書	奈良雅之著 『系統看護学講座　基礎分野　化学(第7版)』 (医学書院、2018)ISBN:9784260031813
	参考書	川端潤著 『ビギナーズ有機化学 第2版』(化学同人、2013)ISBN:9784759815399
	その他	主教材である教科書類を保管する印刷物類を、適宜配布する。
連絡先・オフィスアワー		質問は授業前後または教務課で対応(kyomuns-info@jhsu.ac.jp)します。
その他		

科目コード	22-11122
授業科目名	ボディメカニクス
配当年次	1学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	15時間
授業形態	講義
担当教員	正田 泰基
実務家教員	
授業科目の概要	看護者が患者の抱き起こしや移乗介助時に生じる腰痛や各種の脊柱障害が指摘されている。本科目においては、看護者が直接患者を看護する際に役立つボディメカニズムや看護者の負担軽減のための看護補助用具や機器について知り、看護者自身が障害から身を守る方策について学ぶ。また、ボディメカニズムの知識は保健指導においても役立つ。
授業の到達目標	状況に応じて適切に身体を使えるようになる。より効率的な身体の使い方について、一定の知識を得る。
特に関連する科目	看護学演習、看護学実習
授業の具体的な進め方	講義の合間にワークをはさんだり、次回までの課題を出したりします。ビデオを見てワークをする宿題を出すことがあります。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/14	木	2	正田泰基	講義室4	他の動物と比較した時の人間の身体の特殊性
2	4/21	木	2	正田泰基	講義室4	重心線と背骨、足裏1
3	5/12	木	2	正田泰基	講義室4	重心線と背骨、足裏2
4	5/19	木	2	正田泰基	講義室4	下半身に対する意識の置き方について1
5	5/26	木	2	正田泰基	講義室4	下半身に対する意識の置き方について2
6	6/2	木	2	正田泰基	講義室4	上半身の使い方について1
7	6/16	木	2	正田泰基	講義室4	体幹と呼吸
8	6/23	木	2	正田泰基	講義室4	体幹と呼吸2

成績評価方法・基準		各回の課題によって評価します。
授業外における学習（予習・復習）		復習をしっかりしてください。
教科書・参考文献等	教科書	小川 鑛一著『看護・介護を助ける姿勢と動作』（東京電機大学出版局、2010） ISBN：9784501418601
	参考書	
	その他	当日資料を配布することもあり得ます。
連絡先・オフィスアワー		連絡先：研究室3 メールアドレス：y-masada@jhsu.ac.jp オフィスアワー：月曜日　12：40～13：30
その他		

科目コード	22-11123
授業科目名	生涯発達論
配当年次	1学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	2単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	熊坂 隆行、上本野 唱子、松永 智子、佐藤 安代、工藤 久美子
実務家教員	看護職 :熊坂 隆行、上本野 唱子、松永 智子、佐藤 安代、工藤 久美子
授業科目の概要	人の一生は、生命の始まりから誕生、成長・発達、成熟、穏やかに衰え、やがて死を迎えるというプロセスをたどる。本授業では、人間を発達論的立場から理解することを目指し、胎児期、新生児期、乳児期、幼児期、学童期、思春期、青年期、壮年期、老年期という発達段階における身体的特徴、心理社会的特徴を看護につなげられるように学修する。
授業の到達目標	1. 人間のライフサイクルの特徴を理解する。 2. 人間の成長発達段階と健康生活に影響を与える環境とのかかわりを理解する。 3. 看護の対象としての家族・地域・集団における健康の保持・増進について理解する。
特に関連する科目	人体構造学　人体機能学　心理学　小児看護学概論　母性看護学概論　成人看護学概論　老年看護学概論　ほか各看護専門科目
授業の具体的な進め方	講義形式で構成されている。講義は教科書、レジュメ、配布資料を中心にPower Pointを用いて進めていく。講義・演習の内容の理解を深めるために、課題レポート、テストを行う。 必要に応じて、Google　classroom　を利用した遠隔配信授業を行う場合もある。音声やスライド、動画を見ながら進めてください。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	11/16	水	4	熊坂隆行	講義室2	ガイダンス:科目の位置づけ、関連科目、学習方法 総論:1. 人間の理解、人間存在の意味、人間のライフサイクル
2	11/16	水	5	熊坂隆行	講義室2	総論:2. 統合的損愛としての人間 総論:3. 基本的ニーズと健康の関係 総論:4. 人間の行動の理解 総論:5. 健康問題と環境との影響要因
3	11/30	水	4	上本野唱子	講義室2	Ⅱ. 人の成長発達の特徴と発達課題　1. 生命の誕生
4	11/30	水	5	上本野唱子	講義室2	2. 乳幼児期の成長発達の過程と発達の特徴
5	12/7	水	4	上本野唱子	講義室2	3. 学童期,思春期の成長発達の過程と発達の特徴
6	12/7	水	5	上本野唱子	講義室2	4. 小児期におけるエリクソンの発達課題
7	12/14	水	4	熊坂隆行	講義室2	5. 青年期の成長発達の過程と発達の特徴
8	12/14	水	5	工藤久美子	講義室2	6. 成人期の成長発達の過程と発達の特徴(1)壮年期
9	12/21	水	4	佐藤安代	講義室2	7. 成人期の成長発達の過程と発達の特徴(2)
10	12/21	水	5	佐藤安代	講義室2	8. 更年期障害
11	1/11	水	4	松永智子	講義室2	9. 老年期の発達とその過程
12	1/11	水	5	松永智子	講義室2	10. 老年期の生活と環境との関係
13	1/18	水	4	熊坂隆行	講義室2	11. 看護の対象としての家族・集団　1)家族の考え方
14	1/18	水	5	熊坂隆行	講義室2	2)看護の対象の集団・地域
15	1/20	金	1	熊坂隆行	講義室2	12. 集団における人々の健康の保持・増進

成績評価方法・基準		講義への取り組みと参加状況 30% 課題レポート・ミニレポート 20% 定期試験 50% ＊レポートについては、コメントし返却する。
授業外における学習(予習・復習)		講義で配布される資料、参考文献を用いて予習復習をおこなうこと。予習・復習には講義ごとに概ね60分以上必要である。
教科書・参考文献等	教科書	資料を配布する。
	参考書	講義内にて、適宜紹介する。
	その他	特になし
連絡先・オフィスアワー		連絡先:研究室22(3階) メールアドレス:kumasaka@jhsu.ac.jp オフィスアワー:水曜日 13:00～16:00 他の担当教員については別途お知らせします。
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての(専門機関における)実務経験を活かした講義(演習)を行う。

科目コード	22-11124
授業科目名	ボランティア論Ⅰ
配当年次	1学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	選択
単位	1単位
時間数	15時間
授業形態	講義
担当教員	正田 泰基
実務家教員	
授業科目の概要	ボランティアとは（自ら）志願するという意味である。職業として有償で定められたことを行う看護はボランティアではないが、その根底にはボランティアの気持ちが常に必要である。この科目ではボランティアの精神、意義、実践法などについて学ぶ。
授業の到達目標	特に学祭である『桜祭』の実行を通してボランティアの精神、意義、実践法を学びます。
特に関連する科目	ボランティア論Ⅱ
授業の具体的な進め方	座学とワーク形式で行います。また、適宜先輩学生からも学びを行います。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	10/27	木	3	正田泰基	講義室2	ボランティアとは
2	11/10	木	3	正田泰基	講義室2	桜祭の実行を通したボランティアについて
3	11/17	木	3	正田泰基	講義室2	桜祭の実行委員の立ち上げ
4	12/1	木	3	正田泰基	講義室2	桜祭の役割分担について
5	12/8	木	3	正田泰基	講義室2	桜祭の予算編成について
6	12/15	木	3	正田泰基	講義室2	桜祭と備品の関係について
7	12/22	木	3	正田泰基	講義室2	桜祭とステージについて
8	1/19	木	3	正田泰基	講義室2	まとめ

成績評価方法・基準		毎回の課題70%、最後のレポート30%で評価する。
授業外における学習（予習・復習）		原則的に不要
教科書・参考文献等	教科書	なし
	参考書	なし
	その他	
連絡先・オフィスアワー		連絡先：研究室2 メールアドレス：y-masada@jhsu.ac.jp オフィスアワー：月曜日 12:40～13:30
その他		

科目コード	22-11127
授業科目名	文化人類学
配当年次	1学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	選択
単位	1単位
時間数	15時間
授業形態	講義
担当教員	東 亜紀
実務家教員	看護職:東 亜紀
授業科目の概要	グローバル化の進行に伴って、異なる宗教・人種・民族・文化の交流が活発になり、同時に様々な摩擦が深刻化しています。講義では、世界各地には多様な生活、さまざまな文化や価値観が存在することを理解し、文化や価値観の違いから起こる諸問題を捉え、解決へ導く基礎的な視点・考察力を培う。
授業の到達目標	1.文化人類学の基本的な概念や手法について説明できる 2.人間の「誕生」から「死」までについて複眼的視点で考えることができる 3.文化人類学的な見方から多様な患者ケアについて考えることができる
特に関連する科目	なし
授業の具体的な進め方	・対面講義 ・文化人類学的視点と看護における意義について理解がすすむよう事例を使いグループワークで深める(第7・8回) ・リアクションペーパー(全8回):各回の講義内容について記述することで確認し、次回講義でフィードバックし理解を深める ・授業内小テスト:全10問(看護師国家試験に準じる)

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	9/22	木	3	東亜紀	講義室2	ガイダンス/文化人類学とは何か-見方と手法-
2	9/22	木	4	東亜紀	講義室2	健康・病気・医療のとらえ方
3	9/29	木	3	東亜紀	講義室2	人生と儀礼
4	9/29	木	4	東亜紀	講義室2	多様な医療体系(1)死
5	10/5	水	2	東亜紀	講義室2	多様な医療体系(2)脳死・臓器移植
6	10/5	水	3	東亜紀	講義室2	多様な医療体系(3)出産
7	10/12	水	2	東亜紀	講義室2	事例から考える個人・家族・コミュニティ
8	10/12	水	3	東亜紀	講義室2	事例から考える文化と看護

成績評価方法・基準		定期テスト60%、、リアクションペーパー20%、授業内小テスト(10問)10%、グループワーク課題(2回)10% ・定期テスト:実施後に解説を電子配信する ・リアクションペーパー(8回):授業内容に合わせた問に自分の考えをふりかえり、次回講義で共有する ・授業内小テスト(10問):授業内容に合わせ2.3問を数回で実施し解説する ・グループワーク:第7、8回で実施し内容を発表し共有することで学習をふり返る
授業外における学習(予習・復習)		各回の予習・復習は合計で60分
教科書・参考文献等	教科書	使用しない
	参考書	講義の中で紹介する
	その他	毎回、授業資料を配布する
連絡先・オフィスアワー		質問等は授業前後に対応する メール:higashi@mailg.shumei-u.ac.jp
その他		担当教員の助産師としての実務経験と文化人類学におけるフィールドワークを活かした授業を行う。

科目コード	22-11201
授業科目名	人体の構造と機能学(総論)
配当年次	1学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	15時間
授業形態	講義
担当教員	松山 永久
実務家教員	
授業科目の概要	解剖学的正位、断面にみられる各臓器と器官の位置についてCTやMRI画像と対比させ実際の器官や臓器の位置関係について学ぶ。身体の区分と名称、細胞の微細構造、細胞・組織・器官等の基本組織の構成を学ぶ。
授業の到達目標	1.人体の各部位の名称を学ぶ。 2.CTやMRI画像の基本を学ぶ。 3.系統別に各臓器器官の位置と構造機能を理解する。
特に関連する科目	病理学　病態治療学
授業の具体的な進め方	教科書の内容についてパワーポイントを使用し行う。必要に応じて教科書中の図表を、手書きでノートに描き内容の理解を深める。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/12	火	1	松山永久	講義室4	1.解剖学総論　2.系統解剖　3.病理解剖　4.法医解剖　5.解剖学に関する法律上記項目について基礎的な知識を学ぶ。
2	4/12	火	2	松山永久	講義室4	人体の各臓器の位置の確認する。上記項目について基礎的な知識を学ぶ。
3	4/19	火	1	松山永久	講義室4	循環器系総論上記項目について基礎的な知識を学ぶ。
4	4/19	火	2	松山永久	講義室4	呼吸器系と内分泌系総論上記項目について基礎的な知識を学ぶ。
5	4/26	火	1	松山永久	講義室4	消化器系総論上記項目について基礎的な知識を学ぶ。
6	4/26	火	2	松山永久	講義室4	泌尿生殖器系総論上記項目について基礎的な知識を学ぶ。
7	5/10	火	1	松山永久	講義室4	神経系総論上記項目について基礎的な知識を学ぶ。
8	5/10	火	2	松山永久	講義室4	運動器系・感覚器系総論上記項目について基礎的な知識を学ぶ。

成績評価方法・基準		小テスト(10%)を行うが、定期試験(90%)をもって判定する。定期試験返却時に、試験に関する解説を配布する。
授業外における学習(予習・復習)		予習30分、復習30分。配布プリントを使用し予習と復習をすること。
教科書・参考文献等	教科書	多久和典子・多久和陽　著[なるほどなっとく解剖生理学](南山堂)ISBN9784525121624
		菱沼典子著『看護　形態機能学：生活行動からみるからだ 第4版』(日本看護協会出版会、2017) ISBN:9784818020610
	参考書	
	その他	
連絡先・オフィスアワー		オフィスアワー:北キャンパス　研究室24(在室中は随時) 連絡先:n-matsuyama@jhsu.ac.jp (メールは18時まで)
その他		講義中はスマートフォンの電源を切ること。自身が、患者治療中にスマートフォンを使用することは、患者に対し不適切な行為であり不信感を与える他、医療ミスが生じることを考えてもらいたい。講義中に使用が発覚した学生については、直ちに学科長に報告し厳しく処分する。

科目コード	22-11202
授業科目名	人体の構造と機能学I(骨、神経、筋肉)
配当年次	1学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	15時間
授業形態	講義
担当教員	松山 永久
実務家教員	
授業科目の概要	学習項目 1.骨格系の構造(骨の基本構造と分類、骨組織の微細構造) 2.関節の構造(関節の基本構造と分類、各部の関節、靭帯) 3.筋系の構造(筋の基本構造、筋の分類、筋線維の微細構造、神経・筋接合部の構造) 4.神経系の構造(髄膜と脳室、脳の区分、脳神経と脊髄神経) 5.大脳と小脳の機能6末梢神経と中枢神経系
授業の到達目標	1.運動器系と神経系の構造と機能が説明できる。 2.運動器系と神経系の概要を図に描くことができる。
特に関連する科目	病理学　病態治療学
授業の具体的な進め方	教科書の内容についてパワーポイントを使用し行う。教科書の図表を、手書きでノートに記入し理解力を深める。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	5/24	火	1	松山永久	講義室4	骨格　P231　骨格筋　P240上記項目について基礎的な知識を学ぶ。
2	5/24	火	2	松山永久	講義室4	体幹の骨格と筋 P245　頭頚部の骨格と筋　P259上記項目について基礎的な知識を学ぶ。
3	5/31	火	1	松山永久	講義室4	上肢の骨格と筋　P251　下肢の骨格と筋　P254上記項目について基礎的な知識を学ぶ。
4	5/31	火	2	松山永久	講義室4	神経系概観 P170　中枢神経1　P174上記項目について基礎的な知識を学ぶ。
5	6/7	火	1	松山永久	講義室4	中枢神経2　P174　脳を養う血管　P182上記項目について基礎的な知識を学ぶ。
6	6/7	火	2	松山永久	講義室4	脳室系　P184　脳神経　P187上記項目について基礎的な知識を学ぶ。
7	6/14	火	1	松山永久	講義室4	脊髄と脊髄神経　P192上記項目について基礎的な知識を学ぶ。
8	6/14	火	2	松山永久	講義室4	伝導路　P198上記項目について基礎的な知識を学ぶ。

成績評価方法・基準		小テスト(10%)を行うが、定期試験(90%)をもって判定する。定期試験返却時に、試験に関する解説を配布する。
授業外における学習(予習・復習)		予習30分、復習30分。配布するプリントを使用し予習と復習をすること。
教科書・参考文献等	教科書	①多久和典子・多久和陽　著[なるほどなっとく解剖生理学]ISBN:84525121624 ②菱沼典子著『看護　形態機能学：生活行動からみるからだ 第4版』(日本看護協会出版会、2017) ISBN:9784818020610
	参考書	
	その他	
連絡先・オフィスアワー		連絡先:北キャンパス　研究室24　メールアドレス: n-matsuyama@jhsu.ac.jp オフィスアワー:在室中は随時　メールは18時まで
その他		講義中はスマートフォンの電源を切ること。自身が、患者治療中にスマートフォンを使用することは、患者に対し不適切な行為であり不信感を与える他、医療ミスが生じることを考えてもらいたい。講義中に使用が発覚した学生については、直ちに学科長に報告し厳しく処分する。

科目コード	22-11203
授業科目名	人体の構造と機能学Ⅱ（循環器、呼吸器系）
配当年次	1学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	15時間
授業形態	講義
担当教員	松山 永久
実務家教員	
授業科目の概要	学習項目 1.循環器系の構造と機能（心臓、心房と心室、心臓の弁、動脈と静脈、リンパ性器官） 2.呼吸器系の構造と機能（鼻、咽頭、喉頭、気管、肺、呼吸の仕組み、発声の仕組み） 3.心臓と血液循環（心臓と循環の経路、刺激伝導系、心電図、心周期および圧変化と弁の開閉、血管、血圧、心機能の調節、心臓の神経支配） 4.呼吸（呼吸運動、呼吸筋、肺気量分画、努力呼気曲線、呼吸気のガス組成、肺におけるガス交換、酸素の取り込み、血液中のガス組成、生体の酸塩基平衡、呼吸中枢、呼吸反射、末梢性化学受容体、中枢性化学受容体）
授業の到達目標	循環器系と呼吸器系の構造と機能が説明できる。循環器系と呼吸器系の概要を図で描ける。
特に関連する科目	病理学　病態治療学
授業の具体的な進め方	教科書の内容についてパワーポイントを使用し行う。教科書内の図表を手書きし理解を深める。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	6/21	火	1	松山永久	講義室4	肺循環と体循環　P26　心臓1　P28上記項目について基礎的な知識を学ぶ。
2	6/21	火	2	松山永久	講義室4	心臓2　P28　血管　P36上記項目について基礎的な知識を学ぶ。
3	6/28	火	1	松山永久	講義室4	血圧とその調節機構1　P43上記項目について基礎的な知識を学ぶ。
4	6/28	火	2	松山永久	講義室4	血圧とその調節機構2　P43　リンパ管系　P49　微小循環　P51上記項目について基礎的な知識を学ぶ。
5	7/19	火	1	松山永久	講義室4	呼吸器系の構造　P56　上記項目について基礎的な知識を学ぶ。
6	7/19	火	2	松山永久	講義室4	胸郭・胸腔・縦隔と胸膜・胸膜腔　P64上記項目について基礎的な知識を学ぶ。
7	7/26	火	1	松山永久	講義室4	呼吸運動のしくみ　P66　酸塩基平衡　P69上記項目について基礎的な知識を学ぶ。
8	7/26	火	2	松山永久	講義室4	呼吸機能検査　P71上記項目について基礎的な知識を学ぶ。

成績評価方法・基準		小テスト(10%)を行うが、定期試験(90%)をもって判定する。定期試験返却時に、試験に関する解説を配布する。
授業外における学習（予習・復習）		予習30分、復習30分。配布するプリントを使用し予習と復習をすること。
教科書・参考文献等	教科書	多久和典子・多久和陽　著[なるほどなっとく解剖生理学]（南山堂）ISBN:9784525121624 菱沼典子著『看護　形態機能学：生活行動からみるからだ 第4版』(日本看護協会出版会、2017)ISBN:9784818020610
	参考書	
	その他	
連絡先・オフィスアワー		連絡先：北キャンパス　研究室24　メールアドレス：n-matsuyama@jhsu.ac.jp オフィスアワー：在室中は随時　メールは18時まで
その他		講義中はスマートフォンの電源を切ること。自身が、患者治療中にスマートフォンを使用することは、患者に対し不適切な行為であり不信感を与える他、医療ミスが生じることを考えてもらいたい。講義中に使用が発覚した学生については、直ちに学科長に報告し厳しく処分する。

科目コード	22-11204
授業科目名	人体の構造と機能学Ⅲ（脳神経、消化器系）
配当年次	1学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	15時間
授業形態	講義
担当教員	松山 永久
実務家教員	
授業科目の概要	学習項目 1.末梢神経と中枢神経系 2.自律神経 3.消化器系の構造と機能（口腔、歯、唾液腺、食道、胃、小腸、大腸、肝臓、胆嚢、膵臓） 4.消化と吸収（咀嚼、唾液、嚥下、胃の運動、胃酸の分泌、ペプシンの分泌機序、小腸の運動、腸液、膵液の分泌機序、胆汁、大腸の消化作用）
授業の到達目標	1.消化管と肝胆膵の構造と機能が説明できる。 2.消化器系の概要を図示できる。
特に関連する科目	病理学　病態治療学
授業の具体的な進め方	教科書の内容についてパワーポイントを使用し行う。教科書内の図表を手書きで描き理解力を深める。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	9/30	金	2	松山永久	講義室2	消化管1　P76　口腔から食道上記項目について基礎的な知識を学ぶ。
2	10/7	金	1	松山永久	講義室2	消化管2　P76 胃から十二指腸上記項目について基礎的な知識を学ぶ。
3	10/14	金	1	松山永久	講義室2	消化管3　P76 空腸と回腸上記項目について基礎的な知識を学ぶ。
4	10/21	金	2	松山永久	講義室2	消化管4　P76 大腸から肛門　上記項目について基礎的な知識を学ぶ。
5	10/28	金	2	松山永久	講義室2	肝臓・胆嚢・膵臓1　P96上記項目について基礎的な知識を学ぶ。
6	11/4	金	2	松山永久	講義室2	肝臓・胆嚢・膵臓2　P96上記項目について基礎的な知識を学ぶ。
7	11/11	金	2	松山永久	講義室2	肝臓・胆嚢・膵臓3　P96上記項目について基礎的な知識を学ぶ。
8	11/18	金	2	松山永久	講義室2	腹腔・後腹膜と腹膜・腸間膜　P101上記項目について基礎的な知識を学ぶ。

成績評価方法・基準		小テスト(10%)を行うが、定期試験(90%)をもって判定する。定期試験返却時に、試験に関する解説を配布する。
授業外における学習（予習・復習）		予習30分、復習30分。配布するプリントを使用し予習と復習をすること。
教科書・参考文献等	教科書	多久和典子・多久和陽　著[なるほどなっとく解剖生理学]（南山堂）ISBN:9784525121624
		菱沼典子著『看護　形態機能学：生活行動からみるからだ 第4版』(日本看護協会出版会、2017)ISBN:9784818020610
	参考書	
	その他	
連絡先・オフィスアワー		連絡先：北キャンパス　研究室24　メールアドレス：n-matsuyama@jhsu.ac.jp オフィスアワー：在室中は随時　メールは18時まで
その他		講義中はスマートフォンの電源を切ること。自身が、患者治療中にスマートフォンを使用することは、患者に対し不適切な行為であり不信感を与える他、医療ミスが生じることを考えてもらいたい。講義中に使用が発覚した学生については、直ちに学科長に報告し厳しく処分する。

科目コード	22-11205
授業科目名	人体の構造と機能学Ⅳ（腎、泌尿器、生殖器他）
配当年次	1学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	15時間
授業形態	講義
担当教員	松山 永久
実務家教員	
授業科目の概要	学習項目 1泌尿器系の概要（腎臓、尿管、膀胱、尿道） 2腎臓の構造と機能（ネフロン、糸球体、ボウマン嚢、近位尿細管、ヘンレのループ、遠位尿細管、GFR、クリアランス、水の再吸収、イオンの輸送、レニン、アンギオテンシン、アルドステロン、排尿の神経調節） 3生殖器系の構造と機能（女性生殖器、男性生殖器）を学ぶ 4生殖（性の決定、ゴナドトロピン、プロラクチン、男性ホルモン、女性ホルモン、卵巣の機能、子宮内膜周期、受精、着床） 5感覚器系の構造と機能（体性感覚器、味覚器、嗅覚器、聴覚器、平衡感覚器、視覚器）
授業の到達目標	泌尿生殖器系・感覚器系の構造と機能が説明できる。
特に関連する科目	病理学　病態治療学
授業の具体的な進め方	教科書の内容についてパワーポイントを使用し行う。教科書内の図表を手書きで描き理解力を深める。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	11/25	金	2	松山永久	講義室2	腎臓の構造と機能1　P108
2	12/2	金	2	松山永久	講義室2	腎臓の構造と機能2　P108　尿路　P117上記項目について基礎的な知識を学ぶ。
3	12/9	金	2	松山永久	講義室2	自律神経の作用　P145　内分泌1　P148上記項目について基礎的な知識を学ぶ。
4	12/16	金	2	松山永久	講義室2	内分泌2　P148　男性生殖器　P268　上記項目について基礎的な知識を学ぶ。
5	12/23	金	2	松山永久	講義室2	女性生殖器　P273　乳腺　P280上記項目について基礎的な知識を学ぶ。
6	1/13	金	1	松山永久	講義室2	視覚器　P204　聴覚器と平衡感覚器1　P212上記項目について基礎的な知識を学ぶ。
7	1/13	金	2	松山永久	講義室2	聴覚器と平衡感覚器2　P212上記項目について基礎的な知識を学ぶ。
8	1/20	金	2	松山永久	講義室2	嗅覚器　P218　味覚器　P219　皮膚　P220上記項目について基礎的な知識を学ぶ。

成績評価方法・基準		小テスト(10%)を行うが、定期試験(90%)をもって判定する。定期試験返却時に、試験に関する解説を配布する。
授業外における学習（予習・復習）		予習30分、復習30分。配布するプリントを使用し予習と復習をすること。
教科書・参考文献等	教科書	多久和典子・多久和陽　著[なるほどなっとく解剖生理学]（南山堂）ISBN：9784525121624
		菱沼典子著『看護　形態機能学：生活行動からみるからだ 第4版』（日本看護協会出版会、2017）ISBN：9784818020610
	その他	
連絡先・オフィスアワー		連絡先：北キャンパス　研究室24　メールアドレス：n-matsuyama@jhsu.ac.jp オフィスアワー：在室中は随時　メールは18時まで
その他		講義中はスマートフォンの電源を切ること。自身が、患者治療中にスマートフォンを使用することは、患者に対し不適切な行為であり不信感を与える他、医療ミスが生じることを考えてもらいたい。講義中に使用が発覚した学生については、直ちに学科長に報告し厳しく処分する。

科目コード	22-11207
授業科目名	生化学
配当年次	1学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	15時間
授業形態	講義
担当教員	今西 健一
実務家教員	
授業科目の概要	人間の生命活動は、生体内での様々な化学反応や物質交換によって維持されている。本講義では、生命活動を支える細胞や生体物質の構造と機能、食物として外界から取り込んだ物質の利用、すなわち代謝とその調節、DNAの構造と遺伝子の発現、遺伝の仕組みなどについて分子レベルで学習し、健康の維持、疾患の原因・予防・治療などの理解に役立てる。
授業の到達目標	1. 生命活動を支える細胞や生体物質の構造及び生理機能を理解する。 2. 代謝とその調節について理解する。 3. 遺伝の仕組みについて理解する。 4. 細胞レベル・分子レベルでの生と死を理解する。
特に関連する科目	生物　人体の構造と機能学　病理学　病態治療学
授業の具体的な進め方	教科書に即してスライドを使って講義を行う。参考資料の内、可能なものはオンラインで見れます。各講義後に内容に関する課題をオンラインにアップし、提出されたものを評価します。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	9/21	水	3	今西健一	講義室2	生化学に必要な化学の基礎知識、ヒトの体とエネルギーの関係
2	9/28	水	3	今西健一	講義室2	糖の種類と性質、糖からエネルギーを得るしくみ
3	10/7	金	2	今西健一	講義室2	脂質の構造、性質、輸送と代謝
4	10/14	金	2	今西健一	講義室2	細胞の構造と機能
5	10/19	水	3	今西健一	講義室2	DNAの構造とはたらき、DNAからタンパク質へ
6	10/26	水	3	今西健一	講義室2	タンパク質のはたらき、細胞内外の情報伝達
7	11/2	水	3	今西健一	講義室2	細胞分裂のしくみと制御
8	11/9	水	3	今西健一	講義室2	発生と分化、アポトーシスと老化

成績評価方法・基準		毎回の課題合計40%と期末試験60%
授業外における学習（予習・復習）		授業計画に即して次回の授業内容について教科書および前期の生物学の復習を兼ねて、予習をしておくこと。復習を行い、課題を提出すること。予習・復習には講義ごとに60分以上必要である。講義の進行によってはオンラインで追加することがあります。
教科書・参考文献等	教科書	吉村成弘　著『大学で学ぶ身近な生物学』（羊土社、2015年）ISBN：9784758120609
	参考書	前野正夫・磯川桂太郎著 『はじめの一歩の生化学・分子生物学 （第3版）』 （羊土社、2016年）ISBN：9784758120722
	その他	特になし
連絡先・オフィスアワー		連絡先：研究室3　k-imanishi@jhsu.ac.jp オフィスアワー：講義後、およびメールで対応します。
その他		

科目コード	22-11208
授業科目名	微生物学
配当年次	1学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	15時間
授業形態	講義
担当教員	今西 健一
実務家教員	
授業科目の概要	感染症は抗生物質やワクチンなどの発展により、人類に克服されたと考えられた時代もあった。しかし、CoVID-19、SARS、鳥インフルエンザなど、近年、いくつもの新しい感染症の出現や既に解決済みと思われた感染症の復活、薬剤耐性菌による院内感染、臓器移植や免疫不全症に伴う日和見感染症などなど感染症を制御することは容易ではないことが明らかになってきている。感染症とその対策に関する知識は、看護職にとって基本的な重要な知識である。本講義では病原体の特徴と、個々の細菌・真菌・原虫やウイルスが起こす病気について学習する。医療の現場で必要な感染症とその対策を理解するための知識を習得し、感染症予防の技術が活かされるよう身につける。
授業の到達目標	1. 細菌、真菌、原虫、ウイルスと様々な微生物の性質を知る。 2. どのように感染が起こるかを、感染を起こす微生物側からと感染を受ける宿主側から理解する。 3. 医療の現場での感染防御に必要な知識を得る。
特に関連する科目	生物学　生化学　人体の構造と機能学　病理学　病態治療学　公衆衛生学
授業の具体的な進め方	教科書に即してスライドを使って講義を行う。参考資料の内、可能なものはオンラインで見れます。各講義後に内容に関する課題をオンラインにアップし、提出されたものを評価します。 実習が出来る場合は、講義内容の一部変更を行います。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	11/16	水	3	今西健一	講義室2	細菌の性質と感染の機構
2	11/30	水	3	今西健一	講義室2	真菌・原虫の性質と感染機構
3	12/7	水	3	今西健一	講義室2	ウイルスの性質と感染機構
4	12/14	水	3	今西健一	講義室2	感染防御機構(1)
5	12/21	水	3	今西健一	講義室2	感染防御機構(2)
6	1/11	水	3	今西健一	講義室2	感染源・感染経路からみた感染症/滅菌と消毒/感染症の治療 実習が出来る場合: ① 身の回りの細菌を培養する ② グラム染色をする ③ 顕微鏡で観察し、スケッチをする
7	1/18	水	2	今西健一	講義室2	細菌と感染症
8	1/18	水	3	今西健一	講義室2	ウイルスと感染症

成績評価方法・基準		毎回の課題合計40%と期末試験60%
授業外における学習(予習・復習)		授業計画に即して次回の授業内容を教科書で予習すること。復習を行い、課題を提出すること。予習・復習には講義ごとに概ね60分以上必要である。講義の進行によってはオンラインで講義を追加することがあります。
教科書・参考文献等	教科書	南嶋洋一　吉田眞一　永淵正法　齋藤光正　大野真治　著『≪系統看護学講座 専門基礎分野≫疾病のなりたちと回復の促進[4]　微生物学 (第13版)』(医学書院、2018年)ISBN:9784260031837
	参考書	齋藤光正編 『イラストでわかる微生物学超入門』(南山堂、2021年)ISBN:9784525163426
		矢野郁也他編 『病原微生物学』(東京化学同人、2004年) ISBN:9784807905621
	その他	
連絡先・オフィスアワー		連絡先:研究室3　k-imanishi@jhsu.ac.jp オフィスアワー:講義後、及びメールで対応します。
その他		

科目コード	22-11209
授業科目名	病理学　ABクラス
配当年次	1学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	2単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	松山 永久
実務家教員	
授業科目の概要	医療の開発とその普及による病気の予防と克服、国民健康増進の実践などで、日本の医学は著しい発展を遂げている。病理学は病気の本態を究明する医学で、病気の診断や治療の基本になる学問である。人間の疾病理解の基礎となる病理発症、進展、転帰、病因等疾病概念の本質を学習する。それぞれの疾病に共通する問題を総論的に捉え、循環障害炎症論、免疫病理学、腫瘍病理学等を学習する。人間に発症する疾病について、その病態生理と症状、診断過程、諸検査、主な治療法、疾病の経過(予後)疫学について学習する。
授業の到達目標	1. 病理学総論では、いくつかの病気をひとつに括り分けることができる、疾病の発生のメカニズムの視点に立って、疾病の発生原因とそれによる病理像を学ぶ。 2. 各論では、重要な疾病について、総論での知識を参考にして具体的に理解できることを目標とする。
特に関連する科目	人体構造の構造と機能学　病態治療学　各看護専門科目
授業の具体的な進め方	教科書の内容についてパワーポイントを使用し講義を行う。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	9/20	火	1	松山永久	講義室2	序論細胞の異常—病気の本態　P14～上記項目について基礎的な知識を学ぶ。
2	9/26	月	1	松山永久	講義室2	循環障害　①浮腫　②充血とうっ血　③出血　④血栓と塞栓　⑤虚血と梗塞　⑥DIC　P51～ 上記項目について基礎的な知識を学ぶ。
3	10/3	月	1	松山永久	講義室2	免疫と免疫異常　①免疫監視機構　②免疫　③アレルギー　④自己免疫疾患　P128～ 上記項目について基礎的な知識を学ぶ。
4	10/17	月	1	松山永久	講義室2	感染症と感染症　①感染と宿主　②病原体　③感染に対する防御能　④感染経路　P107～ 上記項目について基礎的な知識を学ぶ。
5	10/24	月	1	松山永久	講義室2	先天異常 ①遺伝とは　②先天異常とは　③遺伝要因と環境要因　P37～ 上記項目について基礎的な知識を学ぶ。
6	10/31	月	1	松山永久	講義室2	代謝異常 ①糖代謝異常　②脂質代謝異常　③タンパク質・カルシウム代謝異常　P71～ 上記項目について基礎的な知識を学ぶ。
7	11/7	月	1	松山永久	講義室2	炎症　①炎症原因　②炎症の分類　③炎症の全身反応　P151～上記項目について基礎的な知識を学ぶ。
8	11/14	月	1	松山永久	講義室2	老化　①細胞の老化と個体の老化　②　老化に伴う各臓器の変化　③　老化により発症する疾患　P93～ 上記項目について基礎的な知識を学ぶ。
9	11/21	月	1	松山永久	講義室2	腫瘍1　①がんとは何か　②腫瘍の分類　③ガンの特性　P166～上記項目について基礎的な知識を学ぶ。
10	11/28	月	1	松山永久	講義室2	腫瘍2　①腫瘍マーカーとガンの診断　②ガンの治療　P189～上記項目について基礎的な知識を学ぶ。
11	12/5	月	1	松山永久	講義室2	病理学各論1　①呼吸疾患　②循環器疾患　P201,223上記項目について基礎的な知識を学ぶ。
12	12/12	月	1	松山永久	講義室2	病理学各論2　①消化器疾患　P255～上記項目について基礎的な知識を学ぶ。
13	12/19	月	1	松山永久	講義室2	病理学各論3　①内分泌疾患　②腎・泌尿器疾患　P290,305上記項目について基礎的な知識を学ぶ。
14	1/16	月	1	松山永久	講義室2	病理学各論4　①血液疾患　②脳・神経疾患　P321,345上記項目について基礎的な知識を学ぶ。
15	1/23	月	1	松山永久	講義室2	病理学各論5　①運動器疾患　②女性生殖器疾患　P361,373上記項目について基礎的な知識を学ぶ。

成績評価方法・基準		小テスト(10%)を行うが、定期試験(90%)をもって判定する。定期試験返却時に、試験に関する解説を配布する。
授業外における学習(予習・復習)		事前学修:[30分]授業で扱う予定範囲の教科書を読む 事後学修:[30分]授業での学習ポイントを整理する
教科書・参考文献等	教科書	小林 正伸 著『なるほどなっとく病理学plus』(南山堂　2021年) ISBN:9784525151812
	参考書	適宜紹介する。
	その他	
連絡先・オフィスアワー		連絡先:北キャンパス　研究室24　メールアドレス: n-matsuyama@jhsu.ac.jp オフィスアワー:在室中は随時　メールは18時まで
その他		講義中はスマートフォンの電源を切ること。自身が、患者治療中にスマートフォンを使用することは、患者に対し不適切な行為であり不信感を与える他、医療ミスが生じることを考えてもらいたい。講義中に使用が発覚した学生については、直ちに学科長に報告し厳しく処分する。

科目コード	22-11209
授業科目名	病理学 CDクラス
配当年次	1学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	2単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	松山 永久
実務家教員	
授業科目の概要	医療の開発とその普及による病気の予防と克服、国民健康増進の実践などで、日本の医学は著しい発展を遂げている。病理学は病気の本態を究明する医学で、病気の診断や治療の基本になる学問である。人間の疾病理解の基礎となる病理発症、進展、転帰、病因等疾病概念の本質を学習する。それぞれの疾病に共通する問題を総論的に捉え、循環障害炎症論、免疫病理学、腫瘍病理学等を学習する。人間に発症する疾病について、その病態生理と症状、診断過程、諸検査、主な治療法、疾病の経過(予後)疫学について学習する。
授業の到達目標	1. 病理学総論では、いくつかの病気をひとつに括り分けることができる、疾病の発生のメカニズムの視点に立って、疾病の発生原因とそれによる病理像を学ぶ。 2. 各論では、重要な疾病について、総論での知識を参考にして具体的に理解できることを目標とする。
特に関連する科目	人体の構造と機能学 病態治療学 各看護専門科目
授業の具体的な進め方	教科書の内容についてパワーポイントを使用し講義を行う。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	9/20	火	2	松山永久	講義室2	序論細胞の異常—病気の本態 P14～上記項目について基礎的な知識を学ぶ。
2	9/26	月	2	松山永久	講義室2	循環障害 ①浮腫 ②充血とうっ血 ③出血 ④血栓と塞栓 ⑤虚血と梗塞 ⑥DIC P51～ 上記項目について基礎的な知識を学ぶ。
3	10/3	月	2	松山永久	講義室2	免疫と免疫異常 ①免疫監視機構 ②免疫 ③アレルギー ④自己免疫疾患 P128～ 上記項目について基礎的な知識を学ぶ。
4	10/17	月	2	松山永久	講義室2	感染症と感染症 ①感染と宿主 ②病原体 ③感染に対する防御能 ④感染経路 P107～ 上記項目について基礎的な知識を学ぶ。
5	10/24	月	2	松山永久	講義室2	先天異常 ①遺伝とは ②先天異常とは ③遺伝要因と環境要因 P37～ 上記項目について基礎的な知識を学ぶ。
6	10/31	月	2	松山永久	講義室2	代謝異常 ①糖代謝異常 ②脂質代謝異常 ③タンパク質・カルシウム代謝異常 P71～ 上記項目について基礎的な知識を学ぶ。
7	11/7	月	2	松山永久	講義室2	炎症 ①炎症原因 ②炎症の分類 ③炎症の全身反応 P151～上記項目について基礎的な知識を学ぶ。
8	11/14	月	2	松山永久	講義室2	老化 ①細胞の老化と個体の老化 ② 老化に伴う各臓器の変化 ③ 老化により発症する疾患 P93～ 上記項目について基礎的な知識を学ぶ。
9	11/21	月	2	松山永久	講義室2	腫瘍1 ①がんとは何か ②腫瘍の分類 ③ガンの特性 P166～ 上記項目について基礎的な知識を学ぶ。
10	11/28	月	2	松山永久	講義室2	腫瘍2 ①腫瘍マーカーとガンの診断 ②ガンの治療 P189～ 上記項目について基礎的な知識を学ぶ。
11	12/5	月	2	松山永久	講義室2	病理学各論1 ①呼吸疾患 ②循環器疾患 P201,223 上記項目について基礎的な知識を学ぶ。
12	12/12	月	2	松山永久	講義室2	病理学各論2 ①消化器疾患 P255～ 上記項目について基礎的な知識を学ぶ。
13	12/19	月	2	松山永久	講義室2	病理学各論3 ①内分泌疾患 ②腎・泌尿器疾患 P290,305 上記項目について基礎的な知識を学ぶ。
14	1/16	月	2	松山永久	講義室2	病理学各論4 ①血液疾患 ②脳・神経疾患 P321,345 上記項目について基礎的な知識を学ぶ。
15	1/23	月	2	松山永久	講義室2	病理学各論5 ①運動器疾患 ②女性生殖器疾患 P361,373 上記項目について基礎的な知識を学ぶ。

成績評価方法・基準		小テスト(10%)を行うが、定期試験(90%)をもって判定する。定期試験返却時に、試験に関する解説を配布する。
授業外における学習(予習・復習)		事前学修:[30分]授業で扱う予定範囲の教科書を読む 事後学修:[30分]授業での学習ポイントを整理する
教科書・参考文献等	教科書	小林 正伸 著『なるほどなっとく病理学plus』(南山堂 2021年) ISBN:9784525151812
	参考書	適宜紹介する。
	その他	
連絡先・オフィスアワー		連絡先:北キャンパス 研究室24 メールアドレス: n-matsuyama@jhsu.ac.jp オフィスアワー:在室中は随時 メールは18時まで
その他		講義中はスマートフォンの電源を切ること。自身が、患者治療中にスマートフォンを使用することは、患者に対し不適切な行為であり不信感を与える他、医療ミスが生じることを考えてもらいたい。講義中に使用が発覚した学生については、直ちに学科長に報告し厳しく処分する。

科目コード	22-11222
授業科目名	公衆衛生学
配当年次	1学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	15時間
授業形態	講義
担当教員	須釜 幸男
実務家教員	
授業科目の概要	我が国は世界有数の長寿国で、高齢化が急速に進む。従来型医療だけでは国民の健康レベル向上は困難で、「健康日本21」に謳われる一次予防（公衆衛生活動）が重要な時代である。公衆衛生学は「人々の健康の保持・増進」を目的に、医学以外にも保健衛生や工学、社会科学など、多領域間の科学技術を統合した学問体系である。授業では、疾病予防と健康づくりの活動に必要なスキルを修得する。
授業の到達目標	1. 基礎的な健康事象の病因論や因果関係を理解できる 2. 公衆衛生活動ツール（疫学や統計）の基本的手法を利用できる 3. 社会・環境と疾病・健康との関連性を意識し、問題発見力と問題解決能力を発揮できる 4. 社会システム拡充と健康増進との有効性を洞察できる
特に関連する科目	社会医学系科目（保健医療福祉行政論、関係法規、国際保健学、保健統計学など）、公衆衛生看護学概論、公衆衛生看護活動論、公衆衛生看護システム論、公衆衛生看護技術論、産業保健論、学校保健論、看護行政論など
授業の具体的な進め方	指定教科書を使用し、「公衆衛生学」に必要な基礎知識と背景を、体系的に説明する。授業内課題を通じて、知識の定着や気付きを図る。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	9/20	火	3	須釜幸男	講義室2	公衆衛生の定義・歴史、国際比較、保健所と市町村保健センター
2	9/26	月	3	須釜幸男	講義室2	ヘルスプロモーション、ソーシャルキャピタル、健康指標、疫学手法、リスクファクター、スクリーニング
3	10/3	月	3	須釜幸男	講義室2	公衆衛生活動（プロセス、アプローチ、グループ組織、ネットワーク）
4	10/17	月	3	須釜幸男	講義室2	保健衛生（児童、女性、成人、老人、精神など）
5	10/24	月	3	須釜幸男	講義室2	難病、感染症、健康危機管理
6	10/31	月	3	須釜幸男	講義室2	保健衛生（学校、産業、環境）
7	11/7	月	3	須釜幸男	講義室2	事例研究
8	11/14	月	3	須釜幸男	講義室2	まとめ

成績評価方法・基準		授業参加：30%、授業内課題：30%、期末試験：40%
授業外における学習（予習・復習）		予習では講義内容を事前調査し、重要度分けや不明点の抽出を実施する。復習では板書や配布資料を読み込み、知識を体系化させる。次回講義との関連を検討する。各回の予習・復習は合計で 60 分以上。
教科書・参考文献等	教科書	平野かよ子ほか編『ナーシング・グラフィカ 健康支援と社会保障（2） 公衆衛生 第4版』メディカ出版、2015年（ISBN：978-4-8404-4913-7）。
	参考書	講義中に適宜紹介する
	その他	なし
連絡先・オフィスアワー		質問等は授業前後に対応する。
その他		

科目コード	22-11224
授業科目名	健康体育　ABクラス
配当年次	1学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	選択
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	実験・実習
担当教員	正田 泰基
実務家教員	
授業科目の概要	「適切な栄養の摂取・適切な運動の実施・十分な休養・心の安定」が健康の基本である。効果的で生産的な質の高い人生を築くために、これらの原則を実践する能力を一人ひとりが身に付けることが必要である。 「適切な運動の実施」の具体的な方法について各種身体活動・スポーツの実践を通して学ぶ。
授業の到達目標	1. 身体のより良い使い方について理解を深める。 2. 身体をより良く使うための方法を知る。 3. 自分からの働きかけを通して、身体をより良くしようとする。
特に関連する科目	健康とスポーツ（医療と健康）
授業の具体的な進め方	実技を通して競技の特性を理解する。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/8	金	2	正田泰基	体育館	バスケットボール（感染の状況によってはバドミントンになるかもしれません）
2	4/22	金	1	正田泰基	体育館	バスケットボール（感染の状況によってはバドミントンになるかもしれません）
3	4/22	金	2	正田泰基	体育館	バスケットボール（感染の状況によってはバドミントンになるかもしれません）
4	4/29	金	1	正田泰基	体育館	バスケットボール（感染の状況によってはバドミントンになるかもしれません）
5	4/29	金	2	正田泰基	体育館	バレーボール（感染の状況によってはバドミントンになるかもしれません）
6	5/13	金	1	正田泰基	体育館	バレーボール（感染の状況によってはバドミントンになるかもしれません）
7	5/13	金	2	正田泰基	体育館	バレーボール（感染の状況によってはバドミントンになるかもしれません）
8	5/27	金	1	正田泰基	体育館	バレーボール（感染の状況によってはバドミントンになるかもしれません）
9	5/27	金	2	正田泰基	体育館	バドミントン
10	6/3	金	1	正田泰基	体育館	バドミントン
11	6/3	金	2	正田泰基	体育館	バドミントン
12	6/10	金	1	正田泰基	体育館	バドミントン
13	6/10	金	2	正田泰基	体育館	アルティメット（感染の状況によってはバドミントンになるかもしれません）
14	6/17	金	1	正田泰基	体育館	アルティメット（感染の状況によってはバドミントンになるかもしれません）
15	6/17	金	2	正田泰基	体育館	アルティメット（感染の状況によってはバドミントンになるかもしれません）

成績評価方法・基準		毎回の課題70%、課題レポート30%
授業外における学習（予習・復習）		特になし
教科書・参考文献等	教科書	使用しない
	参考書	使用しない
	その他	
連絡先・オフィスアワー		連絡先：研究室3（1階） メールアドレス：y-masada@jhsu.ac.jp オフィスアワー ：月曜日 12:40～13:30
その他		7/4～7/15の間（12回と13回）は、基礎Ⅰ実習に行かない期間に受講する。

科目コード	22-11224
授業科目名	健康体育　CDクラス
配当年次	1学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	選択
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	実験・実習
担当教員	正田 泰基
実務家教員	
授業科目の概要	「適切な栄養の摂取・適切な運動の実施・十分な休養・心の安定」が健康の基本である。効果的で生産的な質の高い人生を築くために、これらの原則を実践する能力を一人ひとりが身に付けることが必要である。 「適切な運動の実施」の具体的な方法について各種身体活動・スポーツの実践を通して学ぶ。
授業の到達目標	1. 身体のより良い使い方について理解を深める。 2. 身体をより良く使うための方法を知る。 3. 自分からの働きかけを通して、身体をより良くしようとする。
特に関連する科目	健康とスポーツ（医療と健康）
授業の具体的な進め方	実技を通して協議の特性を理解する。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/8	金	3	正田泰基	体育館	バスケットボール（感染の状況によってはバドミントンになるかもしれません）
2	4/22	金	3	正田泰基	体育館	バスケットボール（感染の状況によってはバドミントンになるかもしれません）
3	4/29	金	3	正田泰基	体育館	バスケットボール（感染の状況によってはバドミントンになるかもしれません）
4	4/29	金	4	正田泰基	体育館	バスケットボール（感染の状況によってはバドミントンになるかもしれません）
5	5/13	金	3	正田泰基	体育館	バレーボール（感染の状況によってはバドミントンになるかもしれません）
6	5/13	金	4	正田泰基	体育館	バレーボール（感染の状況によってはバドミントンになるかもしれません）
7	5/27	金	3	正田泰基	体育館	バレーボール（感染の状況によってはバドミントンになるかもしれません）
8	5/27	金	4	正田泰基	体育館	バレーボール（感染の状況によってはバドミントンになるかもしれません）
9	6/3	金	3	正田泰基	体育館	バドミントン
10	6/3	金	4	正田泰基	体育館	バドミントン
11	6/10	金	3	正田泰基	体育館	バドミントン
12	6/10	金	4	正田泰基	体育館	バドミントン
13	6/17	金	3	正田泰基	体育館	アルティメット（感染の状況によってはバドミントンになるかもしれません）
14	6/17	金	4	正田泰基	体育館	アルティメット（感染の状況によってはバドミントンになるかもしれません）
15	6/24	金	3	正田泰基	体育館	アルティメット（感染の状況によってはバドミントンになるかもしれません）

成績評価方法・基準		毎回の課題70%、課題レポート30%
授業外における学習（予習・復習）		特になし
教科書・参考文献等	教科書	使用しない
	参考書	使用しない
	その他	
連絡先・オフィスアワー		連絡先：研究室3（1階） メールアドレス：y-masada@jhsu.ac.jp オフィスアワー　：月曜日 12:40～13:30
その他		7/4～7/15の間（12回と13回）は、基礎Ⅰ実習に行かない期間に受講する。

科目コード	22-11225
授業科目名	健康とスポーツ(医療と健康)
配当年次	1学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	選択
単位	1単位
時間数	15時間
授業形態	講義
担当教員	熊坂 隆行、藤澤 博子、工藤 久美子
実務家教員	看護職:熊坂 隆行、藤澤 博子、工藤 久美子
授業科目の概要	「適切な栄養の摂取・適切な運動の実施・十分な休養・心の安定」が健康の基本である。効果的で生産的な質の高い人生を築くために、これらの原則を実践する能力を一人ひとりが 身に付けることが必要である。 「適切な栄養の摂取・適切な運動の実施・十分な休養・心の安定」について各種身体活動とスポーツとの関係を理解し、医療との関係について学ぶ。
授業の到達目標	1. 適切な栄養の摂取について理解し、実践できるようにする。 2. 適切な運動の実施について理解し、実践できるようにする。 3. 十分な休養・心の安定について理解し、実践できるようにする。
特に関連する科目	健康体育　公衆衛生学
授業の具体的な進め方	心と身体のコンディショニングを理解するため、講義は教科書、レジュメ、配布資料を中心にPower Pointを用いて進めていく。 また「健康」「スポーツ」についてグループワークを行なう。最新の情報について適宜講義に取り入れる。 必要に応じて、Google　classroom　を利用した遠隔配信授業を行う場合もある。音声やスライド、動画を見ながら進めてください。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/13	水	1	藤澤博子	講義室4	オリエンテーション　健康とは(1)
2	4/20	水	1	藤澤博子	講義室4	健康とは(2)
3	4/27	水	1	藤澤博子	講義室4	健康とは(3)
4	5/11	水	1	熊坂隆行	講義室4	身体の基礎知識
5	5/18	水	1	工藤久美子	講義室4	スポーツとは(1)
6	5/25	水	1	工藤久美子	講義室4	スポーツとは(2)
7	6/1	水	1	工藤久美子	講義室4	スポーツとは(3)
8	6/8	水	1	熊坂隆行	講義室4	運動の原理・原則

成績評価方法・基準		講義、グループワークへの取り組みと参加状況 30% 課題レポート・ミニレポート 20% 期末試験 50% ＊レポートについては、コメントし返却する。
授業外における学習(予習・復習)		授業計画に沿って配布資料で予習し、講義後は、教科書、講義で配布される資料、参考文献を用いて復習をおこなうこと。予習・復習には講義ごとに概ね30分以上必要である。
教科書 ・参考文献等	教科書	資料を配布する。
	参考書	講義内にて、適宜紹介する。
	その他	特になし
連絡先・オフィスアワー		連絡先:研究室22(3階)　kumasaka@jhsu.ac.jp オフィスアワー:水曜日 13:00～16:00
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての(専門機関における)実務経験を活かした講義(演習)を行う。

科目コード	22-11301
授業科目名	看護学概論
配当年次	1学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	2単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	近藤 誓子
実務家教員	看護職：近藤誓子
授業科目の概要	看護学概論は、看護学全体の基本的内容を包含している科目として位置づけることから、看護学を学ぶ意義と看護学の本質を理解し、各看護学の基礎として学ぶと共に、学習者の看護への興味を高めることを目的とする。 看護とは何かを看護の歴史や看護理論等を通して究明し、これからの看護を考察する。看護の目的、役割、機能を理解し、看護へのイメージを深める。さらに、人々の健康生活に関わる専門職としての"責任"と"確実な倫理感"をもって行動する姿勢・態度を修得する。
授業の到達目標	1. 近代看護学の創始者であるフローレンス・ナイチンゲールについて理解する。 2. 看護の基本概念である「人間」「健康」「環境」「看護」について説明できる。 3. 看護の定義について学び、看護の目的について理解できる。 4. 看護の対象である人々を看護学の視点から総合的に理解する。 5. 看護師の思考過程である臨床判断プロセスや看護過程プロセスの基本的知識を理解する。 6. 看護の歴史的変遷を通して、看護の発展過程を理解し、今後の看護について考えられる。 7. 主要な看護理論の概要を理解する。 8. 看護活動の場について理解し、その役割と機能を理解する。 9. 保健医療福祉の場における保健医療福祉チームのそれぞれの役割について理解する。 10. 看護職に求められる倫理について基本的知識を理解する。
特に関連する科目	心理学　社会学　各看護学概論　生涯発達論　健康とスポーツ　社会福祉学　法学（日本国憲法）　看護倫理　看護行政論　コミュニケーション論
授業の具体的な進め方	講義を主とした対面授業を展開する。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/14	木	1	近藤誓子	講義室4	ガイダンス授業の進め方、学習方法について、看護の語源と定義
2	4/20	水	4	近藤誓子	講義室4	看護って素晴らしい－DVD－
3	4/21	木	1	近藤誓子	講義室4	看護の主要概念: 人間とは、健康とは
4	4/28	木	1	近藤誓子	講義室4	看護の主要概念: 環境とは、看護とは
5	5/12	木	1	近藤誓子	講義室4	人々の健康に関する統計
6	5/18	水	4	近藤誓子	講義室4	看護の歴史的変遷
7	5/19	木	1	近藤誓子	講義室4	看護を実践するための法的根拠
8	5/26	木	1	近藤誓子	講義室4	看護師の基本的役割
9	6/2	木	1	近藤誓子	講義室4	看護実践の基盤となる看護理論－ナイチンゲール①
10	6/8	水	4	近藤誓子	講義室4	看護実践の基盤となる看護理論－ナイチンゲール②
11	6/16	木	1	近藤誓子	講義室4	看護実践の基盤となる看護理論－ヘンダーソン
12	6/23	木	1	近藤誓子	講義室4	現代の医療・看護事情－新聞記事からみえてきたこと－
13	6/30	木	1	近藤誓子	講義室4	看護の継続性と多職種との連携
14	7/21	木	1	近藤誓子	講義室4	看護における倫理と価値
15	7/28	木	1	近藤誓子	講義室4	看護師の思考及び実践過程、まとめ

成績評価方法・基準		定期試験（筆記試験）60%、小テスト40%で評価する。 ＊試験は、後日、解答の解説を行います。 ＊レポートについては、コメントを返します。
授業外における学習（予習・復習）		看護とは何かということについて考えられるように、教科書以外の文献も必ず読み、主体的に学習してください。 授業計画に沿って教科書で予習し、授業後は、教科書、講義で配布される資料、参考文献を用いて復習をおこなうこと。予習・復習には授業ごとに概ね60分以上必要です。
教科書・参考文献等	教科書	茂野香おる他『≪系統看護学講座 専門分野Ⅰ≫基礎看護学[1]看護学概論(第17版)』(医学書院、2020年) ISBN:9784260038621
		フロレンス・ナイチンゲール著：湯槇ますほか訳『看護覚え書：看護であること看護でないこと』(現代社、2011年) ISBN:9784874741429
		ヴァージニア・ヘンダーソン著：湯槇ます他訳『看護の基本となるもの』(日本看護協会出版会、2016年) ISBN:9784818019966
		山口瑞穂子編著：『新訂版 パワーアップ問題集 基礎看護学 第2版』(サイオ出版、2019年) ISBN:9784907176808
	参考書	授業中に適宜紹介します。
	その他	特になし
連絡先・オフィスアワー		研究室10（2階）　e-mail：s-kondou@jhsu.ac.jp オフィスアワー：月曜日～木曜日 12時40分～13時30分 事前にアポイントをとってください。
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。

科目コード	22-11302
授業科目名	看護過程展開方法論Ⅰ
配当年次	1学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	2単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	近藤 誓子
実務家教員	看護職:近藤誓子
授業科目の概要	対象を統合体として把握するために、発達段階や健康段階について学習する。また、様々な看護理論家と理論の特徴を学習し、看護理論を看護実践に活用する意義を理解する。さらに、看護過程の構成要素(アセスメント、問題の明確化、計画、実践、評価)のプロセスを学ぶ。とくに、対象の全体像を把握するうえでアセスメントは大切な思考過程となるため、重点的に学習していきたい。
授業の到達目標	1. 看護過程の定義・構成要素を理解する。 2. 個別的な看護を実践する際、患者の変化を『気づく』ことが重要であることを理解する。 3.『気づく』ためには観察力が必要なこと、そのためには感性を磨き、専門的知識を持つことの大切さを理解する。 4. 構成要素1-アセスメント-とは何かを理解する。 5. 構成要素2-看護問題の明確化-とは何かを理解する。 6. 構成要素3-計画立案-とは何かを理解する。 7. 構成要素4-実施-とは何かを理解する。 8. 構成要素5-評価-とは何かを理解する。
特に関連する科目	人体の構造・機能学　看護学概論　心理学　教育学　人間論　コミュニケーション論　看護過程展開方法論Ⅱ　看護技術方法論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ　生涯発達論　臨床薬理学　臨床栄養学　病態治療学　各臨地実習
授業の具体的な進め方	講義中心で行う。そのなかでグループワークを行い、看護職者として必要な思考を身につけられるようにする。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	9/30	金	3	近藤誓子	講義室2 講義室3	ガイダンス、看護とは
2	10/7	金	3	近藤誓子	講義室2 講義室3	看護の役割と機能、看護過程概要
3	10/14	金	3	近藤誓子	講義室2 講義室3	看護過程の構成要素1 -アセスメント(一次アセスメント)-
4	10/21	金	3	近藤誓子	講義室2 講義室3	アセスメントガイド作成
5	10/28	金	3	近藤誓子	講義室2 講義室3	アセスメントガイド作成
6	11/4	金	3	近藤誓子	講義室2 講義室3	看護過程の構成要素1-アセスメント(関連図)-
7	11/11	金	3	近藤誓子	講義室2 講義室3	看護過程の構成要素1-アセスメント(関連図)-
8	11/18	金	3	近藤誓子	講義室2 講義室3	看護過程の構成要素1-アセスメント(関連図)-
9	11/25	金	3	近藤誓子	講義室2 講義室3	看護過程の構成要素1-アセスメント(二次アセスメント)-
10	12/2	金	3	近藤誓子	講義室2 講義室3	看護過程の構成要素1-アセスメント(二次アセスメント)-
11	12/9	金	3	近藤誓子	講義室2 講義室3	看護過程の構成要素2-看護問題の明確化-
12	12/16	金	3	近藤誓子	講義室2 講義室3	看護過程の構成要素2-看護問題の明確化-
13	12/23	金	3	近藤誓子	講義室2 講義室3	看護過程の構成要素3-計画立案-
14	1/13	金	3	近藤誓子	講義室2 講義室3	看護過程の構成要素4-実施-
15	1/20	金	3	近藤誓子	講義室2 講義室3	看護過程の構成要素5ー評価-、まとめ

成績評価方法・基準		定期試験100%
授業外における学習(予習・復習)		授業計画に沿って教科書で予習し、講義後は教科書や配布した講義ノート、参考文献を用いて復習を行うこと。予習・復習には講義ごとに概ね60分以上必要である。
教科書・参考文献等	教科書	有田清子他『系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学[2] 基礎看護技術Ⅰ (第18版)』(医学書院、2021) ISBN:9784260042116
		秋葉公子他著『看護過程を使ったヘンダーソン看護論の実践 第4版』(ヌーヴェルヒロカワ 2013) ISBN:9784861740565
		江崎フサ子他著『ヘンダーソンの基本的看護に関する看護問題リスト 第4版』(ヌーヴェルヒロカワ 2013) ISBN:9784861740572
	参考書	ロザリンダ・アルファロールフィーヴァ『 看護過程と看護診断 (第7版)』(医学書院、2012)ISBN:9784260016896
		蔵谷範子『 関連図の書き方をマスターしよう』(サイオ出版、2015)ISBN:9784907176488
	その他	適宜、授業で紹介する。
連絡先・オフィスアワー		研究室10(2階)　e-mail: s-kondou@jhsu.ac.jp 月曜日～木曜日 12時40分～13時30分。事前にアポイントを取ること
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての(専門機関における)実務経験を活かした講義(演習)を行う。

科目コード	22-11304
授業科目名	看護技術方法論Ⅰ(共通基本技術)
配当年次	1学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	15時間
授業形態	講義
担当教員	近藤 誓子、江刺家 幸代、野沢 ゆかり
実務家教員	看護職:近藤 誓子、江刺家 幸代、野沢 ゆかり
授業科目の概要	看護技術の特性を理解するために、看護技術の概念、構成要素(安全・安楽・自立)、原理・原則や、看護の実践に共通する基本技術(特に生命の徴候を観察し救命する技術、感染予防を推する技術)を学習する。生活者である対象が生命の危機的状況に陥ったときの一次救命処置(BLS)や感染防止対策(衛生学的手洗い、マスク・エプロンの着脱)の技術を修得する。
授業の到達目標	1. 看護技術とは何かを定義する。 2. 看護技術の構成要素を列挙する。 3. 感染防止対策について理解する。 4. スタンダード・プリコーションを体験する。 5. 一次救命処置について理解する。 6. 一次救命処置を体験する。 7. 療養環境について理解する。 8. 環境整備を体験する。
特に関連する科目	人体構造学　人体機能学　看護過程展開方法論　コミュニケーション論　看護技術方法論
授業の具体的な進め方	看護技術方法論は4つの科目で構成され、看護技術方法論Ⅰは看護活動を展開するための共通基本技術として位置づけられている。看護は実践の科学と言われていることから、行動に移すことが必要とされている。したがって、講義だけではなく演習を取り入れる。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	6/9	木	1	近藤誓子	講義室1	ガイダンス(授業の進め方、学習方法について、評価) 看護師の業務とは、看護技術の定義・特徴・基本原則
2	6/9	木	2	近藤誓子	基礎看護演習室	基礎看護学演習室使用に関する手引きおよび演習室探検
3	6/15	水	1	野沢ゆかり	講義室2	共通基本技術1：感染防止対策
4	6/15	水	2	野沢ゆかり	基礎看護演習室	スタンダード・プリコーション
5	6/22	水	1	内山　毅	講義室1	救急法
6	6/22	水	2	内山　毅	体育館	一次救命処置
7	6/29	水	1	江刺家幸代	講義室1	共通基本技術3：療養環境
8	6/29	水	2	江刺家幸代	基礎看護演習室	環境整備

成績評価方法・基準		授業への積極的姿勢(40%)、定期試験(60%)により、総合的に評価する。レポートについては、原則コメントし返却する。
授業外における学習(予習・復習)		予習：教科書や配布資料は事前にめを通し、質問などを準備して授業に出席すること。 復習：反復練習 各回の予習・復習は合計で60分以上である。
教科書・参考文献等	教科書	有田清子編著:『系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[3] 基礎看護技術Ⅱ 第18版 2021年改訂』(医学書院、2021年)ISBN:9784260042123
		任和子・井川順子著『根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 第3版』(医学書院 2021年)ISBN:9784260047906
	参考書	授業中に適宜紹介します。
	その他	特になし
連絡先・オフィスアワー		研究室10(2階) e-mail：s-kondou@jhsu.ac.jp オフィスアワー　月曜日～木曜日 12:40～13:30
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての(専門機関における)実務経験を活かした講義(演習)を行う。

科目コード	22-11305
授業科目名	看護技術方法論Ⅱ(ヘルスアセスメント)ABクラス
配当年次	1学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	演習
担当教員	近藤 誓子、江刺家 幸代、野沢 ゆかり
実務家教員	看護職:近藤誓子・江刺家幸代・野沢ゆかり
授業科目の概要	看護の対象となる人々の健康状態を把握する方法としてヘルスアセスメントの意義と方法を理解することを目的とする。 ヘルスアセスメントの方法の1つであるフィジカルイグザミネーションやフィジカルアセスメントの実際を学ぶ。演習では、バイタルサインズ、呼吸器系、循環器系、腹部のアセスメントについて学習する。
授業の到達目標	1. ヘルスアセスメントについてその概要と基本的な内容を説明することができる。 2. 対象者に配慮しつつ、看護者としてふさわしい態度でフィジカルアセスメントが実施することができる。 3. フィジカルアセスメント技術を用いて得た情報を専門用語を使って表現することができる。 4. バイタルサインズを正確に測定する技術を習得することができる。 5. 呼吸器系のアセスメント技術を習得することができる。 6. 循環器系のアセスメント技術を習得することができる。 7. 消化器系のアセスメント技術を習得することができる。 8. 脳・神経系のアセスメントの視点を習得することができる。
特に関連する科目	人体構造と機能学　看護過程展開方法論Ⅰ・Ⅱ　コミュニケーション論 生涯発達論　看護技術方法論Ⅰ・Ⅲ・Ⅳ　各臨地実習
授業の具体的な進め方	・講義と演習を組み合わせながら進める。 ・演習の際は視聴覚教材を活用する。 ・ヘルスアセスメントは人体構造学・人体機能学の知識を土台としているため、日々の予習・復習は授業を理解するうえで大切である。 ・事前学習と演習後の事後学習の提出を義務づけている。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	10/26	水	1	近藤誓子	講義室2	ガイダンス(学科目の目的・目標、授業の日程、学習方法、評価)　患者観察方法:視診・触診・打診・聴診
2	10/27	木	1	近藤誓子	基礎看護演習室	【演習】問診とフィジカルイグザミネーション
3	11/9	水	1	近藤誓子	講義室2	バイタルサインズ　(体温・脈拍・呼吸)
4	11/10	木	1	近藤誓子	基礎看護演習室	【演習】バイタルサインズ　(体温・脈拍・呼吸)
5	11/16	水	1	近藤誓子	講義室2	バイタルサインズ　(血圧)
6	11/17	木	1	近藤誓子	基礎看護演習室	【演習】バイタルサインズ　(血圧)
7	12/1	木	1	近藤誓子	基礎看護演習室	技術チェック(バイタルサインズ)
8	12/7	水	1	野沢ゆかり	講義室2	胸部・肺のアセスメント
9	12/8	木	1	野沢ゆかり	基礎看護演習室	【演習】胸部・肺のアセスメント
10	12/14	水	1	江刺家幸代	講義室2	心臓・循環器系のアセスメント
11	12/15	木	1	江刺家幸代	基礎看護演習室	【演習】心臓・循環器系のアセスメント
12	12/21	水	1	菅原幸恵	講義室2	腹部・消化器系のアセスメント
13	12/22	木	1	菅原幸恵	基礎看護演習室	【演習】腹部・消化器系のアセスメント
14	1/11	水	1	野沢ゆかり	講義室2	脳神経系のアセスメント
15	1/19	木	1	野沢ゆかり	基礎看護演習室	統合演習

成績評価方法・基準		定期試験60%、小テスト20%、技術チェック20%とし、総合的に評価する。 ＊技術チェックを行います。 ＊レポートについては、コメントを返します。
授業外における学習(予習・復習)		事前学習、演習後の事後学習の提出は必須なので忘れずに取り組むこと。 授業計画に沿って教科書で予習し、授業後は、教科書、講義で配布される資料、参考文献を用いて復習をおこなうこと。予習・復習には授業ごとに概ね60分以上必要です。
教科書 ・参考文献等	教科書	横山美樹著 『はじめてのフィジカルアセスメント(第2版)看護を学ぶすべてのひとが身につけたいフィジカルイグザミネーションの知識と技術』(メヂカルフレンド社、2019年)　ISBN:9784839216481
		山内豊明著『フィジカルアセスメントガイドブック 目と手と耳でここまでわかる 第2版』(医学書院　2011年)　ISBN:9784260013840
		山内豊明著『フィジカルアセスメントワークブック 身体の仕組みと働きをアセスメントにつなげる』(医学書院　2014年)　ISBN:9784260018326
	参考書	有田清子他著『系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[2] 基礎看護技術Ⅰ(第18版)』(医学書院、2021年)　ISBN:9784260042116
	その他	特になし
連絡先・オフィスアワー		オフィスアワー等は、授業最初にお知らせします。
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての(専門機関における)実務経験を活かした講義(演習)を行う。

科目コード	22-11305
授業科目名	看護技術方法論Ⅱ（ヘルスアセスメント）CDクラス
配当年次	1学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	演習
担当教員	近藤 誓子、江刺家 幸代、野沢 ゆかり
実務家教員	看護職：近藤誓子・江刺家幸代・野沢ゆかり
授業科目の概要	看護の対象となる人々の健康状態を把握する方法としてヘルスアセスメントの意義と方法を理解することを目的とする。 ヘルスアセスメントの方法の1つであるフィジカルイグザミネーションやフィジカルアセスメントの実際を学ぶ。演習では、バイタルサインズ、呼吸器系、循環器系、腹部のアセスメントについて学習する。
授業の到達目標	1. ヘルスアセスメントについてその概要と基本的な内容を説明することができる。 2. 対象者に配慮しつつ、看護者としてふさわしい態度でフィジカルアセスメントが実施することができる。 3. フィジカルアセスメント技術を用いて得た情報を専門用語を使って表現することができる。 4. バイタルサインズを正確に測定する技術を習得することができる。 5. 呼吸器系のアセスメント技術を習得することができる。 6. 循環器系のアセスメント技術を習得することができる。 7. 消化器系のアセスメント技術を習得することができる。 8. 脳・神経系のアセスメントの視点を習得することができる。
特に関連する科目	人体構造と機能学　看護過程展開方法論Ⅰ・Ⅱ　コミュニケーション論　生涯発達論　看護技術方法論Ⅰ・Ⅲ・Ⅳ　各臨地実習
授業の具体的な進め方	・講義と演習を組み合わせながら進める。 ・演習の際は視聴覚教材を活用する。 ・ヘルスアセスメントは人体構造学・人体機能学の知識を土台としているため、日々の予習・復習は授業を理解するうえで大切である。 ・事前学習と演習後の事後学習の提出を義務づけている。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	10/26	水	1	近藤誓子	講義室2	ガイダンス(学科目の目的・目標、授業の日程、学習方法、評価）患者観察方法：視診・触診・打診・聴診
2	10/27	木	2	近藤誓子	基礎看護演習室	【演習】問診とフィジカルイグザミネーション
3	11/9	水	1	近藤誓子	講義室2	バイタルサインズ（体温・脈拍・呼吸）
4	11/10	木	2	近藤誓子	基礎看護演習室	【演習】バイタルサインズ（体温・脈拍・呼吸）
5	11/16	水	1	近藤誓子	講義室2	バイタルサインズ（血圧）
6	11/17	木	2	近藤誓子	基礎看護演習室	【演習】バイタルサインズ（血圧）
7	12/1	木	2	近藤誓子	基礎看護演習室	技術チェック（バイタルサインズ）
8	12/7	水	1	野沢ゆかり	講義室2	胸部・肺のアセスメント
9	12/8	木	2	野沢ゆかり	基礎看護演習室	【演習】胸部・肺のアセスメント
10	12/14	水	1	江刺家幸代	講義室2	心臓・循環器系のアセスメント
11	12/15	木	2	江刺家幸代	基礎看護演習室	【演習】心臓・循環器系のアセスメント
12	12/21	水	1	菅原幸恵	講義室2	腹部・消化器系のアセスメント
13	12/22	木	2	菅原幸恵	基礎看護演習室	【演習】腹部・消化器系のアセスメント
14	1/11	水	1	野沢ゆかり	講義室2	脳神経系のアセスメント
15	1/19	木	2	野沢ゆかり	基礎看護演習室	統合演習

成績評価方法・基準		定期試験60%、小テスト20%、技術チェック20%とし、総合的に評価する。 ＊技術チェックを行います。 ＊レポートについては、コメントを返します。
授業外における学習（予習・復習）		事前学習、演習後の事後学習の提出は必須なので忘れずに取り組むこと。 授業計画に沿って教科書で予習し、授業後は、教科書、講義で配布される資料、参考文献を用いて復習をおこなうこと。予習・復習には授業ごとに概ね60分以上必要です。
教科書・参考文献等	教科書	横山美樹著 『はじめてのフィジカルアセスメント（第2版）看護を学ぶすべてのひとが身につけたいフィジカルイグザミネーションの知識と技術』（メヂカルフレンド社、2019年） ISBN：9784839216481
		山内豊明著『フィジカルアセスメントガイドブック 目と手と耳でここまでわかる 第2版』（医学書院 2011年） ISBN：9784260013840
		山内豊明著『フィジカルアセスメントワークブック 身体の仕組みと働きをアセスメントにつなげる』（医学書院 2014年） ISBN：9784260018326
	参考書	有田清子他著 『系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学[2] 基礎看護技術Ⅰ（第18版）』（医学書院、2021年）ISBN：9784260042116
	その他	特になし
連絡先・オフィスアワー		オフィスアワー等は、授業最初にお知らせします。
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。

科目コード	22-11306
授業科目名	看護技術方法論Ⅲ（日常生活の援助）ABクラス
配当年次	1学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	2単位
時間数	60時間
授業形態	演習
担当教員	近藤 誓子、江刺家 幸代、野沢 ゆかり
実務家教員	看護職：近藤誓子・江刺家幸代・野沢ゆかり
授業科目の概要	日常生活に伴う援助技術として、快適な環境をつくる技術、安楽な体位を保持し変換する技術、移動・移送を支援する技術、衣生活を支援する技術、身体の保清を支援する技術、休息・睡眠を促す技術、食事・栄養摂取を促す技術、自然な排泄を促す技術についての基本を学ぶ。演習においては、単なる技術の習得ではなく、事例を提示することで『安全・安楽・自立・個別性』とは何かを考え、行動できることを目標とする。学生の日常生活に身近な話題をとりあげながら進めていく。また、援助する側の「看護師役」だけではなく、援助される側の「患者役」の体験を通して患者の気持ちを理解する。
授業の到達目標	1. 看護技術の概念、構成要素を理解する。 2. 日常生活行動に関する身体的・心理的・社会的意義を理解し、看護師の役割を説明することができる。 3. 生活援助技術の原理・原則を理解し、基本的な方法で実践できる。 4. 患者の反応を捉え、安全性・安楽性・自立を考慮しながら個別性に対応できる。
特に関連する科目	人体の構造と機能学　コミュニケーション論　看護学概論　看護技術方法論　看護過程展開方法論
授業の具体的な進め方	講義が終了した後、演習を行う。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	9/20	火	4	江刺家幸代	講義室2	Ⅰ.ガイダンス(学科目の目的・目標、授業の日程、評価の方法、学習方法)
2	9/26	月	4	菅原幸恵	講義室2	【演習】1. 安楽な体位を保持する援助（講義） 2. ボディメカニクスを活用した体位変換の技術 3. 移動・移送を支援する技術 4. 褥瘡を予防する技術
3	9/27	火	1	菅原幸恵	基礎看護演習室	【演習】安楽な体位を保持し変換する技術 ・安楽な体位の保持 ・体位変換（水平移動、仰臥位から側臥位、仰臥位から端坐位） ・褥瘡予防対策
4	9/27	火	2	菅原幸恵	基礎看護演習室	【演習】安楽な体位を保持し変換する技術 ・安楽な体位の保持 ・体位変換（水平移動、仰臥位から側臥位、仰臥位から端坐位） ・褥瘡予防対策
5	10/4	火	1	菅原幸恵	基礎看護演習室	【演習】・車椅子への移乗・移送・歩行介助　　・ストレッチャーへの移動・移送
6	10/4	火	2	菅原幸恵	基礎看護演習室	【演習】・車椅子への移乗・移送・歩行介助　　・ストレッチャーへの移動・移送
7	10/17	月	4	江刺家幸代	講義室2	（講義）5.快適な療養環境を支える技術・臥床患者の安楽を保持したシーツ交換
8	10/18	火	1	江刺家幸代	基礎看護演習室	【演習】リネン類の取り扱い・ベッドメーキング
9	10/18	火	2	江刺家幸代	基礎看護演習室	【演習】リネン類の取り扱い・ベッドメーキング
10	10/25	火	1	江刺家幸代	基礎看護演習室	【演習】臥床患者のシーツ交換
11	10/25	火	2	江刺家幸代	基礎看護演習室	【演習】臥床患者のシーツ交換
12	11/1	火	1・2	江刺家幸代	基礎看護演習室	技術チェック（環境を整える技術）
13	11/7	月	4	近藤誓子	講義室2	（講義）6.衣生活を支援する技術
14	11/8	火	2	近藤誓子	基礎看護演習室	【演習】寝衣交換
15	11/14	月	4	近藤誓子	講義室2	（講義）7.身体の保清を支援する技術
16	11/15	火	1	近藤誓子	基礎看護演習室	【演習】 全身清拭 ①
17	11/15	火	2	近藤誓子	基礎看護演習室	【演習】 全身清拭 ①
18	11/21	月	4	野沢ゆかり	講義室2	（講義）8.口腔の清潔を保持する技術
19	11/22	火	1	近藤誓子	基礎看護演習室	【演習】全身清拭 ②
20	11/22	火	2	近藤誓子	基礎看護演習室	【演習】全身清拭 ②
21	11/28	月	4	江刺家幸代	講義室2	（講義）9. 休息・睡眠を促す技術
22	11/29	火	1	江刺家幸代	基礎看護演習室	【演習】手浴・臥床患者の足浴
23	11/29	火	2	江刺家幸代	基礎看護演習室	【演習】手浴・臥床患者の足浴

24	12/12	月	4	江刺家幸代	基礎看護演習室	10.食事・栄養摂取を促す技術
25	12/13	火	1	近藤誓子	基礎看護演習室	【演習】洗髪（患者の状態に合わせた洗髪の方法）
26	12/13	火	2	近藤誓子	基礎看護演習室	【演習】洗髪（患者の状態に合わせた洗髪の方法）
27	12/19	月	4	菅原幸恵	講義室2	（講義）11.自然な排泄を促す技術　・患者の状態に合わせた陰部洗浄
28	12/20	火	2	菅原幸恵	基礎看護演習室	【演習】尿器、便器の当て方・外し方、オムツの着脱
29	1/17	火	1	菅原幸恵	基礎看護演習室	【演習】陰部洗浄
30	1/17	火	2	菅原幸恵	基礎看護演習室	【演習】陰部洗浄

成績評価方法・基準		定期試験60%、技術チェック20%　小テスト20%
授業外における学習（予習・復習）		事前・事後学習は、授業参加の前提である。 意識的に取り組み、質問などを準備して授業に出席すること。 技術は反復練習が必要である。
教科書 ・参考文献等	教科書	有田清子著　系統看護学講座　専門分野『 基礎看護技術Ⅱ ③ 』（医学書院　2021 年改定）（購入済み）
		任　和子著『 根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 』（医学書院　2021年）（購入済み）
	参考書	その都度、紹介する。
	その他	その都度、紹介する。
連絡先・オフィスアワー		連絡先　江刺家幸代　　研究室：No.21 オフィスアワー　月火　木金曜日 12:40～13:30
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。

科目コード	22-11306
授業科目名	看護技術方法論Ⅲ（日常生活の援助）CDクラス
配当年次	1学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	2単位
時間数	60時間
授業形態	演習
担当教員	近藤 誓子、江刺家 幸代、野沢 ゆかり
実務家教員	看護職：近藤誓子・江刺家幸代・野沢ゆかり
授業科目の概要	日常生活に伴う援助技術として、快適な環境をつくる技術、安楽な体位を保持し変換する技術、移動・移送を支援する技術、衣生活を支援する技術、身体の保清を支援する技術、休息・睡眠を促す技術、食事・栄養摂取を促す技術、自然な排泄を促す技術についての基本を学ぶ。演習においては、単なる技術の習得ではなく、事例を提示することで『安全・安楽・自立・個別性』とは何かを考え、行動できることを目標とする。学生の日常生活に身近な話題をとりあげながら進めていく。また、援助する側の「看護師役」だけではなく、援助される側の「患者役」の体験を通して患者の気持ちを理解する。
授業の到達目標	1. 看護技術の概念、構成要素を理解する。 2. 日常生活行動に関する身体的・心理的・社会的意義を理解し、看護師の役割を説明することができる。 3. 生活援助技術の原理・原則を理解し、基本的な方法で実践できる。 4. 患者の反応を捉え、安全性・安楽性・自立を考慮しながら個別性に対応できる。
特に関連する科目	人体の構造と機能学　コミュニケーション論　看護学概論　看護技術方法論　看護過程展開方法論
授業の具体的な進め方	講義・演習は対面授業とする。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	9/20	火	4	江刺家幸代	講義室2	Ⅰ.ガイダンス(学科目の目的・目標、授業の日程、評価の方法、学習方法)
2	9/26	月	4	菅原幸恵	講義室2	(講義)1. 安楽な体位を保持する援助 2. ボディメカニクスを活用した体位変換の技術 3. 移動・移送を支援する技術 4. 褥瘡を予防する技術
3	9/27	火	3	菅原幸恵	基礎看護演習室	【演習】安楽な体位を保持し、変換する技術 ・安楽な体位の保持 ・体位変換(水平移動、仰臥位から側臥位、仰臥位から端坐位) ・褥瘡予防対策
4	9/27	火	4	菅原幸恵	基礎看護演習室	【演習】安楽な体位を保持し、変換する技術 ・安楽な体位の保持 ・体位変換(水平移動、仰臥位から側臥位、仰臥位から端坐位) ・褥瘡予防対策
5	10/4	火	3	菅原幸恵	基礎看護演習室	【演習】車椅子への移乗・移送・歩行介助　　ストレッチャーへの移動・移送
6	10/4	火	4	菅原幸恵	基礎看護演習室	【演習】車椅子への移乗・移送・歩行介助　　ストレッチャーへの移動・移送
7	10/17	月	4	江刺家幸代	講義室2	(講義)5. 快適な療養環境を支える技術 ・ 臥床患者の安楽を保持したシーツ交換
8	10/18	火	3	江刺家幸代	基礎看護演習室	【演習】リネン類の取り扱い・ベッドメーキング
9	10/18	火	4	江刺家幸代	基礎看護演習室	【演習】リネン類の取り扱い・ベッドメーキング
10	10/25	火	3	江刺家幸代	基礎看護演習室	【演習】臥床患者のシーツ交換
11	10/25	火	4	江刺家幸代	基礎看護演習室	【演習】臥床患者のシーツ交換
12	11/1	火	3・4	江刺家幸代	基礎看護演習室	技術チェック(環境を整える技術)
13	11/7	月	4	近藤誓子	講義室2	(講義)6. 衣生活を支援する技術
14	11/8	火	3	近藤誓子	基礎看護演習室	【演習】寝衣交換
15	11/14	月	4	近藤誓子	講義室2	7. 身体の保清を支援する技術
16	11/15	火	3	近藤誓子	基礎看護演習室	【演習】全身清拭①
17	11/15	火	4	近藤誓子	基礎看護演習室	【演習】全身清拭①
18	11/21	月	4	野沢ゆかり	講義室2	(講義)8. 口腔の清潔を保持する技術
19	11/22	火	3	近藤誓子	基礎看護演習室	【演習】全身清拭②
20	11/22	火	4	近藤誓子	基礎看護演習室	【演習】全身清拭②
21	11/28	月	4	江刺家幸代	講義室2	(講義)9. 休息・睡眠を促す技術
22	11/29	火	3	江刺家幸代	基礎看護演習室	【演習】手浴・臥床患者の足浴
23	11/29	火	4	江刺家幸代	基礎看護演習室	【演習】手浴・臥床患者の足浴

24	12/12	月	4	江刺家幸代	基礎看護演習室	(講義)10. 食、栄養摂取を促す技術
25	12/13	火	3	近藤誓子	基礎看護演習室	【演習)洗髪(患者の状態に合わせた洗髪の方法)
26	12/13	火	4	近藤誓子	基礎看護演習室	【演習)洗髪(患者の状態に合わせた洗髪の方法)
27	12/19	月	4	菅原幸恵	講義室2	(講義)11.自然な排泄を促す技術・患者の状態に合わせた洗髪の方法)
28	12/20	火	3	菅原幸恵	基礎看護演習室	【演習】尿器、便器の当て方・外し方、オムツの着脱
29	1/17	火	3	菅原幸恵	基礎看護演習室	【演習】陰部洗浄
30	1/17	火	4	菅原幸恵	基礎看護演習室	【演習】陰部洗浄

成績評価方法・基準		定期試験60%、技術チェック20%　小テスト20%、
授業外における学習(予習・復習)		事前・事後学習は、授業参加の前提である。 意識的に取り組み、質問などを準備して授業に出席すること。 技術は反復練習が必要である。
教科書 ・参考文献等	教科書	有田清子著　系統看護学講座　専門分野『 基礎看護技術Ⅱ③ 』(医学書院　2021改定版)(購入済み)
		任　和子著『 根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 』(医学書院　2021年)(購入済み)
	参考書	その都度、紹介する。
	その他	その都度、紹介する。
連絡先・オフィスアワー		連絡先　江刺家幸代、研究室:No.21 オフィスアワー　月火　木金曜日 12:40～13:30
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての(専門機関における)実務経験を活かした講義(演習)を行う。

科目コード	22-11309
授業科目名	地域・在宅看護概論Ⅰ（地域における看護）
配当年次	1学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	15時間
授業形態	講義
担当教員	小林 美奈子、齊藤 敦子、増野 章子
実務家教員	看護職：小林美奈子　齊藤敦子　増野章子
授業科目の概要	看護の対象は、地域・在宅で暮らす全ての人々(あらゆる年代、あらゆる疾病や障害、あらゆる健康段階)であり、「生活者」である。本講義では、地域とは何か、在宅とは何かを学び、全ての人々が住み慣れた地域・在宅で安心して過ごせるよう、その個々の暮らしと環境を理解し、個々の暮らし方を尊重する看護のあり方を学習する。さらに、「自助」、「互助」、「共助」、「公助」の概念と内容を学び、地域包括ケアシステムと様々な場における看護活動について学習する。
授業の到達目標	1. 生活と健康をめぐる社会の動向をとらえ，地域における看護の必要性について，説明できる. 2. 人々の暮らす地域の多様性を理解し，個々の暮らし方を尊重して支援することについて、説明できる. 3. 地域共生社会と地域包括ケアシステムの構築の推進の概要について、説明できる。 4. 地域で暮らすあらゆる人々の健康課題を理解し、看護ケアの役割について、説明ができる. 5. 地域・在宅ケアを支える法・制度や社会資源の存在を理解し連携の必要性について、説明できる。 6. 地域における看護実践の場を理解し、看護師と連携して働く主な医療福祉専門職の役割について、説明できる。 7. 病院の病床機能と看護の特徴をふまえ，在宅，施設や転院への療養移行の支援の必要性について，説明できる。 8. 地域での暮らしの中のリスクと危機に対する看護の役割について、説明できる。
特に関連する科目	看護統合実習Ⅰ（くらしの中の看護）、地域・在宅看護論実習　看護学専門科目（基礎・成人・老年・小児・精神・公衆衛生看護学の概論や方法論）　家族看護論　社会福祉学　関係法規　保健医療福祉行政論
授業の具体的な進め方	講義の事前や事後学習の課題による個人ワークを元に講義やグループワークによる授業で内容を深めながら進める。 授業ごとにリアクションシートの提出や課題を提示する。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	11/21	月	3	小林美奈子他	講義室2	授業ガイダンス　序章 ・地域の中での暮らしと健康・看護　（授業到達目標　1．2） 【事前学習】教科書P4～11までを読んでおく 【事後学習】自分自身の生活の振り返りと身近な家族の生活を調べ、暮らしが健康に影響していることを考え400字以内でまとめレポート提出する。
2	11/28	月	3	小林美奈子他	講義室2	第1章　人々の暮らしと地域・在宅看護　（授業到達目標　1．2） ・生活とは暮らしとは何か ・地域・在宅における看護の役割とは 【事前学習】教科書P12～P18を読み暮らしとは何か改めて考え、地域・在宅看護のイメージをまとめる。 【事後学習】教科書P25～P29の演習Ⅰのワーク6まで実施する。
3	12/5	月	3	小林美奈子他	講義室2	第3章　地域・在宅の対象者　（授業到達目標　1．2．3．） ・地域で暮らす対象者と家族の理解 【事前学習】教科書P58～P101までを読んで、わからない言葉をピックアップする。 【事後学習】P94の復習と課題①～④をレポート提出する。
4	12/5	月	4	小林美奈子他	講義室2	第4章　地域における暮らしを支える看護①　（授業到達目標2．4） ・暮らしを支える看護とは ・地域におけるライフステージに応じた看護 【事前学習】教科書P104～P133まで読んで、わからない言葉をピックアップする。 【事後学習】病気や怪我していない、健康に見える人が持つ健康課題にはどのようなものがあるのか、各ライフステージで考えをまとめレポート提出する。
5	12/12	月	3	小林美奈子他	講義室2	第4章　地域における暮らしを支える看護①　（授業到達目標2．4） ・暮らしを支える看護とは ・地域におけるライフステージに応じた看護 【事前学習】教科書P104～P133まで読んで、わからない言葉をピックアップする。 【事後学習】病気や怪我していない、健康に見える人が持つ健康課題にはどのようなものがあるのか、各ライフステージで考えをまとめレポート提出する。
6	12/19	月	3	小林美奈子他	講義室2	第4章　地域における暮らしを支える看護②　（授業到達目標　2．3．4．8） ・暮らしにおけるリスクの理解 ・地域での暮らしにおける災害対策 ・地域包括ケアシステムにおける災害対策 【事前学習】教科書P138 ～P142までを読み、自分のくらしの中にはどのようなリスクがあるかまとめる。 【事後学習】地域での暮らしにおけるリスクの種類および災害対策における看護師が果たせる役割をレポートする。
7	1/16	月	3	小林美奈子他	講義室2	第5章　地域・在宅看護実践の場と連携　（授業到達目標　2．5．6．7） ・おもな地域・在宅看護実践の場 ・地域・在宅看護における多職種連携 【事前学習】P144～P162まで読み、地域・在宅看護実践の場で連携して働く職種をピックアップする。 【事後学習】地域・在宅看護において看護実践の場と、そこで実際にどのような看護が行えるかレポートする。
8	1/16	月	4	小林美奈子他	講義室2	第6章　地域・在宅看護にかかわる制度とその活用　（到達目標3．4．5．6．7） ・介護保険制度と地域包括ケアセンター ・地域・在宅看護にかかわる医療提供体制 ・訪問看護制度等 【事前学習】教科書P168～P210まで読んで、介護保険制度や医療制度について知ったことをまとめる。 【事後学習】住んでいる地域や学校の地域の医療圏について、対象者の特性や健康課題に見合った医療・介護・福祉施設を調べレポートをする。

成績評価方法・基準		定期試験（期末試験）：80%、事前事後学習の提出物：20%
授業外における学習（予習・復習）		本科目は看護統合実習Ⅰ（くらしの中の看護）および看護統合実習Ⅱ（くらしの中の危機の看護）の基盤となる授業科目であり、事前・事後学習は実習前の学習にもなり得るため、意欲的に学習に臨んでいただきたい。関連法規の知識が必要なことも多いので、必要時に、「社会福祉学」・「関係法規」・「保健医療福祉行政論」等の予習、復習を望む。新聞・テレビ等での在宅関連のニュースに関心を持ってほしい。講義ごとに概ね120分の予習、復習として必要となる。
教科書 ・参考文献等	教科書	河原加代子著『地域・在宅看護の基盤　地域・在宅看護論 1　第5版第6刷(系統看護学講座 統合分野1)』(医学書院、2022)ISBN：9784260046893
	参考書	池西静江（著，編集） 基礎からわかる 地域・在宅看護論（プチナース）単行本－　ISBN ：9784796525459
	その他	特になし
連絡先・オフィスアワー		小林美奈子 研究室15（2階）m-kobayashi@jhsu.ac.jp　水曜日 13：00～16：00 齊藤 敦子　研究室20（2階） at-saitou@jhsu.ac.jp　水曜日 13：00～16：00 増野 章子　研究室18（2階） a-mashino@jhsu.ac.jp　水曜日 13：00～16：00 上記以外でも在室であれば、可能な限り対応する。できる限りアポイントメントを取って欲しい。
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての実務経験を活かした講義（演習）を行う。

科目コード		22-11339
授業科目名		基礎看護学実習Ⅰ(対象の理解と看護活動の場を知る)
配当年次		1学年
開講時期		前期
必修・選択・自由		必修
単位		1単位
時間数		45時間
授業形態		実験・実習
担当教員		近藤 誓子、江刺家 幸代、野沢 ゆかり
実務家教員		看護職:近藤誓子・江刺家幸代・野沢ゆかり
授業科目の概要		医療施設に入院している対象の療養環境や看護援助場面を見学し、看護の対象・場・活動の実際について学ぶ。対象とのコミュニケーションを体験する。また、看護を学ぶための基本的な姿勢を身につける。
授業の到達目標		1. 病院の概要と機能、役割を理解する。 2. 対象の療養環境を理解する。 3. 看護師の役割を理解する。 4. 患者とのコミュニケーションを通して、信頼関係を気づくことの大切さを理解する。5. 看護専門職を目指す者として必要な基本的態度を身につける。
特に関連する科目		看護学概論　コミュニケーション論　生涯発達論　看護技術方法論Ⅰ Ⅱ Ⅲ ボディメカニクス　看護過程展開方法論Ⅰ
授業の具体的な進め方		○期間　1週間 ※事前に全体オリエンテーションを2回、病院オリエンテーション、グループ別オリエンテーションを1回行う。 ○場所　実習病院 ○時間　原則として午前8時30分～午後4時30分 ○方法　5日間の実習のうち、3日間は臨地、2日間は学内とする。 学生5名のグループを形成し、教員1名の支援を受けながら実習を行う。 病院や病棟からオリエンテーションを受け、各部門の見学をする。病棟では看護師とともに行動し、さらに、患者とコミュニケーションをとる。 学生相互の学びを共有する機会とするために、グループ学修は毎日行う。 臨地実習終了後、学修の成果を報告しあう。 ＊詳しくは、配布する実習要項を参照すること
実習期間		【実習期間】 Aグループ:2022年7月4日～2022年7月8日 Bグループ:2022年7月11日～2022年7月15日 実習スケジュールにつきましては、実習要項をご覧ください。
成績評価方法・基準		1. 行動目標を評価基準とし、病棟実習・学内実習およびグループ学修における言動、記録物・レポートの記載内容、出席状況に基づき評価する。 2. 単位認定については学生便覧に基づき行う。 1)4/5以上の出席のある者を、評価対象とする。 2)最終記録物の提出期限は厳守する。時間内に提出できない場合、記録物は受け取らない。したがって、本実習は不合格となり、単位修得はできない。
授業外における学習(予習・復習)		事前学修 学生は実習開始までに、次の課題について事前学修ノートにまとめ、担当教員に提出し、コメントをもらう。 1) 実習病院の概要と機能・役割 2)看護の役割と機能について 3)看護の対象について 4)効果的なコミュニケーション方法について 5)入院環境について 実習中は、所定の用紙に記録し、分からない点や疑問に感じたことは積極的に調べ、記録に書いたり、教員に質問する。 予習・復習の時間は、毎日120分以上必要である。
教科書 ・参考文献等	教科書	田中美穂/蜂ケ崎令子 著『看護学生のための実習の前に読む本』(医学書院、2015年)　ISBN:9784260020763
		茂野香おるほか著『≪系統看護学講座 専門分野Ⅰ≫基礎看護学[1]看護学概論(第17版)』(医学書院、2020年)ISBN:9784260038621(1年次の必修教科書)
		有田清子編著:『系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[3] 基礎看護技術Ⅱ 第18版 2021年改訂』(医学書院、2021年)ISBN:9784260042123(1年次の必修教科書)
	参考書	川島みどり著『きらり看護 新訂』(医学書院 2008年)ISBN : 9784260006187
	その他	
連絡先・オフィスアワー		研究室　№10近藤　s-kondou@jhsu.ac.jp 月曜日～木曜日　12時40分～13時30分。事前にアポイントを取ること。
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての(専門機関における)実務経験を活かした講義(演習)を行う。 【先修条件】 なし

科目コード		22-11362
授業科目名		看護統合実習Ⅰ(くらしの中の看護)
配当年次		1学年
開講時期		後期
必修・選択・自由		必修
単位		1単位
時間数		45時間
授業形態		外部実習
担当教員		近藤 誓子、中島 富志子、坂巻 つや子
実務家教員		看護職:近藤誓子、中島富志子、坂巻つや子他
授業科目の概要		看護統合実習Ⅰは、学生が地域における人々の身近な場所(くらしの中)にある看護を知り、実際に看護の現場を見学することによって、看護が人々のくらしに必要であることを学修する。具体的には、看護学実習の初期に位置づけ、実習内容としては、①地域の医療・看護の場の探索、②診療所・幸手市役所・くらしの中の保健室等の役割について学ぶ。
授業の到達目標		1. 地域の人々の暮らしを既存の資料や地区踏査から理解する。 2. 地域における医療や看護を理解する。 3. 行政における保健医療福祉体制を理解する。 4. 地域で暮らす人々の健康課題を理解する。 5. 地域に暮らす人々へ接するときの必要な基本的姿勢を身につける。
特に関連する科目		公衆衛生学　地域・在宅看護概論Ⅰ(地域における看護)　コミュニケーション論
授業の具体的な進め方		○期間　1週間 ○場所　①医療関係施設　②幸手市公共施設 ○時間　原則として午前8時30分～午後4時30分 ○方法 ＊詳しくは、配布する実習要項を参照すること
実習期間		【実習期間】 Aグループ:2023年1月30日～2023年2月3日 Bグループ:2023年2月6日～2023年2月10日 実習スケジュールにつきましては、実習要項をご覧ください。
成績評価方法・基準		1. 行動目標を評価基準とし、各実習施設・学内実習およびグループ学修における言動・記録物・レポートの記載内容、出席状況に基づき評価する。 2. 単位認定については学生便覧に基づき行う。 1) 4/5以上の出席のある者を評価対象とする。 2) 最終記録物の提出期限は遵守する。時間内に提出できない場合、記録物は明け取らない。したがって、本実習は不合格となり、単位修得はできない。
授業外における学習(予習・復習)		事前学習 学生は実習開始までに、次の課題について事前学修ノートにまとめておく。 ①地域生活している人の発達段階と健康レベル ②地域包括ケアシステム、地域包括ケアシステム(幸手モデル) ③自助／互助／共助／公助の定義と役割 ④幸手市の概要、地域の特徴 ⑤幸手市における看護が提供されている場の法的根拠、看護の役割 事後学習 学生は毎日の実習終了後、日々の記録だけではなく、さまざまな実習場所で学んだ内容について調べ学習をする。
教科書・参考文献等	教科書	地域・在宅看護概論Ⅰで使用する教科書
	参考書	その都度、提示する。
	その他	
連絡先・オフィスアワー		研究室No.10　近藤 e-mail: s-kondou@jhsu.ac.jp 研究室No.21　中島 e-mail: t-nakajima@jhsu.ac.jp 研究室No.02　坂巻 e-mail: t-sakamaki@jhsu.ac.jp 月曜日～木曜日　12時40分～13時30分。事前にアポイントを取ること。
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての(専門機関における)実務経験を活かした講義(演習)を行う。

Ⅱ.

2022 年度　看護学科　2・3・4 年次生

講義要綱・シラバス



日本保健医療大学
保健医療学部 看護学科
JAPAN UNIVERSITY OF HEALTH SCIENCES

2022年度 2･3･4年次生看護学科授業科目一覧･目次

No.	区分1	区分2	科目コード	科目名	年次	学期	必修	単位数	時間数	授業形態	科目責任者	頁
	基礎系科目											
4	基礎系科目	外国語	12-11104	英語Ⅳ(医療英語)	2年	前期	必修	1	30	講義	川鍋 好正	1-4
5	基礎系科目	外国語	12-11105	フランス語	3年	前期	選択	2	30	講義	藤井 宏尚	5
10	基礎系科目	人間と文化	12-11110	経営学	2年	後期	必修	2	30	講義	河野 惟隆	6
11	基礎系科目	人間と文化	12-11111	法学(日本国憲法)	3年	前期	選択	2	30	講義	水倉 友理	7
12	基礎系科目	人間と文化	12-11112	教育学	2年	前期	選択	2	30	講義	小林 彰彦	8
13	基礎系科目	人間と文化	12-11113	生命倫理	2年	後期	必修	1	30	講義	岡野 浩	9
17	基礎系科目	人間と文化	12-11117	サイコセラピーとカウンセリング	3年	前期	必修	1	30	演習	中村 真通	10
22	基礎系科目	人間と文化	12-11122	国際保健学	4年	後期	選択	1	30	講義	須釜 幸男	11
23	基礎系科目	人間と文化	12-11123	国際文化論	2年	後期	選択	1	30	講義	臼杵 百合子	12
	専門基礎系科目											
26	専門基礎系科目	健康と社会	12-11203	薬理学(臨床薬理含)	2年	後期	必修	2	45	講義	岡部 智恵	13-14
28	専門基礎系科目	健康と社会	12-11205	微生物学	2年	後期	必修	1	30	講義	今西 健一	15
30	専門基礎系科目	健康と社会	12-11207	病態治療学Ⅰ(脳神経系、循環器系、呼吸器系、消化器系)	2年	前期	必修	2	60	講義	塚本 哲	16-17
31	専門基礎系科目	健康と社会	12-11208	病態治療学Ⅱ(腎･泌尿器系、血液･免疫、内分泌、アレルギー、精神)	2年	後期	必修	2	60	講義	塚本 哲	18-19
32	専門基礎系科目	健康と社会	12-11209	病態治療学Ⅲ(母性、小児、他)	3年	前期	必修	2	60	講義	塚本 哲	20-21
33	専門基礎系科目	健康と社会	12-11210	栄養学	2年	後期	必修	1	30	講義	坂本香織	22
34	専門基礎系科目	健康と社会	12-11211	リハビリテーション概論	3年	前期	選択	1	15	講義	熊坂 隆行	23
36	専門基礎系科目	健康と社会	12-11213	社会福祉学	2年	後期	必修	1	30	講義	木梨 美奈子	24
37	専門基礎系科目	健康と社会	12-11214	関係法規	4年	後期	必修	1	15	講義	須釜 幸男	25
38	専門基礎系科目	健康と社会	12-11215	保健医療福祉行政論	3年	前期	必修	2	30	講義	須釜 幸男	26
39	専門基礎系科目	健康と社会	12-11216	保健統計学	2年	後期	必修	2	30	講義	須釜 幸男	27
	専門基礎系科目	**健康と社会**	**12-11218**	**疫学**	**2年**	**後期**	**必修**	**2**	**30**	**講義**	**木下 節子**	28

2022年度 2･3･4年次生看護学科授業科目一覧･目次

No.	区分1	区分2	科目コード	科目名	年次	学期	必修	単位数	時間数	授業形態	科目責任者	頁
	看護学専門科目											
46	看護学専門科目	看護学の基本	12-11303	看護倫理	4年	後期	必修	1	15	講義	菅原 幸恵	29
50	看護学専門科目	看護学の基本	12-11307	看護実践基礎論	2年	前期	必修	2	45	演習	近藤 誓子	30-31
52	看護学専門科目	看護学の基本	12-11309	看護技術演習Ⅱ(診療の援助技術)	2年	前期	必修	2	60	演習	近藤 誓子	32-35
54	看護学専門科目	看護学方法論	12-11311	成人看護方法論Ⅰ(急性期援助論)	2年	前期	必修	2	60	演習	熊坂 隆行	36-37
55	看護学専門科目	看護学方法論	12-11312	成人看護方法論Ⅱ(慢性期援助論)	2年	前期	必修	2	60	演習	熊坂 隆行	38-39
56	看護学専門科目	看護学方法論	12-11313	老年看護学概論	2年	前期	必修	2	30	講義	松永 智子	40
57	看護学専門科目	看護学方法論	12-11314	老年看護方法論	3年	前期	必修	2	60	演習	松永 智子	41-42
58	看護学専門科目	看護学方法論	12-11315	小児看護学概論	2年	前期	必修	1	30	講義	上本野 唱子	43
59	看護学専門科目	看護学方法論	12-11316	小児保健	3年	前期	必修	1	15	講義	松井 貴子	44
60	看護学専門科目	看護学方法論	12-11317	小児看護方法論	3年	前期	必修	2	45	演習	松井 貴子	45-46
61	看護学専門科目	看護学方法論	12-11318	母性看護学概論	2年	前期	必修	1	15	講義	今井 充子	47
62	看護学専門科目	看護学方法論	12-11319	母性保健	3年	前期	必修	1	30	講義	今井 充子	48-51
63	看護学専門科目	看護学方法論	12-11320	母性看護方法論	2年	後期	必修	2	30	演習	今井 充子	52
64	看護学専門科目	看護学方法論	12-11321	精神看護学概論	2年	前期	必修	2	30	講義	東中須 恵子	53
65	看護学専門科目	看護学方法論	12-11322	精神看護方法論	3年	前期	必修	2	60	演習	東中須 恵子	54-55
66	看護学専門科目	看護学方法論	12-11323	公衆衛生看護学概論	2年	後期	必修	2	30	講義	中島富志子	56
67	看護学専門科目	看護学方法論	12-11324	公衆衛生看護システム論	4年	前期	選択	2	30	講義	中島富志子	57
68	看護学専門科目	看護学方法論	12-11325	在宅看護論	3年	前期	必修	2	60	講義	齊藤 敦子	58-59
69	看護学専門科目	看護学方法論	12-11326	公衆衛生看護活動論	3年	前期	必修	2	30	講義	中島富志子	60
70	看護学専門科目	看護学方法論	12-11327	公衆衛生看護技術論	4年	前期	選択	2	45	演習	坂巻 つや子	61-62
71	看護学専門科目	看護学方法論	12-11328	家族看護論	2年	後期	必修	2	30	講義	上本野 唱子	63
72	看護学専門科目	看護学方法論	12-11329	産業保健論	4年	前期	必修	2	30	講義	片岡 ゆみ	64
73	看護学専門科目	看護学方法論	12-11330	学校保健論	4年	前期	必修	2	30	講義	関 由紀子	65
75	看護学専門科目	看護の実践	12-11332	基礎看護学実習Ⅱ (対象に応じた援助技術の習得)	2年	前期	必修	2	90	実験･実習	近藤 誓子	66
76	看護学専門科目	看護の実践	12-11333	成人看護学実習	3年	後期	必修	6	270	実験･実習	熊坂 隆行	67-68
77	看護学専門科目	看護の実践	12-11334	老年看護学実習	3年	後期	必修	4	180	実験･実習	松永 智子	69
78	看護学専門科目	看護の実践	12-11335	小児看護学実習	3年	後期	必修	2	90	実験･実習	上本野 唱子	70
79	看護学専門科目	看護の実践	12-11336	母性看護学実習	3年	後期	必修	2	90	実験･実習	今井 充子	71
80	看護学専門科目	看護の実践	12-11337	精神看護学実習	3年	後期	必修	2	90	実験･実習	東中須 恵子	72
81	看護学専門科目	看護の実践	12-11338	公衆衛生看護学実習	4年	前期	選択	5	225	実験･実習	中島 富志子	73
82	看護学専門科目	看護の実践	12-11339	在宅看護論実習	3年	後期	必修	2	90	実験･実習	齊藤 敦子	74
83	看護学専門科目	看護学の統合と実践	12-11340	看護教育学	4年	前期	必修	2	30	講義	近藤 誓子	75-76
84	看護学専門科目	看護学の統合と実践	12-11341	看護管理学	4年	後期	必修	2	30	講義	近江谷 キヌ子	77-78
85	看護学専門科目	看護学の統合と実践	12-11342	医療安全管理学	2年	後期	必修	1	30	講義	新谷 恭子	79
86	看護学専門科目	看護学の統合と実践	12-11343	看護実践統合演習	4年	後期	必修	1	30	演習	各領域の長	80-88
87	看護学専門科目	看護学の統合と実践	12-11344	課題別実習	4年	前期	必修	2	90	実験･実習	各領域の長	89-97
88	看護学専門科目	看護学の統合と実践	12-11345	看護研究	4年	通年	必修	2	60	演習	各領域の長	98-106
89	看護学専門科目	看護学の統合と実践	12-11346	看護行政論	4年	前期	必修	1	15	講義	須釜 幸男	107
90	看護学専門科目	看護学の統合と実践	12-11347	緩和ケア論	4年	前期	必修	1	15	講義	島津 ちほ	108
91	看護学専門科目	看護学の統合と実践	12-11348	災害看護(救命救急含)	4年	後期	必修	2	30	演習	村上弘之	109
92	看護学専門科目	看護学の統合と実践	12-11349	外国語文献講読	4年	後期	選択	1	15	演習	今西 健一	110

【 科目コードの詳細】

1	2	1	0	1
学科		科目区分	番号	

学科コード		科目区分コード	
11	看護学科	1	基礎科目
12	理学療法学科	2	専門基礎科目
		3	専門科目

科目コード	12-11104
授業科目名	英語Ⅳ(医療英語)Aクラス
配当年次	2学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	川鍋 好正
実務家教員	
授業科目の概要	医療の現場で医療チームの一員として活躍する者にとって、医学知識が必要であることは言うまでもない。従って、医療の分野では、共通用語として現在では多くの英語が使用されている。医療の実践には英語が不可欠とも言える。 この授業では医療に従事する者として臨床の場に役立つ単語および、表現を中心に英語を習得する。
授業の到達目標	医療に従事する者として臨床の場に役立つ単語および、表現を習得する
特に関連する科目	英語Ⅰ　英語Ⅱ　英語Ⅲ
授業の具体的な進め方	英語Ⅰで学んだ文法事項を確認しながら教科書に沿って進めていく。 語彙・文法のプリントを配布する。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/12	火	3	川鍋好正	中講義室2	【1】People, places and things in a hospital/clinic1. Hospital departments and associated doctors
2	4/19	火	3	川鍋好正	中講義室2	2. Healthcare personnel, patients, and other people
3	4/26	火	3	川鍋好正	中講義室2	3. Medical supplies and equipment
4	5/10	火	3	川鍋好正	中講義室2	4. Medication and treatment
5	5/17	火	3	川鍋好正	中講義室2	【2】Anatomical words　5. External body
6	5/24	火	3	川鍋好正	中講義室2	6. Internal body Ⅰ 7. Internal body Ⅱ
7	5/31	火	3	川鍋好正	中講義室2	8. Musculoskeletal system
8	6/7	火	3	川鍋好正	中講義室2	前半まとめ
9	6/14	火	3	川鍋好正	中講義室2	【3】Illness and emergencies9. Illness and conditions Ⅰ
10	6/21	火	3	川鍋好正	中講義室2	10. Illness and conditions Ⅱ
11	6/28	火	3	川鍋好正	中講義室2	11. Children's and women's illness and conditions
12	7/5	火	3	川鍋好正	中講義室2	12. Injuries and emergencies
13	7/12	火	3	川鍋好正	中講義室2	13. Common complaints
14	7/19	火	3	川鍋好正	中講義室2	14. Taking a patient's history
15	7/26	火	3	川鍋好正	中講義室2	15. Giving questions from foreign patients

成績評価方法・基準		定期試験、学習態度などより総合的に評価する。
授業外における学習(予習・復習)		授業計画に沿って次回の授業内容について教科書、辞書で予習してくること。 復習は、教科書、板書ノートを用いて内容を確認し、分かりにくい個所をよく調べて、文法を理解し、語彙を覚えるようにすること。
教科書・参考文献等	教科書	Ian Willey, Gerardine McCrohan, 芝田征二著『Easy Nursing English』(南山堂、2009年)　ISBN:9784525022310
	参考書	必要に応じて授業で紹介する。
	その他	
連絡先・オフィスアワー		質問・相談は、非常勤講師控室にて授業の前後に対応します。
その他		

科目コード	12-11104
授業科目名	英語Ⅳ(医療英語)Bクラス
配当年次	2学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	川鍋 好正
実務家教員	
授業科目の概要	医療の現場で医療チームの一員として活躍する者にとって、医学知識が必要であることは言うまでもない。従って、医療の分野では、共通用語として現在では多くの英語が使用されている。医療の実践には英語が不可欠とも言える。 この授業では医療に従事する者として臨床の場に役立つ単語および、表現を中心に英語を習得する。
授業の到達目標	医療に従事する者として臨床の場に役立つ単語および、表現を習得する
特に関連する科目	英語Ⅰ　英語Ⅱ　英語Ⅲ
授業の具体的な進め方	英語Ⅰで学んだ文法事項を確認しながら教科書に沿って進めていく。 語彙・文法のプリントを配布する。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/12	火	4	川鍋好正	中講義室2	【1】People, places and things in a hospital/clinic1. Hospital departments and associated doctors
2	4/19	火	4	川鍋好正	中講義室2	2. Healthcare personnel, patients, and other people
3	4/26	火	4	川鍋好正	中講義室2	3. Medical supplies and equipment
4	5/10	火	4	川鍋好正	中講義室2	4. Medication and treatment
5	5/17	火	4	川鍋好正	中講義室2	【2】Anatomical words　5. External body
6	5/24	火	4	川鍋好正	中講義室2	6. Internal body Ⅰ 7. Internal body Ⅱ
7	5/31	火	4	川鍋好正	中講義室2	8. Musculoskeletal system
8	6/7	火	4	川鍋好正	中講義室2	前半まとめ
9	6/14	火	4	川鍋好正	中講義室2	【3】Illness and emergencies9. Illness and conditions Ⅰ
10	6/21	火	4	川鍋好正	中講義室2	10. Illness and conditions Ⅱ
11	6/28	火	4	川鍋好正	中講義室2	11. Children's and women's illness and conditions
12	7/5	火	4	川鍋好正	中講義室2	12. Injuries and emergencies
13	7/12	火	4	川鍋好正	中講義室2	13. Common complaints
14	7/19	火	4	川鍋好正	中講義室2	14. Taking a patient's history
15	7/26	火	4	川鍋好正	中講義室2	15. Giving questions from foreign patients

成績評価方法・基準		定期試験、学習態度などより総合的に評価する。
授業外における学習(予習・復習)		授業計画に沿って次回の授業内容について教科書、辞書で予習してくること。 復習は、教科書、板書ノートを用いて内容を確認し、分かりにくい個所をよく調べて、文法を理解し、語彙を覚えるようにすること。
教科書・参考文献等	教科書	Ian Willey, Gerardine McCrohan, 芝田征二著『Easy Nursing English』(南山堂、2009年)　ISBN:9784525022310
	参考書	必要に応じて授業で紹介する。
	その他	
連絡先・オフィスアワー		質問・相談は、非常勤講師控室にて授業の前後に対応します。
その他		

科目コード	12-11104
授業科目名	英語Ⅳ(医療英語)Cクラス
配当年次	2学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	川鍋 好正
実務家教員	
授業科目の概要	医療の現場で医療チームの一員として活躍する者にとって、医学知識が必要であることは言うまでもない。従って、医療の分野では、共通用語として現在では多くの英語が使用されている。医療の実践には英語が不可欠とも言える。 この授業では医療に従事する者として臨床の場に役立つ単語および、表現を中心に英語を習得する。
授業の到達目標	医療に従事する者として臨床の場に役立つ単語および、表現を習得する
特に関連する科目	英語Ⅰ　英語Ⅱ　英語Ⅲ
授業の具体的な進め方	英語Ⅰで学んだ文法事項を確認しながら教科書に沿って進めていく。 語彙・文法のプリントを配布する。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/12	火	2	川鍋好正	中講義室2	【1】People, places and things in a hospital/clinic1. Hospital departments and associated doctors
2	4/19	火	2	川鍋好正	中講義室2	2. Healthcare personnel, patients, and other people
3	4/26	火	2	川鍋好正	中講義室2	3. Medical supplies and equipment
4	5/10	火	2	川鍋好正	中講義室2	4. Medication and treatment
5	5/17	火	2	川鍋好正	中講義室2	【2】Anatomical words　5. External body
6	5/24	火	2	川鍋好正	中講義室2	6. Internal body Ⅰ 7. Internal body Ⅱ
7	5/31	火	2	川鍋好正	中講義室2	8. Musculoskeletal system
8	6/7	火	2	川鍋好正	中講義室2	前半まとめ
9	6/14	火	2	川鍋好正	中講義室2	【3】Illness and emergencies9. Illness and conditions Ⅰ
10	6/21	火	2	川鍋好正	中講義室2	10. Illness and conditions Ⅱ
11	6/28	火	2	川鍋好正	中講義室2	11. Children's and women's illness and conditions
12	7/5	火	2	川鍋好正	中講義室2	12. Injuries and emergencies
13	7/12	火	2	川鍋好正	中講義室2	13. Common complaints
14	7/19	火	2	川鍋好正	中講義室2	14. Taking a patient's history
15	7/26	火	2	川鍋好正	中講義室2	15. Giving questions from foreign patients

成績評価方法・基準		定期試験、学習態度などより総合的に評価する。
授業外における学習(予習・復習)		授業計画に沿って次回の授業内容について教科書、辞書で予習してくること。 復習は、教科書、板書ノートを用いて内容を確認し、分かりにくい個所をよく調べて、文法を理解し、語彙を覚えるようにすること。
教科書・参考文献等	教科書	Ian Willey, Gerardine McCrohan, 芝田征二著『Easy Nursing English』(南山堂、2009年)　ISBN:9784525022310
	参考書	必要に応じて授業で紹介する。
	その他	
連絡先・オフィスアワー		質問・相談は、非常勤講師控室にて授業の前後に対応します。
その他		

科目コード	12-11104
授業科目名	英語Ⅳ(医療英語)Dクラス
配当年次	2学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	川鍋 好正
実務家教員	
授業科目の概要	医療の現場で医療チームの一員として活躍する者にとって、医学知識が必要であることは言うまでもない。従って、医療の分野では、共通用語として現在では多くの英語が使用されている。医療の実践には英語が不可欠とも言える。 この授業では医療に従事する者として臨床の場に役立つ単語および、表現を中心に英語を習得する。
授業の到達目標	医療に従事する者として臨床の場に役立つ単語および、表現を習得する
特に関連する科目	英語Ⅰ　英語Ⅱ　英語Ⅲ
授業の具体的な進め方	英語Ⅰで学んだ文法事項を確認しながら教科書に沿って進めていく。 語彙・文法のプリントを配布する。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/12	火	1	川鍋好正	中講義室2	【1】People, places and things in a hospital/clinic1. Hospital departments and associated doctors
2	4/19	火	1	川鍋好正	中講義室2	2. Healthcare personnel, patients, and other people
3	4/26	火	1	川鍋好正	中講義室2	3. Medical supplies and equipment
4	5/10	火	1	川鍋好正	中講義室2	4. Medication and treatment
5	5/17	火	1	川鍋好正	中講義室2	【2】Anatomical words　5. External body
6	5/24	火	1	川鍋好正	中講義室2	6. Internal body Ⅰ 7. Internal body Ⅱ
7	5/31	火	1	川鍋好正	中講義室2	8. Musculoskeletal system
8	6/7	火	1	川鍋好正	中講義室2	前半まとめ
9	6/14	火	1	川鍋好正	中講義室2	【3】Illness and emergencies9. Illness and conditions Ⅰ
10	6/21	火	1	川鍋好正	中講義室2	10. Illness and conditions Ⅱ
11	6/28	火	1	川鍋好正	中講義室2	11. Children's and women's illness and conditions
12	7/5	火	1	川鍋好正	中講義室2	12. Injuries and emergencies
13	7/12	火	1	川鍋好正	中講義室2	13. Common complaints
14	7/19	火	1	川鍋好正	中講義室2	14. Taking a patient's history
15	7/26	火	1	川鍋好正	中講義室2	15. Giving questions from foreign patients

成績評価方法・基準		定期試験、学習態度などより総合的に評価する。
授業外における学習(予習・復習)		授業計画に沿って次回の授業内容について教科書、辞書で予習してくること。 復習は、教科書、板書ノートを用いて内容を確認し、分かりにくい個所をよく調べて、文法を理解し、語彙を覚えるようにすること。
教科書・参考文献等	教科書	Ian Willey, Gerardine McCrohan, 芝田征二著『Easy Nursing English』(南山堂、2009年)　ISBN:9784525022310
	参考書	必要に応じて授業で紹介する。
	その他	
連絡先・オフィスアワー		質問・相談は、非常勤講師控室にて授業の前後に対応します。
その他		

科目コード	12-11105
授業科目名	フランス語
配当年次	3学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	選択
単位	2単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	藤井 宏尚
実務家教員	
授業科目の概要	フランス語のアルファベットとその発音、基本的な文法、そして日常よく使われる単語の学習に重点を置く。授業内容はスピーキング、ライティング、リスニング、リーディングの練習から構成されている。語学と共にフランス文化も一緒に紹介する。受講生の活発な発言と、クラスでのディスカッションへの積極的な参加を期待する。 各受講生には、コース中に短いオーラルプレゼンテーションを課題として、発音、ヒアリング能力を養う。
授業の到達目標	1. フランス語の基本を身に付ける。 2. フランス文化を学ぶことによって、異文化理解を深める。
特に関連する科目	特になし
授業の具体的な進め方	まず別冊文法でその課の文法事項を学習する。次いで、その内容が含まれた日常生活でよく使用する文を繰り返し口頭練習する。書く問題、聞く問題を通して学習した内容の定着を図る。まとめとして、様々な面からフランスの文化紹介をする。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/8	金	5	藤井宏尚	講義室2	ガイダンス、アルファベット
2	4/15	金	5	藤井宏尚	講義室2	簡単なあいさつ表現.
3	4/22	金	5	藤井宏尚	講義室2	名前と住んでいる所をたずねる
4	4/29	金	5	藤井宏尚	講義室2	身分・職業・国籍をたずねる
5	5/13	金	5	藤井宏尚	講義室2	年齢・話す言語・電話番号をたずねる
6	5/27	金	5	藤井宏尚	講義室2	買い物をする、好き嫌いを言う
7	6/3	金	5	藤井宏尚	講義室2	衣服を描写する、好みを言う
8	6/10	金	5	藤井宏尚	講義室2	時間・予定をたずねる
9	6/17	金	5	藤井宏尚	講義室2	勧める、許可を得る、週末の話をする
10	6/24	金	5	藤井宏尚	講義室2	過去のことを話す
11	7/1	金	5	藤井宏尚	講義室2	日常生活を話す
12	7/15	金	4	藤井宏尚	講義室2	比較する、願望を表す
13	7/15	金	5	藤井宏尚	講義室2	天候を言う、仮定の話をする
14	7/22	金	4	藤井宏尚	講義室2	感情を表す
15	7/22	金	5	藤井宏尚	講義室2	総合的な復習と学期末テスト対策

成績評価方法・基準		定期試験:60% 小テスト40%
授業外における学習（予習・復習）		特に復習に力を入れ、単語、文法など繰り返し練習すること。復習には講義ごとに概ね30分以上必要である。
教科書・参考文献等	教科書	小谷奈津子・藤井宏尚 著『キーフレーズで学ぶフランス語』(三修社、2018)ISBN978-4-384-22054-4 C1085
	参考書	適宜紹介する
	その他	
連絡先・オフィスアワー		授業日の授業前後に非常勤講師控室で対応します。
その他		

科目コード	12-11110
授業科目名	経営学
配当年次	2学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	2単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	河野 惟隆
実務家教員	
授業科目の概要	経営学は、組織とその組織に属する人々に関わる諸問題を解決するための実践科学である。だがそれは経営のハウツーを提供するための学問ではない。その意味で経営学はまた理論科学である。さらにまた経営学は、そうした様々な現実の諸問題を解決するために、隣接・関連諸科学の援用・応用を必要とする応用科学でもある。本講義ではこうした立場に立って、経営に関しての日常的な言語使用は必要であるか専門的な経営の概念、その体系を理解する。
授業の到達目標	1.現実の日本の医療の経営問題について理解する。 2.病院等の経営の収支を税の観点から理解する。
特に関連する科目	看護管理学
授業の具体的な進め方	日本の現在進行形の医療の経営経済問題について講義する。ただ、コロナ禍の現状に照らし、医療問題とは独立に、コロナ禍と関連した一般的な経営経済問題についても講義する。実は、2019年度までは、15回の講義全てにおいて、医療の経営経済問題について講義していたのだが、20年、21年度には、コロナ禍と関連した一般的な経営経済問題を無視できず、これも講義したのである。本年度も同様にする。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	9/22	木	4	河野惟隆	講義室3	前年度の授業計画と試験問題
2	9/29	木	4	河野惟隆	講義室3	日本の健康保険制度
3	10/6	木	4	河野惟隆	講義室3	救急・救命体制の維持最優先—医療の持続可能性—
4	10/13	木	4	河野惟隆	講義室3	中身を吟味 過剰・無駄抑制を—医療の持続可能性—
5	10/20	木	4	河野惟隆	講義室3	窓口負担増に一定の効果—医療の持続可能性—
6	10/27	木	4	河野惟隆	講義室3	外科・救急医　増やす対策急げ—医師の働き方改革—
7	11/10	木	4	河野惟隆	講義室3	予算編成見直し臨機応変に—財政をどうするのか—
8	11/17	木	4	河野惟隆	講義室3	15年程度の時間軸で検討を—財政をどうするのか—
9	11/24	木	4	河野惟隆	講義室3	拡張政策　足元の危機に必須—財政をどうするのか—
10	12/1	木	4	河野惟隆	講義室3	コロナ対策　データ基盤に—医療体制とコスト—
11	12/8	木	4	河野惟隆	講義室3	改革は優先順位付けから—医療体制とコスト—
12	12/15	木	4	河野惟隆	講義室3	医療データ活用、議論加速を—医療体制とコスト—
13	12/22	木	4	河野惟隆	講義室3	在宅勤務の適切な利用カギ—コロナ危機と生産性—
14	1/12	木	4	河野惟隆	講義室3	雇用創出・教育への投資　果敢に—コロナ危機と財政膨張—
15	1/19	木	4	河野惟隆	講義室3	正社員の「権利・義務」変容　加速—危機が変える「会社と個人」—

成績評価方法・基準		定期試験100%
授業外における学習（予習・復習）		いつも、テレビや新聞で、医療の経営経済問題や、コロナ禍に関する報道を見るように心がけてください。これが予習です。復習では、授業の内容を、レジメやノートを、最初は見ながら、最終的には、見ないでも話せるようにしてください。
教科書・参考文献等	教科書	毎回、配布するレジメが、いわば教科書である。
	参考書	適宜紹介する
	その他	
連絡先・オフィスアワー		メールにて対応いたします。教務課（kyomuns-info@jhsu.ac.jp）にお知らせください。
その他		

科目コード	12-11111
授業科目名	法学（日本国憲法）
配当年次	3学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	選択
単位	2単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	水倉 友理
実務家教員	弁護士：水倉 友理
授業科目の概要	日本国憲法の基本構造、全体像に関する基礎的な理解とともに、「法的なものの考え方」とその表現の仕方を習得する。そのため、立法から司法までのシステムと日本国憲法、刑法、民法、さらに医療従事者にとって必要な医療関連法規、介護関連法規、福祉関連法規等、基礎的な法規についても学習する。医療紛争、訴訟と刑事、民事、行政責任について学習する。 本講義は、単に法律を「覚える」だけのものではなく、法律という視点から社会をどう捉えられるかという法的なものの見方について理解する機会とする。
授業の到達目標	1. 日本国憲法の基本構造と理念の理解 2. 日本国憲法と法体系の仕組みの理解 3. 法的な思考方法の習得 4. 医療関係法規の概要と理解
特に関連する科目	民法　刑法　民事訴訟法　刑事訴訟法　医療関係法規　福祉関係法規
授業の具体的な進め方	講師作成レジュメに基づく講義形式。法的問題点についての自らの見解をまとめて表現する機会も設ける。基本はリモートでの講義を予定しています。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/11	月	1	水倉友理	講義室2	日本国憲法（基本構造）
2	4/11	月	2	水倉友理	講義室2	日本国憲法（3大理念①国民主権原理　②平和主義　③基本的人権の尊重）
3	4/18	月	1	水倉友理	講義室2	日本国憲法（人権①人身の自由）
4	4/18	月	2	水倉友理	講義室2	日本国憲法（人権②奴隷的拘束・苦役からの自由、不当な身体拘束からの自由、適正手続保障、死刑制度）
5	4/25	月	1	水倉友理	講義室2	日本国憲法（人権③社会的権利）
6	4/25	月	2	水倉友理	講義室2	日本国憲法（人権④経済的自由権（職業選択の自由を中心として）
7	5/9	月	1	水倉友理	講義室2	日本国憲法（人権⑤精神的自由権）
8	5/9	月	2	水倉友理	講義室2	日本国憲法（人権⑥精神的自由権）
9	5/16	月	1	水倉友理	講義室2	日本国憲法（統治機構：国会、内閣、裁判所のしくみ）
10	5/16	月	2	水倉友理	講義室2	紛争と法律
11	5/23	月	1	水倉友理	講義室2	日常生活と契約
12	5/23	月	2	水倉友理	講義室2	医療関係法
13	5/30	月	1	水倉友理	講義室2	医療者の法的責任と記録の重要性
14	5/30	月	2	水倉友理	講義室2	医療倫理と法
15	6/6	月	2	水倉友理	講義室2	医療倫理と法

成績評価方法・基準		小テストまたはレポート20%　授業参加度10%　定期試験70%
授業外における学習（予習・復習）		予習は特に不要です。 授業後は、授業で配布したレジュメを確認して復習してください。 復習には概ね60分必要です。
教科書・参考文献等	教科書	必要に応じてプリントを配布します。
	参考書	渋谷秀樹, 赤坂正浩 著『憲法<1> 第7版　人権(有斐閣アルマ　Specialized)』（有斐閣、2019年） ISBN:9784641221277
		渋谷秀樹, 赤坂正浩 著『憲法<2> 第7版　統治(有斐閣アルマ　Specialized)』（有斐閣、2019年） ISBN:9784641221284
		安念潤司, 常本照樹, 津村政孝 著『法学ナビゲーション 第2版(有斐閣アルマ)』（有斐閣、2001年） ISBN:9784641121232
	その他	特になし
連絡先・オフィスアワー		質問がありましたら教務課（kyomuns-info@jhsu.ac.jp）までお知らせください。追って対応いたします。
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 弁護士としての実務経験を活かした講義を行う。

科目コード	12-11112
授業科目名	教育学
配当年次	2学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	選択
単位	2単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	小林 彰彦
実務家教員	元公立小・中学校教員：小林彰彦
授業科目の概要	本講義では、教育学の基礎的な概念である教育目的、発達、学習、指導方法等について理解するとともに、教育の営みにおける福祉の思想や人間観について学習する。そして、教育の理論・歴史・思想について基礎的な知識を身につけ、「教育とは何か」という問題を多角的に理解するとともに、人権と教育の関連について認識を深める。また、被教育者としての自身の体験を客観的に把握し、教育についての豊かなイメージを培うものとする。
授業の到達目標	1 教育の理論・歴史・思想についての基本的な知識を身につけ理解する。 2「教育とは何か」という問題を多角的に理解するとともに、人権と教育の関連について認識を深める。 3 被教育者としての自らの体験を客観的に把握し、教育についての豊かなイメージを培う。
特に関連する科目	心理学　社会学　法学　など
授業の具体的な進め方	講義形式で行う。配布資料をもとに授業内容の理解を図る。なお、内容に関連した意見などを可能な範囲で求めることもある。 毎回の授業において、リアクションペーパーの提出を求める。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/14	木	3	小林彰彦	講義室2	教育学を学ぶにあたって
2	4/21	木	3	小林彰彦	講義室2	学ぶことと教えること
3	4/28	木	3	小林彰彦	講義室2	教育の場と役割
4	5/12	木	3	小林彰彦	講義室2	学校の歴史(1)―学校教育制度の誕生
5	5/19	木	3	小林彰彦	講義室2	学校の歴史(2)―学校環境や教材教具の変化
6	5/26	木	3	小林彰彦	講義室2	教育のメディア
7	6/2	木	3	小林彰彦	講義室2	学習指導の原理
8	6/9	木	3	小林彰彦	講義室2	中間まとめと小試験
9	6/16	木	3	小林彰彦	講義室4	学習指導要領の変遷
10	6/23	木	3	小林彰彦	講義室2	他者とのかかわりを導く(1)―道徳教育の観点から
11	6/30	木	3	小林彰彦	講義室2	他者とのかかわりを導く(2)―特別支援教育の観点から
12	7/7	木	3	小林彰彦	講義室2	教育の目的と評価
13	7/14	木	3	小林彰彦	講義室2	教育の場をつくるしくみ
14	7/21	木	3	小林彰彦	講義室2	教師という仕事
15	7/28	木	3	小林彰彦	講義室2	まとめ

成績評価方法・基準		小テスト 30%　期末レポート 50%　授業への取り組み（毎回のコメントペーパーへの記入等）20% ＊授業をすすめるうえで参考となる意見は授業内で紹介する。
授業外における学習（予習・復習）		主要新聞記事をはじめとする教育関連のトピックスに普段から関心を持つように心がけておくこと。また、授業後は配布された資料を読み返したり関連図書を参照したりしながら内容を振り返っておくこと。 なお、上記については講義ごとに概ね60分以上必要である。
教科書 ・参考文献等	教科書	教科書はとくに使用しない。必要に応じて講義資料を配布する。
	参考書	汐見稔幸、伊藤毅、高田文子、東宏行、増田修治 『よくわかる教育原理』（ミネルヴァ書房、2011年）ISBN:9784623059263
		木村元 編『系統看護学講座　基礎分野　教育学　第8版』（医学書院、2021年）ISBN::9784260042154
		広田照幸 『ヒューマニティーズ教育学』（岩波書店、2009年）ISBN:9784000283243
	その他	
連絡先・オフィスアワー		質問等は授業前後に対応する。
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 公立小・中学校教員としての実務経験を活かした講義を行う。

科目コード	12-11113
授業科目名	生命倫理
配当年次	2学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	岡野 浩
実務家教員	
授業科目の概要	新たな死の形としての脳死や移植医療、高度な延命医療とその是非、また生殖補助医療や遺伝子操作等の問題についての基本的な理解を構築し、日本および世界の動向にも目を向けながら、医療行為を通じて確保、実現されるべき「生命の質（quality of life）」、その意味について学習する。本講義では、人間の誕生と死をめぐる医療に焦点を当て、今日の生命倫理の基本的な論点を示す具体的な事件、事例について考察し、医療専門職として、また、一人の社会人として備えておくべき基本的な見識の涵養を目指している。
授業の到達目標	医療の現場では、医療を受ける人にとっても、また医療に従事する者にとっても、各人それぞれの持つ価値観や人生観、そして倫理観が改めて問い直されるような深刻な決断が求められる。本講義では特に人間の誕生と、死をめぐる医療に焦点を当て、今日の生命倫理の基本的な論点を示す具体的な事件、事例について考える事で、医療専門職として、また一人の社会人として備えておくべき基本的な見識の涵養を目指したい。
特に関連する科目	社会学、看護学概論
授業の具体的な進め方	講義形式で行うが、重要なトピックや問題については、適宜授業内、ホームワーク等として実施するアンケート、小論文を通じて受講者にも意見を求めながら進めてゆく。受講に際しては特に専門的知識は必要としないが、医療専門職を目指す受講者においては、日頃から生命倫理をめぐる諸問題にインターネットや新聞、テレビ等のメディアを通じて注意を向ける習慣を養ってほしい。 この授業で取り上げる問題は、どれも医療従事者として、また一人の社会人として受講者自身が直面する可能性のあるものばかりなので、それらの問題を＜単なる授業上のトピック＞としてのみとらえるのではなく、常に＜自らに引き受けて考える＞緊張感を持って授業に参加して欲しい。授業をより実りあるものにする為にも意欲的な発言、質問は歓迎する。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	9/22	木	3	岡野浩	講義室3	授業方法、概要についての説明。生命倫理のあるトピックを取り上げアンケートに答えてもらう。
2	9/29	木	3	岡野浩	講義室3	＜生命倫理＞とは何か① いわゆる＜生命倫理（bioethics）＞が創始された経緯と背景
3	10/6	木	3	岡野浩	講義室3	＜生命倫理＞とは何か② 「人間の尊厳」と「社会的効用」をめぐる伝統的倫理学説
4	10/13	木	3	岡野浩	講義室3	脳死と臓器移植をめぐる問題① 脳死とは何か・・・＜新しい死＞の創出をめぐって
5	10/20	木	3	岡野浩	講義室3	脳死と臓器移植をめぐる問題② 改正臓器移植法と脳死臓器移植をめぐって
6	10/27	木	3	岡野浩	講義室3	脳死と臓器移植をめぐる問題③ 移植医療の根本的問題
7	11/10	木	3	岡野浩	講義室3	安楽死をめぐる問題① 安楽死の種類と方法、その問題点
8	11/17	木	3	岡野浩	講義室3	尊厳ある死とは何か① ＜尊厳死（dignified death）＞の一般的定義と問題点
9	11/24	木	3	岡野浩	講義室3	尊厳ある死とは何か②＜尊厳死＞＝＜良き死＞に含意されるものをめぐる問題
10	12/1	木	3	岡野浩	講義室3	生命の誕生に関わる＜人為的操作＞ 多様な生殖補助技術とその使用をめぐる問題
11	12/8	木	3	岡野浩	講義室3	体外受精と代理母① 生殖補助技術の進歩と＜誕生する命＞の尊厳との葛藤
12	12/15	木	3	岡野浩	講義室3	体外受精と代理母② 事例研究と諸外国における法整備の現状について
13	12/22	木	3	岡野浩	講義室3	ヒトはいつから人間と言えるのか ヒト胚の処遇をめぐる問題
14	1/12	木	3	岡野浩	講義室3	遺伝子診断、出生前診断 そして、人工妊娠中絶をめぐる問題
15	1/19	木	3	岡野浩	講義室3	遺伝子診断、出生前診断 そして、人工妊娠中絶をめぐる問題

成績評価方法・基準		定期試験（80%）及び、授業時等に実施するアンケート、小論文（20%）を総合して評価する。 また意欲的な発言、質問等授業に対する積極的な取り組み示す姿勢も評価の参考としたい。
授業外における学習（予習・復習）		日頃から生命倫理をめぐる諸問題に関心を向け、様々なメデイアを通じて情報にアクセスする習慣を養うこと。 また、授業或いはホームワーク等で実施するアンケート、小論文等は、将来の医療専門職としての＜職業意識＞と＜資質＞を問われる場でもあると考え、課題に対して常に真剣に取り組むよう心掛けてほしい。 また、この授業では毎回授業に先立つ形で、次回以降に学習する問題や事例等の資料も配布してゆくので、受講者はあらかじめそれらに目を通し、授業の進み行きの見通しを持って授業に臨む習慣を持つようにすること。配布されたレジュメ・資料は必ずファイリングし、毎回の授業にすべて持参し、いつでも必要に応じて取り出して参照できるようにしておくこと。
教科書・参考文献等	教科書	特に使用しない。毎時間配布するレジュメ、参考資料プリント等がその代わりとなる。
	参考書	H.T.エンゲルハート、H.ヨナス 他著 加藤尚武、飯田宣之編 『バイオエシックスの基礎ー欧米の「生命倫理」論』（東海大学出版会、1988年） ISBN:9784486009931
		他にも授業時に適宜紹介する。
	その他	
連絡先・オフィスアワー		質問等は授業の前後に非常勤講師室で対応します。
その他		

科目コード	12-11117
授業科目名	サイコセラピーとカウンセリング
配当年次	3学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	演習
担当教員	中村 真通
実務家教員	スクールカウンセラー(公認心理師):中村真通
授業科目の概要	不安障害、摂食障害、登校拒否、行為障害、気分障害、身体表現性障害、アルコール関連障害等の事例をとり上げ、当事者だけでなくその家族への心理治療過程を紹介し、セラピストとクライエント相互が人間的に成長してゆくことを目指すための、看護師としてのサイコセラピーとカウンセリングの学習をする。
授業の到達目標	1.サイコセラピー全般に該当する基本的な考え方と倫理について理解できるようになる。 2.サイコセラピーの対象となる主な精神疾患について理解できるようになる。 3.精神分析、来談者中心療法、行動療法、認知行動療法、自律訓練法、家族療法、東洋療法の理論と技法を理解できるようになる。
特に関連する科目	心理学　精神保健　精神看護学概論　精神看護方法論
授業の具体的な進め方	レジメ、音声スライド(動画)を見ながら学習し、授業毎レポート(演習・課題)を行ってください。あわせて教科書の該当する章の予習復習を行い、理解を深めてください。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/12	火	3	中村真通	講義室2 講義室3	オリエンテーション　～講義の全体像～
2	4/19	火	3	中村真通	講義室2 講義室3	サイコセラピーの手順と技法
3	4/19	火	4	中村真通	講義室2 講義室3	こころの探求～精神分析～
4	4/26	火	3	中村真通	講義室2 講義室3	人間関係の分析～交流分析～
5	4/26	火	4	中村真通	講義室2 講義室3	遭遇する問題(1)～PTSD・児童虐待～　アドラーとユング
6	5/10	火	3	中村真通	講義室2 講義室3	遭遇する問題(2)～行為障害・いじめ・登校拒否～
7	5/10	火	4	中村真通	講義室2 講義室3	遭遇する問題(3)～気分障害・パーソナリティ障害～
8	5/17	火	3	中村真通	講義室2 講義室3	講義レポート
9	5/24	火	3	中村真通	講義室2 講義室3	遭遇する問題(4)～身体表現性障害・統合失調症～
10	5/24	火	4	中村真通	講義室2 講義室3	遭遇する問題(5)～摂食障害・アルコール関連障害～
11	5/31	火	3	中村真通	講義室2 講義室3	理論と技法(1)クライエント中心療法
12	5/31	火	4	中村真通	講義室2 講義室3	理論と技法(2)行動療法・(3)認知行動療法
13	6/7	火	3	中村真通	講義室2 講義室3	理論と技法(4)家族療法・(5)自律訓練法
14	6/7	火	4	中村真通	講義室2 講義室3	理論と技法(6)東洋療法
15	6/14	火	3	中村真通	講義室2 講義室3	講義レポート

成績評価方法・基準		授業毎レポート(70%)、講義レポート(30%)により総合的に評価する。フィードバックとして適宜コメントを行う。
授業外における学習(予習・復習)		授業計画に沿って教科書で予習し、講義後は、教科書、講義で配布される資料、参考文献を用いて復習を行うこと。予習・復習には講義ごとに概ね60分以上必要である。
教科書 ・参考文献等	教科書	窪内節子・吉武光世著『やさしく学べる心理療法の基礎』(培風館、2003年) ISBN:9784563056698
	参考書	小玉正博・松井豊編　中村真通　他著『生涯発達の中のカウンセリングⅣ看護現場でいきるカウンセリング』(サイエンス社、2014)ISBN:9784781913346
	その他	あわせて適宜プリントを配布する。
連絡先・オフィスアワー		連絡先:教務課(kyomuns-info@jhsu.ac.jp)宛にメールをしてください。後ほど回答いたします。 オフィスアワー:火曜日　質問等は講義内で対応します。
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 スクールカウンセラー・学校・医療機関の実務経験を活かした講義(演習)を行う。

科目コード	12-11122
授業科目名	国際保健学
配当年次	4学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	選択
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	須釜 幸男
実務家教員	
授業科目の概要	我が国と諸外国の保健医療制度・活動や国際保健医療協力に関し、その歴史的展開や行政的意義を学ぶ。また現在、国際的問題となっている国際保健に関わる多様な社会問題、特に感染症対策や住民主体の活動について、疾患予防や保健福祉に関する様々な事例を取り上げる。授業はディスカッション形式を中心に、一人ひとりが問題点を掘り下げ、現状の分析とその改善策を考察する。
授業の到達目標	1. 国際保健医療の制度・活動の概要を理解できる 2. 国際的社会問題の人口問題や感染症などに、疫学的に考察できる 3. 国際保健・医療の課題について議論できる
特に関連する科目	社会医学系科目(公衆衛生学　保健医療福祉行政論　関係法規　国際保健学　保健統計学など)公衆衛生看護学概論　公衆衛生看護活動論　公衆衛生看護システム論　公衆衛生看護技術論　産業保健論　学校保健論　看護行政論など
授業の具体的な進め方	指定教科書を使用し、「国際保健学」に必要な基礎知識と背景を、体系的に説明する。授業内課題を通じて、知識の定着や気付きを図る。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	10/20	木	1	須釜幸男	講義室4	国際保健学とは
2	10/20	木	2	須釜幸男	講義室4	異国から見た「虐待」問題
3	10/27	木	1	須釜幸男	講義室4	メンタル・ヘルス・ケア(1)
4	10/27	木	2	須釜幸男	講義室4	メンタル・ヘルス・ケア(2)
5	11/10	木	1	須釜幸男	講義室4	社会的要因と健康　人口問題(1)
6	11/10	木	2	須釜幸男	講義室4	社会的要因と健康　人口問題(2)
7	11/17	木	1	須釜幸男	講義室4	社会的要因と健康　感染症
8	11/17	木	2	須釜幸男	講義室4	社会的要因と健康　小児(1)
9	11/24	木	1	須釜幸男	講義室4	社会的要因と健康　小児(2)
10	11/24	木	2	須釜幸男	講義室4	ジェンダーと医療(1)
11	12/1	木	1	須釜幸男	講義室4	ジェンダーと医療(2)
12	12/1	木	2	須釜幸男	講義室4	国際協力と災害看護　DMAT(災害派遣医療チーム)
13	12/8	木	1	須釜幸男	講義室4	国際保健衛生関連機関(1)　国際連合・WHO
14	12/8	木	2	須釜幸男	講義室4	国際保健衛生関連機関(2)　JICAほか
15	12/8	木	3	須釜幸男	講義室4	国際保健学総合

成績評価方法・基準		授業参加:30%、授業内課題:30%、期末試験:40%
授業外における学習(予習・復習)		予習では講義内容を事前調査し、重要度分けや不明点の抽出を実施する。復習では板書や配布資料を読み込み、知識を体系化させる。次回講義との関連を検討する。各回の予習・復習は合計で 60 分以上。
教科書・参考文献等	教科書	日本国際保健医療学会編『国際保健医療学 第3版』杏林書院、2013年(ISBN:978-4-7644-0531-8)。
	参考書	講義中に適宜紹介する
	その他	なし
連絡先・オフィスアワー		連絡先:研究室30(3階) メールアドレス:y-sugama@jhsu.ac.jp 水曜日11:00～13:30(事前にメールにてアポイントを取ってください。)
その他		

科目コード	12-11123
授業科目名	国際文化論
配当年次	2学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	選択
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	臼杵 百合子
実務家教員	
授業科目の概要	国際関係における文化とはどのように論じることができるだろうか。グローバル化の進展に伴って人、情報の移動が加速・活発化し、また、距離・時間の概念が変容することにより、文化は、これまでになく重要なテーマとなってきている。講義では、国際関係におけるアクターの考察とあわせて、相互に影響しあう文化のダイナミズムを学び、国際関係論を文化の観点から考えたい。
授業の到達目標	到達目標は、受講者一人一人が、多様化する価値観と情報の氾濫する海の中で、単なるトレンドに終わることのない真の時代の要請や社会のニーズをみずから読み解いてゆく能力を獲得すること、また自己と世界を冷静に分析する論理的能力を習得することです。
特に関連する科目	特になし
授業の具体的な進め方	講義方式で進める。内容理解のため毎回レジュメを配布する。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	11/22	火	3	臼杵百合子	講義室3	文化とは （1）
2	11/22	火	4	臼杵百合子	講義室3	文化とは （2）
3	11/29	火	3	臼杵百合子	講義室3	東の文化とは （1）
4	11/29	火	4	臼杵百合子	講義室3	東の文化とは （2）
5	12/6	火	3	臼杵百合子	講義室3	西の文化とは （1）
6	12/6	火	4	臼杵百合子	講義室3	西の文化とは （2）
7	12/13	火	3	臼杵百合子	講義室3	日本の文化とは （1）
8	12/13	火	4	臼杵百合子	講義室3	日本の文化とは （2）
9	12/20	火	3	臼杵百合子	講義室3	日本の文化とは （3）
10	12/20	火	4	臼杵百合子	講義室3	異文化看護
11	1/10	火	3	臼杵百合子	講義室3	異文化看護
12	1/10	火	4	臼杵百合子	講義室3	仏教看護
13	1/17	火	3	臼杵百合子	講義室3	看護人類学
14	1/17	火	4	臼杵百合子	講義室3	まとめ
15	1/17	火	5	臼杵百合子	講義室3	まとめ（レポート）

成績評価方法・基準		課題を課し、これで成績評価を行う。
授業外における学習（予習・復習）		とくに予習は必要としない。 復習については、論理的・抽象的な思考の展開に慣れていない人は、その都度の論理展開・キーワード等を辞書やインターネットを活用して復習しておいてください。
教科書・参考文献等	教科書	教科書は使用しない。授業時に資料を配布する。
	参考書	参考文献は適宜紹介する。
	その他	
連絡先・オフィスアワー		授業前後またはメールにて質問等に対応します。教務課（kyomuns-info@jhsu.ac.jp）までメールをしてください。
その他		

科目コード	12-11203
授業科目名	薬理学(臨床薬理含)
配当年次	2学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	2単位
時間数	45時間
授業形態	講義
担当教員	岡部 智恵
実務家教員	薬剤師 : 岡部智恵
授業科目の概要	現代医療において、薬は各種疾患の予防・診断・治療を行なう上で必要不可欠なものとなっている。しかしながら、本来、生体にとって薬は異物であることから、使用方法を誤ると種々の有害作用が発現し、時には重大な医療事故につながる可能性もある。したがって、医療・看護に携わる者は、薬に関する知識を十分に習得し、それらを医療現場において的確に応用する能力を身に付けることが必要である。薬理学とは、薬と生体との相互作用の結果生じる現象とその発現機構を考究する学問であるが、本講義では、総論にて薬理学に関する基本知識(薬の薬理作用、体内動態、副作用、相互作用、中毒などの基礎)を習得し、その後各論として各種疾患に使用する治療薬の詳細(分類、薬物名、作用機序、副作用、相互作用、臨床適用など)を学ぶ。
授業の到達目標	1. 看護時に必要な医薬品に関する法令について概説できる。 2. 主作用・副作用などの薬物作用(薬理作用)の概念を説明できる。 3. 薬物が体内でどのように作用しているか(薬物動態学)について理解し作用機序(薬力学)について概念を説明できる。 4. 薬物の投与量とこれによって引き起こされる薬理反応の大きさの量的関係に関する基本的事項について概説できる。
特に関連する科目	人体構造学　人体機能学　病理学　生化学　病態治療学　各看護学専門科目
授業の具体的な進め方	教科書に沿って、資料も提示して講義をする。授業内容に沿った確認プリント(問題形式)で習熟度を確認する。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	9/22	木	1	岡部智恵	講義室3	薬理ことはじめ
2	9/22	木	2	岡部智恵	講義室3	薬理ことはじめ
3	9/29	木	1	岡部智恵	講義室3	薬理ことはじめ
4	9/29	木	2	岡部智恵	講義室3	薬理ことはじめ
5	10/6	木	1	岡部智恵	講義室3	神経伝達物質に関連する薬
6	10/6	木	2	岡部智恵	講義室3	神経伝達物質に関連する薬
7	10/20	木	1	岡部智恵	講義室3	神経伝達物質に関連する薬
8	10/20	木	2	岡部智恵	講義室3	神経伝達物質に関連する薬
9	10/27	木	1	岡部智恵	講義室3	神経伝達物質に関連する薬
10	10/27	木	2	岡部智恵	講義室3	代謝の関連する薬
11	11/10	木	1	岡部智恵	講義室3	代謝の関連する薬
12	11/10	木	2	岡部智恵	講義室3	代謝の関連する薬
13	11/17	木	1	岡部智恵	講義室3	代謝の関連する薬
14	11/17	木	2	岡部智恵	講義室3	抗炎症薬・化学療法薬・消毒薬
15	11/24	木	1	岡部智恵	講義室3	抗炎症薬・化学療法薬・消毒薬
16	11/24	木	2	岡部智恵	講義室3	抗炎症薬・化学療法薬・消毒薬
17	12/8	木	1	岡部智恵	講義室3	抗炎症薬・化学療法薬・消毒薬
18	12/8	木	2	岡部智恵	講義室3	器官系にはたらく薬
19	12/15	木	1	岡部智恵	講義室3	器官系にはたらく薬
20	12/15	木	2	岡部智恵	講義室3	器官系にはたらく薬
21	12/22	木	1	岡部智恵	講義室3	その他の薬
22	12/22	木	2	岡部智恵	講義室3	薬に関する法令
23	1/12	木	1	岡部智恵	講義室3	まとめ

成績評価方法・基準	定期試験100%

授業外における学習（予習・復習）		授業後は教科書、配布資料、確認プリントを利用し復習をおこなうこと。予習・復習は講義ごとに概ね60分以上必要である。
教科書 ・参考文献等	教科書	時政孝行　著『はじめる！つかえる！看護のための薬理学』（南山堂、2017年）ISBN：9784525471110
	参考書	講義内にて、適宜紹介する。
	その他	資料配布等　上記以外
連絡先・オフィスアワー		質問等は授業前後に対応する
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 薬剤師としての実務経験を活かした講義を行う。

科目コード	12-11205
授業科目名	微生物学
配当年次	2学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	今西 健一
実務家教員	
授業科目の概要	現在の発展途上国がそうであるように、かつて日本も死因の上位を占めていたのはさまざまな感染症であった。感染症は微生物が宿主に侵入した結果起こることが分かり、病原体を殺す薬や発病を防ぐワクチンなどが開発されて、現在は感染症で乳幼児が死亡する危険はかなり減少している。しかし、SARS や鳥インフルエンザなど、近年、いくつもの新しい感染症の出現や既に解決済みと思われた感染症の復活、薬剤耐性菌による院内感染、臓器移植や免疫不全症に伴う日和見感染症などなど感染症を制御することは容易ではないことが明らかになってきている。感染症とその対策に関する知識は、看護職にとって基本的な重要な知識である。医療の現場で必要な感染症とその対策を理解するための知識を習得し、感染症予防の技術が活かされるよう身につける。
授業の到達目標	1. 細菌、真菌、原虫、ウイルスと様々な微生物の性質を知る。 2. どのように感染が起こるかを、感染を起こす微生物側からと感染を受ける宿主側から理解する。 3. 医療の現場での感染防御に必要な知識を得る。
特に関連する科目	生物学　人体構造学　人体機能学　病理学　病態治療学Ⅱ　公衆衛生学　生化学
授業の具体的な進め方	教科書に即してスライドを使って講義を行う。参考資料の内、可能なものはオンラインで見れます。各講義後に内容に関する課題をオンラインでアップし、提出されたものを評価します。 実習が可能な場合は講義内容が一部変更になります。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	9/30	金	3	今西健一	講義室3	微生物と微生物学
2	10/7	金	3	今西健一	講義室3	細菌の性質
3	10/13	木	2	今西健一	講義室3	真菌・原虫の性質と感染機構
4	10/21	金	3	今西健一	講義室3	ウイルスの性質
5	10/28	金	3	今西健一	講義室3	感染と感染症
6	11/4	金	3	今西健一	講義室3	生体防御機構(1)
7	11/9	水	2	今西健一	講義室3	生体防御機構(2)
8	11/16	水	2	今西健一	講義室3	生体防御機構(3)
9	11/25	金	3	今西健一	講義室3	感染源・感染経路からみた感染症/感染症の検査と診断
10	12/2	金	3	今西健一	講義室3	滅菌と消毒/感染症の治療
11	12/9	金	3	今西健一	講義室3	病原細菌と細菌感染症(1)
12	12/16	金	3	今西健一	講義室3	病原細菌と細菌感染症(2)
13	12/23	金	3	今西健一	講義室3	病原真菌と真菌感染症/病源原虫と原虫感染症
14	1/13	金	3	今西健一	講義室3	病原ウイルスとウイルス感染症(1)
15	1/20	金	3	今西健一	講義室3	病原ウイルスとウイルス感染症(2)

成績評価方法・基準		毎回の課題合計30%と期末試験70%
授業外における学習(予習・復習)		授業計画に即して次回の授業内容について教科書で予習すること。講義後は、復習を行い、課題を提出すること。予習・復習には講義ごとに概ね60分以上必要である。
教科書・参考文献等	教科書	南嶋洋一　吉田眞一　永淵正法　齋藤光正　大野真治　著『≪系統看護学講座 専門基礎分野≫疾病のなりたちと回復の促進[4]　微生物学 (第13版)』(医学書院、2018年)　ISBN:9784260031837
	参考書	齋藤光正編 『イラストでわかる微生物学超入門』(南山堂、2021年)ISBN:9784525163426
		矢野郁也他編 『病原微生物学』(東京化学同人、2004年) ISBN:9784807905621
	その他	
連絡先・オフィスアワー		連絡先:研究室3　k-imanishi@jhsu.ac.jp オフィスアワー:講義後及びメールで対応する。
その他		

科目コード	12-11207
授業科目名	病態治療学Ⅰ（脳神経系、循環器系、呼吸器系、消化器系）
配当年次	2学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	2単位
時間数	60時間
授業形態	講義
担当教員	塚本 哲、松山 永久
実務家教員	医師：塚本哲
授業科目の概要	本科目のねらいは、あらゆる健康状態にある対象と家族への看護実践に必要な健康障害の基礎的知識を理解し、学習する。 1. 主要系統の身体機能のメカニズムと心身相関について理解する。 2. 系統別・各器官臓器別に、疾患の概念、疾患の原因・誘因と病態生理、主要症状と病態生理、診断・治療法、合併、予防などについて学習し、看護学の実践に役立てるようにする。 疾患の概念、疾患の原因・誘因と病態生理、主要症状と病態生理、診断・治療法、合併、予防などを解説する。
授業の到達目標	1. 主要系統の身体機能のメカニズムを理解する。 2. 系統別・各器官臓器別に、疾患の概念、疾患の原因・誘因と病態生理、主要症状と病態生理、診断・治療法、合併症、予防法を理解する。
特に関連する科目	人体構造学　人体機能学　生化学　病理学　病態治療学Ⅱ・Ⅲ　各看護学専門科目
授業の具体的な進め方	教科書や資料を解説するかたちで進めます。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/8	金	3	塚本 哲	講義室2	診察法総論①
2	4/11	月	1	塚本 哲	講義室2	診察法総論②
3	4/15	金	3	塚本 哲	講義室2	検査法総論①
4	4/15	金	4	塚本 哲	講義室2	検査法総論②
5	4/18	月	1	塚本 哲	講義室2	検査法総論③
6	4/22	金	3	塚本 哲	講義室2	検査法総論④
7	4/22	金	4	塚本 哲	講義室2	検査法総論⑤
8	4/25	月	1	塚本 哲	講義室2	治療法総論①
9	4/29	金	3	塚本 哲	講義室2	治療法総論②
10	4/29	金	4	塚本 哲	講義室2	治療法総論③
11	5/9	月	1	塚本 哲	講義室2	治療法総論④
12	5/13	金	3	塚本 哲	講義室2	治療法総論⑤
13	5/13	金	4	塚本 哲	講義室2	治療法総論⑥
14	5/16	月	1	松山 永久	講義室2	歯科
15	5/23	月	1	松山 永久	講義室2	消化管①
16	5/27	金	3	塚本 哲	講義室2	治療法総論⑦
17	5/27	金	4	塚本 哲	講義室2	治療法総論⑧
18	5/30	月	1	松山永久	講義室2	消化管②
19	6/3	金	3	塚本 哲	講義室2	治療法総論⑨
20	6/6	月	1	松山永久	講義室2	消化管③
21	6/10	金	3	塚本 哲	講義室2	治療法総論⑩
22	6/13	月	1	松山永久	講義室2	肝・胆・膵①
23	6/17	金	4	塚本 哲	講義室2	呼吸器①
24	6/20	月	1	松山永久	講義室2	肝・胆・膵②
25	6/24	金	3	塚本 哲	講義室2	呼吸器②
26	6/24	金	4	塚本 哲	講義室2	呼吸器③
27	6/27	月	1	松山永久	講義室2	肝・胆・膵③

28	7/4	月	1	松山永久	講義室4	肝・胆・膵④
29	7/8	金	3	塚本 哲	講義室1	呼吸器④
30	7/8	金	4	塚本 哲	講義室1	呼吸器⑤
成績評価方法・基準						定期試験100%
授業外における学習（予習・復習）						講義があったその日のうちに講義された範囲を1時間以上復習してください。さらに習った範囲に該当するドリルの問題を解いてみてください。
教科書 ・参考文献等		教科書				北村聖総編集『臨床病態学総論 第2版』（ヌーヴェルヒロカワ、2013年） ISBN:9784861740480
						浅野嘉延、吉山直樹編集『看護のための臨床病態学 改訂4版』（南山堂、2020年） ISBN:9784525505141
						東中須恵子編集『病態治療学ドリル』（大学教育出版、2022年） ISBN:9784866921723
		参考書				『病気がみえる 1～8巻』（メディックメディア）
						『薬がみえる 1～4巻』（メディックメディア）
		その他				
連絡先・オフィスアワー						（塚本） 水曜日を除く毎日18時まで研究室23にいます。 メール t-tsukamoto@jhsu.ac.jp はいつでもどうぞ。 （松山） 研究室24 メールアドレス：n-matsuyama@jhsu.ac.jp オフィスアワー：在室中は随時 メールは18時まで
その他						【実務経験を活かした実践的教育内容】 （塚本）医師としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。

科目コード	12-11208
授業科目名	病態治療学Ⅱ(腎・泌尿器系、血液・免疫、内分泌、アレルギー、精神)
配当年次	2学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	2単位
時間数	60時間
授業形態	講義
担当教員	塚本 哲、稲田 俊也、山本 暢朋
実務家教員	医師:塚本 哲、稲田 俊也、山本 暢朋
授業科目の概要	本科目のねらいは、あらゆる健康状態にある対象と家族への看護実践に必要な健康障害の基礎的知識を理解し、学習する。 1. 主要系統の身体機能のメカニズムと心身相関について理解する。 2. 系統別・各器官臓器別に、疾患の概念、疾患の原因・誘因と病態生理、主要症状と病態生理、診断・治療法、合併、予防 などについて学習し、看護学の実践に役立てるようにする。 ＜オムニバス方式／全30回＞ 疾患の概念、疾患の原因・誘因と病態生理、主要症状と病態生理、診断・治療法、合併、予防などを解説する。
授業の到達目標	1. 主要系統の身体機能のメカニズムを理解する。 2. 系統別・各器官臓器別に、疾患の概念、疾患の原因・誘因と病態生理、主要症状と病態生理、診断・治療法、合併症、予防法を理解する。
特に関連する科目	人体構造学 人体機能学 生化学 病理学 病態治療学Ⅰ・Ⅲ 各看護学専門科目
授業の具体的な進め方	教科書を解説するかたちで進めます。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	9/20	火	1	塚本哲	講義室3	循環器①
2	9/20	火	2	塚本哲	講義室3	循環器②
3	9/26	月	1	塚本哲	講義室3	循環器③
4	9/26	月	2	塚本哲	講義室3	循環器④
5	10/3	月	1	塚本哲	講義室3	代謝・栄養①
6	10/3	月	2	塚本哲	講義室3	代謝・栄養②
7	10/14	金	2	山本暢明	講義室3	精神疾患①
8	10/14	金	3	山本暢明	講義室3	精神疾患②
9	10/17	月	1	塚本哲	講義室3	内分泌①
10	10/17	月	2	塚本哲	講義室3	内分泌②
11	10/24	月	1	塚本哲	講義室3	内分泌③ 腎・泌尿器①
12	10/24	月	2	塚本哲	講義室3	腎・泌尿器②
13	10/31	月	1	塚本哲	講義室3	腎・泌尿器③
14	10/31	月	2	塚本哲	講義室3	腎・泌尿器④
15	11/11	金	2	稲田俊也	講義室3	精神疾患③
16	11/11	金	3	稲田俊也	講義室3	精神疾患④
17	11/18	金	2	山本暢明	講義室3	精神疾患⑤
18	11/18	金	3	山本暢明	講義室3	精神疾患⑥
19	11/21	月	1	塚本哲	講義室3	腎・泌尿器⑤ 脳・神経①
20	11/21	月	2	塚本哲	講義室3	脳・神経②
21	11/28	月	1	塚本哲	講義室3	脳・神経③
22	11/28	月	2	塚本哲	講義室3	脳・神経④
23	12/5	月	1	塚本哲	講義室3	脳・神経⑤ 血液①
24	12/5	月	2	塚本哲	講義室3	血液②

25	12/12	月	1	塚本哲	講義室3	膠原病・アレルギー①
26	12/12	月	2	塚本哲	講義室3	膠原病・アレルギー②
27	12/19	月	1	塚本哲	講義室3	膠原病・アレルギー③
28	12/19	月	2	塚本哲	講義室3	膠原病・アレルギー④　感染症①
29	1/16	月	1	塚本哲	講義室3	感染症②
30	1/16	月	2	塚本哲	講義室3	感染症③

成績評価方法・基準		定期試験100%
授業外における学習（予習・復習）		講義があったその日のうちに講義された範囲を1時間以上復習してください。さらに習った範囲に該当するドリルの問題を解いてみてください。精神疾患は教科書p.768-792 にも解説されているので、合わせて学んでください。
教科書 ・参考文献等	教科書	浅野嘉延、吉山直樹編集『看護のための臨床病態学 改訂4版』（南山堂、2020） ISBN:9784525505141
		東中須恵子編集『病態治療学ドリル』（大学教育出版、2022） ISBN:9784866921723
	参考書	病気がみえる1～8巻 （メディックメディア）
		薬がみえる1～4巻 （メディックメディア）
	その他	
連絡先・オフィスアワー		（塚本） 毎日18時まで研究室23にいます。 メール t-tsukamoto@jhsu.ac.jp はいつでもどうぞ。 （稲田・山本） 質問は授業前後またはメールで対応します。 教務課（kyomuns-info@jhsu.ac.jp）にメールしてください。
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 医師としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。

科目コード	12-11209
授業科目名	病態治療学Ⅲ（母性、小児、他）
配当年次	3学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	2単位
時間数	60時間
授業形態	講義
担当教員	塚本 哲
実務家教員	医師：瀬川裕史・塚本哲
授業科目の概要	本科目のねらいは、あらゆる健康状態にある対象と家族への看護実践に必要な健康障害の基礎的知識を理解し、学習する。 1. 主要系統の身体機能のメカニズムと心身相関について理解する。 2. 系統別・各器官臓器別に、疾患の概念、疾患の原因・誘因と病態生理、主要症状と病態生理、診断・治療法、合併、予防　などについて学習し、看護学の実践に役立てるようにする。 ＜オムニバス方式／全30回＞ 疾患の概念、疾患の原因・誘因と病態生理、主要症状と病態生理、診断・治療法、合併、予防などを解説する。
授業の到達目標	1. 主要系統の身体機能のメカニズムを理解する。 2. 系統別・各器官臓器別に、疾患の概念、疾患の原因・誘因と病態生理、主要症状と病態生理、診断・治療法、合併症、予防法を理解する。
特に関連する科目	人体構造学　人体機能学　生化学　病理学　病態治療学Ⅰ・Ⅱ　各看護学専門科目
授業の具体的な進め方	教科書を解説するかたちで進めます。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/14	木	1	塚本　哲	講義室2 講義室3	小児科①
2	4/14	木	2	塚本　哲	講義室2 講義室3	小児科①
3	4/14	木	4	瀬川　裕史	講義室2 講義室3	妊娠期の異常①
4	4/21	木	1	塚本　哲	講義室2 講義室3	小児科③
5	4/21	木	2	塚本　哲	講義室2 講義室3	小児科④
6	4/21	木	4	瀬川　裕史	講義室2 講義室3	妊娠期の異常②
7	4/28	木	1	塚本　哲	講義室2 講義室3	小児科⑤
8	4/28	木	2	塚本　哲	講義室2 講義室3	小児科⑥
9	4/28	木	4	瀬川　裕史	講義室2 講義室3	分娩の異常③
10	5/12	木	1	塚本　哲	講義室2 講義室3	小児科⑦
11	5/12	木	2	塚本　哲	講義室2 講義室3	小児科⑧
12	5/12	木	4	瀬川　裕史	講義室2 講義室3	分娩期の異常①
13	5/19	木	1	塚本　哲	講義室2 講義室3	小児科⑨
14	5/19	木	2	塚本　哲	講義室2 講義室3	小児科⑩
15	5/19	木	4	瀬川　裕史	講義室2 講義室3	分娩期の異常②
16	5/26	木	2	塚本　哲	講義室2 講義室3	整形外科①
17	5/26	木	4	瀬川　裕史	講義室2 講義室3	分娩期の異常③
18	6/2	水	2	塚本　哲	講義室2 講義室3	整形外科②
19	6/2	木	4	瀬川　裕史	講義室2 講義室3	新生児期の異常①
20	6/9	木	2	塚本　哲	講義室2 講義室3	整形外科③
21	6/9	木	4	瀬川　裕史	講義室2 講義室3	新生児期の異常②
22	6/16	木	2	塚本　哲	講義室2 講義室3	整形外科④
23	6/16	木	4	瀬川　裕史	講義室2 講義室3	新生児期の異常③
24	6/23	木	2	塚本　哲	講義室2 講義室3	耳鼻咽喉科①
25	6/23	木	3	瀬川　裕史	講義室2 講義室3	産褥期の異常①
26	6/23	木	4	瀬川　裕史	講義室2 講義室3	産褥期の異常②

27	6/30	木	2	塚本　哲	講義室2 講義室3	耳鼻咽喉科②　皮膚科①
28	6/30	木	4	瀬川　裕史	講義室2 講義室3	産褥期の異常③
29	7/7	木	2	塚本　哲	講義室2 講義室3	皮膚科②　救急医療
30	7/7	木	4	瀬川　裕史	講義室2 講義室3	婦人科疾患
成績評価方法・基準						定期試験100%
授業外における学習（予習・復習）						（塚本）講義があったその日のうちに講義された範囲を1時間以上復習してください。さらに習った範囲に該当するドリルの問題を解いてみてください。女性生殖器疾患は教科書p.686-701 にも解説されているので、合わせて学んでください。
教科書 ・参考文献等		教科書				（塚本）浅野嘉延、吉山直樹編集『看護のための臨床病態学 改訂4版』（南山堂、2020） ISBN:9784525505141
		参考書				（塚本）『病気がみえる　9～14巻』（メディックメディア）
		その他				（塚本）小児科は小児保健・小児看護方法論で使用する『小児臨床看護各論　第14版』（医学書院、2020） ISBN:9784260038669　を使いますので、購入不要です。
連絡先・オフィスアワー						（塚本）水曜日を除く毎日18時まで研究室23にいます。メール t-tsukamoto@jhsu.ac.jp はいつでもどうぞ。 （瀬川）質問は教務課（kyomuns-info@jhsu.ac.jp）までメールにて知らせください。
その他						【実務経験を活かした実践的教育内容】 医師としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。

科目コード	12-11210
授業科目名	栄養学
配当年次	2学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	坂本 香織
実務家教員	
授業科目の概要	人間にとっての栄養の意義、栄養と健康のかかわりについて、人間の生理機能との関連から、栄養の基本的概念と各種栄養素、主要食品の栄養学的意義を学び、各栄養素の消化・吸収について学習する。健康の維持・促進及び回復のための食生活ついても学習する。 1. 栄養学の基礎的知識を理解する。 2. 栄養状態の評価・判定法を理解する。 3. エネルギー代謝の計算方法を理解する。 4. 栄養素の消化・吸収について理解する。 5. 日常生活の正しい食と健康の関連について理解する。
授業の到達目標	1. 人間の生命活動を支える細胞や生体物質の構造及び生理機能を説明できる。 2. 糖質、脂質、たんぱく質の代謝の過程が説明できる。 3. ライフステージごとの栄養ケアマネージメントの要点について説明できる。 4. 病院における栄養管理、疾患・症状別食事療法の要点が説明できる。
特に関連する科目	人体構造学 人体機能学 生化学 病理学 病態治療学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 各看護学専門科目
授業の具体的な進め方	教科書に沿って、資料も配布して講義をする。 毎時、授業内容の小テストを行い、これは成績評価の対象とする。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	9/27	火	3	坂本香織	講義室3	○人間栄養学と看護 栄養と栄養素、栄養学の歴史、保健と栄養、医療と栄養学、看護と栄養
2	9/27	火	4	坂本香織	講義室3	○栄養状態の評価・判定 栄養状態の評価・判定の定義と目的、栄養状態の評価・判定法
3	9/27	火	5	坂本香織	講義室3	課題学習1
4	9/30	金	1	庄司久美子	講義室3	○栄養素の種類とはたらき (1) 糖質、脂質、たんぱく質
5	9/30	金	2	庄司久美子	講義室3	○栄養素の種類とはたらき (2) ビタミン、ミネラル、食物繊維、水
6	10/4	火	3	庄司久美子	講義室3	○エネルギー代謝 食品のエネルギー、体内のエネルギー、エネルギー代謝の測定、エネルギー消費
7	10/4	火	4	庄司久美子	講義室3	○栄養素の消化・吸収 栄養素の消化、栄養素の吸収、栄養素の体内運搬
8	10/11	火	3	庄司久美子	講義室3	○栄養素の体内代謝 肝臓のはたらき、血糖、血漿脂質、血漿のアミノ酸・たんぱく質、核酸代謝 ポリフィリン代謝、代謝の調節、代謝産物の排泄
9	10/11	火	4	坂本香織	講義室3	○栄養ケア・マネジメント チームケアアプローチと栄養ケアマネージメント、栄養スクリーニング、栄養アセスメント、栄養ケア計画、実施・確認・評価
10	10/11	火	5	坂本香織	講義室3	課題学習2
11	10/18	火	3	庄司久美子	講義室3	○ライフステージと栄養 (1) 乳幼児、幼児期、学童期、思春期・青年期、成人期
12	10/18	火	4	庄司久美子	講義室3	○ライフステージと栄養 (2) 妊娠期、授乳期、更年期、高齢期
13	10/25	火	3	坂本香織	講義室3	○臨床栄養 (1) 疾病別食事療法の実際：栄養・代謝疾患
14	10/25	火	4	坂本香織	講義室3	○臨床栄養 (2) 疾病別食事療法の実際：循環器疾患、腎臓疾患
15	10/25	火	5	坂本香織	講義室3	○健康づくりと食品・食事・食生活 人間の食事と食文化、食品と食品群、生活習慣病の予防、食生活の改善による一次予防、食の安全性と表示

成績評価方法・基準		課題50%、定期試験50%とし、授業態度（確認テスト含む）により10%まで加点する
授業外における学習（予習・復習）		教科書を事前に読んできて疑問点を持って授業に臨んでください。授業後は、教科書と配布プリント、サブテキストで復習してください。予習・復習には講義ごとに概ね60分必要です。
教科書・参考文献等	教科書	中村丁次ほか著：『≪系統看護学講座 専門基礎分野≫人体の構造と機能[3]栄養学(第13版)』(医学書院、2020年)ISBN：9784260019934
	参考書	適宜紹介します。
	その他	
連絡先・オフィスアワー		授業前後またはメールにて対応いたします。教務課（kyomuns-info@jhsu.ac.jp）にお知らせください。
その他		

科目コード	12-11211
授業科目名	リハビリテーション概論
配当年次	3学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	選択
単位	1単位
時間数	15時間
授業形態	講義
担当教員	熊坂 隆行、佐藤 安代、藤澤 博子、工藤 久美子
実務家教員	看護職：熊坂隆行・佐藤安代・藤澤博子・工藤久美子
授業科目の概要	リハビリテーションの理念、歴史、対象、方法について、学び、保健・医療・福祉活動における事例を通じて、リハビリテーションのあり方を考える。加齢による変化・各疾患、外傷などによるさまざまな障害の分析、評価、機能的代謝、手段を総括的に学び、リハビリテーションの役割を理解する。
授業の到達目標	1. リハビリテーションの目的や考え方について説明できる。 2. 国際生活機能分類 ICF とその構成要素について説明できる。 3. リハビリテーションに関わる専門職の機能とリハビリテーション活動における看護師の役割について説明できる。 4. 機能障害別リハビリテーションにおける看護の役割について説明できる。
特に関連する科目	人体構造学　人体機能学　看護学概論　ヘルスアセスメント　看護過程展開方法論　ほか各看護学専門科目
授業の具体的な進め方	講義形式で構成されている。講義は教科書、レジュメ、配布資料を中心にPower Pointを用いて進めていく。講義内容の理解を深めるために、課題レポート、テストを行う。 必要に応じて、Google　classroom　を利用した遠隔配信授業を行う場合もある。音声やスライド、動画を見ながら進めてください。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/13	水	1	熊坂隆行	講義室2	リハビリテーションの概念および歴史的変遷、日本におけるリハビリテーションの歩み
2	4/13	水	2	工藤久美子	講義室2	リハビリテーションを必要とする人の特徴、障害の概念、日本の障害者施策
3	4/20	水	1	工藤久美子	講義室2	生活機能分類 ICF モデルとその概念、リハビリテーションにおける主要概念、リハビリテーション看護の役割
4	4/20	水	2	藤澤博子	講義室2	機能障害別リハビリテーションを受ける人の特徴、機能障害別リハビリテーション看護（1）：難病
5	4/27	水	1	藤澤博子	講義室2	機能障害別リハビリテーションを受ける人の特徴、機能障害別リハビリテーション看護 （2）：運動器障害、循環器系内臓障害
6	4/27	水	2	佐藤安代	講義室2	機能障害別リハビリテーションを受ける人の特徴、機能障害別リハビリテーション看護 （3）：がん、呼吸器系内臓障害
7	5/11	水	1	佐藤安代	講義室2	機能障害別リハビリテーションを受ける人の特徴、機能障害別リハビリテーション看護 （4）：感覚器障害
8	5/11	水	2	佐藤安代	講義室2	まとめ

成績評価方法・基準		講義への取り組みと参加状況 30% 課題レポート・ミニレポート 20% 定期試験 50% ＊レポートについては、コメントし返却する。
授業外における学習（予習・復習）		授業計画に沿って教科書で予習し、講義後は、教科書、講義で配布される資料、参考文献を用いて復習をおこなうこと。予習・復習には講義ごとに概ね60分以上必要である。必ず行うこと。
教科書・参考文献等	教科書	武田宣子, 下村晃子, 道木恭子, 長島緑, 馬原美保子著『リハビリテーション看護　第6版（系統看護学講座別巻）』（医学書院、2015年）ISBN：9784260019941
	参考書	講義内にて、適宜紹介する。
	その他	必要に応じてプリントを配布する。
連絡先・オフィスアワー		連絡先：研究室22（3階）　kumasaka@jhsu.ac.jp オフィスアワー：水曜日 13:00～16:00
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。

科目コード	12-11213
授業科目名	社会福祉学
配当年次	2学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	木梨 美奈子
実務家教員	
授業科目の概要	看護活動では福祉の知識は欠かせず、患者さんが必要な生活設計を考えるための基礎となる社会保障制度や社会福祉サービスの基礎知識について学ぶ。具体的には、社会福祉の概念や歴史、社会福祉活動の担い手、また、人々が利用できるさまざまな社会保障制度（年金保険制度、労災保険制度、雇用保険制度等）、また社会福祉サービス（介護保険制度、高齢者福祉、障害者福祉、生活保護等）について学ぶ。
授業の到達目標	1.患者の生活設計を考えるための基礎となる社会保障制度や社会福祉サービスの基礎知識について学ぶ。具体的には、社会福祉の概念や歴史、社会福祉活動の担い手、また人々が利用できるさまざまな社会保障制度（年金保険制度、労災保険制度、雇用保険制度等） 2.社会福祉サービス（介護保険制度、高齢者福祉、障害者福祉、生活保護等）について学ぶ。 3.「社会福祉学」の基礎を学びながら、最終的には「社会福祉学」の各項目について、学生の一人一人が、自分なりの意見や考えをもてるようにする。
特に関連する科目	保健医療福祉行政論　法学（日本国憲法）　社会学　関係法規
授業の具体的な進め方	授業計画にしたがい、テキストを使用して講義を行う。 各回の講義では、予習はしなくてよいが、しっかり復習すること。 毎回の授業の後半で、練習問題を解く。練習問題は、①授業内容から　②看護師国家試験過去問題　③看護師国家試験擬似問題　などで構成する。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	9/27	火	2	木梨美奈子	講義室3	社会保障制度と社会福祉
2	10/4	火	2	木梨美奈子	講義室3	現代社会の変化と社会保障・社会福祉の動向
3	10/11	火	2	木梨美奈子	講義室3	医療保障　1　医療保障制度の沿革、構造、保険
4	10/18	火	2	木梨美奈子	講義室3	医療保障　2　高齢者医療制度、保険診療、医療費
5	10/25	火	2	木梨美奈子	講義室3	介護保障　1　介護保険制度の歴史、概要
6	11/1	火	2	木梨美奈子	講義室3	介護保障　2　介護保険の給付、財政、課題
7	11/8	火	2	木梨美奈子	講義室3	所得保障　1　年金保険制度　2　労働保険制度
8	11/15	火	2	木梨美奈子	講義室3	まとめ
9	11/22	火	2	木梨美奈子	講義室3	公的扶助
10	11/29	火	2	木梨美奈子	講義室3	社会福祉の分野とサービス　1　高齢者福祉
11	12/6	火	2	木梨美奈子	講義室3	社会福祉の分野とサービス　2　障害者福祉　3　児童家庭福祉
12	12/13	火	2	木梨美奈子	講義室3	社会福祉実践と医療、看護　1　社会福祉援助技術
13	12/20	火	2	木梨美奈子	講義室3	社会福祉実践と医療、看護　2　今後の課題　3　連携の重要性
14	1/10	火	2	木梨美奈子	講義室3	社会福祉の歴史
15	1/17	火	2	木梨美奈子	講義室3	総復習

成績評価方法・基準		成績は、定期試験の成績を基本として評価する。なお、定期試験で60%の成績が取れなかった場合は、再試験もしくはレポート課題を課して、成績評価の参考とする。
授業外における学習（予習・復習）		各回の講義では、予習はしなくてよいが、講義で扱った内容をよく復習すること。復習は、毎日30分はすること。
教科書・参考文献等	教科書	福田 素生(著)『≪系統看護学講座 専門基礎分野≫健康支援と社会保障制度[3]社会保障・社会福祉』(医学書院、2022年)ISBN:9784260048590
	参考書	講義内にて、適宜紹介する。
	その他	毎回の講義でプリントを配布する。
連絡先・オフィスアワー		質問等は授業前後に対応する。
その他		

科目コード	12-11214
授業科目名	関係法規
配当年次	4学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	15時間
授業形態	講義
担当教員	須釜 幸男
実務家教員	
授業科目の概要	日々の生活は「法」との関わりなしに、成立しない。高度な専門知識・技術を駆使し、医療の領域での活動が期待されている看護職は特に、避けて通れない現実である。関係法規を学ぶことで、法令遵守と医療専門職としてのオートノミー（自治や自己研鑽）の意識を高めていく。授業では保健師助産師看護師法や医師法、医療法、保健衛生法規と医療人との関わり合いを学習する。
授業の到達目標	1. 看護職の基本法規（保健師助産師看護師法）を理解できる 2. 看護職として働くために、関係する法規を体系的に意識できる 3. 看護職たる職務遂行のための根拠や判断基準が把握できる
特に関連する科目	社会医学系科目（公衆衛生学　保健医療福祉行政論　関係法規　国際保健学　保健統計学など）公衆衛生看護学概論　公衆衛生看護活動論　公衆衛生看護システム論　公衆衛生看護技術論　産業保健論　学校保健論　看護行政論など
授業の具体的な進め方	指定教科書を使用し、「関係法規」に必要な基礎知識と背景を、体系的に説明する。授業内課題を通じて、知識の定着や気付きを図る。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	9/22	木	1	須釜幸男	講義室4	法の概念、情報開示とインフォームドコンセント
2	9/22	木	2	須釜幸男	講義室4	医療法規①（保健師助産師看護師法、医師法、薬剤師法）
3	9/29	木	1	須釜幸男	講義室4	医療法規②（医療法、薬事法規）
4	9/29	木	2	須釜幸男	講義室4	保健衛生法規、予防衛生法規
5	10/6	木	1	須釜幸男	講義室4	環境保全・公害関係法規、環境衛生法規
6	10/6	木	2	須釜幸男	講義室4	福祉関係法規、その他の関係法規
7	10/13	木	1	須釜幸男	講義室4	看護活動と関係法規
8	10/13	木	2	須釜幸男	講義室4	まとめ

成績評価方法・基準		授業参加：30%、授業内課題：30%、期末試験：40%
授業外における学習（予習・復習）		授業計画に即した内容を事前調査し、重要度分けや不明点の抽出を実施する。講義後は板書や配布資料を読み込み、知識を体系化して理解する。また、不明点の解消度を確認し、追加調査や次回質問に向けた整理を行なう。予習・復習には講義ごとに概ね60分以上が必要である。
教科書・参考文献等	教科書	資料を配布する。
	参考書	講義中に適宜紹介する
	その他	なし
連絡先・オフィスアワー		連絡先：研究室30（3階） メールアドレス：y-sugama@jhsu.ac.jp 水曜日11：00～13：30（事前にメールにてアポイントを取ってください。）
その他		

科目コード	12-11215
授業科目名	保健医療福祉行政論
配当年次	3学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	2単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	須釜 幸男
実務家教員	
授業科目の概要	地域社会や国民の健康課題に対応した保健医療福祉制度と行政に関する歴史や理念、体系、近年の動向を理解する。保健医療福祉行政の総合的推進のために、公衆衛生を中心とした理念や諸制度の現状と課題点を把握しながら、行財政や保健衛生、社会保障、医療の各制度、市民活動を包括した地域での役割分担と連携システムの在り方を理解する。
授業の到達目標	1. 我が国の保健衛生行政の役割を理解できる 2. 世界に誇る長寿国となった光と影の現実を熟慮できる 3. 少子高齢社会に寄与する保健衛生・医療人材たるプロフェッションを自覚できる
特に関連する科目	社会医学系科目（公衆衛生学　関係法規　国際保健学　保健統計学など）公衆衛生看護学概論　公衆衛生看護活動論　公衆衛生看護システム論　公衆衛生看護技術論　産業保健論　学校保健論　看護行政論など
授業の具体的な進め方	指定教科書を使用し、「保健医療福祉行政論」に必要な基礎知識と背景を、体系的に説明する。授業内課題を通じて、知識の定着や気付きを図る。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/12	火	1	須釜幸男	講義室2 講義室3	保健医療福祉行政の根拠・目標（1）その根拠：憲法25条、「健康」と「文化的生活」の定義
2	4/12	火	2	須釜幸男	講義室2 講義室3	保健医療福祉制度の根拠・目標（2）「公衆衛生」の定義、経済・健康関係、健康日本21、社会資本
3	4/20	水	5	須釜幸男	講義室2 講義室3	まとめと演習①
4	4/26	火	1	須釜幸男	講義室2 講義室3	保健医療福祉行政の変遷（1）近世から近代へ
5	4/26	火	2	須釜幸男	講義室2 講義室3	保健医療福祉行政の変遷（2）現代から将来へ
6	5/11	水	5	須釜幸男	講義室2 講義室3	まとめと演習②
7	5/17	火	1	須釜幸男	講義室2 講義室3	保健医療福祉行政・財政の理念と仕組み（1）国、県、市町村
8	5/17	火	2	須釜幸男	講義室2 講義室3	保健医療福祉行政・財政の理念と仕組み（2）財政と負担
9	5/24	火	2	須釜幸男	講義室2 講義室3	まとめと演習③
10	5/31	火	1	須釜幸男	講義室2 講義室3	社会保障制度（1）概要、医療提供体制
11	5/31	火	2	須釜幸男	講義室2 講義室3	社会保障制度（2）保障と福祉
12	6/7	火	2	須釜幸男	講義室2 講義室3	まとめと演習④
13	6/14	火	1	須釜幸男	講義室2 講義室3	地域保健（1）保健所と市町村保健センター、地域連携
14	6/14	火	2	須釜幸男	講義室2 講義室3	地域保健（2）医療・福祉計画の策定と推進、アセスメント
15	6/21	火	2	須釜幸男	講義室2 講義室3	まとめと演習⑤

成績評価方法・基準		授業参加：30%、授業内課題：30%、期末試験：40%
授業外における学習（予習・復習）		予習では講義内容を事前調査し、重要度分けや不明点の抽出を実施する。復習では板書や配布資料を読み込み、知識を体系化させる。次回講義との関連を検討する。各回の予習・復習は合計で 60 分以上。
教科書・参考文献等	教科書	藤内修二ほか『標準保健師講座・別巻1 保健医療福祉行政論』（医学書院、2017年） ISBN：9784260027724
	参考書	講義中に適宜紹介する
	その他	なし
連絡先・オフィスアワー		質問等は授業前後に対応する
その他		

科目コード	12-11216
授業科目名	保健統計学
配当年次	2学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	2単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	須釜 幸男
実務家教員	
授業科目の概要	保健統計学は健康問題に関して、集団を対象にする場合の情報を取り扱う技法、そこから狙い導かれる法則性を学ぶという幅広い重要な内容を含む。地域での保健対策上の問題と、その対策に向けた社会全体での取り組みの必要性を保健統計指標は示している。授業では、看護業務と関連する保健統計の見方・考え方の基礎的な内容とその活用法を学習する。
授業の到達目標	1. 保健統計の意義を理解する 2. 既存の保健統計資料について理解し、利用できる 3. 統計学の概念を理解し、基本的な統計処理ができる
特に関連する科目	社会医学系科目（公衆衛生学、保健医療福祉行政論、関係法規、国際保健学など） 公衆衛生看護学概論 公衆衛生看護活動論 公衆衛生看護システム論 公衆衛生看護技術論 産業保健論 学校保健論 看護行政論など
授業の具体的な進め方	指定教科書を使用し、「保健統計学」に必要な基礎知識と背景を、体系的に説明する。授業内課題を通じて、知識の定着や気付きを図る。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	11/8	火	3	須釜幸男	講義室3	統計と科学的思考
2	11/8	火	4	須釜幸男	講義室3	事例研究と疫学的考察、公衆衛生学的実践
3	11/15	火	3	須釜幸男	講義室3	データの種類と尺度
4	11/15	火	4	須釜幸男	講義室3	事例研究と疫学的考察、公衆衛生学的実践
5	11/30	水	1	須釜幸男	講義室3	既存統計資料の活用
6	11/30	水	2	須釜幸男	講義室3	事例研究と疫学的考察、公衆衛生学的実践
7	12/7	水	1	須釜幸男	講義室3	人口静態統計と人口動態統計
8	12/7	水	2	須釜幸男	講義室3	事例研究と疫学的考察、公衆衛生学的実践
9	12/14	水	1	須釜幸男	講義室3	出生率と人口ピラミッド
10	12/14	水	2	須釜幸男	講義室3	事例研究と疫学的考察、公衆衛生学的実践
11	12/21	水	1	須釜幸男	講義室3	死亡率と死因、社会構造
12	12/21	水	2	須釜幸男	講義室3	事例研究と疫学的考察、公衆衛生学的実践
13	1/11	水	1	須釜幸男	講義室3	受療率と疾病構造
14	1/11	水	2	須釜幸男	講義室3	事例研究と疫学的考察、公衆衛生学的実践
15	1/18	水	1	須釜幸男	講義室3	まとめ

成績評価方法・基準		授業参加：30%、授業内課題：30%、期末試験：40%
授業外における学習（予習・復習）		予習では講義内容を事前調査し、重要度分けや不明点の抽出を実施する。復習では板書や配布資料を読み込み、知識を体系化させる。次回講義との関連を検討する。各回の予習・復習は合計で 60 分以上。
教科書・参考文献等	教科書	厚生労働統計協会編『国民衛生の動向・厚生の指標 2022/2023』厚生労働統計協会、2022年
	参考書	1年「公衆衛生学」の指定教科書：平野かよ子ほか編『ナーシング・グラフィカ 健康支援と社会保障（2） 公衆衛生 第4版』（メディカ出版、2015年）ISBN：9784840449137
	その他	なし
連絡先・オフィスアワー		質問等は授業前後に対応する
その他		

科目コード	12-11218
授業科目名	疫学
配当年次	2学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	2単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	木下 節子
実務家教員	
授業科目の概要	人間集団の健康現象について、宿主と環境要因とのかかわりという視点で、疫学的な手法を用いて解明するプロセスを学ぶ。さらに疫学調査を疾病対策に生かす基礎的事項を学ぶ。
授業の到達目標	1. 疫学の概念を理解する。 2. 疫学で用いられる指標を理解する。 3. 疫学的研究方法を理解する。 4. 疾病予防とスクリーニングについて理解する。
特に関連する科目	公衆衛生学　保健統計学　公衆衛生看護学概論　公衆衛生看護システム論　公衆衛生活動論　公衆衛生看護技術論　公衆衛生看護学実習
授業の具体的な進め方	教科書をもとに授業を進めますので、必ず教科書を購入してください。演習問題をしますのでよく復習してください。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	9/21	水	1	木下 節子	講義室3	疫学1_概念　演習問題
2	9/21	水	2	木下 節子	講義室3	疫学2_疾病頻度の指標　演習問題
3	9/28	水	1	木下 節子	講義室3	疫学3_曝露効果の指標　演習問題
4	9/28	水	2	木下 節子	講義室3	疫学4_年齢調整(標準化)　演習問題
5	10/5	水	1	木下 節子	講義室3	疫学5_疫学研究(調査の基本)　演習問題
6	10/5	水	2	木下 節子	講義室3	疫学6_疫学研究方法1　演習問題
7	10/12	水	1	木下 節子	講義室3	疫学7_疫学研究方法2　演習問題
8	10/12	水	2	木下 節子	講義室3	疫学8_疫学研究方法3　演習問題
9	10/19	水	1	木下 節子	講義室3	疫学9_疫学研究方法4　演習問題
10	10/19	水	2	木下 節子	講義室3	疫学10_誤差、偏り(バイアス)　演習問題
11	10/26	水	1	木下 節子	講義室3	疫学11_交絡　演習問題
12	10/26	水	2	木下 節子	講義室3	疫学12_スクリーニング　演習問題
13	11/2	水	1	木下 節子	講義室3	疫学13_因果関係、アウトブレイク　演習問題
14	11/2	水	2	木下 節子	講義室3	疫学14_サーベイランス、疾病登録　演習問題
15	11/2	水	3	木下 節子	講義室3	演習問題

成績評価方法・基準		定期試験100%
授業外における学習(予習・復習)		教科書、講義スライド、演習問題などを復習し、授業内容の理解を深めてください。
教科書・参考文献等	教科書	牧本清子・尾崎米厚・森本明子・宮松直美著 『標準保健師講座 別巻2　疫学・保健統計学(第3版)』(医学書院、2015年)ISBN:9784260019989
	参考書	講義の中で紹介する.
	その他	
連絡先・オフィスアワー		質問は授業の前後またはメールで対応します。教務課(kyomuns-info@jhsu.ac.jp)へご連絡ください。
その他		

科目コード	12-11303
授業科目名	看護倫理
配当年次	4学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	15時間
授業形態	講義
担当教員	菅原 幸恵
実務家教員	看護職：菅原幸恵
授業科目の概要	科学技術の進歩に伴う生命科学、医療技術の進展が著しい現在の医療、ケアの状況を把握した上で、医療における倫理的諸問題について考察する。討議を重ねることによって倫理的問題を抽出できる能力を身につけ、看護専門職としての倫理観、看護観を洞察する。 1. 医療における倫理的諸問題を理解する。 2. 看護上のジレンマを倫理的に分析し解決する方法を探究する。 3. 看護専門職としての倫理観を洞察する。
授業の到達目標	1. 看護倫理とはなにか、看護職をめざす中で、なぜ倫理を学ぶ必要があるのかを理解する。 2. 医療・看護において、なぜ倫理が重視されるようになったのか、その歴史的経緯を理解する。 3. 医療・看護をめぐる倫理的問題には、どのようなものがあるかを理解する。 4. 看護職がどのような倫理規定を持ち、これをどのように活用すべきかを学ぶ。 5. 医療・看護をめぐる倫理原則を理解し、倫理的問題や倫理的ジレンマの解決にどのように取り組むべきかを学ぶ。
特に関連する科目	法学　社会学　生命倫理　看護学概論　看護関係法規　各看護学概論　各看護学臨地実習
授業の具体的な進め方	・講義と一部グループワークを取り入れた演習を実施しながら進める。 ・事例検討は、模範解答例を解説しながら進めますが、受講者は主体的に参加することを期待します。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	10/7	金	1	菅原幸恵	講義室4	ガイダンス　看護倫理について 1. 看護倫理とは何か　2. 医療現場でのジレンマ　3. 倫理的問題や課題
2	10/7	金	2	菅原幸恵	講義室4	倫理綱領・倫理原則について 1. アドボカシー（advocacy）　2. 看護者の倫理綱領　3. 協力　4. ケアリング
3	10/14	金	1	菅原幸恵	講義室4	看護とインフォームドコンセント 1. 倫理の歴史的経緯　2. インフォームドコンセントにおける倫理的課題
4	10/14	金	2	菅原幸恵	講義室4	看護職が直面する倫理的問題とその考え方 1. インフォームドコンセントにおける倫理的課題　2. 個人情報と倫理　3. 意思決定支援と倫理
5	10/21	金	1	菅原幸恵	講義室4	倫理的視点からの問題点と対応 事例検討：個人ワーク、グループワーク
6	10/21	金	2	菅原幸恵	講義室4	倫理的視点からの問題点と対応 事例検討：個人ワーク、グループワーク、発表会
7	10/28	金	1	菅原幸恵	講義室4	看護職が直面する倫理的問題と倫理教育　Part① 1. 医療現場における倫理問題とアプローチ法　2. 看護研究における倫理
8	10/28	金	2	菅原幸恵	講義室4	看護職が直面する倫理的問題と倫理教育　Part② 1. 職業倫理としての看護倫理　2. 倫理原則のアプローチの限界

成績評価方法・基準		課題累積評価：30%、定期試験評価：70%
授業外における学習（予習・復習）		看護倫理について考えられるように、看護倫理に関係する文献を読み、主体的に学習してください。
教科書・参考文献等	教科書	東京医科大学看護専門学校（著）『よくわかる看護者の倫理綱領：プチナース特別編集版. 第2版. 』（照林社. 2010）　ISBN：9784796522342
		1年次に使用した看護学概論の教科書を使用します。
	参考書	坪倉繁美（編）『具体的なジレンマからみた看護倫理の基本』（サイオ出版、2016）ISBN：9784907176372
		宮脇美保子（著）『改訂　身近な事例で学ぶ看護倫理』（中央法規、2020）ISBN：9784805881187
	その他	
連絡先・オフィスアワー		メールにて（y-sugawarao@jhsu.ac.jp）に連絡してください。
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての（専門機関における）実務経験を活かした講義を行う。

科目コード	12-11307
授業科目名	看護実践基礎論
配当年次	2学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	2単位
時間数	45時間
授業形態	演習
担当教員	近藤 誓子、江刺家 幸代、野沢 ゆかり
実務家教員	看護職:近藤誓子・江刺家幸代・野沢ゆかり
授業科目の概要	看護の対象が抱える健康問題を解決するためのケアを提供し、解決するシステムを理解することを目的とする。看護実践上の基本となる日常生活援助技術と問題解決思考を統合し、看護診断－介入－成果のリンケージについて体系的・理論的に学習する。演習においては、立案した計画を実施し、その効果を判定するための基盤となる知識の活用方法、アセスメントの方法を具体的な場面を通して、実践力を高めるよう学習する。
授業の到達目標	1. 紙上事例の看護過程が展開できる。 2. 看護実践の記録として、SOAPの書き方がわかる。 3. 立案した看護計画から、本日の行動計画を立案し看護を実施できる。 4. グループワークに積極的に参加し、自分の意見を述べ、相互に意見交換ができる。 5. 発表の体験を通し、表現方法に習熟する。 6. グループで1事例展開できる。
特に関連する科目	看護学概論　看護過程展開方法論　生涯発達看護論　ヘルスアセスメント　看護技術演習Ⅰ・Ⅱ コミュニケーション論　人体構造学　人体機能学　病態治療学　薬理学　成人看護方法論
授業の具体的な進め方	グループ学習を基本とした演習を行う。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/8	金	1	近藤誓子	講義室2 講義室3	【ガイダンス】科目の目的・目標、授業の日程、学習方法、評価、経過別看護
2	4/8	金	2	近藤誓子	講義室2 講義室3	事例の疾患、症状、治療、看護、病態関連図作成
3	4/15	金	1	近藤誓子	講義室2 講義室3	事例の疾患、症状、治療、看護、病態関連図について発表
4	4/15	金	2	近藤誓子	講義室2 講義室3	一次アセスメント
5	4/22	金	1	近藤誓子	講義室2 講義室3	一次アセスメント
6	4/22	金	2	近藤誓子	講義室2 講義室3	一次アセスメントの発表
7	4/29	金	1	近藤誓子	講義室2 講義室3	全体関連図
8	4/29	金	2	近藤誓子	講義室2 講義室3	全体関連図発表
9	5/13	金	1	近藤誓子	講義室2 講義室3	二次アセスメント
10	5/13	金	2	近藤誓子	講義室2 講義室3	二次アセスメント
11	5/27	金	1	近藤誓子	講義室2 講義室3	二次アセスメントの発表
12	5/27	金	2	近藤誓子	講義室2 講義室3	優先順位の決定とその理由、ゴール、看護問題の明確化
13	6/3	金	1	近藤誓子	講義室2 講義室3	優先順位の決定とその理由、ゴール、看護問題の明確化の発表
14	6/3	金	2	近藤誓子	講義室2 講義室3	期待される成果・計画立案
15	6/10	金	1	近藤誓子	講義室2 講義室3	期待される成果・計画立案
16	6/10	金	2	近藤誓子	講義室2 講義室3	期待される成果・計画立案の発表
17	6/17	金	1	近藤誓子	講義室2 講義室3	記録(SOAP)の書き方
18	6/17	金	2	近藤誓子	講義室2 講義室3	看護問題に対する援助の実施①
19	6/24	金	1	近藤誓子	講義室2 講義室3	実施に関する記録・報告①
20	6/24	金	2	近藤誓子	講義室2 講義室3	看護問題に対する援助の実施②
21	7/1	金	1	近藤誓子	講義室2 講義室3	実施に関する記録・報告②
22	7/1	金	2	近藤誓子	講義室2 講義室3	『1日の行動計画』の立て方
23	7/22	金	2	近藤誓子	講義室2 講義室3	『1日の行動計画』の立て方、まとめ

成績評価方法・基準	定期試験(50%)、授業の積極的姿勢(50%)により、総合的に評価する。レポートについては、コメントし返却する。

授業外における学習（予習・復習）		看護過程は1年次に履修済みである。それを基に、1事例の看護過程を展開する。 授業は個人の作業課題を達成した上でのグループ学習が主となる。 グループメンバーとディスカッションができるように課題を達成して授業に臨む必要がある。 予習・復習は毎回120分以上必要である。
教科書 ・参考文献等	教科書	茂野香おるほか著『≪系統看護学講座 専門分野Ⅰ≫基礎看護学[2] 基礎看護技術Ⅰ第18版』(医学書院、2021) ISBN:9784260042116(1年次に購入済み)
		看護アセスメント研究会訳『ゴードン看護診断マニュアル 機能的健康パターンに基づく看護診断 原書第11版』(医学書院 2010) ISBN:9784260010368
	参考書	蔵谷範子編著『関連図の書き方をマスターしよう』(サイオ出版、2015) ISBN:9784907176488
	その他	適宜、授業で紹介する。
連絡先・オフィスアワー		研究室10(2階) s-kondou@jhsu.ac.jp オフィスアワー：月曜日～木曜日 12時40分～13時30分 事前にアポイントをとってください
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての(専門機関における)実務経験を活かした講義(演習)を行う。

科目コード	12-11309
授業科目名	看護技術演習Ⅱ（診療の援助技術）ABクラス
配当年次	2学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	2単位
時間数	60時間
授業形態	演習
担当教員	江刺家 幸代、近藤 誓子、野沢 ゆかり
実務家教員	看護職：江刺家 幸代、近藤 誓子、野沢 ゆかり
授業科目の概要	治療に伴う援助技術としての診察・検査・与薬についての基本的看護技術についての理解である。とくに注射法の技術は、直接的に身体侵襲が大きいことから注射法を中心に学ぶ。演習においては、単なる技術の習得ではなく注射法に関する知識・治療に伴う援助技術への適切な態度が要求される。また、医療事故が社会的に深刻な問題に発展している現状に基づき、注射法におけるヒューマンエラーを引き起こさないためのリスクマネジメントについても検討していく。 また、臨床看護で多く遭遇する症状である発熱、および呼吸困難のメカニズムを理解し、症状に合わせた看護技術を安全・安楽に提供できる技術を習得する。
授業の到達目標	1. 診療の援助活動に関わる看護師の責任と役割を理解する。 2. 身体侵襲を伴う看護援助場面における、安全・安楽の確保の具体的な方法とその根拠を説明することができる。 3. 援助技術に起こりうる危険性を想定し、対処法を挙げることができる。 4. 援助技術を安全、安楽、自立の促進、個別性、効率性を考慮して実施することができる。
特に関連する科目	人体構造学　人体機能学　心理学　ヘルスアセスメント　コミュニケーション論　看護技術演習Ⅰ　薬理学　各看護学専門科目
授業の具体的な進め方	看護技術演習Ⅱの授業は、そのほとんどが講義と学内実習において成立している。コロナ禍においても、感染予防対策を徹底し、教材やモデル人形を適宜用いながら進めていく。診療活動援助技術は患者への身体侵襲を大きく伴う援助技術であることを認識し、事前学習、事後学習を必ず行ったうえで授業に臨むことが大切である。学内実習においては、感染対策ガイドラインを遵守しながら、モデル人形を使用し教授していく。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/8	金	4	江刺家幸代 菅原幸恵	講義室2	（講義）1. ガイダンス　2. 医療安全に関する基礎知識・診療における看護の意義と　看護師の役割
2	4/11	月	4	野沢ゆかり	講義室2	（講義）感染予防にかかわる援助技術
3	4/12	火	1	野沢ゆかり	基礎看護演習室	【演習】滅菌物の取り扱い（無菌操作）・滅菌手袋の装着・ガウンテクニック
4	4/12	火	2	野沢ゆかり	基礎看護演習室	【演習】滅菌物の取り扱い（無菌操作）・滅菌手袋の装着・ガウンテクニック
5	4/19	火	1	江刺家幸代	基礎看護演習室	技術チェック （ 滅菌物の取り扱い ）
6	4/19	火	2	江刺家幸代	基礎看護演習室	技術チェック （ 滅菌物の取り扱い ）
7	4/25	月	4	野沢ゆかり	講義室2	（講義）検査を受ける対象への援助技術
8	4/26	火	1	野沢ゆかり	基礎看護演習室	【演習】シリンジの扱い、静脈血採血
9	4/26	火	2	野沢ゆかり	基礎看護演習室	【演習】シリンジの扱い、静脈血採血
10	5/9	月	4	菅原幸恵	講義室2	（講義）薬物療法を受ける人の援助技術 ①
11	5/10	火	1	菅原幸恵	基礎看護演習室	【演習】筋肉内注射
12	5/10	火	2	菅原幸恵	基礎看護演習室	【演習】筋肉内注射
13	5/16	月	4	菅原幸恵	講義室2	（講義）薬物療法を受ける人の援助技術 ②
14	5/17	火	1	菅原幸恵	基礎看護演習室	【演習】点滴静脈内注射、点滴の管理
15	5/17	火	2	菅原幸恵	基礎看護演習室	【演習】点滴静脈内注射、点滴の管理
16	5/23	月	4	江刺家幸代	講義室2	（講義）経口摂取が困難な人への援助技術
17	5/24	火	2	江刺家幸代	基礎看護演習室	【演習】経管栄養
18	5/30	月	4	近藤誓子	講義室2	（講義）局所の固定・安静を保護する技術
19	5/31	火	2	近藤誓子	基礎看護演習室	【演習】包帯法
20	6/6	月	4	菅原幸恵	講義室2	（講義）自然な排便が困難な人への援助技術
21	6/7	火	1	菅原幸恵	基礎看護演習室	【演習】グリセリン浣腸
22	6/7	火	2	菅原幸恵	基礎看護演習室	【演習】グリセリン浣腸
23	6/13	月	4	菅原幸恵	講義室2	（講義）自然な排尿が困難な人への援助技術
24	6/14	火	1	菅原幸恵	基礎看護演習室	【演習】一時的導尿

25	6/14	火	2	菅原幸恵	基礎看護演習室	【演習】一時的導尿
26	6/20	月	4	野沢ゆかり	講義室2	(講義)呼吸困難のある人への援助技術 ①
27	6/27	月	4	野沢ゆかり	講義室2	(講義)呼吸困難のある人への援助技術 ②
28	6/28	火	1	野沢ゆかり	基礎看護演習室	【演習】 口腔内、鼻腔内吸引
29	6/28	火	2	野沢ゆかり	基礎看護演習室	【演習】 口腔内、鼻腔内吸引
30	7/18	月	4	菅原幸恵	講義室2	(講義)発熱のある人への援助

成績評価方法・基準		定期試験60%、　技術チェック20%、　小テスト20%
授業外における学習(予習・復習)		講義の1週間前を目安に、事前学習課題を提示する。事前学習は、教科書、参考書、指示された動画の視聴を用いて行う。概ね、毎回60分程度の学習が必要である。
教科書 ・参考文献等	教科書	任　和子・井川順子著『 根拠と事故防止から見た基礎・臨床看護技術　第3版 』 (医学書院2021)　ISBN:9784260047906
		有田清子　他著『基礎看護技術』第3版　メディカルフレンド(購入済み)
	参考書	講義の中で紹介する。
	その他	必要に応じて講義資料を配布する。
連絡先・オフィスアワー		必要に応じて面接は可能である。ただし事前にアポイントを取ること。 連絡先　研究室No. 21　江刺家幸代　s-esashika @jhsu.ac.jp オフィスアワー　月火木金　12:40～13:30
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての(専門機関における)実務経験を活かした講義(演習)を行う。

科目コード	12-11309
授業科目名	看護技術演習Ⅱ（診療の援助技術）CDクラス
配当年次	2学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	2単位
時間数	60時間
授業形態	演習
担当教員	江刺家 幸代、近藤 誓子、野沢 ゆかり
実務家教員	看護職：近藤誓子、江刺家幸代、 野沢ゆかり
授業科目の概要	治療に伴う援助技術としての診察・検査・与薬についての基本的看護技術についての理解である。とくに注射法の技術は、直接的に身体侵襲が大きいことから注射法を中心に学ぶ。演習においては、単なる技術の習得ではなく注射法に関する知識・治療に伴う援助技術への適切な態度が要求される。また、医療事故が社会的に深刻な問題に発展している現状に基づき、注射法におけるヒューマンエラーを引き起こさないためのリスクマネジメントについても検討していく。 また、臨床看護で多く遭遇する症状である発熱、および呼吸困難のメカニズムを理解し、症状に合わせた看護技術を安全・安楽に提供できる技術を習得する。
授業の到達目標	1. 診療の援助活動に関わる看護師の責任と役割を理解する。 2. 身体侵襲を伴う看護援助場面における、安全・安楽の確保の具体的な方法とその根拠を説明することができる。 3. 援助技術に起こりうる危険性を想定し、対処法を挙げることができる。 4. 援助技術を安全、安楽、自立の促進、個別性、効率性を考慮して実施することができる。
特に関連する科目	人体構造学　人体機能学　心理学　ヘルスアセスメント　コミュニケーション論　看護技術演習Ⅰ　薬理学　各看護学専門科目
授業の具体的な進め方	看護技術演習Ⅱの授業は、そのほとんどが講義と学内実習において成立している。コロナ禍においても、感染予防対策を徹底し、教材やモデル人形を適宜用いながら進めていく。診療活動援助技術は患者への身体侵襲を大きく伴う援助技術であることを認識し、事前学習、事後学習を必ず行ったうえで授業に臨むことが大切である。学内実習においては、感染対策ガイドラインを遵守しながら、モデル人形を使用し教授していく。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/8	金	4	江刺家幸代 菅原幸恵	講義室2	（講義）1. ガイダンス　2. 医療安全に関する基礎知識・診療における看護の意義と看護師の役割
2	4/11	月	4	野沢ゆかり	講義室2	（講義）感染予防にかかわる援助技術
3	4/12	火	3	野沢ゆかり	基礎看護演習室	【演習】滅菌物の取り扱い（無菌操作）・滅菌手袋の装着・ガウンテクニック
4	4/12	火	4	野沢ゆかり	基礎看護演習室	【演習】滅菌物の取り扱い（無菌操作）・滅菌手袋の装着・ガウンテクニック
5	4/19	火	3	江刺家幸代	基礎看護演習室	技術チェック （ 滅菌物の取り扱い ）
6	4/19	火	4	江刺家幸代	基礎看護演習室	技術チェック （ 滅菌物の取り扱い ）
7	4/25	月	4	野沢ゆかり	講義室2	（講義）検査を受ける対象への援助技術
8	4/26	火	3	野沢ゆかり	基礎看護演習室	【演習】シリンジの扱い、静脈血採血
9	4/26	火	4	野沢ゆかり	基礎看護演習室	【演習】シリンジの扱い、静脈血採血
10	5/9	月	4	菅原幸恵	講義室2	（講義）薬物療法を受ける人の援助技術①
11	5/10	火	3	菅原幸恵	基礎看護演習室	【演習】筋肉内注射
12	5/10	火	4	菅原幸恵	基礎看護演習室	【演習】筋肉内注射
13	5/16	月	4	菅原幸恵	講義室2	（講義）薬物療法を受ける人の援助技術②
14	5/17	火	3	菅原幸恵	基礎看護演習室	【演習】点滴静脈内注射、点滴の管理
15	5/17	火	4	菅原幸恵	基礎看護演習室	【演習】点滴静脈内注射、点滴の管理
16	5/23	月	4	江刺家幸代	講義室2	（講義）経口摂取が困難な人への援助技術
17	5/24	火	3	江刺家幸代	基礎看護演習室	【演習】経管栄養
18	5/30	月	4	近藤誓子	講義室2	（講義）局所の固定・安静を保護する技術
19	5/31	火	3	近藤誓子	基礎看護演習室	【演習】包帯法
20	6/6	月	4	菅原幸恵	講義室2	（講義）自然な排便が困難な人への援助技術
21	6/7	3	3	菅原幸恵	基礎看護演習室	【演習】グリセリン浣腸
22	6/7	火	4	菅原幸恵	基礎看護演習室	【演習】グリセリン浣腸
23	6/13	月	4	菅原幸恵	講義室2	（講義）自然な排尿が困難な人への援助技術
24	6/14	火	3	菅原幸恵	基礎看護演習室	【演習】一時的導尿
25	6/14	火	4	菅原幸恵	基礎看護演習室	【演習】一時的導尿

26	6/20	月	4	野沢ゆかり	講義室2	(講義)呼吸困難のある人への援助技術①
27	6/27	月	4	野沢ゆかり	講義室2	(講義)呼吸困難のある人への援助技術②
28	6/28	火	3	野沢ゆかり	基礎看護演習室	【演習】口腔内、鼻腔内吸引
29	6/28	火	4	野沢ゆかり	基礎看護演習室	【演習】 口腔内、鼻腔内吸引
30	7/18	月	4	菅原幸恵	講義室2	(講義)発熱のある人への援助

成績評価方法・基準		定期試験60%、　技術チェック20%、　小テスト20%
授業外における学習(予習・復習)		講義の1週間前を目安に、事前学習課題を提示する。事前学習は、教科書、参考書、指示された動画の視聴を用いて行う。概ね、毎回60分程度の学習が必要である。
教科書 ・参考文献等	教科書	任　和子・井川順子著『 根拠と事故防止から見た基礎・臨床看護技術　第3版 』 (医学書院2021)　ISBN:9784260047906
		有田清子　他著『基礎看護技術』 第3版　メディカルフレンド(購入済み)
	参考書	講義の中で紹介する。
	その他	必要に応じて講義資料を配布する。
連絡先・オフィスアワー		必要に応じて面接は可能である。ただし事前にアポイントを取ること。 連絡先　研究室No. 21　江刺家幸代　s-esashika @jhsu.ac.jp オフィスアワー　月火木金　12:40～13:30
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての(専門機関における)実務経験を活かした講義(演習)を行う。

科目コード	12-11311
授業科目名	成人看護方法論Ⅰ（急性期援助論）
配当年次	2学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	2単位
時間数	60時間
授業形態	演習
担当教員	佐藤 安代、棚橋 愛
実務家教員	看護職：佐藤安代、棚橋 愛
授業科目の概要	急性期・周手術期にある成人の体験と反応及び健康問題の特性を理解し、危機的状況を乗り越え、生活を再構築するために必要な基礎知識と技術を学習する。 講義については、 1. 急性期及びクリティカル期にある成人と家族の特徴、周手術期・クリティカル期にある成人の体験と反応を理解する。 2. 回復期にある成人の看護として、回復期にある成人の体験と反応と健康問題の特性、障害と障害者の概念、疾患による健康障害のある成人のリハビリテーションを学ぶ。
授業の到達目標	健康障害の療養・診療過程において健康レベルの急激な変動期にある成人患者に必要な看護ケアを実践するための知識および看護過程の展開方法、コミュニケーション技法、専門的看護技術を習得する。
特に関連する科目	生涯発達看護論　成人看護学概論　病態治療学Ⅰ　病態治療学Ⅱ
授業の具体的な進め方	講義形式の授業と理解を促進するためのグループ演習を組み込む。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/13	水	3	佐藤安代	講義室1	ガイダンス・急性期看護の特徴(1)
2	4/13	水	4	佐藤安代	講義室1	急性期看護の特徴(2)
3	4/20	水	3	佐藤安代	講義室1	循環機能の再確立ー冠動脈バイパス術①
4	4/20	水	4	佐藤安代	講義室1	循環機能の再確立ー冠動脈バイパス術②
5	4/27	水	3	佐藤安代	講義室1	胃切除術を受ける患者の看護
6	4/27	水	4	佐藤安代	講義室1	周手術期の術前・術中の看護①
7	5/11	水	3	佐藤安代	講義室1	麻酔と侵襲、術中の看護②
8	5/11	水	4	佐藤安代	講義室1	術後の看護
9	5/18	水	3	佐藤安代	講義室1	中間試験、演習の説明〈課題①-1、①-2〉
10	5/18	水	4	佐藤安代	講義室1	看護過程の展開、記録用紙の書き方
11	5/25	水	3	佐藤安代、棚橋 愛	成人演習室	術後の観察とアセスメント
12	5/25	水	4	佐藤安代、棚橋 愛	講義室1	術後の清拭〈課題②〉
13	6/1	水	3	佐藤安代、棚橋 愛	成人演習室	術後の清拭
14	6/1	水	4	佐藤安代、棚橋 愛	講義室1	早期離床の援助〈課題③-1、③-2〉
15	6/8	水	3	佐藤安代、棚橋 愛	成人演習室	早期離床の援助
16	6/8	水	4	佐藤安代、棚橋 愛	講義室1	術後合併症予防の援助〈課題④〉
17	6/15	水	3	佐藤安代、棚橋 愛	成人演習室	術後合併症の援助
18	6/15	水	4	佐藤安代、棚橋 愛	講義室1	胃全摘術患者の看護過程①
19	6/22	水	3	佐藤安代、棚橋 愛	講義室1	胃全摘術患者の看護過程②
20	6/22	水	4	佐藤安代、棚橋 愛	講義室1	胃全摘術患者の看護過程③
21	6/29	水	3	佐藤安代、棚橋 愛	講義室1	胃全摘術患者の看護過程④
22	6/29	水	4	佐藤安代、棚橋 愛	講義室1	胃全摘術患者の看護過程⑤
23	7/6	水	3	佐藤安代、棚橋 愛	講義室1	退院指導パンフレット作製
24	7/6	水	4	佐藤安代、棚橋 愛	講義室1	退院指導パンフレット作製・発表
25	7/13	水	3	佐藤安代	講義室1	乳房部分切除術と看護(1)

26	7/13	水	4	佐藤安代	講義室1	乳房部分切除術と看護(2)
27	7/20	水	3	佐藤安代、棚橋 愛	講義室1	乳がん患者の看護過程①
28	7/20	水	4	佐藤安代、棚橋 愛	講義室1	乳がん患者の看護過程②
29	7/27	水	3	佐藤安代、棚橋 愛	講義室1	乳がん患者の看護過程③
30	7/27	水	4	佐藤安代	講義室1	まとめ

成績評価方法・基準		課題レポート・ミニレポート 50% ミニテスト、中間試験、定期試験 50%
授業外における学習(予習・復習)		授業計画に沿って提示された資料で予習し、講義後は、講義で配布される資料、参考文献を用いて復習をおこなうこと。予習・復習には1講義につき概ね60分以上必要である。必ず行うこと。
教科書・参考文献等	教科書	林直子/佐藤まゆみ編集『看護学テキストNice 成人看護学 急性期看護Ⅰ概論・周手術期看護 改訂第3版』(南江堂、2019年) ISBN:9784524241637
	参考書	講義内にて、適宜紹介する。
	その他	講義に関連する研究論文等を適宜紹介する。
連絡先・オフィスアワー		連絡先:佐藤 安代 研究室4 y-satou@jhsu.ac.jp 棚橋 愛 研究室21 a-tanahashi@jhsu.ac.jp オフィスアワー:メールにて連絡ください。
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての(専門機関における)実務経験を活かした講義(演習)を行う。

科目コード	12-11312
授業科目名	成人看護方法論Ⅱ（慢性期援助論）
配当年次	2学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	2単位
時間数	60時間
授業形態	演習
担当教員	熊坂 隆行、藤澤 博子、工藤 久美子
実務家教員	看護職：熊坂隆行・藤澤博子・工藤久美子
授業科目の概要	慢性期・回復期にある成人の体験と反応及び健康問題の特性を理解し、病とともにその人らしく生きる家族を支えるための看護について学習する。 講義については、 1. 慢性期及び慢性病の概念、慢性期にある成人の体験と反応及び健康問題の特性、慢性期にある成人及び家族の体験と反応の理解と援助について学ぶ。 2. 終末期にある成人とその家族の特徴や終末期の概念、終末期にある成人の体験と反応及び健康問題の特性と援助について学ぶ。 3. 慢性期にある成人（慢性血液透析患者・糖尿病患者）の健康問題の特性と援助について学ぶ。
授業の到達目標	1. 成人期にある対象者のもつ慢性的な健康問題について理解できる。 2. 対象自らが社会生活を維持・向上するために必要な看護援助に関する知識や技術を身につける。
特に関連する科目	「成人看護方法論Ⅱ（慢性期援助論）」では、「成人看護学概論」をもとに、成人看護の目的および方法論を学習する。
授業の具体的な進め方	講義、グループワーク、演習で構成されている。講義は教科書、レジュメ、配布資料を中心にPower Pointを用いて進めていく。講義・演習の内容の理解を深めるために、課題レポート、グループワーク、テストを行う。 必要に応じて、Google classroom を利用した遠隔配信授業を行う場合もある。音声やスライド、動画を見ながら進めてください。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/14	木	1	熊坂隆行 藤澤博子	講義室1	オリエンテーション成人期の特徴をふまえた看護
2	4/14	木	2	熊坂隆行 藤澤博子	講義室1	慢性期にある対象の理解と看護師の役割
3	4/21	木	1	藤澤博子	講義室1	脳・神経機能障害をもつ患者の看護（脳梗塞・脳出血）
4	4/21	木	2	藤澤博子	講義室1	脳・神経機能障害をもつ患者の看護（脳梗塞・脳出血）
5	4/28	木	1	藤澤博子	講義室1	消化機能障害をもつ患者の看護（肝炎、肝硬変、肝がん）
6	4/28	木	2	藤澤博子	講義室1	消化機能障害をもつ患者の看護（肝炎、肝硬変、肝がん）
7	5/12	木	1	熊坂隆行	講義室1	血液造血器障害をもつ患者の看護（白血病、悪性リンパ腫、貧血）
8	5/12	木	2	熊坂隆行	講義室1	血液造血器障害をもつ患者の看護（化学療法、放射線療法の副作用）（心理面の援助及び家族支援）
9	5/19	木	1	熊坂隆行	講義室1	血液造血器障害をもつ患者の看護　看護過程の展開(1)（事例紹介）
10	5/19	木	2	熊坂隆行 工藤久美子	講義室1	血液造血器障害をもつ患者の看護　看護過程の展開(2)（グループワーク）
11	5/26	木	1	熊坂隆行 工藤久美子	講義室1	血液造血器障害をもつ患者の看護　看護過程の展開(3)（グループワーク）
12	5/26	木	2	熊坂隆行 工藤久美子	講義室1	血液造血器障害をもつ患者の看護　看護過程の展開(4)（グループワーク）
13	6/2	木	1	熊坂隆行 工藤久美子	講義室1	血液造血器障害をもつ患者の看護　看護過程の展開(5)（グループワーク）
14	6/2	木	2	熊坂隆行 工藤久美子	講義室1	血液造血器障害をもつ患者の看護　看護過程の展開(6)（発表会）まとめ
15	6/9	木	1	熊坂隆行	講義室4	呼吸機能障害を持つ患者の看護（慢性呼吸不全・肺癌）免疫機能障害をもつ患者の看護
16	6/9	木	2	熊坂隆行	講義室4	排泄機能障害を持つ患者の看護（慢性腎不全）（食事・薬物療法、心理面の援助及び家族支援）
17	6/16	木	1	梶良恵	講義室1	循環器機能障害をもつ患者の看護（心筋梗塞・心不全）
18	6/16	木	2	梶良恵	講義室1	循環器機能障害をもつ患者の看護（心筋梗塞・心不全）
19	6/23	木	1	梶良恵	講義室1	循環器機能障害をもつ患者の看護（心筋梗塞・心不全）
20	6/23	木	2	梶良恵	講義室1	循環器機能障害をもつ患者の看護（心筋梗塞・心不全）
21	6/30	木	1	工藤久美子	講義室1	代謝機能障害を持つ患者の看護（糖尿病）
22	6/30	木	2	工藤久美子	講義室1	代謝機能障害を持つ患者の看護（糖尿病）
23	7/7	木	1	工藤久美子	講義室1	演習：自己血糖測定の実際と看護援助
24	7/7	木	2	工藤久美子	講義室1	演習：自己血糖測定の実際と看護援助

25	7/14	木	1	熊坂隆行	講義室1	演習：中心静脈栄養管理の実際と看護援助
26	7/14	木	2	熊坂隆行	講義室1	演習：中心静脈栄養管理の実際と看護援助
27	7/21	木	1	熊坂隆行	講義室1	演習：ADL向上に向けての看護援助
28	7/21	木	2	熊坂隆行	講義室1	演習：ADL向上に向けての看護援助
29	7/28	木	1	熊坂隆行 豊永純子	講義室1	演習：慢性期・終末期に用いられる代替療法と看護援助
30	7/28	木	2	熊坂隆行 豊永純子	講義室1	演習：慢性期・終末期に用いられる代替療法と看護援助

成績評価方法・基準		講義、グループワークへの取り組みと参加状況 30% 課題レポート・ミニレポート 20% 定期試験 50% ＊レポートについては、コメントし返却する。
授業外における学習（予習・復習）		授業計画に沿って配布資料で予習し、講義後は、講義で配布される資料、参考文献を用いて復習をおこなうこと。予習・復習には講義ごとに概ね60分以上必要である。
教科書 ・参考文献等	教科書	資料を配布する。
	参考書	講義内にて、適宜紹介する。
	その他	特になし
連絡先・オフィスアワー		連絡先：研究室22（3階）　kumasaka@jhsu.ac.jp オフィスアワー：水曜日 13:00～16:00
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。

科目コード	12-11313
授業科目名	老年看護学概論
配当年次	2学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	2単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	松永 智子
実務家教員	看護職：松永智子
授業科目の概要	本講義では、加齢に伴う高齢者の特徴について、身体的・精神的・社会的側面から総合的に捉えることを目指します。高齢者を取り巻く環境や社会制度と課題について理解を深め、高齢者のQOL(生活の質)を高める看護の役割と機能について学びます。また、高齢者とその家族の支援のための保健・医療・福祉の連携と看護の役割、倫理的な課題や老年看護学の果たす役割について学修します。
授業の到達目標	1. 加齢に伴う身体的・精神的・社会的側面の特徴を説明できる。 2. 高齢者のライフサイクルについて考えることができる。 3. 高齢社会の保健・医療・福祉の動向と課題について説明できる。 4. 高齢者を取り巻く倫理的課題について述べることができる。 5. 老年看護の基本的な視点や，高齢者のQOL(生活の質)を高める看護の役割と機能、老年看護学の果たす役割について考えることができる。
特に関連する科目	老年看護方法論，老年看護学実習
授業の具体的な進め方	講義の他、実際に体験して学ぶ演習、グループワークなどを組み合わせ、レポート作成もあります。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/13	水	2	松永智子	講義室1	授業ガイダンス、高齢者とは、老年看護の理念と目標
2	4/20	水	2	松永智子	講義室1	老化とは、ライフサイクルと老年期
3	4/27	水	2	松永智子	講義室1	対象の理解(加齢に伴う身体的、心理・精神的、社会的側面の特徴)
4	5/11	水	2	松永智子	講義室1	対象の理解(加齢に伴う身体的、心理・精神的、社会的側面の特徴)
5	5/18	水	2	松永智子	講義室1	高齢社会の保健・医療・福祉の現状と動向
6	5/25	水	2	松永智子	講義室1	高齢者を取り巻く環境と倫理的課題・権利擁護
7	6/1	水	2	松永智子	講義室1	高齢者を取り巻く環境と倫理的課題(事例についての検討)
8	6/8	水	2	松永智子	講義室1	高齢者とその家族への看護
9	6/15	水	2	松永智子	講義室1	老年看護における理論、高齢者のQOLと看護
10	6/22	水	2	松永智子	講義室1	高齢者の総合機能評価(CGA)
11	6/29	水	2	松永智子	講義室4	高齢者のリスクマネジメント
12	7/6	水	2	松永智子	講義室1	高齢者におけるセクシュアリティ
13	7/13	水	2	松永智子	講義室1	高齢者のエンドオブライフケア
14	7/20	水	2	松永智子	講義室1	高齢者の様々な療養生活の場におけるケアと看護師の役割(施設、地域)
15	7/27	水	2	松永智子	講義室1	高齢者の様々な療養生活の場におけるケアと看護師の役割(施設、地域)

成績評価方法・基準		筆記試験・ミニテスト60%、レポート等40%
授業外における学習(予習・復習)		生涯発達論や人体の機能・生理を復習しておくこと。 日頃から、高齢者のニュースなどに関心を持って、新聞等を良く読んでおくこと。授業後には、必ず復習を行い、その時々の内容を理解しておくこと。
教科書・参考文献等	教科書	鳥羽研二他　系統看護学講座専門分野Ⅱ老年看護　病態・疾患論　第5版(医学書院、2018年)　ISBN:9784260031721
		北川公子他　系統看護学講座専門分野Ⅱ老年看護学　第9版(医学書院、2020年)　ISBN:9784260031868
	参考書	参考書は、随時講義内で紹介
	その他	
連絡先・オフィスアワー		連絡先：研究室11　t-matsunaga@jhsu.ac.jp オフィスアワー：火曜日　16:45～17:45
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての(専門機関における)実務経験を活かした講義(演習)を行う。

科目コード	12-11314
授業科目名	老年看護方法論
配当年次	3学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	2単位
時間数	60時間
授業形態	演習
担当教員	山下 知子、松永 智子、星野谷 優子
実務家教員	看護職：松永 智子、山下 知子、星野谷 優子
授業科目の概要	老年期の看護について、主に高齢者の看護の基本的な援助を学びます。加齢による諸機能の低下に起因する高齢者の心身の変化や日常生活への影響を踏まえ、高齢者の生活・療養の場に応じた看護援助方法を学びます。また、老年期によくみられる疾患や症状を取り上げ、高齢者が老年期を健やかで自立した生活が送れるよう、また穏やかな死を迎えられるよう、その看護援助方法について学びます。老年期の看護に必要な基礎的能力を養うことを目指します。
授業の到達目標	1. 高齢者の加齢に伴う変化と障害を説明することができる。 2. 高齢者のより健やかな生活を支える看護について学ぶ。 3. 高齢者に多い疾患や症状について、病態・検査・治療・看護を学び、看護師の役割を考えることができる。 4. 認知症について理解を深め、認知症高齢者のケアの基本を学ぶ。 5. 事例を用いて高齢者の看護過程の展開をすることができる。
特に関連する科目	老年看護学概論　生涯発達論　病態治療学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ　家族看護学　他
授業の具体的な進め方	講義の他、実際に体験して学ぶ技術演習、グループワークなどの授業を組み合わせて学ぶ。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/11	月	3	山下 知子	講義室2 講義室3	授業ガイダンス、高齢者看護の特徴、高齢者の理解（高齢者の特徴）
2	4/11	月	4	松永 智子	講義室2 講義室3	高齢者の主な症候と看護(老年症候群)
3	4/18	月	3	山下 知子 松永 智子 星野谷 優子	老年演習室 講義室2 講義室3	高齢者の理解：高齢者擬似体験(演習)
4	4/18	月	4	山下 知子 松永 智子 星野谷 優子	老年演習室 講義室2 講義室3	高齢者の理解：高齢者擬似体験(演習)
5	4/25	月	3	山下 知子 松永 智子 星野谷 優子	講義室2講義室3	高齢者のアセスメント、高齢者の機能と評価
6	4/25	月	4	山下 知子 松永 智子 星野谷 優子	講義室2 講義室3	高齢者に特有な疾患と看護(転倒・骨折、廃用症候群)
7	5/9	月	3	山下 知子 松永 智子 星野谷 優子	講義室2 講義室3	高齢者に特有な疾患と看護(感染症)
8	5/9	月	4	山下 知子 松永 智子 星野谷 優子	講義室2 講義室3	高齢者に特有な疾患と看護(呼吸器疾患)
9	5/16	月	3	山下 知子 松永 智子 星野谷 優子	講義室2 講義室3	高齢者に特有な疾患と看護(脳神経疾患、高血圧含む)
10	5/16	月	4	山下 知子 松永 智子 星野谷 優子	講義室2 講義室3	高齢者に特有な患と看護(脱水、発熱)
11	5/23	月	3	山下 知子 松永 智子 星野谷 優子	講義室2 講義室3	高齢者の生活を支える看護(コミュニケーション：白内障、緑内障のある高齢者の看護含む)
12	5/23	月	4	山下 知子 松永 智子 星野谷 優子	講義室2 講義室3	高齢者の生活を支える看護（食事と栄養）講義
13	5/30	月	3	山下 知子 松永 智子 星野谷 優子	講義室2 講義室3	高齢者の生活を支える看護（清潔・皮膚掻痒・褥瘡含む）
14	5/30	月	4	山下 知子 松永 智子 星野谷 優子	講義室2 講義室3	高齢者の生活を支える看護（排泄）
15	6/6	月	3	山下 知子 松永 智子 星野谷 優子	老年演習室 講義室2 講義室3	高齢者の生活を支える看護の演習（義歯のケアと装着、褥瘡予防・背抜き・足抜き、半身麻痺の方の移乗）
16	6/6	月	4	山下 知子 松永 智子 星野谷 優子	老年演習室 講義室2 講義室3	高齢者の生活を支える看護の演習（義歯のケアと装着、褥瘡予防・背抜き・足抜き、半身麻痺の方の移乗）
17	6/13	月	3	山下 知子 松永 智子 星野谷 優子	講義室2 講義室3	高齢者の生活を支える看護（活動と休息・睡眠）
18	6/13	月	4	山下 知子 松永 智子 星野谷 優子	講義室2 講義室3	薬物療法を受ける高齢者の看護
19	6/13	月	5	山下 知子 松永 智子 星野谷 優子	講義室2 講義室3	手術療法・外来・検査・リハビリテーションを受ける高齢者の看護(大腿部頸部骨折)

20	6/20	月	3	山下 知子 松永 智子 星野谷 優子	講義室2 講義室3	高齢者のエンド・オブ・ライフケア
21	6/20	月	4	山下 知子 松永 智子 星野谷 優子	講義室2 講義室3	認知症高齢者の看護(認知症の理解、検査、治療)
22	6/20	月	5	山下 知子 松永 智子 星野谷 優子	講義室2 講義室3	認知症高齢者の看護(ユマニチュード・パーソンセンタードケア)
23	6/27	月	3	山下 知子 松永 智子 星野谷 優子	講義室2 講義室3老年演習室	看護過程の展開(事例使用)①事例の紹介
24	6/27	月	4	山下 知子 松永 智子 星野谷 優子	講義室2 講義室3 老年演習室	看護過程の展開(事例使用)②事例の展開、アセスメント
25	6/27	月	5	山下 知子 松永 智子 星野谷 優子	講義室2 講義室3 老年演習室	看護過程の展開(事例使用)③事例の展開、アセスメント
26	7/4	月	3	山下 知子 松永 智子 星野谷 優子	講義室2 講義室3 老年演習室	看護過程の展開(事例使用)④事例の展開、アセスメントのまとめ　関連図作成
27	7/4	月	4	山下 知子 松永 智子 星野谷 優子	講義室2 講義室3 老年演習室	看護過程の展開(事例使用)⑤事例の展開、関連図発表・まとめ
28	7/4	月	5	山下 知子 松永 智子 星野谷 優子	講義室2 講義室3 老年演習室	看護過程の展開(事例使用)⑥事例の展開、看護計画立案
29	7/5	火	3	山下 知子 松永 智子 星野谷 優子	講義室2 講義室3 老年演習室	看護過程の展開(事例使用)⑦看護計画発表・まとめ
30	7/5	火	4	山下 知子 松永 智子 星野谷 優子	講義室2 講義室3	看護過程の展開　⑧事例の展開の記録のまとめ提出

成績評価方法・基準		筆記試験60%　レポート40%
授業外における学習(予習・復習)		老年看護学概論の復習を行い臨んでください。他関連科目の学習を身につけておく。その時々のレポートや課題に積極的に取り組み、看護過程の事例展開は個人ワークを必ず行ってください。
教科書 ・参考文献等	教科書	北川公子他　系統看護学講座専門分野Ⅱ　老年看護学、第9版、(医学書院、2020) ISBN:978-4-260-03186-8
		山田律子他　生活機能からみた老年看護過程　病態・生活機能関連図　第4版(医学書院、2020年)　ISBN:978-4-260-04274-1
	参考書	亀井智子他　根拠と事故防止からみた老年看護技術　第3版(医学書院、2020年)ISBN:978-4-260-04326-7
		鳥羽研二他　系統看護学講座専門分野Ⅱ老年看護　病態・疾患論　第5版(医学書院、2018年)　ISBN:978-4-260-03172-1
		随時紹介する
	その他	
連絡先・オフィスアワー		連絡先:研究室11　t-matsunaga@jhsu.ac.jp オフィスアワー:火曜日　16:45～17:45
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての実務経験を活かした講義(演習)を行う。

科目コード	12-11315
授業科目名	小児看護学概論
配当年次	2学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	上本野 唱子、松井 貴子、飯泉 悦子
実務家教員	看護職：上本野唱子・松井貴子・飯泉悦子
授業科目の概要	小児看護の対象である子供の健康を維持・増進するための日常的な支援方法を学ぶとともに、看護が必要となる状況について学び、看護実践の基礎とすることができる。
授業の到達目標	・健康の維持増進に関わる日常生活援助を実施することができる。 ・看護が必要となる様々な場について理解することができ、その場における必要な看護を実践できる基礎を述べることができる。
特に関連する科目	看護学概論、生涯発達看護論
授業の具体的な進め方	講義と演習により授業を進める。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1回	4/11	月	2	上本野唱子	講義室1	講義概要・オリエンテーション小児看護の対象と看護が機能する場
2回	4/18	月	2	上本野唱子	講義室1	小児看護の対象となる子どもの特徴について
3回	4/25	月	2	上本野唱子	講義室1	急性期にある小児とその家族に対する看護
4回	5/12	木	4	上本野唱子	講義室1	慢性期にある小児とその家族に対する看護
5回	5/16	月	2	飯泉悦子	講義室1	小児看護における日常生活の援助①調乳・離乳食
6回	5/23	月	2	飯泉悦子	講義室1	小児看護における日常生活の援助②児の抱き方・オムツ交換・採尿・衣類の着脱方法
7回	5/30	月	2	飯泉悦子	講義室1	小児看護における日常生活の援助③清潔の援助
8回	6/6	月	2	上本野唱子	講義室1	まとめ
9回	6/13	月	2	上本野唱子	講義室1	手術・検査を受ける小児の看護
10回	6/20	月	2	上本野唱子 松井貴子 飯泉悦子	基礎看護演習室	演習：日常生活の援助①調乳・離乳食
11回	6/27	月	2	上本野唱子 松井貴子 飯泉悦子	基礎看護演習室	演習：日常生活の援助②児の抱き方・オムツ交換・採尿・衣類の着脱方法
12回	7/4	月	2	上本野唱子	講義室4	外来における小児と家族の看護
13回	7/11	月	2	上本野唱子	講義室1	入院における小児と家族の看護
14回	7/18	月	2	上本野唱子 松井貴子 飯泉悦子	基礎看護演習室	演習：日常生活の援助③清潔の援助
15回	7/25	月	2	上本野唱子	講義室1	小児看護学についての考察・まとめ（小児看護の意義と役割について各自の課題を明確にする）

成績評価方法・基準		①出席確認のために提出している課題の提出状況。 ②授業中に指示した課題の解答状況。 ③評価割合は、レポート30%、定期試験70%とする（ただし、状況により変更の可能性もあり得る。変更の際はClassroomで周知する） ①②③を総合的に判断する。
授業外における学習（予習・復習）		今迄に学んだ科目の中で関連する内容を整理しまとめておくこと
教科書・参考文献等	教科書	奈良間美保著 『小児看護学概論　小児臨床看護総論 第14版(系統看護学講座 専門分野(2)小児看護学<1>)』（医学書院、2020）ISBN:9784260038607
	参考書	講義の中で紹介する。
	その他	特になし
連絡先・オフィスアワー		研究室25（3階上本野）：s-kamimotono@jhsu.ac.jp　オフィスアワー　水曜日 13:00～16:00 研究室16（2階松井）：t-matsui@jhsu.ac.jp　オフィスアワー　水曜日13:00～15:00 研究室4（2階飯泉）：e-iizumi @jhsu.ac.jp　オフィスアワー　水曜日13:00～16:00
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。

科目コード	12-11316
授業科目名	小児保健
配当年次	3学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	15時間
授業形態	講義
担当教員	松井 貴子、上本野 唱子、飯泉 悦子
実務家教員	看護職：上本野 唱子、松井 貴子、飯泉 悦子
授業科目の概要	小児看護の対象である子どもが健全に成長・発達していくために必要となる環境について学ぶと共に、成長発達に密接に関連する栄養や遊び、成長発達の評価方法について学ぶ。
授業の到達目標	1. 小児が健全な成長・発達を遂げるために必要となる環境について述べることができる。 2. 成長に必要な栄養について述べることができ、発達に関連する遊びの意義・種類について述べることができる。 3. 成長・発達の評価方法について述べることができる。
特に関連する科目	社会福祉学　関係法規　栄養学　基礎看護学　小児看護学概論　生涯発達看護論
授業の具体的な進め方	主として講義を行う。1回目に全体の授業の進め方について説明する。それ以降の回は、講義の終わりに次週の授業について予告し、毎回の授業のはじめには授業目標について説明する。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1回	4/8	金	1	松井貴子	講義室1 講義室4	・小児保健の概要説明、オリエンテーション ・小児が健全に育っていくために必要となる環境（家庭・地域・社会） ・小児の成長発達と家族の発達・役割
2回	4/8	金	2	松井貴子	講義室1 講義室4	・小児が健全に育っていくために必要となる環境（法律・条令施策等）
3回	4/15	金	1	松井貴子	講義室1 講義室4	小児の栄養と成長・発達
4回	4/15	金	2	松井貴子	講義室1 講義室4	成長の評価
5回	4/22	金	1	松井貴子	講義室1 講義室4	発達の評価
6回	4/22	金	2	松井貴子	講義室1 講義室4	不適切な養育環境にある小児とその支援
7回	4/29	金	1	松井貴子	講義室1 講義室4	小児の成長発達に関連する理論（ピアジェ、エリクソン他）
8回	4/29	金	2	松井貴子	講義室1 講義室4	小児の発達と遊び（意義・役割）

成績評価方法・基準		①定期試験を受けるために必要な出席日数を満たしていること。 ②授業中に指示された課題・レポートを期限内に提出していること。また内容が適切であること。 ③状況により変更もありうるため、第1回のオリエンテーションにて評価方法は再度示す。 ④評価割合は、レポート30%、定期試験70%とする。
授業外における学習（予習・復習）		①毎回の授業内容をシラバスで確認してから受講すること。 ②授業時間以外にテキストを活用して予習・復習を必ず行うこと。 ③課題レポートについては、各回の講義で提示する。
教科書・参考文献等	教科書	・奈良間美保『小児看護学概論　小児臨床看護総論 第14版(系統看護学講座 専門分野(2)小児看護学<1>)』(医学書院、2020) ISBN:9784260038607
		・奈良間美保ほか『小児臨床看護各論 第14版(系統看護学講座 専門分野(2)小児看護学<2>)』(医学書院、2020) ISBN:9784260038669
	参考書	講義の中で紹介する。
	その他	なし
連絡先・オフィスアワー		研究室25（3階上本野）：s-kamimotono@jhsu.ac.jp　オフィスアワー　水曜日 13:00～16:00 研究室16（2階松井）：t-matsui@jhsu.ac.jp　オフィスアワー　水曜日13:00～15:00 研究室4(2階　飯泉）：e-iizumi @jhsu.ac.jp　オフィスアワー　水曜日13:00～16:00
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。

科目コード	12-11317
授業科目名	小児看護方法論
配当年次	3学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	2単位
時間数	45時間
授業形態	演習
担当教員	松井 貴子、上本野 唱子、飯泉 悦子
実務家教員	看護職：上本野 唱子、松井 貴子、飯泉 悦子
授業科目の概要	健康障害をきたした児とその家族に対して行う身体機能別の具体的な看護について学び、看護過程を展開する。 また、小児看護特有な援助技術についても演習を行い、小児看護学実習の実践能力を身につける基礎とする。
授業の到達目標	身体機能障害に関連する症状（病態）に対する看護を理解することができ、看護過程の展開ができる。 小児看護における特殊援助技術の実践を行うことができる。
特に関連する科目	基礎看護学　小児看護学概論　生涯発達看護論　小児看護方法論　病態治療学Ⅲ
授業の具体的な進め方	8項目の身体機能障害の看護について学び、看護過程を展開したのち、具体策と関連する技術の演習を行う。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1回	5/13	金	1	松井貴子	講義室1 講義室4	・講義概要説明・オリエンテーション
2回	5/13	金	2	松井貴子	講義室1 講義室4	呼吸器に障害を持つ子どもの看護（肺炎に罹患した児を基に学ぶ）
3回	5/27	金	1	飯泉悦子	講義室1 講義室4	循環器に障害を持つ子どもの看護（先天性心疾患を持つ児を基に学ぶ）
4回	5/27	金	2	飯泉悦子	講義室1 講義室4	消化・吸収機能に障害を持つ子どもの看護
5回	6/3	金	1	松井貴子	講義室1 講義室4	代謝機能に障害を持つ子どもの看護（1型糖尿病を持つ児を基に学ぶ）
6回	6/3	金	2	松井貴子	講義室1 講義室4	排泄機能に障害を持つ子どもの看護（ネフローゼ症候群、急性腎炎に罹患した児を基に学ぶ）
7回	6/10	金	1	松井貴子	講義室1 講義室4	免疫機能低下状態にある子どもの看護（"小児がん"に罹患した児を基に学ぶ）
8回	6/10	金	2	松井貴子	講義室1 講義室4	免疫機能障害にある子どもの看護（気管支喘息を持つ児を基に学ぶ）
9回	6/17	金	1	飯泉悦子	講義室1 講義室4	看護過程の展開
10回	6/17	金	2	上本野 唱子 松井 貴子 飯泉 悦子	講義室1 講義室4	看護過程展開演習①
11回	6/21	火	3	松井貴子	講義室2 講義室3	運動機能に障害を持つ子どもの看護
12回	6/21	火	4	上本野 唱子 松井 貴子 飯泉 悦子	講義室2 講義室3	看護過程展開演習②
13回	6/24	金	1	松井貴子	講義室1 講義室4	小児期に多い不慮の事故とその看護
14回	6/24	金	2	上本野 唱子 松井 貴子 飯泉 悦子	講義室1 講義室4	看護過程展開演習③
15回	6/28	火	1	飯泉悦子	講義室2 講義室3	小児看護における援助技術①身体計測④発達評価
16回	6/28	火	2	上本野 唱子 松井 貴子 飯泉 悦子	講義室2 講義室3	看護過程展開演習④
17回	7/1	金	1	飯泉悦子	講義室1 講義室4	小児看護における援助技術②輸液管理④輸液量の計算
18回	7/1	金	2	上本野 唱子 松井 貴子 飯泉 悦子	講義室1 講義室4	看護過程展開演習⑤
19回	7/4	月	1	飯泉悦子	講義室2 講義室3	小児看護における援助技術③バイタルサイン測定看護技術演習オリエンテーション
20回	7/8	金	1	上本野 唱子 松井 貴子 飯泉 悦子	小児・母性 演習室	演習：援助技術①身体計測
21回	7/8	金	2	上本野 唱子 松井 貴子 飯泉 悦子	基礎看護 演習室	演習：援助技術②輸液管理
22回	7/8	金	3	上本野 唱子 松井 貴子 飯泉 悦子	基礎看護 演習室	演習：援助技術③バイタルサイン測定
23回	7/8	金	4	上本野 唱子 松井 貴子 飯泉 悦子	講義室1 講義室4	演習：援助技術④発達評価、輸液量の計算

成績評価方法・基準		①定期試験を受けるために必要な出席日数を満たしていること。 ②授業中に指示された課題・レポートを期限内に提出すること。また内容が適切であること。 ③評価割合は、レポート40%、定期試験60%とする（ただし、状況により変更の可能性もあり得る。変更の際はClassroomで周知する）
授業外における学習（予習・復習）		①これまでに学習した科目が基礎となる。しっかり復習しておくこと。 ②毎回の授業内容をシラバスで確認してから受講すること。 ③授業時間以外にテキストを活用して予習・復習を必ず行うこと。 ④課題レポートについては、各回の講義で提示する。
教科書 ・参考文献等	教科書	・奈良間美保 ほか『小児臨床看護学概論　小児臨床看護総論 第14版(系統看護学講座 専門分野(2)小児看護学<1>)』(医学書院、2020) ISBN:9784260038607
		奈良間美保ほか『小児臨床看護各論 第14版(系統看護学講座 専門分野(2)小児看護学<2>)』(医学書院、2020) ISBN:9784260038669
		佐々木祥子：編著　山元恵子：監修『新訂版 写真でわかる小児看護技術　アドバンス［Web動画付］小児看護に必要な臨床技術を中心に』(インターメディカ、2020)　ISBN:9784899964094
	参考書	適宜講義の中で紹介する。
	その他	特になし
連絡先・オフィスアワー		研究室25（3階上本野）：s-kamimotono@jhsu.ac.jp　オフィスアワー　水曜日 13:00～16:00 研究室16（2階松井）：t-matsui@jhsu.ac.jp　オフィスアワー　水曜日13:00～15:00 研究室4（2階飯泉）：e-iizumi@jhsu.ac.jp　オフィスアワー　水曜日13:00～16:00
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。

科目コード	12-11318
授業科目名	母性看護学概論
配当年次	2学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	15時間
授業形態	講義
担当教員	今井 充子
実務家教員	看護職：今井充子
授業科目の概要	女性の身体的・心理的、社会・文化的特性から母性の概念を理解する。母性看護の変遷や現況を統計・法律・施策等を通して理解し、母性看護の意義や課題、看護者の役割について学修する。
授業の到達目標	1 母性の概念および母性看護の変遷から母性看護を理解する。 2 女性の身体的、心理的、社会的特徴を理解する。 3 女性のライフサイクル各期の健康問題や健康増進への支援について学ぶ。 4 人間の性（ヒューマンセクシュアリティ）の理解を深める。 5 リプロダクティブ・ヘルス/ライツの基本理念を理解し、男女共同参画社会実現に向けての支援のあり方を学ぶ。 6 母性看護学に関連する統計・法律・行政の各種施策について理解する。
特に関連する科目	病態治療学Ⅲ　母性保健　母性看護学方法論　母性看護学実習　小児看護学
授業の具体的な進め方	教科書を基本に講義を行う。授業資料を綴じられるよう各自A4のファイルを用意すること。母性看護の学修を進めていくうえで最も基礎となる科目である。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/14	木	4	今井充子	講義室1	母性看護の基盤となる概念①
2	4/21	木	4	今井充子	講義室1	母性看護の基盤となる概念②
3	4/28	木	4	今井充子	講義室1	母性看護の変遷と動向
4	5/9	月	2	今井充子	講義室1	母性看護に関する組織・法律・施策
5	5/19	木	4	今井充子	講義室1	母性看護の対象理解
6	5/26	木	4	今井充子	講義室1	女性のライフステージ各期の健康問題と看護
7	6/2	木	4	今井充子	講義室1	リプロダクティブヘルスケア①
8	6/9	木	4	今井充子	講義室1	リプロダクティブヘルスケア②

成績評価方法・基準		小テストおよび定期テストにて評価する。
授業外における学習（予習・復習）		授業計画に沿って教科書・配布資料・参考図書で予習および復習をすること。予習・復習は合計で60分以上必要である。
教科書・参考文献等	教科書	森　恵美ほか著『≪系統看護学講座 専門分野Ⅱ≫　母性看護学[1]　母性看護学概論（第14版）』（医学書院、2021）　ISBN：9784260042253
	参考書	有森直子編集『NURSING TEXTBOOK SERIES　母性看護学I　概論 第2版　女性・家族に寄り添い健康を支えるウィメンズヘルスケアの追求』（医歯薬出版、2020）ISBN：9784263237366
	その他	
連絡先・オフィスアワー		今井充子：研究室6（2F） 相談時には、事前にメール(m-imai@jhsu.ac.jp)に連絡をください。 ＊m-imai-demo@jhsu.ac.jpは使用していないアドレスです。ご注意ください。
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての（専門機関における）実務経験を活かした講義を行う。

科目コード	12-11319
授業科目名	母性保健 A
配当年次	3学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	今井 充子
実務家教員	看護職：今井充子
授業科目の概要	妊産褥婦及び胎児・新生児の健康の保持・増進を図るための援助技術を学ぶ。さらに、看護過程の基本的事項を理解し科学的思考力を修得する。
授業の到達目標	1. 周産期にある母子の健康保持・増進のための基本的な援助技術を修得できる。 2. 周産期にある母子に対する看護過程をウェルネスの志向にもとづいて展開できる。
特に関連する科目	母性看護学概論　母性看護方法論　母性看護学実習　病態治療学Ⅲ　小児看護学
授業の具体的な進め方	講義と演習で進めます。講義第1回目から看護過程の事例に基づいた展開となっていますので、すべての講義資料を必ず手元に置いてください。看護過程の展開には、既存の講義資料および参考資料等を活用した自己学習が求められます。十分に自己学習を深めた上で参加するように心がけてください。 技術演習では、これまでの講義内容の理解が前提となります。当該技術に関連した復習を十分に行った上で参加するように努力してください。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	5/18	水	2	今井充子	講義室2 講義室3	母性看護における看護過程の特徴（ウェルネス）を理解する。
2	5/25	水	1	今井充子	母性看護演習室	新生児への援助技術（抱き方、寝かせ方、衣服の着脱、おむつ交換）
3	6/1	水	1	今井充子	母性看護演習室・講義室3	褥婦への援助技術（子宮復古状態・乳房の進行性変化の観察、浮腫の判断）
4	6/1	水	2	今井充子	母性看護演習室・講義室3	新生児への援助技術（バイタルサイン・経皮ビリルビン測定、全身観察）
5	6/8	水	1	今井充子	母性看護演習室・講義室3	妊婦への援助技術（レオポルドの触診法、子宮長測定、児心音聴取、浮腫の判断）
6	6/8	水	2	今井充子	母性看護演習室・講義室3	新生児への援助技術（沐浴）
7	6/15	水	1	今井充子	母性看護演習室・講義室4	技術試験
8	6/22	水	1	今井充子	講義室2 講義室3	事例による看護過程の展開の実際1（褥婦のアセスメント）
9	6/22	水	2	今井充子	講義室2 講義室3	事例による看護過程の展開の実際2（褥婦の看護診断）
10	6/27	月	2	今井充子	講義室2 講義室3	事例による看護過程の展開の実際3（褥婦の目標・計画）
11	6/29	水	1	今井充子	講義室2 講義室3	事例による看護過程の展開の実際4（新生児のアセスメント）
12	6/29	水	2	今井充子	講義室2 講義室3	事例による看護過程の展開の実際5（新生児の看護診断）
13	7/4	月	2	今井充子	講義室2 講義室3	事例による看護過程の展開の実際6（新生児の目標・計画）
14	7/6	水	1	今井充子	講義室2 講義室3	事例による看護過程の展開の実際7（行動計画①）
15	7/6	水	2	今井充子	講義室2 講義室3	事例による看護過程の展開の実際8（行動計画②）

成績評価方法・基準		看護過程50%、看護技術50%
授業外における学習（予習・復習）		授業の予習を行い、これまでに学んだ基礎系科目、専門基礎系科目・看護学専門科目の既修科目の理解が不十分な場合は、復習を行ってください。予習・復習には、講義ごとに概ね60分必要です。
教科書 ・参考文献等	教科書	森　恵美ほか著『≪系統看護学講座 専門分野Ⅱ≫　母性看護学[1]　母性看護学概論（第14版）』（医学書院、2021） ISBN：9784260042253
		森　恵美ほか著『≪系統看護学講座 専門分野Ⅱ≫　母性看護学[2]　母性看護学各論（第14版）』（医学書院、2021） ISBN: 9784260042239
	参考書	太田操編『ウェルネス看護診断にもとづく母性看護過程』（医歯薬出版、2018） ISBN：9784263236871
		大平光子他編『≪看護学テキストNiCE≫　母性看護学Ⅱ　マタニティサイクル（改訂第2版）母と子そして家族へのよりよい看護実践』（南江堂、2018） ISBN：9784524255351
		井上裕美他『病気が見える　Vol.10　産科（第4版）』（MEDIK MEDIA、2018） ISBN：9784896327137
		前原澄子編集『新看護観察のキーポイントシリーズ母性Ⅰ』（中央法規、2011） ISBN：9784805834060
		前原澄子編集『新看護観察のキーポイントシリーズ母性Ⅱ』（中央法規、2011） ISBN：9784805834077
		『おっぱいで赤ちゃんを育てたい人の母乳育児の教科書』（マイナビ出版、2012 ）ISBN：9784839940058
		小林 美智子 監修『桶谷式母乳ですくすく育てる本』（主婦の友社、2011） ISBN：9784072736142
	その他	
連絡先・オフィスアワー		今井充子：研究室6（2F） ＊相談時には、事前にメール(m-imai@jhsu.ac.jp)に連絡をください。 ＊m-imai-demo@jhsu.ac.jpは使用していないアドレスです。ご注意ください。
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。

科目コード	12-11319
授業科目名	母性保健 B
配当年次	3学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	今井 充子
実務家教員	看護職：今井充子
授業科目の概要	妊産褥婦及び胎児・新生児の健康の保持・増進を図るための援助技術を学ぶ。さらに、看護過程の基本的事項を理解し科学的思考力を修得する。
授業の到達目標	1. 周産期にある母子の健康保持・増進のための基本的な援助技術を修得できる。 2. 周産期にある母子に対する看護過程をウェルネスの志向にもとづいて展開できる。
特に関連する科目	母性看護学概論　母性看護方法論　母性看護学実習　病態治療学Ⅲ　小児看護学
授業の具体的な進め方	講義と演習で進めます。講義第1回目から看護過程の事例に基づいた展開となっていますので、すべての講義資料を必ず手元に置いてください。看護過程の展開には、既存の講義資料および参考資料等を活用した自己学習が求められます。十分に自己学習を深めた上で参加するように心がけてください。 技術演習では、これまでの講義内容の理解が前提となります。当該技術に関連した復習を十分に行った上で参加するように努力してください。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	5/18	水	2	今井充子	講義室2 講義室3	母性看護における看護過程の特徴（ウェルネス）を理解する。
2	5/25	水	1	今井充子	母性看護演習室	新生児への援助技術（抱き方、寝かせ方、衣服の着脱、おむつ交換）
3	6/1	水	1	今井充子	母性看護演習室・講義室3	褥婦への援助技術（子宮復古状態・乳房の進行性変化の観察、浮腫の判断）
4	6/1	水	2	今井充子	母性看護演習室・講義室3	新生児への援助技術（バイタルサイン・経皮ビリルビン測定、全身観察）
5	6/8	水	1	今井充子	母性看護演習室・講義室3	妊婦への援助技術（レオポルドの触診法、子宮長測定、児心音聴取、浮腫の判断）
6	6/8	水	2	今井充子	母性看護演習室・講義室3	新生児への援助技術（沐浴）
7	6/15	水	2	今井充子	母性看護演習室・講義室4	技術試験
8	6/22	水	1	今井充子	講義室2 講義室3	事例による看護過程の展開の実際1（褥婦のアセスメント）
9	6/22	水	2	今井充子	講義室2 講義室3	事例による看護過程の展開の実際2（褥婦の看護診断）
10	6/27	月	2	今井充子	講義室2 講義室3	事例による看護過程の展開の実際3（褥婦の目標・計画）
11	6/29	水	1	今井充子	講義室2 講義室3	事例による看護過程の展開の実際4（新生児のアセスメント）
12	6/29	水	2	今井充子	講義室2 講義室3	事例による看護過程の展開の実際5（新生児の看護診断）
13	7/4	月	2	今井充子	講義室2 講義室3	事例による看護過程の展開の実際6（新生児の目標・計画）
14	7/6	水	1	今井充子	講義室2 講義室3	事例による看護過程の展開の実際7（行動計画①）
15	7/6	水	2	今井充子	講義室2 講義室3	事例による看護過程の展開の実際8（行動計画②）

成績評価方法・基準		看護過程50%、看護技術50%
授業外における学習（予習・復習）		授業の予習を行い、これまでに学んだ基礎系科目、専門基礎系科目・看護学専門科目の既修科目の理解が不十分な場合は、復習を行ってください。予習・復習には、講義ごとに概ね60分必要です。
教科書 ・参考文献等	教科書	森　恵美ほか著『≪系統看護学講座 専門分野Ⅱ≫　母性看護学[1]　母性看護学概論（第14版）』（医学書院、2021）　ISBN：9784260042253
		森　恵美ほか著『≪系統看護学講座 専門分野Ⅱ≫　母性看護学[2]　母性看護学各論（第14版）』（医学書院、2021）ISBN: 9784260042239
	参考書	太田操編『ウェルネス看護診断にもとづく母性看護過程』（医歯薬出版、2018）　ISBN：9784263236871
		大平光子他編『≪看護学テキストNiCE≫　母性看護学Ⅱ　マタニティサイクル（改訂第2版）母と子そして家族へのよりよい看護実践』（南江堂、2018）　ISBN：9784524255351
		井上裕美他『病気が見える　Vol.10　産科（第4版）』（MEDIK MEDIA、2018）ISBN：9784896327137
		前原澄子編集『新看護観察のキーポイントシリーズ母性Ⅰ』（中央法規、2011）ISBN：9784805834060
		前原澄子編集『新看護観察のキーポイントシリーズ母性Ⅱ』（中央法規、2011）　ISBN：9784805834077
		『おっぱいで赤ちゃんを育てたい人の母乳育児の教科書』（マイナビ出版、2012 ）ISBN：9784839940058
		小林 美智子 監修『桶谷式母乳ですくすく育てる本』（主婦の友社、2011）ISBN：9784072736142
	その他	
連絡先・オフィスアワー		今井充子：研究室6（2F） ＊相談時には、事前にメール(m-imai@jhsu.ac.jp)に連絡をください。 ＊m-imai-demo@jhsu.ac.jpは使用していないアドレスです。ご注意ください。
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。

科目コード	12-11319
授業科目名	母性保健 C
配当年次	3学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	今井 充子
実務家教員	看護職：今井充子
授業科目の概要	妊産褥婦及び胎児・新生児の健康の保持・増進を図るための援助技術を学ぶ。さらに、看護過程の基本的事項を理解し科学的思考力を修得する。
授業の到達目標	1. 周産期にある母子の健康保持・増進のための基本的な援助技術を修得できる。 2. 周産期にある母子に対する看護過程をウェルネスの志向にもとづいて展開できる。
特に関連する科目	母性看護学概論　母性看護方法論　母性看護学実習　病態治療学Ⅲ　小児看護学
授業の具体的な進め方	講義と演習で進めます。講義第1回目から看護過程の事例に基づいた展開となっていますので、すべての講義資料を必ず手元に置いてください。看護過程の展開には、既存の講義資料および参考資料等を活用した自己学習が求められます。十分に自己学習を深めた上で参加するように心がけてください。 技術演習では、これまでの講義内容の理解が前提となります。当該技術に関連した復習を十分に行った上で参加するように努力してください。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	5/18	水	2	今井充子	講義室2 講義室3	母性看護における看護過程の特徴（ウェルネス）を理解する。
2	5/25	水	2	今井充子	母性看護演習室	新生児への援助技術（抱き方、寝かせ方、衣服の着脱、おむつ交換）
3	6/1	水	1	今井充子	母性看護演習室・講義室3	褥婦への援助技術（子宮復古状態・乳房の進行性変化の観察、浮腫の判断）
4	6/1	水	2	今井充子	母性看護演習室・講義室3	新生児への援助技術（バイタルサイン・経皮ビリルビン測定、全身観察）
5	6/8	水	1	今井充子	母性看護演習室・講義室3	妊婦への援助技術（レオポルドの触診法、子宮長測定、児心音聴取、浮腫の判断）
6	6/8	水	2	今井充子	母性看護演習室・講義室3	新生児への援助技術（沐浴）
7	6/20	月	1	今井充子	母性看護演習室・講義室4	技術試験
8	6/22	水	1	今井充子	講義室2 講義室3	事例による看護過程の展開の実際1（褥婦のアセスメント）
9	6/22	水	2	今井充子	講義室2 講義室3	事例による看護過程の展開の実際2（褥婦の看護診断）
10	6/27	月	2	今井充子	講義室2 講義室3	事例による看護過程の展開の実際3（褥婦の目標・計画）
11	6/29	水	1	今井充子	講義室2 講義室3	事例による看護過程の展開の実際4（新生児のアセスメント）
12	6/29	水	2	今井充子	講義室2 講義室3	事例による看護過程の展開の実際5（新生児の看護診断）
13	7/4	月	2	今井充子	講義室2 講義室3	事例による看護過程の展開の実際6（新生児の目標・計画）
14	7/6	水	1	今井充子	講義室2 講義室3	事例による看護過程の展開の実際7（行動計画①）
15	7/6	水	2	今井充子	講義室2 講義室3	事例による看護過程の展開の実際8（行動計画②）

成績評価方法・基準		看護過程50%、看護技術50%
授業外における学習（予習・復習）		授業の予習を行い、これまでに学んだ基礎系科目、専門基礎系科目・看護学専門科目の既修科目の理解が不十分な場合は、復習を行ってください。予習・復習には、講義ごとに概ね60分必要です。
教科書・参考文献等	教科書	森　恵美ほか著『≪系統看護学講座 専門分野Ⅱ≫　母性看護学[1]　母性看護学概論（第14版）』（医学書院、2021）　ISBN:9784260042253
		森　恵美ほか著『≪系統看護学講座 専門分野Ⅱ≫　母性看護学[2]　母性看護学各論(第14版)』（医学書院、2021）ISBN: 9784260042239
	参考書	太田操編『ウェルネス看護診断にもとづく母性看護過程』（医歯薬出版、2018）　ISBN:9784263236871
		大平光子他編『≪看護学テキストNiCE≫　母性看護学Ⅱ　マタニティサイクル（改訂第2版）母と子そして家族へのよりよい看護実践』（南江堂、2018）　ISBN:9784524255351
		井上裕美他『病気が見える　Vol.10　産科（第4版）』（MEDIK MEDIA、2018）ISBN:9784896327137
		前原澄子編集『新看護観察のキーポイントシリーズ母性Ⅰ』（中央法規、2011）ISBN:9784805834060
		前原澄子編集『新看護観察のキーポイントシリーズ母性Ⅱ』（中央法規、2011）　ISBN:9784805834077
		『おっぱいで赤ちゃんを育てたい人の母乳育児の教科書』（マイナビ出版、2012 ）ISBN:9784839940058
		小林 美智子 監修『桶谷式母乳ですくすく育てる本』（主婦の友社、2011）ISBN:9784072736142
	その他	
連絡先・オフィスアワー		今井充子：研究室6（2F） ＊相談時には、事前にメール(m-imai@jhsu.ac.jp)に連絡をください。 ＊m-imai-demo@jhsu.ac.jpは使用していないアドレスです。ご注意ください。
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。

科目コード	12-11319
授業科目名	母性保健 D
配当年次	3学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	今井 充子
実務家教員	看護職:今井充子
授業科目の概要	妊産褥婦及び胎児・新生児の健康の保持・増進を図るための援助技術を学ぶ。さらに、看護過程の基本的事項を理解し科学的思考力を修得する。
授業の到達目標	1. 周産期にある母子の健康保持・増進のための基本的な援助技術を修得できる。 2. 周産期にある母子に対する看護過程をウェルネスの志向にもとづいて展開できる。
特に関連する科目	母性看護学概論　母性看護方法論　母性看護学実習　病態治療学Ⅲ　小児看護学
授業の具体的な進め方	講義と演習で進めます。講義第1回目から看護過程の事例に基づいた展開となっていますので、すべての講義資料を必ず手元に置いてください。看護過程の展開には、既存の講義資料および参考資料等を活用した自己学習が求められます。十分に自己学習を深めた上で参加するように心がけてください。 技術演習では、これまでの講義内容の理解が前提となります。当該技術に関連した復習を十分に行った上で参加するように努力してください。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	5/18	水	2	今井充子	講義室2 講義室3	母性看護における看護過程の特徴(ウェルネス)を理解する。
2	5/25	水	2	今井充子	母性看護演習室	新生児への援助技術(抱き方、寝かせ方、衣服の着脱、おむつ交換)
3	6/1	水	1	今井充子	母性看護演習室・講義室3	褥婦への援助技術(子宮復古状態・乳房の進行性変化の観察、浮腫の判断)
4	6/1	水	2	今井充子	母性看護演習室・講義室3	新生児への援助技術(バイタルサイン・経皮ビリルビン測定、全身観察)
5	6/8	水	1	今井充子	母性看護演習室・講義室3	妊婦への援助技術(レオポルドの触診法、子宮長測定、児心音聴取、浮腫の判断)
6	6/8	水	2	今井充子	母性看護演習室・講義室3	新生児への援助技術(沐浴)
7	6/20	月	2	今井充子	母性看護演習室・講義室4	技術試験
8	6/22	水	1	今井充子	講義室2 講義室3	事例による看護過程の展開の実際1(褥婦のアセスメント)
9	6/22	水	2	今井充子	講義室2 講義室3	事例による看護過程の展開の実際2(褥婦の看護診断)
10	6/27	月	2	今井充子	講義室2 講義室3	事例による看護過程の展開の実際3(褥婦の目標・計画)
11	6/29	水	1	今井充子	講義室2 講義室3	事例による看護過程の展開の実際4(新生児のアセスメント)
12	6/29	水	2	今井充子	講義室2 講義室3	事例による看護過程の展開の実際5(新生児の看護診断)
13	7/4	月	2	今井充子	講義室2 講義室3	事例による看護過程の展開の実際6(新生児の目標・計画)
14	7/6	水	1	今井充子	講義室2 講義室3	事例による看護過程の展開の実際7(行動計画①)
15	7/6	水	2	今井充子	講義室2 講義室3	事例による看護過程の展開の実際8(行動計画②)

成績評価方法・基準		看護過程50%、看護技術50%
授業外における学習(予習・復習)		授業の予習を行い、これまでに学んだ基礎系科目、専門基礎系科目・看護学専門科目の既修科目の理解が不十分な場合は、復習を行ってください。予習・復習には、講義ごとに概ね60分必要です。
教科書 ・参考文献等	教科書	森　恵美ほか著『≪系統看護学講座 専門分野Ⅱ≫　母性看護学[1]　母性看護学概論(第14版)』(医学書院、2021) ISBN:9784260042253
		森　恵美ほか著『≪系統看護学講座 専門分野Ⅱ≫　母性看護学[2]　母性看護学各論(第14版)』(医学書院、2021) ISBN: 9784260042239
	参考書	太田操編『ウェルネス看護診断にもとづく母性看護過程』(医歯薬出版、2018) ISBN:9784263236871
		大平光子他編『≪看護学テキストNiCE≫　母性看護学Ⅱ　マタニティサイクル(改訂第2版)母と子そして家族へのよりよい看護実践』(南江堂、2018) ISBN:9784524255351
		井上裕美他『病気が見える Vol.10　産科(第4版)』(MEDIK MEDIA、2018) ISBN:9784896327137
		前原澄子編集『新看護観察のキーポイントシリーズ母性Ⅰ』(中央法規、2011) ISBN:9784805834060
		前原澄子編集『新看護観察のキーポイントシリーズ母性Ⅱ』(中央法規、2011) ISBN:9784805834077
		『おっぱいで赤ちゃんを育てたい人の母乳育児の教科書』(マイナビ出版、2012)ISBN:9784839940058
		小林 美智子 監修『桶谷式母乳ですくすく育てる本』(主婦の友社、2011) ISBN:9784072736142
	その他	
連絡先・オフィスアワー		今井充子:研究室6(2F) ＊相談時には、事前にメール(m-imai@jhsu.ac.jp)に連絡をください。 ＊m-imai-demo@jhsu.ac.jpは使用していないアドレスです。ご注意ください。
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての(専門機関における)実務経験を活かした講義(演習)を行う。

科目コード	12-11320
授業科目名	母性看護方法論
配当年次	2学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	2単位
時間数	30時間
授業形態	演習
担当教員	今井 充子
実務家教員	看護職:今井充子
授業科目の概要	周産期にある妊産褥婦及び新生児の正常な経過及びその看護、また、異常時に必要な看護を学習する。 妊娠・分娩・産褥期にある女性と新生児への看護については各時期の身体的、心理的、社会的経過が安全・安楽であるようにセルフルケア能力を高めることや発達の危機等特徴的な看護について学習する。
授業の到達目標	1. 妊娠の成立、妊婦の形態・機能的変化と心理・社会的変化や胎児の発育と生理、付属物の形成や発達およびその看護について理解できる。 2. 産婦の形態・機能的、心理的変化およびその看護について理解できる。 3. 褥婦の進行性・退行性変化や正常新生児の生理・成長発達と母子相互作用や家族の再構築、およびその看護について理解できる。 4. 異常のある妊産褥婦と新生児への看護を理解できる。
特に関連する科目	母性看護学概論　母性保健　病態治療学Ⅲ　小児看護学　母性看護学実習
授業の具体的な進め方	教科書を使用し講義を行う。授業資料を綴じられるよう、各自A4のファイルを用意すること。 この科目は、母性看護の実践において基礎となります。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	9/21	水	3	今井充子	講義室3	子どもを産み育てることと看護妊娠期における看護① 妊娠期の身体的特性
2	9/28	水	3	今井充子	講義室3	妊娠期における看護② 妊娠期の心理・社会的特性
3	10/7	金	2	今井充子	講義室3	妊娠期における看護③ 妊婦と胎児のアセスメント
4	10/14	金	1	今井充子	講義室3	妊娠期における看護④ 妊婦と家族の看護 / 異常のある妊婦の看護
5	10/21	金	2	今井充子	講義室3	分娩期における看護① 分娩の要素と経過
6	10/28	金	2	今井充子	講義室3	分娩期における看護② 産婦・胎児、家族のアセスメントと看護
7	11/4	金	2	今井充子	講義室3	分娩期における看護③ 分娩期の看護の実際 / 異常のある産婦の看護
8	11/11	金	1	今井充子	講義室3	新生児期における看護① 新生児の生理
9	11/25	金	2	今井充子	講義室3	新生児期における看護② 新生児の健康状態のアセスメント
10	12/2	金	2	今井充子	講義室3	新生児期における看護③ 新生児の看護
11	12/9	金	2	今井充子	講義室3	新生児期における看護④ 異常のある新生児の看護
12	12/16	金	2	今井充子	講義室3	産褥期における看護① 産褥経過
13	12/23	金	2	今井充子	講義室3	産褥期における看護② 褥婦のアセスメント
14	1/13	金	2	今井充子	講義室3	産褥期における看護③ 褥婦と家族の看護
15	1/20	金	2	今井充子	講義室3	産褥期における看護④ 施設退院後の看護 / 異常のある褥婦の看護

成績評価方法・基準		小テストおよび定期テストにて評価する。
授業外における学習(予習・復習)		授業計画に沿って教科書・配布資料・参考図書で予習および復習をすること。予習・復習は合計で60分以上必要です。
教科書・参考文献等	教科書	森　恵美ほか著『≪系統看護学講座 専門分野Ⅱ≫ 母性看護学[2] 母性看護学各論(第14版)』(医学書院、2021) ISBN: 9784260042239
	参考書	井上裕美他『病気が見える Vol.10 産科(第4版)』(メディックメディア 2018) ISBN:9784896327137
		有森直子編 『NURSING TEXTBOOK SERIES 母性看護学II 周産期各論 第2版 質の高い周産期ケアを追求するアセスメントスキルの習得 』(医歯薬出版株式会社 2020) ISBN:9784263237373
		前原澄子編集『新看護観察のキーポイントシリーズ母性Ⅰ』(中央法規、2011) ISBN:9784805834060
		前原澄子編集『新看護観察のキーポイントシリーズ母性Ⅱ』(中央法規、2011) ISBN:9784805834077
	その他	・必要に応じてプリントを配布する。
連絡先・オフィスアワー		今井充子:研究室6(2F) 相談時には、事前にメール(m-imai@jhsu.ac.jp)に連絡をください。 ＊m-imai-demo@jhsu.ac.jpは使用していないアドレスです。ご注意ください。
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての(専門機関における)実務経験を活かした講義を行う。

科目コード	12-11321
授業科目名	精神看護学概論
配当年次	2学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	2単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	東中須 恵、菊地淳
実務家教員	看護職：東中須恵子・菊地淳
授業科目の概要	物体のないこころを理解するための諸理論を学ぶ。また、ストレス社会のなかで人間の権利や倫理について考え、精神看護学の果たす役割や機能を理解するとともに、心の健康の保持増進、向上を図るための援助方法について学び考える。
授業の到達目標	1. 精神看護学における役割と機能、メンタルヘルスの課題と対策を理解する。 2. 人間のライフサイクルとライフサイクルにおける危機を理解する。 3. 精神機能の障害を理解する。 4. 精神看護学における対人関係的プロセスを考え援助する重要な看護理論を理解する。 5. 精神障碍者と関係する法的制度を理解する。
特に関連する科目	コミュニケーション論　心理学　精神保健　病態治療学Ⅱ　精神看護方法論　サイコセラピーとカウンセリング
授業の具体的な進め方	スライドや動画を活用して講義を進める。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/11	月	3	東中須恵子	講義室1	日常生活を通して自己のメンタルヘルスについて考える
2	4/18	月	3	東中須恵子	講義室1	自己のメンタルヘルスについてまとめ今後を考察する
3	4/25	月	3	東中須恵子	講義室1	オリエンテーション①精神看護とは　②精神看護の機能と役割　③精神疾患と精神科看護
4	5/9	月	3	東中須恵子	講義室1	精神の発達と健康のとらえ方ー発達論：フロイト・エリクソンー
5	5/16	月	3	東中須恵子	講義室1	精神科看護と看護理論：人間関係理論、セルフケア看護理論
6	5/23	月	3	東中須恵子	講義室1	ストレスとストレスマネジメント、危機理論
7	5/30	月	3	東中須恵子	講義室1	家庭・学校・職場における精神保健
8	6/6	月	3	東中須恵子	講義室1	精神障碍者の処遇史ー法と施策から倫理・人権を考える
9	6/13	月	3	東中須恵子	講義室1	まとめ
10	6/20	月	3	菊池淳	講義室1	現代社会とアディクション
11	6/27	月	3	東中須恵子	講義室1	精神障害とリハビリテーション
12	7/4	月	3	東中須恵子	講義室4	精神科看護の現状と今後の課題
13	7/11	月	3	東中須恵子	講義室1	演習：個人コラージュ療法体験
14	7/18	月	3	東中須恵子	講義室1	その他の精神看護：身体疾患と精神看護、看護カウンセリング、リエゾン精神看護
15	7/25	月	3	東中須恵子	講義室1	看護師と感情労働

成績評価方法・基準		各授業ごとの課題（80%）、演習提出レポート（20%）
授業外における学習（予習・復習）		人間のこころに関する情報に着目し、こころの健康および健康障害を有する対象に対する理解を深めるために思考し、自分なりの意見を持つように心がける。 この科目の講義内容は看護師国家試験に頻出のため、毎回復習すること。
教科書・参考文献等	教科書	東中須恵子編著『看護学生のための精神看護学概論 第2版』（大学教育出版、2019）ISBN:9784866920139
	参考書	適宜紹介する
	その他	特になし
連絡先・オフィスアワー		東中須恵子　　連絡先:研究室12（2階） メールアドレス：nakasu@jhsu.ac.jp オフィスアワー：月曜日 16：45～17：30 菊地　淳　　連絡先：研究室9（2階） メールアドレス：j-kikuchi@jhsu.ac.jp オフィスアワー：月曜日 16：45～17：30
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての（専門機関における）実務経験を活かした講義を行う。

科目コード	12-11322
授業科目名	精神看護方法論
配当年次	3学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	2単位
時間数	60時間
授業形態	演習
担当教員	東中須 恵子、菊地 淳、田中 勇気
実務家教員	看護職：東中須恵子、菊地淳、田中勇気
授業科目の概要	精神障害のある人への看護の基本が理解できる。 1. 主な精神疾患と治療が理解できる。 2. 主な精神症状と看護の基本が理解できる。 3. 治療的コミュニケーション技術を使い、プロセスレコードの意義が理解できる。 4. セルフケアへの援助が理解できる。 5. 身体合併症を有する患者への看護が理解できる。 6. 精神科リハビリテーションと地域生活支援が理解できる。
授業の到達目標	1.精神症状のアセスメント方法の基本を学ぶ。 2.精神障害を持つ人（生活障害）を理解する。 3.主な精神疾患・精神症状における病態、診断、回復過程、治療の特徴を理解し精神障碍を持つ人への働きかけの援助法を理解する。 4.地域生活を送る精神障害者の理解と精神科リハビリテーションやサポートシステムについての現状や課題について学ぶ。 5.セルフケア看護理論を中心とした看護過程（アセスメント・計画立案・評価・修正）を展開するための知識を習得し、方法を理解する。
特に関連する科目	コミュニケーション論　心理学　精神保健　精神看護学概論　病態治療学Ⅲ　薬理学　サイコセラピーとカウンセリング
授業の具体的な進め方	配布資料と教科書を中心に講義形式の授業・演習を行う。 ・ 精神疾患に特徴的な症状や看護援助に必要な技術については、視聴覚教材などを多く用い理解に繋げる。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/13	水	3	東中須　恵子	講義室2 講義室3	オリエンテーション　精神障害と治療と環境　精神科医療の対象とコミュニケーションの特徴
2	4/13	水	4	東中須　恵子	講義室2 講義室3	自己の障がい者観を見つめ、精神の健康の考え方、正常・異常の捉え方を考える
3	4/20	水	3	東中須　恵子	講義室2 講義室3	精神看護で活用する看護理論をまとめる
4	4/20	水	4	東中須　恵子	講義室2 講義室3	フロイト、エリクソンの発達理論における課題について考える
5	4/27	水	3	菊地　淳	講義室2 講義室3	精神疾患と病態・治療・検査・看護　－統合失調症－（1）
6	4/27	水	4	菊地　淳	講義室2 講義室3	精神疾患と病態・検査・治療・看護　－統合失調症－（2）
7	5/11	水	3	菊地　淳	講義室2 講義室3	精神疾患と病態・検査・治療・看護　－統合失調症－（3）
8	5/11	水	4	菊地　淳	講義室2 講義室3	精神疾患と病態・検査・治療・看護　－統合失調症－（4）
9	5/14	土	3	菊地　淳	講義室2 講義室3	精神疾患と病態・検査・治療・看護　－統合失調症－（5）
10	5/14	土	4	菊地　淳	講義室2 講義室3	精神疾患と病態・検査・治療・看護　－統合失調症－（6）
11	5/18	水	3	菊地　淳	講義室2 講義室3	看護者と患者の相互関係（1）　－プロセスレコード－
12	5/18	水	4	菊地　淳	講義室2 講義室3	演習：看護者と患者の相互関係（2）　－プロセスレコード・ロールプレイング－
13	5/25	水	3	菊地　淳	講義室2 講義室3	精神疾患と病態・検査・治療・看護　－アルコール依存症－（1）
14	5/25	木	4	菊地　淳	講義室2 講義室3	精神疾患と病態・検査・治療・看護　－アルコール依存症－（2）
15	6/1	水	3	菊地　淳	講義室2 講義室3	第1回～14回までの振り返り
16	6/1	水	4	菊地　淳	講義室2 講義室3	精神疾患と病態・検査・治療・看護　－気分障害－（1）
17	6/8	水	3	菊地　淳	講義室2 講義室3	精神疾患と病態・検査・治療・看護　－気分障害－（2）
18	6/8	水	4	菊地　淳	講義室2 講義室3	精神疾患と病態・検査・治療・看護　－気分障害－（3）
19	6/11	土	3	菊地　淳	講義室2 講義室3	精神疾患と病態・検査・治療・看護　－気分障害－（4）
20	6/11	土	4	菊地　淳	講義室2 講義室3	精神疾患と病態・検査・治療・看護　－気分障害－（5）
21	6/15	水	3	菊地　淳	講義室2 講義室3	精神疾患と病態・治療・検査・看護　－摂食障害－
22	6/15	水	4	菊地　淳	講義室2 講義室3	精神疾患と病態・治療・検査・看護　－パーソナリティ障害－

23	6/21	火	1	東中須　恵子	講義室2 講義室3	精神疾患と病態・治療・検査・看護　ー児童精神障害ー
24	6/22	水	3	菊地　淳	講義室2 講義室3	精神疾患と病態・治療・検査・看護　ー(ストレス障害、強迫障害、パニック・PTSD)ー
25	6/22	水	4	菊地　淳 田中勇気	講義室2 講義室3	地域で生活する精神障碍者支援
26	6/23	木	1	東中須　恵子	講義室2 講義室3	精神障害と医療観察法
27	6/29	水	3	東中須　恵子	講義室2 講義室3	精神看護における援助技術ー看護過程の展開ー(1)
28	6/29	水	4	東中須恵子・菊地淳・田中勇気	講義室2 講義室3	精神看護における援助技術ー看護過程の展開ー(2)
29	7/6	水	3	東中須恵子・菊地淳・田中勇気	講義室2 講義室3	精神看護における援助技術ー看護過程の展開ー(3)
30	7/6	水	4	東中須　恵子	講義室2 講義室3	精神看護における援助技術ー看護過程の展開ー(4)

成績評価方法・基準		試験(80%)課題や出席等(20%)
授業外における学習(予習・復習)		専門的な用語や内容が多いため、予習・復習をすること。また、授業中ショートテストを実施するので復習は必須である。自己にて解決できない疑問があれば、積極的に教員に尋ねること。また、この科目の講義内容は看護師国家試験に頻出のため、毎回復習すること。
教科書 ・参考文献等	教科書	東中須恵子編著『看護学生のための精神看護学』(大学教育出版、2017) ISBN:9784864294577
	参考書	適宜紹介する
	その他	特になし
連絡先・オフィスアワー		東中須 恵子　連絡先:研究室12(2階)　メールアドレス:nakasu@jhsu.ac.jp オフィスアワー:月曜日16:30～17:30 菊地 淳　連絡先:研究室 9 (2階)　メールアドレス:j-kikuchi@jhsu.ac.jp オフィスアワー:月曜日 16::30～17:30 田中　勇気　連絡先:研究室 5 (2階)　メールアドレス:y-tanaka@jhsu.ac.jp オフィスアワー:月曜日16:30～17:30
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての(専門機関における)実務経験を活かした講義(演習)を行う。

科目コード	12-11323
授業科目名	公衆衛生看護学概論
配当年次	2学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	2単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	中島 富志子
実務家教員	看護職：中島富志子
授業科目の概要	公衆衛生看護学の概念枠組みについて、歴史的変遷を経て至った活動の理念と目的を理解する。 また、広範な対象やあらゆる健康レベルに対して、社会的条件の中で健康問題に対応していく上での考え方、生活集団の健康課題の捉え方や予防的対応について学ぶ。そして組織的解決過程を学習し、公衆衛生看護の基本的知識と技術を理解する。 公衆衛生看護の構成分野や活動対象となる人々の特質、公衆衛生看護特有の方法論についても触れ、これらを通して公衆衛生看護学の全体像を把握する。
授業の到達目標	1.公衆衛生概念の変遷を学び、「健康とはなにか」の本質を理解できる。 2.公衆衛生看護活動の場と対象の特徴を説明できる。 3.公衆衛生看護に必要な理論を説明できる。 4.時代背景に合わせて発展してきた公衆衛生看護概念の、歴史的変遷を理解できる。 5.公衆衛生看護の支援方法や専門性を理解し、今後の課題と展望を考察できる。
特に関連する科目	公衆衛生学　保健統計学　疫学　保健医療福祉行政論　公衆衛生看護活動論　公衆衛生看護システム論　公衆衛生看護技術論　産業保健論　学校保健論
授業の具体的な進め方	テキストを中心に、スライドと資料を用いた講義形式の授業とする。まとめの時間として振り返りのレポート作成をする。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	9/21	水	4	中島富志子	講義室3	授業ガイダンス、公衆衛生看護学の概念①
2	9/28	水	4	中島富志子	講義室3	公衆衛生看護学の概念②
3	10/5	水	4	中島富志子	講義室3	健康とは/ヘルスプロモーション
4	10/12	水	4	中島富志子	講義室3	公衆衛生看護の歴史
5	10/19	水	4	中島富志子	講義室3	社会情勢の変遷と疾病構造の変化および健康課題
6	10/26	水	4	中島富志子	講義室3	公衆衛生看護活動を支える保健医療システム
7	11/2	水	4	中島富志子	講義室3	公衆衛生看護活動の対象と場の特徴
8	11/9	水	4	中島富志子	講義室3	保健行動と保健活動および保健指導
9	11/16	水	4	中島富志子	講義室3	公衆衛生看護活動の個別支援①：健康相談
10	11/30	水	4	中島富志子	講義室3	公衆衛生看護活動の個別支援②：家庭訪問
11	12/7	水	4	中島富志子	講義室3	公衆衛生看護活動の集団支援①：健康教育
12	12/14	水	4	中島富志子	講義室3	公衆衛生看護活動の集団支援②：地域組織活動、健康診断
13	12/21	水	4	中島富志子	講義室3	公衆衛生看護活動における地域診断の目的、プロセス、地域診断の理論と方法
14	1/11	水	4	中島富志子	講義室3	地域保健計画・事業計画と保健師の役割、施策化・事業化
15	1/18	水	4	中島富志子	講義室3	地域における健康危機管理、公衆衛生看護活動の展望

成績評価方法・基準		授業への出席状況や取り組み、授業ごとの課題レポート、まとめレポート、筆記試験等により総合的に評価する。
授業外における学習（予習・復習）		授業計画に沿ってテキストで予習し、講義後は、テキスト、講義で配布される資料、参考文献を用いて復習をおこなうこと。予習・復習には講義ごとに概ね60分以上必要である。
教科書・参考文献等	教科書	荒賀直子・後閑容子編『公衆衛生看護学jp 第5版 データ更新版 』(インターメディカル、2022) ISBN9784900828858
	参考書	講義の中で紹介する。
	その他	必要に応じてプリントを配布する。
連絡先・オフィスアワー		連絡先：中島　t-nakajima@jhsu.ac.jp　坂巻　t-sakamaki@jhsu.ac.jp 質問・相談は、メールで予約をしてください。
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。

科目コード	12-11324
授業科目名	公衆衛生看護システム論
配当年次	4学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	選択
単位	2単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	中島 富志子、坂巻 つや子
実務家教員	中島富志子・坂巻つや子
授業科目の概要	公衆衛生看護活動のコアとなる公衆衛生看護管理について、組織的問題解決過程の基礎的展開を通して、公衆衛生看護診断モデルを用い地区の情報収集、分析、アセスメントによる保健計画の立案、実施、評価、修正の過程を理解する。具体的な保健活動計画づくり実践例を紹介し、計画および評価についてEBNによる根拠や科学性を持たせることの重要性を理解する。公衆衛生看護管理の財政・予算・組織等、行政看護から学校保健・産業保健におよぶ集団の看護システムの原則について理解する。
授業の到達目標	1.地域診断の概念を述べることができる。 2.地域診断に関連するコミュニティ・アズ・パートナーモデルの特徴を説明することができる。 3.地域診断のプロセスを具体的に説明することができる。 4.公衆衛生看護管理の管理機能について説明できる。 5.公衆衛生分野における地域包括ケアシステムについて理解できる。
特に関連する科目	公衆衛生学　保健医療福祉行政論　公衆衛生看護学概論　公衆衛生看護活動論　公衆衛生看護技術論　疫学　保健統計学
授業の具体的な進め方	公衆衛生看護管理における基本的展開を、具体例を交えて学び、地域を対象とする公衆衛生看護の実際について理解する。コミュニティ・アズ・パートナーモデルを用いた地域診断について、演習を通して理解し、実習における保健所・市町村について実践できる能力を培う。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/8	金	1	中島富志子	南キャンパス101	授業ガイダンス、公衆衛生看護管理①：公衆衛生看護管理の目的と特徴
2	4/8	金	2	中島富志子	南キャンパス101	公衆衛生看護管理②：構造と機能、事例管理、業務管理、予算管理、情報管理、人事管理、組織運営管理
3	4/15	金	1	中島富志子	南キャンパス101	地域診断①：目的、プロセス、方法、コミュニティ・アズ・パートナーモデル、保健師の地区活動
4	4/15	金	2	中島富志子	南キャンパス101	地域診断②：保健医療福祉における施策化および事業化、評価方法
5	4/22	金	1	中島富志子	南キャンパス101	地域保健活動、地区活動、地域包括ケアシステムの構築
6	4/22	金	2	中島富志子	南キャンパス101	地域診断演習ガイダンス
7	5/10	火	1	中島富志子	南キャンパス101	地域診断演習（既存資料からの情報収集）①
8	5/10	火	2	中島富志子	南キャンパス101	地域診断演習（既存資料からの情報収集）②
9	5/13	金	1	中島富志子	南キャンパス101	地域診断演習（既存資料からの情報収集）③
10	5/13	金	2	中島富志子	南キャンパス101	発表資料作成および担当地域の健康課題の抽出①
11	5/17	火	1	中島富志子	南キャンパス101	発表資料作成および担当地域の健康課題の抽出②
12	5/17	火	2	中島富志子	南キャンパス101	発表資料作成および担当地域の健康課題の抽出③
13	5/18	水	3	中島富志子 坂巻つや子	南キャンパス101	発表資料作成および発表準備
14	5/19	木	1	中島富志子 坂巻つや子	南キャンパス101	地域診断発表①
15	5/19	木	2	中島富志子 坂巻つや子	南キャンパス101	地域診断発表②

成績評価方法・基準		講義出席、課題作成の個人ワーク、地域診断ワークシート、小テスト、定期試験を総合的に評価する。
授業外における学習（予習・復習）		授業計画に沿ってテキストで予習し、講義後は、テキスト、講義で配布される資料、参考文献を用いて復習をおこなうこと。予習・復習には講義ごとに概ね30分以上必要である。演習については、授業時間内で終了できなかった作業の補充に充てる。
教科書・参考文献等	教科書	荒賀直子・後閑容子編『第5版 公衆衛生看護学jp 』（インターメディカル、2022）ISBN9784900828858
	参考書	金川克子・田高悦子編集『地域看護診断　第2版』（東京大学出版会）
		医療情報科学研究所編『公衆衛生がみえる2022-2023』（メディックメディア、2022）
	その他	金川克子翻訳 『コミュニティーアズパートナー　ー　地域看護学の理論と実際』（医学書院）
連絡先・オフィスアワー		連絡先 ： 中島 t-nakajima@jhsu.ac.jp　　坂巻 t-sakamaki@jhsu.ac.jp 質問・相談は、臨地実習等で研究室不在の場合がありますのでメールで予約をしてください。
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。

科目コード	12-11325
授業科目名	在宅看護論
配当年次	3学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	2単位
時間数	60時間
授業形態	講義
担当教員	齊藤 敦子、小林 美奈子、増野 章子
実務家教員	看護職：小林美奈子　齊藤敦子　増野章子
授業科目の概要	地域における保健・医療・福祉サービスの一分野としての在宅ケア、在宅看護の概念を学習する。在宅看護・訪問看護の特徴、提供方法等について学び、地域や対象の生活を視野に入れた真の継続看護の実践の基礎となる知識や考え方を理解する。多職種と連携・協働しながらの看護の役割と実際について学習する。また地域における看護活動の変遷と在宅看護の現状を学び、今後の課題について考察する。 さらに在宅看護の対象である療養者とその家族が、疾患や障害を持ちながら生活していけるよう支援するための基礎的知識を理解する。
授業の到達目標	1. 在宅看護の動向と社会的背景に基づき、在宅看護の概念や対象および特徴を説明できる。 2. 在宅看護の対象を支援する法・制度を理解し、訪問看護利用の仕組みや訪問看護師の役割、多職種および他機関との連携について説明できる。 3. 疾病や障がいと在宅療養生活との関連および必要な看護について説明できる。 4. 在宅療養に必要な医療処置および医療機器について説明できる。 5. 紙上事例を用いた看護過程の展開を通して、その特徴を説明できる。
特に関連する科目	在宅看護論実習　看護学専門科目（基礎・成人・老年・小児・精神・公衆衛生看護学の概論や方法論）　家族看護論　社会福祉学　関係法規　保健医療福祉行政論
授業の具体的な進め方	講義および個人ワークで授業を進める。本学教員からの講義のみではなく、訪問看護師や在宅酸素にかかわる担当者からの講義を計画している。 授業ごとにリアクションシートの提出や課題を提示する。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/8	金	3	齊藤敦子	講義室2・3	授業ガイダンス　在宅看護の位置づけ　在宅看護の歴史および社会的背景の変遷
2	4/8	金	4	齊藤敦子	講義室2・3	在宅看護の対象と特性
3	4/15	金	3	齊藤敦子	講義室2・3	在宅看護にかかわる法制度1-① 介護保険制度と医療保険制度
4	4/15	金	4	齊藤敦子	講義室2・3	在宅看護にかかわる法制度1-② 介護保険制度と医療保険制度
5	4/19	火	1	小林美奈子	講義室2・3	在宅看護にかかわる法制度2　障害者総合支援法と難病法
6	4/19	火	2	増野章子	講義室2・3	訪問看護の目的・役割・機能　訪問看護ステーションに関する規程と訪問看護利用の仕組み
7	4/22	金	3	小林美奈子	講義室2・3	療養の場の移行への看護（退院支援、退院調整、入院・入所支援）
8	4/22	金	4	齊藤敦子	講義室2・3	在宅療養を支える家族への看護
9	4/29	金	3	小林美奈子	講義室2・3	在宅看護での多職種連携と協働（地域包括ケアシステムを含む）
10	4/29	金	4	齊藤敦子	講義室2・3	在宅療養者の理解と看護1　脳血管疾患のために障がいがある療養者への看護
11	5/10	火	1	増野章子	講義室2・3	在宅療養者の理解と看護2　認知症療養者への看護
12	5/10	火	2	増野章子	講義室2・3	在宅療養者の理解と看護2　認知症療養者への看護
13	5/13	金	3	小林美奈子	講義室2・3	在宅療養者の理解と看護3　精神障がい者への看護
14	5/13	金	4	小林美奈子	講義室2・3	在宅療養者の理解と看護3　精神障がい者への看護
15	5/27	金	3	小林美奈子	講義室2・3	在宅療養者の理解と看護4　難病療養者への看護
16	5/27	金	4	小林美奈子	講義室2・3	在宅療養者の理解と看護4　難病療養者への看護
17	6/3	金	3	齊藤敦子	講義室2・3	在宅療養者の理解と看護5　小児への看護
18	6/3	金	4	齊藤敦子	講義室2・3	在宅療養者の理解と看護5　小児への看護
19	6/10	金	3	増野章子	講義室2・3	在宅療養者の理解と看護6　ターミナル期の療養者への看護
20	6/10	金	4	増野章子	講義室2・3	在宅療養者の理解と看護6　ターミナル期の療養者への看護
21	6/17	金	3	齊藤敦子	講義室2・3	医療処置および医療機器が必要な療養者への看護1　膀胱留置カテーテル　気管切開
22	6/17	金	4	ゲストスピーカー 小林美奈子 増野章子	講義室2・3	医療処置および医療機器が必要な療養者への看護2　HOT　NPPV
23	6/24	金	3	小林美奈子 齊藤敦子 増野章子	講義室2・3	紙上事例を用いた在宅看護過程1　在宅看護の特徴　ガイダンス

24	6/24	金	4	小林美奈子 齊藤敦子 増野章子	講義室2・3	紙上事例を用いた在宅看護過程2　情報の整理
25	6/28	火	3	小林美奈子 齊藤敦子 増野章子	講義室2・3	紙上事例を用いた在宅看護過程3　情報の整理
26	6/28	火	4	小林美奈子 齊藤敦子 増野章子	講義室2・3	紙上事例を用いた在宅看護過程4　アセスメント
27	7/1	金	3	小林美奈子 齊藤敦子 増野章子	講義室2・3	紙上事例を用いた在宅看護過程5　アセスメント
28	7/1	金	4	小林美奈子 齊藤敦子 増野章子	講義室2・3	紙上事例を用いた在宅看護過程6　看護計画
29	7/5	火	1	小林美奈子 齊藤敦子 増野章子	講義室2・3	紙上事例を用いた在宅看護過程7　まとめ
30	7/5	火	2	島津ちほ 小林美奈子 齊藤敦子 増野章子	講義室2・3	訪問看護の実際

成績評価方法・基準		定期試験（期末試験）：80%、看護過程の提出物：20%
授業外における学習（予習・復習）		関連法規の知識が必要なことも多いので、必要時に、「社会福祉学」・「関係法規」・「保健医療福祉行政論」等の予習、復習を望む。新聞・テレビ等での在宅関連のニュースに関心を持ってほしい。講義ごとに概ね60分以上が予習、復習として必要となる。
教科書 ・参考文献等	教科書	河原加代子著『在宅看護論 第5版第5刷(系統看護学講座 統合分野I)』(医学書院、2021) ISBN:9784260027625
	参考書	適宜紹介する。
	その他	特になし
連絡先・オフィスアワー		小林美奈子 研究室15（2階）m-kobayashi@jhsu.ac.jp　水曜日 13：00～16：00 齊藤 敦子　研究室20（2階） at-saitou@jhsu.ac.jp　水曜日 13：00～16：00 増野 章子　研究室18（2階） a-mashino@jhsu.ac.jp　水曜日 13：00～16：00 上記以外でも在室であれば、可能な限り対応する。できる限りアポイントメントを取って欲しい。
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての実務経験を活かした講義（演習）を行う。

科目コード	12-11326
授業科目名	公衆衛生看護活動論
配当年次	3学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	2単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	中島 富志子、坂巻 つや子
実務家教員	看護職：中島富志子・坂巻つや子
授業科目の概要	公衆衛生看護活動は生活集団を対象としており、そこに住むあらゆる健康レベルあらゆる発達段階の対象者に応じた活動がある。地域社会や生活集団の刻々と変化する健康課題を受け、対象となる人々のニーズに基づいた活動が展開される必要がある。具体的な活動の根拠法規や保健事業の実際を通してのその背景や対象となる人々の生活課題とその問題解決として活動展開論について学習する。
授業の到達目標	1.公衆衛生看護活動の「場」と公衆衛生看護活動の特徴を説明できる。 2.あらゆる健康レベルにあるあらゆる年齢層の集団の看護について理解できる。 3.対象別の具体的な公衆衛生看護活動と法的根拠について説明できる。 4.公衆衛生看護活動における保健師の役割を考察できる。
特に関連する科目	公衆衛生看護学概論　保健医療福祉行政論　公衆衛生学　公衆衛生看護システム論、公衆衛生看護技術論、疫学、保健統計学
授業の具体的な進め方	テキストを中心に、スライドと資料を用いた講義形式の授業とする。まとめの時間として振り返りのレポート作成をする。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/14	木	3	中島富志子	講義室2 講義室3	授業ガイダンス、公衆衛生看護活動とは、公衆衛生看護活動の場
2	4/21	木	3	中島富志子	講義室2 講義室3	母子保健活動①：母子保健医療福祉の動向、母子保健における健康課題と支援
3	4/28	木	3	中島富志子	講義室2 講義室3	母子保健活動②：子どもの健康課題と支援支援のニーズが高い対象と家族の健康課題
4	5/12	木	3	中島富志子	講義室2 講義室3	成人保健活動①：成人保健医療福祉の動向、成人保健施策、健康日本21、健康増進事業
5	5/19	木	3	中島富志子	講義室2 講義室3	成人保健活動②：成人保健における健康課題と支援、生活習慣病予防、特定健康診査・特定保健指導
6	5/26	木	1	中島富志子	講義室2 講義室3	高齢者保健活動①：高齢者の保健医療福祉の動向、高齢者の保健施策、介護保険制度、後期高齢者医療制度、地域包括ケアシステムの構築
7	5/26	木	3	中島富志子	講義室2 講義室3	高齢者保健活動②：高齢者の健康課題と支援、高齢者の疾病予防、介護予防事業
8	6/2	木	1	中島富志子	講義室2 講義室3	精神保健活動：精神保健医療福祉の動向、精神保健の健康課題と支援、心の健康、自殺対策
9	6/2	木	3	坂巻つや子	講義室2 講義室3	障害者（児）保健福祉活動：障害者（児）の保健医療福祉の動向、障害者（児）の健康課題と保健指導
10	6/9	木	1	坂巻つや子	講義室2 講義室3	難病保健活動：難病保健医療福祉の動向、難病患者の健康課題と支援
11	6/9	木	3	坂巻つや子	講義室2 講義室3	感染症の保健活動：感染症対策の動向、感染症対策、感染症対策における疾病管理と支援の特徴、予防接種
12	6/16	木	3	中島富志子	講義室2 講義室3	健康危機管理：災害時の保健活動
13	6/23	木	5	中島富志子	講義室2 講義室3	関係法規：公衆衛生看護活動の根拠法令、制度の特徴
14	6/30	木	3	中島富志子	講義室2 講義室3	公衆衛生看護管理①：目的と特徴、事例管理、業務管理、予算管理
15	7/7	木	3	中島富志子	講義室2 講義室3	公衆衛生看護管理②：情報管理、人事管理、組織運営・管理の基本

成績評価方法・基準		授業への出席状況や取り組み、授業ごとの課題レポート、まとめレポート、筆記試験等により総合的に評価する。
授業外における学習（予習・復習）		授業計画に沿ってテキストを予習し、講義後は、テキスト、配布資料、参考書で復習を行うこと。
教科書・参考文献等	教科書	荒賀直子・後閑容子編『第5版 公衆衛生看護学jp 』（インターメディカル、2020）ISBN9784900828810 厚生労働統計協会編『国民衛生の動向2021/2022』（厚生労働統計協会）
		厚生労働統計協会編『国民衛生の動向　2021/2022』（厚生労働統計協会）
	参考書	医療情報科学研究所編『公衆衛生がみえる2020-2021』（メディックメディア、2020） ISBN　9784896327793 他、講義の中で適宜紹介する。
	その他	特になし
連絡先・オフィスアワー		連絡先　：　中島　t-nakajima@jhsu.ac.jp　　坂巻　t-sakamaki@jhsu.ac.jp 質問・相談は、臨地実習で不在の場合がありますので、メールで予約をしてください。
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。

科目コード	12-11327
授業科目名	公衆衛生看護技術論
配当年次	4学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	選択
単位	2単位
時間数	45時間
授業形態	演習
担当教員	中島 富志子、坂巻 つや子
実務家教員	看護職:中島富志子・坂巻つや子
授業科目の概要	公衆衛生看護活動を展開する上で、保健師の中心的技術となる保健指導の基本について保健行動理論と照合しながら理解する。さらに個別的援助技術として家庭訪問・健康相談・健診後の事後指導を通して、人々の意識や認識を高める主要な方法を学習する。個人や家族のみでは健康問題解決が困難な場合があり個々の共通の課題に対して、グループの持つ力を意識的に活用し、組織化させていく能力が求められる。健康教育の理念に基づいた展開の基礎的理解をすすめ、地域全体の健康水準やQOLを高めるために必要な援助諸技術の基礎を学ぶ。
授業の到達目標	1.公衆性看護の対象となる人々の健康行動の特性と、情動・認知・行動にはたらきかける支援方法を理解できる。 2.公衆衛生看護の対象となるグループ・集団の種類や特性、支援方法を理解できる。 3.保健指導・健康相談・家庭訪問・健康教育の目的、対象、方法を理解できる。 4.対象集団の健康課題解決に向けた健康教育計画を立案し、模擬的に実施できる。 5.模擬実施への助言をもとに計画書や媒体を修正できる。
特に関連する科目	公衆衛生看護学概論、公衆衛生看護活動論、公衆衛生看護システム論、公衆衛生看護学実習、産業保健論、学校保健論、生涯発達看護論、家族看護論
授業の具体的な進め方	講義および演習により進める。 演習は健康教育展開過程を取り上げる。公衆衛生看護学実習(市町村)での実施に向け、提示された課題についての健康教育計画書をグループで作成し、発表する。発表後、自己評価およびピア評価、意見交換内容を踏まえ、健康教育計画書、媒体を修正し、実習地での実施に向け完成させる。 健康教育計画書は提出課題とする(提出方法は授業内で指示する)。 その他、毎回のリアクションペーパーの提出と、知識確認のための小テスト(5回)を行う。リアクションペーパーには、授業内容をどのように理解したか記載すること。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	5/18	水	1	中島富志子	南キャンパス101	授業ガイダンス、公衆衛生看護における技術、対人援助の基本、個別支援、集団支援
2	5/18	水	2	中島富志子	南キャンパス101	保健師の地区活動①:健康相談、保健指導の基盤となる理論
3	5/23	月	1	中島富志子	講義室4 地域在宅演習室	保健師の地区活動②:家庭訪問
4	5/23	月	2	中島富志子	講義室4 地域在宅演習室	家庭訪問事例の発表、家庭訪問演習
5	5/25	水	1	中島富志子	講義室3 地域在宅演習室	乳幼児の発育発達、健康診査
6	5/25	水	2	中島富志子	講義室3 地域在宅演習室	保健師の地区活動③:健康診査
7	5/27	金	1	中島富志子	地域在宅演習室	保健師の地区活動④:地域組織活動、グループ支援
8	5/27	金	2	中島富志子	地域在宅演習室	地域組織活動育成支援DVD視聴(45分)、レポート作成
9	6/13	月	1	坂巻つや子 中島富志子	講義室3、地域在宅演習室	乳幼児の身体計測
10	6/13	月	2	坂巻つや子 中島富志子	講義室3、地域在宅演習室	乳児の沐浴指導
11	6/15	水	1	中島富志子	中講義室2 地域在宅演習室	保健師の地区活動⑤:健康教育の特徴・方法
12	6/15	水	2	中島富志子	中講義室2 地域在宅演習室	健康教育の展開(企画、実施、評価)
13	6/17	金	1	中島富志子	地域在宅演習室	健康教育の実施(ポスターおよびパンフレットの作成)
14	6/17	金	2	中島富志子	地域在宅演習室	健康教育の実施(ポスターおよびパンフレットの発表)
15	6/20	月	1	中島富志子	講義室3 地域在宅演習室	健康教育の企画書作成(グループ別)
16	6/20	月	2	中島富志子	講義室3 地域在宅演習室	健康教育の企画書作成、No2、シナリオ作成(グループ別)
17	6/22	水	1	中島富志子 坂巻つや子	中講義室1 地域在宅演習室	健康教育媒体作成
18	6/22	水	2	中島富志子 坂巻つや子	中講義室1 地域在宅演習室	健康教育媒体作成
19	6/24	金	1	中島富志子 坂巻つや子	地域在宅演習室	健康教育媒体作成
20	6/24	金	2	中島富志子 坂巻つや子	地域在宅演習室	健康教育媒体作成
21	6/27	月	1	中島富志子 坂巻つや子	講義室4 地域在宅演習室	健康教育発表
22	6/27	月	2	中島富志子 坂巻つや子	講義室4 地域在宅演習室	健康教育発表

23	6/27	月	3	中島富志子 坂巻つや子	講義室4 地域在宅演習室	健康教育発表
成績評価方法・基準						定期試験40%、小テスト(5回)10%、提出課題(健康教育計画書、媒体案)30% 授業態度・グループワーク参加状況(課題への取組み状況、発表、質疑応答への参加を含む)20% ＊小テストは授業内に解説する。 ＊提出課題はコメントし返却する。
授業外における学習(予習・復習)						1回～16回:授業計画に沿って、教科書や参考書を用いて予習する。講義後は教科書、 配布資料、参考文献を用いた復習および保健師国家試験の過去問題を活用した知識の確認、定着を図ること。予習・復習は各回ごとに概ね60分以上必要である。 17～23回:健康教育計画書作成にあたっては、必要な資料、根拠となる情報を収集し、各自が十分準備をしてグループワークに臨むこと。演習準備には各回概ね60分以上必要である。
教科書 ・参考文献等			教科書			荒賀直子, 後閑容子編『公衆衛生看護学.jp 第5版』(インターメディカル、2020) ISBN:9784900828810
			参考書			講義の中で紹介する。
			その他			必要に応じてプリントを配布する。
連絡先・オフィスアワー						連絡先:中島 t-nakajima@jhsu.ac.jp　坂巻t-sakamaki@jhsu.ac.jp オフィスアワー:臨地実習で研究室不在の場合があります。事前連絡のうえ訪問ください。
その他						【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての(専門機関における)実務経験を活かした講義(演習)を行う。

科目コード	12-11328
授業科目名	家族看護論
配当年次	2学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	2単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	上本野 唱子、熊坂 隆行、東中須 恵子、松永 智子、佐藤 安代
実務家教員	看護職：上本野 唱子、熊坂 隆行、東中須 恵子、松永 智子、佐藤 安代
授業科目の概要	家族看護は従来の「家族ケアの取り組み」「家族の辛い立場への共感」といった患者ケアの補足的なものから、「患者の病気や入院が家族全体にどのような影響を及ぼすか」「病気をもつ家族成員を含めた家族全体のセルフケア能力に対する支援」へと積極的な関わりになり、発展してきている。家族援助は対象を含めた家族成員を全体として捉え、対象者及び家族成員の健康へのアプローチと家族機能の維持・促進にかかわるものである。家族機能の維持・促進のために必要となる家族の概念・家族看護を支援する理論及び各看護専門領域の家族看護のあり方に関する内容を中心に学習する。
授業の到達目標	1.家族と家族看護の目標について説明できる。 2.家族理解のための諸理論を活用し、家族について説明できる。 3.家族看護過程の方法、ツールについて説明できる。 4.疾患をもつ各発達課題（小児、成人、老年）にある人と精神疾患を持っている人の家族看護について説明できる。
特に関連する科目	各看護学概論・方法論
授業の具体的な進め方	家族と「家族看護」について、現代の諸事情から、また、自分自身の家族に対する考え方などからとらえ、家族員に健康障害や身体・発達障害をもった人がいる場合の、家族に対する看護を行うための基礎的な内容を小児、成人（慢性期、急性期）、老年期の各期および精神疾患を抱える家族の支援について各専門領域教員から学ぶ。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	9/27	火	1	上本野 唱子	講義室3	家族の概念と時代背景、家族看護学の発展
2	10/4	火	1	上本野 唱子	講義室3	家族理解のための諸理論（家族システム論、家族発達理論、家族ストレス対処理論等）①
3	10/11	火	1	上本野 唱子	講義室3	家族理解のための諸理論（家族システム論、家族発達理論、家族ストレス対処理論等）②
4	10/18	火	1	上本野 唱子	講義室3	家族看護における看護職の役割および援助関係
5	10/25	火	1	佐藤 安代	講義室3	急性期にある患者・家族への看護
6	11/1	火	1	上本野 唱子	講義室3	入院治療を受ける病児を持つ家族への看護①
7	11/8	火	1	上本野 唱子	講義室3	入院治療を受ける病児を持つ家族への看護②
8	11/15	火	1	上本野 唱子	講義室3	前半まとめ
9	11/22	火	1	佐藤 安代	講義室3	親（養育者）が病気になった場合の子どものへの看護
10	11/29	火	1	東中須 恵子	講義室3	精神疾患患者とその家族への地域社会生活支援①
11	12/6	火	1	東中須 恵子	講義室3	精神疾患患者とその家族への地域社会生活支援②
12	12/13	火	1	熊坂 隆行	講義室3	慢性期および終末期にある患者を抱える家族への看護①
13	12/20	火	1	熊坂 隆行	講義室3	慢性期および終末期にある患者を抱える家族への看護②
14	1/10	火	1	松永 智子	講義室3	高齢者を介護する家族①
15	1/25	火	1	松永 智子	講義室3	高齢者を介護する家族②

成績評価方法・基準		課題レポート及びテストにより、総合的に評価する。
授業外における学習（予習・復習）		既習の関連科目の学修を復習しておくこと
教科書・参考文献等	教科書	鈴木和子・渡辺裕子・佐藤律子・著『家族看護学　理論と実践　（第5版）』（日本看護協会出版会、2019）ISBN：9784818022089
	参考書	森山美知子：ファミリーナーシングプラクティスー家族看護の理論と実践医学書院 他適宜指定
	その他	
連絡先・オフィスアワー		【連絡先】研究室s-kamimotono@jhsu.ac.jp 【オフィスアワー】火曜日の授業外時間
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。

科目コード	12-11329
授業科目名	産業保健論
配当年次	4学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	2単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	片岡 ゆみ
実務家教員	看護職:片岡　ゆみ
授業科目の概要	労働と健康の関連を理解し、働く個人および集団、組織のニーズに応じて支援する方法を学ぶ。また、労働安全衛生法や産業保健に関係する法律及び通達や指針の理解、関係職種および機関の役割と連携について学ぶ。さらに、働くことによる健康障害の予防のみならず、働く人々および組織の健康課題解決のための支援のあり方について学ぶ。
授業の到達目標	1. 産業保健・産業看護に目的および定義を説明することができる。 2. 産業保健・産業看護に携わる専門職とその役割を説明することができる。 3. 近年の労働者・労働環境に関する課題のあげることができる。 4. 産業保健・産業看護の展開方法の概要を説明することができる。
特に関連する科目	公衆衛生学を基盤に、疫学・保健統計学によって集団の健康現象の分析や特定因子の査定をし、保健福祉医療行政論の背景を熟知した上で、公衆衛生看護の役割・機能を理解し、行動科学に基づき展開する。よって関連する科目は以下のとおりである。 公衆衛生学　保健統計学　疫学　保健医療福祉行政論　公衆衛生看護活動論　公衆衛生看護システム論　公衆衛生看護技術論　産業保健論　学校保健論
授業の具体的な進め方	教科書およびスライド・資料を用いて講義を行う。授業2回ごとの授業時に「確認テスト」または「ワークシート提出」を7回実施する。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	9/27	火	1	片岡 ゆみ	講義室4	産業保健・産業看護の理念と目的　産業保健活動の目的　定義　対象
2	9/27	火	2	片岡 ゆみ	講義室4	産業保健・看護の歴史　産業保健・看護の歴史
3	9/27	火	3	片岡 ゆみ	講義室4	産業保健・労働衛生の現状
4	9/27	火	4	片岡 ゆみ	講義室4	産業保健・看護の制度とシステム　労働安全衛生法　労働衛生管理体制　関連機関
5	10/4	火	1	片岡 ゆみ	講義室4	産業保健・看護活動の実際(1)　産業保健の5管理　産業看護職の職務　産業保健計画
6	10/4	火	2	片岡 ゆみ	講義室4	産業保健・看護活動の実際(2)　健康管理:健康診断、保健指導
7	10/4	火	3	片岡 ゆみ	講義室4	産業保健・看護活動の実際(3)　健康管理:健康相談　職場巡視　健康教育(労働衛生教育含む)
8	10/4	火	4	片岡 ゆみ	講義室4	産業保健における健康課題 職業性疾病　作業関連疾患　生活習慣病　過重労働　VDT作業　メンタルヘルス　リスクマネジメント
9	10/11	火	1	片岡 ゆみ	講義室4	産業保健における健康課題と対策(1)　職業性疾病　応急処置
10	10/11	火	2	片岡 ゆみ	講義室4	産業保健における健康課題と対策(2)　快適職場　VDT作業
11	10/11	火	3	片岡 ゆみ	講義室4	産業保健における健康課題と対策(3)　メンタルヘルス
12	10/11	火	4	片岡 ゆみ	講義室4	産業保健における健康課題と対策(4)　トータルヘルスプロモーションプラン(THP)　健康増進　作業関連疾患　疾病管理
13	10/18	火	1	片岡 ゆみ	講義室4	産業保健における健康課題と対策(5)　女性労働者、高齢労働者、障害者　ライフワークバランス
14	10/18	火	2	片岡 ゆみ	講義室4	産業保健における健康課題と対策(6)　小規模事業所　地域・職域連携
15	10/18	火	3	片岡 ゆみ	講義室4	産業看護の課題と展望

成績評価方法・基準		確認テストまたはワークシート×7回(授業日実施)70%、課題(レポート)30%
授業外における学習(予習・復習)		授業計画に沿って教科書を予習しておくこと。配布資料および参考書等を活用して復習(まとめ)を行うこと。
教科書・参考文献等	教科書	河野啓子著『産業看護学　第2版 2022年版』(日本看護協会出版会、2022年)ISBN:9784818023031
	参考書	池田智子編著『保健の実践科学シリーズ　産業看護学』(講談社、2016年)ISBN:9784061563179
		松田正己他,『標準保健師講座③対象別公衆衛生看護活動』(医学書院)
	その他	
連絡先・オフィスアワー		連絡先:y-kataoka@jhsu.ac.jp オフィスアワー:質問等は授業前後または、メールで対応します。
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての(企業等における)実務経験を活かした講義を行う。

科目コード	12-11330
授業科目名	学校保健論
配当年次	4学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	2単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	関 由紀子
実務家教員	看護職:関 由紀子
授業科目の概要	公衆衛生看護は、地域で生活する人々のあらゆる年齢や健康レベルに対応するため、行政機関、学校、職場などの分野の看護ニーズに応える多様な活動である。学校保健では、効果的な教育活動をすすめるために、児童・生徒に対して健康への関心を深め、健康の大切さを理解・認識させ、習得した知識・技術を自己の日常生活習慣に反映、定着させる活動に貢献する養護教諭の機能について理解する。
授業の到達目標	1. 学校保健の対象について説明できる。 2. 学童期、思春期に多く見られる健康上の課題について、児童生徒の心身の発達の特徴を踏まえながら説明できる。 3. 学校保健のしくみと学校保健活動について説明できる。 4. 学校保健に関わる専門職とその役割について説明できる。 5. 養護教諭の職務と役割について説明できる。
特に関連する科目	公衆衛生学　公衆衛生看護学概論　公衆衛生看護活動論　公衆衛生看護技術論
授業の具体的な進め方	教科書、スライド、動画を用いた講義を行う。 毎回、課題に関するミニレポートの提出を求める(ミニレポートは授業内で匿名で紹介されることがある)。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/14	木	4	関 由紀子	南キャンパス101	ガイダンス・学校保健とは(総論1)
2	4/14	木	5	関 由紀子	南キャンパス101	学校保健と学校安全(総論2)
3	4/18	月	3	関 由紀子	南キャンパス101	教科における保健の指導(各論1)
4	4/18	月	4	関 由紀子	南キャンパス101	全体への健康に関する指導・性教育(各論2)
5	4/21	木	3	関 由紀子	南キャンパス101	喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育(各論3)
6	4/21	木	4	関 由紀子	南キャンパス101	食育(各論4)
7	4/25	月	3	関 由紀子	南キャンパス101	がん教育(各論5)
8	4/25	月	4	関 由紀子	南キャンパス101	児童生徒の発育発達・疾病・異常(各論6)
9	5/9	月	3	関 由紀子	南キャンパス101	学校で注意すべき感染症(各論7)
10	5/9	月	4	関 由紀子	南キャンパス101	精神の健康・発達障害(各論8)
11	5/12	木	3	関 由紀子	南キャンパス101	自殺、いじめ、不登校(各論9)
12	5/12	木	4	関 由紀子	南キャンパス101	児童生徒の健康状態の把握と指導・障害のある児童生徒への健康上の支援(各論10)
13	5/16	月	3	関 由紀子	南キャンパス101	学校環境衛生(各論11)
14	5/16	月	4	関 由紀子	南キャンパス101	学校安全 BLSとASUKAモデル(各論12)
15	5/19	木	3	関 由紀子	南キャンパス101	救急処置(各論13)

成績評価方法・基準		最終レポート(100%)。 評価やコメントはレポートに記載し、返却する。
授業外における学習(予習・復習)		授業計画に沿って、教科書を用いて予習する。講義後は、配布資料や教科書、関連図書等を活用し復習を行うこと。予習・復習は各回ごとに概ね60分以上必要である。
教科書・参考文献等	教科書	教員養成系大学保健協議会編 『学校保健ハンドブック 第7次改訂』(ぎょうせい、2019年) ISBN : 978-4324105771
	参考書	講義の中で紹介する。
	その他	
連絡先・オフィスアワー		質問等は授業前後に対応する
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての(企業等における)実務経験を活かした講義を行う。

科目コード		12-11332
授業科目名		基礎看護学実習Ⅱ（対象に応じた援助技術の習得）
配当年次		2学年
開講時期		前期
必修・選択・自由		必修
単位		2単位
時間数		90時間
授業形態		外部実習
担当教員		近藤 誓子、江刺家 幸代、野沢 ゆかり
実務家教員		看護職：近藤誓子・江刺家幸代・野沢ゆかり
授業科目の概要		基礎看護実習Ⅰでは、実際に援助過程に参加することを通して、医療の場における看護の対象者としての人間の理解と看護の役割を学びヒューマンケアの基礎を学んだ。基礎看護実習Ⅱは、基礎看護実習Ⅰを修得した上で、ヒューマンケアの具体的な実践を学び、健康を害し入院を余儀なくされた対象者の日常生活上のニーズや健康上の課題を判断する方法を学習し、看護過程をとおして看護援助の方法と実際を学ぶ。
授業の到達目標		1. 対象とのコミュニケーションを通して、信頼関係を築く。 2. 健康障害を持つ対象に看護過程を展開する。 3. 対象に必要な援助を倫理的配慮をもって実践する。 4. 看護専門職を目指し、医療チームの一員として必要な基本的態度を身につけ、自己の課題を明らかにする。
特に関連する科目		看護学概論　コミュニケーション論　生涯発達看護論　ヘルスアセスメント　看護技術演習Ⅰ　看護技術演習Ⅱ 看護過程展開方法論　看護実践基礎論　人体構造学　人体機能学　　病態治療学　薬理学
授業の具体的な進め方		○期間　2週間 ※事前にオリエンテーションを3回行う ○場所　実習病院 ○時間　原則として午前8時30分～午後4時30分 ○方法　10日間の実習のうち、7日間は臨地、3日間は学内とする。 学生5名～6名のグループを形成し、教員1名の支援を受けながら実習を行う。 患者1名を受け持つ。受け持ち患者から情報を収集し、アセスメントを行い、必要な看護を導き出し計画を立案する。立案した計画を実践し、患者からの反応をもとに評価する。 学生相互の学びを共有する機会とするために、カンファレンスは毎日行う。 臨地実習終了後、学修の成果を報告しあう。 ＊詳しくは、配布する実習要項を参照すること
実習期間		【実習期間】 前半クラス：2022年8月22日～2022年9月2日 後半クラス：2022年9月5日～2022年9月16日 実習スケジュールにつきましては、実習要項をご覧ください。
成績評価方法・基準		4/5の出席をもって評価の対象者とする。 毎日の実習態度、行動計画記録、実施状態、様式1～8まですべての記録用紙の内容（アセスメント用紙、関連図、看護計画、看護問題、経過記録等）を評価対象とする。 基礎看護学実習Ⅱの実習目標の行動目標を評価基準とし、基礎看護学実習Ⅱ自己評価表に照らして評価する。 なお、最終記録一式が期限に遅れた場合には評価対象としない。
授業外における学習（予習・復習）		実習オリエンテーション（6月に実施予定）で、事前学修、事前の看護技術の確認について説明する。実習期間中の学習については、実習担当教員から毎日指導を受けることができる。 予習・復習の時間は毎回120分以上必要である。
教科書 ・参考文献等	教科書	岡田佳詠編著：『看護実習ポケットマニュアル』(医学書院、2021)　ISBN：9784260047890
		角濱春美・梶谷佳子：『基礎看護技術 第3版』(メヂカルフレンド社 2020)ISBN：9784839216665（1年次購入済み）
		任和子・井川順子編著：『基礎・臨床看護技術 第3版』(医学書院 2021)ISBN：9784260047906
	参考書	その都度、提示する。
	その他	
連絡先・オフィスアワー		連絡先：研究室10（2階） s-kondou@jhsu.ac.jp オフィスアワー：月曜日～木曜日 12時40分～13時30分 事前にアポイントをとってください。
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。 【先修条件】 「専門基礎系科目」における2年次前期までの必修科目、並びに「看護学専門科目」における「看護学の基本」の科目のうち、2年次前期までの必修科目の単位をすべて修得していること。

科目コード		12-11333
授業科目名		成人看護学実習 （急性期）
配当年次		3学年
開講時期		後期
必修・選択・自由		必修
単位		3単位
時間数		135時間
授業形態		実験・実習
担当教員		熊坂 隆行、佐藤 安代、棚橋 愛、赤羽根 明佳
実務家教員		看護職：熊坂 隆行、佐藤 安代、棚橋 愛、赤羽根 明佳
授業科目の概要		成人期の特性に基づき、成人の発達課題や健康レベルの理解を深め、対象の健康に関する顕在的・潜在的能力が最大限に発揮できるよう援助するための基礎的な能力を身につける。急性期看護として、クリティカルな状態にある対象の健康問題を把握し、それに適した看護を実践するための知識・技術および態度を養う。
授業の到達目標		1. 対象の特徴とそれぞれの健康特性を、身体・心理・社会の各側面から総合的に理解できる。 2. 根拠に基づき、健康上の諸問題を統合的に把握し、看護問題を見出し、看護計画を立てることができる。 3. 看護計画に沿って患者の療養生活を支援し、自己の看護実践を客観的に評価することができる。 4. 医療チームにおける看護師の役割を理解し、看護学生としてチームの中で行動することができる。
特に関連する科目		成人看護学概論　成人看護方法論Ⅰ（急性期援助論）　成人看護方法論Ⅱ（慢性期援助論）　病態治療学Ⅰ　病態治療学Ⅱ
授業の具体的な進め方		成人看護学実習要項（急性期実習）を参照
実習期間		【実習期間】2022年10月3日～2023年2月24日の期間のうち指定された15日間 実習スケジュールにつきましては、領域から配布される実習要項をご覧ください。
成績評価方法・基準		行動目標を評価基準とする。
授業外における学習（予習・復習）		成人看護方法論Ⅰ（急性期援助論）の授業の中で、事前学習について説明する。実習期間中の学習については、実習担当教員から毎日指導がある。
教科書 ・参考文献等	教科書	林直子/佐藤まゆみ編集『看護学テキストNice　成人看護学 急性期看護Ⅰ概論・周手術期看護　改訂第3版』（南江堂、2019年）　ISBN:9784524241637
	参考書	竹内登美子　編著　『講義から実習へ　高齢者と成人の周手術期看護1　外来／病棟における術前看護 第3版』（医歯薬出版、2019年）ISBN:9784263239858
		竹内登美子　編著　『講義から実習へ　高齢者と成人の周手術期看護2　術中／術後の生体反応と急性期看護 第3版』（医歯薬出版、2019年）ISBN:9784263239865
		北島泰子、中村充浩　著　『急性期実習に使える！　周術期看護ぜんぶガイド』（照林社、2020年）ISBN:9784796524988
	その他	
連絡先・オフィスアワー		各担当教員から指示される。
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。 【先修条件】 3 年前期までのすべての専門基礎系科目及びすべての看護学専門科目の単位を修得していること。

科目コード		12-11333
授業科目名		成人看護学実習　(慢性期)
配当年次		3学年
開講時期		後期
必修・選択・自由		必修
単位		3単位
時間数		135時間
授業形態		外部実習
担当教員		熊坂 隆行、工藤 久美子、重石 真宏
実務家教員		看護職:熊坂 隆行、工藤 久美子、重石 真宏
授業科目の概要		成人期の特性に基づき、成人の発達課題や健康レベルの理解を深め、対象の健康に関する顕在的・潜在的能力が最大限に発揮できるよう援助するための基礎的な能力を身につける。看護の対象は、急性期や慢性期、終末期の患者を受持ち、各経過の特徴を理解し、看護上の問題を把握し解決する。急性期看護として、周手術期の患者を対象に、身体の形態的変化と心理的反応を学び、心身の苦痛や合併症に対する予防策等を身につける。慢性期看護として、患者が自己の健康状態を認識し、セルフケア能力を促進できるように援助の実際を学ぶ。終末期看護として、患者の心理プロセスを理解した上で、身体的苦痛の緩和や心理的苦痛を受容した対応を身につけ実践する。
授業の到達目標		1. 患者の発達段階をふまえ、身体的、心理的、社会的存在として総合的に理解できる。 2. 患者の健康問題が、患者及び家族の生活に及ぼす影響について理解できる。 3. 患者の全体像を理解し、根拠に基づく健康問題の判断・看護計画立案・実施・評価ができる。 4. 患者や家族を尊重した関わりができ、援助的人間関係を発展させることができる。 5. 看護職の役割および他職種との協働について理解し表現できる。 6. 医療の現場で出会う様々な状況に対して、それぞれが考えるケアの視点から建設的な意見を述べることができる。
特に関連する科目		成人看護学概論　成人看護方法論Ⅰ(急性期援助論)　成人看護方法論Ⅱ(慢性期援助論)　基礎看護学実習Ⅰ　基礎看護学実習Ⅱ
授業の具体的な進め方		成人看護学実習要項(慢性期実習)を参照
実習期間		【実習期間】2022年9月19日～2023年3月3日の期間のうち指定された15日間 実習スケジュールにつきましては、領域から配布される実習要項をご覧ください。
成績評価方法・基準		実習中の出席状況、態度・行動、知識レベル、記録内容等で総合的に行う。
授業外における学習(予習・復習)		人を尊重する態度を養い、かかわりの中から学び成長していく態度を身につけてください。
教科書 ・参考文献等	教科書	成人看護学の講義・演習で使用した教科書・参考書および配布資料
	参考書	適宜紹介する
	その他	
連絡先・オフィスアワー		連絡先:研究室22(3階) kumasaka@jhsu.ac.jp オフィスアワー:水曜日　13:00～16:00
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての(専門機関における)実務経験を活かした講義(演習)を行う。 【先修条件】 3年前期までの専門基礎系科目及び看護学専門科目の単位を修得していること。

科目コード		12-11334
授業科目名		老年看護学実習
配当年次		3学年
開講時期		後期
必修・選択・自由		必修
単位		4単位
時間数		180時間
授業形態		実験・実習
担当教員		松永 智子、山下 知子、星野谷 優子、寺井 佳奈江
実務家教員		看護師:松永智子　山下知子　星野谷優子　寺井佳奈江
授業科目の概要		老年看護学実習では、病院、施設、地域で生活する高齢者に視点を当て実習を行います。加齢に伴う変化や健康障害により病院や施設、地域で生活する高齢者とその家族の特性を理解し、より良い生活支援に向け、高齢者のQOLの維持・向上を図る援助活動を学ぶ。実習を通して、老年看護の基礎的能力を養い、老年看護について考えを深めることができる。
授業の到達目標		1. 高齢者の加齢変化の特徴を理解できる。 2. 高齢者の特性を踏まえた適切な態度・対応を身につけることができる。 3. 様々な場で生活する高齢者の老年期の特徴や特性、持てる力を踏まえて、援助活動を展開することができる。 4. 高齢者および家族に対する地域活動支援システムについて理解する。 5. 高齢者に関わる多職種との連携・協働を理解し、看護の役割を考える。 7. 高齢者の現状を踏まえて、看護実践を振り返り、自己の老年看護観を表現することができる。
特に関連する科目		○老年看護学概論、老年看護方法論 ○老年看護学実習前提条件 老年看護学概論、老年看護方法論の単位を修得していること。
授業の具体的な進め方		○実習期間　4週間 ○実習方法　実習期間(1クール)には介護老人保健施設実習1週間、病院実習2週間、地域高齢者との交流実習1週間の実習を1グループ約5名で実習する。 ○実習場所　介護老人保健施設、病院、地域包括支援センター ○実習時間　原則として午前8時30分～午後4時 以上の内容についての詳細は授業計画および実習要項を参照すること。
実習期間		【実習期間】2022年8月29日～2023年3月3日の期間のうち指定された15日間 実習スケジュールにつきましては、領域から配布される実習要項をご覧ください。
成績評価方法・基準		○実習要項にある、自己評価項目と同じ基準で評価する。
授業外における学習(予習・復習)		○高齢社会の状況について、自己学習を行い、病院実習、介護老人保健施設実習、地域高齢者との交流実習の3種類の実習の意義を深められるよう考察していくこと。
教科書・参考文献等	教科書	北川公子他、系統看護学講座専門分野　老年看護学、医学書院、第9版、2022、ISBN:978-4-260-03186-8(前期購入済み)
		山田律子他著「生活機能から見た老年看護過程　病態・生活機能関連図」第4版(医学書院、2020年)ISBN:9784260042741(前期購入済み)
	参考書	鳥羽　研二ほか著『≪系統看護学講座 専門分野Ⅱ≫老年看護 病態・疾患論(第5版)』(医学書院、2018年)ISBN:9784260031721 亀井智子他　根拠と事故防止からみた老年看護技術　第3版(医学書院、2020年)ISBN:9784260043267
	その他	
連絡先・オフィスアワー		各週の学内日、また実習中の担当教員との連絡等で行う。
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての(専門機関における)実務経験を活かした講義(演習)を行う。 【先修条件】 3年前期までの専門基礎系科目及び看護学専門科目の単位を修得していること。

科目コード		12-11335
授業科目名		小児看護学実習
配当年次		3学年
開講時期		後期
必修・選択・自由		必修
単位		2単位
時間数		90時間
授業形態		実験・実習
担当教員		上本野 唱子、松井 貴子、飯泉 悦子
実務家教員		看護職：上本野唱子・松井貴子・飯泉悦子
授業科目の概要		小児看護の対象である様々な健康レベルにある子どもと家族を理解し、健康の回復・維持・増進していくために必要となる一般的な看護を実践する。保育所(園)では保育活動に参加しながら児の身体的・心理的及び社会的発達過程と健全な成長・発達を促進するための方法を学ぶ。病院実習では健康破綻を来した児とその家族を対象に看護過程のプロセス（情報収集・アセスメント、問題の明確化、目標及び具体策の立案）に沿って看護を展開する。
授業の到達目標		保育所実習（詳細は「実習要項」に明記する） 1.小児の成長発達過程が理解できる。 2.小児の成長・発達を促す保育方法について理解できる。 3.保育における安全管理のあり方が理解できる。 病院実習（詳細は「実習要項」で述べる） 1.小児の健康の回復、維持のために行われている治療方法を述べることができる。 2.小児の健康の回復、維持、発達を支えるための看護方法を実践できる。 3.小児の健康問題が家族に及ぼす影響について理解できる。
特に関連する科目		看護学の基本に含まれる既習の科目 小児看護学概論　小児保健　小児看護方法論　病態治療学Ⅲ
授業の具体的な進め方		保育所（園）ではクラスを受け持ち、保育士と行動をともにしながら計画を実施する。 病院実習では患児を受け持ち、患児・家族に必要な看護を実践する。 金曜日は学内で実習のまとめを行う。
実習期間		【実習期間】2022年8月29日～2023年2月17日の期間のうち指定された10日間 実習スケジュールにつきましては、領域から配布される実習要項をご覧ください。
成績評価方法・基準		出席状況、保育所(園)実習、病棟実習の達成度を併せて総合的に評価する。詳細は小児看護学実習要項を参照
授業外における学習（予習・復習）		3年次前期までに履修したすべての科目が、実習の基礎となる。
教科書 ・参考文献等	教科書	生涯発達看護論、小児看護学概論、小児保健、小児看護学方法論を基に小児看護学実習は展開されるため、最低この4科目のノートや授業資料及び演習での学びは実習に持参できるようまとめておくこと。
	参考書	小児看護学の各教科で使用した教科書・参考書および配布した資料
	その他	小児看護学概論・小児保健・小児看護方法論で作成したポートフォリオを必携すること。
連絡先・オフィスアワー		研究室25（3階上本野）：s-kamimotono@jhsu.ac.jp　オフィスアワー　水曜日 13:00～16:00 研究室16（2階松井）：t-matsui@jhsu.ac.jp　オフィスアワー　水曜日 13:00～15:00 研究室4（2階飯泉）：e-iizumi@jhsu.ac.jp　オフィスアワー　水曜日 13:00～16:00
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。 【先修条件】 3年前期までの専門基礎系科目及び看護学専門科目の単位を修得していること。

科目コード		12-11336
授業科目名		母性看護学実習
配当年次		3学年
開講時期		後期
必修・選択・自由		必修
単位		2単位
時間数		90時間
授業形態		実験・実習
担当教員		今井 充子、久保田 知子
実務家教員		看護職：今井充子、久保田知子
授業科目の概要		1. 妊娠・分娩・産褥期にある女性と新生児およびその家庭での生活を具体的にイメージし、妊産婦及び新生児の健康問題を理解する。また、妊産婦や新生児の生理的変化、親役割、家族関係の変化等に対応するための基礎的な能力を身につける。 1）周産期にある女性と新生児の心身の特徴と家族の状況を理解し、看護過程に基づき個別性のある看護を実践する能力を修得する。 2）地域における子育て支援の必要性を理解し、活動の実際を学ぶ。 2. 女性の生涯を通じた健康の保持・増進の視点から、地域社会における健康問題とそれらの解決に向けた具体的な取り組みについて学ぶ。
授業の到達目標		1.周産期にある母子の心身の特徴が理解できる。 2.周産期にある母子とその家族の生活状況が理解できる。 3.妊娠、分娩、産褥期の母子の情報、アセスメント、看護診断を記述できる。 4.看護診断に基づき、母子の健康の維持増進に向けた看護計画を記述し、実施できる。 5.実施した看護の評価を記述できる。 6.母子（父子）関係成立と家族関係促進の必要性が理解できる。 7.退院後に向けての個別的な保健指導の一部を実施できる。 8.母子保健に関する法律、社会資源について理解できる。 9.看護活動を行うための母子保健医療チームの一員としての役割と責任を自覚し、必要な連絡、報告ができる。 10.対象の安全・安楽と倫理的配慮に基づいて行動できる。 11.地域における子育て支援の必要性を理解できる。 12.地域社会における女性の健康問題の解決に向けた具体的な取り組みについて理解できる。
特に関連する科目		看護学の基本に含まれる既習の科目 母性看護学概論　母性保健　母性看護方法論　病態治療学Ⅲ
授業の具体的な進め方		1. 実習施設 ワイズレディスクリニック、茨城西南医療センター病院、獨協医科大学埼玉医療センター、羽生総合病院、子育て支援センター、With Youさいたま　他 2. 実習のすすめ方 病棟実習においては、1組の母子を受持ち看護を展開する。 子育て支援センターについては、利用者と関わり、日々の子育てを知りその看護ついて理解を深める。 With Youさいたまでは、デートDVなど女性にまつわる様々な問題の体験談に触れ、看護支援を考える。 詳細は実習要項に示す。
実習期間		【実習期間】2022年8月29日～2023年3月3日の期間のうちいずれか2週間 実習スケジュールにつきましては、実習要項をご覧ください。
成績評価方法・基準		1. 実習時間の4/5以上を出席した者を評価対象とする。 2. 看護実践場面、カンファレンス、記録内容、実習への取り組みの様子などにより総合的に評価する。 3. 実習目標の到達度は、実習評価表を用いて評価する。 4. 母性看護学教員の協議にて評価を決定する。
授業外における学習（予習・復習）		3年次前期までに履修したすべての科目が、実習の基礎となる。特に母性保健で学習した内容を中心に予習して実習に臨むこと。
教科書・参考文献等	教科書	母性看護学の各教科で使用した教科書・参考書等と配布した資料、および、各自が作成した学習ノートを常に携帯する。
	参考書	
	その他	
連絡先・オフィスアワー		今井充子：研究室6（2F） 相談時には、事前にメール(m-imai@jhsu.ac.jp)に連絡をください。 ＊m-imai-demo@jhsu.ac.jpは使用していないアドレスです。ご注意ください。
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。 【先修条件】 3年前期までの専門基礎系科目及び看護学専門科目の単位を修得していること。

科目コード		12-11337
授業科目名		精神看護学実習
配当年次		3学年
開講時期		後期
必修・選択・自由		必修
単位		2単位
時間数		90時間
授業形態		実験・実習
担当教員		東中須 恵子、菊地 淳、田中 勇気、内田 剛
実務家教員		東中須 恵子、菊地 淳、田中 勇気、内田 剛
授業科目の概要		精神科医療の臨床実践の現場に身を置くことを通して、精神科医療現場を理解する。さらに、精神障害者との直接的な関わりを通して、精神症状を理解しながら、関わりのなかでの自分のあり方(感じる力や言葉の用い方や振舞いなど)が精神看護のケアの基盤であることを理解する。また、精神看護の看護過程においては特にアセスメントの特徴を理解しつつ、精神看護における対象を理解する方法を理解する。また、精神障碍と人権擁護の視点で地域生活支援に必要なチーム医療を理解する。
授業の到達目標		1. 精神医療及び精神科看護の現状を理解する。 2. 受け持ち患者への個別的な関わりを通して、対象者を包括的に理解できる。 3. 受け持ち患者の精神状態や治療の意味を理解しセルフケア上の援助活動ができる。 4. 関わりの場面を再構成して関わりの過程で体験したことの意味を表現できる。 5. 精神障碍者の治療過程における治療環境、社会復帰や地域生活に必要な社会福祉制度を述べる事ができる。 6. 精神保健看護の対象の看護援助を通して自己の特性を理解することができる。
特に関連する科目		コミュニケーション論　心理学　精神保健　精神看護学概論　病態治療学Ⅲ　薬理学　精神看護方法論　サイコセラピーとカウンセリング 他各看護学専門科目
授業の具体的な進め方		1.　実習施設4 　大石記念病院、久喜すずのき病院、東武丸山病院、小柳病院ほか 2.　実習のすすめ方 　2週間の病棟実習において、1人の患者様を受持ち看護を展開する。詳細は実習要項に示す。
実習期間		【実習期間】2022年9月10日～2023年3月3日の期間のうち指定された10日間 時間は原則として8時30分から17時30分(学内の日は、9時30分に集合) 1週目の月曜日が祝祭日の場合は、翌日の火曜日が学内オリエンテーションとなる。 実習スケジュールにつきましては、領域から配布される実習要項をご覧ください。
成績評価方法・基準		1. 実習時間4/5以上の出席がある者を評価対象とする。 2. 評価は、看護実施場面、カンファレンス、記録内容、実習への取り組みの様子などを総合的に行う。 3. 実習目標の到達度は、実習評価表を用いて評価する。 4. 評価は担当教員のほか、最終的に精神看護学教員の協議にて決定する。
授業外における学習(予習・復習)		予習として「事前レポート」を課す。その項目は実習要項にて示す。
教科書 ・参考文献等	教科書	東中須恵子編著『看護学生のための精神看護学概論』(大学教育出版、2019)ISBN　9784866920139
		東中須恵子編著『看護学生のための精神看護学』(大学教育出版、2017)　ISBN 9784864294577
	参考書	野中浩幸ほか編『必携！ 精神看護学実習ポケットブック 増補版』(精神看護出版、2019) ISBN9784862940636
		宇佐美 しおり・鈴木 啓子著『オレムのセルフケアモデル　事例を用いた看護過程の展開[第2版]』(ヌーベルヒロカワ、2003)ISBN 978-4-902085-57-0
		萱間真美編『精神看護実習ガイド』(照林社、2007)ISBN9784796521420
		春日 武彦著『はじめての精神科』(医学書院 、2011)ISBN978-4-260-01490-8
		中井　久夫・山口　直彦著『看護のための精神医学　第2版』(医学書院、2004)ISBN978-4-260-33325-2
	その他	
連絡先・オフィスアワー		東中須 恵子　研究室12(2F)nakasu@jhsu.ac.jp　　月曜日16:30～17:30 板橋 直人　研究室32(3F)　m-itabashi@jhsu.ac.jp　月曜日 16:30～17:30 菊地 淳　研究室 2 (1F)　j-kikuchi@jhsu.ac.jp　月金曜日 16::30～17:30
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての(専門機関における)実務経験を活かした講義(演習)を行う。 【先修条件】 3年前期までの専門基礎系科目及び看護学専門科目の単位を修得していること。

科目コード		12-11338
授業科目名		公衆衛生看護学実習
配当年次		4学年
開講時期		前期
必修・選択・自由		選択
単位		5単位
時間数		225時間
授業形態		外部実習
担当教員		中島 富志子、坂巻 つや子
実務家教員		看護職：中島富志子・坂巻つや子
授業科目の概要		対象となる地域で生活する個人・家族・集団の健康問題についてアセスメントし、計画・実践・評価の過程を、資源および住民を含めて組織的に展開する活動について理解する。また、組織的展開過程に必要な基本的技術を習得すると共に、行政看護・学校保健・産業保健活動の特質や原則について実践活動から学び理解を深める。
授業の到達目標		1.保健所および市町村の役割と機能を理解できる。 2.保健所保健師および市町村保健師の役割と機能を理解できる。 3.地域の健康課題を明らかにし、解決・改善策を検討することができる。 4.個人・家族・集団・組織の健康課題にそった公衆衛生看護活動の展開方法を理解できる。 5.地域包括ケアシステムのあり方を理解することができる。
特に関連する科目		公衆衛生看護学概論、公衆衛生看護活動論、公衆衛生看護システム論、公衆衛生看護技術論
授業の具体的な進め方		1.実習施設 埼玉県内保健所および市町村保健センター 2.実習のすすめ方 学内実習（事前学習）、現地実習、学内カンファレンスからなる。詳細は実習要項に示す。
実習期間		令和4年5月30日から令和4年7月29日のうち5週間 実習スケジュールにつきましては実習要項をご覧ください。
成績評価方法・基準		事前学習状況（30%）、実習態度・実習記録（40%）、実習レポート（30%）から総合的に評価する。 最終評価は保健所実習（50%）と市町村実習（50%）を統合し評価する。
授業外における学習（予習・復習）		事前学習において、保健所管内概況把握、各保健対策の内容および関連法規の確認とまとめ、実習地域の地域診断、健康教育計画書の作成を行う。
教科書 ・参考文献等	教科書	厚生労働統計協会編『国民衛生の動向　2021/2022』（厚生労働統計協会）
		医療情報科学研究所編『公衆衛生がみえる2020-2021』（メディックメディア、2020） ISBN　9784896327793
	参考書	井伊久美子他編『新版　保健師業務要覧　第4版2021年版』（日本看護協会出版会、2020） ISBN 9784818023017
	その他	適宜紹介する。
連絡先・オフィスアワー		実習期間内の連絡先は、各担当教員から指示される。
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。 【先修条件】 3年後期までの必修科目の専門基礎系科目及び看護学専門科目の単位を修得していること。

科目コード		12-11339
授業科目名		在宅看護論実習
配当年次		3学年
開講時期		後期
必修・選択・自由		必修
単位		2単位
時間数		90時間
授業形態		実験・実習
担当教員		齊藤 敦子、小林 美奈子、増野 章子
実務家教員		看護職：小林 美奈子、齊藤敦子、増野章子
授業科目の概要		地域における保健・医療・福祉サービスの一分野としての在宅ケア、訪問看護について学び、対象が家庭で入院中と同様に治療・ケアを受け健康状態を改善し、地域社会で生きがいを持ち豊かな生活ができるための看護の知識・技術を学習する。地域における看護活動の変遷と現状、在宅看護の対象、看護と介護、訪問看護について学び、在宅看護の概念を学習する。そして、在宅看護の展開、対象者やその家族への支援の過程と方法について、学習する。さらに、保健医療福祉活動と在宅看護・地域ケア体制・福祉サービス、地域看護活動と看護の役割について理解を深める。
授業の到達目標		1. 訪問看護利用者とその家族の特性を踏まえた在宅看護の実際を理解できる。 2. 訪問看護利用者とその家族を地域で生活する人々と捉え、必要な社会資源や在宅看護を考察できる。 3. 地域包括ケアシステムを踏まえ、訪問看護師および訪問看護ステーションの役割と機能を理解できる。 4. 看護学生としての社会的役割と責任を踏まえ適切に行動できる。
特に関連する科目		在宅看護論　家族看護論　社会福祉学　関係法規　保健医療福祉行政論　看護学専門科目（看護技術演習Ⅰ、Ⅱ、成人、老年、小児、精神、公衆衛生）
授業の具体的な進め方		1. 実習期間　2週間 2. 実習施設　訪問看護ステーション 3. 実習時間　原則として午前8時30分～午後4時30分 4. 実習方法　原則として10日間のうち、6日間は臨地、4日間は学内とする。 1施設1～3名で実施する。担当教員が実習施設の指導者と連携しながら施設を巡回し指導する。 ＊詳細は実習要項に示す。
実習期間		【実習期間】2022年9月20日～2023年3月3日の期間のうち指定された10日間（2週間） 実習スケジュールにつきましては、実習要項をご覧ください。
成績評価方法・基準		評価表に基づき評価する。指導者の評価も含めて総合的に評価する。
授業外における学習（予習・復習）		事前学習として以下の内容を（詳細に）学習し、実習初日（学内）に持参して下さい。 参考文献や参考資料は、教科書や在宅看護論の資料やノートを利用して下さい。 用紙は、白色のコピー用紙やルーズリーフ、ノート等にして下さい。 必ず、学籍番号と氏名を明記して下さい。 手書きでもパソコンでも構いません。 資料のコピーは、表・図のみとして下さい。それ以外は、自分でまとめて下さい。 【事前学習内容】 1　訪問看護の概要 1）訪問看護の目的 2）訪問看護の役割・機能 3）訪問看護の特徴 4）訪問看護の対象 2　訪問看護にかかわる法制度 1）介護保険制度 2）医療保険制度 3）障害者総合支援法 4）難病法（難病の患者に対する医療等に関する法律） 5）訪問看護利用の仕組み 6）訪問看護ステーションに関する規程 7）地域包括ケアシステム 3　実習施設の概要（特徴） ホームページを参考に、併設事業・スタッフの状況・提供しているサービス・訪問地域等をまとめる。 4　実習施設に多い対象 オリエンテーション用紙を参考にその施設の利用者に多い疾患や状況（必要な看護）について学習する。 ＊概ね60分から120分の自己学習が実習期間中に毎日必要である。
教科書・参考文献等	教科書	在宅看護論と同様
	参考書	実習中に適宜、紹介する
	その他	特になし
連絡先・オフィスアワー		各週の学内日、また実習中の担当教員との連絡などで行う。
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての（専門機関における）実務経験を活かした授業を行う。 【先修条件】 3年次前期までの専門基礎系科目及び看護学専門科目の単位を修得していること。

科目コード	12-11340
授業科目名	看護教育学
配当年次	4学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	2単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	近藤 誓子
実務家教員	看護職:近藤誓子
授業科目の概要	看護師養成教育の歴史的展開と現状を学習し、看護学の発展に向けた看護師養成教育の現状と課題を明確にし、看護継続教育のあり方を考察する。また、これらの課題克服に向け実施された看護教育学研究の成果と特徴を理解し、看護教育学の体系を確認する。看護師養成教育、看護学教育の歴史的展開と法的基盤、制度を学習することにより、その現状と今後の課題、看護専門職の教育における主体的学習、自発的学習の意義と重要性を理解する。また、看護教育学研究の成果を学習し、看護教育学の体系化、発展の意義と課題を理解する。 1. 看護師養成教育、看護学教育の歴史的展開を学習することにより、看護学教育の法的基盤や制度の現状と課題を理解する。 2. 看護専門職の教育における主体的学習・自発的学習の意義と重要性を確認する。 3. 看護教育学研究の成果を学習することを通して、看護教育学の体系化、発展の意義と重要性を理解する。
授業の到達目標	1. 専門職の特徴からみた日本の看護について理解する。 2. わが国における看護教育の歴史的変遷と看護教育制度の現状を理解する。 3. 看護基礎教育カリキュラムの基本的な考え方と作成過程を理解する。 4. 看護基礎教育における効果的な授業形態(講義・演習・臨地実習)を理解する。 5. 看護基礎教育における評価を理解する。 6. 看護専門科目の授業(20分)を構築する。
特に関連する科目	教育学　心理学　社会学　看護学
授業の具体的な進め方	前半は講義を中心とした授業である。後半は授業作りのグループワークを行う。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/11	月	1	近藤誓子	南キャンパス101	ガイダンスⅠ.教育学の概念、看護教育学とは何か　Ⅱ. 専門職としての看護
2	4/11	月	2	近藤誓子	南キャンパス101	Ⅲ. 看護教育制度の歴史と現状および課題
3	4/13	水	1	近藤誓子	南キャンパス101	Ⅳ看護基礎教育カリキュラムの基本的な考え方と作成過程①
4	4/13	水	2	近藤誓子	南キャンパス101	Ⅳ看護基礎教育カリキュラムの基本的な考え方と作成過程②
5	4/18	月	1	近藤誓子	南キャンパス101	Ⅳ看護基礎教育カリキュラムの基本的な考え方と作成過程③
6	4/18	月	2	近藤誓子	南キャンパス101	Ⅴ看護基礎教育における効果的な授業形態①-講義・演習・実習-
7	4/20	水	1	近藤誓子	南キャンパス101	Ⅴ看護基礎教育における効果的な授業形態②-講義・演習・実習-
8	4/20	水	2	近藤誓子	南キャンパス101	Ⅵ授業を支える理論
9	4/25	月	1	近藤誓子	南キャンパス101	Ⅶ.授業計画立案の考え方
10	4/25	月	2	近藤誓子	南キャンパス101	Ⅷ. 評価、授業づくりオリエンテーション
11	4/27	水	1	近藤誓子	南キャンパス101	授業作り①
12	4/27	水	2	近藤誓子	南キャンパス101	授業作り②
13	5/9	月	1	近藤誓子	南キャンパス101	授業作り③
14	5/9	月	2	近藤誓子	南キャンパス101	授業作り④
15	5/11	水	2	近藤誓子	南キャンパス101	授業作り⑤、まとめ

成績評価方法・基準	授業作りの課題(20%)、授業への積極的姿勢(20%)、定期試験(60%)により、総合的に評価する。レポートについては、原則コメントし返却する。
授業外における学習(予習・復習)	予習:シラバスを確認し、学習する内容を熟読する。 復習:授業で疑問点や関心をもった内容について図書館等で調べ、配布した資料に添付する。 予習・復習には授業ごとに概ね60分以上必要です。

教科書 ・参考文献等	教科書	使用しない
	参考書	杉森みど里, 舟島なをみ『看護教育学 第7版』(医学書院、2021) ISBN:9784260047319
		平尾真智子『資料にみる日本看護教育史』(看護の科学社、1999) ISBN:4905628911
		池西静江, 石束佳子『看護教育へようこそ』(医学書院、2015) ISBN:9784260021210
		舟島なをみ『看護学教育における授業展開：質の高い講義・演習・実習の実現に向けて 第2版』(医学書院、2020) ISBN:9784260042482
		野崎真奈美他『計画・実施・評価を循環させる授業設計：看護教育における講義・演習・実習のつくり方』(医学書院、2016) ISBN:9784260023870
		田島桂子『看護学教育評価の基礎と実際 第2版』(医学書院、2009) ISBN:9784260009331
	その他	
連絡先・オフィスアワー		研究室10(2階) e-mail: s-kondou@jhsu.ac.jp オフィスアワー 月曜日～木曜日 12時40分～13時30分 事前にアポイントを取ること。
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての(専門機関における)実務経験を活かした講義(演習)を行う。

科目コード	12-11341
授業科目名	看護管理学　Aクラス
配当年次	4学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	2単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	近江谷 キヌ子
実務家教員	看護職：近江谷キヌ子
授業科目の概要	看護における管理の基本的な概念を学び、人々の多様なニーズに応じた質の高いケアを提供するための組織管理などの方法について学習する。ここでは、質の保証やリスクマネジメント、経済効率を考慮した管理方法についても触れる。さらに、今日的な医療における課題や社会情勢を看護の役割・機能の視点から分析し、将来予測されるケアニーズを明らかにするとともに、今後の看護管理の在り方を考えると共にリーダーシップについて学習を深める。
授業の到達目標	1. 看護管理の概念を理解できる。 2. 看護管理に必要な知識を習得し、将来に活用することができる。 3. マネジメント、リーダーシップなどが理解できる。 4. リスクマネジメント、災害マネジメントの知識を習得し実際に活用できる。
特に関連する科目	看護学全般
授業の具体的な進め方	基本的に教科書に沿って講義を展開、興味と理解を深めるために事例や経験を添えます。可能な限りアクティブラーニングを導入。課題に考え、意見を述べることができる思考力の強化を意識した講義の展開を心がけます。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	9/20	火	3	近江谷キヌ子	講義室4	4年次に看護管理学を学ぶ理由　講義のコンセプト　関係形成のための講師自己紹介
5	9/20	火	4	近江谷キヌ子	講義室4	第1章　看護とマネジメント　マネジメントって何？　米国の看護事情
3	9/26	月	3	近江谷キヌ子	講義室4	第2章　卒後に必要な看護ケアのマネジメント　患者の権利
4	9/26	月	4	近江谷キヌ子	講義室4	日常業務のマネジメント　セーフティマネジメント
5	10/3	月	3	近江谷キヌ子	講義室4	チーム医療　ACPとは
6	10/3	月	4	近江谷キヌ子	講義室4	第3章　看護職のキャリアマネジメント　未来のキャリアパスは！
7	10/17	月	3	近江谷キヌ子	講義室4	タイムマネジメント　ストレスマネジメント：レジリエンスを含む
8	10/17	月	4	近江谷キヌ子	講義室4	第4章　看護サービスのマネジメント　改めてサービスとは？　看護ケア提供システム
9	10/24	月	3	近江谷キヌ子	講義室4	ワーク・ライフバランスを考える
10	10/24	月	4	近江谷キヌ子	講義室4	第5章　マネジメントに必要な知識と技術　コミュニケーションとしてのアサーティブ
11	10/31	月	3	近江谷キヌ子	講義室4	リーダーシップ理論　モチベーション理論
12	10/31	月	4	近江谷キヌ子	講義室4	事例：看護管理の実際　Ⅰ　Ⅱ
13	11/7	月	3	近江谷キヌ子	講義室4	第6章　看護を取り巻く諸制度を知ることは職業人として必須です
14	11/7	月	4	近江谷キヌ子	講義室4	まとめ（1）
15	11/10	木	3	近江谷キヌ子	講義室4	まとめ（2）

成績評価方法・基準		定期試験　100%（問いに対する答えとあなたに意見を求める内容です）講義中に課題を提示、自己学習、更に講義を通して考え、実習経験などもふまえてまとめる論文形式（感想文　レポート）
授業外における学習（予習・復習）		授業前にテキストを使用し予習を行うこと（必須） 授業後、配布資料を使用し復習すること 予習復習には概ね60分必要です。
教科書・参考文献等	教科書	上泉　和子ほか著『≪系統看護学講座 統合分野≫　看護の統合と実践[1]　看護管理　（第10版）』（医学書院、2018）ISBN978426003182-0
	参考書	適宜紹介します。
	その他	
連絡先・オフィスアワー		質問等は講義の前後に非常勤講師室で対応いたします。または、教務課（kyomuns-info@jhsu.ac.jp）に送ってください。追って回答いたします。
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。

科目コード	12-11341
授業科目名	看護管理学　Bクラス
配当年次	4学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	2単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	近江谷 キヌ子
実務家教員	看護職：近江谷キヌ子
授業科目の概要	看護における管理の基本的な概念を学び、人々の多様なニーズに応じた質の高いケアを提供するための組織管理などの方法について学習する。ここでは、質の保証やリスクマネジメント、経済効率を考慮した管理方法についても触れる。さらに、今日的な医療における課題や社会情勢を看護の役割・機能の視点から分析し、将来予測されるケアニーズを明らかにするとともに、今後の看護管理の在り方を考えると共にリーダーシップについて学習を深める。
授業の到達目標	1. 看護管理の概念を理解できる。 2. 看護管理に必要な知識を習得し、活用することができる。 3. マネジメント、リーダーシップなどが理解できる。 4. リスクマネジメント、災害マネジメントの知識を習得し実際に活用できる。
特に関連する科目	看護学全般
授業の具体的な進め方	基本的に教科書に沿って講義を展開、興味と理解を深めるために事例や経験を添えます。オンラインであっても対面であっても学生が自分で考え、それを述べることができる思考力の強化を意識した講義の展開を心がけます。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	9/22	木	3	近江谷キヌ子	講義室4	4年次に看護管理学を学ぶ理由　講義のコンセプト　関係形成のための講師自己紹介
5	9/22	木	4	近江谷キヌ子	講義室4	第1章　看護とマネジメント　マネジメントって何？　米国の看護事情
3	9/29	木	3	近江谷キヌ子	講義室4	第2章　卒後に必要な看護ケアのマネジメント　患者の権利
4	9/29	木	4	近江谷キヌ子	講義室4	日常業務のマネジメント　セーフティマネジメント
5	10/6	木	3	近江谷キヌ子	講義室4	患チーム医療　ACPとは
6	10/6	木	4	近江谷キヌ子	講義室4	第3章　看護職のキャリアマネジメント　未来のキャリアパスは！
7	10/13	木	3	近江谷キヌ子	講義室4	タイムマネジメント　ストレスマネジメント：レジリエンスを含む
8	10/13	木	4	近江谷キヌ子	講義室4	第4章　看護サービスのマネジメント　改めてサービスとは？　看護ケア提供システム
9	10/20	木	3	近江谷キヌ子	講義室4	ワーク・ライフバランスを考える
10	10/20	木	4	近江谷キヌ子	講義室4	第5章　マネジメントに必要な知識と技術　コミュニケーションとしてのアサーティブ
11	10/27	木	3	近江谷キヌ子	講義室4	リーダーシップ理論　モチベーション理論
12	10/27	木	4	近江谷キヌ子	講義室4	事例：看護管理の実際　Ⅰ　Ⅱ
13	11/7	月	3	近江谷キヌ子	講義室4	第6章　看護を取り巻く諸制度を知ることは職業人として必須です
14	11/7	月	4	近江谷キヌ子	講義室4	まとめ（1）
15	11/10	木	3	近江谷キヌ子	講義室4	まとめ（2）

成績評価方法・基準		定期試験　100%（問いに対する答えとあなたに意見を求める内容です）講義中に課題を提示、自己学習、更に講義を通して考え、実習経験などもふまえてまとめる論文形式（感想文　レポート）
授業外における学習（予習・復習）		授業前にテキストを使用し予習を行うこと（必須） 授業後、配布資料を使用し復習すること 予習復習には概ね60分必要です。
教科書 ・参考文献等	教科書	上泉　和子ほか著『≪系統看護学講座 統合分野≫　看護の統合と実践[1]　看護管理　（第10版）』（医学書院、2018）ISBN9784260031820
	参考書	適宜紹介します。
	その他	
連絡先・オフィスアワー		質問等は講義の前後に非常勤講師室で対応いたします。または、教務課（kyomuns-info@jhsu.ac.jp）に送ってください。追って回答いたします。
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。

科目コード	12-11342
授業科目名	医療安全管理学
配当年次	2学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	新谷 恭子
実務家教員	看護職：新谷恭子
授業科目の概要	医療における安全の確保及び質の高い医療、看護の提供は重要な課題である。医療機関は、安全で安心な療養環境を保証するため、患者の理解を得ながら「医療安全」「患者安全」を組織的に取り組むことが求められている。 [前半]本科目に於いて学生は、安全とは何か。患者の安全とは何か。医療従事者に求められる各種法的責任などを、医療安全に関する主な動向を通して「医療における安全」とは何かを学習する。 [後半]医療事故発生時の対応や演習などを通して、医療従事者として、チームや組織で取り組む「安全」とは何かを考える。さらに、看護学生として、基礎看護自習の実習場面や医療機関の様々な場面を振り返り、医療安全全般の知識を獲得する。
授業の到達目標	1. 医療安全とは何か、看護の責務が述べられる 2. 医療安全に向けた我が国の対策と安全管理の仕組みが理解できる 3. 組織的な安全対策について述べられる 4. 医療従事者の安全の確保について述べられる 5. 世界における「患者安全」への取組みについて述べられる 6. 看護学生としての安全とは何かが述べられる
特に関連する科目	各看護学専門科目
授業の具体的な進め方	1. 教科書に即して、Power Pointで要点を示しながら進めていく。 2. 教科書にある「メディカAR」の動画を使用しながら進めていく。 3. 講義のまとめとして、教科書の学習目標に沿って、受講後レポートを記載する。 4. 第8回目で、前半のまとめと、受講後レポートを通して振り返りをする。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	9/26	月	3	新谷恭子	講義室3	医療安全を知る　概論
2	9/26	月	4	新谷恭子	講義室3	医療安全を知る　医療と法
3	10/3	月	3	新谷恭子	講義室3	医療安全を知る　失敗の確率
4	10/3	月	4	新谷恭子	講義室3	医療安全を知る　医療現場における安全管理
5	10/17	月	3	新谷恭子	講義室3	医療安全を知る　海外の医療安全
6	10/17	月	4	新谷恭子	講義室3	医療安全に関する行動　事故後の対応　医療安全と医療倫理
7	10/24	月	3	新谷恭子	講義室3	医療安全を知る 療養環境に関する安全管理①
8	10/24	月	4	新谷恭子	講義室3	医療安全を知る 療養環境に関する安全管理②
9	10/31	月	3	新谷恭子	講義室3	医療安全を知る KYT①
10	10/31	月	4	新谷恭子	講義室3	医療安全を知る KYT②
11	11/7	月	3	新谷恭子	講義室3	医療安全を知る 看護学生と医療安全
12	11/7	月	4	新谷恭子	講義室3	医療安全を知る　事故後の対応
13	11/14	月	3	新谷恭子	講義室3	医療安全について考える　患者家族から伝えたい事
14	11/14	月	4	新谷恭子	講義室3	医療安全について考える　患者家族から伝えたい事
15	11/21	月	3	新谷恭子	講義室3	まとめ

成績評価方法・基準		リアクションペーパーによる評価と定期試験
授業外における学習（予習・復習）		1）教科書や事前学習課題で予習する。特に、教科書にある「メディカAR」の動画を事前に視聴してくること 2）グループ単位での演習では、積極的に参加すること 3）授業で配布される資料、参考文献を用いて復習すること 予習、復習にはおおむね60分必要です。
教科書・参考文献等	教科書	松下 由美子ほか編『ナーシング・グラフィカ看護の統合と実践(2)　医療安全　（第3版）』（メディカ出版、2016）ISBN　9784840453851
		豊田郁子著『うそをつかいない医療』（亜紀書房、2010）ISBN 9784750514703
	参考書	ソレルキング著『ジョージィの物語 小さな女の子の死が医療にもたらした大きな変化』（英治出版 、2015）ISBN 978-4-86276-197-2
		相馬孝博、日本医療マネジメント学会著『WHO患者安全カリキュラムガイド』（メディカ出版、2013）　ISBN 9784840445245
	その他	
連絡先・オフィスアワー		授業の前後に対応する
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。

科目コード	12-11343
授業科目名	看護実践統合演習　基礎看護学
配当年次	4学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	演習
担当教員	近藤 誓子、江刺家 幸代、野沢 ゆかり
実務家教員	看護職：近藤誓子・江刺家幸代・野沢ゆかり
授業科目の概要	これまでに学んだ知識・技術を基に、対象が抱えている看護問題を明確にし、適切な看護を提供できることを目的とする。適切な看護とは、安全性を満たしたうえで、対象の個別性に適応することである。そのためには、対象の安楽性を高めるよう技術を洗練させるよう努力する姿勢を培うことが必要である。さらにその実践を支える自らの看護観を明らかにする。
授業の到達目標	1. 卒業後の看護専門職としての自分のイメージを描き、自らの課題を明確にする。 2. 看護技術を分析的に理解する方法を理解する。 3. 対象との関係を構築し、対象の安全性、安楽性を踏まえた看護を実践できるよう、 意識的に看護技術に向き合うことができる。 4. 生活者である対象の視点に立ち、看護計画を立案し実施・評価できる。 5. 自らの課題を達成できるよう、実習計画を立案できる。 6. 自己の看護観を明確にする。
特に関連する科目	下級学年で学習した専門基礎系科目　　看護学専門科目
授業の具体的な進め方	所属が決まった領域での全体講義と共に、各人が実習計画書を作成し、教員が個別指導を行う。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	5/16	月	3	近藤誓子　他	南キャンパス103	ガイダンス 1. 教員のファシリテートを受け、自らの看護技術に関する課題を明確にし、実習計画案を練る。 （基礎看護学実習、領域実習の体験を想起し、自己の価値観を明らかにする）
2	5/19	木	3	近藤誓子　他	南キャンパス103	ガイダンス 1. 教員のファシリテートを受け、自らの看護技術に関する課題を明確にし、実習計画案を練る。 （基礎看護学実習、領域実習の体験を想起し、自己の価値観を明らかにする）
3	5/26	木	3	近藤誓子　他	小講義室2	2. 実習計画書の作成（適宜教員に相談する）必要な援助技術の練習
4	6/16	木	3	近藤誓子　他	小講義室2	2. 実習計画書の作成（適宜教員に相談する）必要な援助技術の練習
5	6/16	木	4	近藤誓子　他	小講義室2	2. 実習計画書の作成（適宜教員に相談する）必要な援助技術の練習
6	6/23	木	3	近藤誓子　他	小講義室2	2. 実習計画書の作成（適宜教員に相談する）必要な援助技術の練習
7	6/23	木	4	近藤誓子　他	小講義室2	2. 実習計画書の作成（適宜教員に相談する）必要な援助技術の練習
8	6/30	木	3	近藤誓子　他	小講義室2	3. 課題別実習計画書を完成させる。（適宜教員に相談する）4. プレゼン準備
9	6/30	木	4	近藤誓子　他	小講義室2	3. 課題別実習計画書を完成させる。（適宜教員に相談する）4. プレゼン準備
10	7/21	木	2	近藤誓子　他	基礎看護演習室	5. 必要な援助技術の練習
11	未定	未定	未定	近藤誓子　他	臨地	実習計画書のプレゼンテーション（実習病院）
12	9/22	木	3	近藤誓子　他	小講義室1	6. 看護観の発表用レデュメおよび発表原稿を作成する（個人発表6分、質疑4分）
13	9/22	木	4	近藤誓子　他	小講義室1	6. 看護観の発表用レデュメおよび発表原稿を作成する（個人発表6分、質疑4分）
14	9/29	木	3	近藤誓子　他	小講義室1	発表の準備・練習発表：口演形式（個人発表6分、質疑4分）
15	9/29	木	4	近藤誓子　他	小講義室1	発表の準備・練習発表：口演形式（個人発表6分、質疑4分）

成績評価方法・基準		課題達成に向けた積極的姿勢50%、課題レポート30%、発表20%で評価する。
授業外における学習（予習・復習）		予習・復習に費やす時間は、毎回60分以上である。
教科書・参考文献等	教科書	特に指定しない。
	参考書	適宜紹介する。
	その他	
連絡先・オフィスアワー		研究室10（2階） オフィスアワー　月～木曜日 12:40～13:30
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。

科目コード	12-11343
授業科目名	看護実践統合演習　小児看護学
配当年次	4学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	演習
担当教員	上本野 唱子、松井 貴子、飯泉 悦子
実務家教員	看護職：上本野唱子・松井貴子・飯泉悦子
授業科目の概要	看護学の統合として、様々な事例を分析し、事例に適した看護の技術を実施、評価を行い、自己の看護観を明確にすることを目指す。各看護学で学んだ知識・技術をの再確認と統合により、卒業後臨床現場で活用することが出来るような看護実践能力を身につける。
授業の到達目標	1.自己の看護観を明確にする。 2.卒業後臨床現場で活用することが出来るような看護実践能力を身につける。
特に関連する科目	下級学年で学習した専門基礎系科目、看護学専門科目
授業の具体的な進め方	所属が決まった領域での全体講義と共に、各人が事例分析を行い、教員が個別指導を行う。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1回	5/10	火	1	上本野唱子・松井貴子・飯泉悦子	小児看護演習室	領域別実習の振り返り
2回	5/10	火	2	上本野唱子・松井貴子・飯泉悦子	小児看護演習室	自己の課題の明確化
3回	5/17	火	1	上本野唱子・松井貴子・飯泉悦子	小児看護演習室	分析対象となる事例の検討
4回	5/24	火	1	上本野唱子・松井貴子・飯泉悦子	小児看護演習室	事例分析
5回	5/25	水	2	上本野唱子・松井貴子・飯泉悦子	小児看護演習室	実践する技術の見い出し
6回	5/31	火	1	上本野唱子・松井貴子・飯泉悦子	小児看護演習室	実践する技術の見い出し
7回	6/7	火	1	上本野唱子・松井貴子・飯泉悦子	小児看護演習室	実践技術の具体策立案
8回	6/7	火	2	上本野唱子・松井貴子・飯泉悦子	小児看護演習室	実践技術の具体策立案
9回	6/14	火	1	上本野唱子・松井貴子・飯泉悦子	小児看護演習室	技術の実施
10回	6/14	火	2	上本野唱子・松井貴子・飯泉悦子	小児看護演習室	実施技術の評価
11回	6/28	火	1	上本野唱子・松井貴子・飯泉悦子	小児看護演習室	実施技術の評価
12回	6/28	火	2	上本野唱子・松井貴子・飯泉悦子	小児看護演習室	評価後の具体的な技術の立案（修正案）
13回	7/5	火	1	上本野唱子・松井貴子・飯泉悦子	小児看護演習室	評価後の具体的な技術の立案（修正案）
14回	7/12	火	1	上本野唱子・松井貴子・飯泉悦子	小児看護演習室	臨床看護に関する考察
15回	7/19	火	1	上本野唱子・松井貴子・飯泉悦子	小児看護演習室	考察後の自己の課題の検討

成績評価方法・基準		①課題の提出状況　②取り組みの計画性・参加度　③定期試験（レポート）を総合して評価する。
授業外における学習（予習・復習）		今までに学習した全科目が基になります。ノートを整理しまとめておきましょう。
教科書・参考文献等	教科書	各科目で使用したもの全て
	参考書	適宜指示します
	その他	特になし
連絡先・オフィスアワー		研究室25（3階上本野）：s-kamimotono@jhsu.ac.jp　オフィスアワー　水曜日 13:00～16:00 研究室16（2階松井）：t-matsui@jhsu.ac.jp オフィスアワー　水曜日13:00～15:00 研究室4（2階飯泉）：e-iizumi@jhsu.ac.jp オフィスアワー　水曜日13:00～16:00
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。

科目コード	12-11343
授業科目名	看護実践統合演習　母性看護学
配当年次	4学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	演習
担当教員	今井 充子
実務家教員	看護職：今井充子、久保田知子
授業科目の概要	看護学の統合として、様々な事例を分析し、事例に適した看護の技術を実施、評価を行い、自己の看護観を明確にすることを目指す。各看護学で学んだ知識・技術をの再確認と統合により、卒業後臨床現場で活用することが出来るような看護実践能力を身につける。
授業の到達目標	1.自己の看護観を明確にする。 2.卒業後臨床現場で活用することが出来るような看護実践能力を身につける。
特に関連する科目	下級学年で学習した専門基礎系科目　看護学専門科目
授業の具体的な進め方	所属が決まった領域での全体講義と共に、各人が事例分析を行い、教員が個別指導を行う。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/29	金	3	今井充子・久保田知子	母性演習室	領域別実習の振り返り
2	5/10	火	1	今井充子・久保田知子	母性演習室	領域別実習の振り返り
3	5/18	水	3	今井充子・久保田知子	母性演習室	自己の課題の明確化
4	5/25	水	3	今井充子・久保田知子	母性演習室	自己の課題の明確化と決定
5	6/1	水	3	今井充子・久保田知子	母性演習室	文献検索
6	6/8	水	3	今井充子・久保田知子	母性演習室	文献検索
7	6/15	水	3	今井充子・久保田知子	母性演習室	文献検索
8	6/22	水	3	今井充子・久保田知子	母性演習室	実践技術の実施手順立案
9	6/29	水	3	今井充子・久保田知子	母性演習室	技術の実施
10	7/6	水	3	今井充子・久保田知子	母性演習室	課題別実習計画作成
11	7/13	水	3	今井充子・久保田知子	母性演習室	課題別実習計画作成
12	8/8	月	1	今井充子・久保田知子	母性演習室	課題別実習成果発表
13	8/8	月	2	今井充子・久保田知子	母性演習室	課題別実習成果発表
14	8/8	月	3	今井充子・久保田知子	母性演習室	課題別実習まとめ
15	8/8	月	4	今井充子・久保田知子	母性演習室	課題別実習まとめ

成績評価方法・基準		①課題の提出状況　②取り組みの計画性・参加度　③レポートを総合して評価する。
授業外における学習（予習・復習）		既習の全ての科目が本科目の基になります。復習を行っておきましょう。
教科書・参考文献等	教科書	既習科目に使用した全ての教科書
	参考書	適宜紹介する
	その他	
連絡先・オフィスアワー		今井充子：研究室6（2F） 相談時には、事前にメール(m-imai@jhsu.ac.jp)に連絡をください。 ＊m-imai-demo@jhsu.ac.jpは使用していないアドレスです。ご注意ください。
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。

科目コード	12-11343
授業科目名	看護実践統合演習　成人看護学急性期
配当年次	4学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	演習
担当教員	熊坂 隆行、佐藤 安代、棚橋 愛
実務家教員	看護職：熊坂隆行、佐藤安代、棚橋 愛
授業科目の概要	看護学の統合として、様々な事例を分析し、事例に適した看護の技術を実施、評価を行い、自己の看護観を明確にすることを目指す。各看護学で学んだ知識・技術をの再確認と統合により、卒業後臨床現場で活用することが出来るような看護実践能力を身につける。
授業の到達目標	1.自己の看護観を明確にする。 2.卒業後臨床現場で活用することが出来るような看護実践能力を身につける。
特に関連する科目	下級学年で学習した専門基礎系科目、看護学専門科目
授業の具体的な進め方	所属が決まった領域での全体講義と共に、各人が事例分析を行い、教員が個別指導を行う。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	5/13	金	1	佐藤安代、棚橋 愛	小講義室1	領域別実習の経験をもとに事例を分析する。
2	5/13	金	2	佐藤安代、棚橋 愛	小講義室1	事例分析の結果から実践した看護の評価を行い、適切な援助計画を考案する。
3	5/13	金	3	佐藤安代、棚橋 愛	小講義室1	事例分析および看護の評価に基づいて自身の課題を明確にする。
4	5/13	金	4	佐藤安代、棚橋 愛	小講義室1	課題別実習におけるテーマを考案する。
5	5/19	木	1	佐藤安代、棚橋 愛	小講義室1	課題別実習におけるテーマに適した実習計画を立案する。(1)文献検討
6	5/19	木	2	佐藤安代、棚橋 愛	小講義室1	課題別実習におけるテーマに適した実習計画を立案する。(2)
7	5/24	火	1	佐藤安代、棚橋 愛	小講義室1	課題別実習におけるテーマに適した実習計画を立案する。(3)
8	5/24	火	2	佐藤安代、棚橋 愛	小講義室1	課題別実習に必要な事前学習内容を検討する。(1)文献検討
9	5/26	木	1	佐藤安代、棚橋 愛	小講義室1	課題別実習に必要な事前学習内容を検討する。(2)
10	5/26	木	2	佐藤安代、棚橋 愛	小講義室1	課題別実習に必要な事前学習内容を検討する。(3)
11	5/26	木	3	佐藤安代、棚橋 愛	小講義室1	課題別実習の事前学習課題を明確にする。(1)
12	5/26	木	4	佐藤安代、棚橋 愛	小講義室1	課題別実習の事前学習課題を明確にする。(2)
13	6/2	木	1	佐藤安代、棚橋 愛	小講義室1	課題別実習の事前学習課題を明確にする。(3)
14	6/2	木	2	佐藤安代、棚橋 愛	小講義室1	グループ内で課題別実習計画および事前学習内容を発表する。(1)
15	6/2	木	3	佐藤安代、棚橋 愛	小講義室1	グループ内で課題別実習計画および事前学習内容を発表する。(2)

成績評価方法・基準		①出席率　②授業態度・参加度　③実習計画書・レポートを総合して評価する。
授業外における学習（予習・復習）		領域別実習の経験に基づく各自の課題、課題別実習のテーマ、課題別実習計画について事前準備を行う。また、課題別実習に必要な事前学習を行う。
教科書・参考文献等	教科書	授業の中で紹介する。
	参考書	授業の中で紹介する。
	その他	課題テーマに関連した研究論文等を紹介する。
連絡先・オフィスアワー		連絡先：佐藤安代　研究室4（2階）y-satou@jhsu.ac.jp 棚橋 愛　研究室21（2階）a-tanahashi@jhsu.ac.jp オフィスアワー：メールにて連絡ください。調整しましょう。
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。

科目コード	12-11343
授業科目名	看護実践統合演習　成人看護学慢性期
配当年次	4学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	演習
担当教員	熊坂 隆行、工藤 久美子
実務家教員	看護師：熊坂隆行・工藤久美子
授業科目の概要	看護学の統合として、様々な事例を分析し、事例に適した看護の技術を実施、評価を行い、自己の看護観を明確にすることを目指す。各看護学で学んだ知識・技術をの再確認と統合により、卒業後臨床現場で活用することが出来るような看護実践能力を身につける。
授業の到達目標	1.自己の看護観を明確にする。 2.卒業後臨床現場で活用することが出来るような看護実践能力を身につける。
特に関連する科目	下級学年で学習した専門基礎系科目、看護学専門科目
授業の具体的な進め方	所属が決まった領域での全体講義と共に、各人が事例分析を行い、教員が個別指導を行う。 必要に応じて、Google　classroom　を利用した遠隔配信授業を行う。音声やスライド、動画を見ながら進めてください。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	5/27	金	1	熊坂隆行、工藤久美子	成人看護演習室	領域別実習の振り返り
2	5/27	金	2	熊坂隆行、工藤久美子	成人看護演習室	自己の課題の明確化
3	6/3	金	1	熊坂隆行、工藤久美子	成人看護演習室	事例検討(1)白血病
4	6/3	金	2	熊坂隆行、工藤久美子	成人看護演習室	事例検討(2)
5	6/10	金	1	熊坂隆行、工藤久美子	成人看護演習室	事例検討(3)
6	6/10	金	2	熊坂隆行、工藤久美子	成人看護演習室	事例検討(4)
7	6/17	金	1	熊坂隆行、工藤久美子	成人看護演習室	事例検討(5)
8	6/17	金	2	熊坂隆行、工藤久美子	成人看護演習室	事例検討(6)
9	6/24	金	1	熊坂隆行、工藤久美子	成人看護演習室	事例検討(7)
10	6/24	金	2	熊坂隆行、工藤久美子	成人看護演習室	事例検討(8)
11	7/1	金	1	熊坂隆行、工藤久美子	成人看護演習室	事例検討(9)
12	7/1	金	2	熊坂隆行、工藤久美子	成人看護演習室	事例検討(10)
13	7/8	金	1	熊坂隆行、工藤久美子	成人看護演習室	まとめ(1)
14	7/8	金	2	熊坂隆行、工藤久美子	成人看護演習室	まとめ(2)
15	7/15	金	1	熊坂隆行、工藤久美子	成人看護演習室	まとめ(3)

成績評価方法・基準		課題レポート(50%)、授業毎レポート(50%)により、総合的に評価する。 ＊レポートについては、コメントし返却する。
授業外における学習（予習・復習）		授業計画に沿って配布資料で予習し、講義後は、講義で配布される資料、参考文献を用いて復習をおこなうこと。予習・復習には講義ごとに概ね60分以上必要である。
教科書・参考文献等	教科書	成人看護学の講義・演習で使用した教科書・参考書および配布資料
	参考書	適宜紹介する
	その他	
連絡先・オフィスアワー		連絡先：研究室22（3階）　kumasaka@jhsu.ac.jp オフィスアワー：水曜日 13:00～16:00
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。

科目コード	12-11343
授業科目名	看護実践統合演習　老年看護学
配当年次	4学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	演習
担当教員	松永 智子、山下 知子、星野谷 優子
実務家教員	看護職：松永智子・山下知子・星野谷優子
授業科目の概要	看護学の統合として、様々な事例を分析し、事例に適した看護の技術を実施、評価を行い、自己の看護観を明確にすることを目指す。各看護学で学んだ知識・技術の再確認と統合により、卒業後臨床現場で活用することが出来るような看護実践能力を身につける。
授業の到達目標	1.自己の看護観を明確にする。 2.卒業後臨床現場で活用することが出来るような看護実践能力を身につける。
特に関連する科目	下級学年で学習した専門基礎系科目、看護学専門科目
授業の具体的な進め方	所属が決まった領域での全体講義と共に、各人がこれまでの実習の事例分析を行い、教員が個別指導を行う。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	5/13	金	3	松永智子・山下知子・星野谷優子	老年演習室	老年看護学実習の振り返り
2	5/26	木	3	松永智子・山下知子・星野谷優子	中講義室1	自己の課題の明確化①　（これまでの老年看護学実習を振り返り、習得した看護の知識・技術をベースに、課題別実習で取り組みたい自己の課題のテーマを設定する。）
3	6/2	木	3	松永智子・山下知子・星野谷優子	中講義室1	自己の課題の明確化②（これまでの老年看護学実習を振り返り、習得した看護の知識・技術をベースに、課題別実習で取り組みたい自己の課題のテーマを設定する。）
4	6/7	火	3	松永智子・山下知子・星野谷優子	中講義室1	実習計画の立案①（担当教員の決定。各担当教員の指導のもと、これまで習得した看護の知識・技術をベースに、課題別実習で取り組みたい自己の課題のテーマに沿って、実習計画を立案する。）
5	6/14	火	3	松永智子・山下知子・星野谷優子	中講義室1	実習計画の立案② 個人指導　（これまで習得した看護の知識・技術をベースに、課題別実習で取り組みたい自己の課題のテーマに沿って、実習計画を立案する。具体的な計画を立てるため、文献検索等を行い、実習方法を検討する。）
6	6/14	火	4	松永智子・山下知子・星野谷優子	中講義室1	実習計画の立案③ 個人指導　（これまで習得した看護の知識・技術をベースに、課題別実習で取り組みたい自己の課題のテーマに沿って、実習計画を立案する。具体的な計画を立てるため、文献検索等を行い、実習方法を検討する。）
7	6/16	木	4	松永智子・山下知子・星野谷優子	中講義室2	実習計画の立案④　個人指導　（これまで習得した看護の知識・技術をベースに、課題別実習で取り組みたい自己の課題のテーマに沿って、具体的な実習計画を立案する。）
8	6/21	火	3	松永智子・山下知子・星野谷優子	老年演習室	実習計画の立案⑤　個人指導　（具体的な実習計画、評価・記録）
9	6/23	木	4	松永智子・山下知子・星野谷優子	中講義室2	実習計画の立案⑥　個人指導　（具体的な実習計画、評価・記録）
10	6/28	火	3	松永智子・山下知子・星野谷優子	老年演習室	課題実習の準備(技術演習含む)
11	6/28	火	4	松永智子・山下知子・星野谷優子	老年演習室	課題実習の準備(技術演習含む)
12	7/1	金	3	松永智子・山下知子・星野谷優子	老年演習室	課題実習の準備(技術演習含む)
13	7/8	金	1	松永智子・山下知子・星野谷優子	中講義室1	発表準備資料作成
14	7/8	金	2	松永智子・山下知子・星野谷優子	中講義室1	発表準備資料作成
15	7/14	木	3	松永智子・山下知子・星野谷優子	中講義室1	発表会

成績評価方法・基準		①出席率　②授業態度・参加度　③レポートを総合して評価する。
授業外における学習（予習・復習）		
教科書・参考文献等	教科書	特に使用しない
	参考書	老年看護学概論、老年看護学方法論で使用したテキスト それぞれの事例分析に必要な看護理論 それぞれの事例の先行研究論文等
	その他	積極的、主体的に学んで欲しい。教員との約束時間を厳守すること。
連絡先・オフィスアワー		連絡先：研究室11　t-matsunaga@jhsu.ac.jp オフィスアワー：火曜日　16：45～17：45
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。

科目コード	12-11343
授業科目名	看護実践統合演習　精神看護学
配当年次	4学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	演習
担当教員	東中須 恵子、菊地 淳、田中勇気
実務家教員	看護職：東中須 恵子、菊地 淳、田中勇気
授業科目の概要	看護学の統合として、様々な事例を分析し、事例に適した看護の技術を実施、評価を行い、自己の看護観を明確にすることを目指す。各看護学で学んだ知識・技術の再確認と統合により、卒業後臨床現場で活用することが出来るような看護実践能力を身につける。
授業の到達目標	1.自己の看護観を明確にする。 2.卒業後臨床現場で活用することが出来るような看護実践能力を身につける。
特に関連する科目	下級学年で学習した専門基礎系科目、看護学専門科目
授業の具体的な進め方	看護研究で学修した知識を活用し、研究のプロセスを習得するとともに課題別実習のテーマを明らかにすることができる。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	6/23	木	4	東中須恵子・菊地淳・田中勇気	中講義室1	ガイダンス
2	6/28	火	3	東中須恵子・菊地淳・田中勇気	中講義室1	領域別実習の振り返り
3	6/28	火	4	東中須恵子・菊地淳・田中勇気	中講義室1	自己の課題の明確化
4	6/30	木	2	東中須恵子・菊地淳・田中勇気	中講義室1	自己の課題の明確化
5	6/30	木	3	東中須恵子・菊地淳・田中勇気	中講義室1	自己の実習テーマを決定する：情報収集
6	6/30	木	4	東中須恵子・菊地淳・田中勇気	中講義室1	自己の実習テーマを決定する：情報収集
7	7/5	火	2	東中須恵子・菊地淳・田中勇気	中講義室1	実習テーマに沿って実習計画を作成する
8	7/5	火	3	東中須恵子・菊地淳・田中勇気	中講義室1	実習テーマに沿って実習計画を作成する
9	7/5	火	4	東中須恵子・菊地淳・田中勇気	中講義室1	実習テーマに沿って実習計画を作成する
10	7/7	木	2	東中須恵子・菊地淳・田中勇気	中講義室1	実習テーマに沿って実習計画を作成する
11	7/7	木	3	東中須恵子・菊地淳・田中勇気	中講義室1	課題別実習計画発表準備
12	7/7	木	4	東中須恵子・菊地淳・田中勇気	中講義室1	課題別実習計画発表
13	7/12	火	2	東中須恵子・菊地淳・田中勇気	中講義室1	課題別実習に向けて準備：臨地でのプレゼンテーション等
14	7/12	火	3	東中須恵子・菊地淳・田中勇気	中講義室1	課題別実習成果・自己の看護観発表準備
15	7/12	火	4	東中須恵子・菊地淳・田中勇気	中講義室1	課題別実習成果・自己の看護観発表

成績評価方法・基準		課題学習態度（70%）　課題の成果（40%）
授業外における学習（予習・復習）		1. 自己の課題を明確にするために3年次実習体験の振り返り。 2. 研究的視点を持つためにも課題に関する資料や文献を読みこなすことが重要。 3. 既習の学習に関して復習が必要。
教科書・参考文献等	教科書	・東中須恵子著『看護学生のための精神看護学 改訂版』（大学教育出版、2020）ISBN:9784866920603
		・東中須恵子著『看護学生のための精神看護学概論 第2版』（大学教育出版、2019）ISBN:978-4-86692-013-9
	参考書	・野中浩幸ほか『必携！ 精神看護学実習ポケットブック 増補版』（精神看護出版、2014）ISBN:9784862940520
		・宇佐美 しおりほか『オレムのセルフケアモデル：事例を用いた看護過程の展開 第2版』（ヌーベルヒロカワ、2003）ISBN:4902085577
		・萱間真美『精神看護実習ガイド（パーフェクト臨床実習ガイド）』（照林社、2007）ISBN:9784796521420
		・春日武彦『はじめての精神科 第3版』（医学書院、2020）ISBN:9784260042352
		・中井久夫ほか『看護のための精神医学 第2版』（医学書院、2004）ISBN:4260333259
		・坂田三允『心を病む人の生活をささえる看護』（中央法規、2018）ISBN:9784805856598
	その他	特になし
連絡先・オフィスアワー		東中須 恵子　連絡先：研究室12（2階）　メールアドレス：nakasu@jhsu.ac.jp オフィスアワー：月曜日16:30～17:30 菊地 淳　連絡先：研究室 9（2階）　メールアドレス：j-kikuchi@jhsu.ac.jp オフィスアワー：月曜日 16:：30～17：30 田中　勇気　連絡先：研究室 5（2階）　メールアドレス：y-tanaka@jhsu.ac.jp オフィスアワー：月曜日16:30～17:30
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。

科目コード	12-11343
授業科目名	看護実践統合演習　在宅看護論
配当年次	4学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	演習
担当教員	増野 章子、小林 美奈子、齊藤 敦子
実務家教員	看護職：小林美奈子　齊藤敦子　増野章子
授業科目の概要	看護学の統合として、様々な事例を分析し、事例に適した看護の技術を実施、評価を行い、自己の看護観を明確にすることを目指す。各看護学で学んだ知識・技術をの再確認と統合により、卒業後臨床現場で活用することが出来るような看護実践能力を身につける。
授業の到達目標	1.既習学習の知識や臨地実習で体験したことを通して、自らの課題を明確にできる。 2.課題別実習の目標を設定することができる。 3.課題別実習の目標を達成するための実習計画を具体的に立案できる。 4.自己の看護実践を論理的にまとめ発表できる。 5.現段階における自己の看護観を明確にできる。
特に関連する科目	下級学年で学習した専門基礎系科目、看護学専門科目
授業の具体的な進め方	所属が決まった領域での全体講義と共に、各人が事例分析を行い、教員が個別指導を行う。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	7/8	金	2	小林美奈子 齊藤敦子 増野章子	小講義室1	ガイダンス：演習の流れ　領域別実習の振り返り
2	7/13	水	2	小林美奈子 齊藤敦子 増野章子	小講義室1	自己課題の明確化
3	7/20	水	3	小林美奈子 齊藤敦子 増野章子	小講義室1	実習計画の立案（1）
4	7/20	水	4	小林美奈子 齊藤敦子 増野章子	小講義室1	実習計画の立案（2）
5	7/27	水	3	小林美奈子 齊藤敦子 増野章子	小講義室1	実習計画の立案（3）個人指導
6	7/27	水	4	小林美奈子 齊藤敦子 増野章子	小講義室1	実習計画の立案（4）個人指導
7	8/3	水	3	小林美奈子 齊藤敦子 増野章子	小講義室1	実習計画の立案（5）発表
8	8/3	水	4	小林美奈子 齊藤敦子 増野章子	小講義室1	実習計画の立案（6）修正
9	8/10	水	2	小林美奈子 齊藤敦子 増野章子	小講義室1	実習施設での実習計画説明と調整
10	9/5	月	2	小林美奈子 齊藤敦子 増野章子	在宅演習室	実践の整理：レポートの作成（1）
11	9/7	水	2	小林美奈子 齊藤敦子 増野章子	在宅演習室	実践の整理：レポートの作成（2）
12	9/12	月	3	小林美奈子 齊藤敦子 増野章子	在宅演習室	実践の整理：レポートの作成（3）
13	9/12	月	4	小林美奈子 齊藤敦子 増野章子	在宅演習室	実践の整理：レポートの作成（4）
14	9/14	水	2	小林美奈子 齊藤敦子 増野章子	在宅演習室	発表：実践からの学び(看護観を含む)
15	9/15	木	2	小林美奈子 齊藤敦子 増野章子	在宅演習室	まとめ

成績評価方法・基準		授業態度、レポート等を総合して評価する。
授業外における学習（予習・復習）		・自己の課題の明確化、実習計画立案、実践の整理といった各授業内容において、文献検索と検討を自主的にすすめる必要がある。
教科書・参考文献等	教科書	教科書は使用しない。授業計画に基づいて資料提供をする。
	参考書	適宜紹介する
	その他	特になし
連絡先・オフィスアワー		小林美奈子 研究室15（2階）m-kobayashi@jhsu.ac.jp　水曜日 13:00～16:00 齊藤 敦子　研究室20（2階）at-saitou@jhsu.ac.jp　水曜日 13:00～16:00 増野 章子　研究室18（2階）a-mashino@jhsu.ac.jp　水曜日 13:00～16:00
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。

科目コード	12-11343
授業科目名	看護実践統合演習　公衆衛生看護学
配当年次	4学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	演習
担当教員	中島 富志子、坂巻 つや子
実務家教員	看護職：中島 富志子、坂巻 つや子
授業科目の概要	看護学の統合として、様々な事例を分析し、事例に適した看護の技術を実施、評価を行い、自己の看護観を明確にすることを目指す。各看護学で学んだ知識・技術をの再確認と統合により、卒業後臨床現場で活用することが出来るような看護実践能力を身につける。
授業の到達目標	1.自己の看護観を明確にする。 2.卒業後臨床現場で活用することが出来るような看護実践能力を身につける。
特に関連する科目	下級学年で学習した専門基礎系科目、看護学専門科目
授業の具体的な進め方	ヘルスプロモーション（地域の健康づくり）を展開するために、領域別、疾病別等の区分ごとに、保健師としての実践能力を高めるための事例検討を行う。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	10/19	水	1	中島富志子	講義室4	演習ガイダンス、ヘルスプロモーション（地域の健康づくり）母子保健・子育て支援における事例
2	10/24	月	1	中島富志子	講義室4	ヘルスプロモーション（地域の健康づくり）母子保健・子育て支援における事例
3	10/24	月	2	中島富志子	講義室4	ヘルスプロモーション（地域の健康づくり）成人保健・生活習慣病予防における事例
4	10/31	月	1	中島富志子	講義室4	ヘルスプロモーション（地域の健康づくり）成人保健・生活習慣病予防における事例
5	10/31	月	2	中島富志子	講義室4	ヘルスプロモーション（地域の健康づくり）高齢者保健・介護予防における事例
6	11/7	月	1	中島富志子	講義室4	ヘルスプロモーション（地域の健康づくり）高齢者保健・介護予防おける事例
7	11/7	月	2	中島富志子	講義室4	健康上のリスクを抱える人々への保健活動（精神保健）の事例
8	11/14	月	1	中島富志子	講義室4	健康上のリスクを抱える人々への保健活動（精神保健）の事例
9	11/14	月	2	坂巻つや子	講義室4	健康上のリスクを抱える人々への保健活動（難病保健）の事例
10	11/21	月	1	坂巻つや子	講義室4	健康上のリスクを抱える人々への保健活動（難病保健）の事例
11	11/21	月	2	坂巻つや子	講義室4	健康上のリスクを抱える人々への保健活動（結核療養者患者）の事例
12	11/28	月	1	坂巻つや子	講義室4	健康上のリスクを抱える人々への保健活動（結核療養者患者）の事例
13	11/28	月	2	中島富志子	講義室4	健康上のリスクを抱える人々への保健活動（健康危機管理）の事例
14	12/5	月	1	中島富志子	講義室4	健康上のリスクを抱える人々への保健活動（健康危機管理）の事例
15	12/5	月	2	中島富志子	講義室4	地域における保健師の保健活動

成績評価方法・基準		①出席率　②授業態度・参加度　③確認テストを総合して評価する。
授業外における学習（予習・復習）		各看護学領域の担当教員から指示される。
教科書・参考文献等	教科書	荒賀直子・後閑容子編『第5版 公衆衛生看護学jp 』（インターメディカル、2020）ISBN9784900828810
	参考書	保健師業務要欄第4版2021年度　学校看護学　産業看護学　公衆衛生がみえる2020-2021
	その他	
連絡先・オフィスアワー		連絡先 ： 中島　t-nakajima@jhsu.ac.jp　坂巻　t-sakamaki@jhsu.ac.jp 質問・相談は、メールにて事前にアポイントをとるようにしてください。
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての（専門機関における）実務経験を想定した講義（演習）を行う。

科目コード		12-11344
授業科目名		課題別実習　基礎看護学
配当年次		4学年
開講時期		前期
必修・選択・自由		必修
単位		2単位
時間数		90時間
授業形態		実験・実習
担当教員		近藤 誓子、江刺家 幸代、野沢 ゆかり
実務家教員		看護職：近藤誓子・江刺家幸代・野沢ゆかり
授業科目の概要		本科目は、これまで学んだ看護に必要な知識・技術を統合し、科学的根拠に基づいた看護を実践できるよう取り組む実習である。中でも、これまでの看護実践の振り返りから得られた看護技術に対する自身の考え方と向き合い、より安全性、安楽性を高めようとする視点に立って、専門職者としての看護技術観を深める。さらに自己研鑽を続けることができるような看護観の獲得を目指していく。
授業の到達目標		1. 受け持ち患者の看護過程を展開する。 2. 立案した看護計画の看護技術について、科学的に説明し実践する。 3. 受け持ち患者への実践過程を論述することができる。 4. 看護専門職者としての基本的態度を身につける。
特に関連する科目		下級学年で学修した専門基礎系科目　　看護学専門科目
授業の具体的な進め方		1. 学生各自事前学修を行い、自己の課題を明確にする。 2. 課題達成のための実習計画を立案し、担当教員の指導を受ける。 3. 対象の状況を把握し、問題解決のためのケア計画を立案する。 4.　実習記録：実習に必要な記録等は領域指定の用紙を使用する。ただし、学生が様式等を考え使用する事は可能である。 5.　課題を実践し、評価を行う。 6.　実践を整理し、担当教員の指導を受け、レポートにまとめる。 7. 課題報告会：実習した課題をまとめ、分かりやすいプレゼンテーション内容、方法、資料を作成し、口頭または紙上発表する。 8. レポートを通して自己の看護観を明確にする。
実習期間		【実習期間】2022年7月25日～2022年8月5日 実習スケジュールにつきましては、領域から配布される資料をご覧ください。
成績評価方法・基準		実習目標を評価基準として評価する。出席状況を含む実習状況、実習記録、学内の課題発表とレポートにより評価する。
授業外における学習（予習・復習）		自身が実践する技術については、個別性を考えた看護が実施できるようにも対象の病態や現在置かれている状況について文献を調べたり、練習に臨む。授業外における学習時は、 毎日120分以上を必要とする。
教科書 ・参考文献等	教科書	岡田佳詠編著：『看護実習ポケットマニュアル』(医学書院、2021)　ISBN：9784260047890
	参考書	必要時、学生に紹介する
	その他	
連絡先・オフィスアワー		研究室10（2階） e-mail:　s-kondou@jhsu.ac.jp オフィスアワー　　月曜日～木曜日　12時40分～13時30分。 事前にアポイントを取ること。
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。 【先修条件】 3年後期までの必修科目の専門基礎系科目及び看護学専門科目の単位を修得していること。

科目コード		12-11344
授業科目名		課題別実習　小児看護学
配当年次		4学年
開講時期		前期
必修・選択・自由		必修
単位		2単位
時間数		90時間
授業形態		実験・実習
担当教員		上本野 唱子、松井 貴子、飯泉 悦子
実務家教員		看護職：上本野 唱子、松井 貴子、飯泉 悦子
授業科目の概要		学生自らの課題意識と、看護学専門分野での実習に基づき、看護実践に即した自主的、自立的に臨地実習を計画、実施、評価する体験によって、これまでの学びを統合し、看護実践を通して看護学への洞察を深め、論理的思考を用いた表現力を養う。
授業の到達目標		1）文献学習及び既に臨地実習で体験したことを通して、自己の課題を明確にする。 2）実習目標を各自で設定する。 3）選定した看護課題に関する実践が可能な実習計画を具体的に立案する。 4）臨床・地域看護における実践を通して課題を追求していく。 5）看護実践の評価を通して、看護の専門性及び科学性を考察する。 6）発表を通して、学生間の学びを共有し、他の学生の考え方を学ぶ。 7）実践を論理的に整理することができる。
特に関連する科目		下級学年で学習した専門基礎系科目、看護学専門科目
授業の具体的な進め方		1）学生各自事前学習を行い、自己の課題を明確にする。 2）課題達成のための実習計画を立案し、担当教員の指導を受ける。 3）実習施設を決定する。 4）対象の状況を把握し、問題解決のためのケア計画を立案する。 5）実習記録：実習に必要な記録等は、学生が様式等を考え行う。 6）課題を実践し、評価を行う。 7）実践を整理し、担当教員の指導を受け、レポートにまとめる。 8）課題報告会：実習した課題をまとめ、分かりやすいプレゼンテーション内容、方法、資料を作成し、口頭または紙上発表する。 9）レポートを通して自己の看護観を明確にする。
実習期間		【実習期間】2022年8月29日～2022年9月9日 実習スケジュールにつきましては、領域から配布される資料をご覧ください。
成績評価方法・基準		学生と各専任教員が調整・設定した実習目標達成度を実習評価基準を用いて評価する。学生の自己評価及び指導者によって行う。出席状況を含む実習状況、実習記録、学内の課題発表とレポートにより評価する。
授業外における学習（予習・復習）		今までに学習した科目全てが基盤になるため、ノートを整理しまとめておくこと。
教科書・参考文献等	教科書	特になし
	参考書	特になし
	その他	特になし
連絡先・オフィスアワー		研究室25（3階上本野）：s-kamimotono@jhsu.ac.jp　オフィスアワー　水曜日 13:00～16:00 研究室16（2階松井）：t-matsui@jhsu.ac.jp オフィスアワー　水曜日13:00～15:00 研究室4　（2階飯泉）：e-iizumi @jhsu.ac.jp オフィスアワー　水曜日13:00～16:00
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。 【先修条件】 3年後期までの必修科目の専門基礎系科目及び看護学専門科目の単位を修得していること。

科目コード		12-11344
授業科目名		課題別実習　母性看護学
配当年次		4学年
開講時期		前期
必修・選択・自由		必修
単位		2単位
時間数		90時間
授業形態		実験・実習
担当教員		今井 充子、久保田 知子
実務家教員		看護職：今井充子、久保田知子
授業科目の概要		学生自らの課題意識と、看護学専門分野での実習に基づき、看護実践に即した自主的、自立的に臨地実習を計画、実施、評価する体験によって、これまでの学びを統合し、看護実践を通して看護学への洞察を深め、論理的思考を用いた表現力を養う。
授業の到達目標		1）文献学習および既に臨地実習で体験したことを通して、自己の課題を明確にする。 2）実習目標を各自で設定する。 3）選定した看護課題に関する実践が可能な実習計画を具体的に立案する。 4）臨床・地域看護における実践を通して課題を追求していく。 5）看護実践の評価を通して、看護の専門性及び科学性を考察する。 6）発表を通して学生間の学びを共有し、他の学生の考え方を学ぶ。 7）実践を論理的に整理することができる。
特に関連する科目		下級学年で学習した専門基礎系科目、看護学専門科目
授業の具体的な進め方		1）学生各自が事前学習を行い、自己の課題を明確にする。 2）課題達成のための実習計画を立案し、担当教員の指導を受ける。 3）実習施設を決定する。 4）対象の状況を把握し、問題解決のためのケア計画を立案する。 5）実習記録：実習に必要な記録等は、学生が様式等を考え行う。 6）課題を実践し、評価を行う。 7）実践を整理し、担当教員の指導を受け、レポートにまとめる。 8）課題報告会：実習した課題をまとめ、分かりやすいプレゼンテーション内容、方法、資料を作成し、口頭または紙上発表する。 9）レポートを通して自己の看護観を明確にする。
実習スケジュール		【実習期間】7月25日（月）～8月5日（金） 実習スケジュールにつきましては、領域から配布される資料をご覧ください。
成績評価方法・基準		学生と各専任教員が調整・設定した実習目標達成度を実習評価基準を用いて評価する。学生の自己評価および指導者によって行う。出席状況を含む実習状況、実習記録、学内の課題発表とレポートにより評価する。
授業外における学習（予習・復習）		今までに学習した科目全てが基盤になるため、ノートを整理しまとめておくこと。
教科書・参考文献等	教科書	既習科目に使用した全ての教科書
	参考書	適宜紹介する
	その他	
連絡先・オフィスアワー		今井充子：研究室6（2F） 相談時には、事前にメール(m-imai@jhsu.ac.jp)に連絡をください。 ＊m-imai-demo@jhsu.ac.jpは使用していないアドレスです。ご注意ください。
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。 【先修条件】 3年後期までの必修科目の専門基礎系科目及び看護学専門科目の単位を修得していること。

科目コード		12-11344
授業科目名		課題別実習　成人看護学急性期
配当年次		4学年
開講時期		前期
必修・選択・自由		必修
単位		2単位
時間数		90時間
授業形態		実験・実習
担当教員		熊坂 隆行、佐藤 安代、棚橋 愛
実務家教員		看護職　熊坂 隆行、佐藤安代、棚橋 愛
授業科目の概要		学生自らの課題意識と、看護学専門分野での実習に基づき、看護実践に即した自主的、自立的に臨地実習を計画、実施、評価する体験によって、これまでの学びを統合し、看護実践を通して看護学への洞察を深め、論理的思考を用いた表現力を養う。
授業の到達目標		1)文献学習及び既に臨地実習で体験したことを通して、自己の課題を明確にする。 2)実習目標を各自で設定する。 3)選定した看護課題に関する実践が可能な実習計画を具体的に立案する。 4)臨床・地域看護における実践を通して課題を追求していく。 5)看護実践の評価を通して、看護の専門性及び科学性を考察する。 6)発表を通して、学生間の学びを共有し、他の学生の考え方を学ぶ。 7)実践を論理的に整理することができる。
特に関連する科目		下級学年で学習した専門基礎系科目、看護学専門科目
授業の具体的な進め方		1) 学生各自事前学習を行い、自己の課題を明確にする。 2) 課題達成のための実習計画を立案し、担当教員の指導を受ける。 3) 実習施設を決定する。 4) 対象の状況を把握し、問題解決のためのケア計画を立案する。 5) 実習記録:実習に必要な記録等は、学生が様式等を考え行う。 6) 課題を実践し、評価を行う。 7) 実践を整理し、担当教員の指導を受け、レポートにまとめる。 8) 課題報告会:実習した課題をまとめ、分かりやすいプレゼンテーション内容、方法、資料を作成し、口頭または紙上発表する。 9) レポートを通して自己の看護観を明確にする。
実習スケジュール		【実習期間】2022年8月22日～2022年9月2日 実習スケジュールにつきましては、領域から配布される資料をご覧ください。
成績評価方法・基準		学生と各専任教員が調整・設定した実習目標達成度を実習評価基準を用いて評価する。学生の自己評価及び指導者によって行う。出席状況を含む実習状況、実習記録、学内の課題発表とレポートにより評価する。
授業外における学習(予習・復習)		自己の課題を達成するために、事前学習を十分に行うこと。教科書、参考書、関連文献を参照して根拠のある看護計画・看護実践を行えるよう自己学習をすすめてください。
教科書・参考文献等	教科書	適宜紹介する。
	参考書	適宜紹介する。
	その他	
連絡先・オフィスアワー		連絡先:佐藤安代　研究室4(2階) y-satou@jhsu.ac.jp 棚橋 愛　研究室21(2階)a-tanahashi@jhsu.ac.jp オフィスアワー:メールにて連絡ください。調整しましょう。
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての(専門機関における)実務経験を活かした講義(演習)を行う。 【先修条件】 3年後期までの必修科目の専門基礎系科目及び看護学専門科目の単位を修得していること。

科目コード		12-11344
授業科目名		課題別実習　成人看護学慢性期
配当年次		4学年
開講時期		前期
必修・選択・自由		必修
単位		2単位
時間数		90時間
授業形態		実験・実習
担当教員		熊坂 隆行、工藤 久美子、重石 真宏
実務家教員		看護職：熊坂隆行　工藤久美子　重石真宏
授業科目の概要		学生自らの課題意識と、看護学専門分野での実習に基づき、看護実践に即した自主的、自立的に臨地実習を想定し、計画、評価する体験によって、これまでの学びを統合し、看護実践を通して看護学への洞察を深め、論理的思考を用いた表現力を養う。
授業の到達目標		1）文献学習及び既に臨地実習で体験したことを通して、自己の課題を明確にする。 2）実習目標を各自で設定する。 3）選定した看護課題に関する実践が可能な実習計画を具体的に立案する。 4）看護実践の評価を通して、看護の専門性及び科学性を考察する。 5）発表を通して、学生間の学びを共有し、他の学生の考え方を学ぶ。 6）実践を論理的に整理することができる。
特に関連する科目		下級学年で学習した専門基礎系科目、看護学専門科目
授業の具体的な進め方		1）学生各自事前学習を行い、自己の課題を明確にする。 2）課題達成のための実習計画を立案し、担当教員の指導を受ける。 3）対象の状況を把握し、問題解決のためのケア計画を立案する。 4）実習記録：実習に必要な記録等は、学生が様式等を考え行う。 5）課題を実践し、評価を行う。 6）担当教員の指導を受け、レポートにまとめる。 7）レポートを通して自己の看護観を明確にする。
実習期間		【実習期間】2022年月日～2022年月日 実習スケジュールにつきましては、領域から配布される資料をご覧ください。
成績評価方法・基準		実習中の出席状況、態度・行動、知識レベル、記録内容等で総合的に行う。
授業外における学習（予習・復習）		教室 人を尊重する態度を養い、かかわりの中から学び成長していく態度を身につけてください。
教科書・参考文献等	教科書	成人看護学の講義・演習で使用した教科書・参考書および配布資料
	参考書	
	その他	
連絡先・オフィスアワー		連絡先：研究室22　3階　kumasaka@jhsu.ac.jp オフィスアワー：水曜日 13：00～16：00
その他		【【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。 【先修条件】 3年後期までの必修科目の専門基礎系科目及び看護学専門科目の単位を修得していること。

科目コード		12-11344
授業科目名		課題別実習　老年看護学
配当年次		4学年
開講時期		前期
必修・選択・自由		必修
単位		2単位
時間数		90時間
授業形態		実験・実習
担当教員		松永 智子、山下 知子、星野谷 優子
実務家教員		看護職：松永 智子、山下 知子、星野谷 優子
授業科目の概要		学生自らの課題意識と、看護学専門分野での実習に基づき、看護実践に即した自主的、自立的に臨地実習を計画、実施、評価する体験によって、これまでの学びを統合し、看護実践を通して看護学への洞察を深め、論理的思考を用いた表現力を養う。
授業の到達目標		1）文献学習及び既に臨地実習で体験したことを通して、自己の課題を明確にする。 2）実習目標を各自で設定する。 3）選定した看護課題に関する実践が可能な実習計画を具体的に立案する。 4）臨床・地域看護における実践を通して課題を追求していく。 5）看護実践の評価を通して、看護の専門性及び科学性を考察する。 6）発表を通して、学生間の学びを共有し、他の学生の考え方を学ぶ。 7）実践を論理的に整理することができる。
特に関連する科目		下級学年で学習した専門基礎系科目、看護学専門科目
授業の具体的な進め方		1）学生各自事前学習を行い、自己の課題を明確にする。 2）課題達成のための実習計画を立案し、担当教員の指導を受ける。 3）実習施設を決定する。 4）対象の状況を把握し、問題解決のためのケア計画を立案する。 5）実習記録：実習に必要な記録等は、学生が様式等を考え行う。 6）課題を実践し、評価を行う。 7）実践を整理し、担当教員の指導を受け、レポートにまとめる。 8）レポートを通して自己の看護観を明確にする。
実習期間		【実習期間】2022年月日～2022年月日 実習スケジュールにつきましては、領域から配布される資料をご覧ください。
成績評価方法・基準		学生と各専任教員が調整・設定した実習目標達成度を実習評価基準を用いて評価する。学生の自己評価及び指導者によって行う。実習状況、実習記録、課題レポートにより評価する。
授業外における学習（予習・復習）		教室
教科書・参考文献等	教科書	老年看護学概論、老年看護方法論で使用したテキスト
	参考書	高齢者の研究論文等
	その他	
連絡先・オフィスアワー		連絡先：研究室11　t-matsunaga@jhsu.ac.jp オフィスアワー：火曜日　16：45～17：45
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。 【先修条件】 3年後期までの必修科目の専門基礎系科目及び看護学専門科目の単位を修得していること。

科目コード		12-11344
授業科目名		課題別実習　精神看護学
配当年次		4学年
開講時期		前期
必修・選択・自由		必修
単位		2単位
時間数		90時間
授業形態		実験・実習
担当教員		東中須 恵子、菊地 淳、田中 勇気
実務家教員		東中須 恵子、菊地 淳、田中 勇気
授業科目の概要		学生自らの課題意識と、看護学専門分野で学習に基づき、看護実践に即した自主的、自立的な演習計画を立案し、探求する学修体験によって、これまでの学びを統合する。また、学習過程を通して看護学への洞察を深め、論理的思考を用いた表現力を養う。
授業の到達目標		1.文献学習及び既に臨地実習で体験したことを通して、自己の課題を明確にする。 2.実習目標を各自で設定する。 3.選定した看護課題に関する実践が可能な実習計画を具体的に立案する。 4.ペーパシュミレーションや文献の検索によって得られた看護の専門性及び科学性を考察する。 5.演習・自己探求したことを論理的に整理することができる。
特に関連する科目		下級学年で学習した専門基礎系科目、看護学専門科目
授業の具体的な進め方		1) 学生各自課題演習での学習を基に、自己の課題を明確にする。 2) 課題達成のための実習計画を立案し、担当教員の指導を受ける。 3) 問題解決のための方法を担当教員と検討する。 5) 必要な記録等は、学生が様式等を考え行う。 6) 実践した演習内容を、担当教員の指導を受け、レポートにまとめる。
実習期間		【実習期間】2022年8月29日～2022年9月9日 実習スケジュールにつきましては、領域から配布される資料をご覧ください。
成績評価方法・基準		課題学習態度（70%）　課題の成果（40%）
授業外における学習（予習・復習）		これまでに学習した知識の復習が必要である。特に基礎的な学問領域や精神看護に関わる知識の見直しが重要である。
教科書 ・参考文献等	教科書	東中須恵子編著『看護学生のための精神看護学概論』（大学教育出版、2019）ISBN:9784866920139
		東中須恵子編著『看護学生のための精神看護学』（大学教育出版、2017）ISBN:9784864294577
	参考書	野中浩幸ほか編『必携！ 精神看護学実習ポケットブック 増補版』（精神看護出版、2019） ISBN9784862940636
		宇佐美 しおり・鈴木 啓子著『オレムのセルフケアモデル　事例を用いた看護過程の展開［第2版］』（ヌーベルヒロカワ、2003）ISBN 9784902085570
		萱間真美編『精神看護実習ガイド』（照林社、2007）ISBN9784796521420
		春日 武彦著『はじめての精神科』（医学書院 、2011）ISBN9784260014908
		中井　久夫・山口　直彦著『看護のための精神医学　第2版』（医学書院、2004）ISBN9784260333252
		坂田三允著『心を病む人の看護』（中央法規、1995）ISBN　978480581363
	その他	
連絡先・オフィスアワー		東中須 恵子　連絡先：研究室12（2階）　メールアドレス：nakasu@jhsu.ac.jp オフィスアワー：月曜日16:30～17:30 菊地 淳　連絡先：研究室 9（2階）　メールアドレス：j-kikuchi@jhsu.ac.jp オフィスアワー：月曜日 16:：30～17：30 田中　勇気　連絡先：研究室 5（2階）　メールアドレス：y-tanaka@jhsu.ac.jp オフィスアワー：月曜日16:30～17:30
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。 【先修条件】 3年後期までの必修科目の専門基礎系科目及び看護学専門科目の単位を修得していること。

科目コード		12-11344
授業科目名		課題別実習　在宅看護論
配当年次		4学年
開講時期		前期
必修・選択・自由		必修
単位		2単位
時間数		90時間
授業形態		実験・実習
担当教員		増野 章子、小林 美奈子、齊藤 敦子
実務家教員		看護職：小林美奈子　齊藤敦子　増野章子
授業科目の概要		学生自らの課題意識と、看護学専門分野での実習に基づき、看護実践に即した自主的、自立的に臨地実習を計画、実施、評価する体験によって、これまでの学びを統合し、看護実践を通して看護学への洞察を深め、論理的思考を用いた表現力を養う。
授業の到達目標		1) 自己の課題に対して実践可能な実習計画を具体的に立案できる。 2)計画した看護を実践できる。 3)自己の看護実践を評価できる。 4)一連の看護過程を論理的に整理できる。 5)自主的、自立的、積極的に実習に取り組める。
特に関連する科目		下級学年で学習した専門基礎系科目、看護学専門科目
授業の具体的な進め方		1) 学生各自事前学習を行い、自己の課題を明確にする。 2) 課題達成のための実習計画を立案し、担当教員の指導を受ける。 3) 実習施設を決定する。 4) 対象の状況を把握し、問題解決のためのケア計画を立案する。 5) 実習記録：実習に必要な記録等は、学生が様式等を考え行う。 6) 課題を実践し、評価を行う。 7) 実践を整理し、担当教員の指導を受け、レポートにまとめる。 8) 課題報告会：実習した課題をまとめ、分かりやすいプレゼンテーション内容、方法、資料を作成し、口頭または紙上発表する。 9) レポートを通して自己の看護観を明確にする。
実習期間		【実習期間】2022年 8 月 22 日～2022年 9 月 2 日 実習スケジュールにつきましては、領域から配布される資料をご覧ください。
成績評価方法・基準		学生と各専任教員が調整・設定した実習目標を評価基準として評価する。学生の自己評価及び指導者の評価、出席状況を含む実習状況、実習記録、レポートにより評価する。
授業外における学習（予習・復習）		事例に対する病態、治療だけでなく社会制度や社会資源について自主的に学習を行い、事例の理解に努め看護を実践してもらいたい。
教科書・参考文献等	教科書	特になし
	参考書	必要時、紹介する
	その他	自身で必要と認めた文献は、実習中も常に参考にすること。
連絡先・オフィスアワー		実習中の担当教員との連絡で行う。
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。 【先修条件】 3年後期までの必修科目の専門基礎系科目及び看護学専門科目の単位を修得していること。

科目コード		12-11344
授業科目名		課題別実習　公衆衛生看護学
配当年次		4学年
開講時期		前期
必修・選択・自由		必修
単位		2単位
時間数		90時間
授業形態		実験・実習
担当教員		中島 富志子、坂巻 つや子
実務家教員		看護職：中島富志子・坂巻つや子
授業科目の概要		学生自らの課題意識と、看護学専門分野での実習に基づき、看護実践に即した自主的、自立的に調べ学習を計画、実施、評価する体験によって、これまでの学びを統合し、調べ学習と演習を通して看護学への洞察を深め、論理的思考を用いた表現力を養う。
授業の到達目標		1) 文献学習及び既に臨地実習で体験したことを通して、自己の課題を明確にする。 2) 実習計画を具体的に立案し、実習目標を各自で設定する。 3) 公衆衛生看護における演習を通して課題を追求していく。 4) 事前学習と演習の評価を通して、公衆衛生看護の専門性及び科学性を考察する。 5) 自己の学習のまとめを論理的に整理することができる。
特に関連する科目		下級学年で学習した専門基礎系科目、看護学専門科目
授業の具体的な進め方		1) 学生各自事前学習を行い、自己の課題を明確にする。 2) 課題達成のための実習計画を立案し、担当教員の指導を受ける。 3) 学習対象とする施設を決定する。 4) 対象の状況を把握し、問題解決のための支援計画を立案する。 5) 実習記録：必要な記録等は、演習の中で学生が様式等を考え行う。 6) 課題を実践し、評価を行う。 7) 調べ学習と演習を整理し、担当教員の指導を受け、レポートにまとめる。 8) 調べ学習と演習をした課題をまとめる。 9) レポートを通して自己の看護観を明確にする。
実習期間		【実習期間】2022年　月　日～2022年　月　日 実習スケジュールにつきましては、領域から配布される資料をご覧ください。
成績評価方法・基準		学生と各専任教員が調整・設定した自己学習および演習の評価を、まとめの記録およびレポートから評価する。出席状況を含む自己学習状況、演習の記録とレポートにより評価する。
授業外における学習（予習・復習）		後日指示する。
教科書 ・参考文献等	教科書	・荒賀直子, 後閑容子編『公衆衛生看護学.jp 第5版』（インターメディカル、2020）ISBN:9784900828810
		・松浦賢長, 笠井直美, 渡辺多恵子編『学校看護学（保健の実践科学シリーズ）』（講談社、2017） ISBN:9784061563209
	参考書	適宜紹介する。
	その他	
連絡先・オフィスアワー		連絡先：　中島　t-nakajima@jhsu.ac.jp　　坂巻　t-sakamaki@jhsu.ac.jp 質問・相談は、メールで予約をしてください。
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。 【先修条件】 3年後期までの必修科目の専門基礎系科目及び看護学専門科目の単位を修得していること。

科目コード	12-11345
授業科目名	看護研究　基礎看護学
配当年次	4学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	2単位
時間数	40時間
授業形態	演習
担当教員	近藤 誓子、東中須 恵子、江刺家 幸代、野沢 ゆかり
実務家教員	看護職：東中須 恵子・近藤誓子・江刺家幸代・野沢ゆかり
授業科目の概要	看護実践と看護研究の関連を理解し、看護学における研究方法論を学習する。自らの研究課題を設定し、研究計画の立案と実施及び論文の作成、研究成果の発表を行う。研究に附随する倫理的問題、研究上の手続き、文献検索の意義と検索法についても学ぶ。
授業の到達目標	1. 看護研究を行う際の基本姿勢について、倫理事項をふまえて述べることができる。 2. 質的研究、量的研究の種類と特徴について説明できる。 3. 必要な論文を入手し、科学的な視点で読むことができる。 4. 基本的な統計解析について説明できる。 5. 問いを立て研究計画書を作成することができる。
特に関連する科目	下級学年で学修した専門基礎系科目　看護学専門科目
授業の具体的な進め方	1～10回は看護研究についての講義、11回～30回は興味・関心のあるテーマについて研究計画書を作成する。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/12	火	1	東中須恵子	南キャンパス101	オリエンテーション　看護における研究の意義・目的・プロセス
2	4/12	火	2	東中須恵子	南キャンパス101	研究の進め方・概念枠組み
3	4/14	木	1	東中須恵子	南キャンパス101	研究倫理
4	4/14	木	2	東中須恵子	南キャンパス101	研究の種類と方法
5	4/19	火	1	東中須恵子	南キャンパス101	研究の種類と方法
6	4/19	火	2	東中須恵子	南キャンパス101	文献検討・検索
7	4/21	木	1	東中須恵子	南キャンパス101	論文クリティーク
8	4/21	木	2	東中須恵子	南キャンパス101	研究計画書
9	4/29	金	1	東中須恵子	南キャンパス101	演習：研究計画の作成
10	4/29	金	2	東中須恵子	南キャンパス101	演習：研究計画の作成
11	4/29	金	3	近藤誓子	小講義室2	ガイダンス／ステップ1 ：研究課題の焦点を絞る－漠然とした疑問や問題意識から研究できそうな領域と内容を見出す
12	4/29	金	4	近藤誓子	小講義室2	ステップ1 ：研究課題の焦点を絞る－漠然とした疑問や問題意識から研究できそうな領域と内容を見出す
13	5/13	金	3	近藤誓子	小講義室2	ステップ2 ：研究課題の焦点を絞る－研究の範囲、内容を検討し、研究課題を明確にする
14	5/13	金	4	近藤誓子	小講義室2	ステップ2 ：研究課題の焦点を絞る－研究の範囲、内容を検討し、研究課題を明確にする
15	5/27	金	3	近藤誓子	小講義室2	研究論文の検索と検討
16	5/27	金	4	近藤誓子	小講義室2	研究論文の検索と検討
17	6/3	金	3	近藤誓子	小講義室2	研究論文のクリティーク
18	6/3	金	4	近藤誓子	小講義室2	研究論文のクリティーク
19	6/10	金	3	近藤誓子	小講義室2	研究の枠組みを設定する－概念枠組み、研究内容の決定、研究目的(研究テーマ)の設定
20	6/10	金	4	近藤誓子	小講義室2	研究の枠組みを設定する－概念枠組み、研究内容の決定、研究目的(研究テーマ)の設定
21	6/17	金	3	近藤誓子	小講義室2	研究方法を決定する－研究デザイン、研究対象、研究期間め場所、データ収集方法と手順、調査内容・測定用具、実験方法(実験研究の場合)、データ分析方法
22	6/17	金	4	近藤誓子	小講義室2	研究方法を決定する－研究デザイン、研究対象、研究期間め場所、データ収集方法と手順、調査内容・測定用具、実験方法(実験研究の場合)、データ分析方法
23	6/24	金	3	近藤誓子	小講義室2	研究計画書の作成
24	6/24	金	4	近藤誓子	小講義室2	研究計画書の作成
25	6/29	火	1	近藤誓子	中講義室2	研究計画書の作成
26	6/29	火	2	近藤誓子	中講義室2	研究計画書の作成
27	6/29	火	3	近藤誓子	中講義室2	研究計画書の最終確認、発表準備
28	6/29	火	4	近藤誓子	中講義室2	研究計画書の最終確認、発表準備
29	7/1	金	3	近藤誓子	小講義室2	研究計画書に基づいて発表
30	7/1	金	4	近藤誓子	小講義室2	研究計画書に基づいて発表

成績評価方法・基準		1回～10回講義：レポートと試験(40%)レポートについては、コメントし返却する。 11回～30回：課題提出60%
授業外における学習(予習・復習)		・事前に指示のあった課題に取り組んだ上で講義や演習り臨むこと。 ・講義・演習後は、配布資料や紹介した文献等を活用した復習を行い、知識の定着を図ること。 ・疑問に思うことは疑問のままにせず、どんな些細なことでも講義中やリアクションペーパーを活用して質問し、理解の定着を図ること。 予習・復習の時間は、毎回60分以上を必要とする。
教科書・参考文献等	教科書	南裕子・野嶋佐由美編著：『看護における研究 第2版』(日本看護協会出版会、2017)ISBN978-4-8180-2066-5(1回～10回で使用する)
	参考書	必要時、学生に紹介する
	その他	
連絡先・オフィスアワー		研究室10(2階) e-mail: s-kondou@jhsu.ac.jp オフィスアワー　月曜日～木曜日　12時40分～13時30分 事前にアポイントを取ること。
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての(専門機関における)実務経験を活かした講義(演習)を行う。

科目コード	12-11345
授業科目名	看護研究　小児看護学
配当年次	4学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	2単位
時間数	40時間
授業形態	演習
担当教員	上本野 唱子、東中須 恵子、松井 貴子、飯泉 悦子
実務家教員	東中須恵子、上本野唱子・松井貴子・飯泉悦子
授業科目の概要	看護実践と看護研究の関連を理解し、看護学における研究方法論を学習する。自らの研究課題を設定し、研究計画の立案と実施及び論文の作成、研究成果の発表を行う。研究に附随する倫理的問題、研究上の手続き、文献検索の意義と検索法についても学ぶ。
授業の到達目標	1.看護研究を行う際の基本姿勢について、倫理事項をふまえて述べることができる。 2.質的研究、量的研究の種類と特徴について説明できる。 3.必要な論文を入手し、科学的な視点で読むことができる。 4.基本的な統計解析について説明できる。 5.問いを立て研究計画書を作成することができる。
特に関連する科目	3年次まで学習した専門基礎系科目、看護学専門科目、実習記録
授業の具体的な進め方	【1～10回】 ・配布資料と教科書を中心に講義形式の授業・演習を行う。 【11～30回】 ・配布資料と教科書を中心に講義形式の授業・演習を行う。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/12	火	1	東中須 恵子	南キャンパス101	オリエンテーション看護における研究の意義・目的・プロセス
2	4/12	火	2	東中須 恵子	南キャンパス101	研究の進め方・概念枠組み
3	4/14	木	1	東中須 恵子	南キャンパス101	研究倫理
4	4/14	木	2	東中須 恵子	南キャンパス101	研究の種類と方法
5	4/19	火	1	東中須 恵子	南キャンパス101	研究の種類と方法
6	4/19	火	2	東中須 恵子	南キャンパス101	文献検討・検索
7	4/21	木	1	東中須 恵子	南キャンパス101	論文クリティーク
8	4/21	木	2	東中須 恵子	南キャンパス101	研究計画書
9	4/29	金	1	東中須 恵子	南キャンパス101	演習：研究計画の作成
10	4/29	金	2	東中須 恵子	南キャンパス101	演習：研究計画の作成
11	5/12	木	1	上本野唱子 松井貴子 飯泉悦子	小児看護演習室	各自の研究テーマの設定
12	5/12	木	2	上本野唱子 松井貴子 飯泉悦子	小児看護演習室	各自の研究テーマの設定
13	5/19	木	1	上本野唱子 松井貴子 飯泉悦子	小児看護演習室	各自の研究テーマの設定
14	5/19	木	2	上本野唱子 松井貴子 飯泉悦子	小児看護演習室	テーマに関する文献収集とクリティーク
15	5/26	木	1	上本野唱子 松井貴子 飯泉悦子	小児看護演習室	テーマに関する文献収集とクリティーク
16	5/26	木	2	上本野唱子 松井貴子 飯泉悦子	小児看護演習室	テーマに関する文献収集とクリティーク
17	6/2	木	1	上本野唱子 松井貴子 飯泉悦子	小児看護演習室	研究方法の検討
18	6/2	木	2	上本野唱子 松井貴子 飯泉悦子	小児看護演習室	研究方法の検討
19	6/9	木	1	上本野唱子 松井貴子 飯泉悦子	小児看護演習室	研究計画書作成
20	6/9	木	2	上本野唱子 松井貴子 飯泉悦子	小児看護演習室	研究計画書の作成
21	6/16	木	1	上本野唱子 松井貴子 飯泉悦子	小児看護演習室	研究計画書の作成
22	6/16	木	2	上本野唱子 松井貴子 飯泉悦子	小児看護演習室	研究計画書の作成
23	6/23	木	1	上本野唱子 松井貴子 飯泉悦子	小児看護演習室	研究計画書の作成
24	6/23	木	2	上本野唱子 松井貴子 飯泉悦子	小児看護演習室	研究計画書の作成
25	6/30	木	1	上本野唱子 松井貴子 飯泉悦子	小児看護演習室	研究計画書の作成まとめ
26	6/30	木	2	上本野唱子 松井貴子 飯泉悦子	小児看護演習室	研究計画書の作成まとめ
27	7/7	木	1	上本野唱子 松井貴子 飯泉悦子	小児看護演習室	研究計画書の作成まとめ
28	7/7	木	2	上本野唱子 松井貴子 飯泉悦子	小児看護演習室	発表準備
29	7/14	木	1	上本野唱子 松井貴子 飯泉悦子	小児看護演習室	発表準備
30	7/14	木	2	上本野唱子 松井貴子 飯泉悦子	小児看護演習室	看護研究に関する評価

成績評価方法・基準		【1～10回】 ＊レポート(60%)と試験(40%) ＊レポートについては、コメントし返却する。 【11～30回】 指示された提出物を提出していること。 研究計画書とそれに付随する記録類の提出がなされていること。
授業外における学習(予習・復習)		【1～10回】 ・事前に指示のあった課題に取り組んだ上で講義や演習にのぞむこと。 ・講義、演習後は、配布資料や紹介した文献等を活用した復習を行い、知識の定着を図ること。 ・疑問に思うことは疑問のままにせず、どんな些細なことでも講義中やリアクションペーパーなどを活用して質問し、理解の定着をはかること。
教科書・参考文献等	教科書	【1～10回】 南裕子、野嶋佐由美編著『看護における研究 第2版』(日本看護協会出版会、2017) ISBN:9784818020665
	参考書	【1～10回】適宜紹介する
	その他	【1～10回】特になし
連絡先・オフィスアワー		【1～10回】 東中須恵子：研究室12(2F)　nakasu@jhsu.ac.jp　月曜日 16:30～17:30 【11～30回】 上本野唱子：研究室25(3F)　s-kamimotono@jhsu.ac.jp　オフィスアワー　水曜日13:00～16:00 松井貴子：研究室30(2F)：t-matsui@jhsu.ac.jp　オフィスアワー　水曜日13:00～15:00 飯泉悦子：研究室4(2F)：e-iizumi @jhsu.ac.jp　オフィスアワー　水曜日13:00～16:00
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての(専門機関における)実務経験を活かした講義(演習)を行う。

科目コード	12-11345
授業科目名	看護研究　母性看護学
配当年次	4学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	2単位
時間数	40時間
授業形態	演習
担当教員	今井 充子、東中須 恵子
実務家教員	看護職：今井 充子、東中須 恵子
授業科目の概要	看護実践と看護研究の関連を理解し、看護学における研究方法論を学習する。自らの研究課題を設定し、研究計画の立案と実施及び論文の作成、研究成果の発表を行う。研究に附随する倫理的問題、研究上の手続き、文献検索の意義と検索法についても学ぶ。
授業の到達目標	1. 看護研究を行う際の基本姿勢について、倫理事項をふまえて述べることができる。 2. 質的研究、量的研究の種類と特徴について説明できる。 3. 必要な論文を入手し、科学的な視点で読むことができる。 4. 基本的な統計解析について説明できる。 5. 問いを立て研究計画書を作成することができる。
特に関連する科目	3年次まで学習した専門基礎系科目　看護学専門科目　実習記録
授業の具体的な進め方	【1～10回】 ・配布資料と教科書を中心に講義形式の授業・演習を行う。 【11回以降】 ・配布資料を中心に講義・演習形式の授業を行う。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/12	火	1	東中須 恵子	南キャンパス101	オリエンテーション看護における研究の意義・目的・プロセス
2	4/12	火	2	東中須 恵子	南キャンパス101	研究の進め方・概念枠組み
3	4/14	木	1	東中須 恵子	南キャンパス101	研究倫理
4	4/14	木	2	東中須 恵子	南キャンパス101	研究の種類と方法
5	4/19	火	1	東中須 恵子	南キャンパス101	研究の種類と方法
6	4/19	火	2	東中須 恵子	南キャンパス101	文献検討・検索
7	4/21	木	1	東中須 恵子	南キャンパス101	論文クリティーク
8	4/21	木	2	東中須 恵子	南キャンパス101	研究計画書
9	4/29	金	1	東中須 恵子	南キャンパス101	演習：研究計画の作成
10	4/29	金	2	東中須 恵子	南キャンパス101	演習：研究計画の作成
11	4/29	金	4	今井充子	母性演習室	各自の研究テーマの設定
12	5/10	火	2	今井充子	母性演習室	各自の研究テーマの設定
13	5/18	水	1	今井充子	母性演習室	テーマに関する文献収集とクリティーク
14	5/25	水	4	今井充子	母性演習室	テーマに関する文献収集とクリティーク
15	6/1	水	4	今井充子	母性演習室	テーマに関する文献収集とクリティーク
16	6/8	水	4	今井充子	母性演習室	研究方法の検討
17	6/15	水	4	今井充子	母性演習室	研究方法の検討
18	6/22	水	4	今井充子	母性演習室	研究計画書作成
19	6/29	水	4	今井充子	母性演習室	研究計画書の作成
20	7/6	水	4	今井充子	母性演習室	研究計画書の作成
21	7/13	水	4	今井充子	母性演習室	研究計画書の作成
22	7/20	水	1	今井充子	母性演習室	研究計画書の作成
23	7/27	水	2	今井充子	母性演習室	研究計画書の作成
24	8/3	水	1	今井充子	母性演習室	研究計画書の作成
25	8/10	水	1	今井充子	母性演習室	研究計画書の作成
26	8/17	水	1	今井充子	母性演習室	研究計画発表準備
27	8/24	水	1	今井充子	母性演習室	研究計画発表準備
28	8/31	水	1	今井充子	母性演習室	研究計画発表準備
29	9/8	木	1	今井充子	母性演習室	研究計画発表会
30	9/8	木	2	今井充子	母性演習室	研究計画発表会

成績評価方法・基準		【1～10回】 ＊レポートと試験(40%) ＊レポートについては、コメントし返却する。 【11回以降】 ＊11回～30回講義：研究計画内容、発表内容により総合的に評価する。(60%)
授業外における学習（予習・復習）		・事前に指示のあった課題に取り組んだ上で講義や演習にのぞむこと。 ・講義、演習後は、配布資料や紹介した文献等を活用した復習を行い、知識の定着を図ること。 ・疑問に思うことは疑問のままにせず、どんな些細なことでも講義中やリアクションペーパーなどを活用して質問し、理解の定着をはかること。
教科書・参考文献等	教科書	【1～10回】 南裕子, 野嶋佐由美編著『看護における研究 第2版』(日本看護協会出版会、2017) ISBN:9784818020665
	参考書	【1～30回】適宜紹介する
	その他	【1～30回】特になし
連絡先・オフィスアワー		【 1～10回 】 東中須恵子：研究室12(2F)　nakasu@jhsu.ac.jp　月曜日 16:30～17:30 【11回以降 】 今井充子：研究室6(2F) 相談時には、事前にメール(m-imai@jhsu.ac.jp)に連絡をください。 ＊m-imai-demo@jhsu.ac.jpは使用していないアドレスです。ご注意ください。
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての(専門機関における)実務経験を活かした講義(演習)を行う。

科目コード	12-11345
授業科目名	看護研究　成人看護学急性期
配当年次	4学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	2単位
時間数	40時間
授業形態	演習
担当教員	熊坂 隆行、東中須 恵子、佐藤 安代、棚橋 愛
実務家教員	看護職：熊坂 隆行、東中須 恵子、佐藤 安代、棚橋 愛
授業科目の概要	看護実践と看護研究の関連を理解し、看護学における研究方法論を学習する。自らの研究課題を設定し、研究計画の立案と実施及び論文の作成、研究成果の発表を行う。研究に附随する倫理的問題、研究上の手続き、文献検索の意義と検索法についても学ぶ。
授業の到達目標	1. 看護研究を行う際の基本姿勢について、倫理事項をふまえて述べることができる。 2. 質的研究、量的研究の種類と特徴について説明できる。 3. 必要な論文を入手し、科学的な視点で読むことができる。 4. 基本的な統計解析について説明できる。 5. 問いを立て研究計画書を作成することができる。
特に関連する科目	3年次まで学習した専門基礎系科目、看護学専門科目、実習記録
授業の具体的な進め方	【1～10回】・配布資料を中心に講義・演習形式の授業を行う。 【11回以降】・演習を行う。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/12	火	1	東中須 恵子	南キャンパス101	オリエンテーション　看護における研究の意義・目的・プロセス
2	4/12	火	2	東中須 恵子	南キャンパス101	研究の進め方・概念枠組み
3	4/14	木	1	東中須 恵子	南キャンパス101	研究倫理
4	4/14	木	2	東中須 恵子	南キャンパス101	研究の種類と方法
5	4/19	火	1	東中須 恵子	南キャンパス101	研究の種類と方法
6	4/19	火	2	東中須 恵子	南キャンパス101	文献検討・検索
7	4/21	木	1	東中須 恵子	南キャンパス101	論文クリティーク
8	4/21	木	2	東中須 恵子	南キャンパス101	研究計画書
9	4/29	金	1	東中須 恵子	南キャンパス101	演習：研究計画の作成
10	4/29	金	2	東中須 恵子	南キャンパス101	演習：研究計画の作成
11	6/2	木	4	佐藤安代、棚橋愛	小講義室1	研究課題を明確にする。(1)
12	6/9	木	1	佐藤安代、棚橋愛	小講義室1	研究課題を明確にする。(2)
13	6/9	木	2	佐藤安代、棚橋愛	小講義室1	研究課題を明確にする。(3)
14	6/9	木	3	佐藤安代、棚橋愛	小講義室1	研究課題に関連した先行研究についてクリティークを行う。(1)
15	6/9	木	4	佐藤安代、棚橋愛	小講義室1	研究課題に関連した先行研究についてクリティークを行う。(2)
16	6/16	木	1	佐藤安代、棚橋愛	小講義室1	研究課題に関連した先行研究についてクリティークを行う。(3)
17	6/16	木	2	佐藤安代、棚橋愛	小講義室1	研究課題に関連した先行研究についてクリティークを行う。(4)
18	6/16	木	3	佐藤安代、棚橋愛	小講義室1	研究課題に関連した先行研究についてクリティークを行う。(5)
19	6/16	木	4	佐藤安代、棚橋愛	小講義室1	研究計画を立案する。(1)
20	6/23	木	1	佐藤安代、棚橋愛	小講義室1	研究計画を立案する。(2)
21	6/23	木	2	佐藤安代、棚橋愛	小講義室1	研究計画を立案する。(3)
22	6/23	木	3	佐藤安代、棚橋愛	小講義室1	研究計画書を作成する。(1)
23	6/23	木	4	佐藤安代、棚橋愛	小講義室1	研究計画書を作成する。(2)
24	6/30	木	1	佐藤安代、棚橋愛	小講義室1	研究計画書を作成する。(3)
25	6/30	木	2	佐藤安代、棚橋愛	小講義室1	研究計画書を作成する。(4)
26	6/30	木	3	佐藤安代、棚橋愛	小講義室1	研究計画書を作成する。(5)
27	6/30	木	4	佐藤安代、棚橋愛	小講義室1	研究計画書を作成する。(6)
28	7/7	木	1	佐藤安代、棚橋愛	小講義室1	グループ内で研究計画書を発表し合い、それぞれの内容について討議を行う。(1)
29	7/7	木	2	佐藤安代、棚橋愛	小講義室1	グループ内で研究計画書を発表し合い、それぞれの内容について討議を行う。(2)
30	7/7	木	3	佐藤安代、棚橋愛	小講義室1	グループ内で研究計画書を発表し合い、それぞれの内容について討議を行う。(3)

成績評価方法・基準		【1～10回】＊レポート(60%)と試験(40%)　＊レポートについては、コメントし返却する。 【11回以降】＊①出席率　②授業態度・参加度　③研究計画書を総合して評価する。
授業外における学習（予習・復習）		・事前に指示のあった課題に取り組んだ上で講義や演習にのぞむこと。 ・講義、演習後は、配布資料や紹介した文献等を活用した復習を行い、知識の定着を図ること。 ・疑問に思うことは疑問のままにせず、どんな些細なことでも講義中やリアクションペーパーなどを活用して質問し、理解の定着をはかること。
教科書・参考文献等	教科書	南裕子, 野嶋佐由美編著『看護における研究 第2版』(日本看護協会出版会、2017年) ISBN:9784818020665 (1回～10回講義で使用する)
	参考書	適宜紹介する
	その他	特になし
連絡先・オフィスアワー		【1～10回】 連絡先：東中須恵子　研究室12(2F)　nakasu@jhsu.ac.jp オフィスアワー：月・金曜日 16:45～17:30 【11回以降】 連絡先：佐藤　研究室4(2階) y-satou@jhsu.ac.jp オフィスアワー：メールにて連絡ください。調整しましょう。
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての(専門機関における)実務経験を活かした講義(演習)を行う。

科目コード	12-11345
授業科目名	看護研究　成人看護学慢性期
配当年次	4学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	2単位
時間数	40時間
授業形態	演習
担当教員	熊坂 隆行、東中須 恵子、工藤 久美子
実務家教員	看護職：熊坂隆行　東中須恵子　工藤久美子
授業科目の概要	看護実践と看護研究の関連を理解し、看護学における研究方法論を学習する。自らの研究課題を設定し、研究計画の立案と実施及び論文の作成、研究成果の発表を行う。研究に附随する倫理的問題、研究上の手続き、文献検索の意義と検索法についても学ぶ。
授業の到達目標	1. 看護研究を行う際の基本姿勢について、倫理事項をふまえて述べることができる。 2. 質的研究、量的研究の種類と特徴について説明できる。 3. 必要な論文を入手し、科学的な視点で読むことができる。 4. 基本的な統計解析について説明できる。 5. 問いを立て研究計画書を作成することができる。
特に関連する科目	3年次まで学習した専門基礎系科目、看護学専門科目、実習記録
授業の具体的な進め方	配布資料と教科書を中心に講義形式の授業・演習を行う。 必要に応じて、Google　classroom　を利用した遠隔配信授業を行う。音声やスライド、動画を見ながら進めてください。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/12	火	1	東中須恵子	南キャンパス101	オリエンテーション①看護における研究の意義・目的・プロセス
2	4/12	火	2	東中須恵子	南キャンパス101	研究の進め方・概念枠組み
3	4/14	木	1	東中須恵子	南キャンパス101	研究倫理
4	4/14	木	2	東中須恵子	南キャンパス101	研究の種類と方法
5	4/19	火	1	東中須恵子	南キャンパス101	研究の種類と方法
6	4/19	火	2	東中須恵子	南キャンパス101	文献検討・検索
7	4/21	木	1	東中須恵子	南キャンパス101	論文クリティーク
8	4/21	木	2	東中須恵子	南キャンパス101	研究計画書
9	4/29	金	1	東中須恵子	南キャンパス101	演習：研究計画の作成
10	4/29	金	2	東中須恵子	南キャンパス101	演習：研究計画の作成
11	7/15	金	2	熊坂隆行 工藤久美子	成人看護演習室	自己課題を決める(1)
12	7/22	金	1	熊坂隆行 工藤久美子	成人看護演習室	自己課題を決める(2)
13	7/22	金	2	熊坂隆行 工藤久美子	成人看護演習室	自己課題を決める(3)
14	7/29	金	1	熊坂隆行 工藤久美子	成人看護演習室	自己課題を決める(4)
15	7/29	金	2	熊坂隆行 工藤久美子	成人看護演習室	自己課題を決める(5)
16	8/5	金	1	熊坂隆行 工藤久美子	成人看護演習室	研究計画書作成(1)
17	8/5	金	2	熊坂隆行 工藤久美子	成人看護演習室	研究計画書作成(2)
18	8/12	金	1	熊坂隆行 工藤久美子	中講義室1	研究計画書作成(3)
19	8/12	金	2	熊坂隆行 工藤久美子	中講義室1	研究計画書作成(4)
20	8/19	金	1	熊坂隆行 工藤久美子	中講義室1	研究計画書作成(5)
21	8/19	金	2	熊坂隆行 工藤久美子	中講義室1	研究計画書作成(6)
22	8/26	金	1	熊坂隆行 工藤久美子	中講義室1	研究計画書作成(7)
23	8/26	金	2	熊坂隆行 工藤久美子	中講義室1	研究計画書作成(8)
24	9/2	金	1	熊坂隆行 工藤久美子	中講義室1	研究計画書作成(9)
25	9/2	金	2	熊坂隆行 工藤久美子	中講義室1	研究計画書作成(10)
26	9/9	金	1	熊坂隆行 工藤久美子	中講義室1	研究計画書作成(11)
27	9/9	金	2	熊坂隆行 工藤久美子	中講義室1	研究計画書作成(12)
28	実習前			熊坂隆行 工藤久美子	中講義室1	研究計画書作成(13)
29	実習前			熊坂隆行 工藤久美子	中講義室1	研究計画書作成(14)
30	実習前			熊坂隆行 工藤久美子	中講義室1	研究計画書作成(15)

成績評価方法・基準		【1～10回】 ＊レポート(60%)と試験(40%) ＊レポートについては、コメントし返却する。 【11回以降】
授業外における学習(予習・復習)		【1～10回】 ・事前に指示のあった課題に取り組んだ上で講義や演習にのぞむこと。 ・講義、演習後は、配布資料や紹介した文献等を活用した復習を行い、知識の定着を図ること。 ・疑問に思うことは疑問のままにせず、どんな些細なことでも講義中やリアクションペーパーなどを活用して質問し、理解の定着をはかること。 【11回以降】
教科書・参考文献等	教科書	【1～10回】 南裕子, 野嶋佐由美編著『看護における研究 第2版』(日本看護協会出版会, 2017年) ISBN:9784818020665
	参考書	【1～10回】適宜紹介する
	その他	【1～10回】特になし
連絡先・オフィスアワー		【1～10回】 連絡先：東中須恵子　研究室12(2F)　nakasu@jhsu.ac.jp オフィスアワー：月・金曜日 16:45～17:30 【11回以降】 連絡先：熊坂隆行　研究室22(3階)　kumasaka@jhsu.ac.jp オフィスアワー：水曜日 13:00～16:00
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての(専門機関における)実務経験を活かした講義(演習)を行う。

科目コード	12-11345
授業科目名	看護研究　老年看護学
配当年次	4学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	2単位
時間数	40時間
授業形態	演習
担当教員	松永 智子、東中須 恵子、山下 知子、星野谷 優子
実務家教員	東中須恵子、松永智子、山下知子、星野谷優子
授業科目の概要	看護実践と看護研究の関連を理解し、看護学における研究方法論を学習する。自らの研究課題を設定し、研究計画の立案と実施及び論文の作成、研究成果の発表を行う。研究に附随する倫理的問題、研究上の手続き、文献検索の意義と検索法についても学ぶ。
授業の到達目標	1. 看護研究を行う際の基本姿勢について、倫理事項をふまえて述べることができる。 2. 質的研究、量的研究の種類と特徴について説明できる。 3. 必要な論文を入手し、科学的な視点で読むことができる。 4. 基本的な統計解析について説明できる。 5. 問いを立て研究計画書を作成することができる。
特に関連する科目	3年次まで学習した専門基礎系科目、看護学専門科目、実習記録
授業の具体的な進め方	【1～10回】 ・配布資料と教科書を中心に講義形式の授業・演習を行う。 【11回以降】 ・～10回までと同じ。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/12	火	1	東中須 恵子	南キャンパス101	オリエンテーション看護における研究の意義・目的・プロセス
2	4/12	火	2	東中須 恵子	南キャンパス101	研究の進め方・概念枠組み
3	4/14	木	1	東中須 恵子	南キャンパス101	研究倫理
4	4/14	木	2	東中須 恵子	南キャンパス101	研究の種類と方法
5	4/19	火	1	東中須 恵子	南キャンパス101	研究の種類と方法
6	4/19	火	2	東中須 恵子	南キャンパス101	文献検討・検索
7	4/21	木	1	東中須 恵子	南キャンパス101	論文クリティーク
8	4/21	木	2	東中須 恵子	南キャンパス101	研究計画書
9	4/29	金	1	東中須 恵子	南キャンパス101	演習：研究計画の作成
10	4/29	金	2	東中須 恵子	南キャンパス101	演習：研究計画の作成
11	6/24	金	3	松永智子・山下知子・星野谷優子	老年演習室	ガイダンス、研究の進め方
12	6/28	火	2	松永智子・山下知子・星野谷優子	中講義室1	担当教員の決定、担当教員による指導・個別作業　研究テーマの焦点化
13	7/1	金	4	松永智子・山下知子・星野谷優子	老年演習室	担当教員による指導・個別作業　研究テーマの焦点化
14	7/12	火	3	松永智子・山下知子・星野谷優子	老年演習室	担当教員による指導・個別作業　文献検索と検討
15	7/12	火	4	松永智子・山下知子・星野谷優子	老年演習室	担当教員による指導・個別作業　文献検索と検討
16	7/15	金	3	松永智子・山下知子・星野谷優子	中講義室1	担当教員の指導・個別作業　研究論文のクリティーク
17	7/15	金	4	松永智子・山下知子・星野谷優子	中講義室1	担当教員の指導・個別作業　研究論文のクリティーク
18	7/19	火	3	松永智子・山下知子・星野谷優子	中講義室1	研究計画書の作成　担当教員の指導
19	7/19	火	4	松永智子・山下知子・星野谷優子	中講義室1	研究計画書の作成　担当教員の指導
20	7/22	金	3	松永智子・山下知子・星野谷優子	老年演習室	研究計画書の作成　担当教員の指導
21	7/22	金	4	松永智子・山下知子・星野谷優子	老年演習室	研究計画書の作成　担当教員の指導
22	7/26	火	3	松永智子・山下知子・星野谷優子	中講義室1	研究計画書の作成　担当教員の指導
23	7/26	火	4	松永智子・山下知子・星野谷優子	中講義室1	研究計画書の作成　担当教員の指導
24	7/29	金	3	松永智子・山下知子・星野谷優子	老年演習室	研究計画書の作成　担当教員の指導
25	7/29	金	4	松永智子・山下知子・星野谷優子	老年演習室	研究計画書の作成　担当教員の指導
26	8/2	火	3	松永智子・山下知子・星野谷優子	中講義室1	研究計画書の作成　担当教員の指導
27	9/8	木	3	松永智子・山下知子・星野谷優子	中講義室1	研究計画書発表資料作成　担当教員の指導
28	9/8	木	4	松永智子・山下知子・星野谷優子	中講義室1	研究計画書発表資料作成　担当教員の指導
29	9/15	木	3	松永智子・山下知子・星野谷優子	中講義室1	研究計画書の発表
30	9/15	木	4	松永智子・山下知子・星野谷優子	中講義室1	研究計画書の発表、まとめ

成績評価方法・基準		【1～10回】 ＊レポート(60%)と試験(40%) ＊レポートについては、コメントし返却する。 【11回以降】 ＊課題提出(100%)
授業外における学習(予習・復習)		【1～10回】 ・事前に指示のあった課題に取り組んだ上で講義や演習にのぞむこと。 ・講義、演習後は、配布資料や紹介した文献等を活用した復習を行い、知識の定着を図ること。 ・疑問に思うことは疑問のままにせず、どんな些細なことでも講義中やリアクションペーパーなどを活用して質問し、理解の定着をはかること。 【11回以降】 ～10回までと同じ。
教科書・参考文献等	教科書	【1～10回】 南裕子, 野嶋佐由美編著『看護における研究 第2版』(日本看護協会出版会、2017年) ISBN:9784818020665
	参考書	適宜紹介する
	その他	特になし
連絡先・オフィスアワー		【1～10回】　東中須恵子：研究室12(2F)　nakasu@jhsu.ac.jp　オフィスアワー：月曜日 16:30～17:30 【11回以降】　連絡先：研究室11　t-matsunaga@jhsu.ac.jp　オフィスアワー：火曜日 16:45～17:45
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての(専門機関における)実務経験を活かした講義(演習)を行う。

科目コード	12-11345
授業科目名	看護研究　精神看護学
配当年次	4学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	2単位
時間数	40時間
授業形態	演習
担当教員	東中須 恵子、菊地 淳、田中 勇気
実務家教員	東中須 恵子、菊地 淳、田中 勇気
授業科目の概要	看護実践と看護研究の関連を理解し、看護学における研究方法論を学習する。自らの研究課題を設定し、研究計画の立案と実施及び論文の作成、研究成果の発表を行う。研究に附随する倫理的問題、研究上の手続き、文献検索の意義と検索法についても学ぶ。
授業の到達目標	1. 看護研究を行う際の基本姿勢について、倫理事項をふまえて述べることができる。 2. 質的研究、量的研究の種類と特徴について説明できる。 3. 必要な論文を入手し、科学的な視点で読むことができる。 4. 基本的な統計解析について説明できる。 5. 問いを立て研究計画書を作成することができる。
特に関連する科目	3年次まで学習した専門基礎系科目、看護学専門科目、実習記録
授業の具体的な進め方	【1～10回】 ・配布資料と教科書を中心に講義形式の授業・演習を行う。 【11回以降】

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/12	火	1	東中須 恵子	南キャンパス101	オリエンテーション看護における研究の意義・目的・プロセス
2	4/12	火	2	東中須 恵子	南キャンパス101	研究の進め方・概念枠組み
3	4/14	木	1	東中須 恵子	南キャンパス101	研究倫理
4	4/14	木	2	東中須 恵子	南キャンパス101	研究の種類と方法
5	4/19	火	1	東中須 恵子	南キャンパス101	研究の種類と方法
6	4/19	火	2	東中須 恵子	南キャンパス101	文献検討・検索
7	4/21	木	1	東中須 恵子	南キャンパス101	論文クリティーク
8	4/21	木	2	東中須 恵子	南キャンパス101	研究計画書
9	4/26	火	1	東中須 恵子	南キャンパス101	演習：研究計画の作成
10	4/26	火	2	東中須 恵子	南キャンパス101	演習：研究計画の作成
11	5/19	木	1	東中須恵子 菊地淳	中講義室2	研究テーマを見出す①
12	5/19	木	2	東中須恵子 菊地淳	中講義室2	研究テーマを見出す②
13	6/7	火	1	東中須恵子 菊地淳	中講義室1	文献検索①
14	6/7	火	2	東中須恵子 菊地淳	中講義室1	文献検索②
15	6/9	木	2	東中須恵子 菊地淳	中講義室1	文献検索③
16	6/9	木	3	東中須恵子 菊地淳	中講義室1	文献クリティーク①
17	6/9	木	4	東中須恵子 菊地淳	中講義室1	文献クリティーク②
18	6/14	火	1	東中須恵子 菊地淳	中講義室1	文献クリティーク③
19	6/14	火	2	東中須恵子 菊地淳	中講義室1	文献クリティーク④
20	6/15	水	1	東中須恵子 菊地淳	中講義室1	文献クリティーク⑤と研究課題の明確化
21	6/15	水	2	東中須恵子 菊地淳	中講義室1	研究計画書作成①
22	6/16	木	2	東中須恵子 菊地淳	中講義室1	研究計画書作成②
23	6/16	木	3	東中須恵子 菊地淳	中講義室1	研究計画書作成③
24	6/16	木	4	東中須恵子 菊地淳	中講義室1	研究計画書作成③
25	6/21	火	1	東中須恵子 菊地淳	中講義室1	研究計画書作成⑤
26	6/21	火	2	東中須恵子 菊地淳	中講義室1	研究計画書発表準備①
27	6/21	火	3	東中須恵子 菊地淳	中講義室1	研究計画書発表準備②
28	6/22	水	2	東中須恵子 菊地淳	中講義室2	研究計画書発表準備③
29	6/23	木	2	東中須恵子 菊地淳	中講義室1	研究計画書・看護観発表
30	6/23	木	3	東中須恵子 菊地淳	中講義室1	まとめ

成績評価方法・基準		＊レポート(60%)と試験(40%) ＊レポートについては、コメントし返却する。
授業外における学習（予習・復習）		・事前に指示のあった課題に取り組んだ上で講義や演習にのぞむこと。 ・講義、演習後は、配布資料や紹介した文献等を活用した復習を行い、知識の定着を図ること。 ・疑問に思うことは疑問のままにせず、どんな些細なことでも講義中やリアクションペーパーなどを活用して質問し、理解の定着をはかること。
教科書 ・参考文献等	教科書	南裕子, 野嶋佐由美編著『看護における研究 第2版』（日本看護協会出版会、2017）ISBN:9784818020665
	参考書	適宜紹介する
	その他	特になし
連絡先・オフィスアワー		東中須 恵子　連絡先：研究室12（2階）　メールアドレス：nakasu@jhsu.ac.jp オフィスアワー：月曜日16:30～17:30 菊地 淳　連絡先：研究室 9（2階）　メールアドレス：j-kikuchi@jhsu.ac.jp オフィスアワー：月曜日 16:：30～17：30 田中　勇気　連絡先：研究室 5（2階）　メールアドレス：y-tanaka@jhsu.ac.jp オフィスアワー：月曜日16:30～17:30
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。

科目コード	12-11345
授業科目名	看護研究　在宅看護論
配当年次	4学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	2単位
時間数	40時間
授業形態	演習
担当教員	小林 美奈子、齊藤 敦子、増野 章子
実務家教員	東中須恵子　小林美奈子　齊藤 敦子　増野章子
授業科目の概要	看護実践と看護研究の関連を理解し、看護学における研究方法論を学習する。自らの研究課題を設定し、研究計画の立案と実施及び論文の作成、研究成果の発表を行う。研究に附随する倫理的問題、研究上の手続き、文献検索の意義と検索法についても学ぶ。
授業の到達目標	1. 看護研究を行う際の基本姿勢について、倫理事項をふまえて述べることができる。 2. 質的研究、量的研究の種類と特徴について説明できる。 3. 必要な論文を入手し、科学的な視点で読むことができる。 4. 基本的な統計解析について説明できる。 5. 問いを立て研究計画書を作成することができる。
特に関連する科目	3年次まで学習した専門基礎系科目、看護学専門科目、実習記録
授業の具体的な進め方	【1～10回】 ・配布資料と教科書を中心に講義形式の授業・演習を行う。 【11回～30回】 ・教科書や配布資料を中心に講義・演習を行う。 ・個人ワークが主となるため、計画的・自主的・積極的に取り組むこと。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/12	火	1	東中須 恵子	南キャンパス101	オリエンテーション看護における研究の意義・目的・プロセス
2	4/12	火	2	東中須 恵子	南キャンパス101	研究の進め方・概念枠組み
3	4/14	木	1	東中須 恵子	南キャンパス101	研究倫理
4	4/14	木	2	東中須 恵子	南キャンパス101	研究の種類と方法
5	4/19	火	1	東中須 恵子	南キャンパス101	研究の種類と方法
6	4/19	火	2	東中須 恵子	南キャンパス101	文献検討・検索
7	4/21	木	1	東中須 恵子	南キャンパス101	論文クリティーク
8	4/21	木	2	東中須 恵子	南キャンパス101	研究計画書
9	4/29	金	1	東中須 恵子	南キャンパス101	演習：研究計画の作成
10	4/29	金	2	東中須 恵子	南キャンパス101	演習：研究計画の作成
11	5/11	水	1	小林美奈子・齊藤敦子・増野章子	南キャンパス101	ガイダンス：演習の流れ
12	5/18	水	3	小林美奈子・齊藤敦子・増野章子	小講義室1	研究課題の明確化：キーワード
13	5/18	水	4	小林美奈子・齊藤敦子・増野章子	小講義室1	研究課題の明確化：文献検索と検討
14	5/25	水	3	小林美奈子・齊藤敦子・増野章子	小講義室1	研究課題の明確化：文献検索と検討
15	5/25	水	4	小林美奈子・齊藤敦子・増野章子	小講義室1	研究課題の明確化：文献検索と検討の要約
16	6/1	水	3	小林美奈子・齊藤敦子・増野章子	小講義室1	研究課題の明確化：文献検索と検討の要約
17	6/1	水	4	小林美奈子・齊藤敦子・増野章子	小講義室1	クリティーク
18	6/8	水	2	小林美奈子・齊藤敦子・増野章子	小講義室1	クリティーク
19	6/8	水	3	小林美奈子・齊藤敦子・増野章子	小講義室1	ガイダンス：研究計画書の作成
20	6/8	水	4	小林美奈子・齊藤敦子・増野章子	小講義室1	研究計画書の作成：研究動機と研究の社会的背景
21	6/15	水	2	小林美奈子・齊藤敦子・増野章子	小講義室1	研究計画書の作成：研究の意義と研究目的
22	6/15	水	3	小林美奈子・齊藤敦子・増野章子	小講義室1	研究計画書の作成：研究方法（研究デザイン）
23	6/15	水	4	小林美奈子・齊藤敦子・増野章子	小講義室1	研究計画書の作成：研究方法（研究対象者）
24	6/22	水	2	小林美奈子・齊藤敦子・増野章子	小講義室1	研究計画書の作成：研究方法（データの収集期間・場所）
25	6/22	水	3	小林美奈子・齊藤敦子・増野章子	小講義室1	研究計画書の作成：研究方法（データの収集方法、必要に応じてインタビューガイド等の作成）
26	6/22	水	4	小林美奈子・齊藤敦子・増野章子	小講義室1	研究計画書の作成：研究方法（データの整理と分析方法）
27	6/29	水	3	小林美奈子・齊藤敦子・増野章子	小講義室1	研究計画書の作成：研究方法（倫理的配慮、必要に応じて同意書等の書類作成）
28	6/29	水	4	小林美奈子・齊藤敦子・増野章子	小講義室1	研究計画書の作成：まとめ
29	7/6	水	3	小林美奈子・齊藤敦子・増野章子	小講義室1	研究計画書の発表
30	7/6	水	4	小林美奈子・齊藤敦子・増野章子	小講義室1	研究計画書の発表

成績評価方法・基準		【1～10回】 ＊レポート（60%）と試験(40%) ＊レポートについては、コメントし返却する。 【11～30回】 試験は実施しない。評価表に基づき総合的に評価する。評価表は、授業の中で提示する。
授業外における学習（予習・復習）		【1～10回】 ・事前に指示のあった課題に取り組んだ上で講義や演習にのぞむこと。 ・講義、演習後は、配布資料や紹介した文献等を活用した復習を行い、知識の定着を図ること。 ・疑問に思うことは疑問のままにせず、どんな些細なことでも講義中やリアクションペーパーなどを活用して質問し、理解の定着をはかること。 【11～30回】 ・事前に指示のあった課題に取り組んだ上で講義や演習にのぞむこと。 ・講義、演習後は、配布資料や紹介した文献等を活用した復習を行い、知識の定着を図ること。 ・疑問に思うことは疑問のままにせず、どんな些細なことでも質問し、理解の定着をはかること。
教科書・参考文献等	教科書	【1～10回】 南裕子, 野嶋佐由美編著『看護における研究 第2版』（日本看護協会出版会、2017）ISBN:9784818020665
	参考書	適宜紹介する
	その他	特になし
連絡先・オフィスアワー		【1～10回】 東中須恵子：研究室12（2階）nakasu@jhsu.ac.jp　月曜日 16:30～17:30 【11～30回】 小林美奈子:研究室15（2階）m-kobayashi@jhsu.ac.jp　水曜日 13:00～16:00 齊藤 敦子：研究室20（2階）at-saitou@jhsu.ac.jp　水曜日 13:00～16:00 増野 章子：研究室18（2階）a-mashino@jhsu.ac.jp　水曜日 13:00～16:00 上記以外でも在室であれば、可能な限り対応する。できるだけアポイントメントを取って欲しい。
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。

科目コード	12-11345
授業科目名	看護研究　公衆衛生衛生看護学
配当年次	4学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	2単位
時間数	40時間
授業形態	演習
担当教員	中島 富志子、東中須恵子、坂巻 つや子
実務家教員	東中須恵子、中島 富志子、坂巻 つや子
授業科目の概要	看護実践と看護研究の関連を理解し、看護学における研究方法論を学習する。自らの研究課題を設定し、研究計画の立案と実施及び論文の作成、研究成果の発表を行う。研究に附随する倫理的問題、研究上の手続き、文献検索の意義と検索法についても学ぶ。
授業の到達目標	1. 看護研究を行う際の基本姿勢について、倫理事項をふまえて述べることができる。 2. 質的研究、量的研究の種類と特徴について説明できる。 3. 必要な論文を入手し、科学的な視点で読むことができる。 4. 基本的な統計解析について説明できる。 5. 問いを立て研究計画書を作成することができる。
特に関連する科目	3年次まで学習した専門基礎系科目、看護学専門科目、実習記録
授業の具体的な進め方	【1～10回】 ・配布資料と教科書を中心に講義形式の授業・演習を行う。 【11回～30回】 ・配布資料と教科書を中心に講義形式の授業・演習を行う。 ・個々の研究計画書作成に対する指導は、実習スケジュールに合わせ担当教員が個別に実施する。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/12	火	1	東中須 恵子	南キャンパス101	オリエンテーション看護における研究の意義・目的・プロセス
2	4/12	火	2	東中須 恵子	南キャンパス101	研究の進め方・概念枠組み
3	4/14	木	1	東中須 恵子	南キャンパス101	研究倫理
4	4/14	木	2	東中須 恵子	南キャンパス101	研究の種類と方法
5	4/19	火	1	東中須 恵子	南キャンパス101	研究の種類と方法
6	4/19	火	2	東中須 恵子	南キャンパス101	文献検討・検索
7	4/21	木	1	東中須 恵子	南キャンパス101	論文クリティーク
8	4/21	木	2	東中須 恵子	南キャンパス101	研究計画書
9	4/29	金	1	東中須 恵子	南キャンパス101	演習：研究計画の作成
10	4/29	金	2	東中須 恵子	南キャンパス101	演習：研究計画の作成
11	7/25	月	1	中島富志子	講義室4	看護研究オリエンテーション・研究の進め方
12	7/25	月	2	中島富志子	講義室4	研究動機およびリサーチクエスチョン
13	7/29	金	1	中島富志子	講義室1	研究キーワードの検討
14	7/29	金	2	中島富志子	講義室1	研究キーワードの検討
15	8/1	月	1	中島富志子	講義室4	研究テーマの検討と絞り込み
16	8/1	月	2	中島富志子	講義室4	研究テーマの検討と絞り込み
17	8/5	金	1	中島富志子	講義室4	文献検討のまとめ
18	8/5	金	2	中島富志子	講義室4	文献検討のまとめ
19	8/8	月	1	中島富志子	講義室4	文献検討のまとめ
20	8/8	月	2	中島富志子	講義室4	文献検討のまとめ
21	8/22	月	1	中島富志子	講義室4	クリティーク
22	8/22	月	2	中島富志子	講義室4	クリティーク
23	8/22	月	3	中島富志子	講義室4	クリティーク
24	8/26	金	1	中島富志子	講義室4	研究計画書
25	8/26	金	2	中島富志子	講義室4	研究計画書
26	10/3	月	1	中島富志子 坂巻つや子	講義室4	研究計画書
27	10/3	月	2	中島富志子 坂巻つや子	講義室4	研究計画書
28	10/12	水	1	中島富志子 坂巻つや子	講義室4	研究計画書発表の準備
29	10/17	月	1	中島富志子 坂巻つや子	講義室4	研究計画書の発表
30	10/17	月	2	中島富志子 坂巻つや子	講義室4	研究計画書の発表

成績評価方法・基準		【1～10回】 ＊レポート(60%)と試験(40%) ＊レポートについては、コメントし返却する。 【11～30回】 ・研究計画内容、発表内容により総合的に評価する。(60%)
授業外における学習(予習・復習)		・事前に指示のあった課題に取り組んだ上で講義や演習にのぞむこと。 ・講義、演習後は、配布資料や紹介した文献等を活用した復習を行い、知識の定着を図ること。 ・疑問に思うことは疑問のままにせず、どんな些細なことでも講義中やリアクションペーパーなどを活用して質問し、理解の定着をはかること。
教科書・参考文献等	教科書	【1～10回】 南裕子、野嶋佐由美編著『看護における研究 第2版』(日本看護協会出版会、2017) ISBN:9784818020665 【11～30回】 南裕子、野嶋佐由美編著『看護における研究 第2版』(日本看護協会出版会、2017) ISBN:9784818020665(1～10回講義で使用する)
	参考書	【1～10回】適宜紹介する 【11～30回】適宜紹介する
	その他	【1～10回】特になし
連絡先・オフィスアワー		【1～10回】　東中須恵子：研究室12(2F)　nakasu@jhsu.ac.jp　月曜日 16:30～17:30 【11～30回】　中島富志子：研究室21(2階)　t-nakajima@jhsu.ac.jp 坂巻つや子：研究室2　(1階)　t-sakamaki@jhsu.ac.jp ＊質問・相談は、メールで予約をしてください。
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての(専門機関における)実務経験を活かした講義(演習)を行う。

科目コード	12-11346
授業科目名	看護行政論
配当年次	4学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	15時間
授業形態	講義
担当教員	須釜 幸男
実務家教員	
授業科目の概要	保健医療福祉行政の現状を分析し、問題点の明確化と今後の課題を検討する。保健医療福祉の動向と看護政策の関連性を理解し、政策決定プロセスや看護行政が看護職に与える影響等に関して学習する。また、国民の生活環境・様式の変化に伴って、健康問題のニーズが政策に反映される過程を検討し、看護行政の在り方を創造すると共に、看護を取り巻く職能団体とその役割・活動を習得する。
授業の到達目標	1. 他科目と統合して、グローバルでマクロな視点から看護行政を捉えられる 2. 健康問題を解決するため、疫学的でミクロな政策・意思決定プロセスを体得できる
特に関連する科目	社会医学系科目(公衆衛生学　保健医療福祉行政論　関係法規　国際保健学　保健統計学など)公衆衛生看護学概論　公衆衛生看護活動論　公衆衛生看護システム論　公衆衛生看護技術論　産業保健論　学校保健論など
授業の具体的な進め方	指定教科書を使用し、「看護行政論」に必要な基礎知識と背景を、体系的に説明する。授業内課題を通じて、知識の定着や気付きを図る。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/12	火	3	須釜幸男	南キャンパス101	社会保障制度(歴史と国際比較、将来像)
2	4/12	火	4	須釜幸男	南キャンパス101	社会保障給付費と財源、人的資源、自助・公助
3	4/19	火	3	須釜幸男	南キャンパス101	保健医療福祉制度(各社会保険、国民医療費と介護給付費、医療提供と福祉施設)
4	4/19	火	4	須釜幸男	南キャンパス101	ヘルスケア提供体制(関係職種と勤務・雇用、職能団体、情報提供、科学的根拠、技術進歩)
5	5/10	火	3	須釜幸男	南キャンパス101	医療施策(歴史、医療法改正、看護職員確保、医療機能分化)
6	5/10	火	4	須釜幸男	南キャンパス101	看護施策(看護料、看護教育、保助看法改正)
7	5/17	火	3	須釜幸男	南キャンパス101	看護制度(内閣・議員法案、ロビー活動、政治参加、パブリックコメント・スピーチ)
8	5/17	火	4	須釜幸男	南キャンパス101	政策決定過程(日本看護協会、日本学術会議、関与と責任)

成績評価方法・基準		授業参加:30%、授業内課題:30%、期末試験:40%
授業外における学習(予習・復習)		予習では講義内容を事前調査し、重要度分けや不明点の抽出を実施する。復習では板書や配布資料を読み込み、知識を体系化させる。次回講義との関連を検討する。各回の予習・復習は合計で 60 分以上。
教科書・参考文献等	教科書	増野園惠編集『看護管理学習テキスト 第3版 第1巻 ヘルスケアシステム論 2022年版』(日本看護協会出版会、2022)　ISBN:9784818023918
	参考書	講義中に適宜紹介する
	その他	なし
連絡先・オフィスアワー		連絡先:研究室30(3階) メールアドレス:y-sugama@jhsu.ac.jp 水曜日11:00～13:30(事前にメールにてアポイントを取ってください。)
その他		

科目コード	12-11347
授業科目名	緩和ケア論
配当年次	4学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	15時間
授業形態	講義
担当教員	島津 ちほ
実務家教員	看護職:島津 ちほ
授業科目の概要	終末期にある患者の身体・心理・社会・霊的な特徴と家族のニーズを知り、死までの「生」の時間における「質の高い生活」を支えるための患者、家族に対する援助、チーム医療のあり方について理解し、緩和ケアに必要な知識・技術・価値／信念を習得する。さらに、終末期医療のあり方についての認識を深め、自己の価値観（人間観、死生観、看護観、倫理観、生と死）について考察する。
授業の到達目標	1. 終末期にある患者の身体・心理・社会・霊的な特徴と家族のニーズを理解する。 2. 緩和ケアに必要な知識・技術・価値／信念を習得する。 3. 終末期医療のあり方についての認識を深める。
特に関連する科目	下級学年で学習した専門基礎系科目、看護学専門科目
授業の具体的な進め方	教科書、配布資料に基づいて講義する。必要時、知識・考え・思いに関し発表を取り入れる。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/13	水	3	島津 ちほ	南キャンパス101	緩和ケア概論　緩和ケアの歴史と現状
2	4/13	水	4	島津 ちほ	南キャンパス101	緩和ケアにおけるチーム医療
3	4/20	水	3	島津 ちほ	南キャンパス101	緩和ケアにおける看護介入　症状緩和
4	4/20	水	4	島津 ちほ	南キャンパス101	緩和ケアにおける看護介入　症状緩和
5	4/27	水	3	島津 ちほ	南キャンパス101	緩和ケアにおける倫理・意思決定支援
6	4/27	水	4	島津 ちほ	南キャンパス101	緩和ケアにおける看護介入　臨死期のケアと家族支援
7	5/11	水	3	島津 ちほ	南キャンパス101	緩和ケアの対象者の広がり （1）非がん性疾患患者の緩和ケア （2）小児、高齢者の緩和ケア
8	5/11	水	4	島津 ちほ	南キャンパス101	まとめ

成績評価方法・基準		小レポート40%　総合レポート60%
授業外における学習（予習・復習）		授業計画に沿って次回の内容について教科書、参考書等で目を通しておいてください。 講義を受けたら、配布資料と教科書、参考書、ノートを使って復習してください。
教科書・参考文献等	教科書	梅田恵, 射典子編『緩和ケア改訂：尊厳ある生と死, 大切な生活をつなぐ技と心 改訂第2版（Nursing 看護学テキストNiCE）』（南江堂、2017年）ISBN:9784524255122
	参考書	講義内にて、適宜紹介します。
	その他	
連絡先・オフィスアワー		質問等は、メールにて対応します。教務課(kyomuns-info@jhsu.ac.jp)に送ってください。
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。

科目コード	12-11348
授業科目名	災害看護(救命救急含)
配当年次	4学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	2単位
時間数	30時間
授業形態	演習
担当教員	村上 弘之
実務家教員	看護職:村上 弘之
授業科目の概要	突然起こる災害、多くの負傷者、救護者を迅速に看護しなければならないが、被災地では看護を提供する環境整備から取り組む場合もある。近年では、自然災害のみならず、人的な災害も発生している。本講義では、災害の定義、分類、サイクル、諸制度と備えを学び、国内の災害事例を紹介しながら、看護の方法について時系列的に学習する。また、災害時に負傷者に対する応急的に対応するシステム及び被災地への継続的な支援活動を維持するためのケアシステムについて看護学の視点から学習する。
授業の到達目標	1) 災害の定義、分類、サイクル、諸制度を理解する。 2) 災害現場でのトリアージについて理解する。 3) 災害時に負傷者に対する応急的に対応するシステムを理解する。
特に関連する科目	下級学年で学習した専門基礎系科目、看護学専門科目
授業の具体的な進め方	教科書、配布資料に基づいてface to face、またはonlineにて講義をする。 災害看護に関する視聴覚教材も入れて講義し、グループ課題演習を取り入れて実践的に災害看護を把握できるようにします。 Active learningとしてGooglemeetsを積極的に活用した講義展開とします。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	9/21	水	3	村上 弘之	講義室4	災害看護の歴史, 現状, 課題
2	9/21	水	4	村上 弘之	講義室4	災害看護の歴史, 現状, 課題
3	9/28	水	3	村上 弘之	講義室4	災害の定義、災害の種類と疾病構造、災害医療
4	9/28	水	4	村上 弘之	講義室4	災害看護とは
5	10/5	水	3	村上 弘之	講義室4	災害看護活動につながる基本的な知識
6	10/5	水	4	村上 弘之	講義室4	災害看護活動につながる基本的な知識
7	10/12	水	3	村上 弘之	講義室4	災害サイクル別の看護活動
8	10/12	水	4	村上 弘之	講義室4	災害サイクル別の看護活動
9	10/19	水	3	村上 弘之	講義室4	要配慮者への看護
10	10/19	水	4	村上 弘之	講義室4	保健師の災害時保健活動、国際救援活動
11	10/26	水	3	村上 弘之	講義室4	被災者と支援者に対する「こころのケア」
12	10/26	水	4	村上 弘之	講義室4	被災者と支援者に対する「こころのケア」
13	11/2	水	3	村上 弘之	講義室4	近年の注目すべき災害
14	11/2	水	4	村上 弘之	講義室4	近年の注目すべき災害
15	11/2	水	5	村上 弘之	講義室4	救命救急法

成績評価方法・基準		定期試験90%、グループ課題演習(発表・レポート)10%にて、60%以上を合格とする絶対評価。
授業外における学習(予習・復習)		授業計画に沿って次回の内容について教科書、参考書等で目を通しておいてください。 講義を受けたら、配布資料と教科書、参考書、ノートを使って復習してください。 予習・復習合わせておおむね60分以上必要です。
教科書 ・参考文献等	教科書	小原 真理子他「 災害看護: 心得ておきたい基本的な知識 改訂3版」(南山堂 2019年)ISBN9784525502539
	参考書	浦田喜久子他 『系統看護学講座 災害看護学・国際看護学 (第4版)』 (医学書院 2019年) ISBN9784260035705
	その他	
連絡先・オフィスアワー		質問は教務課で対応します。kyomuns-info@jhsu.ac.jpにメールしてください。
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての(専門機関における)実務経験を活かした講義(演習)を行う。

科目コード	12-11349
授業科目名	外国語文献講読
配当年次	4学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	選択
単位	1単位
時間数	15時間
授業形態	演習
担当教員	今西 健一
実務家教員	
授業科目の概要	看護学を学ぶ上で、海外文献や資料を講読することは重要である。看護理論や最近のトピックなどを題材に学ぶ。また、英米のナース国試問題にも挑戦する。 1. 英文を読み、とりわけ単語・文法に関する知識を総動員することで、微細なニュアンスをくみ取る能力を身につける。 2. そのくみ取った意味内容を精確に表現するために、日本語を練り上げる能力を身につける。 3. 看護に関する英文論文を読みこなす。 4. 英米ナース国家試験問題を解くことで、日本の国家試験への対応力を高め、卒業後にナースとして留学できる能力も身につける。
授業の到達目標	1. 何のために、どの文献を読むかを調べられる。 2. 集めた文献が自分の研究に必要な論文かを短時間で判断できる。 3. 必要だと判断した論文を詳細に読み、他の人に正確に紹介できる。
特に関連する科目	英語Ⅰ　英語Ⅱ　英語Ⅲ　英語Ⅳ　看護学専門科目
授業の具体的な進め方	教科書に即して、Power Pointで要点を示しながら進めていく。高校で学習したことを土台とするが、授業では基本事項から講義し、ヒトについての内容を中心とする。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	9/21	水	2	今西健一	小講義室2	ガイダンス
2	9/28	水	2	今西健一	小講義室2	各自で研究テーマを設定する。そのテーマに必要な文献検索を行い、文献検索の結果、抽出された論文を集める。
3	10/5	水	2	今西健一	小講義室2	各自のテーマに必要な文献検索を行い、文献検索の結果、抽出された論文を集める。
4	10/12	水	2	今西健一	小講義室2	集められた論文を読み、必要な論文かどうかを判断する。必要な論文がなければ、さらに文献検索を行い、抽出された論文を集める。
5	10/19	水	2	今西健一	小講義室2	重要な論文から順に詳細に読む。
6	10/26	水	2	今西健一	小講義室2	重要な論文から順に詳細に読む。
7	11/2	水	2	今西健一	小講義室2	読み込んだ論文を他の人に説明できるようにまとめ、パワーポイントを作成する。
8	11/11	金	2	今西健一	小講義室2	まとめ

成績評価方法・基準		作成したパワーポイント（50%） レポート（50%）
授業外における学習（予習・復習）		自分で選択した論文を読む。
教科書・参考文献等	教科書	教科書は指定しない。
	参考書	参考書は適宜紹介する。
	その他	特になし
連絡先・オフィスアワー		連絡先：研究室3　k-imanishi@jhsu.ac.jp

Ⅲ.

2022 年度
講義要綱･シラバス
（1･2･3 年次科目）



日本保健医療大学
保健医療学部 理学療法学科
JAPAN UNIVERSITY OF HEALTH SCIENCES

学籍番号 _____ 氏名_____

2022年度 理学療法学科授業科目 【 1･2･3年生 】

No.	区分1	区分2	科目ｺｰﾄﾞ	科目名	年次	学期	必修	単位	時間数	授業形態	担当教員	頁
1	基礎科目	表現と伝達	12101	英語Ⅰ（基礎）	1年	前期	必修	1	30	講義	黛　道子	1-2
2	基礎科目	表現と伝達	12102	英語Ⅱ（会話）	1年	前期	必修	1	30	講義	黛　道子	3-4
3	基礎科目	表現と伝達	12103	英語Ⅲ（読解）	1年	後期	必修	1	30	講義	黛　道子	5-6
4	基礎科目	表現と伝達	12104	英語Ⅳ（医学英語）	1年	後期	必修	1	30	講義	川鍋　好正	7-8
5	基礎科目	表現と伝達	12105	中国語	2年	後期	自由	1	30	講義	佐藤　恵一	9
6	基礎科目	表現と伝達	12106	フランス語	2年	後期	自由	1	30	講義	藤井　宏尚	10
7	基礎科目	表現と伝達	12107	スペイン語	2年	後期	自由	1	30	講義	田中　健吾	11
8	基礎科目	表現と伝達	12108	日本語表現法	1年	前期	自由	1	15	講義	衣川　隆	12
9	基礎科目	表現と伝達	12109	基礎ゼミⅠ（導入教育）	1年	前期	必修	1	30	演習	○高橋 真 他	13-21
10	基礎科目	健全な心身の基礎	12110	生命倫理学	2年	後期	必修	2	30	講義	岡野　浩	22
11	基礎科目	健全な心身の基礎	12111	心理学	1年	前期	必修	2	30	講義	正田　泰基	23
12	基礎科目	健全な心身の基礎	12112	健康体育	1年	後期	選択	1	30	実験 実習	正田　泰基	24
13	基礎科目	健全な心身の基礎	12113	健康とスポーツ	1年	前期	選択	1	15	講義	正田　泰基	25
14	基礎科目	生活と社会の仕組み	12114	社会福祉学	1年	前期	必修	2	30	講義	木梨　美奈子	26
15	基礎科目	生活と社会の仕組み	12115	臨床コミュニケーション論	2年	前期	必修	1	15	講義	高橋 佳史	27
16	基礎科目	生活と社会の仕組み	12116	人間関係論	2年	前期	必修	1	15	講義	高橋 佳史	28
17	基礎科目	生活と社会の仕組み	12116	人間関係論	3年	後期	必修	1	15	講義	高橋 佳史	29
18	基礎科目	生活と社会の仕組み	12117	社会学	1年	後期	選択	2	30	講義	村井　洋	30
19	基礎科目	生活と社会の仕組み	12118	教育学	1年	前期	選択	2	30	講義	小林　彰彦	31
20	基礎科目	生活と社会の仕組み	12119	法学	3年	前期	選択	2	30	講義	水倉 友理	32
21	基礎科目	生活と社会の仕組み	12120	人間論	1年	後期	選択	1	15	講義	金海　博之	33
22	基礎科目	生活と社会の仕組み	12121	日本の思想	1年	後期	選択	1	15	講義	早﨑　知幸	34
23	基礎科目	生活と社会の仕組み	12122	国際文化論	2年	後期	選択	1	15	講義	臼杵　百合子	35
24	基礎科目	自然科学の基礎	12123	情報リテラシー	1年	前期	必修	2	30	演習	金海　哲也	36
25	基礎科目	自然科学の基礎	12124	統計学	2年	前期	必修	1	15	講義	木村　朗	37
26	基礎科目	自然科学の基礎	12125	生物学	1年	前期	選択	1	15	講義	今西　健一	38
27	基礎科目	自然科学の基礎	12126	化学	1年	後期	選択	1	15	講義	若月　聡	39
28	基礎科目	自然科学の基礎	12127	物理学	1年	前期	選択	1	15	講義	山本　亨輔	40
29	基礎科目	自然科学の基礎	12128	数学基礎	1年	前期	選択	1	15	講義	目黒　力	41
30	基礎科目	自然科学の基礎	12129	人間工学基礎	1年	後期	必修	2	30	講義	廣瀬　秀行	42
31	専門基礎科目	人体の構造と機能及び心身の発達	12201	解剖学Ⅰ（運動器系）	1年	前期	必修	2	45	講義	野上　晴雄	43-44
32	専門基礎科目	人体の構造と機能及び心身の発達	12202	解剖学Ⅱ（脈管系、神経系）	1年	後期	必修	1	30	講義	野上　晴雄	45-46
33	専門基礎科目	人体の構造と機能及び心身の発達	12203	解剖学Ⅲ（感覚器系、内臓器系）	1年	後期	必修	1	30	講義	野上　晴雄	47-48
34	専門基礎科目	人体の構造と機能及び心身の発達	12204	解剖学実習	2年	前期	必修	1	45	実験 実習	野上　晴雄 武井　陽介	49-50
35	専門基礎科目	人体の構造と機能及び心身の発達	12205	体表解剖と触診法	1年	後期	必修	1	30	演習	浅田　晴美 黒川　望 髙橋　真	51
36	専門基礎科目	人体の構造と機能及び心身の発達	12206	生理学Ⅰ（生体の恒常性）	1年	前期	必修	1	15	講義	鈴木　郁子	52-53
37	専門基礎科目	人体の構造と機能及び心身の発達	12207	生理学Ⅱ（消化・吸収・排泄）	1年	後期	必修	1	30	講義	鈴木　郁子	54-55
38	専門基礎科目	人体の構造と機能及び心身の発達	12208	生理学Ⅲ（神経生理学）	2年	前期	必修	1	30	講義	鈴木　郁子	56-57
39	専門基礎科目	人体の構造と機能及び心身の発達	12209	生理学実習	2年	後期	必修	1	45	実験 実習	鈴木　郁子	58-59
40	専門基礎科目	人体の構造と機能及び心身の発達	12210	運動学Ⅰ	1年	後期	必修	2	60	講義	東　裕一	60
41	専門基礎科目	人体の構造と機能及び心身の発達	12211	運動学Ⅱ	2年	前期	必修	1	30	講義	東　裕一	61
42	専門基礎科目	人体の構造と機能及び心身の発達	12212	運動学実習	2年	前期	必修	1	45	実験 実習	○高橋 真 他	62
43	専門基礎科目	人体の構造と機能及び心身の発達	12213	運動生理学	3年	後期	必修	1	30	講義	江口 勝彦	63
44	専門基礎科目	人体の構造と機能及び心身の発達	12214	人間発達学	1年	後期	必修	1	15	講義	糸数　昌史	64
45	専門基礎科目	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	12215	医学概論	1年	前期	必修	1	15	講義	塚本　哲	65
46	専門基礎科目	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	12216	一般臨床医学	1年	後期	必修	1	30	講義	塚本　哲	66
47	専門基礎科目	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	12217	リハビリテーション医学	2年	前期	必修	1	30	講義	塚本　哲	67
48	専門基礎科目	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	12218	臨床心理学	2年	前期	必修	1	30	講義	高橋　佳史	68
49	専門基礎科目	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	12219	精神医学Ⅰ（基礎）	2年	後期	必修	1	30	講義	仙波　浩幸	69
50	専門基礎科目	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	12220	整形外科学Ⅰ（基礎）	2年	後期	必修	1	15	講義		70
51	専門基礎科目	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	12221	整形外科学Ⅱ（応用）	2年	後期	必修	1	30	講義		71
52	専門基礎科目	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	12222	神経内科学Ⅰ（基礎）	2年	前期	必修	1	15	講義	塚本　哲	72
53	専門基礎科目	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	12223	神経内科学Ⅱ（応用）	2年	後期	必修	1	30	講義	塚本　哲	73
54	専門基礎科目	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	12224	小児科学	2年	後期	必修	1	30	講義	塚本　哲	74
55	専門基礎科目	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	12225	内科学	2年	前期	必修	1	30	講義	塚本　哲	75
56	専門基礎科目	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	12226	老年医学	2年	後期	必修	1	30	講義	塚本　哲	76
57	専門基礎科目	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	12227	病理学	2年	前期	必修	1	30	講義	松山　永久	77
58	専門基礎科目	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	12228	画像評価学	3年	前期	必修	1	15	講義	穴澤　卯圭	78
59	専門基礎科目	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	12229	臨床検査学	3年	前期	必修	1	15	講義	塚本　哲	79
60	専門基礎科目	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	12230	感染と免疫論	3年	前期	必修	1	15	講義	今西　健一	80
61	専門基礎科目	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	12231	予防医学	3年	前期	必修	1	15	講義	丸谷　康平	81
62	専門基礎科目	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	12232	安全管理・救急法	3年	後期	必修	1	30	演習	村上　弘之	82
63	専門基礎科目	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	12233	薬理学	2年	後期	必修	1	15	講義	岡部　智恵	83
64	専門基礎科目	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	12234	栄養学	3年	後期	必修	1	15	講義	坂本　香織	84
65	専門基礎科目	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	12235	スポーツ医学	3年	後期	自由	1	15	講義	岩本　潤	85

2022年度　理学療法学科授業科目 【 1･2･3年生 】

66	専門基礎科目	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	12236	カウンセリング	3年	後期	自由	1	15	講義	髙橋　佳史	86
67	専門基礎科目	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	12237	リハビリテーション概論	1年	前期	必修	1	15	講義	江口　勝彦	87
68	専門基礎科目	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	12238	リハビリテーションチーム論	3年	前期	必修	1	15	講義	東　裕一 中島　富志子 加藤木　丈英	88
69	専門基礎科目	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	12239	公衆衛生学	2年	後期	必修	1	15	講義	須釜　幸男	89
70	専門基礎科目	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	12240	保健医療福祉行政論	3年	後期	必修	1	15	講義	須釜　幸男	90
71	専門基礎科目	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	12241	国際保健学	3年	後期	自由	1	15	講義	須釜　幸男	91
72	専門科目	基礎理学療法学	12301	基礎理学療法学Ⅰ	1年	前期	必修	1	30	講義	大森　啓之	92
73	専門科目	基礎理学療法学	12302	基礎理学療法学Ⅱ	3年	前期	必修	1	30	講義	大森　啓之	93
74	専門科目	基礎理学療法学	12303	臨床推論演習	3年	前期	必修	1	30	演習	湯口　聡 鈴木　慶	94
75	専門科目	基礎理学療法学	12304	理学療法総合演習	3年	後期	必修	1	30	演習	旭　竜馬 他	95
76	専門科目	基礎理学療法学	12306	理学療法研究法	3年	前期	必修	1	30	講義	湯口　聡	96
77	専門科目	基礎理学療法学	12308	リハビリテーション工学	3年	前期	必修	1	30	講義	廣瀬　秀行 河合　俊宏	97
78	専門科目	理学療法評価学	12309	理学療法評価学	1年	後期	必修	2	30	講義	湯口　聡	98
79	専門科目	理学療法評価学	12310	理学療法評価学演習Ⅰ	2年	前期	必修	1	30	演習	永野　克人	99
80	専門科目	理学療法評価学	12311	理学療法評価学演習Ⅱ	2年	前期	必修	1	30	演習	髙橋　真	100
81	専門科目	理学療法評価学	12312	生体計測学	2年	後期	必修	1	30	講義	永野　克人	101
82	専門科目	理学療法評価学	12313	臨床動作分析学	3年	前期	必修	2	30	講義	東　裕一	102
83	専門科目	理学療法治療学	12314	運動療法総論	1年	後期	必修	1	15	講義	鈴木　慶	103
84	専門科目	理学療法治療学	12315	神経系理学療法評価・治療学Ⅰ	2年	後期	必修	2	30	講義	永野　克人	104
85	専門科目	理学療法治療学	12316	神経系理学療法評価・治療学Ⅱ	2年	後期	必修	1	30	講義	加茂　智彦	105
86	専門科目	理学療法治療学	12317	神経系理学療法評価・治療学演習	3年	前期	必修	1	30	演習	永野　克人	106
87	専門科目	理学療法治療学	12318	運動器系理学療法評価・治療学Ⅰ	2年	前期	必修	2	30	講義	旭　竜馬	107
88	専門科目	理学療法治療学	12319	運動器系理学療法評価・治療学Ⅱ	2年	後期	必修	1	30	講義	旭　竜馬	108
89	専門科目	理学療法治療学	12320	運動器系理学療法評価・治療学演習	3年	前期	必修	1	30	演習	旭　竜馬	109
90	専門科目	理学療法治療学	12321	内部系理学療法評価・治療学	3年	前期	必修	2	30	講義	湯口　聡	110
91	専門科目	理学療法治療学	12322	内部系理学療法評価・治療学演習	3年	後期	必修	1	30	演習	湯口　聡 他	111
92	専門科目	理学療法治療学	12323	小児理学療法学	3年	後期	必修	2	30	講義	糸数　昌史 小島　憲司	112
93	専門科目	理学療法治療学	12324	装具学Ⅰ	3年	前期	必修	1	30	講義	石井　博之	113
94	専門科目	理学療法治療学	12325	装具学Ⅱ	3年	後期	必修	1	15	講義	江口　勝彦	114
95	専門科目	理学療法治療学	12326	義肢学	3年	前期	必修	1	30	講義	石井　博之	115
96	専門科目	理学療法治療学	12327	物理療法学	2年	後期	必修	2	30	講義	大森　啓之	116
97	専門科目	理学療法治療学	12328	物理療法学演習	3年	前期	必修	1	30	演習	大森　啓之	117
98	専門科目	理学療法治療学	12329	日常生活活動学	2年	後期	必修	2	30	講義	浅見　正人	118
99	専門科目	理学療法治療学	12330	日常生活活動学演習	3年	前期	必修	1	30	演習	浅見　正人	119
100	専門科目	理学療法治療学	12331	スポーツ傷害理学療法学	3年	後期	選択	1	15	講義	髙橋　真 新谷　益巳	120
101	専門科目	理学療法治療学	12332	理学療法技術論	3年	後期	選択	1	15	講義	東　裕一	121
102	専門科目	理学療法治療学	12333	ウィメンズヘルス	3年	後期	選択	1	15	講義	田舎中　真弓	122
103	専門科目	地域理学療法学	12334	地域理学療法学	3年	前期	必修	2	30	講義	加茂　智彦	123
104	専門科目	地域理学療法学	12335	生活環境学	3年	前期	必修	2	30	講義	浅見　正人	124
105	専門科目	臨床実習	12336	検査・測定実習	2年	後期	必修	2	80	実験実習	○江口　勝彦	125
106	専門科目	臨床実習	12337	評価実習	3年	後期	必修	4	160	実験実習	○江口　勝彦	126

【 科目コードの詳細】

1	2	1	0	1
学科		科目区分	番号	

学科コード		科目区分コード	
11	看護学科	1	基礎科目
12	理学療法学科	2	専門基礎科目
		3	専門科目

2022年度　理学療法学科授業科目 【 1･2･3年生 】

66	専門基礎科目	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	12236	カウンセリング	3年	後期	自由	1	15	講義	髙橋　佳史	86
67	専門基礎科目	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	12237	リハビリテーション概論	1年	前期	必修	1	15	講義	江口　勝彦	87
68	専門基礎科目	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	12238	リハビリテーションチーム論	3年	前期	必修	1	15	講義	東　裕一 中島　富志子 加藤木　丈英	88
69	専門基礎科目	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	12239	公衆衛生学	2年	後期	必修	1	15	講義	須釜　幸男	89
70	専門基礎科目	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	12240	保健医療福祉行政論	3年	後期	必修	1	15	講義	須釜　幸男	90
71	専門基礎科目	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	12241	国際保健学	3年	後期	自由	1	15	講義	須釜　幸男	91
72	専門科目	基礎理学療法学	12301	基礎理学療法学Ⅰ	1年	前期	必修	1	30	講義	大森　啓之	92
73	専門科目	基礎理学療法学	12302	基礎理学療法学Ⅱ	3年	前期	必修	1	30	講義	大森　啓之	93
74	専門科目	基礎理学療法学	12303	臨床推論演習	3年	前期	必修	1	30	演習	湯口　聡 鈴木　慶	94
75	専門科目	基礎理学療法学	12304	理学療法総合演習	3年	後期	必修	1	30	演習	旭　竜馬 他	95
76	専門科目	基礎理学療法学	12306	理学療法研究法	3年	前期	必修	1	30	講義	湯口　聡	96
77	専門科目	基礎理学療法学	12308	リハビリテーション工学	3年	前期	必修	1	30	講義	廣瀬　秀行 河合　俊宏	97
78	専門科目	理学療法評価学	12309	理学療法評価学	1年	後期	必修	2	30	講義	湯口　聡	98
79	専門科目	理学療法評価学	12310	理学療法評価学演習Ⅰ	2年	前期	必修	1	30	演習	永野　克人	99
80	専門科目	理学療法評価学	12311	理学療法評価学演習Ⅱ	2年	前期	必修	1	30	演習	髙橋　真	100
81	専門科目	理学療法評価学	12312	生体計測学	2年	後期	必修	1	30	講義	永野　克人	101
82	専門科目	理学療法評価学	12313	臨床動作分析学	3年	前期	必修	2	30	講義	東　裕一	102
83	専門科目	理学療法治療学	12314	運動療法総論	1年	後期	必修	1	15	講義	鈴木　慶	103
84	専門科目	理学療法治療学	12315	神経系理学療法評価・治療学Ⅰ	2年	後期	必修	2	30	講義	永野　克人	104
85	専門科目	理学療法治療学	12316	神経系理学療法評価・治療学Ⅱ	2年	後期	必修	1	30	講義	加茂　智彦	105
86	専門科目	理学療法治療学	12317	神経系理学療法評価・治療学演習	3年	前期	必修	1	30	演習	永野　克人	106
87	専門科目	理学療法治療学	12318	運動器系理学療法評価・治療学Ⅰ	2年	前期	必修	2	30	講義	旭　竜馬	107
88	専門科目	理学療法治療学	12319	運動器系理学療法評価・治療学Ⅱ	2年	後期	必修	1	30	講義	旭　竜馬	108
89	専門科目	理学療法治療学	12320	運動器系理学療法評価・治療学演習	3年	前期	必修	1	30	演習	旭　竜馬	109
90	専門科目	理学療法治療学	12321	内部系理学療法評価・治療学	3年	前期	必修	2	30	講義	湯口　聡	110
91	専門科目	理学療法治療学	12322	内部系理学療法評価・治療学演習	3年	後期	必修	1	30	演習	湯口　聡 他	111
92	専門科目	理学療法治療学	12323	小児理学療法学	3年	後期	必修	2	30	講義	糸数　昌史 小島　憲司	112
93	専門科目	理学療法治療学	12324	装具学Ⅰ	3年	前期	必修	1	30	講義	石井　博之	113
94	専門科目	理学療法治療学	12325	装具学Ⅱ	3年	後期	必修	1	15	講義	江口　勝彦	114
95	専門科目	理学療法治療学	12326	義肢学	3年	前期	必修	1	30	講義	石井　博之	115
96	専門科目	理学療法治療学	12327	物理療法学	2年	後期	必修	2	30	講義	大森　啓之	116
97	専門科目	理学療法治療学	12328	物理療法学演習	3年	前期	必修	1	30	演習	大森　啓之	117
98	専門科目	理学療法治療学	12329	日常生活活動学	2年	後期	必修	2	30	講義	浅見　正人	118
99	専門科目	理学療法治療学	12330	日常生活活動学演習	3年	前期	必修	1	30	演習	浅見　正人	119
100	専門科目	理学療法治療学	12331	スポーツ傷害理学療法学	3年	後期	選択	1	15	講義	髙橋　真 新谷　益巳	120
101	専門科目	理学療法治療学	12332	理学療法技術論	3年	後期	選択	1	15	講義	東　裕一	121
102	専門科目	理学療法治療学	12333	ウィメンズヘルス	3年	後期	選択	1	15	講義	田舎中　真弓	122
103	専門科目	地域理学療法学	12334	地域理学療法学	3年	前期	必修	2	30	講義	加茂　智彦	123
104	専門科目	地域理学療法学	12335	生活環境学	3年	前期	必修	2	30	講義	浅見　正人	124
105	専門科目	臨床実習	12336	検査・測定実習	2年	後期	必修	2	80	実験実習	○江口　勝彦	125
106	専門科目	臨床実習	12337	評価実習	3年	後期	必修	4	160	実験実習	○江口　勝彦	126

【 科目コードの詳細】

1	2	1	0	1
学科		科目区分	番号	

学科コード		科目区分コード	
11	看護学科	1	基礎科目
12	理学療法学科	2	専門基礎科目
		3	専門科目

科目コード	12101
授業科目名	英語Ⅰ（基礎）Aグループ
配当年次	1学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	黛 道子
実務家教員	
授業科目の概要	英文作成の基本を学習し、自分の考えを英文によって正確に表現できる力を身につける。そのために、扱う英文は、論説・時事関係等多様で比較的読みやすい内容を中心として、英語と日本語の発想の違い、論理的な組み立て方の違いを理解する。そして、日常会話でも使えるような比較的簡単な英語表現を中心に、豊富な語彙力を養い、文法・語法的に正しく明確に表現する練習を行う。 英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳの授業科目の学修を通じて、TOEICのスコア400点以上を取ることを目標とする。
授業の到達目標	1. 300語程度の易しい英文なら、和訳せずに意味を理解できる。 2. 基礎的な会話表現を使い、やさしい日常の会話ができる。 3. テキストの基本語彙・表現を身につけ、適切に使用することができる。 4. 基本的文法を復習し、会話・作文などに役立てることができる。 5. Graded Readersなど、易しい読み物をたくさん読み、TOEICにも有効な英語基礎力を身につける。
特に関連する科目	英語Ⅱ、英語Ⅲ、英語Ⅳ
授業の具体的な進め方	・テキストを中心に、発音、会話などの練習を行い、さらに応用練習へと進む。 ・毎回、ポイントを絞って文法の復習を行い、基礎力を充実させる。 ・学んだ文法ポイントが実際にどう使われているかをテキストの中で確認する。 ・毎回、小テストを行い、次週に返却・解説し、語彙・表現を定着させる。 ・授業の余剰時間に、graded readersなど、易しい読み物をできるだけたくさん読む。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/12	火	3	黛道子	217	Introduction: 授業概要の説明、学習の仕方 基礎の確認とインプットの必要性を理解する ⇒ 英語で本を読もう！ Unit 1: Welcome to the "Big Apple" 【文法】動詞の現在形 【会話】お礼を伝える、自己紹介をする
2	4/19	火	3	黛道子	217	Unit 2: What's the Boss Like?【文法】代名詞【会話】感想を述べる、友人を紹介する
3	4/26	火	3	黛道子	217	Unit 3: Masa's First Day on the Job【文法】前置詞【会話】勤務時間について尋ねる、行動予定について述べる
4	5/10	火	3	黛道子	217	Unit 4: Summer Fun【文法】動詞の過去形【会話】週末にしたことを述べる、ある1日を振り返る
5	5/17	火	3	黛道子	217	Unit 5: Hotle Guest Satisfaction【文法】可算名詞・不可算名詞【会話】相手を励ます、大学で必要なものについて述べる
6	5/24	火	3	黛道子	217	Unit 6: Brainstorming【文法】進行形【会話】これからすることを提案する、健康状態について述べる
7	5/31	火	3	黛道子	217	Unit 7: Glad to Be of Service【文法】Wh疑問文【会話】助けを求める、好きな人物を紹介する
8	6/7	火	2	黛道子	101	総合テスト第1回(Unit 1～7)
9	6/14	火	3	黛道子	217	Unit 8: Socializing with Co-Workers【文法】動名詞・不定詞【会話】パーティーに誘う、好きなこと・嫌いなことについて述べる
10	6/21	火	3	黛道子	217	Unit 9: Vacation Spots【文法】未来形【会話】相手に約束する、未来の自分について述べる
11	6/28	火	3	黛道子	217	Unit 10: Sports Talk【文法】比較級・最上級【会話】好みを伝える、自分の価値観について述べる
12	7/5	火	3	黛道子	217	Unit 11: Tour Day【文法】助動詞【会話】同僚に確認する、大学の規則について述べる
13	7/12	火	3	黛道子	217	Unit 12: Party Time!【文法】現在完了形【会話】喜びを伝える、最近したことについて述べる
14	7/19	火	3	黛道子	217	Unit 13: Office Meeting【文法】関係詞【会話】滞在先の感想を尋ねる、尊敬する人物について述べる
15	7/26	火	3	黛道子	217	Unit 14: A Bit of History【文法】受動態【会話】観光名所を案内する、通っている大学について述べる

成績評価方法・基準		Quiz（毎回）：40%　総合テスト2回：60%
授業外における学習（予習・復習）		【予習】授業計画に沿って次回、学習する単元に目を通し、知らない語は辞書で調べておくこと。(15分) 【復習】毎回の小テストに備え、復習すること。宿題が出された場合は、必ず、やってくること。(45分)
教科書・参考文献等	教科書	Robert Hickling & Misato Usukura, English Missions! Basic （金星堂、2019年）ISBN:9784764740716
	参考書	AS Hornby, Managing Editors: Dianna Lea, Jenifer Bradbery "Oxford Advanced Learner's Dictionary 10th Edition Paperback with 1 year's app and online access" （Oxford University Press、2020） ISBN:9780194798488 Raymond Murphy, "Basic Grammar in Use : Student's Book with Answers and Interactive eBook 4th ed" （Cambridge U.P.、2017） ISBN:9781316646731
	その他	
連絡先・オフィスアワー		メールアドレス m-mayuzumi@jhsu.ac.jp 木曜日 10:30～15:30　研究室417室
その他		【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP(1)②、(2)③、(3)③に該当。

科目コード	12101
授業科目名	英語Ⅰ（基礎）Bグループ
配当年次	1学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	黛 道子
実務家教員	
授業科目の概要	英文作成の基本を学習し、自分の考えを英文によって正確に表現できる力を身につける。そのために、扱う英文は、論説・時事関係等多様で比較的読みやすい内容を中心として、英語と日本語の発想の違い、論理的な組み立て方の違いを理解する。そして、日常会話でも使えるような比較的簡単な英語表現を中心に、豊富な語彙力を養い、文法・語法的に正しく明確に表現する練習を行う。 英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳの授業科目の学修を通じて、TOEICのスコア400点以上を取ることを目標とする。
授業の到達目標	1. 300語程度の易しい英文なら、和訳せずに意味を理解できる。 2. 基礎的な会話表現を使い、やさしい日常の会話ができる。 3. テキストの基本語彙・表現を身につけ、適切に使用することができる。 4. 基本的文法を復習し、会話・作文などに役立てることができる。 5. Graded Readersなど、易しい読み物をたくさん読み、TOEICにも有効な英語基礎力を身につける。
特に関連する科目	英語Ⅱ、英語Ⅲ、英語Ⅳ
授業の具体的な進め方	・テキストを中心に、発音、会話などの練習を行い、さらに応用練習へと進む。 ・毎回、ポイントを絞って文法の復習を行い、基礎力を充実させる。 ・学んだ文法ポイントが実際にどう使われているかをテキストの中で確認する。 ・毎回、小テストを行い、次週に返却・解説し、語彙・表現を定着させる。 ・授業の余剰時間に、graded readersなど、易しい読み物をできるだけたくさん読む。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/12	火	4	黛道子	217	Introduction: 授業概要の説明、学習の仕方 基礎の確認とインプットの必要性を理解する ⇒ 英語で本を読もう！ Unit 1: Welcome to the "Big Apple" 【文法】動詞の現在形 【会話】お礼を伝える、自己紹介をする
2	4/19	火	4	黛道子	217	Unit 2: What's the Boss Like?【文法】代名詞【会話】感想を述べる、友人を紹介する
3	4/26	火	4	黛道子	217	Unit 3: Masa's First Day on the Job【文法】前置詞【会話】勤務時間について尋ねる、行動予定について述べる
4	5/10	火	4	黛道子	217	Unit 4: Summer Fun【文法】動詞の過去形【会話】週末にしたことを述べる、ある1日を振り返る
5	5/17	火	4	黛道子	217	Unit 5: Hotle Guest Satisfaction【文法】可算名詞・不可算名詞【会話】相手を励ます、大学で必要なものについて述べる
6	5/24	火	4	黛道子	217	Unit 6: Brainstorming【文法】進行形【会話】これからすることを提案する、健康状態について述べる
7	5/31	火	4	黛道子	217	Unit 7: Glad to Be of Service【文法】Wh疑問文【会話】助けを求める、好きな人物を紹介する
8	6/7	火	4	黛道子	101	総合テスト第1回(Unit 1～7)
9	6/14	火	4	黛道子	217	Unit 8: Socializing with Co-Workers【文法】動名詞・不定詞【会話】パーティーに誘う、好きなこと・嫌いなことについて述べる
10	6/21	火	4	黛道子	217	Unit 9: Vacation Spots【文法】未来形【会話】相手に約束する、未来の自分について述べる
11	6/28	火	4	黛道子	217	Unit 10: Sports Talk【文法】比較級・最上級【会話】好みを伝える、自分の価値観について述べる
12	7/5	火	4	黛道子	217	Unit 11: Tour Day【文法】助動詞【会話】同僚に確認する、大学の規則について述べる
13	7/12	火	4	黛道子	217	Unit 12: Party Time!【文法】現在完了形【会話】喜びを伝える、最近したことについて述べる
14	7/19	火	4	黛道子	217	Unit 13: Office Meeting【文法】関係詞【会話】滞在先の感想を尋ねる、尊敬する人物について述べる
15	7/26	火	4	黛道子	217	Unit 14: A Bit of History【文法】受動態【会話】観光名所を案内する、通っている大学について述べる

成績評価方法・基準		Quiz（毎回）：40%　総合テスト2回：60%
授業外における学習（予習・復習）		【予習】授業計画に沿って次回、学習する単元に目を通し、知らない語は辞書で調べておくこと。(15分) 【復習】毎回の小テストに備え、復習すること。宿題が出された場合は、必ず、やってくること。(45分)
教科書・参考文献等	教科書	Robert Hickling & Misato Usukura, English Missions! Basic （金星堂、2019年）ISBN:9784764740716
	参考書	AS Hornby, Managing Editors: Dianna Lea, Jenifer Bradbery "Oxford Advanced Learner's Dictionary 10th Edition Paperback with 1 year's app and online access" （Oxford University Press、2020） ISBN:9780194798488 Raymond Murphy, "Basic Grammar in Use : Student's Book with Answers and Interactive eBook 4th ed" （Cambridge U.P.、2017） ISBN:9781316646731
	その他	
連絡先・オフィスアワー		メールアドレス m-mayuzumi@jhsu.ac.jp 木曜日 10:30～15:30　研究室417室
その他		【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP(1)②、(2)③、(3)③に該当。

科目コード	12102
授業科目名	英語Ⅱ（会話）Aグループ
配当年次	1学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	黛 道子
実務家教員	
授業科目の概要	国際社会で広く利用されている英語は、臨床の場面において近年重要視されている。そのため、保健・医療の場面におけるコミュニケーションとしての会話能力、表現能力の充実を目的として英語会話を学習する。授業では、汎用性の高い様々な口語表現や会話表現を学習し、実践的なコミュニケーション能力の習得を目指していく。さらに英語とともに多文化コミュニケーションで重要である非言語表現についても応用的な能力を養えるよう進める。 英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳの授業科目の学修を通じて、TOEICのスコア400点以上を取ることを目標とする。
授業の到達目標	1. 理学療法の現場で役立つ基礎的会話表現を身につける。 2. Key Expressionを類似した場面で使えるようにする。 3. 基礎的な医療用語を学び、医療記事の読解や会話場面に役立てることができる。 4. 骨格、筋肉、心臓の機能、神経の機能などの基礎を英語でも学ぶ。
特に関連する科目	英語Ⅰ、英語Ⅲ、英語Ⅳ
授業の具体的な進め方	・テキストに出てくる基本的な医療語彙の発音と意味を習得する。 ・基本的モデル会話に使用される会話表現をIlstening, writing練習などにより身につけ、類似の場面でも使用できるよう練習する。 ・毎回、Quizを行い、医療語彙や基礎的会話表現の定着を図る。 ・授業の余剰時間に、graded readersなど、易しい読み物をできるだけたくさん読む。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/14	木	5	黛道子	217	Introduction: 授業概要の説明、学習の仕方【Medical Terms】 Body Parts(External)Unit 1: Meeting People
2	4/21	木	5	黛道子	217	Unit 1: Meeting People【Medical Terms】Medical Departments and Specialists】Unit 2: Taking a Medical History
3	4/28	木	5	黛道子	217	Unit 2: Taking a Medical History【Medical Reading】Skeleton
4	5/12	木	5	黛道子	217	Unit 3: Assessing Patient's Symptoms [Coffee Break 1: Family Tree]
5	5/19	木	5	黛道子	217	Unit 3: Assessing Patient's Symptoms【Medical Terms】 Body Parts(Internal)
6	5/26	木	5	黛道子	217	Unit 4: Taking Vital Signs【Medical Reading 2】Muscles
7	6/2	木	5	黛道子	217	Unit 4: Taking Vital Signs復習
8	6/9	木	5	黛道子	217	総合テスト第1回
9	6/16	木	5	黛道子	217	Unit 6: Conducting Medical Examinations【Medical Terms】Healthcare Professionals
10	6/23	木	5	黛道子	217	Unit 6: Conducting Medical ExaminationsUnit 7: Assessing Pain【Medical Terms】Expression of Pain and Vocabulary of Orthopedics
11	6/30	木	5	黛道子	217	Unit 7: Assessing Pain【Medical Reading 3】 Heart
12	7/7	木	3	黛道子	217	Unit 8: Advising about Medication [Coffee Break 2: Directions]
13	7/14	木	5	黛道子	217	【Medical Terms】Kinds of Medicine and UsagesUnit 8: Advising about Medication
14	7/21	木	5	黛道子	217	Unit 9: Improving Patients' Mobility【Medical Terms】Wheelchair and Walking Aids
15	7/28	木	5	黛道子	217	Unit 9: Improving Patients' Mobility復習

成績評価方法・基準		Quiz：40%、総合テスト2回：60%
授業外における学習（予習・復習）		【予習】授業計画に沿って次回、学習する単元に目を通し、知らない語は辞書で調べておくこと。(15分) 【復習】毎回の小テストに備え、指定された部分を復習すること。宿題が出された場合は、必ず、やってくること。(45分)
教科書・参考文献等	教科書	Michiko Mayuzumi et. al. "Caring for People." (Cengage Learning、2014) ISBN:9784863122567
	参考書	AS Hornby, Managing Editors: Dianna Lea, Jenifer Bradbery "Oxford Advanced Learner's Dictionary 10th Edition Paperback with 1 year's app and online access" (Oxford University Press、2020) ISBN:9780194798488
		Steve Setford "Human Body (Scholastic Discover More)" (Scholastic、2014) ISBN:9780545667760
	その他	
連絡先・オフィスアワー		メールアドレス m-mayuzumi@jhsu.ac.jp　木曜日 10:30～15:30　研究室417室
その他		【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP(1)②、(2)③、(3)③に該当。

科目コード	12102
授業科目名	英語Ⅱ（会話）Bグループ
配当年次	1学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	黛 道子
実務家教員	
授業科目の概要	国際社会で広く利用されている英語は、臨床の場面において近年重要視されている。そのため、保健・医療の場面におけるコミュニケーションとしての会話能力、表現能力の充実を目的として英語会話を学習する。授業では、汎用性の高い様々な口語表現や会話表現を学習し、実践的なコミュニケーション能力の習得を目指していく。さらに英語とともに多文化コミュニケーションで重要である非言語表現についても応用的な能力を養えるよう進める。 英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳの授業科目の学修を通じて、TOEICのスコア400点以上を取ることを目標とする。
授業の到達目標	1. 理学療法の現場で役立つ基礎的会話表現を身につける。 2. Key Expressionを類似した場面で使えるようにする。 3. 基礎的な医療用語を学び、医療記事の読解や会話場面に役立てることができる。 4. 骨格、筋肉、心臓の機能、神経の機能などの基礎を英語でも学ぶ。
特に関連する科目	英語Ⅰ、英語Ⅲ、英語Ⅳ
授業の具体的な進め方	・テキストに出てくる基本的な医療語彙の発音と意味を習得する。 ・基本的モデル会話に使用される会話表現をIlstening, writing練習などにより身につけ、類似の場面でも使用できるよう練習する。 ・毎回、Quizを行い、医療語彙や基礎的会話表現の定着を図る。 ・授業の余剰時間に、graded readersなど、易しい読み物をできるだけたくさん読む。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/14	木	4	黛道子	217	Introduction: 授業概要の説明、学習の仕方【Medical Terms】 Body Parts(External)Unit 1: Meeting People
2	4/21	木	4	黛道子	217	Unit 1: Meeting People【Medical Terms】Medical Departments and Specialists】Unit 2: Taking a Medical History
3	4/28	木	4	黛道子	217	Unit 2: Taking a Medical History【Medical Reading】Skeleton
4	5/12	木	4	黛道子	217	Unit 3: Assessing Patient's Symptoms [Coffee Break 1: Family Tree]
5	5/19	木	4	黛道子	217	Unit 3: Assessing Patient's Symptoms【Medical Terms】 Body Parts(Internal)
6	5/26	木	4	黛道子	217	Unit 4: Taking Vital Signs【Medical Reading 2】Muscles
7	6/2	木	4	黛道子	217	Unit 4: Taking Vital Signs復習
8	6/9	木	4	黛道子	217	総合テスト第1回
9	6/16	木	4	黛道子	217	Unit 6: Conducting Medical Examinations【Medical Terms】Healthcare Professionals
10	6/23	木	4	黛道子	217	Unit 6: Conducting Medical ExaminationsUnit 7: Assessing Pain【Medical Terms】Expression of Pain and Vocabulary of Orthopedics
11	6/30	木	4	黛道子	217	Unit 7: Assessing Pain【Medical Reading 3】 Heart
12	7/7	木	4	黛道子	217	Unit 8: Advising about Medication [Coffee Break 2: Directions]
13	7/14	木	4	黛道子	217	【Medical Terms】Kinds of Medicine and UsagesUnit 8: Advising about Medication
14	7/21	木	4	黛道子	217	Unit 9: Improving Patients' Mobility【Medical Terms】Wheelchair and Walking Aids
15	7/28	木	4	黛道子	217	Unit 9: Improving Patients' Mobility復習

成績評価方法・基準		Quiz：40%、総合テスト2回：60%
授業外における学習（予習・復習）		【予習】授業計画に沿って次回、学習する単元に目を通し、知らない語は辞書で調べておくこと。(15分) 【復習】毎回の小テストに備え、指定された部分を復習すること。宿題が出された場合は、必ず、やってくること。(45分)
教科書 ・参考文献等	教科書	Michiko Mayuzumi et. al. "Caring for People." (Cengage Learning、2014) ISBN:9784863122567
	参考書	AS Hornby, Managing Editors: Dianna Lea, Jenifer Bradbery "Oxford Advanced Learner's Dictionary 10th Edition Paperback with 1 year's app and online access" (Oxford University Press、2020) ISBN:9780194798488
		Steve Setford "Human Body (Scholastic Discover More)" (Scholastic、2014) ISBN:9780545667760
	その他	
連絡先・オフィスアワー		メールアドレス m-mayuzumi@jhsu.ac.jp　木曜日 10:30～15:30　研究室417室
その他		【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP(1)②、(2)③、(3)③に該当。

科目コード	12103
授業科目名	英語Ⅲ(読解)Aグループ
配当年次	1学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	黛 道子
実務家教員	
授業科目の概要	英語は国際社会で活躍するためだけではなく、医療従事者としても、世界の共通の科学体系に位置づけられるため、非常に重要である。そこで、本講義では、英語Ⅰ・Ⅱを基礎として、応用的で高度な英語読解力、英文作成能力を身につけ、英文を英語のまま理解する能力や英文を日本語に訳すことができる能力の充実を目的とする。そのために、医療関係の記事や論文等の読解訓練を行い、それとともに、やさしい英作文から英語レポートの組み立て方や書き方等について学習する。 本講義では、英語Ⅰ・Ⅱの前期の成績により2クラスに分けて授業を実施する。
授業の到達目標	1. 500語程度の易しい英文なら日本語を介さず、英語のまま理解できる。 2. 学期中に50～100冊、10,000～50,000語を80%以上の理解度で読める。 3. 素早く大意を取ること(skimming)や必要な情報をつかむ(scanning)読み方ができる。 4. 毎回の授業で取り上げたテキストの基本語彙・表現を身につけ、簡単な会話や作文の中で使うことができる。 5. 多量の英文を読み、聞くことにより、TOEICにも有効な英語読解力を身につける。
特に関連する科目	英語Ⅰ、英語Ⅱ、英語Ⅳ
授業の具体的な進め方	授業はReading Workshopと多読多聴の2つの柱を中心に展開する。 【Reading Workshop】 毎回、取り上げる英文で文法、語彙の強化を図る。 Factを正確に読み取る、順序や関連を意識して読む、文脈に沿って読む、主要テーマをとらえる、なども練習する。 【多読多聴】 internetにより配信される多数の英語の本を読み、聞くことにより、訳すことなく英語を理解できるようにする。 2回のBook Reportをシェアすることで、相互に学ぶ機会も設ける。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	9/22	木	3	黛道子	217	Introduction:授業概要、学習の仕方 Unit 1 A Piece of History in Your Closet 【基礎学習】Expressions: be made from/ like something/ be related to/ start ~ing/ be associated with 【多読多聴】精読と多読のメリット・デメリット
2	9/29	木	3	黛道子	217	Unit 2 Birth Order among Siblings 【基礎学習】Expressions: the more... the more/ choose not to do/ be crazy about/ get attention/ follow in one's footsteps 【多読多聴】多読の上手な始め方
3	10/6	木	3	黛道子	217	Unit 3 The Origin of Basketball 【基礎学習】Expressions: try to do/ ever since/ that's how SV/ either A or B catch on 【多読多聴】ORT(Oxford Reading Tree)を読んでみよう
4	10/13	木	3	黛道子	217	Unit 4 Table Manners 【基礎学習】Expressions: be proper to do/ while ~ing/ as long as SV/ be best to do/ how much SV 【多読多聴】ORT(Oxford Reading Tree)の文化背景
5	10/20	木	3	黛道子	217	Unit 5 Music Beats 【基礎学習】Expressions: not only... but also/ be likely to do/ sound like/ no one can do/ make someone do 【多読多聴】易しく楽しい絵本シリーズ Book Report 第1回
6	10/27	木	3	黛道子	217	Unit 6 Amazing Koalas 【基礎学習】Expressions: take care of/ even though/ it is difficult to do/ buy someone something/ except for 【多読多聴】易しく楽しい絵本シリーズ
7	11/10	木	3	黛道子	217	Unit 7 Coffee and Healthy Life 【基礎学習】Expressions: keep someone adj./ SV before SV/ amount of/ while SV, SV/ according to 【復習】Unit 1~7
8	11/17	木	3	黛道子	217	総合テスト第1回(Unit 1～7)
9	11/24	木	3	黛道子	217	Unit 8 Pyramids of Egypt 【基礎学習】Expressions: although/ be filled with/ do(emphasis)/ at least/ day in and day out 【多読多聴】Foundations Reading Libraryを読む
10	12/1	木	3	黛道子	217	Unit 9 Days of Showing Your Love 【基礎学習】Expressions: SV because SV/ in many ways/ each/ give something to someone/ be adj. enough to do 【多読多聴】Foundations Reading Libraryを読む
11	12/8	木	3	黛道子	217	Unit 10 Unique Career 【基礎学習】Expressions: how to do/ depend on/ it is time to do/ almost all must be able to do 【多読多聴】Usbourne First Reading, Ready-to-Readを楽しむ
12	12/15	木	3	黛道子	217	Unit 11 The Story of Medusa 【基礎学習】Expressions: if someone did, someone would do/ so adj. that SV/ get rid of/ not to mention/ someone who do 【多読多聴】Henry & Mudge Series, Mr. Putter and Mudge Seriesを読む Book Report 第2回
13	12/22	木	3	黛道子	217	Unit 12 Genetic Modification 【基礎学習】Expressions: take a look at/ have been ~ing/ get mixed up with times ~er/ hard not to do 【多読多聴】Oxford Classic Tales
14	1/12	木	3	黛道子	217	Unit 13 Earth Day 【基礎学習】Expressions: what someone do/ by not ~ing/ take steps to do a little/ every time SV 【多読多聴】Macmillan English Readers, Penguin English Readers
15	1/29	木	3	黛道子	217	Unit 14 Technology and Life 【基礎学習】Expressions: whose someone/ be what SV/ allow someone to do such as/ be yet to come 【復習】Unit 8～14

成績評価方法・基準		多読量20%、毎回のQuiz 20% 、総合テスト2回 50%、Book Report2回 10%
授業外における学習(予習・復習)		【予習】教科書の次週のUnitに目を通し、知らない語は辞書で調べておくこと。(15分) 【復習】毎回の小テストに備え、指定された部分を復習すること。できるだけ多くの易しい本を読み、聞くこと。(45分)
教科書・参考文献等	教科書	Akihiko Sato & Valerie Tidwell, Reading Success 2, Seibido ISBN: 9784791960224
	参考書	AS Hornby, Managing Editors: Dianna Lea, Jenifer Bradbery "Oxford Advanced Learner's Dictionary 10th Edition Paperback with 1 year's app and online access" (Oxford University Press、2020) ISBN:9780194798488
	その他	
連絡先・オフィスアワー		メールアドレス m-mayuzumi@jhsu.ac.jp 木曜日 10:30～15:30 研究室417室
その他		【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP(1)②、(2)③、(3)③に該当。

科目コード	12103
授業科目名	英語Ⅲ(読解)Bグループ
配当年次	1学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	黛 道子
実務家教員	
授業科目の概要	英語は国際社会で活躍するためだけではなく、医療従事者としても、世界の共通の科学体系に位置づけられるため、非常に重要である。そこで、本講義では、英語Ⅰ・Ⅱを基礎として、応用的で高度な英語読解力、英文作成能力を身につけ、英文を英語のまま理解する能力や英文を日本語に訳すことができる能力の充実を目的とする。そのために、医療関係の記事や論文等の読解訓練を行い、それとともに、やさしい英作文から英語レポートの組み立て方や書き方等について学習する。 本講義では、英語Ⅰ・Ⅱの前期の成績により2クラスに分けて授業を実施する。
授業の到達目標	1. 500語程度の易しい英文なら日本語を介さず、英語のまま理解できる。 2. 学期中に50～100冊、10,000～50,000語を80%以上の理解度で読める。 3. 素早く大意を取ること(skimming)や必要な情報をつかむ(scanning)読み方ができる。 4. 毎回の授業で取り上げたテキストの基本語彙・表現を身につけ、簡単な会話や作文の中で使うことができる。 5. 多量の英文を読み、聞くことにより、TOEICにも有効な英語読解力を身につける。
特に関連する科目	英語Ⅰ、英語Ⅱ、英語Ⅳ
授業の具体的な進め方	授業はReading Workshopと多読多聴の2つの柱を中心に展開する。 【Reading Workshop】 毎回、取り上げる英文で文法、語彙の強化を図る。 Factを正確に読み取る、順序や関連を意識して読む、文脈に沿って読む、主要テーマをとらえる、なども練習する。 【多読多聴】 internetにより配信される多数の英語の本を読み、聞くことにより、訳すことなく英語を理解できるようにする。 2回のBook Reportをシェアすることで、相互に学ぶ機会も設ける。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	9/22	木	4	黛道子	217	Introduction:授業概要、学習の仕方 Unit 1 A Piece of History in Your Closet 【基礎学習】Expressions: be made from/ like something/ be related to/ start ~ing/ be associated with 【多読多聴】精読と多読のメリット・デメリット
2	9/29	木	4	黛道子	217	Unit 2 Birth Order among Siblings 【基礎学習】Expressions: the more... the more/ choose not to do/ be crazy about/ get attention/ follow in one's footsteps 【多読多聴】多読の上手な始め方
3	10/6	木	4	黛道子	217	Unit 3 The Origin of Basketball 【基礎学習】Expressions: try to do/ ever since/ that's how SV/ either A or B catch on 【多読多聴】ORT(Oxford Reading Tree)を読んでみよう
4	10/13	木	4	黛道子	217	Unit 4 Table Manners 【基礎学習】Expressions: be proper to do/ while ~ing/ as long as SV/ be best to do/ how much SV 【多読多聴】ORT(Oxford Reading Tree)の文化背景
5	10/20	木	4	黛道子	217	Unit 5 Music Beats 【基礎学習】Expressions: not only... but also/ be likely to do/ sound like/ no one can do/ make someone do 【多読多聴】易しく楽しい絵本シリーズ Book Report 第1回
6	10/27	木	4	黛道子	217	Unit 6 Amazing Koalas 【基礎学習】Expressions: take care of/ even though/ it is difficult to do/ buy someone something/ except for 【多読多聴】易しく楽しい絵本シリーズ
7	11/10	木	4	黛道子	217	Unit 7 Coffee and Healthy Life 【基礎学習】Expressions: keep someone adj./ SV before SV/ amount of/ while SV, SV/ according to 【復習】Unit 1~7
8	11/17	木	4	黛道子	217	総合テスト第1回(Unit 1～7)
9	11/24	木	4	黛道子	217	Unit 8 Pyramids of Egypt 【基礎学習】Expressions: although/ be filled with/ do(emphasis)/ at least/ day in and day out 【多読多聴】Foundations Reading Libraryを読む
10	12/1	木	4	黛道子	217	Unit 9 Days of Showing Your Love 【基礎学習】Expressions: SV because SV/ in many ways/ each/ give something to someone/ be adj. enough to do 【多読多聴】Foundations Reading Libraryを読む
11	12/8	木	4	黛道子	217	Unit 10 Unique Career 【基礎学習】Expressions: how to do/ depend on/ it is time to do/ almost all must be able to do 【多読多聴】Usbourne First Reading, Ready-to-Readを楽しむ
12	12/15	木	4	黛道子	217	Unit 11 The Story of Medusa 【基礎学習】Expressions: if someone did, someone would do/ so adj. that SV/ get rid of/ not to mention/ someone who do 【多読多聴】Henry & Mudge Series, Mr. Putter and Mudge Seriesを読む Book Report 第2回
13	12/22	木	4	黛道子	217	Unit 12 Genetic Modification 【基礎学習】Expressions: take a look at/ have been ~ing/ get mixed up with times ~er/ hard not to do 【多読多聴】Oxford Classic Tales
14	1/12	木	4	黛道子	217	Unit 13 Earth Day 【基礎学習】Expressions: what someone do/ by not ~ing/ take steps to do a little/ every time SV 【多読多聴】Macmillan English Readers, Penguin English Readers
15	1/19	木	4	黛道子	217	Unit 14 Technology and Life 【基礎学習】Expressions: whose someone/ be what SV/ allow someone to do such as/ be yet to come 【復習】Unit 8～14

成績評価方法・基準		多読量20%、毎回のQuiz 20% 、総合テスト2回 50%、Book Report2回 10%
授業外における学習(予習・復習)		【予習】教科書の次週のUnitに目を通し、知らない語は辞書で調べておくこと。(15分) 【復習】毎回の小テストに備え、指定された部分を復習すること。できるだけ多くの易しい本を読み、聞くこと。(45分)
教科書・参考文献等	教科書	Akihiko Sato & Valerie Tidwell, Reading Success 2, Seibido ISBN: 9784791960224
	参考書	AS Hornby, Managing Editors: Dianna Lea, Jenifer Bradbery "Oxford Advanced Learner's Dictionary 10th Edition Paperback with 1 year's app and online access" (Oxford University Press、2020) ISBN:9780194798488
	その他	
連絡先・オフィスアワー		メールアドレス m-mayuzumi@jhsu.ac.jp 木曜日 10:30～15:30 研究室417室
その他		【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP(1)②、(2)③、(3)③に該当。

科目コード	12104
授業科目名	英語Ⅳ(医学英語)Aグループ
配当年次	1学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	川鍋 好正
実務家教員	
授業科目の概要	医療チームの一員として活躍するためには、医療、保健、福祉に関する実際の場面において共通用語として使用される医学英語を理解、活用できなければならない。したがって、本講義では、英語Ⅰ・Ⅱで身につけた知識を基礎としながら、医療従事者として役に立つ実践的な英単語や英語表現について学習する。また、英語における医学用語の特徴や構成についても学習する。
授業の到達目標	医療に従事する者として臨床の場に役立つ単語および、表現を習得する。
特に関連する科目	英語Ⅰ　英語Ⅱ　英語Ⅲ
授業の具体的な進め方	英語Ⅰで学んだ文法事項を確認しながら教科書に沿って進めていく。 教科書とは別に課題も与えられる。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	9/22	木	4	川鍋好正	217	【1】People, places and things in a hospital/clinic1. Hospital departments and associated doctors
2	9/29	木	4	川鍋好正	217	2. Healthcare personnel, patients, and other people
3	10/6	木	4	川鍋好正	217	3. Medical supplies and equipment
4	10/13	木	4	川鍋好正	217	4. Medication and treatment
5	10/20	木	4	川鍋好正	217	【2】Anatomical words　　5. External body
6	10/27	木	4	川鍋好正	217	6. Internal body Ⅰ
7	11/10	木	4	川鍋好正	217	7. Internal body Ⅱ
8	11/17	木	4	川鍋好正	217	8. Musculoskeletal system 、まとめ
9	11/24	木	4	川鍋好正	217	【3】Illness and emergencies　9. Illness and conditions Ⅰ
10	12/1	木	4	川鍋好正	217	10. Illness and conditions Ⅱ
11	12/8	木	4	川鍋好正	217	11. Children's and women's illness and conditions
12	12/15	木	4	川鍋好正	217	12. Injuries and emergencies
13	12/22	木	4	川鍋好正	217	13. Common complaints
14	1/12	木	4	川鍋好正	217	14. Taking a patient's history
15	1/19	木	4	川鍋好正	217	15. Giving questions from foreign patients

成績評価方法・基準		授業への参加(出席状況)・課題提出・その他(自主学習の成果)
授業外における学習(予習・復習)		授業計画に沿って次回の授業内容について教科書、辞書で予習すること。 復習は、教科書、自作のノートを用いて内容を確認し、分かりにくい個所をよく調べて、文法を理解し、語彙を覚えるようにすること。
教科書 ・参考文献等	教科書	Ian Willey/Gerardine McCrohan/芝田征二 『Easy Nursing English』 (南山堂、2009年) ISBN:9784525022310
	参考書	英語Ⅱの教科書
	その他	
連絡先・オフィスアワー		Googleのメール等で対応する。
その他		【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP(2)に該当。

科目コード	12104
授業科目名	英語Ⅳ（医学英語）Bグループ
配当年次	1学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	川鍋 好正
実務家教員	
授業科目の概要	医療チームの一員として活躍するためには、医療、保健、福祉に関する実際の場面において共通用語として使用される医学英語を理解、活用できなければならない。したがって、本講義では、英語Ⅰ・Ⅱで身につけた知識を基礎としながら、医療従事者として役に立つ実践的な英単語や英語表現について学習する。また、英語における医学用語の特徴や構成についても学習する。
授業の到達目標	医療に従事する者として臨床の場に役立つ単語および、表現を習得する。
特に関連する科目	英語Ⅰ　英語Ⅱ　英語Ⅲ
授業の具体的な進め方	英語Ⅰで学んだ文法事項を確認しながら教科書に沿って進めていく。 教科書とは別に課題も与えられる。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	9/22	木	3	川鍋好正	217	【1】People, places and things in a hospital/clinic1. Hospital departments and associated doctors
2	9/29	木	3	川鍋好正	217	2. Healthcare personnel, patients, and other people
3	10/6	木	3	川鍋好正	217	3. Medical supplies and equipment
4	10/13	木	3	川鍋好正	217	4. Medication and treatment
5	10/20	木	3	川鍋好正	217	【2】Anatomical words　　5. External body
6	10/27	木	3	川鍋好正	217	6. Internal body Ⅰ
7	11/10	木	3	川鍋好正	217	7. Internal body Ⅱ
8	11/17	木	3	川鍋好正	217	8. Musculoskeletal system 、まとめ
9	11/24	木	3	川鍋好正	217	【3】Illness and emergencies　9. Illness and conditions Ⅰ
10	12/1	木	3	川鍋好正	217	10. Illness and conditions Ⅱ
11	12/8	木	3	川鍋好正	217	11. Children's and women's illness and conditions
12	12/15	木	3	川鍋好正	217	12. Injuries and emergencies
13	12/22	木	3	川鍋好正	217	13. Common complaints
14	1/12	木	3	川鍋好正	217	14. Taking a patient's history
15	1/19	木	3	川鍋好正	217	15. Giving questions from foreign patients

成績評価方法・基準		授業への参加（出席状況）・課題提出・その他（自主学習の成果）
授業外における学習（予習・復習）		授業計画に沿って次回の授業内容について教科書、辞書で予習すること。 復習は、教科書、自作のノートを用いて内容を確認し、分かりにくい個所をよく調べて、文法を理解し、語彙を覚えるようにすること。
教科書 ・参考文献等	教科書	Ian Willey/Gerardine McCrohan/芝田征二 『Easy Nursing English』（南山堂、2009年） ISBN:9784525022310
	参考書	英語Ⅱの教科書
	その他	
連絡先・オフィスアワー		Googleのメール等で対応する。
その他		【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP(2)に該当。

科目コード	12105
授業科目名	中国語
配当年次	2学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	自由
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	佐藤 恵一
実務家教員	
授業科目の概要	初歩的な中国語のテキスト購読や日常的な会話の表現練習を通して、自身の考えや体験等を発言できるコミュニケーション能力を身につけることを講義の目標とする。そのために、日常よく使われる会話の学習を通して、中国語の発音の規則、文法および基本語彙や基本文型について学習する。また、中国語を学習しながら、近年国際社会の中で大きな存在となっている「中国」という国について、その歴史や文化への理解を深めていく。 本講義は約40名の人数構成として実施することを前提としている。
授業の到達目標	1. 日常生活の中で、簡単な中国語会話ができる。 2. 中国の歴史・文化の基礎的知識を身につける。
特に関連する科目	特になし
授業の具体的な進め方	教科書に沿って進めていく。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	9/21	水	3	佐藤 恵一	306	中国語とは？　中国語の発音発音、漢字、声調
2	9/28	水	3	佐藤 恵一	306	中国語の発音のきまり単母音、複合母音
3	10/5	水	3	佐藤 恵一	306	子音の発音子音と声調
4	10/12	水	3	佐藤 恵一	306	発音の復習音節表の朗読
5	10/19	水	3	佐藤 恵一	306	第1課　簡単な日常会話あいさつの表現
6	10/26	水	3	佐藤 恵一	306	第2課　お名前は何ですか自分の名前の発音を覚える
7	11/2	水	3	佐藤 恵一	306	第3課　これは何ですか本文と練習問題
8	11/9	水	3	佐藤 恵一	306	第4課　どこの国の人ですか本文と練習問題まとめ
9	11/16	水	3	佐藤 恵一	306	第5課　これは誰の鉛筆ですか、 第6課　今日は何曜日ですか本文と練習問題
10	11/30	水	3	佐藤 恵一	306	第7課　今日は何日ですか、 第8課　今何時ですか本文と練習問題
11	12/7	水	3	佐藤 恵一	306	第9課　いくつですか、 第10課　いくらですか本文と練習問題
12	12/14	水	3	佐藤 恵一	306	第11課　何を買うつもりですか、 第12課　何人家族ですか本文と練習問題
13	12/21	水	3	佐藤 恵一	306	第13課　中国語教室はどこですか、 第14課　図書館に中国語の本はありますか本文と練習問題
14	1/11	水	3	佐藤 恵一	306	第15課 趣味はなんですか、 第16課　中国語が話せますか本文と練習問題
15	1/18	水	3	佐藤 恵一	306	まとめ

成績評価方法・基準		期末試験（80%）、授業中課題テスト（20%）
授業外における学習（予習・復習）		授業前の予習と授業後の復習を、1時限ごとに30分～60分くらい行うようにしてください。
教科書・参考文献等	教科書	木村淳，泉田俊英，李原翔 著　『じっくり学ぶ中国語』　（金星堂、2015年） ISBN:9784764706965
	参考書	
	その他	
連絡先・オフィスアワー		授業日の授業前後に非常勤講師室で対応します。
その他		【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP（2）に該当。

科目コード	12106
授業科目名	フランス語
配当年次	2学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	自由
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	藤井 宏尚
実務家教員	
授業科目の概要	フランス語のアルファベットとその発音、基本的な文法および日常的に使用される単語の学習に重点を置き、フランス語の基礎について学習する。また、語学を学ぶとともに、フランス文化についても同時に紹介し、異文化理解を深めることも重視する。したがって、本講義では、フレンチポップス等の聴き取りやすい音楽を活用しながら、フランス語の音に慣れ、発音・ヒアリングの練習を行う。また、音楽は語学学習とともに、フランス文化の理解のための効果的な教材として活用する。 本講義は約40名の人数構成として実施することを前提としている。
授業の到達目標	フランス語の基本を身に付ける。同時にフランス文化を学ぶことによって、異文化理解を深める。
特に関連する科目	特になし
授業の具体的な進め方	テキストの内容は、パリを実際旅するという設定で構成されている。まず場面ごとに具体的な旅情報に多様な写真を通して触れ、関連クイズに答える。次に文法内容が組み込まれた日常会話の発音練習をする。最後に聴き取り中心の簡単な練習問題を解く。できるだけ多くの映像資料も紹介したい。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	9/30	金	5	藤井宏尚	306	ガイダンス、アルファベットと簡単なあいさつ表現1
2	10/7	金	5	藤井宏尚	306	フランスという国について、簡単なあいさつ表現2
3	10/14	金	5	藤井宏尚	306	「パリに着いた」―名詞の性数と冠詞
4	10/21	金	5	藤井宏尚	306	「ホテルにて」―主語人称代名詞とêtre/avoir動詞
5	10/28	金	5	藤井宏尚	306	「アロー、アロー」―形容詞
6	11/4	金	5	藤井宏尚	306	「テラスでお茶を」―規則動詞
7	11/11	金	5	藤井宏尚	306	「メトロに乗ろう」―否定文
8	11/18	金	5	藤井宏尚	306	「名所を廻ろう」―疑問文
9	11/25	金	5	藤井宏尚	306	「水を買う」―非人称構文
10	12/2	金	5	藤井宏尚	306	「エスカルゴって何」―命令文
11	12/9	金	5	藤井宏尚	306	「モナ・リザに会う」―疑問代名詞と疑問副詞
12	12/16	金	5	藤井宏尚	306	「買い物を楽しむ」―比較級と最上級
13	12/23	金	5	藤井宏尚	306	「セーヌは流れる」―関係代名詞
14	1/13	金	5	藤井宏尚	306	「オペラ座に入ってみよう」―複合過去形
15	1/20	金	5	藤井宏尚	306	総合的な復習と学期末テスト対策

成績評価方法・基準		出席・授業状況:40%、定期試験(後半):60%
授業外における学習(予習・復習)		特に復習に力を入れ、単語、文法など繰り返し練習すること。
教科書・参考文献等	教科書	小谷奈津子, 藤井宏尚 著 『キーフレーズで学ぶフランス語～Ça marche !～』 (三修社、2018年) ISBN:9784384220544
	参考書	
	その他	
連絡先・オフィスアワー		授業日の授業前後に非常勤講師控室で対応します。
その他		【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP(2)に該当。

科目コード	12107
授業科目名	スペイン語
配当年次	2学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	自由
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	田中 健吾
実務家教員	
授業科目の概要	国際社会の中で活躍できる理学療法士となるために、医療現場で求められる語学能力を身につける準備となるようなスペイン語の基礎を身につける。そのために、スペイン語の日常会話で使用される単語や平易な会話表現、基本的な文法について学習する。 また、スペイン語を学ぶことを通して、スペインや国際社会に対して関心を高め、異文化理解を深めるための一助としていく。 語学習得には予習復習が重要であるため、読む、書く、覚えるの練習を常に行うよう心掛けることが必要になる。 本講義は約40名の人数構成として実施することを前提としている。
授業の到達目標	1. 日常生活の中で、簡単なスペイン語会話ができる。 2. スペイン語の初級文法を理解し、読解の基礎的知識を身につける。 3. スペインの歴史・文化の基礎的知識を身につける。
特に関連する科目	特になし
授業の具体的な進め方	教科書に沿って進めていく。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	9/21	水	4	田中 健吾	306	ガイダンス、スペイン語の特徴、アルファベット
2	9/28	水	4	田中 健吾	306	アルファベット、母音、子音、音節の分け方、アクセントの位置
3	10/5	水	4	田中 健吾	306	基数詞(0から10まで)、名詞
4	10/12	水	4	田中 健吾	306	冠詞、形容詞
5	10/19	水	4	田中 健吾	306	主格人称代名詞、直説法現在の規則活用
6	10/26	水	4	田中 健吾	306	否定文、疑問文、基数詞(11から100まで)
7	11/2	水	4	田中 健吾	306	serとestarの直説法現在
8	11/9	水	4	田中 健吾	306	hay動詞 、まとめ
9	11/16	水	4	田中 健吾	306	疑問詞
10	11/30	水	4	田中 健吾	306	直説法現在の不規則活用①
11	12/7	水	4	田中 健吾	306	指示詞
12	12/14	水	4	田中 健吾	306	menteの副詞
13	12/21	水	4	田中 健吾	306	感嘆文
14	1/11	水	4	田中 健吾	306	序数詞
15	1/18	水	4	田中 健吾	306	まとめ

成績評価方法・基準		期末試験（60%）、授業中課題テスト（40%）
授業外における学習（予習・復習）		特に復習に力を入れ、単語、文法など繰り返し練習すること。 授業後の学習として、教科書内の練習問題を解くこと。
教科書 ・参考文献等	教科書	和佐敦子 著『初級スペイン語文法 全音声DL版』（朝日出版社、2016年） ISBN:9784255550770
	参考書	西川喬 著『わかるスペイン語文法 』（同学社、2010年） ISBN:9784810202250
	その他	
連絡先・オフィスアワー		授業日の授業前後に非常勤講師室で対応します。
その他		【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP（2）に該当。

科目コード	12108
授業科目名	日本語表現法
配当年次	1学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	自由
単位	1単位
時間数	15時間
授業形態	講義
担当教員	衣川 隆
実務家教員	
授業科目の概要	多様なコミュニケーションの場面が存在する理学療法士は自らの意見や思考を正確に情報発信およびプレゼンテーションすることが求められるため、その背景となる適切な日本語の表現方法について身につけなければならない。そのために、本講義では、レポートや論文等の文書作成を重視し、それらに有効な日本語表現法に焦点を絞り、誤解のない文章を作成、構成するスキルや論理的な文章の書き方等について学習する。
授業の到達目標	文章表現において基本となる知識を学ぶとともに、授業時に実際に書くこと読むこと調べることを通じて、的確な表現力を身に付けたい。特に医療系の学生にとって、文章表現能力は昨今重視の傾向にある。時代の要請でもあるが、自らの意見や思考、報告事項等でエビデンスをもって正確に情報発信できるようにすることを到達目標とする。
特に関連する科目	関連し合う科目ー理学療法学科における教育課程において、本科目はレポート、論文等の文書作成の基礎となるため、すべての授業科目と関連する。
授業の具体的な進め方	講義と演習。毎時間演習課題を出す。課題は授業時間内に提出する。参考書は授業内で紹介する。筆記用具と国語辞典を用意すること。(電子辞書可)意味と表記が調べられるものであればどんなものでも可。課題を提出することで出席とする。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	6/8	水	5	衣川隆	217	小論文を書く①-1「サルコペニア」について、エビデンスとなる資料収集する。
2	6/15	水	5	衣川隆	217	小論文を書く①-2「サルコペニア」をテーマにして、800字で論じる。
3	6/22	水	5	衣川隆	217	小論文を書く②-1「筋肉の回復と栄養」について、エビデンスとなる資料収集する。
4	6/29	水	5	衣川隆	217	小論文を書く②-2「筋肉の回復と栄養」をテーマにして、800字で論じる。
5	7/6	水	5	衣川隆	217	小論文を書く③-1「睡眠負債」について、エビデンスとなる資料収集する。
6	7/13	水	5	衣川隆	217	小論文を書く③-2「睡眠負債」をテーマにして、800字で論じる。
7	7/20	水	5	衣川隆	217	小論文を書く④-1「肩甲上腕リズムの不具合(仮説)」について、エビデンスとなる資料収集する。
8	7/27	水	5	衣川隆	217	小論文を書く④-2「肩甲上腕リズムの不具合(仮説)」をテーマにして、800字で論じる。

成績評価方法・基準		成績の配分は、課題提出及びその内容」100%を基準とする。課題は、採点・添削後返却する。
授業外における学習(予習・復習)		授業計画に沿って予習すること。テーマに関連する文献を読んだり調べる必要があるので60分以上。
教科書・参考文献等	教科書	教科書は用いない。
	参考書	運動学、解剖学等。講義内で適宜紹介する。
	その他	特になし。
連絡先・オフィスアワー		授業後にクラスルームで質問に対応する。
その他		【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP(2)に該当。

科目コード	12109
授業科目名	基礎ゼミⅠ（導入教育）-1 （高橋ゼミ）
配当年次	1学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	演習
担当教員	髙橋 真
実務家教員	理学療法士：髙橋 真
授業科目の概要	導入教育として、10名程度のゼミナール形式により演習を実施する。本演習では、大学生活における学習の実践的な能力を養うために、①スタディースキル（図書館の利用法、情報収集の仕方、レポートの書き方等）、②ソーシャルスキル（社会人として、未来の医療従事者としての心構え）について担当教員および学生同士の交流、意見交換や具体的な体験を通して身につけ、今後の大学生活の基礎的な技能を習得する。
授業の到達目標	基礎ゼミでは、大学生としての学び方、将来の医療人としての心構え、医の倫理を学び、主体的な学習態度・習慣を身につけ知的好奇心を育むと共に、生涯にわたる知の追求など医療人としてのプリンシプルを獲得することを到達目標とする。 到達目標の一部を下記に示す。 1) 大学図書館の機能を理解し、目的に沿って利用できる。 2) 図書（逐次刊行物、成書）、インターネット情報などを広く利用し情報を収集することができる。 3) 課された簡単なテーマについて，論理的な構成でレポートを書くことができる。 将来の医療人として、基本的な医の倫理について学習し、倫理観を身につける。
特に関連する科目	この科目が基礎となる科目－全科目
授業の具体的な進め方	第1,2回はコースオリエンテーションや大学での学習、自己学習について講義する。第8回～15回は6月6日～7月29日までの期間において、担当教員ごとにゼミ生を配置し、対面でのグループ演習を行うので、ゼミ担当教員の指示に従って参加すること。演習では、グループでの議論等をレポートなどにまとめ，プレゼンテーション等を行う。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/13	水	1	江口勝彦 髙橋真	217	コースオリエンテーション、大学での学習、自己学習
2	4/13	水	2	髙橋真	217	大学での学習、自己学習
3	4/20	水	1	髙橋真	217	講義計画とゼミ配置、ゼミ担当教員紹介、理学療法学科4年間の学習の概要とロードマップ
4	4/27	水	1	江口勝彦	217	テキスト（文献）の読み方
5	5/11	水	1	髙橋真	217	レポートのまとめ方
6	5/18	水	1	湯口聡	217	プレゼンテーション技法
7	5/25	水	1	渡部真未	メディアセンター	図書館の利用とその活用方法
8	6/1	水	1	髙橋真	217	ゼミ演習：① ①倫理的な問題に関する討議 ②グループの設定、演習課題の検討、計画立案、文献検索と整理の実際、課題に沿ったレポート作成・提出、課題発表会の実施を行う。
9	6/8	水	1	髙橋真	217	ゼミ演習：② ①倫理的な問題に関する討議 ②グループの設定、演習課題の検討、計画立案、文献検索と整理の実際、課題に沿ったレポート作成・提出、課題発表会の実施を行う。
10	6/15	水	1	髙橋真	217	ゼミ演習：③ ①倫理的な問題に関する討議 ②グループの設定、演習課題の検討、計画立案、文献検索と整理の実際、課題に沿ったレポート作成・提出、課題発表会の実施を行う。
11	6/22	水	1	髙橋真	217	ゼミ演習：④ ①倫理的な問題に関する討議 ②グループの設定、演習課題の検討、計画立案、文献検索と整理の実際、課題に沿ったレポート作成・提出、課題発表会の実施を行う。
12	6/29	水	1	髙橋真	217	ゼミ演習：⑤ ①倫理的な問題に関する討議 ②グループの設定、演習課題の検討、計画立案、文献検索と整理の実際、課題に沿ったレポート作成・提出、課題発表会の実施を行う。
13	7/6	水	1	髙橋真	217	ゼミ演習：⑥ ①倫理的な問題に関する討議 ②グループの設定、演習課題の検討、計画立案、文献検索と整理の実際、課題に沿ったレポート作成・提出、課題発表会の実施を行う。
14	7/13	水	1	髙橋真	217	ゼミ演習：⑦ ①倫理的な問題に関する討議 ②グループの設定、演習課題の検討、計画立案、文献検索と整理の実際、課題に沿ったレポート作成・提出、課題発表会の実施を行う。
15	7/20	水	1	髙橋真	217	ゼミ演習：⑧ ①倫理的な問題に関する討議 ②グループの設定、演習課題の検討、計画立案、文献検索と整理の実際、課題に沿ったレポート作成・提出、課題発表会の実施を行う。

成績評価方法・基準		ゼミ担当教員は、大学生としての学習姿勢（レポート、発表会その他ゼミ内、グループ内での役割、行動などを含む）とスキルについて、単位認定者が用意したチェック項目に基づき評価し、単位認定者へ報告する。単位認定者は、チェック項目評価（70%）と共に、ゼミ担当教員の評価コメント（30%）として評価し、成績を付与する。
授業外における学習（予習・復習）		1）前提となる高等学校修了程度の知識も含め、不足している部分は各予習を行うこと（30分）。 2）ゼミでのグループ演習は共同作業であることを理解し、協調性をもって自らの責任を全うすること。 3）決められた講義時間に関わらず、担当教員の指示に従い必要な学習を行い、授業後は内容をまとめること（復習30分）。
教科書 ・参考文献等	教科書	藤田哲也 『大学基礎講座～充実した大学生活をおくるために～ 改増版』（北大路書房、2006年） ISBN:9784762824845
		木下是雄 『理科系の作文技術（中公新書624）』（中央公論新社、2001年） ISBN:9784121006240
	参考書	高橋 三郎・新田 光子 『大学生入門～知の扉をひらく！～ 3訂版』（世界思想社、2009年） ISBN:9784790713944
		世界思想社編集部 『大学生学びのハンドブック～勉強法がよくわかる!～ 5訂版』 （世界思想社、2021年） ISBN:9784790717492
		佐藤望・湯川武・横山千晶・近藤明彦 『アカデミック・スキルズ～大学生のための知的技法入門～ 第3版』（慶應義塾大学出版会、2020年） ISBN:9784766426564
		新井和広・坂倉杏介 『グループ学習入門～アカデミック・スキルズ～』（慶應義塾大学出版会、2013年） ISBN:9784766420395
	その他	講義の中で紹介する。
連絡先・オフィスアワー		髙橋 真 メールアドレス ma-takahashi@jhsu.ac.jp 毎週月曜日以外9：00～17：30 研究室412室 複数の教員で関わることから、各担当教員オフィスアワーはコースオリエンテーションで別途指示する。
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 理学療法士としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。 【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP（1）-①、（2）-①、（3）-①に該当。

科目コード	12109
授業科目名	基礎ゼミⅠ（導入教育）-2 （江口ゼミ）
配当年次	1学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	演習
担当教員	江口 勝彦
実務家教員	理学療法士：江口勝彦
授業科目の概要	導入教育として、10名程度のゼミナール形式により演習を実施する。本演習では、大学生活における学習の実践的な能力を養うために、①スタディースキル（図書館の利用法、情報収集の仕方、レポートの書き方等）、②ソーシャルスキル（社会人として、未来の医療従事者としての心構え）について担当教員および学生同士の交流、意見交換や具体的な体験を通して身につけ、今後の大学生活の基礎的な技能を習得する。
授業の到達目標	基礎ゼミでは、大学生としての学び方、将来の医療人としての心構え、医の倫理を学び、主体的な学習態度・習慣を身につけ知的好奇心を育むと共に、生涯にわたる知の追求など医療人としてのプリンシプルを獲得することを到達目標とする。 到達目標の一部を下記に示す。 1) 大学図書館の機能を理解し、目的に沿って利用できる。 2) 図書（逐次刊行物、成書）、インターネット情報などを広く利用し情報を収集することができる。 3) 課された簡単なテーマについて，論理的な構成でレポートを書くことができる。 将来の医療人として、基本的な医の倫理について学習し、倫理観を身につける。
特に関連する科目	この科目が基礎となる科目－全科目
授業の具体的な進め方	第1,2回は学内学習、自己学習、Google classroomやライブ授業、オンラインによる課題提出方法などのGoogleを活用した学習方法について講義する。3回～7回は授業計画に沿って実施、各担当教員が講義する。第8回～15回は6月1日～7月30日までの期間において、担当教員ごとにゼミ生を配置し、対面でのグループ演習を行うので、ゼミ担当教員の指示に従って参加すること。演習では、グループでの議論等をレポートなどにまとめ，プレゼンテーション等を行う。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/13	水	1	江口勝彦高橋真	217	コースオリエンテーション、大学での学習、自己学習
2	4/13	水	2	髙橋真	217	大学での学習、自己学習
3	4/20	水	1	髙橋真	217	講義計画とゼミ配置、ゼミ担当教員紹介、理学療法学科4年間の学習の概要とロードマップ
4	4/27	水	1	江口勝彦	217	テキスト（文献）の読み方
5	5/11	水	1	髙橋真	217	レポートのまとめ方
6	5/18	水	1	湯口聡	217	プレゼンテーション技法
7	5/25	水	1	渡部真未	メディアセンター	図書館の利用とその活用方法
8	6/1	水	1	江口勝彦	217	ゼミ演習：①①「医の倫理」（配布資料）輪読、倫理的な問題に関する討議②グループの設定、演習課題の検討
9	6/8	水	1	江口勝彦	217	ゼミ演習：②①「医の倫理」（配布資料）輪読、倫理的な問題に関する討議②演習課題の検討、計画立案
10	6/15	水	1	江口勝彦	217	ゼミ演習：③①「医の倫理」（配布資料）輪読、倫理的な問題に関する討議②演習課題の検討、計画立案、文献検索と整理の実際
11	6/22	水	1	江口勝彦	217	ゼミ演習：④①「医の倫理」（配布資料）輪読、倫理的な問題に関する討議②文献検索と整理の実際、課題に沿ったレポート作成
12	6/29	水	1	江口勝彦	217	ゼミ演習：⑤①「医の倫理」（配布資料）輪読、倫理的な問題に関する討議②文献検索と整理の実際、課題に沿ったレポート作成
13	7/6	水	1	江口勝彦	217	ゼミ演習：⑥①「医の倫理」（配布資料）輪読、倫理的な問題に関する討議②文献検索と整理の実際、課題に沿ったレポート作成、発表準備
14	7/13	水	1	江口勝彦	217	ゼミ演習：⑦①「医の倫理」（配布資料）輪読、倫理的な問題に関する討議②課題に沿ったレポート作成、発表準備
15	7/20	水	1	江口勝彦	217	ゼミ演習：⑧①「医の倫理」（配布資料）輪読、倫理的な問題に関する討議②課題発表会・レポート提出

成績評価方法・基準		ゼミ担当教員は、大学生としての学習姿勢（レポート、発表会その他ゼミ内、グループ内での役割、行動などを含む）とスキルについて、単位認定者が用意したチェック項目に基づき評価し、単位認定者へ報告する。単位認定者は、チェック項目評価（70%）と共に、ゼミ担当教員の評価コメント（30%）として評価し、成績を付与する。
授業外における学習（予習・復習）		1）前提となる高等学校修了程度の知識も含め、不足している部分は各予習を行うこと（30分）。 2）ゼミでのグループ演習は共同作業であることを理解し、協調性をもって自らの責任を全うすること。 3）決められた講義時間に関わらず、担当教員の指示に従い必要な学習を行い、授業後は内容をまとめること（復習30分）。
教科書・参考文献等	教科書	藤田哲也 『大学基礎講座～充実した大学生活をおくるために～ 改増版』（北大路書房、2006年） ISBN:9784762824845
		木下是雄 『理科系の作文技術（中公新書624）』（中央公論新社、2001年） ISBN:9784121006240
	参考書	高橋 三郎・新田 光子 『大学生入門～知の扉をひらく！～ 3訂版』（世界思想社、2009年） ISBN:9784790713944
		世界思想社編集部 『大学生学びのハンドブック～勉強法がよくわかる!～ 5訂版』 （世界思想社、2021年） ISBN:9784790717492
		佐藤望・湯川武・横山千晶・近藤明彦 『アカデミック・スキルズ～大学生のための知的技法入門～ 第3版』（慶應義塾大学出版会、2020年） ISBN:9784766426564
		新井和広・坂倉杏介 『グループ学習入門～アカデミック・スキルズ～』（慶應義塾大学出版会、2013年） ISBN:9784766420395
	その他	講義の中で紹介する。
連絡先・オフィスアワー		江口勝彦 メールアドレス k-eguchi@jhsu.ac.jp 研究室421室 複数の教員で関わることから、各担当教員オフィスアワーはコースオリエンテーションで別途指示する。
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 理学療法士としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。 【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP（1）-①、（2）-①、（3）-①に該当。

科目コード	12109
授業科目名	基礎ゼミⅠ（導入教育）-3 （永野ゼミ）
配当年次	1学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	演習
担当教員	永野 克人
実務家教員	理学療法士：永野克人
授業科目の概要	導入教育として、10名程度のゼミナール形式により演習を実施する。本演習では、大学生活における学習の実践的な能力を養うために、①スタディースキル（図書館の利用法、情報収集の仕方、レポートの書き方等）、②ソーシャルスキル（社会人として、未来の医療従事者としての心構え）について担当教員および学生同士の交流、意見交換や具体的な体験を通して身につけ、今後の大学生活の基礎的な技能を習得する。
授業の到達目標	基礎ゼミでは、大学生としての学び方、将来の医療人としての心構え、医の倫理を学び、主体的な学習態度・習慣を身につけ知的好奇心を育むと共に、生涯にわたる知の追求など医療人としてのプリンシプルを獲得することを到達目標とする。 到達目標の一部を下記に示す 1) 大学図書館の機能を理解し、目的に沿って利用できる。 2) 図書（逐次刊行物，成書）、インターネット情報などを広く利用し情報を収集することができる。 3) 課された簡単なテーマについて、論理的な構成でレポートを書くことができる。 将来の医療人として、基本的な医の倫理について学習し、倫理観を身につける。
特に関連する科目	この科目が基礎となる科目－全科目
授業の具体的な進め方	第1,2回は課題および自己学習、第3回～7回はGoogle classroomを用いてライブ授業、ビデオ配信または遠隔課題で行う。3回～7回の授業予定は暫定であり、開校日および授業形態は随時連絡するので、google classroomを確認しておくこと。第8回～15回は6月1日～7月30日までの期間において、担当教員ごとにゼミ生を配置し、オンラインでのグループ演習を行うので、ゼミ担当教員の指示に従って参加すること。演習では、グループでの議論等をレポートなどにまとめ，プレゼンテーション等を行う。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/13	水	1	江口勝彦 髙橋真	217	コースオリエンテーション、大学での学習、自己学習
2	4/13	水	2	髙橋真	217	大学での学習、自己学習
3	4/20	水	1	髙橋真	217	講義計画とゼミ配置、ゼミ担当教員紹介、理学療法学科4年間の学習の概要とロードマップ
4	4/27	水	1	江口勝彦	217	テキスト（文献）の読み方
5	5/11	水	1	髙橋真	217	レポートのまとめ方
6	5/18	水	1	湯口聡	217	プレゼンテーション技法
7	5/25	水	1	渡部真未	メディアセンター	図書館の利用とその活用方法
8	6/1	水	1	永野克人	217	ゼミ演習：1. オリエンテーション（演習スケジュール，注意事項，演習課題の提示）2. E-mailの書き方，wordやスライドの作成方法を学ぶ3. 演習課題1「理学療法士になることと相手への責任を考える」について調べる
9	6/8	水	1	永野克人	217	ゼミ演習：1. 演習課題1「理学療法士になることと相手への責任を考える」についてwordやスライド等にまとめる
10	6/15	水	1	永野克人	217	ゼミ演習：1. 演習課題1「理学療法士になることと相手への責任を考える」についてスライド等で発表する2. 演習課題2「人間愛と虐待」の事実，メカニズム，対策について調べる
11	6/22	水	1	永野克人	217	ゼミ演習：1. 演習課題2「人間愛と虐待」の事実，メカニズム，対策についてwordやスライド等にまとめる
12	6/29	水	1	永野克人	217	ゼミ演習：1. 演習課題2「人間愛と虐待」の事実，メカニズム，対策についてスライド等で発表する2. 演習課題3「理学療法トレナービリティ」について調べる
13	7/6	水	1	永野克人	217	ゼミ演習：1. 演習課題3「理学療法トレナービリティ」について調べる
14	7/13	水	1	永野克人	217	ゼミ演習：1. 演習課題3「理学療法トレナービリティ」についてwordやスライド等にまとめる
15	7/20	水	1	永野克人	217	ゼミ演習：1. 演習課題3「理学療法トレナービリティ」についてスライド等で発表する

成績評価方法・基準		ゼミ担当教員は、大学生としての学習姿勢（レポート、発表会その他ゼミ内、グループ内での役割、行動などを含む）とスキルについて、単位認定者が用意したチェック項目に基づき評価し、単位認定者へ報告する。単位認定者は、チェック項目評価（70%）と共に、ゼミ担当教員の評価コメント（30%）として評価し、成績を付与する。
授業外における学習（予習・復習）		1）前提となる高等学校修了程度の知識も含め、不足している部分は各予習を行うこと（30分）。 2）ゼミでのグループ演習は共同作業であることを理解し、協調性をもって自らの責任を全うすること。 3）決められた講義時間に関わらず、担当教員の指示に従い必要な学習を行い、授業後は内容をまとめること（復習30分）。
教科書・参考文献等	教科書	藤田哲也 『大学基礎講座 改増版』（北大路書房、2006年） ISBN:9784762824845
		木下是雄 『理科系の作文技術（中公新書624）』（中央公論新社、2001年） ISBN:9784121006240
	参考書	高橋 三郎・新田 光子 『大学生入門 3訂版』（世界思想社、2009年） ISBN:9784790713944
		世界思想社編集部 『大学生 学びのハンドブック 5訂版』（世界思想社、2021年） ISBN:9784790717492
		佐藤望ほか 『アカデミック・スキルズ(第3版)：大学生のための知的技法入門』（慶應義塾大学出版会、2020年） ISBN:9784766426564
		新井和広・坂倉杏介 『グループ学習入門: 学びあう場づくりの技法（アカデミック・スキルズ）』（慶應義塾大学出版会、2013年） ISBN:9784766420395
	その他	講義の中で紹介する。
連絡先・オフィスアワー		平日火曜日と木曜日9：00～17：30 研究室：416室 永野克人：k-hisano@jhsu.ac.jp 複数の教員で関わることから、各担当教員オフィスアワーはコースオリエンテーションで別途指示する。
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 理学療法士としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。 【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP（1）-①、（2）-①、（3）-①に該当。

科目コード	12109
授業科目名	基礎ゼミⅠ（導入教育）-4 （湯口ゼミ）
配当年次	1学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	演習
担当教員	湯口 聡
実務家教員	理学療法士：湯口聡
授業科目の概要	導入教育として、10名程度のゼミナール形式により演習を実施する。本演習では、大学生活における学習の実践的な能力を養うために、①スタディースキル（図書館の利用法、情報収集の仕方、レポートの書き方等）、②ソーシャルスキル（社会人として、未来の医療従事者としての心構え）について担当教員および学生同士の交流、意見交換や具体的な体験を通して身につけ、今後の大学生活の基礎的な技能を習得する。
授業の到達目標	基礎ゼミでは、大学生としての学び方、将来の医療人としての心構え、医の倫理を学び、主体的な学習態度・習慣を身につけ知的好奇心を育むと共に、生涯にわたる知の追求など医療人としてのプリンシプルを獲得することを到達目標とする。 到達目標の一部を下記に示す。 1) 大学図書館の機能を理解し、目的に沿って利用できる。 2) 図書（逐次刊行物、成書）、インターネット情報などを広く利用し情報を収集することができる。 3) 課された簡単なテーマについて，論理的な構成でレポートを書くことができる。 将来の医療人として、基本的な医の倫理について学習し、倫理観を身につける。
特に関連する科目	この科目が基礎となる科目－全科目
授業の具体的な進め方	第1,2回は学内学習、自己学習、Google classroomやライブ授業、オンラインによる課題提出方法などのGoogleを活用した学習方法について講義する。3回～7回は授業計画に沿って実施、各担当教員が講義する。第8回～15回は6月1日～7月30日までの期間において、担当教員ごとにゼミ生を配置し、対面でのグループ演習を行うので、ゼミ担当教員の指示に従って参加すること。演習では、グループでの議論等をレポートなどにまとめ，プレゼンテーション等を行う。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/13	水	1	江口勝彦 髙橋真	217	コースオリエンテーション、大学での学習、自己学習
2	4/13	水	2	髙橋真	217	大学での学習、自己学習
3	4/20	水	1	髙橋真	217	講義計画とゼミ配置、ゼミ担当教員紹介、理学療法学科4年間の学習の概要とロードマップ
4	4/27	水	1	江口勝彦	217	テキスト（文献）の読み方
5	5/11	水	1	髙橋真	学内	レポートのまとめ方
6	5/18	水	1	湯口聡	217	プレゼンテーション技法
7	5/25	水	1	渡部真未	メディアセンター	図書館の利用とその活用方法
8	6/1	水	1	湯口聡	217	ゼミ演習：① ①「医の倫理」（配布資料）輪読、倫理的な問題に関する討議 ②グループの設定、演習課題の検討、計画立案、文献検索と整理の実際、課題に沿ったレポート作成・提出、課題発表会の実施を行う。
9	6/8	水	1	湯口聡	217	ゼミ演習：② ①「医の倫理」（配布資料）輪読、倫理的な問題に関する討議 ②グループの設定、演習課題の検討、計画立案、文献検索と整理の実際、課題に沿ったレポート作成・提出、課題発表会の実施を行う。
10	6/15	水	1	湯口聡	217	ゼミ演習：③ ①「医の倫理」（配布資料）輪読、倫理的な問題に関する討議 ②グループの設定、演習課題の検討、計画立案、文献検索と整理の実際、課題に沿ったレポート作成・提出、課題発表会の実施を行う。
11	6/22	水	1	湯口聡	217	ゼミ演習：④ ①「医の倫理」（配布資料）輪読、倫理的な問題に関する討議 ②グループの設定、演習課題の検討、計画立案、文献検索と整理の実際、課題に沿ったレポート作成・提出、課題発表会の実施を行う。
12	6/29	水	1	湯口聡	217	ゼミ演習：⑤ ①「医の倫理」（配布資料）輪読、倫理的な問題に関する討議 ②グループの設定、演習課題の検討、計画立案、文献検索と整理の実際、課題に沿ったレポート作成・提出、課題発表会の実施を行う。
13	7/6	水	1	湯口聡	217	ゼミ演習：⑥ ①「医の倫理」（配布資料）輪読、倫理的な問題に関する討議 ②グループの設定、演習課題の検討、計画立案、文献検索と整理の実際、課題に沿ったレポート作成・提出、課題発表会の実施を行う。
14	7/13	水	1	湯口聡	217	ゼミ演習：⑦ ①「医の倫理」（配布資料）輪読、倫理的な問題に関する討議 ②グループの設定、演習課題の検討、計画立案、文献検索と整理の実際、課題に沿ったレポート作成・提出、課題発表会の実施を行う。
15	7/20	水	1	湯口聡	217	ゼミ演習：⑧ ①「医の倫理」（配布資料）輪読、倫理的な問題に関する討議 ②グループの設定、演習課題の検討、計画立案、文献検索と整理の実際、課題に沿ったレポート作成・提出、課題発表会の実施を行う。

成績評価方法・基準		ゼミ担当教員は、大学生としての学習姿勢（レポート、発表会その他ゼミ内、グループ内での役割、行動などを含む）とスキルについて、単位認定者が用意したチェック項目に基づき評価し、単位認定者へ報告する。単位認定者は、チェック項目評価（70%）と共に、ゼミ担当教員の評価コメント（30%）として評価し、成績を付与する。
授業外における学習（予習・復習）		1）前提となる高等学校修了程度の知識も含め、不足している部分は各予習を行うこと（30分）。 2）ゼミでのグループ演習は共同作業であることを理解し、協調性をもって自らの責任を全うすること。 3）決められた講義時間に関わらず、担当教員の指示に従い必要な学習を行い、授業後は内容をまとめること（復習30分）。
教科書 ・参考文献等	教科書	藤田哲也 『大学基礎講座～充実した大学生活をおくるために～ 改増版』（北大路書房、2006年） ISBN:9784762824845
		木下是雄 『理科系の作文技術（中公新書624）』（中央公論新社、2001年） ISBN:9784121006240
	参考書	高橋 三郎・新田 光子 『大学生入門～知の扉をひらく！～ 3訂版』（世界思想社、2009年） ISBN:9784790713944
		世界思想社編集部 『大学生学びのハンドブック～勉強法がよくわかる!～ 5訂版』 （世界思想社、2021年） ISBN:9784790717492
		佐藤望・湯川武・横山千晶・近藤明彦 『アカデミック・スキルズ～大学生のための知的技法入門～ 第3版』（慶應義塾大学出版会、2020年） ISBN:9784766426564
		新井和広・坂倉杏介 『グループ学習入門～アカデミック・スキルズ～』（慶應義塾大学出版会、2013年） ISBN:9784766420395
	その他	講義の中で紹介する。
連絡先・オフィスアワー		髙橋 真 メールアドレス ma-takahashi@jhsu.ac.jp 毎週月曜日以外9：00～17：30 研究室412室 複数の教員で関わることから、各担当教員オフィスアワーはコースオリエンテーションで別途指示する。
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 理学療法士としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。 【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP（1）-①、（2）-①、（3）-①に該当。

科目コード	12109
授業科目名	基礎ゼミⅠ（導入教育）-5 （東ゼミ）
配当年次	1学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	演習
担当教員	東 裕一
実務家教員	理学療法士：東 裕一
授業科目の概要	導入教育として、10名程度のゼミナール形式により演習を実施する。本演習では、大学生活における学習の実践的な能力を養うために、①スタディースキル（図書館の利用法、情報収集の仕方、レポートの書き方等）、②ソーシャルスキル（社会人として、未来の医療従事者としての心構え）について担当教員および学生同士の交流、意見交換や具体的な体験を通して身につけ、今後の大学生活の基礎的な技能を習得する。
授業の到達目標	基礎ゼミでは、大学生としての学び方、将来の医療人としての心構え、医の倫理を学び、主体的な学習態度・習慣を身につけ知的好奇心を育むと共に、生涯にわたる知の追求など医療人としてのプリンシプルを獲得することを到達目標とする。 到達目標の一部を下記に示す。 1) 大学図書館の機能を理解し、目的に沿って利用できる。 2) 図書（逐次刊行物、成書）、インターネット情報などを広く利用し情報を収集することができる。 3) 課された簡単なテーマについて，論理的な構成でレポートを書くことができる。 将来の医療人として、基本的な医の倫理について学習し、倫理観を身につける。
特に関連する科目	この科目が基礎となる科目：全科目
授業の具体的な進め方	第1,2回は学内学習、自己学習、Google classroomやライブ授業、オンラインによる課題提出方法などのGoogleを活用した学習方法について講義する。3回～7回は授業計画に沿って実施、各担当教員が講義する。第8回～15回は6月1日～7月30日までの期間において、担当教員ごとにゼミ生を配置し、対面でのグループ演習を行うので、ゼミ担当教員の指示に従って参加すること。演習では、グループでの議論等をレポートなどにまとめ，プレゼンテーション等を行う。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/13	水	1	江口勝彦 髙橋真	217	コースオリエンテーション、大学での学習、自己学習
2	4/13	水	1	髙橋真	217	大学での学習、自己学習
3	4/20	水	1	髙橋真	217	講義計画とゼミ配置、ゼミ担当教員紹介、理学療法学科4年間の学習の概要とロードマップ
4	4/27	水	1	江口勝彦	217	テキスト（文献）の読み方
5	5/11	水	1	髙橋真	217	レポートのまとめ方
6	5/18	水	1	湯口聡	217	プレゼンテーション技法
7	5/25	水	1	渡部真未	メディアセンター	図書館の利用とその活用方法
8	6/1	水	1	東裕一	217	ゼミ演習：①・ブレインストーミング・グループでのマインドマップ作成
9	6/8	水	1	東裕一	217	ゼミ演習：②・図書室を使用した文献検索の実際1
10	6/15	水	1	東裕一	217	ゼミ演習：③・図書室を使用した文献検索の実際2
11	6/22	水	1	東裕一	217	ゼミ演習：④・インターネットを利用した検索1
12	6/29	水	1	東裕一	217	ゼミ演習：⑤・インターネットを利用した検索2
13	7/6	水	1	東裕一	217	ゼミ演習：⑥・プレゼンテーション資料作成1
14	7/13	水	1	東裕一	217	ゼミ演習：⑦・プレゼンテーション資料作成2・プレ発表
15	7/20	水	1	東裕一	217	ゼミ演習：⑧・発表会・修正、再検索等

成績評価方法・基準		ゼミ担当教員は、大学生としての学習姿勢（レポート、発表会その他ゼミ内、グループ内での役割、行動などを含む）とスキルについて、単位認定者が用意したチェック項目に基づき評価し、単位認定者へ報告する。単位認定者は、チェック項目評価（70%）と共に、ゼミ担当教員の評価コメント（30%）として評価し、成績を付与する。
授業外における学習（予習・復習）		1）前提となる高等学校修了程度の知識も含め、不足している部分は各予習を行うこと（30分）。 2）ゼミでのグループ演習は共同作業であることを理解し、協調性をもって自らの責任を全うすること。 3）決められた講義時間に関わらず、担当教員の指示に従い必要な学習を行い、授業後は内容をまとめること（復習30分）。
教科書・参考文献等	教科書	藤田哲也 『大学基礎講座 改増版』（北大路書房、2006年） ISBN:9784762824845
		木下是雄 『理科系の作文技術(中公新書624)』（中央公論新社、2001年） ISBN:9784121006240
	参考書	高橋 三郎・新田 光子 『大学生入門～知の扉をひらく！～ 3訂版』（世界思想社、2009年） ISBN:9784790713944
		世界思想社編集部 『大学生学びのハンドブック～勉強法がよくわかる!～ 5訂版』（世界思想社、2021年） ISBN:9784790717492
		佐藤望・湯川武・横山千晶・近藤明彦 『アカデミック・スキルズ～大学生のための知的技法入門～ 第3版』（慶應義塾大学出版会、2020年） ISBN:9784766426564
		新井和広・坂倉杏介 『グループ学習入門～アカデミック・スキルズ～』（慶應義塾大学出版会、2013年） ISBN:9784766420395
	その他	講義の中で紹介する。
連絡先・オフィスアワー		髙橋 真 メールアドレス ma-takahashi@jhsu.ac.jp 毎週月曜日以外9：00～17：30 研究室412室 複数の教員で関わることから、各担当教員オフィスアワーはコースオリエンテーションで別途指示する。
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 理学療法士としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。 【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP（1）-①、（2）-①、（3）-①に該当。

科目コード	12109
授業科目名	基礎ゼミⅠ（導入教育）-6 （旭ゼミ）
配当年次	1学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	演習
担当教員	旭 竜馬
実務家教員	理学療法士：旭竜馬
授業科目の概要	導入教育として、10名程度のゼミナール形式により演習を実施する。本演習では、大学生活における学習の実践的な能力を養うために、①スタディースキル（図書館の利用法、情報収集の仕方、レポートの書き方等）、②ソーシャルスキル（社会人として、未来の医療従事者としての心構え）について担当教員および学生同士の交流、意見交換や具体的な体験を通して身につけ、今後の大学生活の基礎的な技能を習得する。
授業の到達目標	基礎ゼミでは，大学生としての学び方，将来の医療人としての心構え，医の倫理を学び，主体的な学習態度・習慣を身につけ知的好奇心を育むと共に，生涯にわたる知の追求など医療人としてのプリンシプルを獲得することを到達目標とする． 到達目標の一部を下記に示す 1）大学図書館の機能を理解し，目的に沿って利用できる． 2）図書（逐次刊行物，成書），インターネット情報などを広く利用し情報を収集することができる． 3）課された簡単なテーマについて，論理的な構成でレポートを書くことができる． 将来の医療人として，基本的な医の倫理について学習し，倫理観を身につける．
特に関連する科目	この科目が基礎となる科目－全科目
授業の具体的な進め方	第1,2回は課題および自己学習、第3回～7回はGoogle classroomを用いてライブ授業、ビデオ配信または遠隔課題で行う。3回～7回の授業予定は暫定であり、開校日および授業形態は随時連絡するので、google classroomを確認しておくこと。第8回～15回は11月23日～1月29日までの期間において、担当教員ごとにゼミ生を配置し、オンラインでのグループ演習を行うので、ゼミ担当教員の指示に従って参加すること。演習では、グループでの議論等をレポートなどにまとめ，プレゼンテーション等を行う。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/13	水	1	江口勝彦 髙橋真	217	コースオリエンテーション、大学での学習、自己学習
2	4/13	水	2	髙橋真	217	大学での学習、自己学習
3	4/20	水	1	髙橋真	217	講義計画とゼミ配置、ゼミ担当教員紹介、理学療法学科4年間の学習の概要とロードマップ
4	4/27	水	1	江口勝彦	217	テキスト（文献）の読み方
5	5/11	水	1	髙橋真	217	レポートのまとめ方
6	5/18	水	1	湯口聡	217	プレゼンテーション技法
7	5/25	水	1	渡部真未	メディアセンター	図書館の利用とその活用方法
8	6/1	水	1	旭竜馬	217	ゼミ演習：① ①「医の倫理」（配布資料）輪読，倫理的な問題に関する討議 ②グループの設定，演習課題の検討，計画立案，文献検索と整理の実際，課題に沿ったレポート作成・提出、課題発表会の実施を行う。
9	6/8	水	1	旭竜馬	217	ゼミ演習：② ①「医の倫理」（配布資料）輪読，倫理的な問題に関する討議 ②グループの設定，演習課題の検討，計画立案，文献検索と整理の実際，課題に沿ったレポート作成・提出、課題発表会の実施を行う。
10	6/15	水	1	旭竜馬	217	ゼミ演習：③ ①「医の倫理」（配布資料）輪読，倫理的な問題に関する討議 ②グループの設定，演習課題の検討，計画立案，文献検索と整理の実際，課題に沿ったレポート作成・提出、課題発表会の実施を行う。
11	6/22	水	1	旭竜馬	217	ゼミ演習：④ ①「医の倫理」（配布資料）輪読，倫理的な問題に関する討議 ②グループの設定，演習課題の検討，計画立案，文献検索と整理の実際，課題に沿ったレポート作成・提出、課題発表会の実施を行う。
12	6/29	水	1	旭竜馬	217	ゼミ演習：⑤ ①「医の倫理」（配布資料）輪読，倫理的な問題に関する討議 ②グループの設定，演習課題の検討，計画立案，文献検索と整理の実際，課題に沿ったレポート作成・提出、課題発表会の実施を行う。
13	7/6	水	1	旭竜馬	217	ゼミ演習：⑥ ①「医の倫理」（配布資料）輪読，倫理的な問題に関する討議 ②グループの設定，演習課題の検討，計画立案，文献検索と整理の実際，課題に沿ったレポート作成・提出、課題発表会の実施を行う。
14	7/13	水	1	旭竜馬	217	ゼミ演習：⑦ ①「医の倫理」（配布資料）輪読，倫理的な問題に関する討議 ②グループの設定，演習課題の検討，計画立案，文献検索と整理の実際，課題に沿ったレポート作成・提出、課題発表会の実施を行う。
15	7/20	水	1	旭竜馬	217	ゼミ演習：④ ①「医の倫理」（配布資料）輪読，倫理的な問題に関する討議 ②グループの設定，演習課題の検討，計画立案，文献検索と整理の実際，課題に沿ったレポート作成・提出、課題発表会の実施を行う。

成績評価方法・基準		ゼミ担当教員は、大学生としての学習姿勢（レポート、発表会その他ゼミ内、グループ内での役割、行動などを含む）とスキルについて、単位認定者が用意したチェック項目に基づき評価し、単位認定者へ報告する。単位認定者は、チェック項目評価（70%）と共に、ゼミ担当教員の評価コメント（30%）として評価し、成績を付与する。
授業外における学習（予習・復習）		1）前提となる高等学校修了程度の知識も含め、不足している部分は各予習を行うこと（30分）。 2）ゼミでのグループ演習は共同作業であることを理解し、協調性をもって自らの責任を全うすること。 3）決められた講義時間に関わらず、担当教員の指示に従い必要な学習を行い、授業後は内容をまとめること（復習30分）。
教科書 ・参考文献等	教科書	藤田哲也 『大学基礎講座～充実した大学生活をおくるために～ 改増版』（北大路書房、2006年） ISBN:9784762824845
		木下是雄 『理科系の作文技術（中公新書624）』（中央公論新社、2001年） ISBN:9784121006240
	参考書	高橋 三郎・新田 光子 『大学生入門～知の扉をひらく！～ 3訂版』（世界思想社、2009年） ISBN:9784790713944
		世界思想社編集部 『大学生学びのハンドブック～勉強法がよくわかる!～ 5訂版』 （世界思想社、2021年） ISBN:9784790717492
		・佐藤望・湯川武・横山千晶・近藤明彦 『アカデミック・スキルズ～大学生のための知的技法入門～ 第3版』（慶應義塾大学出版会、2020年） ISBN:9784766426564
		・新井和広・坂倉杏介 『グループ学習入門～アカデミック・スキルズ～』（慶應義塾大学出版会、2013年） ISBN:9784766420395
	その他	
連絡先・オフィスアワー		旭 竜馬 メールアドレス r-asahi@jhsu.ac.jp 毎週火曜日以外9：00～17：30 研究室413室 複数の教員で関わることから、各担当教員オフィスアワーはコースオリエンテーションで別途指示する。
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 理学療法士としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。 【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP（1）-①、（2）-①、（3）-①に該当。

科目コード	12109
授業科目名	基礎ゼミⅠ（導入教育）-7 （大森ゼミ）
配当年次	1学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	演習
担当教員	大森 啓之
実務家教員	理学療法士：大森 啓之
授業科目の概要	導入教育として、10名程度のゼミナール形式により演習を実施する。本演習では、大学生活における学習の実践的な能力を養うために、①スタディースキル（図書館の利用法、情報収集の仕方、レポートの書き方等）、②ソーシャルスキル（社会人として、未来の医療従事者としての心構え）について担当教員および学生同士の交流、意見交換や具体的な体験を通して身につけ、今後の大学生活の基礎的な技能を習得する。
授業の到達目標	基礎ゼミでは、大学生としての学び方、将来の医療人としての心構え、医の倫理を学び、主体的な学習態度・習慣を身につけ知的好奇心を育むと共に、生涯にわたる知の追求など医療人としてのプリンシプルを獲得することを到達目標とする。 到達目標の一部を下記に示す。 1) 大学図書館の機能を理解し、目的に沿って利用できる。 2) 図書（逐次刊行物、成書）、インターネット情報などを広く利用し情報を収集することができる。 3) 課された簡単なテーマについて，論理的な構成でレポートを書くことができる。 将来の医療人として、基本的な医の倫理について学習し、倫理観を身につける。
特に関連する科目	この科目が基礎となる科目－全科目
授業の具体的な進め方	第1,2回は学内学習、自己学習、Google classroomやライブ授業、オンラインによる課題提出方法などのGoogleを活用した学習方法について講義する。3回～7回は授業計画に沿って実施、各担当教員が講義する。第8回～15回は6月1日～7月30日までの期間において、担当教員ごとにゼミ生を配置し、対面でのグループ演習を行うので、ゼミ担当教員の指示に従って参加すること。演習では、グループでの議論等をレポートなどにまとめ，プレゼンテーション等を行う。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/13	水	1	江口勝彦 髙橋真	217	コースオリエンテーション、大学での学習、自己学習
2	4/13	水	2	髙橋真	217	大学での学習、自己学習
3	4/20	水	1	髙橋真	217	講義計画とゼミ配置、ゼミ担当教員紹介、理学療法学科4年間の学習の概要とロードマップ
4	4/27	水	1	江口勝彦	217	テキスト（文献）の読み方
5	5/11	水	1	髙橋真	217	テキスト（文献）の読み方
6	5/18	水	1	湯口聡	217	プレゼンテーション技法
7	5/25	水	1	渡部真未	メディアセンター	図書館の利用とその活用方法
8	6/1	水	1	大森啓之	217	演習オリエンテーション
9	6/8	水	1	大森啓之	217	課題1：レポート作成①
10	6/15	水	1	大森啓之	217	課題1：レポート作成②
11	6/22	水	1	大森啓之	217	課題1：レポート作成③
12	6/29	水	1	大森啓之	217	課題2：スライド作成①
13	7/6	水	1	大森啓之	217	課題2：スライド作成②
14	7/13	水	1	大森啓之	217	グループ発表
15	7/20	水	1	大森啓之	217	レポート、スライド完成・提出

成績評価方法・基準		ゼミ担当教員は、大学生としての学習姿勢（レポート、発表会その他ゼミ内、グループ内での役割、行動などを含む）とスキルについて、単位認定者が用意したチェック項目に基づき評価し、単位認定者へ報告する。単位認定者は、チェック項目評価（70%）と共に、ゼミ担当教員の評価コメント（30%）として評価し、成績を付与する。
授業外における学習（予習・復習）		1）前提となる高等学校修了程度の知識も含め、不足している部分は各予習を行うこと（30分）。 2）ゼミでのグループ演習は共同作業であることを理解し、協調性をもって自らの責任を全うすること。 3）決められた講義時間に関わらず、担当教員の指示に従い必要な学習を行い、授業後は内容をまとめること（復習30分）。
教科書 ・参考文献等	教科書	藤田哲也 『大学基礎講座 改増版』（北大路書房、2006年） ISBN:9784762824845
		木下是雄 『理科系の作文技術（中公新書624）』（中央公論新社、2001年） ISBN:9784121006240
	参考書	高橋 三郎・新田 光子 『大学生入門 3訂版』（世界思想社、2009年） ISBN:9784790713944
		世界思想社編集部 『大学生 学びのハンドブック 5訂版』（世界思想社、2021年） ISBN:9784790717492
		佐藤望ほか 『アカデミック・スキルズ（第3版）：大学生のための知的技法入門』（慶應義塾大学出版会、2020年） ISBN:9784766426564
		新井和広・坂倉杏介 『グループ学習入門: 学びあう場づくりの技法（アカデミック・スキルズ） 』（慶應義塾大学出版会、2013年） ISBN:9784766420395
	その他	講義の中で紹介する。
連絡先・オフィスアワー		連絡先：h-omori@jhsu.ac.jp オフィスアワー：火曜日13：30～16：00（事前に連絡することが望ましい） 南キャンパス：413室
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 理学療法士としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。 【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP（1）-①、（2）-①、（3）-①に該当。

科目コード	12109
授業科目名	基礎ゼミⅠ（導入教育）-8 （浅見ゼミ）
配当年次	1学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	演習
担当教員	浅見 正人
実務家教員	理学療法士：浅見 正人
授業科目の概要	導入教育として、10名程度のゼミナール形式により演習を実施する。本演習では、大学生活における学習の実践的な能力を養うために、①スタディースキル（図書館の利用法、情報収集の仕方、レポートの書き方等）、②ソーシャルスキル（社会人として、未来の医療従事者としての心構え）について担当教員および学生同士の交流、意見交換や具体的な体験を通して身につけ、今後の大学生活の基礎的な技能を習得する。
授業の到達目標	基礎ゼミでは、大学生としての学び方、将来の医療人としての心構え、医の倫理を学び、主体的な学習態度・習慣を身につけ知的好奇心を育むと共に、生涯にわたる知の追求など医療人としてのプリンシプルを獲得することを到達目標とする。 到達目標の一部を下記に示す 1) 大学図書館の機能を理解し、目的に沿って利用できる。 2) 図書（逐次刊行物，成書）、インターネット情報などを広く利用し情報を収集することができる。 3) 課された簡単なテーマについて、論理的な構成でレポートを書くことができる。 将来の医療人として、基本的な医の倫理について学習し、倫理観を身につける。
特に関連する科目	この科目が基礎となる科目－全科目
授業の具体的な進め方	第1,2回は課題および自己学習、第3回～7回はGoogle classroomを用いてライブ授業、ビデオ配信または遠隔課題で行う。3回～7回の授業予定は暫定であり、開校日および授業形態は随時連絡するので、google classroomを確認しておくこと。第8回～15回は6月1日～7月30日までの期間において、担当教員ごとにゼミ生を配置し、オンラインでのグループ演習を行うので、ゼミ担当教員の指示に従って参加すること。演習では、グループでの議論等をレポートなどにまとめ，プレゼンテーション等を行う。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/13	水	1	江口勝彦 髙橋真	217	コースオリエンテーション、大学での学習、自己学習
2	4/13	水	1	髙橋真	217	大学での学習、自己学習
3	4/20	水	1	髙橋真	217	講義計画とゼミ配置、ゼミ担当教員紹介、理学療法学科4年間の学習の概要とロードマップ
4	4/27	水	1	江口勝彦	217	テキスト（文献）の読み方
5	5/11	水	1	髙橋真	217	レポートのまとめ方
6	5/18	水	1	湯口聡	217	プレゼンテーション技法
7	5/25	水	1	渡部真未	メディアセンター	図書館の利用とその活用方法
8	6/1	水	1	浅見正人	217	ゼミ演習：シラバス・スケジュール確認
9	6/8	水	1	浅見正人	217	ゼミ演習：講義・演習・実習の受け方
10	6/15	水	1	浅見正人	217	ゼミ演習：グループディスカッション①「理学療法士に必要なスキルとは①」
11	6/22	水	1	浅見正人	217	ゼミ演習：グループディスカッション①「理学療法士に必要なスキルとは②」
12	6/29	水	1	浅見正人	217	ゼミ演習：グループディスカッション①「理学療法士に必要なスキルとは③」
13	7/6	水	1	浅見正人	217	ゼミ演習：グループディスカッション②「医療人として求められる感染対策①」
14	7/13	水	1	浅見正人	217	ゼミ演習：グループディスカッション②「医療人として求められる感染対策②」
15	7/20	水	1	浅見正人	217	ゼミ演習：グループディスカッション②「医療人として求められる感染対策③」

成績評価方法・基準		ゼミ担当教員は、大学生としての学習姿勢（レポート、発表会その他ゼミ内、グループ内での役割、行動などを含む）とスキルについて、単位認定者が用意したチェック項目に基づき評価し、単位認定者へ報告する。単位認定者は、チェック項目評価（70%）と共に、ゼミ担当教員の評価コメント（30%）として評価し、成績を付与する。
授業外における学習（予習・復習）		1）前提となる高等学校修了程度の知識も含め、不足している部分は各予習を行うこと（30分）。 2）ゼミでのグループ演習は共同作業であることを理解し、協調性をもって自らの責任を全うすること。 3）決められた講義時間に関わらず、担当教員の指示に従い必要な学習を行い、授業後は内容をまとめること（復習30分）。
教科書 ・参考文献等	教科書	藤田哲也 『大学基礎講座 改増版』（北大路書房、2006年） ISBN:9784762824845
		木下是雄 『理科系の作文技術（中公新書624）』（中央公論新社、2001年） ISBN:9784121006240
	参考書	高橋 三郎・新田 光子 『大学生入門 3訂版』（世界思想社、2009年）ISBN:9784790713944
		世界思想社編集部 『大学生 学びのハンドブック 5訂版』（世界思想社、2021年） ISBN:9784790717492
		佐藤望ほか 『アカデミック・スキルズ（第3版）：大学生のための知的技法入門』（慶應義塾大学出版会） ISBN:9784766426564
		新井和広・坂倉杏介 『グループ学習入門: 学びあう場づくりの技法（アカデミック・スキルズ）』（慶應義塾大学出版会） ISBN:9784766420395
	その他	講義の中で紹介する。
連絡先・オフィスアワー		浅見正人 メールアドレス m-azami@jhsu.ac.jp 毎週水曜日 9：30～12:30 研究室414室 複数の教員で関わることから、各担当教員オフィスアワーはコースオリエンテーションで別途指示する。
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 理学療法士としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。 【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP（1）-①、（2）-①、（3）-①に該当。

科目コード	12109
授業科目名	基礎ゼミⅠ（導入教育）-9 （鈴木ゼミ）
配当年次	1学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	演習
担当教員	鈴木 慶
実務家教員	理学療法士：鈴木 慶
授業科目の概要	導入教育として、10名程度のゼミナール形式により演習を実施する。本演習では、大学生活における学習の実践的な能力を養うために、①スタディースキル（図書館の利用法、情報収集の仕方、レポートの書き方等）、②ソーシャルスキル（社会人として、未来の医療従事者としての心構え）について担当教員および学生同士の交流、意見交換や具体的な体験を通して身につけ、今後の大学生活の基礎的な技能を習得する。
授業の到達目標	基礎ゼミでは、大学生としての学び方、将来の医療人としての心構え、医の倫理を学び、主体的な学習態度・習慣を身につけ知的好奇心を育むと共に、生涯にわたる知の追求など医療人としてのプリンシプルを獲得することを到達目標とする。 到達目標の一部を下記に示す 1) 大学図書館の機能を理解し、目的に沿って利用できる。 2) 図書（逐次刊行物，成書）、インターネット情報などを広く利用し情報を収集することができる。 3) 課された簡単なテーマについて、論理的な構成でレポートを書くことができる。 将来の医療人として、基本的な医の倫理について学習し、倫理観を身につける。
特に関連する科目	この科目が基礎となる科目－全科目
授業の具体的な進め方	第1,2回は課題および自己学習、第3回～7回はGoogle classroomを用いてライブ授業、ビデオ配信または遠隔課題で行う。3回～7回の授業予定は暫定であり、開校日および授業形態は随時連絡するので、google classroomを確認しておくこと。第8回～15回は6月1日～7月30日までの期間において、担当教員ごとにゼミ生を配置し、オンラインでのグループ演習を行うので、ゼミ担当教員の指示に従って参加すること。演習では、グループでの議論等をレポートなどにまとめ，プレゼンテーション等を行う。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/13	水	1	江口勝彦 髙橋真	217	コースオリエンテーション、大学での学習、自己学習
2	4/13	水	2	髙橋真	217	大学での学習、自己学習
3	4/20	水	1	髙橋真	217	講義計画とゼミ配置、ゼミ担当教員紹介、理学療法学科4年間の学習の概要とロードマップ
4	4/27	水	1	江口勝彦	217	テキスト（文献）の読み方
5	5/11	水	1	髙橋真	217	レポートのまとめ方
6	5/18	水	1	湯口聡	217	プレゼンテーション技法
7	5/25	水	1	渡部真未	メディアセンター	図書館の利用とその活用方法
8	6/1	水	1	鈴木慶	217	ゼミ演習：① ①「医の倫理」（配布資料）輪読、倫理的な問題に関する討議 ②グループの設定、演習課題の検討、計画立案、文献検索と整理の実際、課題に沿ったレポート作成・提出、課題発表会の実施を行う。
9	6/8	水	1	鈴木慶	217	ゼミ演習：② ①「医の倫理」（配布資料）輪読、倫理的な問題に関する討議 ②グループの設定、演習課題の検討、計画立案、文献検索と整理の実際、課題に沿ったレポート作成・提出、課題発表会の実施を行う。
10	6/15	水	1	鈴木慶	217	ゼミ演習：③ ①「医の倫理」（配布資料）輪読、倫理的な問題に関する討議 ②グループの設定、演習課題の検討、計画立案、文献検索と整理の実際、課題に沿ったレポート作成・提出、課題発表会の実施を行う。
11	6/22	水	1	鈴木慶	217	ゼミ演習：④ ①「医の倫理」（配布資料）輪読、倫理的な問題に関する討議 ②グループの設定、演習課題の検討、計画立案、文献検索と整理の実際、課題に沿ったレポート作成・提出、課題発表会の実施を行う。
12	6/29	水	1	鈴木慶	217	ゼミ演習：⑤ ①「医の倫理」（配布資料）輪読、倫理的な問題に関する討議 ②グループの設定、演習課題の検討、計画立案、文献検索と整理の実際、課題に沿ったレポート作成・提出、課題発表会の実施を行う。
13	7/6	水	1	鈴木慶	217	ゼミ演習：⑥ ①「医の倫理」（配布資料）輪読、倫理的な問題に関する討議 ②グループの設定、演習課題の検討、計画立案、文献検索と整理の実際、課題に沿ったレポート作成・提出、課題発表会の実施を行う。
14	7/13	水	1	鈴木慶	217	ゼミ演習：⑦ ①「医の倫理」（配布資料）輪読、倫理的な問題に関する討議 ②グループの設定、演習課題の検討、計画立案、文献検索と整理の実際、課題に沿ったレポート作成・提出、課題発表会の実施を行う。
15	7/20	水	1	鈴木慶	217	ゼミ演習：⑧ ①「医の倫理」（配布資料）輪読、倫理的な問題に関する討議 ②グループの設定、演習課題の検討、計画立案、文献検索と整理の実際、課題に沿ったレポート作成・提出、課題発表会の実施を行う。

成績評価方法・基準		ゼミ担当教員は、大学生としての学習姿勢（レポート、発表会その他ゼミ内、グループ内での役割、行動などを含む）とスキルについて、単位認定者が用意したチェック項目に基づき評価し、単位認定者へ報告する。単位認定者は、チェック項目評価（70%）と共に、ゼミ担当教員の評価コメント（30%）として評価し、成績を付与する。
授業外における学習（予習・復習）		1）前提となる高等学校修了程度の知識も含め、不足している部分は各予習を行うこと（30分）。 2）ゼミでのグループ演習は共同作業であることを理解し、協調性をもって自らの責任を全うすること。 3）決められた講義時間に関わらず、担当教員の指示に従い必要な学習を行い、授業後は内容をまとめること（復習30分）。
教科書 ・参考文献等	教科書	藤田哲也 『大学基礎講座　改増版』（北大路書房、2006年） ISBN:9784762824845
		木下是雄 『理科系の作文技術（中公新書624）』（中央公論新社、2001年） ISBN:9784121006240
	参考書	高橋 三郎・新田 光子 『大学生入門　3訂版』（世界思想社、2009年） ISBN:9784790713944
		世界思想社編集部 『大学生 学びのハンドブック　5訂版』（世界思想社、2021年） ISBN:9784790717492
		佐藤望ほか 『アカデミック・スキルズ(第3版)：大学生のための知的技法入門』（慶應義塾大学出版会） ISBN:9784766426564
		新井和広・坂倉杏介 『グループ学習入門: 学びあう場づくりの技法（アカデミック・スキルズ）』（慶應義塾大学出版会） ISBN:9784766420395
	その他	講義の中で紹介する。
連絡先・オフィスアワー		浅見正人　メールアドレス　k-suzuki@jhsu.ac.jp 毎週＊曜日　＊～＊　研究室413室 複数の教員で関わることから、各担当教員オフィスアワーはコースオリエンテーションで別途指示する。
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 理学療法士としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。 【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP（1）-①、（2）-①、（3）-①に該当。

科目コード	12110
授業科目名	生命倫理学
配当年次	2学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	2単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	岡野 浩
実務家教員	
授業科目の概要	新たな死の形としての脳死や移植医療、高度な延命医療とその是非、また生殖補助医療や遺伝子操作等の問題についての基本的な理解を構築し、日本および世界の動向にも目を向けながら、医療行為を通じて確保、実現されるべき「生命の質（quality of life）」、その意味について学習する。本講義では、人間の誕生と死をめぐる医療に焦点を当て、今日の生命倫理の基本的な論点を示す具体的な事件、事例について考察し、医療専門職として、また、一人の社会人として備えておくべき基本的な見識の涵養を目指している。
授業の到達目標	医療の現場では、医療を受ける人にとっても、また医療に従事する者にとっても、各人それぞれの持つ価値観や人生観、そして倫理観が改めて問い直されるような深刻な決断が求められる。本講義では特に人間の誕生と、死をめぐる医療に焦点を当て、今日の生命倫理の基本的な論点を示す具体的な事件、事例について考える事で、医療専門職として、また一人の社会人として備えておくべき基本的な見識の涵養を目指したい。
特に関連する科目	社会学、医学概論
授業の具体的な進め方	講義形式（classroomを通して遠隔授業）で行うが、重要なトピックや問題については、適宜授業内、ホームワーク等として実施するアンケート、小論文を通じて受講者にも意見を求めながら進めてゆく。受講に際しては特に専門的知識は必要としないが、医療専門職を目指す受講者においては、日頃から生命倫理をめぐる諸問題にインターネットや新聞、テレビ等のメディアを通じて注意を向ける習慣を養ってほしい。 この授業で取り上げる問題は、どれも医療従事者として、また一人の社会人として受講者自身が直面する可能性のあるものばかりなので、それらの問題を＜単なる授業上のトピック＞としてのみとらえるのではなく、常に＜自らに引き受けて考える＞緊張感を持って授業に参加して欲しい。授業をより実りあるものにする為にも意欲的な発言、質問は歓迎する。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	9/20	火	3	岡野浩	306	授業方法、概要についての説明。生命倫理のあるトピックを取り上げアンケートに答えてもらう。
2	9/26	月	3	岡野浩	306	＜生命倫理＞とは何か① いわゆる＜生命倫理（bioethics）＞が創始された経緯と背景
3	10/3	月	3	岡野浩	306	＜生命倫理＞とは何か② 「人間の尊厳」と「社会的効用」をめぐる伝統的倫理学説
4	10/17	月	3	岡野浩	306	脳死と臓器移植をめぐる問題① 脳死とは何か・・・＜新しい死＞の創出をめぐって
5	10/24	月	3	岡野浩	306	脳死と臓器移植をめぐる問題② 改正臓器移植法と脳死臓器移植をめぐって
6	10/31	月	3	岡野浩	306	脳死と臓器移植をめぐる問題③ 移植医療の根本的問題
7	11/7	月	3	岡野浩	306	安楽死をめぐる問題① 安楽死の種類と方法、その問題点
8	11/14	月	3	岡野浩	306	尊厳ある死とは何か① ＜尊厳死（dignified death）＞の一般的定義と問題点
9	11/21	月	3	岡野浩	306	尊厳ある死とは何か②＜尊厳死＞＝＜良き死＞に含意されるものをめぐる問題
10	11/28	月	3	岡野浩	306	生命の誕生に関わる＜人為的操作＞ 多様な生殖補助技術とその使用をめぐる問題
11	12/5	月	3	岡野浩	306	体外受精と代理母① 生殖補助技術の進歩と＜誕生する命＞の尊厳との葛藤
12	12/12	月	3	岡野浩	306	体外受精と代理母② 事例研究と諸外国における法整備の現状について
13	12/19	月	3	岡野浩	306	ヒトはいつから人間と言えるのか ヒト胚の処遇をめぐる問題
14	1/16	月	3	岡野浩	306	遺伝子診断、出生前診断 そして、人工妊娠中絶をめぐる問題
15	1/25	月	3	岡野浩	306	遺伝子診断、出生前診断 そして、人工妊娠中絶をめぐる問題

成績評価方法・基準		学期末試験（80%）及び、授業時等に実施するアンケート、小論文（20%）を総合して評価する。 また意欲的な発言、質問等授業に対する積極的な取り組み示す姿勢も評価の参考としたい。
授業外における学習（予習・復習）		日頃から生命倫理をめぐる諸問題に関心を向け、様々なメデイアを通じて情報にアクセスする習慣を養うこと。 また、授業或いはホームワーク等で実施するアンケート、小論文等は、将来の医療専門職としての＜職業意識＞と＜資質＞を問われる場でもあると考え、課題に対して常に真剣に取り組むよう心掛けてほしい。 また、この授業では毎回授業に先立つ形で、次回以降に学習する問題や事例等の資料も配布してゆくので、受講者はあらかじめそれらに目を通し、授業の進み行きの見通しを持って授業に臨む習慣を持つようにすること。配布されたレジュメ・資料は必ずファイリングし、毎回の授業にすべて持参し、いつでも必要に応じて取り出して参照できるようにしておくこと。
教科書・参考文献等	教科書	特に使用しない。毎時間配布するレジュメ、参考資料プリント等がその代わりとなる。
	参考書	H.T.エンゲルハート、H.ヨナス 他著 加藤尚武、飯田宣之編 『バイオエシックスの基礎－欧米の「生命倫理」論』（東海大学出版会、1988年） ISBN: 9784486009931 他にも授業時に適宜紹介する。
	その他	
連絡先・オフィスアワー		質問等は授業の前後に非常勤講師室で対応します。
その他		【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP（3）に該当。

科目コード	12111
授業科目名	心理学
配当年次	1学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	2単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	正田 泰基
実務家教員	
授業科目の概要	医療従事者に求められる「他者理解」のためには「自己理解」を深めることが前提となる。このような「人間の心理」を理解するために必要となる基本的知識を身につけるために、心理学の理論と研究対象について学習する。講義の前半は人間の心理を理解するために、その基盤としての心理領域と社会心理学について講義する。そして、後半では、自己理解および他者理解の助けとなるような、より実践的な内容について講義で触れる。 単なる知識の習得だけではなく、DVD視聴や実際の事例検討を通して、具体的に理解し、体験として感じることのできるような講義を展開できるよう進める。
授業の到達目標	1.身体的成長と心理的発達の相互関係について理解できる 2.動機づけとそれによって引き起こされるフラストレーションを理解できる 3.多岐にわたる心理学の領域と、それらが生まれた歴史的背景について理解できる
特に関連する科目	精神保健　精神看護学概論　精神看護方法論
授業の具体的な進め方	理論的な学習ののち、豊富な具体例をもとに、学生同士の発言を積み上げ、より具体的な理解が進むよう授業を展開する。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/13	水	2	正田泰基	217	発達段階、愛着、トラウマなどの要因が絡む例を見る
2	4/20	水	2	正田泰基	217	発達と愛着について
3	4/27	水	2	正田泰基	217	発達と愛着について
4	5/11	水	2	正田泰基	217	広汎性発達障害と愛着障害
5	5/18	水	2	正田泰基	217	解離
6	5/25	水	2	正田泰基	217	PTSD
7	6/1	水	2	正田泰基	217	PTSD
8	6/8	水	2	正田泰基	217	防衛機制、アダルトチルドレン
9	6/15	水	2	正田泰基	217	パーソナリティ障害
10	6/22	水	2	正田泰基	217	行動療法
11	6/29	水	2	正田泰基	217	行動療法
12	7/6	水	2	正田泰基	217	行動療法
13	7/13	水	2	正田泰基	217	行動療法と教育
14	7/20	水	2	正田泰基	217	行動療法と教育
15	7/27	水	2	正田泰基	217	認知行動療法

成績評価方法・基準		毎回の小課題：70%、まとめ課題：30%
授業外における学習（予習・復習）		授業計画に沿って次回の授業内容について教科書・参考書で一通り目を通しておいてください。復習は、教科書、授業での配布資料、板書ノートを用いて内容を確認し、分かりにくい個所をよく調べて、内容を暗記するようにしてください。
教科書・参考文献等	教科書	
	参考書	
	その他	
連絡先・オフィスアワー		授業の前後に非常勤講師室で質問対応します。
その他		【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP(1)に該当。

科目コード	12112
授業科目名	健康体育
配当年次	1学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	選択
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	実験・実習
担当教員	正田 泰基
実務家教員	
授業科目の概要	健康の基本は、「適切な栄養の摂取」「適切な運動の実施」「十分な休養」「心の安定」の中の「適切な運動の実施」によって構成される。そして、効果的で生産性の高い人生を築くために、これらの原則を実践する能力を一人ひとりが身につける必要がある。そこで、学生自身が健康維持のための日常的な運動習慣を身につけることができるような具体的な方法を、各種身体活動やスポーツの実践を通して学習する。 講義は参加者の上限を40名程度として、過酷な運動は実施せず、運動が苦手な学生こそ実践参加できるよう実技を実施する。
授業の到達目標	1. 身体のより良い使い方について理解を深める。 2. 身体をより良く使うための方法を知る。 3. 自分からの働きかけを通して、身体をより良くしようとする。
特に関連する科目	健康とスポーツ
授業の具体的な進め方	実技を通して協議の特性を理解する。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	9/21	水	3	正田泰基	体育館	身体の構造①
2	9/28	水	3	正田泰基	体育館	自粛中に出来る身体づくり①
3	10/5	水	3	正田泰基	体育館	身体の構造②
4	10/12	水	3	正田泰基	体育館	自粛中に出来る身体づくり②
5	10/19	水	3	正田泰基	体育館	身体の構造③
6	10/26	水	3	正田泰基	体育館	自粛中に出来る身体づくり③
7	11/2	水	3	正田泰基	体育館	身体の構造④
8	11/9	水	3	正田泰基	体育館	自粛中に出来る身体づくり④
9	11/16	水	3	正田泰基	体育館	身体の構造⑤
10	11/30	水	3	正田泰基	体育館	自粛中に出来る身体づくり⑤
11	12/7	水	3	正田泰基	体育館	身体の構造⑥
12	12/14	水	3	正田泰基	体育館	自粛中に出来る身体づくり⑥
13	12/21	水	3	正田泰基	体育館	身体の構造⑦
14	1/11	水	3	正田泰基	体育館	自粛中に出来る身体づくり⑦
15	1/18	水	3	正田泰基	体育館	レポート

成績評価方法・基準		授業後のレポート（60%）と同時に、学期末のレポート（40%）で成績評価を行う。
授業外における学習（予習・復習）		特になし
教科書 ・参考文献等	教科書	特になし
	参考書	
	その他	
連絡先・オフィスアワー		授業日の授業前後に非常勤講師室で対応します。 メールアドレス　y-masada@jhsu.ac.jp
その他		【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP(2)に該当。

科目コード	12113
授業科目名	健康とスポーツ
配当年次	1学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	選択
単位	1単位
時間数	15時間
授業形態	講義
担当教員	正田 泰基
実務家教員	
授業科目の概要	健康の基本である「適切な栄養の摂取」「適切な運動の実施」「十分な休養」「心の安定」について理解し実践できるように、栄養摂取、休養、心の安定と各種身体活動、スポーツとの関係およびこれらと医療との関係について学習する。 本講義では、①身体の基礎知識、②トレーニング理論、③身体の仕組み、④コンディショニング、⑤栄養・食事、⑥メンタルヘルス、⑦健康(演習)という内容により各回の授業を行い、最新の情報を取り入れながら、心と体のコンディショニングについて理解を深めることができるようにする。
授業の到達目標	1.身体の基礎知識について理解できる 2.トレーニング理論について理解できる 3..身体の仕組みについて理解できる 4.コンディショニングについて理解できる
特に関連する科目	健康体育
授業の具体的な進め方	遠隔授業をやったのちに軽くワークを取り入れるなどして、多角的に理解できるように進める。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/20	水	3	正田泰基	217	身体の基礎知識
2	4/27	水	3	正田泰基	217	身体づくりの運動
3	5/11	水	3	正田泰基	217	身体の基礎知識
4	5/18	水	3	正田泰基	217	身体づくりの運動
5	5/25	水	3	正田泰基	217	身体づくりの運動
6	6/1	水	3	正田泰基	217	身体づくりの運動
7	6/8	水	3	正田泰基	217	身体の基礎知識
8	6/15	水	3	正田泰基	217	身体づくりの運動

成績評価方法・基準		毎回の小課題:70%、まとめ課題:30%
授業外における学習(予習・復習)		自ら学ぶ姿勢をもち、主体的に講義・グループワークに参加してください。また、授業計画に沿って教科書で予習し、講義後は、教科書、講義で配布される資料、参考文献を用いて復習をしてください。
教科書・参考文献等	教科書	伊藤マモル監修 『基礎から学ぶスポーツトレーニング理論 増補改訂版』 (日本文芸社、2017年) ISBN:9784537215359
	参考書	適宜紹介する
	その他	
連絡先・オフィスアワー		授業の前後に非常勤講師室で質問対応します。
その他		【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP(1)に該当。

科目コード	12114
授業科目名	社会福祉学
配当年次	1学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	2単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	木梨 美奈子
実務家教員	
授業科目の概要	社会福祉の概念や歴史とともに、生活上の困難を抱える人や家族を援助し、それらの人々の自己実現を図るための基礎となる社会保障制度（年金保険制度、労災保険制度、雇用保険制度等）や社会サービス（介護保険制度、高齢者福祉、障害者福祉、生活保護等）の基礎知識について学習する。ただし、単に社会福祉に関する制度を学ぶだけではなく、制度を活用しつつ、どのような対人援助の方法、技術が必要なのかについても同時に学習する。 最終的には学生一人一人が「社会福祉学」の各項目について自分なりの意見や考えを持てるようになることが望ましい。
授業の到達目標	1.患者の生活設計を考えるための基礎となる社会保障制度や社会福祉サービスの基礎知識について学ぶ。具体的には、社会福祉の概念や歴史、社会福祉活動の担い手、また人々が利用できるさまざまな社会保障制度（年金保険制度、労災保険制度、雇用保険制度等） 2.社会福祉サービス（介護保険制度、高齢者福祉、障害者福祉、生活保護等）について学ぶ。 3.「社会福祉学」の基礎を学びながら、最終的には「社会福祉学」の各項目について、学生の一人一人が、自分なりの意見や考えをもてるようにする。
特に関連する科目	保健医療福祉行政論　法学　社会学
授業の具体的な進め方	授業計画にしたがい、テキストを使用して講義を行う。 各回の講義では、予習はしなくてよいが、しっかり復習すること。 毎回の授業の後半で、練習問題を解く。練習問題は、①授業内容から　②理学療法士国家試験過去問題　③理学療法士国家試験擬似問題　などで構成する。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/12	火	2	木梨美奈子	217	社会保障制度と社会福祉
2	4/19	火	2	木梨美奈子	217	現代社会の変化と社会保障・社会福祉の動向
3	4/26	火	2	木梨美奈子	217	医療保障　１ 医療保障制度の沿革、構造、保険
4	5/10	火	2	木梨美奈子	217	医療保障　２ 高齢者医療制度、保険診療、医療費
5	5/17	火	2	木梨美奈子	217	介護保障　１ 介護保険制度の歴史、概要
6	5/24	火	2	木梨美奈子	217	介護保障　２ 介護保険の給付、財政、課題
7	5/31	火	2	木梨美奈子	217	所得保障　１ 年金保険制度　　２ 労働保険制度
8	6/7	火	2	木梨美奈子	217	まとめ
9	6/14	火	2	木梨美奈子	217	公的扶助
10	6/21	火	2	木梨美奈子	217	社会福祉の分野とサービス　　1高齢者福祉
11	6/28	火	2	木梨美奈子	217	社会福祉の分野とサービス　　2障害者福祉、3児童家庭福祉
12	7/5	火	2	木梨美奈子	217	社会福祉実践と医療、看護　　１ 社会福祉援助技術
13	7/12	火	2	木梨美奈子	217	社会福祉実践と医療、看護　　２ 今後の課題　3連携の重要性
14	7/19	火	2	木梨美奈子	217	社会福祉の歴史
15	7/26	火	2	木梨美奈子	217	総復習

成績評価方法・基準		成績は、定期試験の成績を基本として評価する。なお、各試験で60%の成績が取れなかった場合は、再試験もしくはレポート課題を課して、成績評価の参考とする。
授業外における学習（予習・復習）		各回の講義では、予習は前回の講義で指示した範囲で予習すること。講義で扱った内容をよく復習すること。予習・復習は毎日30分程度（1週間で3時間以上）すること。
教科書・参考文献等	教科書	福田 素生(著)『≪系統看護学講座 専門基礎分野≫健康支援と社会保障制度[3]社会保障・社会福祉(第22版)』 (医学書院、2022年)　ISBN:9784260048590
	参考書	講義内にて、適宜紹介する
	その他	毎回の講義で練習問題を配信する
連絡先・オフィスアワー		質問等はclassroomで対応する
その他		【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP(3)に該当。

科目コード	12115
授業科目名	臨床コミュニケーション論
配当年次	2学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	15時間
授業形態	講義
担当教員	高橋 佳史
実務家教員	臨床心理士：高橋 佳史
授業科目の概要	医療現場のみならず，理学療法士が業務上行う「具体的な結果を引き出すためにおこなう対人コミュニケーション」のための“時間”，“準備”，“正直にかつ同情をこめて話す能力”，“他者の感情を見きわめる能力”，“耳を傾ける能力”，“説明する能力”，“理解する能力”，“患者を気づかう能力”，“一貫性”などのコミュニケーションスキルを学ぶ。
授業の到達目標	本講義の到達目標は下記の三つとします。 ① 日常場面のコミュニケーションと臨床コミュニケーションの違いを説明できる ② 臨床コミュニケーション場面での”聴く”，”話す”，”理解する”等のスキルを身につける ③ 個々の臨床コミュニケーションスキルを統合して，理学療法士としての患者に対する接し方を身につける
特に関連する科目	心理学　人間発達学　カウンセリング
授業の具体的な進め方	本講義は，理論の説明とワークを通した実践を行います。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	6/14	火	4	高橋佳史	306	オリエンテーション・臨床コミュニケーションとは
2	6/21	火	4	高橋佳史	306	支援者としての自己理解
3	6/28	火	4	高橋佳史	306	コミュニケーションをとるための適応的な態度
4	7/5	火	4	高橋佳史	306	臨床コミュニケーション場面の記録の取り方
5	7/12	火	4	高橋佳史	306	臨床コミュニケーション場面の相手の主張に対する耳の傾け方
6	7/19	火	4	高橋佳史	306	臨床コミュニケーション場面の意思の伝え方
7	7/26	火	3	高橋佳史	306	臨床コミュニケーション場面のスキルの統合
8	7/26	火	4	高橋佳史	306	まとめ

成績評価方法・基準		レポート60%，平常点40%（欠席回数がが1/3の場合は単位認定外とします）
授業外における学習（予習・復習）		授業前に課題に取り組むこと
教科書・参考文献等	教科書	担当教員が作成した資料を使用します。
	参考書	授業で適宜紹介します。
	その他	
連絡先・オフィスアワー		質問等は授業の前後に対応します。
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 臨床心理士としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。 【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP(1)(2)(3)に該当。

科目コード	12116
授業科目名	人間関係論
配当年次	2学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	15時間
授業形態	講義
担当教員	高橋 佳史
実務家教員	臨床心理士：高橋佳史
授業科目の概要	高度細分化した現代医療はチームとして機能する。また，患者・対象者の障害や局所にフォーカスするのではなく、全人間的に捉えてアプローチすることは常識である。患者・対象者も医療者も人間である以上、当然そこに何らかの人間関係が存在し、医療者側の構造的・心理的状況が、対象者の行動に影響を及ぼしていることは容易に想像できる。医療現場のみならず在宅なども含め理学療法士の働く環境を小さな社会集団と考えれば、その構成員でもある医療者や患者たちの行動に人間関係が少なからぬ影響を与えているということである。本講義では、より良い理学療法サービスを提供するために、社会心理学で扱う「集団力動論」や「役割理論」的視点から医療者間関係や医療者・患者（含家族）関係を論じる.
授業の到達目標	本講義の到達目標は下記の3点とします。 ① 多様な環境が人間関係に与える影響を説明できる。 ② 社会集団の一員として，自身の環境が人間関係にどのような影響を与えている／受けているか説明できる。 ③ 人間関係の差異を理解し，理学療法サービスに応用できる考えを持つことができる。
特に関連する科目	心理学 生理学 人間発達学 精神医学Ⅰ（基礎） 神経内科学Ⅰ（基礎） 神経内科学Ⅱ（応用） 小児科学 老年医学 臨床心理学
授業の具体的な進め方	授業は講義形式で行われる。事前に課題が出されるので，取り組んだ上で出席すること。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/12	火	4	高橋佳史	306	オリエンテーション
2	4/19	火	4	高橋佳史	306	集団における人間関係
3	4/26	火	4	高橋佳史	306	二者間における人間関係①
4	5/10	火	4	高橋佳史	306	二者間における人間関係②
5	5/17	火	4	高橋佳史	306	対象関係
6	5/24	火	4	高橋佳史	306	家族関係
7	5/31	火	4	高橋佳史	306	医療場面における構造関係
8	6/7	火	4	高橋佳史	306	まとめ

成績評価方法・基準		レポート60%，平常点40%（欠席回数がが1/3の場合は単位認定外とします）
授業外における学習（予習・復習）		授業前に課題に取り組むこと
教科書・参考文献等	教科書	教員が作成した資料を使用します。
	参考書	授業で適宜紹介します。
	その他	
連絡先・オフィスアワー		質問等は授業前後に対応します。
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 臨床心理士としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。 【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP(1)(2)(3)に該当。

科目コード	12116
授業科目名	人間関係論
配当年次	3学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	15時間
授業形態	講義
担当教員	高橋 佳史
実務家教員	臨床心理士：高橋佳史
授業科目の概要	高度細分化した現代医療はチームとして機能する。また，患者・対象者の障害や局所にフォーカスするのではなく、全人間的に捉えてアプローチすることは常識である。患者・対象者も医療者も人間である以上、当然そこに何らかの人間関係が存在し、医療者側の構造的・心理的状況が、対象者の行動に影響を及ぼしていることは容易に想像できる。医療現場のみならず在宅なども含め理学療法士の働く環境を小さな社会集団と考えれば、その構成員でもある医療者や患者たちの行動に人間関係が少なからぬ影響を与えているということである。本講義では、より良い理学療法サービスを提供するために、社会心理学で扱う「集団力動論」や「役割理論」的視点から医療者間関係や医療者・患者（含家族）関係を論じる.
授業の到達目標	本講義の到達目標は下記の3点とします。① 多様な環境が人間関係に与える影響を説明できる。② 社会集団の一員として，自身の環境が人間関係にどのような影響を与えている／受けているか説明できる。③ 人間関係の差異を理解し，理学療法サービスに応用できる考えを持つことができる。
特に関連する科目	心理学 生理学 人間発達学 精神医学Ⅰ（基礎） 神経内科学Ⅰ（基礎） 神経内科学Ⅱ（応用） 小児科学 老年医学 臨床心理学
授業の具体的な進め方	授業は講義形式で行われる。事前に課題が出されるので，取り組んだ上で出席すること。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	11/1	火	3	高橋佳史	312	オリエンテーション
2	11/8	火	3	高橋佳史	312	集団における人間関係
3	11/15	火	3	高橋佳史	312	二者間における人間関係①
4	11/22	火	3	高橋佳史	312	二者間における人間関係②
5	11/29	火	3	高橋佳史	312	対象関係
6	12/6	火	3	高橋佳史	312	家族関係
7	12/13	火	3	高橋佳史	312	医療場面における構造関係
8	12/20	火	3	高橋佳史	312	まとめ

成績評価方法・基準		レポート60%，平常点40%（欠席回数がが1/3の場合は単位認定外とします）
授業外における学習（予習・復習）		授業前に課題に取り組むこと
教科書・参考文献等	教科書	教員が作成した資料を使用します。
	参考書	授業で適宜紹介します。
	その他	
連絡先・オフィスアワー		質問等は授業前後に対応します。
その他		2021年度未開講に伴う振替 【実務経験を活かした実践的教育内容】臨床心理士としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。 【関連するディプロマポリシー】理学療法学科DP（1）（2）（3）に該当。

科目コード	12117
授業科目名	社会学
配当年次	1学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	選択
単位	2単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	村井 洋
実務家教員	
授業科目の概要	社会学は社会を人間の集団として理解し、社会の仕組みを解いていくことが重要な課題である。そこで、まず集団の中の人間という基本的な原理を理解し、家族、地域社会、国家という社会集団について学習する。次に、科学技術と人間という課題を設定して、科学技術の成果と人間社会、環境に関わることを社会学的に学習する。これらの学習を通して、医療従事者にとって重要な社会倫理について理解を深め、地域社会における医療従事者の役割について社会学的な観点から考えることができるようにする。 本講義は可能な限りディスカッション、作業、視聴覚教材を活用して行う。
授業の到達目標	(1)時事問題を含んだ現代社会の動向を理解できる。 (2)現代社会の特徴をいくつかの基礎概念を通して理解できる
特に関連する科目	直接関連する科目はないが、社会学的観点から考える姿勢はどの科目にも必要である。
授業の具体的な進め方	ディスカッション、作業、視聴覚教材をとりいれて授業を行う。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	9/22	木	2	村井洋	217	社会学を学ぶ意味とは何か。「わたし」の視点から人間関係の成り立ち、学校、病院のような制度や組織の視点から「役割」や「規範」の意味について。
2	9/29	木	2	村井洋	217	スポーツと社会はどう結びついているか　近代社会のものの考え方がスポーツのルールや運営に明らかに現れている事実を理解する。
3	10/6	木	2	村井洋	217	メディアは社会にどう影響しているか。新聞、テレビ、SNSと社会
4	10/13	木	2	村井洋	217	「近代」社会の特徴について。とくに科学、経済と産業、文化、政治、国家について。
5	10/20	木	2	村井洋	217	「近代家族」の機能と形態。個人のライフコース(誕生から死亡までの人生行路)における家族の意義。
6	10/27	木	2	村井洋	217	現代の家族の特徴ならびに日本の民法(親族法)における結婚、親子関係について。
7	11/10	木	2	村井洋	217	地域社会の変化と問題点について、都市と農村、現代の都市型社会における地域問題を理解する。
8	11/17	木	2	村井洋	217	政治と社会。政治的態度　イデオロギー　投票行動　政治権力のあり方について
9	11/24	木	2	村井洋	217	社会保障を基礎づける考え方:もし社会保障制度がなかったらという問いを、映像資料およびJ.ロールズの『正義論』を題材に考える。
10	12/1	木	2	村井洋	217	日本の社会保障:導入にいたる経緯と現行制度　本の医療保険制度
11	12/8	木	2	村井洋	217	感染症と社会:　COVID-19の特徴と感染状況、社会変化
12	12/15	木	2	村井洋	217	社会倫理:伝統的倫理思想のあらましと現代的性格:仏教、儒教、キリスト教の世界観について。現代社会にどう適用するか。
13	12/22	木	2	村井洋	217	社会倫理(2)現代における「愛」の問題:現代社会の「疎外」を克服する試み(E.フロム)、H.アーレントほか
14	1/12	木	2	村井洋	217	労働と社会:資本主義社会と労働、ブラック企業、「働き方改革」
15	1/19	木	2	村井洋	217	グローバル社会と平和:テロリズムと社会、デモクラシーと平和、宗教と社会、国際金融

成績評価方法・基準		各時間内に課す小レポート15% 中間試験25%定期試験60%
授業外における学習(予習・復習)		授業ノートを読み返し、疑問点を整理し次回の「ミニッツ・ペーパー」に記入する。講義中提示する参考文献を手に取り読む。
教科書・参考文献等	教科書	特に指定しない。毎回ハンドアウト(担当者作成の資料)を配布する。
	参考書	森岡清志 『社会学入門～基礎概念とその展開～(放送大学教材)』 (放送大学教育振興会、2010年) ISBN:9784595312106
	その他	医療が社会の中の事業であることを意識し皆さんの将来に深く関わる学修であることを認識したうえで、社会がつねに変化の中にあること、また、改良すべき問題点を生み出していることを意識して臨んで欲しいと思います。
連絡先・オフィスアワー		連絡先:murai.hiroshi@coral.plala.or.jp オフィスアワー　金曜日12:40～13:00ごろ
その他		【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP(3)に該当。

科目コード	12118
授業科目名	教育学
配当年次	1学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	選択
単位	2単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	小林 彰彦
実務家教員	元公立小・中学校教員：小林 彰彦
授業科目の概要	本講義では、教育学の基礎的な概念である教育目的、発達、学習、指導方法等について理解するとともに、教育の営みにおける福祉の思想や人間観について学習する。そして、教育の理論・歴史・思想について基礎的な知識を身につけ、「教育とは何か」という問題を多角的に理解するとともに、人権と教育の関連について認識を深める。また、被教育者としての自身の体験を客観的に把握し、教育についての豊かなイメージを培うものとする。
授業の到達目標	1 教育の理論・歴史・思想についての基本的な知識を身につけ理解する。 2 「教育とは何か」という問題を多角的に理解するとともに、人権と教育の関連について認識を深める。 3 被教育者としての自らの体験を客観的に把握し、教育についての豊かなイメージを培う。
特に関連する科目	心理学 社会学 法学 など
授業の具体的な進め方	講義形式で行う。配布資料をもとに授業内容の理解を図る。なお、内容に関連した意見などを可能な範囲で求めることもある。 毎回の授業において、リアクションペーパーの提出を求める。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/14	木	2	小林彰彦	217	教育学を学ぶにあたって
2	4/21	木	2	小林彰彦	217	学ぶことと教えること
3	4/28	木	2	小林彰彦	217	教育の場と役割
4	5/12	木	2	小林彰彦	217	学校の歴史(1)―学校教育制度の誕生
5	5/19	木	2	小林彰彦	217	学校の歴史(2)―学校環境や教材教具の変化
6	5/26	木	2	小林彰彦	217	教育のメディア
7	6/2	木	2	小林彰彦	217	学習指導の原理
8	6/9	木	2	小林彰彦	217	中間まとめと小試験
9	6/16	木	2	小林彰彦	217	学習指導要領の変遷
10	6/23	木	2	小林彰彦	217	他者とのかかわりを導く(1)―道徳教育の観点から
11	6/30	木	2	小林彰彦	217	他者とのかかわりを導く(2)―特別支援教育の観点から
12	7/7	木	2	小林彰彦	217	教育の目的と評価
13	7/14	木	2	小林彰彦	217	教育の場をつくるしくみ
14	7/21	木	2	小林彰彦	217	教師という仕事
15	7/28	木	2	小林彰彦	217	まとめ

成績評価方法・基準		小テスト 30% 期末レポート 50% 授業への取り組み（毎回のコメントペーパーへの記入等） 20% ＊授業をすすめるうえで参考となる意見は授業内で紹介する。
授業外における学習（予習・復習）		主要新聞記事をはじめとする教育関連のトピックスに普段から関心を持つように心がけておくこと。また、授業後は配布された資料を読み返したり関連図書を参照したりしながら内容を振り返っておくこと。 なお、上記については講義ごとに概ね60分以上必要である。
教科書・参考文献等	教科書	教科書は使用しない。必要に応じて講義資料を配布する。
	参考書	汐見稔幸、伊藤毅、高田文子、東宏行、増田修治 『よくわかる教育原理』（ミネルヴァ書房、2011年）ISBN:9784623059263 木村元 編 『系統看護学講座 基礎分野 教育学 第8版』（医学書院、2021年）ISBN:9784260042154 広田照幸 『教育学(ヒューマニティーズ)』（岩波書店、2009年）ISBN:9784000283243
	その他	特になし
連絡先・オフィスアワー		質問等は授業前後に対応する。
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 公立小・中学校教員としての実務経験を活かした講義を行う。 【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP(1)-③、(3)-③に該当。

科目コード	12119
授業科目名	法学
配当年次	3学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	選択
単位	2単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	水倉 友理
実務家教員	弁護士：水倉 友理
授業科目の概要	日本国憲法の基本構造、全体像に関する基礎的な理解とともに、「法的なものの考え方」とその表現の仕方を習得する。そのため、立法から司法までのシステムと日本国憲法、刑法、民法、さらに医療従事者にとって必要な医療関連法規、介護関連法規、福祉関連法規等、基礎的な法規についても学習する。医療紛争、訴訟と刑事、民事、行政責任について学習する。 本講義は、単に法律を「覚える」だけのものではなく、法律という視点から社会をどう捉えられるかという法的なものの見方について理解する機会とする。
授業の到達目標	1.日本国憲法の基本構造と理念の理解 2.日本国憲法と法体系の仕組みの理解 3.法的な思考方法の習得 4.医療関係法規の概要と理解
特に関連する科目	民法　刑法　民事訴訟法　刑事訴訟法　医療関係法規　福祉関係法規
授業の具体的な進め方	講師作成レジュメに基づく講義形式。法的問題点についての自らの見解をまとめて表現する機会も設ける。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	6/11	土	1	水倉友理	遠隔	日本国憲法（基本構造）
2	6/11	土	2	水倉友理	遠隔	日本国憲法（3大理念①国民主権原理　②平和主義　③基本的人権の尊重）
3	6/11	土	3	水倉友理	遠隔	日本国憲法（人権①人身の自由）
4	6/11	土	4	水倉友理	遠隔	日本国憲法（人権②奴隷的拘束・苦役からの自由、不当な身体拘束からの自由、適正手続保障、死刑制度）
5	6/18	土	1	水倉友理	遠隔	日本国憲法（人権③社会的権利）
6	6/18	土	2	水倉友理	遠隔	日本国憲法（人権④経済的自由権（職業選択の自由を中心として）
7	6/18	土	3	水倉友理	遠隔	日本国憲法（人権⑤精神的自由権）
8	6/18	土	4	水倉友理	遠隔	日本国憲法（人権⑥精神的自由権）
9	6/25	土	1	水倉友理	遠隔	日本国憲法（統治機構：国会、内閣、裁判所のしくみ）
10	6/25	土	2	水倉友理	遠隔	紛争と法律
11	6/25	土	3	水倉友理	遠隔	日常生活と契約
12	6/25	土	4	水倉友理	遠隔	医療関係法
13	7/2	土	1	水倉友理	遠隔	医療者の法的責任と記録の重要性
14	7/2	土	4	水倉友理	遠隔	医療倫理と法
15	7/2	土	3	水倉友理	遠隔	医療倫理と法

成績評価方法・基準		小テスト50%、レポート50%
授業外における学習（予習・復習）		予習は特に不要です。 授業後は、授業で配布したレジュメを確認して復習してください。
教科書・参考文献等	教科書	必要に応じてプリントを配布します。
	参考書	渋谷秀樹, 赤坂正浩 著 『憲法<1>　第7版　人権(有斐閣アルマ　Specialized)』（有斐閣、2019年） ISBN:9784641221277 渋谷秀樹, 赤坂正浩 著 『憲法<2>　第7版　統治(有斐閣アルマ　Specialized)』（有斐閣、2019年） ISBN:9784641221284 安念潤司, 常本照樹, 津村政孝 著 『法学ナビゲーション　第2版(有斐閣アルマ)』（有斐閣、2001年） ISBN:9784641121232
	その他	特になし
連絡先・オフィスアワー		授業日の授業前後に非常勤講師室にて対応します。
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 弁護士としての実務経験を活かした講義を行う。 【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP(3)に該当。

科目コード	12120
授業科目名	人間論
配当年次	1学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	選択
単位	1単位
時間数	15時間
授業形態	講義
担当教員	金海 博之
実務家教員	
授業科目の概要	人間の普遍的本質である「人間性」を理解し、人としての存在意義やその理想、生きる目的を考察することを通して、豊かな人間性を培うために何をすべきであるのかについて学習する。時代や民族の違いに関わらず人間が普遍的に有している本質である「人間性」とは何なのかということを思考することを通して、人として存在する意義について学習する　社会の構成員である私たち一人ひとりが人間としての自覚に立って、豊かな人間性を養っていくためにどうすれば良いのか。人としての理想や生きる目的について学習する。
授業の到達目標	1.本学の建学の精神と理念、設立理念に基づいた4つの教育目標、大学が求める学生像を理解できる。 2.儒教の三綱五常の精神を基本とする人間性について学び、人間性を高揚させることの重要性について理解できる。 3.共存共栄の精神である共済主義精神について学び、医療専門職として利他の精神を活かして行く大切さを理解できる。 4.古き良き日本人の精神性、人間性の高さについて理解できる。 5.人間性、共済主義精神に基づいた組織の在り方、組織を運営する心得について理解できる。
特に関連する科目	なし
授業の具体的な進め方	授業形態は講義形式。レジュメを配布し読み上げ、理念や考え方を学習し習得する。パワーポイントに論点をまとめ、スライドや動画で参考資料や補足をし、医療福祉の現場のみならず、大学生活、家庭、今後の生き方などに多面的に活かせるよう、機会を提供する。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	6/4	土	1	金海博之	講義室4	建学の精神や理念に基づいて、人間性の高揚と共存共栄の精神について
2	6/4	土	2	金海博之	講義室4	共済主義精神の実践、国際文化交流について
3	6/4	土	3	金海博之	講義室4	儒教の三綱五常の精神を基本とする人間性について
4	6/4	土	4	金海博之	講義室4	古き良き日本人の精神性、人間性の高さについて
5	7/2	土	1	金海博之	講義室4	共済主義精神や人間性に基づく組織の在り方、運営する心得について
6	7/2	土	2	金海博之	講義室4	社会人としての報告、連絡、相談など組織内での動き方について
7	7/2	土	3	金海博之	講義室4	豊かな人間性を育むために、人間性を高揚させることについて
8	7/2	土	4	金海博之	講義室4	まとめ

成績評価方法・基準		レポート　100% ＊レポートについては、コメントし返却する。
授業外における学習（予習・復習）		講義後に配布資料、課題図書や参考文献を用いて復習し補完すること。 概ね60分以上必要である。
教科書 ・参考文献等	教科書	特に使用しない。必要に応じてプリントを配布する。
	参考書	
	その他	
連絡先・オフィスアワー		質問等は授業前後に対応する。 メールでの問い合わせは、教務課（kyomuns-info@jhsu.ac.jp）に送ってください。後日回答いたします。
その他		

科目コード	12121
授業科目名	日本の思想
配当年次	1学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	選択
単位	1単位
時間数	15時間
授業形態	講義
担当教員	早﨑 知幸
実務家教員	
授業科目の概要	先人の優れた思想や日本人の思想の形成過程を理解することを通して、ものの見方や考え方を身につけ、学習者自身が日本と日本人を発見するとともに、人生観や世界観を確立することができるよう学習する。 日本人の思想は仏教や儒教を基盤として形成されているが、近年はこの基盤に各種の思想が加わってきた。そのような重層的な日本人の思想のあり方を浮き彫りにした文明論的な見地について学習する。 現在の日本人の心が形成されてきた過程を学習する。特に、医療従事者として知っておきたい日本における医の思想や死生観について重点的に学習する。
授業の到達目標	1. 日本人の思想がどのように形成されてきたか、その来歴と特徴を理解できる。 2. 先人たちの優れた見方や考え方を学び、学習者自身が自らの生き方に活かすことができる。 3. 日本における医の思想や死生観について理解できる。
特に関連する科目	人間論　生命倫理　国際文化論　看護倫理　緩和ケア論
授業の具体的な進め方	医療人のバックグラウンドとして身につけておいた方がよいと考えられる人間性や医の思想について多く取り入れながら、単なる歴史にとどまらず、医療人としての世界観の確立の一助となるよう、積極的にこちらから問いを発することで、自分の考えを確認しながら授業を進める機会を提供する。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	12/3	土	1	早﨑知幸	217	日本の思想史―概略―
2	12/3	土	2	早﨑知幸	217	日本における医の思想1
3	12/3	土	3	早﨑知幸	217	日本における医の思想2
4	12/3	土	4	早﨑知幸	217	日本人に影響を与えた人物1
5	12/10	土	1	早﨑知幸	217	日本人に影響を与えた人物2
6	12/10	土	2	早﨑知幸	217	死生観にみる日本人の心1
7	12/10	土	3	早﨑知幸	217	死生観にみる日本人の心2
8	12/10	土	4	早﨑知幸	217	まとめ

成績評価方法・基準		課題レポート　100% レポートはコメントし返却する。
授業外における学習（予習・復習）		授業計画にあるテーマについて辞書等で予習し、講義後は、講義で配布される資料を用いて復習をおこなうこと。予習・復習には講義ごとに概ね60分以上必要である。
教科書・参考文献等	教科書	必要に応じてプリントを配布する。
	参考書	講義内のなかで適宜紹介する。
	その他	特になし。
連絡先・オフィスアワー		質問等は授業前後に対応する。
その他		【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP(1)に該当。

科目コード	12122
授業科目名	国際文化論
配当年次	2学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	選択
単位	1単位
時間数	15時間
授業形態	講義
担当教員	臼杵 百合子
実務家教員	
授業科目の概要	グローバル化の進展に伴い、人や情報の移動が加速化・活性化し、また、距離や時間の概念が変容することにより、文化はこれまでになく重要なテーマとなっている。このような状況において、本講義では、国際関係におけるアクターの考察とともに、相互に影響し合う文化のダイナミズムを理解し、文化の視点から国際関係論について学習する。これらの学習を通して、自己と社会、世界との関係を分析する論理的思考能力を習得するよう講義を実施する。また、講義の中ではグループによるディスカッションやグループ発表の機会を設ける予定としている。
授業の到達目標	到達目標は、 ①多様化する価値観と氾濫する情報の社会にあって、真の時代の要請や社会のニーズをみずから読み解く力を獲得すること。 ②医療人として要請される異文化理解の能力を、構築すること。 ③文化的気づきによる異文化対応能力を修得すること。
特に関連する科目	特になし
授業の具体的な進め方	講義方式で進める。内容理解のため毎回レジュメを配布する。 またグループによるディスカッションなどを取り入れ、グループ発表も予定している。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	11/21	月	4	臼杵百合子	306	国際関係とは、文化とは （1）
2	11/28	月	4	臼杵百合子	306	国際関係とは、文化とは （2）
3	12/5	月	4	臼杵百合子	306	日本とアジアの文化的関係
4	12/12	月	4	臼杵百合子	306	日本と世界の文化的関係
5	12/19	月	4	臼杵百合子	306	異文化理解 （1）
6	1/16	月	4	臼杵百合子	306	異文化理解 （2）
7	1/23	月	4	臼杵百合子	306	まとめ、グループワーク
8	1/23	月	5	臼杵百合子	306	まとめ（レポート）

成績評価方法・基準		定期試験　80%　レポート20%
授業外における学習（予習・復習）		とくに予習は必要としない。 復習については、論理的・抽象的な思考の展開に慣れていない人は、その都度の論理展開・キーワード等を辞書やインターネットを活用して復習しておいてください。
教科書・参考文献等	教科書	教科書は使用しない。授業中に資料を配布する。
	参考書	適宜紹介する
	その他	
連絡先・オフィスアワー		授業日の授業前後に非常勤講師室で対応します。
その他		【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP（1）に該当。

科目コード	12123
授業科目名	情報リテラシー
配当年次	1学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	2単位
時間数	30時間
授業形態	演習
担当教員	金海 哲也
実務家教員	制御装置の開発・設計、SE(システムエンジニア)、第三種電気主任技術者、基本情報技術者 : 金海 哲也
授業科目の概要	情報技術(IT)をコミュニケーション、情報獲得、データ表現、情報公開のための道具と位置づけ、医療やリハビリテーションを学ぶ学生、または、情報社会を生きる一人の人間としてそれらを活用するための知識や手法について学習する。 本講義は、パーソナル・コンピュータ(PC)を利用した演習を中心とする。そして、その操作の知識や技能を習得するとともに、情報の収集と加工、伝達、蓄積ができることを目指し、学習、研究活動等の知的活動や将来社会で必要とされる「情報リテラシー」(“情報の取扱い”に関する広範囲な知識と能力)を習得する。 演習方式で講義を行うため、1クラス40名単位の構成とする。
授業の到達目標	コンピュータなどの情報機器の仕組みや情報通信技術について基礎的な概念を理解するとともに、演習を通じてパソコンやネットワークを実際に使いこなして、情報の収集と加工、伝達、蓄積ができるようになることを目指し、学習・研究活動などの知的活動や、将来社会で必要とされる「情報リテラシー」(“情報の取扱い”に関する広範囲な知識と能力)を身につける。
特に関連する科目	この授業で学習することは、他の授業や実習に関連し、レポート作成、プレゼンテーションソフトを使っての発表、情報収集及び検索、研究等で必要となる。
授業の具体的な進め方	講義室での授業と、情報処理実習室でのパソコンを使用した演習とする。ただし、本学の方針により、遠隔授業に切り替えることもある。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/11	月	3	金海哲也	217	ガイダンス、コンピュータシステム、情報の表現(1)[ビット、r進数]
2	4/18	月	3	金海哲也	502	ワープロソフト(Word)の演習(1)[ホームタブ、挿入タブ]
3	4/25	月	3	金海哲也	502	ワープロソフト(Word)の演習(2)[ページレイアウトタブ、表示タブ]
4	5/9	月	3	金海哲也	502	プレゼンテーションソフト(PowerPoint)の演習、情報検索、情報倫理
5	5/16	月	3	金海哲也	217	情報の表現(2)[基数変換]
6	5/23	月	3	金海哲也	217	情報の表現(3)[補数、文字コード]
7	5/30	月	3	金海哲也	217	論理回路とCPU
8	6/6	月	3	金海哲也	217	まとめ
9	6/13	月	3	金海哲也	502	表計算ソフト(Excel)の演習(1)[罫線、数値と文字列]
10	6/20	月	3	金海哲也	502	表計算ソフト(Excel)の演習(2)[相対参照、絶対参照、複合参照、並べ替え、条件付き書式]
11	6/27	月	3	金海哲也	502	表計算ソフト(Excel)の演習(3)[データの入力規則、グラフ]
12	7/4	月	3	金海哲也	502	表計算ソフト(Excel)の演習(4)[数式、関数(論理)]
13	7/11	月	3	金海哲也	502	表計算ソフト(Excel)の演習(5)[関数(検索/行列、数学/三角、統計)]
14	7/18	月	3	金海哲也	217	記憶装置と周辺機器、プログラムとアルゴリズム、OSとアプリケーション
15	7/25	月	3	金海哲也	217	ネットワークとセキュリティ

成績評価方法・基準		定期試験90%(1回目:40%、2回目:50%)、課題提出10% (定期試験が2回とも実施できない場合は、提出課題で評価する。)
授業外における学習(予習・復習)		授業の内容は実際に行ってみないと身に付かない点が多いので、演習や課題に意欲的に取り組むこと。授業中にできなかったことは、必ず、復習すること。また、わからないことはそのままにしないで、積極的に質問すること。
教科書・参考文献等	教科書	安井浩之・木村・辻　共著 『基本を学ぶ コンピュータ概論(改訂2版)』 (オーム社、2019年) ISBN:9784274224683
	参考書	
	その他	
連絡先・オフィスアワー		事務室:2階(幸手北キャンパス)　　t-kanami@jhsu.ac.jp オフィスアワー　水曜日 13:00～14:30 (ただし、事前に連絡をもらえれば、他の曜日・時間でも日程調整をする。)
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 制御装置の開発・設計、SE(システムエンジニア)、基本情報技術者、第三種電気主任技術者、第二種電気工事士としての(専門機関における)実務経験を活かした講義(演習)を行う。 【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP(1)③、④に該当。

科目コード	12124
授業科目名	統計学
配当年次	2学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	15時間
授業形態	講義
担当教員	木村 朗
実務家教員	
授業科目の概要	様々な資料やデータを整理し、推定や検定を用いて有用なデータを得ることが統計学の重要な役割である。統計学に関する知識はリハビリテーション領域を含めた他の学問領域でも活用されており、データを扱う学問を修める者には必要性の高い学問となる。本講義では、多くの統計的な手法の中でも、使用頻度の高い基本的な知識と手法について学習する。そして、これらの学習を通して、理学療法士として臨床の現場で必要な判断を導くために必要な統計学的知識の基礎を固めていく。
授業の到達目標	1.統計学的現象の見方について、理想の数値と現実の数値を分けることの意味を理解する。 2.統計の二大目的データの要約と推定について説明できるようになる。 3.確率分布の意味を理解し、点推定と区間推定に基づく、検定の原理を説明できるようになること。 4.理学療法研究における統計の用い方、理解の仕方について説明できるようになる。
特に関連する科目	卒業研究、臨床推論、ほか
授業の具体的な進め方	統計学の基本的な考え方を学習し、データの要約と推定、検定の考え方と演算を通して、基本的な統計処理の過程を学修する。 思考実験を行い、統計学的に現象を考える機会を提供する。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	6/4	土	1	木村朗	306	統計学の必要性の自覚統計学的数の見方データの要約と推測
2	6/4	土	2	木村朗	306	データの代表値　平均と分散データの代表値　標準偏差
3	6/4	土	3	木村朗	306	確率分布の理解、正規分布　Z統計量、点推定と区間推定、t統計量、　t分布とt検定
4	6/4	土	4	木村朗	306	統計学の構成要素の理解　集計、情報化、尤度、相互比較、回帰、計画、残差の概念
5	6/11	土	1	木村朗	306	分散分析、F統計量、回帰分析、χ二乗統計量
6	6/11	土	2	木村朗	306	検定入門　分散の検定、クロス集計、オッズ比、リスク比、χ二乗検定
7	6/11	土	3	木村朗	306	相関分析、回帰分析、生存時間分析、カプランマイヤー曲線
8	6/11	土	4	木村朗	306	ここまでの統計学に関する質疑応答今後の統計学の学習方法指南

成績評価方法・基準		小テスト（課題）40%　期末テスト（課題）60%
授業外における学習（予習・復習）		動画教材視聴による復習15時間程度
教科書・参考文献等	教科書	東京大学教養学部統計学教室（編集）『統計学入門(基礎統計学)』（東京大学出版、1991年） ISBN:9784130420655
	参考書	
	その他	動画コンテンツ
連絡先・オフィスアワー		a-kimura@paz.ac.jp
その他		【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP(1)に該当。

科目コード	12125
授業科目名	生物学
配当年次	1学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	選択
単位	1単位
時間数	15時間
授業形態	講義
担当教員	今西 健一
実務家教員	
授業科目の概要	人間の生命現象を理解するとともに、生命の起源と連続性、また、生物学的思考を身につける。そのために、高等学校「生物」から大学教養課程における現代生物学の基礎について動物を中心に学習する。具体的には、細胞の構造と機能といったミクロから、からだの成り立ちとして組織・器官といったマクロまで、発生、遺伝、進化過程を学習し、生命現象とともに、その存在と意義等を考察する。 今後の専門基礎科目や専門科目の土台となる科目でもあるので、しっかり復習を行うことが必要である。
授業の到達目標	1. 生物に共通する細胞、組織、器官を理解する。 2. 物質代謝とエネルギー代謝、身体の恒常性の維持を理解する。 3. 生殖、発生、遺伝について理解する。 4. ヒトの体を中心に、ヒトの特性を理解する。
特に関連する科目	解剖学　生理学　感染と免疫論
授業の具体的な進め方	教科書に即して、スライドを使用して講義を行う。参考資料の内、可能なものはオンラインで見れます。各講義後に内容に関する課題をオンラインにアップし、提出されたものを評価します。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/22	金	3	今西健一	217	生物学とはどのような学問か、生命とはなにか、生物とはどのようなものか、細胞とはどのようなものか
2	4/29	金	3	今西健一	217	体をつくる分子にはどのようなものがあるか
3	5/13	金	3	今西健一	217	体の中で物質はどのように変化するか
4	5/27	金	3	今西健一	217	遺伝子と遺伝はどのように関係しているか
5	6/3	金	3	今西健一	217	ヒトの体はどのようにできているか
6	6/10	金	2	今西健一	217	エネルギーはどのように獲得されるか
7	6/17	金	2	今西健一	217	ヒトはどのように運動するか
8	6/24	金	2	今西健一	217	体の恒常性はどのように維持されるか

成績評価方法・基準		毎回の課題提出（40%）、定期試験（60%）
授業外における学習（予習・復習）		授業計画に即して次回の授業内容について教科書で予習すること。復習後は課題を提出すること。予習・復習には講義ごとに60分以上必要である。講義の進行によってはオンラインで追加の講義することがあります。
教科書 ・参考文献等	教科書	八杉貞雄　著『ヒトを理解するための 生物学（改訂版）』（裳華房、2021年） ISBN: 9784785352424
	参考書	齊藤省吾　編集『≪新体系看護学全書 基礎科目≫生物学』（メヂカルフレンド社、2007年） ISBN:9784839231224
	その他	特になし
連絡先・オフィスアワー		連絡先：北キャンパス　研究室3 （1階）　　k-imanishi@jhsu.ac.jp オフィスアワー　オンラインのため、特に設定しない （classroomで対応 で対応）
その他		【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP(1)①に該当。

科目コード	12126
授業科目名	化学
配当年次	1学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	選択
単位	1単位
時間数	15時間
授業形態	講義
担当教員	若月 聡
実務家教員	
授業科目の概要	様々な自然科学をはじめ、理学療法の内容を学ぶためには、大学教養課程における化学の基本的な知識や技能が必要になる。そこで、本講義では、原子やイオンの性質、物質量を用いた溶液濃度の表わし方、有機化学の定義等を中心として、自然科学を理解する礎としての基礎化学について学習する。 各学生は、今後学習する専門基礎科目や専門科目の重要な基礎部分であるということを理解して、受講しなければならない。
授業の到達目標	・物質の成り立ちを理解しする ・物質量の表現を使えるようになる ・有機化学の基礎的概念を習得する ・2年次以降の専門科目を受講する上での知識を身につける。
特に関連する科目	生化学　生理学　医学概論　臨床検査学
授業の具体的な進め方	主に遠隔授業により行う。下欄に記す指定の教科書を使用する。教科書以外の副教材を、遠隔授業システムから提示する。それ等を活かし、演習課題に取り組む。対象となる演習課題は、遠隔授業システムから各回に対応して適宜提示する。各自演習を実施し、それぞれ定められた期間内に、遠隔授業システムに提出する。「演習課題の提出」を「授業の出席」として記録する。このような形で調べ学習・問題演習等を行うことで、自ら学ぶ姿勢の涵養を図り、より確実な知識を定着させていく。全回の終了時に、各回・演習課題の解説等を提示する。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	9/30	金	2	若月聡	遠隔	身のまわりの化学　身近な物質
2	10/7	金	2	若月聡	遠隔	元素と原子　物質量と化学の単位
3	10/14	金	2	若月聡	遠隔	物質の三態・状態変化と気体
4	10/21	金	2	若月聡	遠隔	液体、溶液と濃度
5	10/28	金	2	若月聡	遠隔	化学反応　化学平衡
6	11/4	金	2	若月聡	遠隔	原子　分子　イオン　化学結合
7	11/11	金	2	若月聡	遠隔	有機化合物　高分子化合物
8	11/18	金	2	若月聡	遠隔	まとめ　化学と医学・医療

成績評価方法・基準		各回において提出された演習課題を対象に、評価する。各回・内容の質的適切性・量的充実度に基づく。（合計100%）
授業外における学習（予習・復習）		高等学校課程までにおいて、「化学」科目すべて（高等学校：化学基礎　化学　等）の履修経験がある者は、基本的にはその振り返りとして考えて良い。「有機化合物　高分子化合物」単元は、高等学校「化学基礎」までの内容には含まれないので、新たな学びとなり、高等学校「化学」教科書等も活かし、学ぶと良い。高等学校課程において「化学」科目の履修経験がない者は、高等学校「化学」科目・教科書を活かした学びを併行すると良い。
教科書 ・参考文献等	教科書	奈良雅之 著 『基礎分野　化学　第7版(系統看護学講座)』（医学書院、2018年） ISBN:9784260031813
	参考書	川端潤 著 『ビギナーズ有機化学 第2版』（化学同人、2013年） ISBN:9784759815399
	その他	主教材である教科書類を保管する資料類を、遠隔授業システムから適宜配布する。
連絡先・オフィスアワー		遠隔授業システム上に掲示する。
その他		【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP（1）に該当。

科目コード	12127
授業科目名	物理学
配当年次	1学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	選択
単位	1単位
時間数	15時間
授業形態	講義
担当教員	山本 亨輔
実務家教員	
授業科目の概要	本講義では、主として力と運動、波動、電磁気、熱、光等に関して、高等学校「物理」から大学教養課程における自然科学の基礎としての物理学について学習する。物理学の本質、面白さを知り、自然現象の理解という根本的な目標に沿いながらも、リハビリテーション領域に携わる者として必要な物理学の基礎的知識を身につけるとともに、様々な現象に対して鍵となる物理学的発想ができるよう講義を行う。
授業の到達目標	医療の現場には物理が応用されたものが多くある。また、医療における日常的な操作等も、物理的に考えるとその意味がわかりやすいものもある。さらに、人間の体自体、物理と深く関係がある。このように物理学は医学の基本として重要であり、医療・医学を学ぶための基礎として、本科目を実施する。 そのため、物理の基礎を学ぶとともに、それ等の事項が医療・医学の諸内容にどう結び付いているかを考える。
特に関連する科目	生理学検査　放射線医学　解剖学　ボディメカニクス
授業の具体的な進め方	遠隔授業を実施する。毎回の授業においては主に講義を実施し、合わせて毎回を基本に、降り返り、まとめ、発展等として演習課題を課す。 基本的な形としては、演習課題成果は当該時に提出し、次回以降に確認・解説等の形でフィードバックしていく。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	6/9	木	3	山本亨輔	217	【医療・医学と物理】 医療・医学と物理についてのつながりを学ぶ。様々な具体例を示す中で、物理が医療・医学に深く関わっていることを考え、理解する。
2	6/16	木	3	山本亨輔	217	【力学1】 「変位」「速度」「加速度」等、力学における基本的な量と「運動」について学ぶ。理解を深め、知識を定着させるための計算演習等を含む。
3	6/23	木	3	山本亨輔	217	【力学2】 「ベクトル」「微分・積分」等、力学における諸現象を表す手段について学ぶ。「力」と「加速度運動」の関係から、「運動の法則」、また「万有引力」「重力加速度」について学ぶ。理解を深め、知識を定着させるための計算演習等を含む。
4	6/30	木	3	山本亨輔	217	【仕事とエネルギー】 「仕事」「エネルギー」またこれ等の関係について学ぶ。「仕事」や「エネルギー」の表し方について学ぶ。「エネルギー」について様々な具体例を示す中で、エネルギーが私達の生活や生物体内活動に深く関わっていること、またこれ等のエネルギーは変化し全体が保存されていることを考え理解する。
5	7/7	木	3	山本亨輔	217	【熱　流体】 「熱」について学ぶ。生物の恒常性、生物体内における代謝と結び付ける中で、「熱」が生物にとって重要なエネルギーの一つであることを考え理解する。「流体」について学ぶ。生物体内には「液体」「気体」の様々な流体が存在していることを知る。これ等に関わる生物体内における現象の様々な具体例を示す中で、生物の働きはこれ等が関わって成り立っていることを、考え理解する。
6	7/14	木	3	山本亨輔	217	【波　光　音】 生物の感覚にとって共に重要な物理現象である「光」「音」について学ぶ。またこれ等が「波」であることを知り、「波」の諸事項について学ぶ。（波は振動であり、第1回・第2回でのの力学に結び付く。）
7	7/21	木	3	山本亨輔	217	【電気　磁気　放射線】 「電気」「磁気」「放射線」について学ぶ。これ等に関わる様々な具体例を示す中で、診断、治療といった医学・医療の様々な分野で、「電気」「磁気」「放射線」に関わる諸技術が活かされていることを考え理解する。第1回「医療・医学と物理」に結び付く。
8	7/28	木	3	山本亨輔	217	【　まとめ　】 全体を振り返り、学習内容の要点を再確認する。

成績評価方法・基準		各回のクイズ合計点60%、まとめレポート40%
授業外における学習（予習・復習）		授業計画で次回の内容を把握し、教科書の該当箇所を一読しておくこと。 受講した後は、授業中に行った演習問題の解き直しをし、次回までに理解を深めておくこと。
教科書 ・参考文献等	教科書	
	参考書	講義内にて、適宜紹介する。
	その他	主教材である教科書類を保管する印刷物類を、適宜配布する。
連絡先・オフィスアワー		質疑等に関して、授業前後にて対応する。
その他		【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP(1)に該当。

科目コード	12128
授業科目名	数学基礎
配当年次	1学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	選択
単位	1単位
時間数	15時間
授業形態	講義
担当教員	目黒 力
実務家教員	
授業科目の概要	様々な自然科学やリハビリテーションおよび理学療法を学ぶためには、大学教養課程における自然科学の基礎としての数学の基本的な知識や技能が必要になる。そこで、本講義では、解析学、線形代数学の基礎を中心として、自然科学を理解する礎としての数理リテラシーについて学習する。 各学生は、今後学習する専門基礎科目や専門科目の重要な基礎部分であるということを理解して、受講しなければならない。
授業の到達目標	・数学の基礎を理解する ・三角関数の問題演習を通し、人間工学等の習得に必要な知識を身に付ける ・様々な関数の基礎を学ぶ
特に関連する科目	物理学　人間工学基礎　運動学Ⅰ　運動学Ⅱ　生体計測学
授業の具体的な進め方	教科書の内容に沿って講義をし、問題演習を行うことで、知識を定着させていく。 すべての理数工系科目に必要となる数学の基礎であり、1回目の講義内容が2回目へ、2回目が3回目へとつながっていく。各自前回の復習をしっかりした上で、講義に臨むことが必要である。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	7/1	金	3	目黒力	217	数学基礎導入
2	7/1	金	4	目黒力	217	数と式（1）
3	7/8	金	3	目黒力	217	数と式（2）
4	7/8	金	4	目黒力	217	2次関数
5	7/15	金	3	目黒力	217	2次関数
6	7/15	金	4	目黒力	217	三角比
7	7/22	金	3	目黒力	217	集合と論理、データ分析
8	7/22	金	4	目黒力	217	まとめ

成績評価方法・基準		課題100%
授業外における学習（予習・復習）		授業計画で次回の内容を把握し、教科書の該当箇所を一読しておくこと。 受講した後は、授業中に行った演習問題の解き直しをし、次回までに理解を深めておくこと。
教科書 ・参考文献等	教科書	実教出版編修部編 『スタートノート数学I 改訂版』（実教出版、2017年） ISBN:9784407339697
	参考書	講義の中で適宜紹介する
	その他	
連絡先・オフィスアワー		授業日に非常勤講師室にて（時間については初回授業にて周知する） 質問等は授業の前後に直接担当教員に。または教務課にお知らせください。
その他		【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP（1）に該当。

科目コード	12129
授業科目名	人間工学基礎
配当年次	1学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	2単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	廣瀬 秀行
実務家教員	理学療法士：廣瀬 秀行
授業科目の概要	ヒトが「曖昧なものであること」を受け入れ、生活の中の身近な問題を扱う人間工学という学問について概観し、さらに数値の有効数字、マルメ、身体運動分析、そして一対比較法等の「官能評価法」、生体信号分析法等の「多角的評価法」といった理学療法と関連する研究手法の基礎について学習する。
授業の到達目標	・人間の一般的反応の理解 ・人間工学に基づいた環境や製品の理解 ・計測数値の処理の理解 ・人間工学で使用されている数値化の理解
特に関連する科目	・数学基礎および統計学 ・日常生活活動学 ・生活環境学 ・生活支援理学療法演習
授業の具体的な進め方	・Classroom、meetによるリアルタイム配信およびformsによるまとめ試験 ・講義計画にのっとり、基本的に板書・その解説による講義を中心とします。 ・それを補う目的で宿題、レポート、そして簡単な実験などを実施します。 ・基本的に、板書の内容について講義内で理解してください。また、それに基づいて試験を実施します。 ・講義によって、数学の確認やデータ処理などを宿題として出し、講義時に解答をしてもらいます。 ・数学は比などからサイン・コサイン・√などまでの算数数学は確認してください。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	9/27	火	3	廣瀬秀行	217	人間工学とは何か、どう役立つのか
2	9/27	火	4	廣瀬秀行	217	感覚系
3	10/4	火	3	廣瀬秀行	217	身体運動分析-悪い姿勢が体を壊す
4	10/4	火	4	廣瀬秀行	217	データの処理ーモノづくりは人の寸法を知るところから始まる
5	10/11	火	3	廣瀬秀行	217	てすり
6	10/11	火	4	廣瀬秀行	217	誤り反応分析
7	10/18	火	3	廣瀬秀行	217	主観的反応-官能検査
8	10/18	火	4	廣瀬秀行	217	前期まとめ
9	10/25	火	3	廣瀬秀行	217	わかりやすさをデザインする
10	10/25	火	4	廣瀬秀行	217	身体運動分析-反応時間の測定と分析
11	11/1	火	3	廣瀬秀行	217	人はエラーを犯す動物である
12	11/1	火	4	廣瀬秀行	217	計測した数値の処理
13	11/8	火	3	廣瀬秀行	217	認知過程
14	11/8	火	4	廣瀬秀行	217	ストレスは悪者ではない
15	11/15	火	3	廣瀬秀行	217	回転運動の基礎

成績評価方法・基準		＊レポート提出　：20%　Reaction Paper：30%　前後半試験合計　：50% ＊試験は対面形式で実施する。 ＊RPは150字以上で1点とする。
授業外における学習（予習・復習）		・レポート作成 ・課題を渡します。 ・新規な分野なので、復習を必ず行うこと。
教科書 ・参考文献等	教科書	特になし
	参考書	岡田明,後藤義明,他編著 『初めて学ぶ人間工学』（理工図書、2016年） ISBN:9784844608417 適宜、資料を渡します。
	その他	
連絡先・オフィスアワー		講義後直接　または Email:　h-hirose@jhsu.ac.jp
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 理学療法士としての（専門機関における）実務経験を活かした実習を行う。 【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP（1）に該当。

科目コード	12201
授業科目名	解剖学Ⅰ（運動器系）Aグループ
配当年次	1学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	2単位
時間数	45時間
授業形態	講義
担当教員	野上 晴雄
実務家教員	
授業科目の概要	人体の構造を学ぶ解剖学について、解剖学の歴史、肉眼解剖学の概要、発生学や組織学の概要、解剖学用語等について学習する。さらに系統解剖学に沿って、身体の動きに関わる臓器である運動器系の解剖、すなわち骨格系、靭帯、筋系と筋に関連する末梢神経についてその構造と機能を学習する。 理学療法士として非常に重要な領域となるため、一つの骨を見れば、骨の部位や名称、その骨に関わる二つの関節とその構造や働き、そして、その関節を動かす筋の名称、起始・付着やその支配神経について正確に理解している状態を到達目標とする。
授業の到達目標	1. 身体の各部位の名称、身体の運動などに関する解剖学的用語を習得すること 2. 人体の骨格を構成する骨の名称と存在部位を説明できる 3. 主要な関節について構成を説明できる 4. 骨とそれに付着する筋を挙げ、主要な関節の運動を説明できる
特に関連する科目	解剖学II、解剖学Ⅲ、解剖学実習、生理学I（生体の恒常性）、生理学Ⅱ（神経生理学）、生理学Ⅲ（消化・吸収・排泄）、生理学実習、運動学Ⅰ、運動学Ⅱ、運動学実習 基礎理学療法学、各理学療法評価学・治療学
授業の具体的な進め方	教科書と事前に配布する資料をもとに主にパワーポイントにより講義する。2-3回程度小テストを行い学生の到達度を見る

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/11	月	1	野上晴雄	217	解剖学総論　人体の構成
2	4/11	月	2	野上晴雄	217	骨学総論、骨格の構成
3	4/18	月	1	野上晴雄	217	関節の基本構造、関節の種類と分類
4	4/18	月	2	野上晴雄	217	筋学総論
5	5/25	月	2	野上晴雄	217	脊柱、椎骨の基本構造、頸椎、胸椎
6	5/9	月	1	野上晴雄	217	腰椎、仙椎、胸郭
7	5/9	月	2	野上晴雄	217	腰椎、仙椎、胸郭
8	5/16	月	2	野上晴雄	217	肩関節の運動と筋、末梢神経総論、上肢帯筋の神経支配
9	5/23	月	1	野上晴雄	217	前腕の骨、肘関節、上腕の筋
10	5/23	月	2	野上晴雄	217	手の骨、手根関節、手根の運動
11	5/30	月	1	野上晴雄	217	前腕の筋
12	5/30	月	2	野上晴雄	217	手の筋、神経支配
13	6/6	月	2	野上晴雄	217	骨盤、大腿骨、股関節
14	6/13	月	1	野上晴雄	217	股関節の運動と筋1　内寛骨筋、外寛骨筋、内転筋群
15	6/13	月	2	野上晴雄	217	股関節の運動と筋2　外寛骨筋、内転筋群
16	6/20	月	2	野上晴雄	217	脛骨と腓骨、膝関節、大腿前面の筋
17	6/27	月	1	野上晴雄	217	大腿後面の筋、足の骨と距腿関節
18	6/27	月	2	野上晴雄	217	下腿後面の筋
19	7/4	月	1	野上晴雄	217	下腿前面の筋、足底の筋群
20	7/4	月	2	野上晴雄	217	胸腹部の筋、横隔膜
21	7/12	火	1	野上晴雄	217	背部の筋
22	7/18	月	1	野上晴雄	217	頭蓋骨
23	7/18	月	2	野上晴雄	217	顎関節の運動と咀嚼筋 、項部の筋、頸部の筋

成績評価方法・基準		定期試験60% 、 課題・授業内小テスト40%
授業外における学習（予習・復習）		予定表の順に講義を進めるので、事前に教科書を予習してくること。課題を必ず提出すること。
教科書 ・参考文献等	教科書	野村 嶬編集『標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学 第5版』（医学書院、2020年） ISBN:9784260039222
	参考書	ネッターFH著、相磯貞和訳『ネッター解剖学　フルセット版【電子書籍付】（原書第7版）～アトラス・別冊学習の手引き・Bonus Plates～』（南江堂、2022年） ISBN:9784524230099
	その他	
連絡先・オフィスアワー		質問には419室で対応する。また、メールでも随時対応する。 メールアドレス　h-nogami@jhsu.ac.jp
その他		

科目コード	12201
授業科目名	解剖学Ⅰ（運動器系）Bグループ
配当年次	1学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	2単位
時間数	45時間
授業形態	講義
担当教員	野上 晴雄
実務家教員	
授業科目の概要	人体の構造を学ぶ解剖学について、解剖学の歴史、肉眼解剖学の概要、発生学や組織学の概要、解剖学用語等について学習する。さらに系統解剖学に沿って、身体の動きに関わる臓器である運動器系の解剖、すなわち骨格系、靭帯、筋系と筋に関連する末梢神経についてその構造と機能を学習する。 理学療法士として非常に重要な領域となるため、一つの骨を見れば、骨の部位や名称、その骨に関わる二つの関節とその構造や働き、そして、その関節を動かす筋の名称、起始・付着やその支配神経について正確に理解している状態を到達目標とする。
授業の到達目標	1. 身体の各部位の名称、身体の運動などに関する解剖学的用語を習得すること 2. 人体の骨格を構成する骨の名称と存在部位を説明できる 3. 主要な関節について構成を説明できる 4. 骨とそれに付着する筋を挙げ、主要な関節の運動を説明できる
特に関連する科目	解剖学II、解剖学Ⅲ、解剖学実習、生理学I（生体の恒常性）、生理学Ⅱ（神経生理学）、生理学Ⅲ（消化・吸収・排泄）、生理学実習、運動学Ⅰ、運動学Ⅱ、運動学実習 基礎理学療法学、各理学療法評価学・治療学
授業の具体的な進め方	教科書と事前に配布する資料をもとに主にパワーポイントにより講義する。2-3回程度小テストを行い学生の到達度を見る

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/11	月	1	野上晴雄	217	解剖学総論　人体の構成
2	4/11	月	2	野上晴雄	217	骨学総論、骨格の構成
3	4/18	月	1	野上晴雄	217	関節の基本構造、関節の種類と分類
4	4/18	月	2	野上晴雄	217	筋学総論
5	5/25	月	2	野上晴雄	217	脊柱、椎骨の基本構造、頸椎、胸椎
6	5/9	月	1	野上晴雄	217	腰椎、仙椎、胸郭
7	5/9	月	2	野上晴雄	217	腰椎、仙椎、胸郭
8	5/16	月	2	野上晴雄	217	肩関節の運動と筋、末梢神経総論、上肢帯筋の神経支配
9	5/23	月	1	野上晴雄	217	前腕の骨、肘関節、上腕の筋
10	5/23	月	2	野上晴雄	217	手の骨、手根関節、手根の運動
11	5/30	月	1	野上晴雄	217	前腕の筋
12	5/30	月	2	野上晴雄	217	手の筋、神経支配
13	6/6	月	2	野上晴雄	217	骨盤、大腿骨、股関節
14	6/13	月	1	野上晴雄	217	股関節の運動と筋1　内寛骨筋、外寛骨筋、内転筋群
15	6/13	月	2	野上晴雄	217	股関節の運動と筋2　外寛骨筋、内転筋群
16	6/20	月	2	野上晴雄	217	脛骨と腓骨、膝関節、大腿前面の筋
17	6/27	月	1	野上晴雄	217	大腿後面の筋、足の骨と距腿関節
18	6/27	月	2	野上晴雄	217	下腿後面の筋
19	7/4	月	1	野上晴雄	217	下腿前面の筋、足底の筋群
20	7/4	月	2	野上晴雄	217	胸腹部の筋、横隔膜
21	7/12	火	1	野上晴雄	217	背部の筋
22	7/18	月	1	野上晴雄	217	頭蓋骨
23	7/18	月	2	野上晴雄	217	顎関節の運動と咀嚼筋 、項部の筋、頸部の筋

成績評価方法・基準		定期試験60% 、 課題・授業内小テスト40%
授業外における学習（予習・復習）		予定表の順に講義を進めるので、事前に教科書を予習してくること。課題を必ず提出すること。
教科書 ・参考文献等	教科書	野村 嶬編集『標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学 第5版』（医学書院、2020年） ISBN:9784260039222
	参考書	ネッターFH著、相磯貞和訳『ネッター解剖学　フルセット版【電子書籍付】（原書第7版）～アトラス・別冊学習の手引き・Bonus Plates～』（南江堂、2022年） ISBN:9784524230099
	その他	
連絡先・オフィスアワー		質問には419室で対応する。また、メールでも随時対応する。 メールアドレス　h-nogami@jhsu.ac.jp
その他		

科目コード	12202
授業科目名	解剖学Ⅱ（脈管系、神経系）Aグループ
配当年次	1学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	野上 晴雄
実務家教員	
授業科目の概要	系統解剖学に従って、脈管系と神経系について学習する。脈管系では心臓から始まる全身の血管および脾臓とリンパ管を中心に学習する。特に、臓器の役割は全て臓器の細胞と血液の間で行われていることに着目し、体内の血管の走行とともに臓器内の血管の分布を整理して、毛細血管の構造の特徴を理解し、各毛細血管の位置を理解する。臓器の働きを調整するシステムである神経系では、神経系の意義、発生、構成要素、機能分布等の総論、中枢神経（脳、脊髄等）および末梢神経（脳神経、脊髄神経、自律神経等）の構造と機能について、脈絡叢から静脈洞に至る脳脊髄液を含めて学習する。
授業の到達目標	1. 神経系の基本的な構成について説明できる。. 2. 末梢神経系の構成と筋の神経支配を説明できる。 3..中枢神経系の構造と、主要な伝導路の構成を説明できる。
特に関連する科目	解剖学I、解剖学Ⅲ、解剖学実習、生理学I（生体の恒常性）、生理学Ⅱ（神経生理学）、生理学Ⅲ（消化・吸収・排泄）、生理学実習、運動学Ⅰ、運動学Ⅱ、運動学実習 基礎理学療法学、各理学療法評価学・治療学
授業の具体的な進め方	教科書及びその他の参考書から採用した図を基にパワーポイントを用いて講義する。 補助教員ー石井智也

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	9/20	火	3	野上晴雄	217	神経系の構成、神経組織
2	9/26	月	3	野上晴雄	217	脊髄・脊髄神経、頸神経叢の構成と働き
3	10/3	月	3	野上晴雄	217	頸神経の後枝、腕神経叢の構成、腕神経叢の枝
4	10/17	月	3	野上晴雄	217	腕神経叢の枝の分岐と走行、上肢、上肢帯の筋の神経支配
5	10/24	月	3	野上晴雄	217	上肢の皮神経、腕神経叢の麻痺、胸神経、腰神経叢の構成と働き
6	10/31	月	3	野上晴雄	217	仙骨神経叢の構成と働き、下肢の筋の神経支配、下肢の皮神経
7	11/7	月	3	野上晴雄	217	自律神経系の構成、自律神経線維の走行、自律神経節
8	11/14	月	3	野上晴雄	217	脳神経の種類と機能1
9	11/21	月	3	野上晴雄	217	脳神経の種類と機能2
10	11/28	月	3	野上晴雄	217	中枢神経系総論、中枢神経系の構成、脳の発生
11	12/5	月	3	野上晴雄	217	髄膜と脳室、大脳皮質の機能局在
12	12/12	月	3	野上晴雄	217	辺縁系、大脳基底核、間脳
13	12/19	月	3	野上晴雄	217	脳幹の基本構造、中脳、橋
14	1/16	月	3	野上晴雄	217	延髄、小脳の区分と機能局在
15	1/23	月	3	野上晴雄	217	脊髄と伝導路

成績評価方法・基準		定期試験60% 、 課題・授業内小テスト40%
授業外における学習（予習・復習）		予定表の順に講義を進めるので、事前に教科書を予習してくること。課題を必ず提出すること。
教科書・参考文献等	教科書	野村 嶬編集『標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学 第5版』（医学書院、2020年） ISBN:9784260039222
	参考書	ネッターFH著、相磯貞和訳『ネッター解剖学　フルセット版【電子書籍付】（原書第7版）～アトラス・別冊学習の手引き・Bonus Plates～』（南江堂、2022年） ISBN:9784524230099
	その他	
連絡先・オフィスアワー		
その他		

科目コード	12202
授業科目名	解剖学Ⅱ（脈管系、神経系）Bグループ
配当年次	1学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	野上 晴雄
実務家教員	
授業科目の概要	系統解剖学に従って、脈管系と神経系について学習する。脈管系では心臓から始まる全身の血管および脾臓とリンパ管を中心に学習する。特に、臓器の役割は全て臓器の細胞と血液の間で行われていることに着目し、体内の血管の走行とともに臓器内の血管の分布を整理して、毛細血管の構造の特徴を理解し、各毛細血管の位置を理解する。臓器の働きを調整するシステムである神経系では、神経系の意義、発生、構成要素、機能分布等の総論、中枢神経（脳、脊髄等）および末梢神経（脳神経、脊髄神経、自律神経等）の構造と機能について、脈絡叢から静脈洞に至る脳脊髄液を含めて学習する。 本講義は2クラス40名に分けて授業を実施する。
授業の到達目標	1. 循環器系と神経系の基本的な構成について説明できる。 2. 心臓、肺、末梢器官の間の血液循環の経路を説明できる。 3. 末梢神経系の構成要素の解剖学用語を用いて、筋の神経支配を説明できる。 4. 中枢神経系における主要な伝導路の構成を説明できる。
特に関連する科目	解剖学I、解剖学Ⅲ、解剖学実習、生理学I（生体の恒常性）、生理学Ⅱ（神経生理学）、生理学Ⅲ（消化・吸収・排泄）、生理学実習、運動学Ⅰ、運動学Ⅱ、運動学実習 基礎理学療法学、各理学療法評価学・治療学
授業の具体的な進め方	教科書及びその他の参考書から採用した図を基にパワーポイントを用いて講義する。 補助教員ー石井智也

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	9/20	火	3	野上晴雄	217	神経系の構成、神経組織
2	9/26	月	3	野上晴雄	217	脊髄・脊髄神経、頸神経叢の構成と働き
3	10/3	月	3	野上晴雄	217	頸神経の後枝、腕神経叢の構成、腕神経叢の枝
4	10/17	月	3	野上晴雄	217	腕神経叢の枝の分岐と走行、上肢、上肢帯の筋の神経支配
5	10/24	月	3	野上晴雄	217	上肢の皮神経、腕神経叢の麻痺、胸神経、腰神経叢の構成と働き
6	10/31	月	3	野上晴雄	217	仙骨神経叢の構成と働き、下肢の筋の神経支配、下肢の皮神経
7	11/7	月	3	野上晴雄	217	自律神経系の構成、自律神経線維の走行、自律神経節
8	11/14	月	3	野上晴雄	217	脳神経の種類と機能1
9	11/21	月	3	野上晴雄	217	脳神経の種類と機能2
10	11/28	月	3	野上晴雄	217	中枢神経系総論、中枢神経系の構成、脳の発生
11	12/5	月	1	野上晴雄	217	髄膜と脳室、大脳皮質の機能局在
12	12/12	月	3	野上晴雄	217	辺縁系、大脳基底核、間脳
13	12/19	月	1	野上晴雄	217	脳幹の基本構造、中脳、橋
14	1/16	月	3	野上晴雄	217	延髄、小脳の区分と機能局在
15	1/23	月	3	野上晴雄	217	脊髄と伝導路

成績評価方法・基準		定期試験（前半）40%　定期試験（後半）40%、小テスト・課題20%、（すべてFormsを使って行う）
授業外における学習（予習・復習）		予定表の順に講義を進めるので、事前に教科書を予習してくること。
教科書 ・参考文献等	教科書	野村 嶬編集『解剖学　第5版(標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野)』(医学書院、2020年) ISBN:9784260039222
	参考書	ネッターFH著、相磯貞和訳『ネッター解剖学　フルセット版【電子書籍付】(原書第7版)～アトラス・別冊学習の手引き・Bonus Plates～』(南江堂、2022年) ISBN:9784524230099
	その他	
連絡先・オフィスアワー		質問にはメールで随時対応する。 メールアドレス　h-nogami@jhsu.ac.jp
その他		【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP(1)に該当。

科目コード	12203
授業科目名	解剖学Ⅲ（感覚器系、内臓器系）Aグループ
配当年次	1学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	野上 晴雄
実務家教員	
授業科目の概要	系統解剖学に従って、内臓器系と感覚器系に関して、どの臓器がどのような構造を成し、どのような役割を有しているのかについて学習する。すなわち、感覚器系では皮膚と附属感覚器、視覚、聴覚、平衡覚、味覚、嗅覚等の各種感覚器の構造と機能を学習する。内臓器系では心臓を中心とした循環器系、口腔から肛門に至る消化器系、肺を中心とした呼吸器系、男性、女性の各泌尿・生殖器系、下垂体をはじめとする内分泌器系等の内蔵器官に関する正常構造や機能とともに、発生学、組織学についても学習する。 講義の時間内では各種作業が十分に終了しないことが予想されるため、予習及び復習を含めた自己学習を確実に行わなければならない。
授業の到達目標	1. 人体を構成する器官系にどのようなものがあるか、それぞれに含まれる器官の種類、位置関係を説明できる。 2. 心臓と動脈系、静脈系、リンパ系の構成を説明できる。 3. 内臓の働きを理解し、機能発現のために必要な構造を説明できる。
特に関連する科目	解剖学I、解剖学II、解剖学実習、生理学I（生体の恒常性）、生理学Ⅱ（神経生理学）、生理学Ⅲ（消化・吸収・排泄）、生理学実習、運動学Ⅰ、運動学Ⅱ、運動学実習、基礎理学療法学、各理学療法評価学・治療学
授業の具体的な進め方	教科書と事前に配布する資料をもとに主にパワーポイントにより講義する。2-3回程度小テストを行い学生の到達度を見る。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	9/21	水	1	野上晴雄	217	細胞と組織、細胞内小器官
2	9/28	水	1	野上晴雄	217	上皮組織と結合組織,循環器系総論
3	10/5	水	1	野上晴雄	217	心臓の位置、心膜、心臓の構成、血液の流れ、心臓の弁、刺激伝導系
4	10/12	水	1	野上晴雄	217	動脈と静脈の組織、動脈系の構成、大動脈弓の枝、大脳動脈輪
5	10/19	水	1	野上晴雄	217	上肢の動脈、体幹・下肢の動脈
6	10/26	水	1	野上晴雄	217	静脈系の構成、硬膜静脈洞、門脈、奇静脈、皮静脈
7	11/2	水	1	野上晴雄	217	胎児循環、リンパ系の構成、リンパの流れ、リンパ性器官の構造
8	11/9	水	1	野上晴雄	217	消化器系の構成と消化吸収の概要、口腔
9	11/16	水	1	野上晴雄	217	嚥下に関わる構造、消化管の基本構造、食道、胃、小腸
10	11/30	水	1	野上晴雄	217	大腸の構造、肝臓、胆嚢、膵臓
11	12/7	水	1	野上晴雄	217	呼吸器系の構成、鼻腔、喉頭、気管、気管支、肺構造、呼吸のメカニズム
12	12/14	水	1	野上晴雄	217	泌尿器系の構成、腎臓の構造、ネフロン、尿管と膀胱
13	12/21	水	1	野上晴雄	217	内分泌系、生殖器系、胎盤、乳腺、ヒトの発生
14	1/11	水	1	野上晴雄	217	血液細胞、皮膚とその付属器
15	1/18	水	1	野上晴雄	217	視覚器の構造、平衡聴覚器の構造

成績評価方法・基準		定期試験（前半）40%　定期試験（後半）40%　（すべて対面で行う）、課題20%（オンラインで提出する）
授業外における学習（予習・復習）		予定表の順に講義を進めるので、事前に教科書を予習してくること
教科書・参考文献等	教科書	野村 嶷編集『標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学 第5版』（医学書院、2020年） ISBN:9784260039222
	参考書	ネッターFH著、相磯貞和訳『ネッター解剖学　フルセット版【電子書籍付】（原書第7版）～アトラス・別冊学習の手引き・Bonus Plates～』（南江堂、2022年） ISBN:9784524230099
	その他	
連絡先・オフィスアワー		質問には419室で対応する。また、メールでも随時対応する。 メールアドレス　h-nogami@jhsu.ac.jp
その他		【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP（1）に該当。

科目コード	12203
授業科目名	解剖学Ⅲ（感覚器系、内臓器系）Bグループ
配当年次	1学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	野上 晴雄
実務家教員	
授業科目の概要	系統解剖学に従って、内臓器系と感覚器系に関して、どの臓器がどのような構造を成し、どのような役割を有しているのかについて学習する。すなわち、感覚器系では皮膚と附属感覚器、視覚、聴覚、平衡覚、味覚、嗅覚等の各種感覚器の構造と機能を学習する。内臓器系では心臓を中心とした循環器系、口腔から肛門に至る消化器系、肺を中心とした呼吸器系、男性、女性の各泌尿・生殖器系、下垂体をはじめとする内分泌器系等の内蔵器官に関する正常構造や機能とともに、発生学、組織学についても学習する。 講義の時間内では各種作業が十分に終了しないことが予想されるため、予習及び復習を含めた自己学習を確実に行わなければならない。
授業の到達目標	1. 人体を構成する器官系にどのようなものがあるか、それぞれに含まれる器官の種類、位置関係を説明できる。 2. 心臓と動脈系、静脈系、リンパ系の構成を説明できる。 3. 内臓の働きを理解し、機能発現のために必要な構造を説明できる。
特に関連する科目	解剖学I、解剖学II、解剖学実習、生理学I（生体の恒常性）、生理学Ⅱ（神経生理学）、生理学Ⅲ（消化・吸収・排泄）、生理学実習、運動学Ⅰ、運動学Ⅱ、運動学実習、基礎理学療法学、各理学療法評価学・治療学
授業の具体的な進め方	教科書と事前に配布する資料をもとに主にパワーポイントにより講義する。2-3回程度小テストを行い学生の到達度を見る。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	9/21	水	1	野上晴雄	217	細胞と組織、細胞内小器官
2	9/28	水	1	野上晴雄	217	上皮組織と結合組織,循環器系総論
3	10/5	水	1	野上晴雄	217	心臓の位置、心膜、心臓の構成、血液の流れ、心臓の弁、刺激伝導系
4	10/12	水	1	野上晴雄	217	動脈と静脈の組織、動脈系の構成、大動脈弓の枝、大脳動脈輪
5	10/19	水	1	野上晴雄	217	上肢の動脈、体幹・下肢の動脈
6	10/26	水	1	野上晴雄	217	静脈系の構成、硬膜静脈洞、門脈、奇静脈、皮静脈
7	11/2	水	1	野上晴雄	217	胎児循環、リンパ系の構成、リンパの流れ、リンパ性器官の構造
8	11/9	水	1	野上晴雄	217	消化器系の構成と消化吸収の概要、口腔
9	11/16	水	1	野上晴雄	217	嚥下に関わる構造、消化管の基本構造、食道、胃、小腸
10	11/30	水	1	野上晴雄	217	大腸の構造、肝臓、胆嚢、膵臓
11	12/7	水	1	野上晴雄	217	呼吸器系の構成、鼻腔、喉頭、気管、気管支、肺構造、呼吸のメカニズム
12	12/14	水	1	野上晴雄	217	泌尿器系の構成、腎臓の構造、ネフロン、尿管と膀胱
13	12/21	水	1	野上晴雄	217	内分泌系、生殖器系、胎盤、乳腺、ヒトの発生
14	1/11	水	1	野上晴雄	217	血液細胞、皮膚とその付属器
15	1/18	水	1	野上晴雄	217	視覚器の構造、平衡聴覚器の構造

成績評価方法・基準		定期試験（前半）40%　定期試験（後半）40%　（すべて対面で行う）、課題20%（オンラインで提出する）
授業外における学習（予習・復習）		予定表の順に講義を進めるので、事前に教科書を予習してくること
教科書・参考文献等	教科書	野村 嶬編集『標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学 第5版』（医学書院） ISBN978-4-260-03922-2
	参考書	ネッターFH著、相磯貞和訳『ネッター解剖学アトラス　原書第6版』（南江堂） ISBN978-4-524-25967-0
	その他	
連絡先・オフィスアワー		質問には419室で対応する。また、メールでも随時対応する。 メールアドレス　h-nogami@jhsu.ac.jp
その他		【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP（1）に該当。

科目コード	12209
授業科目名	生理学実習 A
配当年次	2学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	45時間
授業形態	実験・実習
担当教員	鈴木 郁子
実務家教員	
授業科目の概要	生理学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲや解剖学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲで学習したヒトおよび動物における各種生理機能(循環、内分泌、筋収縮、神経伝導等)に対する理解を深めるために、実習・実験を通して学習する。そのために、各実習・実験の計画、基本的手法、データの処理法、結果の分析法、考察等に関してその記載方法やまとめ方について習得し、他者に実験内容をわかりやすく報告できるようなレポート作成を行う。また、実習ビデオにより実験の企画、実習材料、研究技術についても学習する。
授業の到達目標	1. 血圧測定の方法を理解する 2. 心電図や筋電図、誘発筋電図について理解する 3. 視覚や平衡感覚について理解する 4. 内分泌について理解する
特に関連する科目	生理学I 生理学II 生理学III 生物学 解剖学I 解剖学II 解剖学III 薬理学 病理学 物理療法学 運動生理学 解剖学実習 運動学実習 検査・測定実習 物理療法学演習 評価実習 総合臨床実習
授業の具体的な進め方	実験補助として鈴木慶、石井智也、嶋田裕司が加わる。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	9/27	火	3	鈴木郁子	107	オリエンテーション 体性感覚
2	9/27	火	4	鈴木郁子	107	味覚・嗅覚・聴覚
3	9/27	火	5	鈴木郁子	107	血圧の測定1
4	10/4	火	3	鈴木郁子	107	血圧の測定2
5	10/4	火	4	鈴木郁子	107	視覚測定2
6	10/4	火	5	鈴木郁子	107	心電図1
7	10/11	火	3	鈴木郁子	107	心電図2
8	10/11	火	4	鈴木郁子	107	心電図3
9	10/11	火	5	鈴木郁子	107	視覚概論
10	10/18	火	3	鈴木郁子	107	視覚測定1
11	10/18	火	4	鈴木郁子	107	視覚測定2
12	10/18	火	5	鈴木郁子	107	筋電図1
13	10/25	火	3	鈴木郁子	107	筋電図2
14	10/25	火	4	鈴木郁子	107	筋電図3
15	10/25	火	5	鈴木郁子	107	誘発筋電図1
16	11/1	火	3	鈴木郁子	107	誘発筋電図2
17	11/1	火	4	鈴木郁子	107	誘発筋電図3
18	11/1	火	5	鈴木郁子	107	平衡感覚概論
19	11/8	火	3	鈴木郁子	107	平衡感覚概論
20	11/8	火	4	鈴木郁子	107	平衡感覚測定2
21	11/8	火	5	鈴木郁子	107	内分泌発表1
22	11/15	火	3	鈴木郁子	107	内分泌発表2
23	11/15	火	4	鈴木郁子	107	内分泌発表3

成績評価方法・基準		口頭試問・レポート・発表・課題合計で100%
授業外における学習(予習・復習)		1. 事前に実習の課題に相当する講義内容の復習を十分に行う。 2. あらかじめ実習書を読み、実習の目的、手順、実習の意義を理解しておく。 3. 教科書などを調べ結果を予想しておく。予習・復習には講義ごとに概ね60分以上必要である。
教科書・参考文献等	教科書	大橋敦子監修 『生理学実習NAVI 第2版』(医歯薬出版、2017年) ISBN:9784263240724
	参考書	内田さえ・原田玲子ほか 『生理学 第3版』(医歯薬出版、2014年) ISBN:9784263241721
		志村まゆら・大澤秀雄監修 『○×でマスター生理学 第4版』(医歯薬出版、2018) ISBN:9784263240809
	その他	
連絡先・オフィスアワー		連絡先: 研究室418室 メールアドレス i-suzuki@jhsu.ac.jp オフィスアワー: 水曜日13:00〜17:00
その他		【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP(1)に該当。

科目コード	12209
授業科目名	生理学実習 B
配当年次	2学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	45時間
授業形態	実験・実習
担当教員	鈴木 郁子
実務家教員	
授業科目の概要	生理学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲや解剖学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲで学習したヒトおよび動物における各種生理機能(循環、内分泌、筋収縮、神経伝導等)に対する理解を深めるために、実習・実験を通して学習する。そのために、各実習・実験の計画、基本的手法、データの処理法、結果の分析法、考察等に関してその記載方法やまとめ方について習得し、他者に実験内容をわかりやすく報告できるようなレポート作成を行う。また、実習ビデオにより実験の企画、実習材料、研究技術についても学習する。
授業の到達目標	1. 血圧測定の方法を理解する 2. 心電図や筋電図、誘発筋電図について理解する 3. 視覚や平衡感覚について理解する 4. 内分泌について理解する
特に関連する科目	生理学I 生理学II 生理学III 生物学 解剖学I 解剖学II 解剖学III 薬理学 病理学 物理療法学 運動生理学 解剖学実習 運動学実習 検査・測定実習 物理療法学演習 評価実習 総合臨床実習
授業の具体的な進め方	実験補助として鈴木慶、石井智也、嶋田裕司が加わる。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	9/27	火	3	鈴木郁子	107	オリエンテーション 体性感覚
2	9/27	火	4	鈴木郁子	107	味覚・嗅覚・聴覚
3	9/27	火	5	鈴木郁子	107	血圧の測定1
4	10/4	火	3	鈴木郁子	107	血圧の測定2
5	10/4	火	4	鈴木郁子	107	視覚測定2
6	10/4	火	5	鈴木郁子	107	心電図1
7	10/11	火	3	鈴木郁子	107	心電図2
8	10/11	火	4	鈴木郁子	107	心電図3
9	10/11	火	5	鈴木郁子	107	視覚概論
10	10/18	火	3	鈴木郁子	107	視覚測定1
11	10/18	火	4	鈴木郁子	107	視覚測定2
12	10/18	火	5	鈴木郁子	107	筋電図1
13	10/25	火	3	鈴木郁子	107	筋電図2
14	10/25	火	4	鈴木郁子	107	筋電図3
15	10/25	火	5	鈴木郁子	107	誘発筋電図1
16	11/1	火	3	鈴木郁子	107	誘発筋電図2
17	11/1	火	4	鈴木郁子	107	誘発筋電図3
18	11/1	火	5	鈴木郁子	107	平衡感覚概論
19	11/8	火	3	鈴木郁子	107	平衡感覚概論
20	11/8	火	4	鈴木郁子	107	平衡感覚測定2
21	11/8	火	5	鈴木郁子	107	内分泌発表1
22	11/15	火	3	鈴木郁子	107	内分泌発表2
23	11/15	火	4	鈴木郁子	107	内分泌発表3

成績評価方法・基準		口頭試問・レポート・発表・課題合計で100%
授業外における学習(予習・復習)		1. 事前に実習の課題に相当する講義内容の復習を十分に行う。 2. あらかじめ実習書を読み, 実習の目的、手順、実習の意義を理解しておく。 3. 教科書などを調べ結果を予想しておく。予習・復習には講義ごとに概ね60分以上必要である。
教科書 ・参考文献等	教科書	大橋敦子監修 『生理学実習NAVI 第2版』(医歯薬出版、2017年) ISBN:9784263240724
	参考書	内田さえ・原田玲子ほか 『生理学 第3版』(医歯薬出版、2014年) ISBN:9784263241721
		志村まゆら・大澤秀雄監修 『○×でマスター生理学 第4版』(医歯薬出版、2018) ISBN:9784263240809
	その他	
連絡先・オフィスアワー		連絡先: 研究室418室 メールアドレス i-suzuki@jhsu.ac.jp オフィスアワー: 水曜日13:00～17:00
その他		【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP(1)に該当。

科目コード	12205
授業科目名	体表解剖と触診法
配当年次	1学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	演習
担当教員	浅田 春美、黒川 望
実務家教員	理学療法士：浅田 春美・黒川 望
授業科目の概要	運動器の構造やその機能障害の専門家である理学療法士にとって体表解剖の知識と触知の技術は、技術領域の基礎として最初に習得すべき項目である。すなわち、関節、骨、筋、腱、靭帯、動脈や神経を中心に皮膚表面からその奥にあるこれらの構造や機能を理解する必要がある。そのために、体表に現れた指標の観察、体表面からの触診や簡単な検査等から深在性の構造物の位置や運動および異常を読み取る能力を身につけるよう実習を通して学習する。そして、人の運動を可能にする構造と機能の関係について実践的に理解できるよう学習する。 （オムニバス形式／全15回） （34 黒川 望／15回） 上肢および上肢帯、頸部および上部体幹に関して演習を実施する。 （35 浅田 春美／15回） 下肢および骨盤帯に関して演習を実施する。 上肢・下肢とも中枢側から進行する。
授業の到達目標	1. 骨、関節、靭帯、筋と腱を触知により区別することができる。 2. 体表から触れることのできる1. の部位を解剖学の本で参照することができる。 3. 上記の名称（筋については起始・停止・作用）を述べることができる。 4. 最も触診しやすい姿勢や運動を相手に分かりやすい言葉で説明し、正しい場所を触診できる。
特に関連する科目	解剖学、生理学、運動学、基礎理学療法学、各理学療法評価・治療学
授業の具体的な進め方	対面による講義、一部動画配信. 課題学習. 実技演習は各自、自身の身体にて実施実技を主とするため以下を準備すること ・指輪、時計など不必要なものを外し、手や手指のケアを心がける（爪・傷など） ・可能な限り直接、皮膚に触れるため脱衣しやすく、動きやすい服装を準備する 補助教員 ： 髙橋真

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	11/15	火	4	浅田春美 黒川望	217	触診の準備＜解剖学の知識を復習＞ （浅田・黒川） 骨標本（全身）を用いての講義 ＜骨，骨部位の名称と特徴をアトラスで確認＞ 「骨・骨部位（主に筋の付着部・骨指標となる部位）の名称を指し示して言うことができる」
2	11/22	火	3	浅田春美 黒川望	217	触診講義の学習の仕方／触診手技の練習 （浅田・黒川） 体表面から触診する場合の骨、関節、筋、靭帯の触れ方（ポイント）の練習
3	11/22	火	4	浅田春美 黒川望	217	A：頭頚部・上肢＜肩甲帯・肩・上腕＞・体幹：主に骨・関節の触診 （黒川） B:下肢＜骨盤・股関節＞ 主に骨・関節・軟部組織の触診 （浅田）
4	11/29	火	3	浅田春美 黒川望	217	A:上肢＜肩甲帯・肩・上腕＞・体幹：主に軟部組織（筋・靭帯・動脈の拍動など）の触診 （黒川） B:下肢＜骨盤・股関節＞：主に骨・関節・軟部組織の触診 （浅田）
5	11/29	火	4	浅田春美 黒川望	217	A:上肢＜前腕・肘・上腕＞：主に骨・関節・軟部組織の触診 （黒川） B:下肢＜膝関節・下腿＞：主に骨・関節・軟部組織の触診 （浅田）
6	12/6	火	3	浅田春美 黒川望	217	A:上肢＜前腕・肘・上腕＞：主に骨・関節・軟部組織の触診 （黒川） B:下肢＜膝関節・下腿＞：主に骨・関節・軟部組織の触診 （浅田）
7	12/6	火	4	浅田春美 黒川望	217	A:上肢＜前腕・手関節・手＞：主に骨・関節・軟部組織の触診 （黒川） B:下肢＜下腿・足関節・足部＞：主に骨・関節・軟部組織の触診 （浅田）
8	12/13	火	3	浅田春美 黒川望	217	A:上肢＜前腕・手関節・手＞：主に骨・関節・軟部組織の触診 （黒川） B:下肢＜下腿・足関節・足部＞：主に骨・関節・軟部組織の触診 （浅田） 前半のまとめ：知識確認 ＜各範囲の実技確認：振り返り＞ （黒川・浅田）
9	12/13	火	4	浅田春美 黒川望	217	B：頭頚部・上肢＜肩甲帯・肩・上腕＞・体幹：主に骨・関節の触診 （黒川） A:下肢＜骨盤・股関節＞ 主に骨・関節・軟部組織の触診 （浅田）
10	12/20	火	3	浅田春美 黒川望	217	B:上肢＜肩甲帯・肩・上腕＞・体幹：主に軟部組織（筋・靭帯・動脈の拍動など）の触診 （黒川） A:下肢＜骨盤・股関節＞：主に骨・関節・軟部組織の触診 （浅田）
11	12/20	火	4	浅田春美 黒川望	217	A:上肢＜前腕・肘・上腕＞：主に骨・関節・軟部組織の触診 （黒川） B:下肢＜膝関節・下腿＞：主に骨・関節・軟部組織の触診 （浅田）
12	1/10	火	3	浅田春美 黒川望	217	A:上肢＜前腕・肘・上腕＞：主に骨・関節・軟部組織の触診 （黒川） B:下肢＜膝関節・下腿＞：主に骨・関節・軟部組織の触診 （浅田）
13	1/10	火	4	浅田春美 黒川望	217	B:上肢＜前腕・手関節・手＞：主に骨・関節・軟部組織の触診 （黒川） A:下肢＜下腿・足関節・足部＞：主に骨・関節・軟部組織の触診 （浅田）
14	1/17	火	3	浅田春美 黒川望	217	筆記試験（60分）
15	1/17	火	4	浅田春美 黒川望	217	実技試験（全範囲）

成績評価方法・基準		小テスト 5点×12回分＝60点 課題2種（上肢・下肢） 5点×2＝10点 動画による試験（実技相当） 上肢・下肢＝30点
授業外における学習（予習・復習）		・解剖学で学んだ骨・関節・筋等の名称を復習しておくこと。 ・講義前には配布資料の講義予定内容を確認し、該当する教科書のページを予習し熟読すること。 特に筋の「起始・停止・作用」は，課題実施とともに想起できるようにする。 ・講義終了後は、自身の身体にて実技練習を行い、不明な点を明らかにし積極的に教員に質問すること。 （毎回の小テスト提出時またはメールにて） ＜予習・復習：各1時間程度要する＞
教科書 ・参考文献等	教科書	林典雄 『運動療法のための機能解剖学的触診技術<上肢> 改訂第2版』（メジカルビュー、2011年） ISBN:9784758311366
		林 典雄 『運動療法のための機能解剖学的触診技術<下肢・体幹> 改訂第2版』（メジカルビュー、2012年） ISBN:9784758311373
	参考書	Frank H.Netter 著；相磯貞和翻訳 『ネッター解剖学アトラス 原書第6版』（南江堂、2016年） ISBN:9784524259670
		藤原理 『筋と骨格の触診術の基本(運動・からだ図解)』（マイナビ出版、2013年） ISBN:9784839948078
		竹井仁 『触診機能解剖カラーアトラス 上 総論・身体の面と軸・骨／関節・靭帯』（文光堂、2008年） ISBN:9784830643446
		竹井仁 『触診機能解剖カラーアトラス 下 筋・血管・神経』（文光堂、2008年） ISBN:9784830643453
	その他	
連絡先・オフィスアワー		classroom
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 理学療法士としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。 【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP（2）に該当。

科目コード	12206
授業科目名	生理学Ⅰ（生体の恒常性）Aグループ
配当年次	1学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	15時間
授業形態	講義
担当教員	鈴木 郁子
実務家教員	
授業科目の概要	人体の各種機能がどのような仕組みのもとで行われているか、その基礎を学習する。すなわち、生体の恒常性を維持するための細胞生理、血液、生体防御の生理機能に関して理解し、それらの機能が相互にどのように影響し合いながら、個体全体として健全な機能を発揮しうるのかについて学習する。
授業の到達目標	細胞生理、血液、生体防御に関する基礎を学び、生体の恒常性を維持する仕組みについて理解できることを到達目標とする。到達目標の一部を下記に示す。 1、細胞の構造と機能、体液の組成と働きについて理解できる。 2. 血液の組成と働きについて理解できる。 3. 生体防御について理解できる。
特に関連する科目	生理学Ⅱ・Ⅲ、生理学実習、生物学、解剖学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、薬理学、病理学、物理療法学、運動生理学、解剖学実習、運動学実習、検査・測定実習、物理療法学演習、評価実習、総合臨床実習
授業の具体的な進め方	教科書を基本にパワーポイントで授業を進める。学習の到達状況を知るために、適宜授業内で課題を解く。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/11	月	4	鈴木郁子	217	細胞の構造と機能1
2	4/18	月	4	鈴木郁子	217	細胞の構造と機能2
3	4/25	月	4	鈴木郁子	217	体液の組成と働き
4	5/9	月	4	鈴木郁子	217	赤血球の働き
5	5/16	月	4	鈴木郁子	217	白血球の働き
6	5/23	月	4	鈴木郁子	217	生体防御
7	5/30	月	4	鈴木郁子	217	血小板の働き
8	6/6	月	4	鈴木郁子	217	血漿の働き

成績評価方法・基準		定期試験90%　その他課題・レポート10%
授業外における学習（予習・復習）		授業計画に沿って教科書で予習し、講義後は、教科書、問題集を用いて復習をおこなうこと。予習・復習には講義ごとに概ね60分以上必要である。
教科書・参考文献等	教科書	内田さえ・原田玲子ほか著『生理学 第3版』（医歯薬出版、2014年） ISBN:9784263241721
		志村まゆら・大澤秀雄監修『○×でマスター生理学 第4版』（医歯薬出版、2018年） ISBN:9784263240809
	参考書	鈴木郁子編著 『やさしい自律神経生理学　命を支える仕組み』（中外医学社、2015年） ISBN:9784498228443
	その他	
連絡先・オフィスアワー		連絡先：　研究室418室 メールアドレス　i-suzuki@jhsu.ac.jp オフィスアワー：水曜日13：00～17:00
その他		【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP（1）に該当。

科目コード	12206
授業科目名	生理学Ⅰ（生体の恒常性）Bグループ
配当年次	1学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	15時間
授業形態	講義
担当教員	鈴木 郁子
実務家教員	
授業科目の概要	人体の各種機能がどのような仕組みのもとで行われているか、その基礎を学習する。すなわち、生体の恒常性を維持するための細胞生理、血液、生体防御の生理機能に関して理解し、それらの機能が相互にどのように影響し合いながら、個体全体として健全な機能を発揮しうるのかについて学習する。
授業の到達目標	細胞生理、血液、生体防御に関する基礎を学び、生体の恒常性を維持する仕組みについて理解できることを到達目標とする。到達目標の一部を下記に示す。 1、細胞の構造と機能、体液の組成と働きについて理解できる。 2. 血液の組成と働きについて理解できる。 3. 生体防御について理解できる。
特に関連する科目	生理学Ⅱ・Ⅲ、生理学実習、生物学、解剖学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、薬理学、病理学、物理療法学、運動生理学、解剖学実習、運動学実習、検査・測定実習、物理療法学演習、評価実習、総合臨床実習
授業の具体的な進め方	教科書を基本にパワーポイントで授業を進める。学習の到達状況を知るために、適宜授業内で課題を解く。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/11	月	4	鈴木郁子	217	細胞の構造と機能1
2	4/18	月	4	鈴木郁子	217	細胞の構造と機能2
3	4/25	月	4	鈴木郁子	217	体液の組成と働き
4	5/9	月	4	鈴木郁子	217	赤血球の働き
5	5/16	月	4	鈴木郁子	217	白血球の働き
6	5/23	月	4	鈴木郁子	217	生体防御
7	5/30	月	4	鈴木郁子	217	血小板の働き
8	6/6	月	4	鈴木郁子	217	血漿の働き

成績評価方法・基準		定期試験90%　その他課題・レポート10%
授業外における学習（予習・復習）		授業計画に沿って教科書で予習し、講義後は、教科書、問題集を用いて復習をおこなうこと。予習・復習には講義ごとに概ね60分以上必要である。
教科書・参考文献等	教科書	内田さえ・原田玲子ほか著『生理学 第3版』（医歯薬出版、2014年） ISBN:9784263241721
		志村まゆら・大澤秀雄監修『○×でマスター生理学 第4版』（医歯薬出版、2018年） ISBN:9784263240809
	参考書	鈴木郁子編著 『やさしい自律神経生理学　命を支える仕組み』（中外医学社、2015年） ISBN:9784498228443
	その他	
連絡先・オフィスアワー		連絡先：　研究室418室 メールアドレス　i-suzuki@jhsu.ac.jp オフィスアワー：水曜日13：00～17:00
その他		【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP（1）に該当。

科目コード	12207
授業科目名	生理学Ⅱ（消化・吸収・排泄）Aグループ
配当年次	1学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	鈴木 郁子
実務家教員	
授業科目の概要	生理学Ⅰおよび解剖学Ⅱ・Ⅲで学習した内分泌機能や神経機能に関する知識と関連づけながら、人体の各機能の中で、咀嚼・嚥下を含めた消化・吸収機能（口腔、胃、肝臓、胆嚢、小腸、大腸、消化酵素や栄養素）および排尿・排便機能（腎臓、膀胱および排泄機構）に関して理解し、それらの機能が相互にどのように影響し合いながら、個体全体として健全な機能を発揮しうるのかについて学習する。
授業の到達目標	1. 呼吸のしくみを理解する 2. 消化管の運動や消化液を理解する 3. 栄養の吸収について理解する 4. 腎臓の働きを理解する″
特に関連する科目	生理学Ⅰ・Ⅲ、生理学実習、生物学、解剖学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、薬理学、病理学、物理療法学、運動生理学、解剖学実習、運動学実習、検査・測定実習、物理療法学演習、評価実習、総合臨床実習
授業の具体的な進め方	単元ごとに到達目標を示し、パワーポイントを使用して講義を進める。学生の理解を深め、学習の到達状況を知るため、随時課題を行う。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	9/20	火	4	鈴木郁子	217	循環調節1
2	9/26	月	4	鈴木郁子	217	循環調節2
3	10/3	月	4	鈴木郁子	217	呼吸器の構造と働き
4	10/17	月	4	鈴木郁子	217	呼吸調節
5	10/24	月	4	鈴木郁子	217	咀嚼・嚥下・胃の消化
6	10/31	月	4	鈴木郁子	217	膵臓の働き
7	11/7	月	4	鈴木郁子	217	小腸・大腸の消化と小腸の吸収
8	11/9	水	5	鈴木郁子	217	まとめ
9	11/14	月	4	鈴木郁子	217	肝臓の働き
10	11/21	月	4	鈴木郁子	217	栄養素の働き、ビタミン
11	11/28	月	4	鈴木郁子	217	栄養素の働き、ビタミン
12	12/5	月	4	鈴木郁子	217	エネルギー代謝
13	12/12	月	4	鈴木郁子	217	体温調節
14	12/19	月	4	鈴木郁子	217	腎臓の働き、体液の調節
15	1/16	月	4	鈴木郁子	217	ホルモンの特徴

成績評価方法・基準		定期試験 90% そのほか課題・レポート10%
授業外における学習（予習・復習）		授業計画に沿って教科書で予習し、講義後は、教科書、問題集を用いて復習をおこなうこと。問題はできるまで繰り返し解くが重要である。予習・復習には講義ごとに概ね60分以上必要である。
教科書・参考文献等	教科書	内田さえ・原田玲子ほか著『生理学 第3版』（医歯薬出版、2014年） ISBN:9784263241721
		志村まゆら・大澤秀雄監修『○×でマスター生理学 第4版』（医歯薬出版、2018年） ISBN:9784263240809
	参考書	鈴木郁子編著 『やさしい自律神経生理学　命を支える仕組み』（中外医学社、2015年） ISBN:9784498228443
	その他	
連絡先・オフィスアワー		連絡先： 研究室418室 メールアドレス i-suzuki@jhsu.ac.jp オフィスアワー： 水曜日13：00～17:00
その他		【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP（1）に該当。

科目コード	12207
授業科目名	生理学Ⅱ（消化・吸収・排泄）Bグループ
配当年次	1学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	鈴木 郁子
実務家教員	
授業科目の概要	生理学Ⅰおよび解剖学Ⅱ・Ⅲで学習した内分泌機能や神経機能に関する知識と関連づけながら、人体の各機能の中で、咀嚼・嚥下を含めた消化・吸収機能（口腔、胃、肝臓、胆嚢、小腸、大腸、消化酵素や栄養素）および排尿・排便機能（腎臓、膀胱および排泄機構）に関して理解し、それらの機能が相互にどのように影響し合いながら、個体全体として健全な機能を発揮しうるのかについて学習する。
授業の到達目標	1. 呼吸のしくみを理解する 2. 消化管の運動や消化液を理解する 3. 栄養の吸収について理解する 4. 腎臓の働きを理解する″
特に関連する科目	生理学Ⅰ・Ⅲ、生理学実習、生物学、解剖学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、薬理学、病理学、物理療法学、運動生理学、解剖学実習、運動学実習、検査・測定実習、物理療法学演習、評価実習、総合臨床実習
授業の具体的な進め方	単元ごとに到達目標を示し、パワーポイントを使用して講義を進める。学生の理解を深め、学習の到達状況を知るため、随時課題を行う。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	9/21	水	5	鈴木郁子	217	循環調節1
2	9/28	水	5	鈴木郁子	217	循環調節2
3	10/5	水	5	鈴木郁子	217	呼吸器の構造と働き
4	10/12	水	5	鈴木郁子	217	呼吸調節
5	10/19	水	5	鈴木郁子	217	咀嚼・嚥下・胃の消化
6	10/26	水	5	鈴木郁子	217	膵臓の働き
7	11/2	水	5	鈴木郁子	217	小腸・大腸の消化と小腸の吸収
8	11/9	水	5	鈴木郁子	217	まとめ
9	11/16	水	5	鈴木郁子	217	肝臓の働き
10	11/30	水	5	鈴木郁子	217	エネルギー代謝
11	12/7	水	5	鈴木郁子	217	体温調節
12	12/14	水	5	鈴木郁子	217	腎臓の働き、体液の調節
13	12/21	水	5	鈴木郁子	217	蓄尿と排尿
14	1/11	水	5	鈴木郁子	217	蓄尿と排尿
15	1/18	水	5	鈴木郁子	217	ホルモンの特徴

成績評価方法・基準		定期試験 90% そのほか課題・レポート10%
授業外における学習（予習・復習）		授業計画に沿って教科書で予習し、講義後は、教科書、問題集を用いて復習をおこなうこと。問題はできるまで繰り返し解くが重要である。予習・復習には講義ごとに概ね60分以上必要である。
教科書・参考文献等	教科書	内田さえ・原田玲子ほか著『生理学 第3版』（医歯薬出版、2014年） ISBN:9784263241721
		志村まゆら・大澤秀雄監修『○×でマスター生理学 第4版』（医歯薬出版、2018年） ISBN:9784263240809
	参考書	鈴木郁子編著 『やさしい自律神経生理学　命を支える仕組み』（中外医学社、2015年） ISBN:9784498228443
	その他	
連絡先・オフィスアワー		連絡先： 研究室418室 メールアドレス i-suzuki@jhsu.ac.jp オフィスアワー： 水曜日13：00～17:00
その他		【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP（1）に該当。

科目コード	12208
授業科目名	生理学Ⅲ（神経生理学）A
配当年次	2学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	鈴木 郁子
実務家教員	
授業科目の概要	生理学Ⅰ・Ⅱで身につけた知識や解剖学Ⅱ・Ⅲの内容と関連づけながら、人体の各機能の中で、神経（中枢神経系、末梢神経系）の基本構成であるニューロンとシナプスの機能および感覚（体性感覚、内臓感覚、特殊感覚）がどのような仕組みで生じているのかといった神経生理機能を中心として理解し、それらの機能が相互にどのように影響し合いながら、個体全体として健全な機能を発揮しうるのかについて学習する。
授業の到達目標	神経系の基本構成について学び、中枢神経系（脳・脊髄）および末梢神経系（自律神経系・運動神経系・感覚神経系）の機能について理解できることを到達目標とする。 到達目標の一部を下記に示す。 1. ニューロンの構造と働きを理解する 2. 神経線維の興奮伝導について理解する 3. シナプス伝達について理解する 4. 反射について理解する 5. 体性感覚を理解する
特に関連する科目	生理学Ⅰ　生理学Ⅱ　生理学実習　生物学　解剖学Ⅰ　解剖学Ⅱ　解剖学Ⅲ　運動学　薬理学　病理学　物理療法学　運動生理学　解剖学実習　運動学実習　検査・測定実習　物理療法学演習　評価実習　総合臨床実習
授業の具体的な進め方	教科書を基本にパワーポイントで授業を進める。学習の到達状況を知るために、適宜授業中に課題を行う。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/11	月	2	鈴木郁子	306	ホルモンの特徴
2	4/18	月	2	鈴木郁子	306	ホルモンの種類と働き
3	4/25	月	2	鈴木郁子	306	ホルモンの種類と働き2
4	5/9	月	2	鈴木郁子	306	生殖
5	5/16	月	2	鈴木郁子	306	神経の構造と働き
6	5/23	月	2	鈴木郁子	306	神経の興奮伝導
7	5/30	月	2	鈴木郁子	306	シナプス伝達、反射
8	6/6	月	2	鈴木郁子	306	まとめ
9	6/13	月	2	鈴木郁子	306	視床、視床下部の働き
10	6/20	月	2	鈴木郁子	306	大脳の働き
11	6/27	月	2	鈴木郁子	306	自律神経系の働き1
12	7/4	月	2	鈴木郁子	306	自律神経系の働き2
13	7/11	月	2	鈴木郁子	306	筋肉、運動
14	7/18	月	2	鈴木郁子	306	体性感覚
15	7/25	月	2	鈴木郁子	306	特殊感覚

成績評価方法・基準		講義、グループワークへの取り組みと参加状況 10% 定期試験 80% 課題・レポート10% ＊試験・課題については適宜解答について解説する。類似問題を作成し、正解を誤った問題については繰り返し解かせることで、最終的に自ら解答を導き出せる力を養う。
授業外における学習（予習・復習）		授業計画に沿って教科書で予習し、講義後は、教科書、問題集を用いて復習をおこなうこと。問題はできるまで繰り返し解くが重要である。予習・復習には講義ごとに概ね60分以上必要である。
教科書・参考文献等	教科書	内田さえ・原田玲子ほか 『生理学　第3版』（医歯薬出版、2014年） ISBN:9784263241721
		志村まゆら・大澤秀雄監修 『〇×でマスター生理学　第4版』（医歯薬出版、2018年） ISBN:9784263240809
	参考書	鈴木郁子編著 『やさしい自律神経生理学　命を支える仕組み』（中外医学社、2015年） ISBN:9784498228443
	その他	
連絡先・オフィスアワー		連絡先： 研究室418室 メールアドレス i-suzuki@jhsu.ac.jp オフィスアワー： 水曜日13：00～17:00
その他		【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP（1）に該当。

科目コード	12208
授業科目名	生理学Ⅲ（神経生理学）B
配当年次	2学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	鈴木 郁子
実務家教員	
授業科目の概要	生理学Ⅰ・Ⅱで身につけた知識や解剖学Ⅱ・Ⅲの内容と関連づけながら、人体の各機能の中で、神経（中枢神経系、末梢神経系）の基本構成であるニューロンとシナプスの機能および感覚（体性感覚、内臓感覚、特殊感覚）がどのような仕組みで生じているのかといった神経生理機能を中心として理解し、それらの機能が相互にどのように影響し合いながら、個体全体として健全な機能を発揮しうるのかについて学習する。
授業の到達目標	神経系の基本構成について学び、中枢神経系（脳・脊髄）および末梢神経系（自律神経系・運動神経系・感覚神経系）の機能について理解できることを到達目標とする。 到達目標の一部を下記に示す。 1. ニューロンの構造と働きを理解する 2. 神経線維の興奮伝導について理解する 3. シナプス伝達について理解する 4. 反射について理解する 5. 体性感覚を理解する
特に関連する科目	生理学Ⅰ　生理学Ⅱ　生理学実習　生物学　解剖学Ⅰ　解剖学Ⅱ　解剖学Ⅲ　運動学　薬理学　病理学　物理療法学　運動生理学　解剖学実習　運動学実習　検査・測定実習　物理療法学演習　評価実習　総合臨床実習
授業の具体的な進め方	教科書を基本にパワーポイントで授業を進める。学習の到達状況を知るために、適宜授業中に課題を行う。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/11	月	2	鈴木郁子	306	ホルモンの特徴
2	4/18	月	2	鈴木郁子	306	ホルモンの種類と働き
3	4/25	月	2	鈴木郁子	306	ホルモンの種類と働き2
4	5/9	月	2	鈴木郁子	306	生殖
5	5/16	月	2	鈴木郁子	306	神経の構造と働き
6	5/23	月	2	鈴木郁子	306	神経の興奮伝導
7	5/30	月	2	鈴木郁子	306	シナプス伝達、反射
8	6/6	月	2	鈴木郁子	306	まとめ
9	6/13	月	2	鈴木郁子	306	視床、視床下部の働き
10	6/20	月	2	鈴木郁子	306	大脳の働き
11	6/27	月	2	鈴木郁子	306	自律神経系の働き1
12	7/4	月	2	鈴木郁子	306	自律神経系の働き2
13	7/11	月	2	鈴木郁子	306	筋肉、運動
14	7/18	月	2	鈴木郁子	306	体性感覚
15	7/25	月	2	鈴木郁子	306	特殊感覚

成績評価方法・基準		講義、グループワークへの取り組みと参加状況 10% 定期試験 80% 課題・レポート10% ＊試験・課題については適宜解答について解説する。類似問題を作成し、正解を誤った問題については繰り返し解かせることで、最終的に自ら解答を導き出せる力を養う。
授業外における学習（予習・復習）		授業計画に沿って教科書で予習し、講義後は、教科書、問題集を用いて復習をおこなうこと。問題はできるまで繰り返し解くが重要である。予習・復習には講義ごとに概ね60分以上必要である。
教科書・参考文献等	教科書	内田さえ・原田玲子ほか 『生理学　第3版』（医歯薬出版、2014年） ISBN:9784263241721
		志村まゆら・大澤秀雄監修 『〇×でマスター生理学　第4版』（医歯薬出版、2018年） ISBN:9784263240809
	参考書	鈴木郁子編著 『やさしい自律神経生理学　命を支える仕組み』（中外医学社、2015年） ISBN:9784498228443
	その他	
連絡先・オフィスアワー		連絡先： 研究室418室 メールアドレス i-suzuki@jhsu.ac.jp オフィスアワー： 水曜日13：00～17:00
その他		【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP（1）に該当。

科目コード	12209
授業科目名	生理学実習 A
配当年次	2学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	45時間
授業形態	実験・実習
担当教員	鈴木 郁子
実務家教員	
授業科目の概要	生理学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲや解剖学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲで学習したヒトおよび動物における各種生理機能(循環、内分泌、筋収縮、神経伝導等)に対する理解を深めるために、実習・実験を通して学習する。そのために、各実習・実験の計画、基本的手法、データの処理法、結果の分析法、考察等に関してその記載方法やまとめ方について習得し、他者に実験内容をわかりやすく報告できるようなレポート作成を行う。また、実習ビデオにより実験の企画、実習材料、研究技術についても学習する。
授業の到達目標	1. 血圧測定の方法を理解する 2. 心電図や筋電図、誘発筋電図について理解する 3. 視覚や平衡感覚について理解する 4. 内分泌について理解する
特に関連する科目	生理学I 生理学II 生理学III 生物学 解剖学I 解剖学II 解剖学III 薬理学 病理学 物理療法学 運動生理学 解剖学実習 運動学実習 検査・測定実習 物理療法学演習 評価実習 総合臨床実習
授業の具体的な進め方	実験補助として鈴木慶、石井智也、嶋田裕司が加わる。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	9/27	火	3	鈴木郁子	107	オリエンテーション 体性感覚
2	9/27	火	4	鈴木郁子	107	味覚・嗅覚・聴覚
3	9/27	火	5	鈴木郁子	107	血圧の測定1
4	10/4	火	3	鈴木郁子	107	血圧の測定2
5	10/4	火	4	鈴木郁子	107	視覚測定2
6	10/4	火	5	鈴木郁子	107	心電図1
7	10/11	火	3	鈴木郁子	107	心電図2
8	10/11	火	4	鈴木郁子	107	心電図3
9	10/11	火	5	鈴木郁子	107	視覚概論
10	10/18	火	3	鈴木郁子	107	視覚測定1
11	10/18	火	4	鈴木郁子	107	視覚測定2
12	10/18	火	5	鈴木郁子	107	筋電図1
13	10/25	火	3	鈴木郁子	107	筋電図2
14	10/25	火	4	鈴木郁子	107	筋電図3
15	10/25	火	5	鈴木郁子	107	誘発筋電図1
16	11/1	火	3	鈴木郁子	107	誘発筋電図2
17	11/1	火	4	鈴木郁子	107	誘発筋電図3
18	11/1	火	5	鈴木郁子	107	平衡感覚概論
19	11/8	火	3	鈴木郁子	107	平衡感覚概論
20	11/8	火	4	鈴木郁子	107	平衡感覚測定2
21	11/8	火	5	鈴木郁子	107	内分泌発表1
22	11/15	火	3	鈴木郁子	107	内分泌発表2
23	11/15	火	4	鈴木郁子	107	内分泌発表3

成績評価方法・基準		口頭試問・レポート・発表・課題合計で100%
授業外における学習(予習・復習)		1. 事前に実習の課題に相当する講義内容の復習を十分に行う。 2. あらかじめ実習書を読み, 実習の目的、手順、実習の意義を理解しておく。 3. 教科書などを調べ結果を予想しておく。予習・復習には講義ごとに概ね60分以上必要である。
教科書・参考文献等	教科書	大橋敦子監修 『生理学実習NAVI 第2版』(医歯薬出版、2017年) ISBN:9784263240724
	参考書	内田さえ・原田玲子ほか 『生理学 第3版』(医歯薬出版、2014年) ISBN:9784263241721
		志村まゆら・大澤秀雄監修 『○×でマスター生理学 第4版』(医歯薬出版、2018) ISBN:9784263240809
	その他	
連絡先・オフィスアワー		連絡先: 研究室418室 メールアドレス i-suzuki@jhsu.ac.jp オフィスアワー: 水曜日13:00～17:00
その他		【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP(1)に該当。

科目コード	12209
授業科目名	生理学実習 B
配当年次	2学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	45時間
授業形態	実験・実習
担当教員	鈴木 郁子
実務家教員	
授業科目の概要	生理学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲや解剖学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲで学習したヒトおよび動物における各種生理機能(循環、内分泌、筋収縮、神経伝導等)に対する理解を深めるために、実習・実験を通して学習する。そのために、各実習・実験の計画、基本的手法、データの処理法、結果の分析法、考察等に関してその記載方法やまとめ方について習得し、他者に実験内容をわかりやすく報告できるようなレポート作成を行う。また、実習ビデオにより実験の企画、実習材料、研究技術についても学習する。
授業の到達目標	1. 血圧測定の方法を理解する 2. 心電図や筋電図、誘発筋電図について理解する 3. 視覚や平衡感覚について理解する 4. 内分泌について理解する
特に関連する科目	生理学I 生理学II 生理学III 生物学 解剖学I 解剖学II 解剖学III 薬理学 病理学 物理療法学 運動生理学 解剖学実習 運動学実習 検査・測定実習 物理療法学演習 評価実習 総合臨床実習
授業の具体的な進め方	実験補助として鈴木慶、石井智也、嶋田裕司が加わる。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	9/27	火	3	鈴木郁子	107	オリエンテーション 体性感覚
2	9/27	火	4	鈴木郁子	107	味覚・嗅覚・聴覚
3	9/27	火	5	鈴木郁子	107	血圧の測定1
4	10/4	火	3	鈴木郁子	107	血圧の測定2
5	10/4	火	4	鈴木郁子	107	視覚測定2
6	10/4	火	5	鈴木郁子	107	心電図1
7	10/11	火	3	鈴木郁子	107	心電図2
8	10/11	火	4	鈴木郁子	107	心電図3
9	10/11	火	5	鈴木郁子	107	視覚概論
10	10/18	火	3	鈴木郁子	107	視覚測定1
11	10/18	火	4	鈴木郁子	107	視覚測定2
12	10/18	火	5	鈴木郁子	107	筋電図1
13	10/25	火	3	鈴木郁子	107	筋電図2
14	10/25	火	4	鈴木郁子	107	筋電図3
15	10/25	火	5	鈴木郁子	107	誘発筋電図1
16	11/1	火	3	鈴木郁子	107	誘発筋電図2
17	11/1	火	4	鈴木郁子	107	誘発筋電図3
18	11/1	火	5	鈴木郁子	107	平衡感覚概論
19	11/8	火	3	鈴木郁子	107	平衡感覚概論
20	11/8	火	4	鈴木郁子	107	平衡感覚測定2
21	11/8	火	5	鈴木郁子	107	内分泌発表1
22	11/15	火	3	鈴木郁子	107	内分泌発表2
23	11/15	火	4	鈴木郁子	107	内分泌発表3

成績評価方法・基準		口頭試問・レポート・発表・課題合計で100%
授業外における学習(予習・復習)		1. 事前に実習の課題に相当する講義内容の復習を十分に行う。 2. あらかじめ実習書を読み, 実習の目的、手順、実習の意義を理解しておく。 3. 教科書などを調べ結果を予想しておく。予習・復習には講義ごとに概ね60分以上必要である。
教科書 ・参考文献等	教科書	大橋敦子監修 『生理学実習NAVI 第2版』(医歯薬出版、2017年) ISBN:9784263240724
	参考書	内田さえ・原田玲子ほか 『生理学 第3版』(医歯薬出版、2014年) ISBN:9784263241721
		志村まゆら・大澤秀雄監修 『○×でマスター生理学 第4版』(医歯薬出版、2018) ISBN:9784263240809
	その他	
連絡先・オフィスアワー		連絡先: 研究室418室 メールアドレス i-suzuki@jhsu.ac.jp オフィスアワー: 水曜日13:00～17:00
その他		【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP(1)に該当。

科目コード	12210
授業科目名	運動学Ⅰ
配当年次	1学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	2単位
時間数	60時間
授業形態	講義
担当教員	東 裕一
実務家教員	理学療法士：東 裕一
授業科目の概要	解剖学、生理学を中心とした人体の構造だけではなく、局所あるいは全身の運動を理解するための基礎的科目です。 理学療法士は、医療職の中でも運動を専門的に扱う特殊な職業です。 各関節の構造、各関節の運動、移動動作を考えられるように学習していきます。
授業の到達目標	1. 骨の名称、骨の部位の名称、付着する筋あるいは靭帯の主なものを説明できる。 2. 大きな関節の構造、骨運動および関節包内運動を説明できる。 3. 筋収縮のメカニズム、種類について説明できる。 4. 肩関節の構造、運動について説明できる。 5. 肘関節・前腕の構造、運動について説明できる。 6. 手関節・手・手指の構造、運動について説明できる。 7. 脊柱の構造、運動について説明できる。 8. 股関節の構造、運動について説明できる。
特に関連する科目	関連し合う科目－解剖学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、体表解剖と触診法、生理学Ⅰ、Ⅱ この科目が基礎となる科目－運動学Ⅱ、運動学実習、理学療法評価学、基礎理学療法学、理学療法治療学
授業の具体的な進め方	講義を中心にすすめる

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	9/20	火	1	東裕一	217	オリエンテーション、記憶について
2	9/20	火	2	東裕一	217	運動学総論（骨運動と関節包内運動、骨格筋系における力、てこ）
3	9/26	月	1	東裕一	217	関節の基本構造と機能
4	9/26	月	2	東裕一	217	結合組織、軟骨、骨、筋
5	10/3	月	1	東裕一	217	筋と腱、筋の力-速度関係、筋の賦活化、筋の変化
6	10/3	月	2	東裕一	217	肩関節（骨、関節）1
7	10/17	月	1	東裕一	217	肩関節（骨、関節）2
8	10/17	月	2	東裕一	217	肩関節（運動）
9	10/24	月	1	東裕一	217	肩関節（筋）1
10	10/24	月	2	東裕一	217	肩関節（筋）2
11	10/31	月	1	東裕一	217	肘関節、前腕（骨、関節）1
12	10/31	月	2	東裕一	217	肘関節、前腕（骨、関節）2
13	11/7	月	1	東裕一	217	肘関節、前腕（運動）
14	11/7	月	2	東裕一	217	肘関節、前腕（筋）1
15	11/14	月	1	東裕一	217	中間試験
16	11/14	月	2	東裕一	217	試験解説、肘関節、前腕（筋）2
17	11/21	月	1	東裕一	217	手関節、手、手指（骨、関節）1
18	11/21	月	2	東裕一	217	手関節、手、手指（骨、関節）2
19	11/28	月	1	東裕一	217	手関節、手、手指（運動）1
20	11/28	月	2	東裕一	217	手関節、手、手指（運動）2
21	12/5	月	1	東裕一	217	手関節、手、手指（筋）
22	12/5	月	2	東裕一	217	脊柱、胸郭（骨、関節）1
23	12/12	月	1	東裕一	217	脊柱、胸郭（骨、関節）2
24	12/12	月	2	東裕一	217	脊柱、胸郭（骨、関節）3
25	12/19	月	1	東裕一	217	脊柱、胸郭（運動）1
26	12/19	月	2	東裕一	217	脊柱、胸郭（運動）2
27	1/16	月	1	東裕一	217	脊柱胸郭（筋）
28	1/16	月	2	東裕一	217	骨盤、股関節（骨、関節）1
29	1/23	月	1	東裕一	217	骨盤、股関節（骨、関節）2
30	1/23	月	2	東裕一	217	骨盤、股関節（骨、関節）3

成績評価方法・基準		定期試験（中間試験40%、期末試験40%）、ポートフォリオ5%、骨スケッチ10%、カラーリング5%）
授業外における学習（予習・復習）		1）解剖学の復習　　2）生理学の復習
教科書・参考文献等	教科書	Donald A. Neumann（著）『筋骨格系のキネシオロジー　第3版』（医歯薬出版、2018年） ISBN:9784263265819
	参考書	David J. Magee 『運動器リハビリテーションの機能評価<1>』（エルゼビア・ジャパン、2006年） ISBN:9784860348526
		David J. Magee 『運動器リハビリテーションの機能評価<2>』（エルゼビア・ジャパン、2006年） ISBN:9784860348533
		I.A. Kapandji 『カパンディ 関節の生理学<1> 上肢』（医歯薬出版、1995年） ISBN:9784263211021
		I.A. Kapandji 『カパンディ関節の生理学<2> 第2版 下肢』（医歯薬出版、1995年） ISBN:：9784263211038
		I.A. Kapandji 『カパンディ関節の生理学<3> 体幹・脊柱』（医歯薬出版、1991年） ISBN:9784263211045
		J. Castaing,ら 『図解関節・運動器の機能解剖～上肢・脊柱編～<上肢・脊柱編>』（協同医書出版社、1996年） ISBN:9784763910059
		J. Castaing,ら 『図解関節・運動器の機能解剖～下肢編～<下肢編> 下肢編』（協同医書出版社、1986年） ISBN:9784763910066
	その他	
連絡先・オフィスアワー		
その他		

科目コード	12211
授業科目名	運動学Ⅱ
配当年次	2学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	東 裕一
実務家教員	理学療法士：東 裕一
授業科目の概要	解剖学、生理学を中心とした人体の構造だけではなく、局所あるいは全身の運動を理解するための基礎的科目です。 理学療法士は、医療職の中でも運動を専門的に扱う特殊な職業です。
授業の到達目標	1. 膝関節の構造、運動について説明できる。 2. 足関節、足部の構造、運動について説明できる。 3. 立位、座位について姿勢観察のポイントを説明できる。 4. 歩行について距離的因子、時間的因子を説明できる。 5. 正常歩行について下肢関節の動き、骨盤、重心の動きが説明できる。
特に関連する科目	関連し合う科目－解剖学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、体表解剖と触診法、生理学Ⅰ、Ⅱ、運動学Ⅰ この科目が基礎となる科目－各理学療法評価・治療学
授業の具体的な進め方	講義を中心にすすめる

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/8	金	2	東裕一	306	膝関節（骨、関節）1
2	4/15	金	2	東裕一	306	膝関節（骨、関節）2
3	4/22	金	2	東裕一	306	膝関節（運動）1
4	4/29	金	2	東裕一	306	膝関節（運動）2
5	5/13	金	2	東裕一	306	膝関節（筋）
6	5/27	金	2	東裕一	306	足関節、足部（骨、関節）
7	6/3	金	2	東裕一	306	足関節、足部（運動）
8	6/10	金	2	東裕一	306	中間試験
9	6/17	金	2	東裕一	306	試験解説、足関節、足部（筋）
10	6/21	火	2	東裕一	306	顔面、頭部（骨）
11	7/1	金	2	東裕一	306	顔面、頭部（筋）
12	7/8	金	2	東裕一	306	姿勢
13	7/15	金	2	東裕一	306	歩行周期、歩行に関する用語
14	7/22	金	2	東裕一	306	歩行のキネマティクス
15	7/29	金	2	東裕一	306	歩行の筋電図

成績評価方法・基準		中間試験、期末試験の成績およびポートフォリオ、カラーリングの提出による。試験範囲は分割します。学習のポイントを参照してください。
授業外における学習（予習・復習）		1）解剖学の復習 2）生理学の復習 3）運動学Ⅰの復習
教科書・参考文献等	教科書	Donald A. Neumann 『筋骨格系のキネシオロジー 第3版』（エルゼビア・ジャパン、2018年） ISBN:9784263265819
	参考書	イブラハム・アダルバード・カパンディ, 荻島秀男 著 『カパンディ関節の生理学<2> 第2版 下肢』（医歯薬出版、1995年） ISBN:9784263211038
		David J. Mageeほか 『運動器リハビリテーションの機能評価<2>』（エルゼビア・ジャパン、2006年） ISBN:9784860348533
		ジーン・キャスティング, 井原秀俊 著 『図解関節・運動器の機能解剖～下肢編～<下肢編> 下肢編』（協同医書出版社、1986年） ISBN:9784763910066
	その他	
連絡先・オフィスアワー		
その他		

科目コード	12212
授業科目名	運動学実習
配当年次	2学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	45時間
授業形態	実験・実習
担当教員	高橋 真、旭 竜馬、大森 啓之、浅見 正人
実務家教員	理学療法士：高橋 真・旭 竜馬・大森 啓之・浅見 正人
授業科目の概要	運動学Ⅰ・Ⅱで身につけた知識を基礎として、様々な身体の反応、運動や動作に対する観察や計測のための具体的手法を自ら実践、分析し、これらのメカニズムやその分析方法について学習する。そして、本実習を通して、病態運動学および運動障害学を学ぶための基礎的技能を習得する。 具体的な実習プログラム（全23回）は下記とする。 ①ガイダンス：講義概要と演習の進め方（高橋 真／1回） ②個人実習Ⅰ：姿勢分析（高橋 真／3回） ③個人実習Ⅱ：歩行分析（高橋 真／3回） ④グループ実習Ⅰ：運動学習（大森 啓之／4回） ⑤グループ実習Ⅱ：力の測定（旭 竜馬／4回） ⑥グループ実習Ⅲ：呼吸運動測定（高橋 真／4回） ⑦グループ実習Ⅳ：平行機能・バランス能力（浅見 正人／4回） （オムニバス形式／全23回）
授業の到達目標	個人実習1 1. 二つの方法での身体の重心位置を推定できる。 2. 立位における身体肢節のアライメントを評価できる。 講義と個人実習2 1. レポート作成（構成，SI単位，精度・誤差，数値のまるめ，KJ法，体裁など）ができる。 2. 直線歩行を行い，時間と歩数から歩行速度，歩幅，歩行率を算出することができる。 3. 歩行における運動残効について，歩行速度に注目し確認する。 グループ実習 1.平行機能，バランス能力を分析ができる。 2. 筋のトルク値を計測し，解釈できる。 3. 巻き尺，角度計，ノギス等を用いた動作分析ができる。 4. 運動学習におけるKR（結果の知識）について実験を通し理解する。
特に関連する科目	運動学Ⅰ，運動学Ⅱ，臨床動作分析学
授業の具体的な進め方	レポート作成方法に関する講義，および実験実習。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/14	木	1	高橋真	306	コースオリエンテーション　姿勢分析（個人実習）概要説明
2	4/21	木	1	旭竜馬 大森啓之	306	グループ実習Ⅰ・グループ実習Ⅱ
3	4/21	木	2	旭竜馬 大森啓之	306	グループ実習Ⅰ・グループ実習Ⅱ
4	4/28	木	1	旭竜馬 大森啓之	306	グループ実習Ⅰ・グループ実習Ⅱ
5	4/28	木	2	旭竜馬 大森啓之	306	グループ実習Ⅰ・グループ実習Ⅱ
6	5/12	木	1	旭竜馬 大森啓之	306	グループ実習Ⅰ・グループ実習Ⅱ
7	5/12	木	2	旭竜馬 大森啓之	306	グループ実習Ⅰ・グループ実習Ⅱ
8	5/19	木	1	旭竜馬 大森啓之	306	グループ実習Ⅰ・グループ実習Ⅱ
9	5/19	木	2	旭竜馬 大森啓之	306	グループ実習Ⅰ・グループ実習Ⅱ
10	5/26	木	1	浅見正人 高橋真	306	グループ実習Ⅲ・グループ実習Ⅳ
11	5/26	木	2	浅見正人 高橋真	306	グループ実習Ⅲ・グループ実習Ⅳ
12	6/2	木	1	浅見正人 高橋真	306	グループ実習Ⅲ・グループ実習Ⅳ
13	6/2	木	2	浅見正人 高橋真	306	グループ実習Ⅲ・グループ実習Ⅳ
14	6/9	木	1	浅見正人 高橋真	306	グループ実習Ⅲ・グループ実習Ⅳ
15	6/9	木	2	浅見正人 高橋真	306	グループ実習Ⅲ・グループ実習Ⅳ
16	6/16	木	1	浅見正人 高橋真	306	グループ実習Ⅲ・グループ実習Ⅳ
17	6/16	木	2	浅見正人 高橋真	306	グループ実習Ⅲ・グループ実習Ⅳ
18	6/23	木	1	高橋真	306	個人実習　Ⅰ　姿勢分析
19	6/23	木	2	高橋真	306	個人実習　Ⅰ　姿勢分析
20	6/30	木	1	高橋真	306	個人実習　Ⅰ　姿勢分析
21	6/30	木	2	高橋真	306	個人実習　Ⅱ　歩行分析
22	7/7	木	1	高橋真	306	個人実習　Ⅱ　歩行分析
23	7/7	木	2	高橋真	306	個人実習　Ⅱ　歩行分析

成績評価方法・基準		実習レポートなどによる 各担当教員からの成績の総和―個人実習各10%（計20%），グループ実習各20%（計80%）―とする。 60%以上を合格とする。
授業外における学習（予習・復習）		授業計画に沿って教科書で予習し、講義後は、教科書、講義で配布される資料、参考文献を用いて復習をおこなうこと。予習・復習には講義ごとに概ね60分以上必要である。
教科書 ・参考文献等	教科書	中村隆一，他 『基礎運動学　第6版<補訂>』（医歯薬出版、2014年） ISBN:9784263211533
	参考書	伊東　元，高橋正明（編）『標準理学療法学・作業療法学～専門基礎分野～<運動学>（STANDARD TEXTBOOK）』（医学書院、2012年） ISBN:9784260000208
		安藤正志，丸山仁司，黒澤和生（編）『運動学実習マニュアル　第3版（理学療法科学シリーズ）』（アイペック、2006年） ISBN:4900943576
	その他	
連絡先・オフィスアワー		オフィスアワー：オムニバスのため各教員ごとに別途提示
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 理学療法士としての（専門機関における）実務経験を活かした実習を行う。 【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP（1）に該当。

科目コード	12213
授業科目名	運動生理学
配当年次	3学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	江口 勝彦
実務家教員	理学療法士 ： 江口 勝彦
授業科目の概要	運動生理学は、運動する(行っている)人体の生理学である。従って、「運動と筋」、「運動と呼吸」、「運動と循環」、「運動とエネルギー代謝」に関する正常生理学を中心に学習する。そして、理学療法士として呼吸・循環を含むエネルギー代謝について理解し、各種運動療法を施行する上での生体に対する「運動の影響や作用」、さらには、各種スポーツおよびメタボリックシンドローム対策等の健康増進分野における「運動の効用」について学習する。
授業の到達目標	「運動と筋」、「運動と呼吸」、「運動と循環」、「運動とエネルギー代謝」に関する正常生理学の基礎を理解し、運動時の各種反応、身体変化を生理学的に理解できることを到達目標とする。 到達目標の一部を下記に示す。 ・運動生理学とは何かを理解する ・体力について理解する ・筋肉とは何かを理解する ・筋収縮について理解する ・呼吸運動について理解する ・換気について理解する ・呼吸と酸塩基反応につて理解する ・運動と呼吸につて理解する ・運動時の循環反応について理解する ・急激な運動時の心血管反応について理解する ・心電図の異常波形とその臨床的意義について理解する ・基本的なエネルギー代謝について理解する ・酸素摂取能力の診断について理解する ・循環器負荷試験について理解する ・持久性トレーニングの生理学的効果について理解する 各単元ごとに、到達目標・行動目標を示すとともに、学生自身が学習の到達状況を知る為に、成的評価の一部としてミニクイズを実施する。
特に関連する科目	関連し合う科目－解剖学、生理学、生化学、栄養学 この科目が基礎となる科目－各理学療法評価・治療学
授業の具体的な進め方	・単元ごとに、到達目標・行動目標を示す。遠隔による講義を中心とする ・遠隔授業時は、講義中に複数回出席を取る。指定時間内に確認できない場合は、遅刻(最初の確認)、早退(2回目以降の確認)、欠席(出席確認に加え，スライドの視聴，課題への反応を含む)と判断する。 ・また、教員に対する質問や学生同士で討論する機会としてチャット(Google)を利用する。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	10/31	月	1	江口勝彦	312	第1講 コースオリエンテーション この科目のコースオリエンテーションと学習方法などについて 運動生理学概論　理学療法と運動生理　運動生理学の定義・分類，体力とは
2	10/31	月	2	江口勝彦	312	第2講 筋の運動生理学 身体運動と筋　筋の分類と骨格筋構造　筋収縮とエネルギー供給
3	11/7	月	1	江口勝彦	312	第3講 筋の運動生理学 身体運動と筋　筋収縮の様式と筋線維分類，筋のタンパク質　筋節長と張力，筋の粘弾性，筋力
4	11/7	月	2	江口勝彦	312	第4講 筋の運動生理学 身体運動と筋　筋の形態(筋長，筋線維長，羽状角)と機能
5	11/14	月	1	江口勝彦	312	第5講 筋の運動生理学 身体運動と筋　トレーニングと筋節長・筋断面積・筋線維タイプの変化
6	11/14	月	2	江口勝彦	312	第6講 筋の運動生理学 身体運動と筋　筋肥大のメカニズム，筋疲労，筋電図
7	11/21	月	1	江口勝彦	312	第7講 呼吸の運動生理学 呼吸運動と呼吸生理　運動と呼吸　呼吸生理の記号と用語，呼吸運動，換気
8	11/21	月	2	江口勝彦	312	第8講 呼吸の運動生理学 呼吸運動と呼吸生理　運動と呼吸　血液ガス
9	11/28	月	1	江口勝彦	312	第9講 呼吸の運動生理学 呼吸運動と呼吸生理　運動と呼吸　酸素解離曲線，呼吸と酸塩基反応，運動と呼吸
10	11/28	月	2	江口勝彦	312	第10講 循環の運動生理学 呼吸運動と呼吸生理　運動と呼吸　運動と呼吸調整，呼吸筋と呼吸筋トレーニング
11	12/5	月	1	江口勝彦	312	第11講 循環の運動生理学 身体運動と循環　身体運動と心血管反応
12	12/5	月	2	江口勝彦	312	第12講 循環の運動生理学 身体運動と循環　心電図
13	12/12	月	1	江口勝彦	312	第13講 循環の運動生理学 身体運動と循環　心電図の異常とその臨床的意義
14	12/12	月	2	江口勝彦	312	第14講 エネルギー代謝と運動生理学 嫌気性代謝と好気性代謝　代謝当量(METS)
15	12/19	月	1	江口勝彦	312	第15講 エネルギー代謝と運動生理学 エネルギー消費と運動負荷試験　持久性トレーニング

成績評価方法・基準		形成的評価(ミニクイズ)、総合評価、受講態度などを総合的に評価する。ミニクイズおよび筆記試験では、すべてにおいて毎回60%を合格最低ラインと定める。欠席時の点数は0点と扱う。出席を確認した内、出席率2/3に満たない場合は、総合評価の試験を受けることができない。遅刻、早退は3カウントで欠席1とする。出席確認のみならず、 スライド視聴、課題への反応など実質的な受講の様子が見られない場合は、欠席と判断する。成績の配分は、形成的評価(ミニクイズ)50%、総合評価(筆記試験)50%を基準とする。
授業外における学習(予習・復習)		1)毎回、事前に講義予定部分に関する「生理学」の復習を十分にしておくこと。講義の中で該当部分の生理学(静的人体正常生理)についても復習するが、基本的には既に理解しているものとして講義を進める。 2)ほぼ毎回、講義の最初に、基礎事項と前回の講義内容の理解度を確認する為にミニクイズを行う。復習を必ず行うこと。 3)講義時間内に質問などを行い十分理解することが望ましいが、理解不足や疑問点などは参考図書などで補い、それでもわからない場合は電子メール(別途指示)にて質問を受け付ける。 1単位30時間の講義なので、15時間の自己学習が必要である。すなわち、1回の講義に対し、予習復習を含め1時間の自己学習を要する。
教科書・参考文献等	教科書	小山勝弘・安藤大輔　編著『運動生理学～生理学の基礎から疾病予防まで～ 第2版』(三共出版、2021年) ISBN:9784782708026
		オリジナル印刷教材
	参考書	適宜紹介する
	その他	
連絡先・オフィスアワー		オフィスアワー:随時，メール，クラスルーム，またはチャットにて 連絡先：k-eguchi@jhsu.ac.jp 研究室：421号室
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 理学療法士としての(専門機関における)実務経験を活かした講義を行う 【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP(1)に該当

科目コード	12214
授業科目名	人間発達学
配当年次	1学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	15時間
授業形態	講義
担当教員	糸数 昌史、小島 憲司
実務家教員	理学療法士：糸数 昌史、小島 憲司
授業科目の概要	発達に関する知識は理学療法の臨床場面において非常に重要なものである。そこで、本講義では、人間の正常な運動機能、言語機能、情緒機能、知的機能および社会性の発達を理解するために、人間発達の定義や一般原理、運動発達（身体の発達、姿勢反射や粗大運動の経時的変化等）および精神発達（数概念、時間概念、記憶、言葉の経時的変化等）、代表的な発達評価について学習する。また、各期（乳幼児期、青年期、成人期、老年期）における身体的・精神的発達の特徴や変化についても学習する。
授業の到達目標	1. 人間発達の特徴と基本的な段階について、自身の発達や体験を通して説明することができる 2. 各ライフステージの特徴について説明することができる 3. 障がい児、障がい者の発達およびライフステージの特徴について説明することができる 4. 人間発達に関連する理論や評価スケールなどを整理し、説明することができる
特に関連する科目	解剖学　生理学　運動学　基礎理学療法学　各理学療法評価・治療学
授業の具体的な進め方	本講義では各回の最後に講義内容に関連するミニテストをWeb上で実施し成績に反映する。 講義のフィードバックは各自の端末からリアクションペーパーを作成し、次回の講義にて必要に応じて紹介およびフォローを行う。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	9/30	金	3	糸数昌史 小島 憲司	遠隔	オリエンテーション・人間発達学総論
2	10/7	金	2	糸数昌史 小島 憲司	遠隔	胎児の発達と周産期および出生・新生児期の発達
3	10/14	金	2	糸数昌史 小島 憲司	遠隔	乳児期の発達（粗大運動）
4	10/21	金	3	糸数昌史 小島 憲司	遠隔	乳児期の発達（認知社会性）
5	10/28	金	3	糸数昌史 小島 憲司	遠隔	幼児期の発達（粗大運動）
6	11/4	金	3	糸数昌史 小島 憲司	遠隔	幼児期の発達
7	11/11	金	3	糸数昌史 小島 憲司	遠隔	学齢期と青年期の発達
8	11/18	金	3	糸数昌史 小島 憲司	遠隔	成人期と老年期の発達

成績評価方法・基準		ミニテストおよび定期テストの結果を合算し60%以上の場合に単位認定とする ※テスト等の評価割合等についてはオリエンテーションで説明する
授業外における学習（予習・復習）		授業計画に沿って教科書で予習をおこなうこと、講義後は、配布した資料と実施したミニテストの問題等を用いて復習をおこなうこと。予習・復習には講義ごとに概ね60分以上必要である。
教科書 ・参考文献等	教科書	上杉雅之 『イラストでわかる人間発達学』（医歯薬出版、2015年） ISBN:9784263219454
		必要に応じて、講義プリントを配布する
	参考書	森岡周 『発達を学ぶ～人間発達学レクチャー～』（協同医書、2015年） ISBN:9784763910776
		大城昌平 『リハビリテーションのための人間発達学　第3版』（メディカルプレス、2021年） ISBN:9784907347901
		岩崎清隆・他 『標準理学療法学・作業療法学～専門基礎分野～〈人間発達学〉第2版(STANDARD TEXTBOOK)』（医学書院、2017年） ISBN:9784260032643
		細田多穂 『人間発達学テキスト(シンプル理学療法学・作業療法学シリーズ)』（南江堂、2014年） ISBN:9784524268672
	その他	特になし
連絡先・オフィスアワー		授業後にオンラインまたはメールにて対応する
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 理学療法士としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。 【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP(1)に該当。

科目コード	12215
授業科目名	医学概論
配当年次	1学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	15時間
授業形態	講義
担当教員	塚本 哲
実務家教員	医師：塚本 哲
授業科目の概要	医学におけるヒューマニズムと科学・技術としての医学について理解するために、医学の歴史、医の倫理、医療と社会、医学の方法論、健康（疾病）と医学、個体性の医学等について学習する。
授業の到達目標	これから4年間、理学療法士に要求される十分な知識と技術を身につけるために様々なことを学ぶが、この授業を学ぶことにより、 1. 自分が今、学んでいることが、医学の広大な領域の中のどの部分を学んでいるのかがわかるようになる。 2. これから学ぶ様々な科目の意義と概要を総論的に学ぶことにより、その授業に入ってゆき易くなる。
特に関連する科目	専門基礎・専門科目の全てにつながっている。
授業の具体的な進め方	教科書を解説するかたちで行う。質問は口頭でもメールでもいつでも受け付ける。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/12	火	1	塚本哲	217	医学とは　医学の分野　医の倫理　医学の過去・現在・未来
2	4/19	火	1	塚本哲	217	人体のつくり　人を取り巻く環境　文化　健康とは
3	4/26	火	1	塚本哲	217	病気とは　国際疾病分類（ICD）病気が起こる原因
4	5/10	火	1	塚本哲	217	臓器ごとの主な病気
5	5/17	火	1	塚本哲	217	診断法　治療法　予防法
6	5/24	火	1	塚本哲	217	様々な医療従事者　チーム医療　様々な医療のかたち
7	5/31	火	1	塚本哲	217	疫学　公衆衛生学　予防医療　医療に関する法律　医療行政
8	6/7	火	1	塚本哲	217	まとめ

成績評価方法・基準		定期試験100%
授業外における学習（予習・復習）		医学概論は医学・医療全体を把握する礎となる科目なので、授業と関係なく教科書を時々開いて読んでほしい。また在学4年間の中でも読み返すと次第に書かれている意味が良く理解できるようになってゆく。
教科書・参考文献等	教科書	中島泉 著 『医学概論～医学のコンセプトと医療のエッセンス～』（南江堂、2015年） ISBN:9784524267514
	参考書	適宜紹介する。
	その他	
連絡先・オフィスアワー		メール t-tsukamoto@jhsu.ac.jp へいつでもどうぞ。
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 医師としての（専門機関における）実務経験を活かした講義を行う。 【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP(1)に該当。

科目コード	12216
授業科目名	一般臨床医学
配当年次	1学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	塚本 哲
実務家教員	医師：塚本 哲
授業科目の概要	各種外科学（消毒法、胸部・腹部・軟部組織の腫瘍・外傷、皮膚創傷、褥瘡、熱傷）、産婦人科学、眼科学、耳鼻咽喉科学、皮膚科学の基本的な概念とその診断と治療の基礎について学習する。
授業の到達目標	理学療法士が患者を診る時、また医師、看護師等、他の職種の医療従事者とチーム医療を行う時に必要とされる、普段、理学療法士が専門としない臨床各科の知識を身に付ける。
特に関連する科目	解剖学　生理学　内科学　小児科学　老年医学　病理学　ほか理学療法学各論全般
授業の具体的な進め方	教科書を解説するかたちで行う。質問は口頭でもメールでもいつでも受け付ける。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	9/27	火	2	塚本哲	217	救命救急
2	10/4	火	2	塚本哲	217	外科
3	10/11	火	2	塚本哲	217	脳神経外科
4	10/18	火	2	塚本哲	217	皮膚科①
5	10/25	火	2	塚本哲	217	皮膚科②
6	11/1	火	2	塚本哲	217	泌尿器科①
7	11/8	火	2	塚本哲	217	泌尿器科②
8	11/15	火	2	塚本哲	217	まとめ
9	11/22	火	2	塚本哲	217	婦人科
10	11/29	火	2	塚本哲	217	産科
11	12/6	火	2	塚本哲	217	眼科
12	12/13	火	2	塚本哲	217	耳鼻咽喉科
13	12/20	火	2	塚本哲	217	老年病科
14	1/10	火	2	塚本哲	217	医学用語①
15	1/17	火	2	塚本哲	217	医学用語②

成績評価方法・基準		定期試験100%
授業外における学習（予習・復習）		多忙でしょうが、他の先生方の講義を受けた時も教科書の関連するところを読んでくれたら、とても良いと思います。
教科書・参考文献等	教科書	椿原彰夫・平岡崇 編著 『PT・OT・STのための一般臨床医学　第3版』（医歯薬出版、2014年）ISBN: 9784263219324
	参考書	適宜紹介する。
	その他	
連絡先・オフィスアワー		メール t-tsukamoto@jhsu.ac.jp へいつでもどうぞ。
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 医師としての（専門機関における）実務経験を活かした講義を行う。 【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP(1)に該当。

科目コード	12217
授業科目名	リハビリテーション医学
配当年次	2学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	塚本 哲
実務家教員	医師：塚本 哲
授業科目の概要	本講義では、臨床医学としてのリハビリテーション医学を理解するために、リハビリテーション医学の定義や歴史を含めた総論、臨床上遭遇することの多い対象疾患（神経系、運動器系、呼吸器系、循環器系疾患）の特徴とそれらの疾患による機能障害、能力障害、社会的不利、その代表的な検査と評価法、リハビリテーション・アプローチ（理学療法、作業療法、言語聴覚療法等）について学習する。
授業の到達目標	1. 患者それぞれの病態への深い理解に基づいた科学的根拠のある理学療法を実践できるようになる。 2. 様々な病態に応じたリハビリテーション計画を立てられるようになる。
特に関連する科目	解剖学　生理学　病理学　内科学　神経内科学　整形外科学
授業の具体的な進め方	教科書を解説するかたちで行う。質問は口頭でもメールでもいつでも受け付ける。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/11	月	3	塚本哲	306	リハビリテーションの理念
2	4/18	月	3	塚本哲	306	リハビリテーションの対象
3	4/25	月	3	塚本哲	306	障害の階層
4	5/9	月	3	塚本哲	306	評価法①
5	5/16	月	3	塚本哲	306	評価法②
6	5/23	月	3	塚本哲	306	治療法
7	5/30	月	3	塚本哲	306	ライフステージ毎の障害特性
8	6/6	月	3	塚本哲	306	まとめ
9	6/13	月	3	塚本哲	306	高齢者のリハビリテーション　脳血管障害　頭部外傷　脊髄損傷
10	6/20	月	3	塚本哲	306	神経筋疾患のリハビリテーション
11	6/27	月	3	塚本哲	306	運動器疾患のリハビリテーション
12	7/4	月	3	塚本哲	306	呼吸器疾患・循環器疾患のリハビリテーション
13	7/11	月	3	塚本哲	306	肢体不自由児のリハビリテーション
14	7/18	月	3	塚本哲	306	発達障害者・癌患者のリハビリテーション
15	7/25	月	3	塚本哲	306	精神障害者・災害時のリハビリテーション

成績評価方法・基準		定期試験100%
授業外における学習（予習・復習）		リハビリテーション医学は理学療法の中心となる科目であるので、自ら主体的に学習してほしい。
教科書・参考文献等	教科書	栢森 良二 著『 学生のためのリハビリテーション医学概論（第3版）』（医歯薬出版、2020年） ISBN:9784263266151
	参考書	適宜紹介する。
	その他	
連絡先・オフィスアワー		メール t-tsukamoto@jhsu.ac.jp へいつでもどうぞ。
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 医師としての（専門機関における）実務経験を活かした講義を行う。 【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP(1)に該当。

科目コード	12218
授業科目名	臨床心理学
配当年次	2学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	高橋 佳史
実務家教員	臨床心理士：高橋佳史
授業科目の概要	理学療法士は臨床場面において，直接対象者と接する機会をもつため，可能な限り対象者の心理を把握した対応が求められる。そこで，本講義では，リハビリテーション領域において必要となる臨床心理学の基礎理論（その歴史，防衛機制と転移，学習，記憶，行動等），各発達段階（児童・青年期，成人・高齢期）の心理および患者・障害者心理の課題と問題，そして，代表的な臨床心理検査法（知能検査，性格検査，適性検査）の目的や内容およびその方法について学習する。
授業の到達目標	到達目標は下記の2点とします ①臨床心理学の理論や実践の基礎的な知識を説明できる。 ②事例を通して，日常生活に潜む心理的な苦難を抱えた問題に対して自分なりの考えを持つことができる。
特に関連する科目	心理学　生理学　人間発達学　精神医学Ⅰ（基礎）　神経内科学Ⅰ（基礎）　神経内科学Ⅱ（応用）　小児科学　老年医学　カウンセリング
授業の具体的な進め方	授業はに講義形式で進行します。ペア・ワークや授業後の感想用紙などを用いて，受講生の能動的な学習を促し，受講生が授業に参加する機会を設けます。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/12	火	3	高橋佳史	306	イントロダクション
2	4/19	火	3	高橋佳史	306	パーソナリティの理解
3	4/26	火	3	高橋佳史	306	うつ病と抑うつ障害
4	5/10	火	3	高橋佳史	306	不安症
5	5/17	火	3	高橋佳史	306	統合失調症
6	5/24	火	3	高橋佳史	306	心的外傷後ストレス障害（PTSD）
7	5/31	火	3	高橋佳史	306	発達障害
8	6/7	火	3	高橋佳史	306	臨床心理学の理論と方法の歴史
9	6/14	火	3	高橋佳史	306	精神分析
10	6/21	火	3	高橋佳史	306	認知行動療法
11	6/28	火	3	高橋佳史	306	人間性心理学
12	7/5	火	3	高橋佳史	306	ナラティヴ・アプローチ
13	7/12	火	3	高橋佳史	306	心理アセスメント
14	7/19	火	3	高橋佳史	306	カウンセリング
15	7/26	火	2	高橋佳史	306	まとめ

成績評価方法・基準		定期試験100%
授業外における学習（予習・復習）		授業前に課題に取り組むこと
教科書・参考文献等	教科書	担当教員が作成した資料を使用します。
	参考書	授業で適宜紹介します。
	その他	
連絡先・オフィスアワー		質問等は授業の前後に対応します。
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 臨床心理士としての実務経験を活かした講義を行う。 【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP(1)(2)(3)に該当。

科目コード	12219
授業科目名	精神医学Ⅰ（基礎）
配当年次	2学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	仙波 浩幸
実務家教員	理学療法士：仙波 浩幸
授業科目の概要	精神障害についての知識を身につけるために、統合失調症、気分障害、神経症とストレス関連障害、認知症等高齢期の精神疾患、小児期・思春期の精神疾患に関して、精神障害の症状、病理、分類、治療、予後、リハビリテーション、関連法規等について学習する。
授業の到達目標	1. 各精神障害の知識を身につける。 2. 精神科疾患の診断、症状、治療、リハビリテーション、関連法規を知る。
特に関連する科目	人間発達学　老年医学　リハビリテーション医学
授業の具体的な進め方	1. 教科書を中心に進める。 2. プリントを配布する。 3. Power Point やCLICKERを可能な範囲で活用して進めていく。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	9/30	金	3	仙波宏幸	306	精神医学とは
2	10/7	金	3	仙波宏幸	306	精神障害の原因と分類
3	10/14	金	3	仙波宏幸	306	精神障害の原因と分類
4	10/21	金	3	仙波宏幸	306	精神障害と診断と評価
5	10/28	金	3	仙波宏幸	306	ライフサイクルから見た精神保健
6	11/4	金	3	仙波宏幸	306	ストレスと精神保健・不安障害・パーソナリティ(人格)障害、小児期の精神障害
7	11/11	金	3	仙波宏幸	306	統合失調症の原因、診断、治療、リハビリテーション、うつ病、そううつ病
8	11/18	金	3	仙波宏幸	306	前半(7回まで)まとめ
9	11/25	金	3	仙波宏幸	306	老年期の精神障害・認知症・器質性精神障害の原因、病態、リハビリテーション
10	12/2	金	3	仙波宏幸	306	アルコール、ニコチン依存、薬物依存の原因と病態・失語症、失行症、失行症、てんかんの神経解剖学的説明と原因、症状
11	12/9	金	3	仙波宏幸	306	神経疾患による精神障害、代謝性、内分泌性、薬物性障害、その他器質性精神障害・犯罪、非行、解離、PTSD
12	12/16	金	3	仙波宏幸	306	児童虐待精神保健法、心神喪失者等医療観察法と司法精神医学
13	12/23	金	3	仙波宏幸	306	脳機能の正常と異常・知能と知的障害・知覚と知覚障害・思考と思考障害
14	1/13	金	3	仙波宏幸	306	記憶と記憶障害・感情と感情障害・意識と意識障害・意欲と意欲障害・その他用語の補足
15	1/20	金	3	仙波宏幸	306	上記項目(精神医学)に関する復習

成績評価方法・基準		定期試験100%
授業外における学習(予習・復習)		【予習について】 1. 次回の授業を受ける範囲を教科書で一回読む。その際、重要な個所や覚えなければいけないと思われる箇所にはunderline や横線を引きながら読む。 2. 分かりにくい所は授業で尋ねるためにcheckして置く。 3. 時間は30分程度を目標とする。 【復習について】 1. 授業で記載したノートで、不十分な記載や分かりにくい記載は教科書や参考書で調べて、補って、完全なノートにする。余裕があればサブノートを作る。可能なら左側に問題、右側に解答のサブノートにする。大きな合成問題は、いくつかの小問題に分解して記載する。 2. ノートを完全にしたら、その内容を暗記する。部分的に教科書をそのまま暗記するならそのまま暗記して良い。暗記であるから、ノートを見ないで、教科書を見ないで、空で言えるようにする。空で言えなかった場合は、読み直して覚える。そして、出来なかった部分にcheckをつけておく。あとから、checkをつけた問題(出来なかった問題)だけをやり直す。出来た問題はやり直さなくて良い。従って、出来ない問題は毎回少なくなっていく。出来なかった問題がゼロになるまでそれを繰り返す。 3. 時間は、ノートの完成とその後の暗記が終わるまでだが、一講義当り1時間(或いは1時間以上)程度を目標にする。ノート作成は出来たが暗記の時間がなかった場合は、暗記は翌朝電車の中か、或いは次の土曜か日曜には終えておく。そこまで終えておけば、試験前の勉強は、1回以上出来なかったcheckのついた問題だけを一般にはやればよいから、短時間で終わる。
教科書・参考文献等	教科書	作田勉 『精神保健への招待(改訂版)』 (世論時報社、2010年) ISBN:9784915340758
	参考書	適宜紹介する
	その他	
連絡先・オフィスアワー		連絡は教務課を通してください。 オフィスアワー:　講義日の 12:40～13:30 教務課まで
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 医師としての(専門機関における)実務経験を活かした講義を行う。 【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP(1)に該当。

科目コード	12220
授業科目名	整形外科学Ⅰ（基礎）
配当年次	2学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	15時間
授業形態	講義
担当教員	2022年9月着任予定
実務家教員	
授業科目の概要	本講義では、整形外科に特有の検査法、診断法、治療法やリハビリテーション等について学習する。それとともに、外傷学（創傷、打撲、脱臼、骨折、捻挫等の分類、症状、合併症、治癒機転等）についても学習する。 特に、解剖学Ⅰで学習する運動器に関する知識は重要であるため、授業中に必要に応じて復習も加えるが、前提としてこれらの知識の整理を授業前までに各自で行う。
授業の到達目標	・整形外科に特有の検査法、診断法、治療法やリハビリテーションに関する知識を身につける。 ・外傷学（創傷、打撲、脱臼、骨折、捻挫等の分類、症状、合併症、治癒機転等）の基礎知識を身につける。
特に関連する科目	解剖学Ⅰ　解剖学Ⅱ　解剖学Ⅲ　解剖学実習　生理学Ⅰ　生理学Ⅱ　生理学Ⅲ　生理学実習　体表解剖と触診法　運動学Ⅰ　運動学Ⅱ　医学概論　一般臨床医学　リハビリテーション医学　病理学　整形外科学Ⅱ（応用）　各理学療法評価・治療学
授業の具体的な進め方	1. 教科書とともにPower Pointを活用して教授することを中心とする。 2.「骨」「関節」「筋・神経」「外傷学」のそれぞれの構造、生理、病態、病理の後にレポートを課す（計4回）。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	9/22	木	4	2022年9月着任予定	306	運動器疾患　①
2	9/29	木	4	2022年9月着任予定	306	運動器疾患　②
3	10/6	木	4	2022年9月着任予定	306	運動器疾患　③
4	10/13	木	4	2022年9月着任予定	306	整形外科基礎①
5	10/20	木	4	2022年9月着任予定	306	整形外科基礎②
6	10/27	木	4	2022年9月着任予定	306	国家試験問題①
7	11/10	木	4	2022年9月着任予定	306	国家試験問題②
8	11/17	木	4	2022年9月着任予定	306	国家試験問題③

成績評価方法・基準		定期試験60%　レポート40%
授業外における学習（予習・復習）		事前に教科書に目を通して授業内容の概要を把握しておくこと。 次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと。
教科書・参考文献等	教科書	井樋栄二 著『標準整形外科学　第14版』（医学書院、2020年） ISBN:9784260038805
	参考書	適宜紹介する
	その他	
連絡先・オフィスアワー		質問・相談は授業前後に非常勤講師室で対応します。 授業日以外の連絡は教務課を通してください
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 医師としての（専門機関における）実務経験を活かした講義を行う。 【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP(1)に該当。

科目コード	12221
授業科目名	整形外科学Ⅱ（応用）
配当年次	2学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	2022年9月着任予定
実務家教員	
授業科目の概要	整形外科学Ⅰで身につけた知識と関連づけながら、具体的な整形外科疾患の特徴、病態、症状、合併症、検査、診断、治療、予後およびリハビリテーションについて学習する。対象とする疾患は、骨系統疾患、骨端症、骨・軟骨腫瘍、骨・関節感染、関節リウマチ、神経筋疾患、スポーツ傷害、脊髄損傷、切断、熱傷等である。これらの知識を身につけることにより整形外科とリハビリテーションの関連性について理解を深め、理学療法士として臨床で活用できることを目指すものである。
授業の到達目標	・リハビリテーションに関わる上で必要な整形外科全般についての基礎知識を習得する。 ・整形外科疾患の特徴、病態、症状、合併症、検査、診断、治療、予後いついて説明できる。
特に関連する科目	解剖学Ⅰ　解剖学Ⅱ　解剖学Ⅲ　解剖学実習　生理学Ⅰ　生理学Ⅱ　生理学Ⅲ　生理学実習　体表解剖と触診法　運動学Ⅰ　運動学Ⅱ　医学概論　一般臨床医学　リハビリテーション医学　病理学　整形外科学Ⅰ（基礎）　各理学療法評価・治療学
授業の具体的な進め方	教科書、配布資料とともにPower Pointを活用して教授することを中心とする

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	9/30	金	4	2022年9月着任予定	306	第Ⅱ編　整形外科診断総論　　第13章　検査
2	10/7	金	4	2022年9月着任予定	306	第Ⅲ編　整形外科治療総論 第14章　保存療法 第15章　手術療法
3	10/14	金	4	2022年9月着任予定	306	まとめレポート1
4	10/21	金	4	2022年9月着任予定	306	第Ⅳ編　整形外科疾患総論 第16章　軟部組織・骨・関節の感染症 第17章　関節リウマチとその類縁疾患
5	10/28	金	4	2022年9月着任予定	306	第Ⅳ編　整形外科疾患総論 第18章　変形性関節症とその類縁疾患 第19章　四肢循環障害と阻血壊死性疾患 第20章　先天性骨系統疾患 第21章　先天異常症候群 第22章　代謝性骨疾患
6	11/4	金	4	2022年9月着任予定	306	第Ⅳ編　整形外科疾患総論 第23章　骨腫瘍 第24章　軟部腫瘍 第25章　神経疾患，筋疾患 第26章　ロコモティブシンドローム
7	11/11	金	4	2022年9月着任予定	306	第Ⅷ編　リハビリテーション 第43章　運動器疾患のリハビリテーション 第44章　義肢 第Ⅶ編　スポーツと整形外科 第41章　スポーツ損傷 第42章　障害者スポーツ
8	11/18	金	4	2022年9月着任予定	306	まとめレポート2
9	11/25	金	4	2022年9月着任予定	306	第Ⅵ編　整形外科外傷学 第36章　外傷総論 第37章　軟部組織損傷 第39章　脊椎・脊髄損傷 第40章　末梢神経損傷
10	12/2	金	4	2022年9月着任予定	306	第38章　骨折・脱臼
11	12/9	金	4	2022年9月着任予定	306	まとめレポート3
12	12/16	金	4	2022年9月着任予定	306	第Ⅴ編　整形外科疾患各論 第27章　肩関節 第28章　肘関節 第29章　手関節と手
13	12/23	金	4	2022年9月着任予定	306	第30章　頚椎 第31章　胸郭 第32章　胸椎，腰椎
14	1/13	金	4	2022年9月着任予定	306	第33章　股関節
15	1/20	金	4	2022年9月着任予定	306	第34章　膝関節 第35章　足関節と足 まとめレポート4

成績評価方法・基準		まとめレポート　100%
授業外における学習（予習・復習）		事前に教科書に目を通して授業内容の概要を把握しておくこと。 次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと。
教科書・参考文献等	教科書	井樋栄二 著『標準整形外科学　第14版』（医学書院、2020年） ISBN:9784260038805
	参考書	適宜紹介する
	その他	
連絡先・オフィスアワー		質問・相談はClassroomで対応します。
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 医師としての（専門機関における）実務経験を活かした講義を行う。 【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP(1)に該当。

科目コード	12222
授業科目名	神経内科学Ⅰ（基礎）
配当年次	2学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	15時間
授業形態	講義
担当教員	塚本 哲
実務家教員	医師：塚本 哲
授業科目の概要	神経は全身に分布しているので、それらの病変により生じる症状や障害は多様であり、これらの知識を正確に身につけることは理学療法士にとって重要なものとなる。そこで、本講義では、神経病学の総論（神経診断学、症候学）および神経内科の対象となる神経病学（脳血管障害、変性疾患、脱髄疾患、ミオパチー、脳炎・髄膜炎、神経梅毒、末梢神経障害、神経痛、代謝性神経疾患、中毒性神経疾患、脳腫瘍）について学習する。 本講義の内容を理解するためには、中枢神経系および末梢神経系の構造や機能に関する知識が重要になるため、授業の中で解説を行うこともあるが、各自が解剖学や生理学において該当する箇所について知識を整理することが求められる。
授業の到達目標	1. 理学療法士としてかかわることが多い神経障害をもつ患者の病態を的確に把握することができるようになる。 2. 患者毎に異なる病態に応じた理学療法を行えるようになる。
特に関連する科目	解剖学　生理学　病理学　内科学
授業の具体的な進め方	教科書を解説するかたちで行う。質問は口頭でもメールでもいつでも受け付ける。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/12	火	2	塚本哲	306	神経疾患患者のリハビリテーション
2	4/19	火	2	塚本哲	306	神経解剖学・神経生理学
3	4/26	火	2	塚本哲	306	診断法
4	5/10	火	2	塚本哲	306	検査法
5	5/17	火	2	塚本哲	306	意識障害　頭痛
6	5/24	火	2	塚本哲	306	麻痺　不随意運動
7	5/31	火	2	塚本哲	306	運動失調　感覚障害
8	6/7	火	2	塚本哲	306	まとめ

成績評価方法・基準		定期試験100%
授業外における学習（予習・復習）		神経内科の知識は理学療法士にとっては要となる。各自、教科書を熟読してほしい。
教科書・参考文献等	教科書	川平 和美著 『標準理学療法学・作業療法学～専門基礎分野～〈神経内科学〉 第5版(STANDARD TEXTBOOK)』（医学書院、2019年） ISBN:9784260038171
	参考書	医療情報科学研究所（編集）『病気がみえる〈vol.7〉 第2版　脳・神経』（メディックメディア、2017年） ISBN:9784896326864
	その他	
連絡先・オフィスアワー		メール t-tsukamoto@jhsu.ac.jp へいつでもどうぞ。
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 医師としての（専門機関における）実務経験を活かした講義を行う。 【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP（1）に該当。

科目コード	12223
授業科目名	神経内科学Ⅱ（応用）
配当年次	2学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	塚本 哲
実務家教員	医師：塚本 哲
授業科目の概要	神経内科学Ⅰで学習した知識とも関連づけながら、小児神経学（筋ジストロフィー、てんかん、脳性麻痺、二分脊椎、水頭症など）、脳神経外科学総論（診断学、治療学）および脳神経外科学各論（頭部外傷、脊髄損傷、末梢神経損傷、麻痺をきたす脊椎疾患）について学習する。これらの代表的な疾患を提示して、症候学および診断学について解説しながら、各疾患の特徴について理解できるよう講義を進める。従って、神経内科学Ⅰと同様に事前に解剖学、生理学の知識を各自で整理しなければならない。
授業の到達目標	1. 理学療法士としてかかわることが多い神経障害をもつ患者の病態を的確に把握することができるようになる。 2. 患者毎に異なる病態に応じた理学療法が実践できる、応用のきく知識が身につく。
特に関連する科目	解剖学　生理学　病理学　一般臨床医学　内科学　リハビリテーション医学　小児科学
授業の具体的な進め方	教科書を解説するかたちで行う。質問は口頭でもメールでもいつでも受け付ける。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	9/27	火	1	塚本哲	306	失認　失行
2	10/4	火	1	塚本哲	306	記憶障害　注意障害　遂行機能障害
3	10/11	火	1	塚本哲	306	構音障害　嚥下障害　脳神経外科領域疾患
4	10/18	火	1	塚本哲	306	循環障害①
5	10/25	火	1	塚本哲	306	循環障害②
6	11/1	火	1	塚本哲	306	認知症①
7	11/8	火	1	塚本哲	306	認知症②　腫瘍　外傷
8	11/15	火	1	塚本哲	306	まとめ
9	11/22	火	1	塚本哲	306	脊髄の疾患　変性疾患　脱髄疾患
10	11/29	火	1	塚本哲	306	錐体外路の変性疾患　末梢神経の疾患
11	12/6	火	1	塚本哲	306	てんかん　筋肉の疾患
12	12/13	火	1	塚本哲	306	感染症
13	12/20	火	1	塚本哲	306	中毒　小児の神経疾患①
14	1/10	火	1	塚本哲	306	小児の神経疾患②　神経疾患の合併症①
15	1/17	火	1	塚本哲	306	神経疾患の合併症②

成績評価方法・基準		定期試験100%
授業外における学習（予習・復習）		先に学んだ神経内科学Ⅰの続きだが、残りの部分を15回で学ばなければならず、患者を診る時に知っておいてほしいことだけでも語り尽くせない。一方、神経内科の知識は理学療法士にとっては要となるので自分でもよく勉強してほしい。
教科書・参考文献等	教科書	川平 和美著『標準理学療法学・作業療法学～専門基礎分野～<神経内科学> 第5版(STANDARD TEXTBOOK)』（医学書院、2019年） ISBN:9784260038171
	参考書	医療情報科学研究所（編集）『病気がみえる<vol.7> 第2版　脳・神経』（メディックメディア、2017年） ISBN:9784896326864
	その他	
連絡先・オフィスアワー		メール t-tsukamoto@jhsu.ac.jp へいつでもどうぞ。
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 医師としての（専門機関における）実務経験を活かした講義を行う。 【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP（1）に該当。

科目コード	12224
授業科目名	小児科学
配当年次	2学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	塚本 哲
実務家教員	医師：塚本 哲
授業科目の概要	理学療法士は小児の発達や小児期の発育上の特徴を理解し、発達期に生じた障害を有する小児に対する治療場面での基礎的知識を身につけなければならない。そこで、本講義では、出生前後から成長期において特徴的にみられる主な疾患（脳性麻痺、水頭症、二分脊椎、悪性腫瘍、遺伝子疾患、先天異常、感染症、呼吸器疾患、循環器疾患、知的障害と発達障害、アレルギー疾患等）に関して、その疫学、病理、症候、評価・検査・診断、治療法、予後およびリハビリテーションについて学習する。
授業の到達目標	障害をもつ小児（ときに未熟児、新生児も含む）に対して、今後の成長と発達を見据えながら、個々に異なる病態に応じた適切な理学療法を行うことができるようになる。小児は小さな成人ではなく、異なる生き物だと捉えて学んでほしい。
特に関連する科目	解剖学　生理学　病理学　内科学　神経内科学　リハビリテーション医学
授業の具体的な進め方	教科書を解説するかたちで行う。質問は口頭でもメールでもいつでも受け付ける。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	9/20	火	1	塚本哲	306	小児の正常な成長と発達
2	9/26	月	1	塚本哲	306	小児保健
3	10/3	月	1	塚本哲	306	小児の診断法と治療法総論
4	10/17	月	1	塚本哲	306	新生児と未熟児
5	10/24	月	1	塚本哲	306	先天異常と遺伝性疾患
6	10/31	月	1	塚本哲	306	小児の神経・骨格筋・骨の疾患
7	11/7	月	1	塚本哲	306	小児の循環器疾患
8	11/14	月	1	塚本哲	306	まとめ
9	11/21	月	1	塚本哲	306	小児の呼吸器疾患
10	11/28	月	1	塚本哲	306	小児の感染症
11	12/5	月	1	塚本哲	306	小児の消化器疾患
12	12/12	月	1	塚本哲	306	小児の内分泌・代謝疾患
13	12/19	月	1	塚本哲	306	小児の血液・免疫・アレルギー疾患・膠原病
14	1/16	月	1	塚本哲	306	小児の腎臓・泌尿器・生殖器疾患・腫瘍性疾患・精神疾患
15	1/23	月	1	塚本哲	306	重度心身障害児　小児の眼・耳・鼻の疾患

成績評価方法・基準		定期試験100%
授業外における学習（予習・復習）		他の先生方に子供のことについて習った時にも、教科書の関連するところを読んでみてください。
教科書・参考文献等	教科書	奈良　勲／鎌倉　矩子（監修）『標準理学療法学・作業療法学～専門基礎分野～〈小児科学〉第5版(STANDARD TEXTBOOK)』（医学書院、2017年） ISBN:9784260034340
	参考書	適宜紹介する。
	その他	
連絡先・オフィスアワー		メール t-tsukamoto@jhsu.ac.jp へいつでもどうぞ。
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 医師としての（専門機関における）実務経験を活かした講義を行う。 【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP（1）に該当。

科目コード	12225
授業科目名	内科学
配当年次	2学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	塚本 哲
実務家教員	医師：塚本 哲
授業科目の概要	内科疾患の患者が理学療法の対象となるだけでなく、リハビリテーションを必要とする者の多くが何らかの内科疾患を有しているため、理学療法士がこれらの対象者との関わりや求められる対応を身につけることは重要である。 そこで、本講義では、循環器系や呼吸器系等リハビリテーションとの関連の深い疾患や、消化器疾患、感染症、免疫疾患、内分泌・代謝疾患等について、その概要、病態、症状、検査、診断、治療、予後およびリハビリテーションについて学習する。その上で、理学療法の役割について理解を深めるものとする。
授業の到達目標	1. チーム医療に要求される水準の内部障害についての知識が身に付く。 2. 内部障害を持つ患者に対して病態に応じた適切な理学療法を行うことができるようになる。
特に関連する科目	解剖学　生理学　病理学
授業の具体的な進め方	教科書を解説するかたちで行う。質問は口頭でもメールでもいつでも受け付ける。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/11	月	4	塚本哲	306	内科総論　診断法
2	4/18	月	4	塚本哲	306	治療法　様々な症状
3	4/25	月	4	塚本哲	306	循環器の疾患①
4	5/9	月	4	塚本哲	306	循環器の疾患②
5	5/16	月	4	塚本哲	306	呼吸器の疾患①
6	5/23	月	4	塚本哲	306	呼吸器の疾患②
7	5/30	月	4	塚本哲	306	消化管の疾患
8	6/6	月	4	塚本哲	306	まとめ
9	6/13	月	4	塚本哲	306	肝・胆・膵の疾患
10	6/20	月	4	塚本哲	306	血液・造血器の疾患
11	6/27	月	4	塚本哲	306	代謝異常
12	7/4	月	4	塚本哲	306	内分泌の疾患
13	7/11	月	4	塚本哲	306	腎・泌尿器の疾患
14	7/18	月	4	塚本哲	306	アレルギー・免疫疾患　感染症
15	7/25	月	4	塚本哲	306	栄養学　救急

成績評価方法・基準		定期試験100%
授業外における学習（予習・復習）		広大な内科学の領域の全てを授業で解説することは不可能なので、復習は当然として、教科書全体を自分でも読んで理解してほしい。
教科書・参考文献等	教科書	奈良 勲 著『標準理学療法学・作業療法学～専門基礎分野～〈内科学〉第4版(STANDARD TEXTBOOK)』（医学書院、2020年） ISBN:9784260042901
	参考書	適宜紹介する。
	その他	
連絡先・オフィスアワー		メール t-tsukamoto@jhsu.ac.jp へいつでもどうぞ。
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 医師としての（専門機関における）実務経験を活かした講義を行う。 【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP（1）に該当。

科目コード	12226
授業科目名	老年医学
配当年次	2学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	塚本 哲
実務家教員	医師：塚本 哲
授業科目の概要	理学療法士は加齢に伴う心身の様々な機能的な変化について理解し、適切な対応をとる必要がある。そこで、本講義では、総論として、老化のメカニズム、加齢に伴う運動面や精神面の変化、特徴的な臨床・症候（老年症候群）について学習する。各論では、リハビリテーション領域の対象となる高齢者の疾病（呼吸器疾患、循環器疾患、運動器疾患、内分泌疾患、精神神経疾患等）や障害（睡眠障害、感覚器障害等）に関して、病態、症状、検査、評価、診断、治療について学習する。これらの学習を通して、理学療法士として高齢期におけるリハビリテーションの問題点やその対処方法等について理解する基礎を身につけるものである。
授業の到達目標	加齢による変化に加えて、様々な疾病を同時にもつ高齢者の極めて複雑な病態を正確に把握し、今後ますます増える高齢の患者に対して、個々に異なる病態に応じた適切な理学療法を行うことができるようになる。
特に関連する科目	解剖学　生理学　病理学　内科学　神経内科学　リハビリテーション医学
授業の具体的な進め方	教科書を解説するかたちで行う。質問は口頭でもメールでもいつでも受け付ける。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	9/20	火	2	塚本哲	306	老化と老年病　加齢による生理機能の変化
2	9/26	月	2	塚本哲	306	加齢による運動機能の変化　高齢者の精神・心理・性差
3	10/3	月	2	塚本哲	306	高齢者の機能・栄養・臨床検査値の評価法　薬物療法における注意
4	10/17	月	2	塚本哲	306	高齢者に多い症候
5	10/24	月	2	塚本哲	306	循環器の疾患
6	10/31	月	2	塚本哲	306	呼吸器の疾患
7	11/7	月	2	塚本哲	306	消化器の疾患
8	11/14	月	2	塚本哲	306	まとめ
9	11/21	月	2	塚本哲	306	神経・精神の疾患
10	11/28	月	2	塚本哲	306	糖尿病　内分泌・血液・免疫の疾患
11	12/5	月	2	塚本哲	306	腎・泌尿器の疾患　骨粗鬆症　運動器の疾患
12	12/12	月	2	塚本哲	306	皮膚・口腔の疾患　感染症
13	12/19	月	2	塚本哲	306	耳・鼻・眼の疾患　婦人科　外科治療　東洋医学
14	1/16	月	2	塚本哲	306	耳・鼻・眼の疾患　婦人科　外科治療　東洋医学
15	1/23	月	2	塚本哲	306	高齢者へのリハビリテーションと退院支援　在宅医療　エンド・オブ・ライフケア

成績評価方法・基準		定期試験100%
授業外における学習（予習・復習）		他の先生方にお年寄りのことについて習った時にも、教科書の関連するところを読んでみてください。
教科書・参考文献等	教科書	奈良 勲著 『老年学　第5版(標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野)』（医学書院、2020年） ISBN 9784260039475
	参考書	適宜紹介する。
	その他	
連絡先・オフィスアワー		メール t-tsukamoto@jhsu.ac.jp へいつでもどうぞ。
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 医師としての（専門機関における）実務経験を活かした講義を行う。 【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP（1）に該当。

科目コード	12227
授業科目名	病理学
配当年次	2学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	松山 永久
実務家教員	歯科医師：松山 永久
授業科目の概要	医療の開発とその普及による病気の予防と克服、国民健康増進の実践などで、日本の医学は著しい発展を遂げている。病理学は病気の本態を究明する医学で、病気の診断や治療の基本になる学問である。人間の疾病理解の基礎となる病理発症、進展、転帰、病因等疾病概念の本質を学習する。それぞれの疾病に共通する問題を総論的に捉え、循環障害炎症論、免疫病理学、腫瘍病理学等を学習する。人間に発症する疾病について、その病態生理と症状、診断過程、諸検査、主な治療法、疾病の経過（予後）疫学について学習する。
授業の到達目標	1. 病理学総論では、いくつかの病気をひとつに括り分けることができる、疾病の発生のメカニズムの視点に立って、疾病の発生原因とそれによる病理像を学ぶ。 2. 各論では、重要な疾病について、総論での知識を参考にして具体的に理解できることを目標とする。
特に関連する科目	人体構造学・機能学　病理学　臨床医学
授業の具体的な進め方	教科書の内容についてパワーポイントを使用し講義を行う。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/8	金	1	松山永久	306	序論　細胞の異常―病気の本態　P14～
2	4/15	金	1	松山永久	306	循環障害　①浮腫　②充血とうっ血　③出血　④血栓と塞栓　⑤虚血と梗塞　⑥DIC　P51～
3	4/22	金	1	松山永久	306	免疫と免疫異常　①免疫監視機構　②免疫　③アレルギー　④自己免疫疾患　P128～
4	4/29	金	1	松山永久	306	感染症と感染症　①感染と宿主　②病原体　③感染に対する防御能　④感染経路　P107～
5	5/13	金	1	松山永久	306	先天異常 ①遺伝とは　②先天異常とは　③遺伝要因と環境要因　P37～
6	5/27	金	1	松山永久	306	代謝異常 ①糖代謝異常　②脂質代謝異常　③タンパク質・カルシウム代謝異常　P71～
7	6/3	金	1	松山永久	306	炎症　①炎症原因　②炎症の分類　③炎症の全身反応　P151～
8	6/10	金	1	松山永久	306	老化　①細胞の老化と個体の老化　②　老化に伴う各臓器の変化　③　老化により発症する疾患　P93～
9	6/17	金	1	松山永久	306	腫瘍1　①がんとは何か　②腫瘍の分類　③ガンの特性　P166～
10	6/24	金	1	松山永久	306	腫瘍2　①腫瘍マーカーとガンの診断　②ガンの治療　P189～
11	7/1	金	1	松山永久	306	病理学各論1　①呼吸疾患　②循環器疾患　P201,223
12	7/8	金	1	松山永久	306	病理学各論2　①消化器疾患　P255～
13	7/15	金	1	松山永久	306	病理学各論3　①内分泌疾患　②腎・泌尿器疾患　P290,305
14	7/22	金	1	松山永久	306	病理学各論4　①血液疾患　②脳・神経疾患　P321,345
15	7/29	金	1	松山永久	306	病理学各論5　①運動器疾患　②女性生殖器疾患　P361,373

成績評価方法・基準		小テスト(10%)を行うが、定期試験(90%)をもって判定する。定期試験返却時に、試験に関する解説を配布する。
授業外における学習（予習・復習）		事前学修：[30分]授業で扱う予定範囲の教科書を読む 事後学修：[30分]授業での学習ポイントを整理する
教科書・参考文献等	教科書	小林 正伸　著　『なるほどなっとく!病理学plus～病態形成の機序と各器官の疾病の特徴～』(南山堂、2022年)　ISBN:9784525151812
	参考書	適宜紹介する。
	その他	
連絡先・オフィスアワー		北キャンパス　研究室24（在室中は随時）　n-matsuyama@jhsu.ac.jp（メールは18時まで）
その他		講義中はスマートフォンの電源を切ること。自身が、患者治療中にスマートフォンを使用することは、患者に対し不適切な行為であり不信感を与える他、医療ミスが生じることを考えてもらいたい。講義中に使用が発覚した学生については、直ちに学科長に報告し厳しく処分する。 【実務経験を活かした実践的教育内容】 【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP（1）に該当。

科目コード	12228
授業科目名	画像評価学
配当年次	3学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	15時間
授業形態	講義
担当教員	穴澤 卯圭
実務家教員	医師：穴澤 卯圭
授業科目の概要	正確な診断のために画像による評価、診断は重要な位置を占め、多くの画像評価、診断法が開発・発展しており、これらの方法を理解し、理学療法場面に活用することは欠かせないものとなっている。そこで、本講義では、リハビリテーション医療で一般的な疾患の病変の部位と性質、症状との関連性を画像分析を通して理解できる能力を養うために、X-P、CT、MRI、SPECT、超音波検査等の画像読影の基本的知識と技法について学習する。
授業の到達目標	1.臨床現場で使用されている画像検査についての基礎知識を習得する。 2.主な画像検査（X-P、CT、MRIなど）の実例に触れ、各診療科における代表疾患の画像を学ぶ。 3.画像を学ぶことによって解剖や疾患の理解を深める。
特に関連する科目	解剖学Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ 一般臨床医学 整形外科学Ⅰ，Ⅱ 内科学 老年医学
授業の具体的な進め方	スライドを中心に授業を進める。 参考書籍や配付資料を適宜使用する。 講義内容についての小テストを行い、その後に解答と解説を行う。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	6/1	水	3	穴澤卯圭	312	画像検査総論1放射線を用いた画像検査の原理、機器、人体に与える影響などについて学習し理解する。
2	6/1	水	4	穴澤卯圭	312	画像検査総論2放射線以外を用いた画像検査の原理、機器、人体に与える影響などについて学習し理解する。
3	6/8	水	3	穴澤卯圭	312	画像検査各論1運動器（1）上肢の画像検査
4	6/8	水	4	穴澤卯圭	312	画像検査各論2運動器（2）下肢の画像検査
5	6/15	水	3	穴澤卯圭	312	画像検査各論3運動器（3）脊柱、体幹の画像検査
6	6/15	水	4	穴澤卯圭	312	画像検査各論4頭蓋、顔面、脳、中枢神経系の画像検査
7	6/22	水	3	穴澤卯圭	312	画像検査各論5内臓系の画像検査呼吸器、循環器、消化器、泌尿器などの画像検査
8	6/22	水	4	穴澤卯圭	312	まとめ

成績評価方法・基準		試験（課題）100%
授業外における学習（予習・復習）		解剖学、整形外科学、内科学などの復習をして授業に臨むこと。 また、各回の講義後は内容の復習をして理解を深めること。 予習復習は合計で60分以上必要である。
教科書 ・参考文献等	教科書	水間正澄・川手信行編 『リハビリテーション医療に活かす画像のみかた』（南江堂、2019年） ISBN:9784524259076
	参考書	適宜紹介する。
	その他	
連絡先・オフィスアワー		質問等はクラスルームにて対応します。
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 医師としての実務経験を活かした講義を行う。 【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP（1）①に該当。

科目コード	12229
授業科目名	臨床検査学
配当年次	3学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	15時間
授業形態	講義
担当教員	塚本 哲
実務家教員	医師 ： 塚本 哲
授業科目の概要	採取された血液、尿・便、体液、喀痰等を検体として実施する各種臨床検査に関する知識は理学療法を実施する上で重要な評価基準や治療指針となる。そこで、本講義では、生化学的検査の目的と意義およびリハビリテーション領域における代表的疾患に対して実施される検査の項目やその正常値について学習し、理学療法の介入に役立てることができる技能を身につける。また、本科目の学習を通して、正常な解剖学や生理学に関しての理解を更に深めるものとする。
授業の到達目標	医学において画像診断と同様に欠かすことのできない病態情報である臨床検査データを読め、リハビリテーションに生かすことができる理学療法士になる。
特に関連する科目	化学　生化学　内科学
授業の具体的な進め方	教科書を解説するかたちで行う。質問は口頭でもメールでもいつでも受け付ける。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/8	金	2	塚本哲	312	臨床検査の基礎知識
2	4/15	金	2	塚本哲	312	尿検査・便検査・血液検査①
3	4/22	金	2	塚本哲	312	血液検査②・血液生化学検査①
4	4/29	金	2	塚本哲	312	血液生化学検査②
5	5/13	金	2	塚本哲	312	免疫血清学検査・内分泌検査①
6	5/27	金	2	塚本哲	312	内分泌検査②・腫瘍マーカー検査・感染症検査
7	6/3	金	2	塚本哲	312	穿刺液検査・生検検査
8	6/10	金	2	塚本哲	312	生理検査・画像検査

成績評価方法・基準		定期試験100%
授業外における学習（予習・復習）		臨床検査データだけを読んで病態を推定してみる(reversed CPC)を行って楽しんでほしい。
教科書・参考文献等	教科書	浅野　嘉延（著）『なるほどなっとく！臨床検査』（南山堂、2021年） ISBN:9784525210915
	参考書	村上 純子（著）『臨床検査専門医が教える異常値の読み方が身につく本』（じほう、2018年） ISBN:9784840750226
	その他	
連絡先・オフィスアワー		メール t-tsukamoto@jhsu.ac.jp へいつでもどうぞ。
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 医師としての（専門機関における）実務経験を活かした講義を行う。 【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP（1）に該当。

科目コード	12230
授業科目名	感染と免疫論
配当年次	3学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	15時間
授業形態	講義
担当教員	今西 健一
実務家教員	
授業科目の概要	理学療法の臨床場面において感染予防や対策は重要な領域であり、それらに関する基本的理解が必須である。そこで、本講義では、感染症に対する適切な対応や対策を実践するために、細菌・ウイルスといった病原体による感染症の種類と特徴、感染経路、感染予防等、臨床現場で必要となる感染の知識について学習する。また、免疫システムの基本的な仕組みを器官、細胞、分子レベルで理解するために、生体防御機構を中心とした免疫システムや免疫異常について学習する。
授業の到達目標	1. 感染性の微生物（細菌、真菌、原虫、ウイルス）の性質を知る。 2. 免疫システムの基本的な仕組みを理解する。 3. どのように感染が起こるかを、感染を起こす微生物側から、感染を受ける宿主側から理解する。 4. 医療の現場での感染防御に必要な知識を得る。
特に関連する科目	生物学　生理学　臨床検査学　公衆衛生学
授業の具体的な進め方	教科書に即してスライドを使って講義を行う。参考資料の内、可能なものはオンラインで見れます。各講義後に内容に関する課題をオンラインにアップし、提出されたものを評価します。 実習が出来る場合は、講義内容の一部変更を行います。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	6/10	金	3	今西健一	312	細菌の性質と感染の機構
2	6/17	金	3	今西健一	312	真菌･原虫の性質と感染機構
3	6/24	金	3	今西健一	312	ウイルスの性質と感染機構
4	7/1	金	3	今西健一	312	感染防御機構（1）
5	7/8	金	3	今西健一	312	感染防御機構（2）
6	7/15	金	3	今西健一	312	主な感染症
7	7/22	金	2	今西健一	312	実習（1） ① 身の回りの細菌を培養する ② グラム染色をする ③ 顕微鏡で観察し、スケッチをする クラスを分けて、半数はGoogle classroomを利用して、「感染源･感染経路からみた感染症、あるいは滅菌と消毒/感染症の治療」の講義を行う。
8	7/22	金	3	今西健一	312	実習（2） ① 身の回りの細菌を培養する ② グラム染色をする ③ 顕微鏡で観察し、スケッチをする クラスを分けて、半数はGoogle classroomを利用して、「感染源･感染経路からみた感染症、あるいは滅菌と消毒/感染症の治療」の講義を行う。

成績評価方法・基準		毎回の課題合計40%と期末試験60%
授業外における学習（予習・復習）		授業計画に即して次回の授業内容を教科書で予習すること。復習を行い、課題を提出すること。予習・復習には講義ごとに概ね60分以上必要である。講義の進行によってはオンラインで講義を追加することがあります。
教科書 ・参考文献等	教科書	吉田 眞一 著 『微生物学<専門基礎分野[7]> 第14版 疾病のなりたちと回復の促進4(系統看護学講座)』（医学書院、2022年）ISBN:9784260047029
	参考書	矢野郁也ほか編集 『病原微生物学』、（東京化学同人、2002年） ISBN:9784807905621
		齋藤光正編 『イラストでわかる微生物学超入門～病原微生物の感染のしくみ～ 改訂2版』（南山堂、2021年） ISBN:9784525163426
		齋藤光正著 『イラストでわかる微生物学超入門～病原微生物の感染のしくみ～ 改訂2版』（南山堂、2021年） ISBN:9784525163426
	その他	
連絡先・オフィスアワー		連絡先　北校舎1階　研究室3　k-imanishi@jhsu.ac.jp オフィスアワー：講義後、及びGoogle classroomで対応します。
その他		【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP（1）①に該当。

科目コード	12231
授業科目名	予防医学
配当年次	3学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	15時間
授業形態	講義
担当教員	丸谷 康平
実務家教員	理学療法士：丸谷 康平
授業科目の概要	疾病および障害の予防を中心に、第一次予防（健康増進）から，第二次予防（早期発見・早期治療）、第三次予防（残存機能の維持・回復、再発・悪化防止）までの基礎を学習するとともに、新しい概念である第〇次予防（生活環境の改善）、第四次予防（合併症や副作用の予防、緩和と心のケアなど）、第五次予防（認知症の予防、経済格差などによる疾患の予防など）などの概念を理解する。
授業の到達目標	1） 壮年・中年期における主な健康課題と予防策について説明できる。 2） 高齢期における主な健康課題と予防策について説明できる。 3） 女性特有の健康課題と予防策について説明できる。 4） 医療機関外（産業、地域など）における健康対策（ヘルスケア）について説明できる。 5） 予防医学における理学療法士の役割について説明できる。
特に関連する科目	健康とスポーツ 社会福祉学 社会学 医学概論 リハビリテーション医学 老年医学 栄養学 スポーツ医学 リハビリテーション概論 リハビリテーションチーム論 公衆衛生学 保健医療福祉行政論 国際保健学 理学療法治療学 地域理学療法学 生活環境学
授業の具体的な進め方	テキストおよび配布資料を中心に講義形式にてシラバス通りに進める。 講義とグループワークならびに授業課題（小テスト、レポート等）を通して、上記の学習目標を修得する。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	11/10	木	2	丸谷康平	312	概論（予防医学の定義、日本の現状と今後の課題）： 予防医学の定義を説明できる 日本における少子高齢化の現状と今後の人口変化、ならびに健康課題について説明できる。
2	11/17	木	2	丸谷康平	312	壮年期・中年期における予防医学（メタボリックシンドローム、ロコモティブシンドローム）： メタボリックシンドロームおよび予防策について説明できる。 ロコモティブシンドロームおよび予防策について説明できる。
3	11/24	木	2	丸谷康平	312	高齢期における予防医学①（サルコペニア、フレイル）： サルコペニア、フレイルについて説明できる。 サルコペニアならびにフレイルの予防策について説明できる。
4	12/1	木	1	丸谷康平	312	高齢期における予防医学②（軽度認知障害、認知症）： 軽度認知障害、認知症について説明できる。 軽度認知障害、認知症の予防策について説明できる。
5	12/8	木	2	丸谷康平	312	地域包括ケアにおける予防医学（地域包括ケアシステム、介護予防）： 地域包括ケアについて説明できる。 介護予防について説明できる。
6	12/15	木	2	丸谷康平	312	女性における予防医学（ウィメンズヘルス）： 女性における主な健康課題について説明できる。 女性における健康課題に対しての予防策を説明できる。
7	12/22	木	2	丸谷康平	312	環境と予防医学： 生活環境と医療の関係を説明できる。 環境に対する予防医学について説明できる。 〇次予防について説明できる。
8	1/12	木	2	丸谷康平	312	社会課題とヘルスケア： 日本の現状・今後の状況を読み解き、現在あるいは今後の社会課題を想定できる。 想定した社会課題に対しての対策案を説明できる。

成績評価方法・基準		出席状況、授業態度（グループワークの参加を含む）、レポート等の授業課題、各授業後に実施する小テスト、定期試験の結果より総合的に判断して評価する。
授業外における学習（予習・復習）		知識の理解・習得のために各授業前後には予習ならびに復習を合わせて60分以上必要とする。
教科書・参考文献等	教科書	大渕修一、浦辺幸夫（監修） 吉田剛、井上和久（編集）『予防理学療法学要論』（医歯薬出版、2017年） ISBN:9784263217405
	参考書	
	その他	各授業には講師が作成した授業資料を配布する。
連絡先・オフィスアワー		オフィスアワー：授業前後に非常勤講師室で対応、またはメール、クラスルームにて対応 連絡先： k.maruya@jhsu.ac.jp
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 理学療法士としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。 【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP（2）に該当。

科目コード	12232
授業科目名	安全管理・救急法
配当年次	3学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	演習
担当教員	村上 弘之
実務家教員	看護師：村上 弘之
授業科目の概要	医療現場における医療管理を支える法律・制度や組織・問題構造・リスクマネジメントの基礎知識とともに、医療従事者として必要な活動における危険や事故等を理解し、それらを回避するための知識や技術について学習する。
授業の到達目標	1. チーム医療を推進する者として、医療安全管理に関する基本事項と現状について説明できる。 2. ヒューマンエラー・人間の特性・環境不適応・医療事故の関連について説明できる。 3. 理学療法におけるインシデント・アクシデント報告分析の重要性について説明できる。 4. 理学療法における感染管理の必要性がわかり、今後の実習で感染防御策が実践できる。 5. 転倒転落の発生要因と予防法について、リハビリテーション専門職としての説明ができる。 6. 在宅環境でのリハビリテーションの必要性について説明できる。 7. 理学療法における急変対応について説明できる。 8. BLSの基本手順が説明できる。
特に関連する科目	感染と免疫論　一般臨床医学　内科学　リハビリテーション医学　老年医学　リハビリテーション概論　理学療法管理学　運動療法総論
授業の具体的な進め方	患者安全を推進するチーム医療のメンバーとしてリスクマネジメントやセーフティマネジメントに必要な知識を講義を通じて習得する。臨床現場で求められる感染防御策、急変対応アルゴリズム、BLS基本手順を習得し、これらは実習時に活用できることを目標とする。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	11/2	水	1	村上弘之	312	理学療法と患者安全総論
2	11/2	水	2	村上弘之	312	ヒューマンエラーと患者安全
3	11/9	水	3	村上弘之	312	患者安全におけるインシデントアクシデントレポートの役割・ヒューマンエラーを導かない個人の取り組み
4	11/9	水	2	村上弘之	312	医療施設における事故発生時の対応、および医療事故調査制度について
5	11/16	水	1	村上弘之	312	我が国の医療安全管理体制
6	11/16	水	2	村上弘之	312	ヒューマンエラーを導かない院内システム、組織風土について
7	11/30	水	1	村上弘之	312	理学療法士に必要な感染管理
8	11/30	水	2	村上弘之	312	理学療法士に必要な感染管理
9	12/7	水	1	村上弘之	312	転倒予防と安全管理
10	12/7	水	2	村上弘之	312	転倒予防と安全管理
11	12/14	水	1	村上弘之	312	医療・在宅領域での安全管理
12	12/14	水	2	村上弘之	312	医療・リハビリテーション機器の安全管理
13	12/21	水	1	村上弘之	312	理学療法士に必要な急変対応概論
14	12/21	水	2	村上弘之	312	BLSを知ろう・率先してできるようになろう
15	1/11	水	1	村上弘之	312	まとめ

成績評価方法・基準		講義、グループワークへの取り組みと参加状況 20% 定期試験 80% 60%以上を合格とする絶対評価
授業外における学習（予習・復習）		授業計画に沿って教科書で予習し、講義後は、教科書、講義で配布される資料、参考文献を用いて復習をおこなうこと。予習・復習には講義ごとに概ね60分以上必要である。
教科書・参考文献等	教科書	内山靖, 藤井浩美 著 『安全管理学・救急医療学(リハベーシック)』（医歯薬出版、2021年） ISBN:9784263267530
	参考書	リハビリテーション医療における安全管理・推進のためのガイドライン策定委員会編『リハビリテーション医療における安全管理・推進のためのガイドライン　第2版』(診断と治療社、2018年） ISBN:9784787822857 亀田メディカルセンター　編 『リハビリテーションリスク管理ハンドブック 第4版』（メジカルビュー社、2020年） ISBN:9784758319430
	その他	特になし
連絡先・オフィスアワー		質問等は、授業前後に非常勤講師控室で対応します。 また授業日以外は教務課に連絡してください。
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護師としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。 【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP（1）に該当。

科目コード	12233
授業科目名	薬理学
配当年次	2学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	15時間
授業形態	講義
担当教員	岡部 智恵
実務家教員	薬剤師：岡部 智恵
授業科目の概要	医療における投薬の役割は大きく、医療従事者にとって薬物の種類やその作用に関する知識や理解は重要である。そこで、本講義では、薬理学に関する基本的知識（薬理作用、体内動態、副作用、相互作用、中毒等）について学習する。その上で、リハビリテーション領域における代表的な疾患に使用する治療薬の詳細（分類、薬物名、作用機序、副作用、相互作用および禁忌等）や投与経路と吸収、分布・代謝・排泄について学習する。
授業の到達目標	1.主作用·副作用などの薬物作用(薬理作用)の概念を説明できる 2薬物が体内でどのように作用しているか（薬物動態学)について理解し作用機序（薬力学）. について概念を説明できる 3薬物の投与量とこれによって引き起こされる薬理反応の大きさの量的関係に関する基本的事項について概説できる
特に関連する科目	解剖学　生理学　医学概論　一般臨床医学　リハビリテーション医学　精神医学Ⅰ　整形外科学Ⅰ　整形外科学Ⅱ　神経内科学Ⅰ　神経内科学Ⅱ 小児科学　内科学　老年医学　病理学　各理学療法評価・治療学　各理学療法評価・治療学演習　評価実習　総合臨床実習Ⅰ　総合臨床実習Ⅱ
授業の具体的な進め方	教科書に沿って、資料も配布して講義をする。授業内容に沿った確認プリント（問題形式）で習熟度を確認する。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	9/30	金	2	岡部智恵	306	薬理学・臨床薬理学とは・薬を理解するには
2	10/7	金	2	岡部智恵	306	薬理学・臨床薬理学とは・薬を理解するには
3	10/14	金	2	岡部智恵	306	薬の作用・生体内での薬の働き・薬の使用
4	10/21	金	2	岡部智恵	306	薬の作用・生体内での薬の働き・薬の使用
5	10/28	金	2	岡部智恵	306	感染・炎症の制御と薬物療法
6	11/4	金	2	岡部智恵	306	神経・精神疾患の薬物療法
7	11/11	金	2	岡部智恵	306	循環器系疾患の薬物療法　疼痛の制御と薬物療法
8	11/18	金	2	岡部智恵	306	注意すべき頻用される薬物　まとめ

成績評価方法・基準		マークシート25問　100点満点　60点以上単位取得とする　評価は大学評価に準ずる
授業外における学習（予習・復習）		授業後は教科書、配布資料を利用し復習をおこなうこと。予習・復習は講義ごとに概ね60分以上必要である。
教科書・参考文献等	教科書	内山靖・藤井浩美・立石雅子　編『薬理学・臨床薬理学(リハベーシック)』（医歯薬出版、2020年） ISBN:9784263267516
	参考書	講義内にて、適宜紹介する。
	その他	特になし
連絡先・オフィスアワー		
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 薬剤師としての実務経験を活かした講義を行う。 【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP(1)に該当。

科目コード	12234
授業科目名	栄養学
配当年次	3学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	15時間
授業形態	講義
担当教員	坂本 香織
実務家教員	栄養士：坂本 香織
授業科目の概要	生体を構成し、生命を維持するために人体が必要とする栄養素について、物質の性質、消化・吸収や代謝とその調節の仕組みを理解し、その上で、栄養の役割とバランスについて学習する。そして、ヘルスケアの専門職としてこれらが健康や疾病に与える影響について理解し、臨床場面で応用できる栄養学の基本的な知識について学習する。
授業の到達目標	1. 5大栄養素の主な機能が説明できる。 2. PTにとってなぜ栄養の知識が必要か説明できる。 3. サルコペニアとリハビリテーション栄養の関連について説明できる。 4. NSTにおけるPTの役割が説明できる。 5. 主な疾患の栄養障害の病態と栄養療法が説明できる。
特に関連する科目	人体構造学　人体機能学　生化学　病理学　病態治療学Ⅰ　病態治療学Ⅱ　各看護学専門科目
授業の具体的な進め方	教科書に沿って、資料も配布して講義する。毎時、授業内容の小テストを行い、これは成績評価の対象とする。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	11/2	水	3	坂本香織	312	○リハビリテーション栄養と低栄養時の代謝 リハビリテーション栄養、ICFと栄養、訓練効果を高める栄養、フレイル、5大栄養素の役割、低栄養の分類、栄養の同化と異化
2	11/9	水	3	坂本香織	312	○運動栄養学と栄養状態悪化時のリハビリテーション サルコペニア、運動と栄養のタイミング、筋力・持久力を高める栄養、訓練効果を高めるスケジュール、機能改善と機能維持、栄養指導の目安、栄養状態悪化時の訓練
3	11/16	水	3	坂本香織	312	○リハビリテーション栄養ケアマネージメントとスクリーニング マネジメント、セルフマネジメント、リハビリテーション栄養、SGA、MNA-SF、EAT-10、身体計測、検査値
4	11/30	水	3	坂本香織	312	○リハビリテーション栄養アセスメント 身体計測、検査値、サルコペニアの原因と程度、摂食嚥下機能評価、老嚥とサルコペニアの摂食嚥下障害、リハビリテーションの種類・内容・時間、エネルギー消費量、エネルギー摂取量
5	12/7	水	3	坂本香織	312	○リハビリテーション栄養ケアプランとNSTにおけるPTの役割 リハビリテーション栄養のゴール設定、投与ルート、推定エネルギー必要量、リハビリテーションの種類・内容・時間、NSTとは、NSTとリハビリテーションの関連、チーム形態の種類、PTの役割、リハビリテーション栄養の実践
6	12/14	水	3	坂本香織	312	○主な疾患のリハビリテーション栄養（1） 廃用症候群、脳卒中、パーキンソン病、がん、誤嚥性肺炎、栄養生理と栄養病態
7	12/21	水	3	坂本香織	312	○主な疾患のリハビリテーション栄養（2） 褥瘡、大腿骨近位部骨折、関節リウマチ、慢性閉塞性肺疾患、慢性心不全、栄養生理と栄養病態
8	1/11	水	3	坂本香織	312	○まとめ 理解度に応じて変更の可能性あり

成績評価方法・基準		授業内小テスト・課題
授業外における学習（予習・復習）		教科書を事前に読んで問題意識をもって授業に臨んでください。授業後は教科書と資料で復習してください。予習・復習には各30分以上必要である。
教科書 ・参考文献等	教科書	若林秀隆著 『PT・OT・STのためのリハビリテーション栄養～基礎からリハ栄養ケアプロセスまで～ 第3版』（医歯薬出版、2020年） ISBN:9784263266311
	参考書	五明紀春他編集 『基礎栄養学 第2版(スタンダード人間栄養学)』（朝倉書店、2017年） ISBN:9784254610611
	その他	
連絡先・オフィスアワー		
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 栄養士としての（専門機関における）実務経験を活かした講義を行う。 【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP（1）に該当。

科目コード	12235
授業科目名	スポーツ医学
配当年次	3学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	自由
単位	1単位
時間数	15時間
授業形態	講義
担当教員	岩本 潤
実務家教員	医師：岩本 潤
授業科目の概要	現代社会において、運動不足は多くの疾病を増加させる一因となっている。また、高齢者の心身機能の変化に対する予防的側面においても様々な運動や活動の重要性が高まっている。そこで、本講義では、疾病の予防、健康維持に必要な各種身体活動やスポーツを医学的に理解し、保健および疾病予防において対象者指導に活用できる知識や技能の習得を目的として講義を行う。そのために、各期年齢層における運動、スポーツと医療、保健の関係性や代表的なスポーツ傷害および運動不足に起因する問題について学習する。
授業の到達目標	スポーツ医学を学生自身の健康に生かすと共に一般人（子供を含めて）、患者の指導が出来るように理解させ る。
特に関連する科目	内科学、整形外科学Ⅰ、整形外科学Ⅱ、運動生理学、小児科学
授業の具体的な進め方	広義のスポーツは人間にとって不可欠である。現代社会の運動不足が疾病を増加させている。疾病の予防、治 癒、健康維持に必要なスポーツを医学的に理解する。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	11/25	金	1	岩本潤	312	運動器の健康① ロコモティブシンドロームへの対策
2	11/25	金	2	岩本潤	312	運動器の健康② 思春期における骨貯金の重要性とその対策
3	11/25	金	3	岩本潤	312	運動器の健康③ 女性アスリートのスポーツ外傷・障害
4	11/25	金	4	岩本潤	312	運動器の健康④ スポーツ外傷・障害
5	11/30	水	1	岩本潤	312	子どもの発達とスポーツ・運動
6	11/30	水	2	岩本潤	312	女性とスポーツ・運動、貧血 高齢者とスポーツ・運動
7	11/30	水	3	岩本潤	312	スポーツによる急性障害と安全対策 過労性スポーツ障害
8	11/30	水	4	岩本潤	312	運動性急死 スポーツと環境

成績評価方法・基準		定期試験(70%)に、平常点および講義中の理解度(30%)加味して評価する。
授業外における学習（予習・復習）		教科書を授業前に復習しておく。30～60分。 授業後、次回学習を指示する。理解できない所は質問を考えておく。
教科書・参考文献等	教科書	河合祥雄 『スポーツ・健康医科学～「フェア・プレイ」はどこからきたか?～ 改訂版(放送大学大学院教材)』 （放送大学教育振興会、2019年） ISBN:9784595141157
	参考書	適宜紹介する
	その他	
連絡先・オフィスアワー		質問・相談は授業前後に非常勤講師室で対応します。 授業日以外の連絡は教務課を通してください
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 医師としての（専門機関における）実務経験を活かした講義を行う。 【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP(1)に該当。

科目コード	12236
授業科目名	カウンセリング
配当年次	3学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	自由
単位	1単位
時間数	15時間
授業形態	講義
担当教員	高橋 佳史
実務家教員	臨床心理士：高橋 佳史
授業科目の概要	カウンセリングは時に心理の領域を超えて様々な場面で求められる。本講義では理学療法の臨床場面において必要となるカウンセリングの基本的な考え方と代表的な技法について学ぶ。学習を通して，心理的問題の理解と心理的な支援の方法を学び，実践場面での対象者との寄り添い方を学ぶ。
授業の到達目標	到達目標は下記の3点とします。 ①リハビリテーション領域において必要となるカウンセリングの基礎知識を身につける。 ②カウンセリングに対する基本的な姿勢を身につける。 ③様々なカウンセリング手法とその違いについて理解する。
特に関連する科目	心理学　生理学　人間発達学　精神医学Ⅰ（基礎）　神経内科学Ⅰ（基礎）　神経内科学Ⅱ（応用）　小児科学　老年医学　臨床心理学
授業の具体的な進め方	毎回課題が出される。授業は課題の解説と質疑応答、実践を模したトレーニングを行う。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	11/1	火	4	高橋佳史	312	オリエンテーション・カウンセリングとは
2	11/8	火	4	高橋佳史	312	カウンセリングの基本的な構え
3	11/15	火	4	高橋佳史	312	カウンセリングの構造
4	11/22	火	4	高橋佳史	312	共感性とその理解について
5	11/29	火	4	高橋佳史	312	教育現場でのカウンセリング
6	12/6	火	4	高橋佳史	312	医療現場でのカウンセリング①
7	12/13	火	4	高橋佳史	312	医療現場でのカウンセリング②
8	12/20	火	4	高橋佳史	312	まとめ

成績評価方法・基準		レポート60%，平常点40%（欠席回数がが1/3の場合は単位認定外とします）
授業外における学習（予習・復習）		授業前に課題に取り組むこと
教科書・参考文献等	教科書	担当教員が作成した資料を使用します。
	参考書	授業で適宜紹介します。
	その他	
連絡先・オフィスアワー		質問等は授業前後に対応します。
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 臨床心理士としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。 【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP(1)(2)(3)に該当。

科目コード	12237
授業科目名	リハビリテーション概論
配当年次	1学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	15時間
授業形態	講義
担当教員	江口 勝彦
実務家教員	理学療法士 : 江口 勝彦
授業科目の概要	リハビリテーションの理念、歴史、対象、方法について理解し、リハビリテーションのあり方を考えられるよう学習する。そして、リハビリテーションの多層性とそこに関連する多職種との関係性を考察しながら、医学的リハビリテーション(リハビリテーション医療)について学習する。
授業の到達目標	「リハビリテーション」という言葉の成り立ち、概念、思想、込められた想い、この言葉に内包された障がい者の人権等の背景と思想、医学・医療と結びついた歴史、我が国におけるリハビリテーションの現状などについて理解し、また障害とその分類などについて理解することを到達目標とする。 行動目標は別途示す。
特に関連する科目	関連し合う科目 : 社会福祉学　社会学　基礎理学療法学Ⅰ　リハビリテーション医学 この科目が基礎となる科目 : リハビリテーション医学　リハビリテーションチーム論　各理学療法評価・治療学
授業の具体的な進め方	単元ごとに、到達目標・行動目標を示す. 講義を中心とするが、事前学習としてテキストの講読を課し, 学生自身が考える, 学生同士で討論する機会を極力設定する. 又、理解を深める為に、視聴覚教材を利用する。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	7/5	火	1	江口勝彦	217	第1講　コースオリエンテーション:コースオリエンテーションと学習方法などについて 「リハビリテーション」とは？どのように理解していますか？ 「リハビリテーション」という言葉の成り立ちとリハビリテーションの4(5)つの側面 ノーマライゼーションとIL運動
2	7/11	月	1	江口勝彦	217	第2講　差別について考える:映画「砂の器」にみる障害者・病者差別、隔離政策、偏見、いじめ映画鑑賞あり
3	7/11	月	2	江口勝彦	217	第3講　リハビリテーションと医療:映画「砂の器」における差別・スティグマの理解 「全人間的復権」に見るヒューマニズムと歴史で見る打算的政策 「リハビリテーション」という言葉に対する自身の印象の変化について
4	7/14	木	1	江口勝彦	217	第4講　リハビリテーション医療とリハビリテーション医学: リハビリテーション医療の構造とチーム論, 臨床科学としてのリハビリテーション医学 リハビリテーション医学・理学療法・作業療法・言語聴覚療法
5	7/19	火	1	江口勝彦	217	第5講　障害学1　障害とは. 障害過程、Nagiの分類、ICIDH、ICF、身体障害認定・分類
6	7/21	木	1	江口勝彦	217	第6講　障害学2 ドクタージェイドとマトリクスグレープ, 二次的合併症
7	7/26	火	1	江口勝彦	217	第6講　障害学3 まとめ
8	7/28	木	1	江口勝彦	217	レポート課題

成績評価方法・基準		レポート、筆記試験などを総合的に評価する。筆記試験では、60%を合格最低ラインと定める。講義期間を通して任意に出席を確認する。成績の配分は「レポート課題」30%、総合評価(筆記試験)70%を基準とするが、欠席、消極性などは減点の対象とする。
授業外における学習(予習・復習)		1) 第4講開講前までにテキスト1「砂原茂一:リハビリテーション」を読み終えること。以後の講義は既に読んでいるものとして進める。 2)第6講前までにレポートを提出する。レポート課題は以下の通り。 「リハビリテーション概論 課題レポート」(Formsによる) 1. テキスト1「砂原茂一:リハビリテーション」を読んでの感想(1200文字以内) 2. 映画「砂の器」の一部を観ての感想(1200字以内) 3. ここまでの講義を受講して、自分自身の「リハビリテーション」という言葉に対する印象や理解の変化について(2000字以内) ＊なお、文字数は指定最大文字数の80%以上とし、指定文字数を超えないこと。 3)講義時間内に質問などを行い十分理解することが望ましいが、理解不足や疑問点などは教科書や参考図書などで補い、それでもわからない場合はオフィスアワーに限らず随時質問に来ること。
教科書・参考文献等	教科書	砂原茂一 『リハビリテーション(岩波新書　黄版-139)』(岩波書店、1980年)　ISBN:9784004201397 上田敏 『目でみるリハビリテーション医学　第2版』(東京大学出版会、1994年)　ISBN:9784130624022
	参考書	
	その他	
連絡先・オフィスアワー		オフィスアワー:月・火・水の16:40-17:40 連絡先:k-eguchi@jhsu.ac.jp 研究室:421号室
その他		

科目コード	12238
授業科目名	リハビリテーションチーム論
配当年次	3学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	15時間
授業形態	講義
担当教員	東 裕一、中島 富志子、加藤木 丈英
実務家教員	理学療法士：東 裕一
授業科目の概要	複数の専門職が携わるチーム医療における理学療法士の役割および専門性について理解する。各専門職の役割や連携のあり方、チームアプローチの意義や重要性について学習する。 また、コミュニケーションの意味を再考する。
授業の到達目標	1. リハビリテーションチーム内の他職種について学び、チームの概要を説明できる。 2. 多職種連携の必要性およびコミュニケーションについて注意事項を列挙できる。 3.. チームの中での理学療法士の役割および他職種の活かし方について意見を述べることが出来る。
特に関連する科目	リハビリテーション概論、日常生活活動学、地域理学療法学
授業の具体的な進め方	講義、ワークショップ

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	6/6	月	4	東裕一	312	オリエンテーション、コミュニケーションの基本的な考え方
2	6/13	月	4	東裕一	312	コミュニケーションに必要とされる力、バーバル・コミュニケーション
3	6/20	月	4	東裕一	312	ノンバーバル・コミュニケーション、コミュニケーションの手法
4	6/27	月	4	東裕一	312	チーム・アプローチの基本構造、チーム・アプローチにおける課題と対応
5	7/4	月	4	東裕一	312	多職種連携とチーム医療、リーダーシップ論
6	7/11	月	4	東裕一	312	対象別の伝達、医療面接
7	7/18	月	4	東裕一 中島富志子	312	多職種連携の実践（急性期）、多職種連携の実践（在宅）
8	7/25	月	4	東裕一 加藤木丈英	312	チームにおける理学療法士の専門性

成績評価方法・基準		毎回のポートフォリオの提出
授業外における学習（予習・復習）		
教科書・参考文献等	教科書	内山靖、藤井浩美、立石雅子（編）『コミュニケーション論・多職種連携論(リハベーシック)』（医歯薬出版、2021年） ISBN:9784263266335
	参考書	
	その他	
連絡先・オフィスアワー		
その他		

科目コード	12239
授業科目名	公衆衛生学
配当年次	2学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	15時間
授業形態	講義
担当教員	須釜 幸男
実務家教員	
授業科目の概要	公衆衛生学は「人々の健康の保持・増進」を目的とし、医療に限らず、保健や福祉、工学、社会科学など多領域にわたる科学技術を統合した学問体系である。授業では、疾病予防や健康づくりの考察に必要となる ①健康事象の因果関係や疫学・統計手法等の基本的な事項、②法令や組織等の社会的な健康増進サポートシステム、③公衆衛生的観点に基づく社会的な健康問題へのアプローチ手法について学習する。
授業の到達目標	1. 基礎的な健康事象の病因論、因果関係を理解できるようにする。 2. 公衆衛生活動のツールとしての疫学や統計の基本的手法を理解し、利用できるようにする。 3. 広義の環境と健康の関連についての洞察力を持てるようにする。 4. 社会システムと健康増進の関係を理解できるようにする。 5. 社会的な健康問題に関して、問題発見力と最低限の問題解決能力を持てるようにする。
特に関連する科目	公衆衛生看護学概論　保健統計学　疫学　公衆衛生看護活動論　公衆衛生看護システム論 公衆衛生看護技術論　産業保健論　学校保健論
授業の具体的な進め方	臨床医学が個人水準で健康を扱うのに対して、公衆衛生は社会水準で健康を取り扱う学問である。それが社会保障の基礎となり、近代の社会発展に寄与してきた歴史を理解する。また現代社会において公衆衛生活動の範疇となっている生活習慣病対策や伝染病（感染症）予防、母子保健、学校保健、産業保健、老人保健、環境衛生、食品衛生、社会福祉などの分野について、具体例を検証しつつ学習し、衛生関係の専門家に資する知識や技能を身に付ける。 加えて、大規模災害時には、救援活動の先頭に立つことになる衛生職域専門家に必須の公衆衛生知識を習得することを通じて、地域のリーダーたる資質を涵養する。 1. 公衆衛生学の歴史の上で、その発展に大きく寄与した幾つかの感染症対策事案を取り上げ、憶測に基づかずに物事を冷静かつ分析的に理解するという、自然科学の手法に触れることを通じて、医療の持つ科学的側面についても理解を深める。 2. 生活習慣病対策や伝染病（感染症）予防、母子保健、学校保健、産業保健、老人保健、環境衛生、食品衛生、社会福祉などの分野について、衛生職域にある者として不可欠な基本的事項を学ぶ。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	9/20	火	4	須釜幸男	306	公衆衛生の歴史
2	9/26	月	4	須釜幸男	306	現在の公衆衛生システムと政策
3	10/3	月	4	須釜幸男	306	諸外国の公衆衛生政策、これからの公衆衛生
4	10/17	月	4	須釜幸男	306	公衆衛生のものさし；集団対象、疫学、因果（危険・交絡因子、誤差）、統計化
5	10/24	月	4	須釜幸男	306	統計情報の収集と見方；セルフケア・地域、アプローチ、PDCA、グループ組織、ネットワーク
6	10/31	月	4	須釜幸男	306	母子・成人・老人・精神の保健衛生、健康格差
7	11/7	月	4	須釜幸男	306	学校・産業・環境の保健衛生
8	11/14	月	4	須釜幸男	306	まとめ

成績評価方法・基準		授業内課題、期末レポート
授業外における学習（予習・復習）		授業計画に即した内容を事前調査し、重要度分けや不明点の抽出を実施する。講義後は配布資料を読み込み、知識を体系化して理解する。また、不明点の解消度を確認し、追加調査や次回質問するための譲歩を整理する。予習・復習には講義ごとに概ね60分以上必要である。
教科書・参考文献等	教科書	平野かよ子ほか 『公衆衛生 第5版(ナーシング・グラフィカ 健康支援と社会保障 2)』（メディカ出版、2021年） ISBN:9784840472104
	参考書	講義の中で紹介する
	その他	なし
連絡先・オフィスアワー		質問等は、classroom にて対応する
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 医療法人理事としての（専門機関における）実務経験を活かした講義を行う。 【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP（1）に該当。

科目コード	12240
授業科目名	保健医療福祉行政論
配当年次	3学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	15時間
授業形態	講義
担当教員	須釜 幸男
実務家教員	
授業科目の概要	地域社会や国民の健康課題に対応した保健医療福祉制度と行政の歴史や理念、体系、近年の動向を理解する。保健医療福祉行政の総合的推進のために、公衆衛生を中心とした理念や諸制度の現状と課題を把握しながら、行財政、保健、社会保障、医療の各制度、市民活動を包括した地域での役割分担と連携システムの在り方を理解する。
授業の到達目標	我が国の保健衛生行政の役割に関する理解を深め、世界に誇る長寿国となった光と影の現実を理解することで、加速化する少子高齢社会に寄与する保健衛生・医療人材たるプロフェッションとしての自覚を涵養する。
特に関連する科目	公衆衛生学　関係法規　国際保健学　社会福祉学など
授業の具体的な進め方	指定教科書を土台に、PowerPointで講義を実施します。 理学療法士として自立する上でも、国家試験対策としても、重要な単元の基礎を丁寧に説明します。 数回毎に、国家試験問題を解きながら、各単元の理解度や定着度をチェックしていきます。 予習が前提となるため、予習での気付きや疑問を持って、授業に臨むことを期待します。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	11/10	木	3	須釜幸男	312	保健医療福祉行政の根拠
2	11/17	木	3	須釜幸男	312	生存権の保障：公衆衛生的に
3	11/24	木	3	須釜幸男	312	近代公衆衛生の始まり
4	12/1	木	3	須釜幸男	312	戦後保健医療福祉施策の変遷
5	12/8	木	3	須釜幸男	312	公衆衛生と行政
6	12/15	木	3	須釜幸男	312	国際保健
7	12/22	木	3	須釜幸男	312	社会保障と体系
8	1/12	木	3	須釜幸男	312	社会保障と医療提供体制

成績評価方法・基準		定期試験80%、小テスト・課題20%　＊試験やテストには解説を実施する。課題についてはコメントを行なう。
授業外における学習（予習・復習）		授業計画に即した内容を事前調査し、重要度分けや不明点の抽出を実施する。講義後は板書や配布資料を読み込み、知識を体系化して理解する。また、不明点の解消度を確認し、追加調査や次回質問するための整理を行なう。予習・復習には講義ごとに概ね60分以上必要である。
教科書・参考文献等	教科書	藤内修二ほか 『標準保健師講座<別巻1> 第5版 保健医療福祉行政論(Standard Textbook)』（医学書院、2021年） ISBN:9784260042222
	参考書	講義の中で紹介する
	その他	なし
連絡先・オフィスアワー		質問等はClassroomに対応する
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 医療法人理事としての（専門機関における）実務経験を活かした講義を行う。 【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP（3）に該当。

科目コード	12241
授業科目名	国際保健学
配当年次	3学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	自由
単位	1単位
時間数	15時間
授業形態	講義
担当教員	須釜 幸男
実務家教員	
授業科目の概要	我が国や諸外国での保健医療の制度・活動、国際保健医療協力に関し、その歴史的展開や行政的意義を理解するために、国際保健に関わる多様な社会問題となっている感染症や住民主体の活動について、疾患予防や保健福祉に関するトピックスを取り上げ、学習する。本講義を通して、一人ひとりが問題点を掘り下げ、現状を分析し、改善点が考察できる能力を身に付けるものとする。
授業の到達目標	1. 国際保健の概念と戦略をマクロ的に理解できる。 2. 国際保健の研究・実践の方法・手法を具体的に体得できる。 3. グローバルヘルスの各事象を体系的に整理できる。 4. 社会科学や人文科学、自然科学といった関連領域との多種アプローチを探ることができる。
特に関連する科目	公衆衛生看護学概論　保健統計学　疫学　公衆衛生看護活動論　公衆衛生看護システム論 公衆衛生看護技術論　産業保健論　学校保健論　公衆衛生学　関係法規　保健医療福祉行政論
授業の具体的な進め方	1. 当科目の歴史的経過と先行研究を探り、現代的課題を探し出す。 2. 課題や問題に対する視座や分析の方法を学び、公正中立な認知・アプローチを考える。加えて、地域性や文化に配慮した視点も検討する。 3. グローバルヘルスの計画だけでなく、実際に貢献するに資する意志と専門性、関連分野との連携力、胆力を理解する。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	11/10	木	4	須釜幸男	312	国際保健学の歴史と現代的課題―マクロ的な理解
2	11/17	木	4	須釜幸男	312	保健医療統計にみる海外（時に途上国）の社会構造と公衆衛生政策の特徴―疫学的視座で捉える
3	11/24	木	4	須釜幸男	312	国連の開発目標とグローバル・ヘルスの拡充―垂直・水平アプローチの長短を検討する
4	12/1	木	4	須釜幸男	312	プライマリヘルスケアとヘルスプロモーション―基礎的知識・技術と応用力の向上
5	12/8	木	4	須釜幸男	312	保健衛生と格差―事例研究（人口、食糧、健康、医療、教育など）
6	12/15	木	4	須釜幸男	312	保健衛生と感染症・風土病―事例研究（人間の安全保障、持続的開発、災害、環境など）
7	12/22	木	4	須釜幸男	312	保健衛生と文化・風習―事例研究（ガバナンス、倫理と人権、国際法、NGOなど）
8	1/12	木	4	須釜幸男	312	まとめ

成績評価方法・基準		定期試験80%、小テスト・課題20%　＊試験やテストには解説を実施する。課題についてはコメントを行なう。
授業外における学習（予習・復習）		授業計画に即した内容を事前調査し、重要度分けや不明点の抽出を実施する。講義後は板書や配布資料を読み込み、知識を体系化して理解する。また、不明点の解消度を確認し、追加調査や次回質問するための整理を行なう。予習・復習には講義ごとに概ね60分以上必要である。
教科書・参考文献等	教科書	日本国際保健医療学会編 『国際保健医療学 第3版』（杏林書院、2013年） ISBN:9784764405318
	参考書	講義の中で紹介する
	その他	なし
連絡先・オフィスアワー		質問等はクラスルームで対応する
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 医療法人理事としての（専門機関における）実務経験を活かした講義を行う。 【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP（3）に該当。

科目コード	12301
授業科目名	基礎理学療法学Ⅰ
配当年次	1学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	大森 啓之
実務家教員	理学療法士：大森 啓之
授業科目の概要	理学療法の全体像を理解するため、理学療法の定義、目的、分類、歴史、対象、治療手段、理学療法の業務、職域、身分法、理学療法部門の組織、職業倫理と職場管理、業界組織、学術活動等に関して理解し、リハビリテーション医療チームにおける理学療法士の位置付けやその役割を学習する。
授業の到達目標	1. 理学療法と関係法規、制度を理解する。 2. 理学療法の機能・障害の分類を理解する。 3. 理学療法の対象と治療手段を理解する。 4. 理学療法士の職域を理解する。 5. 理学療法の組織・リスク・個人情報管理を理解する。
特に関連する科目	関連し合う科目 ― リハビリテーション概論、基礎理学療法学Ⅱ、理学療法管理学 この科目が基礎となる科目 ― リハビリテーション医学、リハビリテーションチーム論、各理学療法評価・治療学
授業の具体的な進め方	テキスト、配布資料を中心に講義および課題演習形式でSyllabus通りに進める。 講義時に出席確認、小テストで出席状況を確認する。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/8	金	1	大森 啓之	217	コースオリエンテーション　理学療法の概念と歴史
2	4/8	金	2	大森 啓之	217	理学療法士の法律
3	4/15	金	1	大森 啓之	217	理学療法士に関わる保険制度
4	4/15	金	2	大森 啓之	217	理学療法士の教育
5	4/22	金	1	大森 啓之	217	国際機能分類(ICF)・倫理と哲学
6	4/22	金	2	大森 啓之	217	理学療法の対象と治療手段1
7	4/29	金	1	大森 啓之	217	理学療法の対象と治療手段2
8	4/29	金	2	大森 啓之	217	ここまでのまとめ(まとめテスト)
9	5/13	金	1	大森 啓之	217	理学療法士の職域①　理学療法士の主な職場
10	5/13	金	2	大森 啓之	217	理学療法士の職域②　期待される職域
11	5/27	金	1	大森 啓之	217	理学療法士の組織と管理
12	5/27	金	2	大森 啓之	217	医療事故とリスクマネジメント
13	6/3	金	1	大森 啓之	217	個人情報の管理と対象者の権利
14	6/3	金	2	大森 啓之	217	理学療法士として求められるもの
15	6/10	金	1	大森 啓之	217	臨床教育の実践

成績評価方法・基準		筆記試験(まとめテスト＋定期試験)80%、課題20%で判定する。
授業外における学習(予習・復習)		授業の前に予習として教科書の該当部分を必ず熟読した上で出席すること。 毎回の講義内容をよく復習し、重要事項を頭に入れておくこと。 知識の理解・習得のため、予習・復習を合わせて60 分以上行うこと。
教科書・参考文献等	教科書	奈良 勲・高橋 哲也・内山 靖 編著『理学療法概論　第7版』(医歯薬出版、2019年)ISBN:9784263265864
	参考書	上田 敏「目で見るリハビリテーション医学第2版(東京大学出版会、1994年)ISBN:9784130624022
		「南山堂医学大辞典　第20版」(南山堂)ISBN:9784525010805
		奈良 勲監「理学療法学辞典」(医学書院)ISBN 978-4-260-00035-2
	その他	必要に応じて資料を配布する。
連絡先・オフィスアワー		連絡先：h-omori@jhsu.ac.jp オフィスアワー：火曜日13：30～16：00(事前に連絡することが望ましい) 南キャンパス：413
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 看護職としての(専門機関における)実務経験を活かした講義(演習)を行う。

科目コード	12302
授業科目名	基礎理学療法学Ⅱ
配当年次	3学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	大森 啓之
実務家教員	理学療法士：大森 啓之
授業科目の概要	理学療法の臨床活動に科学的根拠を与えるための理論体系を構築することを目的に、基礎科目、専門基礎科目で学んだ知識を基礎として、その中から、理学療法の科学的根拠を裏付ける理論を抽出し、統合と再配置により理学療法の理論的パラダイムを考察できるように学習する。また、既存の理論で説明が困難な諸問題に関しては今後どのような学問領域のどのような知識が必要になるかについて学習する。
授業の到達目標	1. 筋肉・関節の生理学について理解する。 2. 痛みの病態、関節可動域障害、筋力低下に対する理学療法の基礎理論を理解する。 3. 疾患別理学療法の病態について理解する。 4. 創傷、靱帯損傷治癒のメカニズム、筋細胞の壊死と再生のメカニズム、脳の可塑性と運動・動作障害を理解する。 5. 症例の機能障害レベルの問題点について理解する。
特に関連する科目	解剖学　生理学　運動学　リハビリテーション医学　整形外科学　神経内科学　老年医学　病理学　理学療法評価学　神経系理学療法評価・治療学　運動器系理学療法評価・治療学　物理療法学　日常生活活動学
授業の具体的な進め方	講義により教科書および配付資料を説明し内容を理解する。 演習課題に取り組み知識の定着、国家試験に対応できるようにする。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/14	木	3	大森 啓之	312	オリエンテーション，基礎理学療法について，生体の観察・計測
2	4/14	木	4	大森 啓之	312	筋肉の生理学；筋力・持久力・疲労
3	4/21	木	3	大森 啓之	312	関節の生理学；生体力学と関節運動
4	4/21	木	4	大森 啓之	312	疾患別理学療法と病態1
5	4/28	木	3	大森 啓之	301 312	疾患別理学療法と病態2
6	4/28	木	4	大森 啓之	301 312	痛みの病態メカニズム1
7	5/12	木	3	大森 啓之	301 312	痛みの病態メカニズム2
8	5/12	木	4	大森啓之	301 312	ここまでのまとめ（まとめテスト）
9	5/19	木	3	大森 啓之	301 312	関節可動域障害の病態メカニズム1
10	5/19	木	4	大森 啓之	301 312	関節可動域障害の病態メカニズム2
11	5/26	木	3	大森 啓之	301 312	筋力低下のメカニズム1
12	5/26	木	4	大森 啓之	301 312	筋力低下のメカニズム2
13	6/2	木	3	大森 啓之	312	創傷，靱帯損傷治癒のメカニズム
14	6/2	木	4	大森 啓之	312	筋細胞の壊死と再生のメカニズム
15	6/9	木	3	大森 啓之	312	脳の可塑性と運動・動作障害

成績評価方法・基準		筆記試験（まとめテスト＋定期試験）100%で判定する。
授業外における学習（予習・復習）		授業の前に予習として教科書の該当部分を必ず熟読した上で出席すること。 毎回の講義・演習内容をよく復習し、重要事項を頭に入れておくこと。 知識の理解・習得のため、予習・復習を合わせて60 分以上行うこと。
教科書 ・参考文献等	教科書	大橋ゆかり『基礎理学療法学(ビジュアルレクチャー)』(医歯薬出版、2012年)ISBN:9784263218051
	参考書	「解剖学」「生理学」および疾患別理学療法で使用したテキスト
	その他	必要に応じて資料を配布する。
連絡先・オフィスアワー		連絡先：h-omori@jhsu.ac.jp オフィスアワー：火曜日13：30～16：00（事前に連絡することが望ましい） 南キャンパス：413室
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 理学療法士としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。 【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DPP(1)①②③(2)①②(3)①に該当。

科目コード	12303
授業科目名	臨床推論演習
配当年次	3学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	演習
担当教員	湯口 聡、鈴木 慶
実務家教員	理学療法士：湯口 聡、鈴木 慶
授業科目の概要	これまで習得した知識や技術を整理し、理学療法評価における臨床的思考を向上させるために、模擬患者を活用し、5～6名程度のグループ単位で臨床推論の一連の過程について演習を通して学習する（PBL、TBL）。また、学内において臨床場面を想定した医療面接や検査・測定手技を実践的に学習し、客観的臨床能力試験（OSCE）で確認する。
授業の到達目標	1)能動的自己学習の方法、症例の問題の発見ができる。 2)発見した問題の解決方法の思考力、臨床的な推論方法を習得する。 3)チーム医療に必要な協調性を養う。
特に関連する科目	各専門基礎科目、専門科目、検査測定実習
授業の具体的な進め方	講義またはグループ学習

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	6/8	水	2	湯口聡 鈴木慶	301	オリエンテーション、実習に必要なマナー
2	6/15	水	1	湯口聡 鈴木慶	301	クリニカルクラークシップについて
3	6/15	水	2	湯口聡 鈴木慶	301	PBL：模擬患者1(グループ学習)
4	6/22	水	1	湯口聡 鈴木慶	301	PBL：模擬患者1(グループ学習)
5	6/22	水	2	湯口聡 鈴木慶	301	PBL：模擬患者1(グループ学習)
6	6/29	水	1	湯口聡 鈴木慶	301	PBL：模擬患者1(グループ学習)
7	6/29	水	2	湯口聡 鈴木慶	301	PBL：模擬患者1(グループ学習)
8	7/6	水	1	湯口聡 鈴木慶	301	PBL：模擬患者1(グループ学習)
9	7/6	水	2	湯口聡 鈴木慶	301	PBL：模擬患者1(グループ学習)
10	7/13	水	1	湯口聡 鈴木慶	301	PBL：模擬患者1(グループ学習)
11	7/13	水	2	湯口聡 鈴木慶	301	PBL：模擬患者1(グループ学習)
12	7/20	水	1	湯口聡 鈴木慶	301	OSCE演習
13	7/20	水	2	湯口聡 鈴木慶	301	OSCE演習
14	7/27	水	1	湯口聡 鈴木慶	301	OSCE演習
15	7/27	水	2	湯口聡 鈴木慶	301	OSCE演習

成績評価方法・基準		レポート：50%、知識・実技レベルの評価50%
授業外における学習（予習・復習）		検査測定実習のレポートなどを復習し、知識・技術面の充足を行うこと。」また、指定教科書の該当ページと実習要領を一読しておくこと。
教科書 ・参考文献等	教科書	稲川利光 編, 落合慈之 監修 『リハビリテーションビジュアルブック 第2版』（学研メディカル秀潤社、2016年） ISBN:9784780911930
	参考書	遠藤 敏, 松田 隆治（監修）『これで解決! PT・OT・ST臨床実習まるごとガイド』（金芳堂、2017年） ISBN:9784765317108
		木村 大輔 著・編集 『 6ステップで組み立てる理学療法臨床実習ガイド 臨床推論から症例報告の書き方まで』（医学書院、2020年） ISBN:9784260041348
	その他	
連絡先・オフィスアワー		連絡先 ： 研究室415 湯口聡 s-yuguchi@jhsu.ac.jp オフィスアワー ： 木曜日以外の9:30～17:00(メール等での対応含む)
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 理学療法士としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。 【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP(1)-①,③,④,(2)-①,(3)-②に該当。

科目コード	12304
授業科目名	理学療法総合演習
配当年次	3学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	演習
担当教員	旭 竜馬、永野 克人、湯口 聡、東 裕一、大森 啓之、浅見 正人、髙橋 真、鈴木 慶
実務家教員	理学療法士：旭 竜馬・永野 克人・湯口 聡・東 裕一・大森 啓之・浅見 正人・髙橋 真・鈴木 慶
授業科目の概要	評価から治療までの一連の過程を経験する総合臨床実習に向け、「評価実習」で自らが経験した症例を基礎に、少人数のグループによるゼミナール形式でカンファレンスを実施し、その内容を再検証する。また、症例に対して、これまで習得した基本的な理学療法の中から適した介入方法の合理的な選択までの一連の過程について演習を行い、初期情報収集から目標設定、治療プログラム立案までを総合的に学習する。
授業の到達目標	本演習は評価実習の反省と総合臨床実習（4年次前期）に向けた準備として，理学療法における各段階での臨床思考、技術の向上を目的としている。
特に関連する科目	理学療法専門科目全般
授業の具体的な進め方	いくつかのグループに分け、ゼミ形式で進める。「評価実習」で自らが経験した症例を基礎に、少人数のグループによるゼミナール形式でカンファレンスを実施し、その内容を再検証する。更に一歩進め、治療プログラムを考える。知識レベルの評価及び行動レベルの客観的臨床能力試験（OSCE）を実施し、結果のフィードバック及び必要に応じ、実技練習なども行う。 補助教員：永野 克人・湯口 聡・東 裕一・大森 啓之・浅見 正人・髙橋 真・鈴木 慶

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	11/4	金	3	旭竜馬	306	評価実習にて作成した空間概念図を再作成・レポート作成、知識の確認作業
2	11/4	金	4	旭竜馬	306	評価実習にて作成した空間概念図を再作成・レポート作成、知識の確認作業
3	11/11	金	3	旭竜馬	306	評価実習にて作成した空間概念図を再作成・レポート作成、知識の確認作業
4	11/11	金	4	旭竜馬	306	評価実習にて作成した空間概念図を再作成・レポート作成、知識の確認作業
5	11/18	金	3	旭竜馬	306	評価実習にて作成した空間概念図を再作成・レポート作成、知識の確認作業
6	11/18	金	4	旭竜馬	306	評価実習にて作成した空間概念図を再作成・レポート作成、知識の確認作業
7	11/25	金	3	旭竜馬	301	実技演習・知識の確認
8	11/25	金	4	旭竜馬	301	実技演習・知識の確認
9	12/2	金	3	旭竜馬	306	OSCEに向けた実技演習、知識の確認作業
10	12/2	金	4	旭竜馬	306	OSCEに向けた実技演習、知識の確認作業
11	12/9	金	3	旭竜馬	301	OSCEに向けた実技演習、知識の確認作業
12	12/9	金	4	旭竜馬	301	OSCEに向けた実技演習、知識の確認作業
13	12/16	金	3	旭竜馬	306	OSCEに向けた実技演習、知識の確認作業
14	12/16	金	4	旭竜馬	306	OSCEに向けた実技演習、知識の確認作業
15	12/23	金	3	旭竜馬	306	OSCEに向けた実技演習、知識の確認作業

成績評価方法・基準		課題15%，知識レベルの評価15%，OSCE評価70%とする。
授業外における学習（予習・復習）		1. 評価額実習で経験した症例のまとめを行っておくこと 2. 専門基礎科目を含め，基本的知識をまとめておくこと（国家試験レベル） 3. その他，各グループ担当教員の指示に従うこと
教科書・参考文献等	教科書	相澤純也、美﨑定也、石黒幸治『PT症例レポート赤ペン添削ビフォー&アフター～レポート用素材がダウンロードできる!～』（羊土社、2016年） ISBN:9784758102148
		石川齋・武富由雄・市橋則明編著 『図解　理学療法技術ガイド　第4版』（文光堂、2014年） ISBN:9784830645150
	参考書	小林賢　『実践理学療法スキル』（医歯薬出版、2010年） ISBN:9784263213636
	その他	
連絡先・オフィスアワー		複数の教員で関わることから、各担当教員オフィスアワーはコースオリエンテーションで別途指示する。
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 理学療法士としての実務経験を活かした演習を行う。 【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP(1)(2)(3)に該当。

科目コード	12306
授業科目名	理学療法研究法
配当年次	3学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	湯口 聡
実務家教員	理学療法士 ： 湯口　聡
授業科目の概要	理学療法士はリハビリテーション専門職として、常に新しい知識や技術を習得するよう生涯学習を継続して、疑問を整理し、解決する姿勢が必要になる。そこで、本講義では、問題解決能力や論理的表現能力の習得を目的として、調査・研究の意義、目的、研究の手順、研究計画、文献検索、統計処理、実験研究・臨床研究、研究発表、論文のまとめに関する知識や技術について学習する。 　また、これらの習得により各人の卒業後の調査、研究活動がリハビリテーションや理学療法領域の発展に寄与するといった意識形成に作用するよう講義を進める。
授業の到達目標	1) 臨床研究の進め方が理解できる。 2) 学会発表の方法が理解できる。
特に関連する科目	理学療法研究 統計学
授業の具体的な進め方	指定教科書に準じて進めますので、予習・復習を行って下さい。Google classroomを活用して授業を進行していきます。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/11	月	3	湯口 聡	312	理学療法士における研究実施の意義と研究の全体像(p12-15)
2	4/18	月	3	湯口 聡	312	臨床研究の進め方①(事前準備,p16-41)
3	4/25	月	3	湯口 聡	312	臨床研究の進め方②(事前準備,p16-41)
4	5/9	月	3	湯口 聡	312	臨床研究の計画①;研究デザイン、PECO・PICO、信頼性と妥当性(研究企画,p43-66)
5	5/16	月	3	湯口 聡	312	臨床研究の計画②;研究デザイン、PECO・PICO、信頼性と妥当性(研究企画,p43-66)
6	5/23	月	3	湯口 聡	312	臨床研究の計画③;測定データの処理(研究企画,p66ー78)
7	5/30	月	3	湯口 聡	312	臨床研究の計画④;研究計画書と倫理委員会、臨床研究登録(研究企画,p66ー78)
8	6/6	月	3	湯口 聡		前半のまとめ (試験形式)
9	6/13	月	3	湯口 聡	312	臨床研究の実施①;データ測定と整理(p79-87)
10	6/20	月	3	湯口 聡	312	臨床研究の実施②;データ尺度(パラメトリックとノンパラメトリック・記述統計の各種用語,p88-106)
11	6/27	月	3	湯口 聡	312	臨床研究の実施③統計解析の種類(2群比較、相関分析、3群比較, p88-106)
12	7/4	月	3	湯口 聡	312	臨床研究の実施④;結果のまとめと解釈(p107-119)
13	7/11	月	3	湯口 聡	312	臨床研究成果の発表①(p120-142)
14	7/18	月	3	湯口 聡	312	臨床研究成果の発表②(p120-142)
15	7/25	月	3	湯口 聡	312	後半のまとめ

成績評価方法・基準		前後2回(各50%)の試験で100%満点とし、60%以上を合格とします。
授業外における学習（予習・復習）		講義前後に指定教科書をよく読んでおいてください。
教科書 ・参考文献等	教科書	山田 実 編著 『PT・OTのための臨床研究はじめの一歩～研究デザインから統計解析、ポスター・口述発表のコツまで実体験から教えます～』 （羊土社、2016年） ISBN :9784758102162
	参考書	適宜、お知らせします。
	その他	
連絡先・オフィスアワー		連絡先 ： 研究室415 湯口聡 s-yuguchi@jhsu.ac.jp オフィスアワー ： 木曜日以外の9:30～17:00(メール等での対応含む)
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 理学療法士としての（専門機関における）実務経験を活かした講義・実習を行う。 【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP(1)(2)(3)に該当。

科目コード	12308
授業科目名	リハビリテーション工学
配当年次	3学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	廣瀬 秀行、河合 俊宏
実務家教員	理学療法士：廣瀬 秀行、河合 俊宏
授業科目の概要	発展が著しい工学領域におけるリハビリテーション分野や理学療法分野の知識や技術を実際の介入場面で活用が軽度者はもちろんALSのような重度末期障害者へも対応できるように、本領域の歴史や発展過程とともに、様々な支援機器や福祉機器の対象、種類、特徴、形態、構造、機能を工学的視点を基礎とした分析を通して学習する。なお、コミュニケーション機器については埼玉県総合リハビリテーションセンターリハ工学河合俊宏先生にお願いする。
授業の到達目標	1. 福祉用具に関連する法律が理解でき、その使い方を理解できる。 2. 車椅子、電動車椅子、クッション、座位保持装置などシーティング、そしてコミュニケーション機器の理解と同時に、実践で使える。 3. 褥瘡について理解し、PTから見た褥瘡予防・対応ができる。 4. 重度障害者への適切な機器を選択/供給できる。
特に関連する科目	運動学　日常生活活動学　生活環境学
授業の具体的な進め方	対面講義、ビデオによる解説、実際の機器の操作、そして重度障害者への対応レポートと試験

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/12	火	4	廣瀬秀行	312	リハ工学概論：リハビリテーション工学の歴史や関連する法律の理解
2	4/19	火	4	廣瀬秀行	312	バリアフリー等：障害者に対するデザインの考え方の歴史と同時にバリアフリー新法の解説
3	4/26	火	4	廣瀬秀行	312	福祉用具関連法律：福祉用具法、障害者総合支援法、介護保険法の概略
4	5/10	火	4	廣瀬秀行	312	福祉用具関連制度、障害者白書、製造物責任法、WHO、テクノエイド協会
5	5/17	火	4	廣瀬秀行	312	車椅子：基本性能と適合
6	5/24	火	4	廣瀬秀行	312	電動車椅子：基本性能と適合
7	5/31	火	4	廣瀬秀行	312	車椅子と電動車椅子の応用
8	6/7	火	4	廣瀬秀行	312	褥瘡予防：褥瘡の病理、クッション、マットレスの原理と適合
9	6/14	火	4	廣瀬秀行	312	座位保持装置：マット評価と座位保持装置の基礎
10	6/21	火	4	廣瀬秀行	312	褥瘡予防および座位保持装置の応用
11	6/28	火	4	廣瀬秀行	312	重度障害者への機器対応Ⅰ（障害の把握）と福祉機器実習Ⅰ（移動）
12	7/5	火	4	廣瀬秀行	312	適合解説と福祉機器実習Ⅱ（マットレスとクッション）
13	7/12	火	4	廣瀬秀行 河合俊宏	312	コミュニケーション機器：障害者とコミュニケーション対応手法やコミュニケーション機器の解説
14	7/19	火	4	廣瀬秀行	312	ロボット等ハイテク機器：歩行ロボット、FES、介護
15	7/26	火	4	廣瀬秀行	312	重度障碍者への機器対応Ⅱ（レポート提出後の解説）

成績評価方法・基準		レポート提出　：20%　Reaction Paper：30%　試験　：50% ＊試験は60点以下は再試をする。 ＊レポートについては、コメントし返却する。適宜、個別での指導を実施する。 ＊RPは100字以上で2点とする。
授業外における学習（予習・復習）		予習は事前に出題し、復習はRPを記述すること。また、重度障碍者への対応も考慮して復習すること。
教科書 ・参考文献等	教科書	
	参考書	廣瀬秀行著 『高齢者のシーティング 第2版』（三輪書店、2014年） ISBN:9784895904667 廣瀬秀行編集 『障害者のシーティング』（三輪書店、2014年） ISBN:9784895904858
	その他	特になし
連絡先・オフィスアワー		Email:h-hirose@jhsu.ac.jp
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 理学療法士としての（専門機関における）実務経験を活かした実習を行う。 【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP（1）に該当。

科目コード	12309
授業科目名	理学療法評価学
配当年次	1学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	2単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	湯口 聡
実務家教員	理学療法士：湯口 聡
授業科目の概要	理学療法評価の基礎的知識、技術を理解するために、理学療法評価の意義、目的、過程（臨床検査値の解釈・画像評価の基礎を含む情報収集、検査・測定、問題点抽出、目標設定、プログラム立案）、評価の対象やその進め方についてが学習する。また、基礎的な検査・測定法である形態測定および関節可動域検査についてその意義、目的、具体的方法および結果の解釈について学習する。
授業の到達目標	理学療法における評価の意義・目的を理解する。 診療記録（カルテ）の見方、情報収集の方法を学ぶ。 フィジカルアセスメントを理解する。 障害モデル（ICF）を理解する。 評価プロセスを及び障害モデル（ICF）に関連づけて理解する。 形態測定の目的、意義、方法が理解できる。 関節可動域測定の目的、意義、方法が理解できる。 関節可動域表示並びに測定法を暗記する。
特に関連する科目	解剖学、生理学、リハビリテーション概論、リハビリテーション医学、基礎理学療法学、運動療法総論、理学療法評価学演習、生体計測学、神経系理学療法評価・治療学、運動器系理学療法評価・治療学など
授業の具体的な進め方	講義及び実技を対面形式で行う。単元ごとに、到達目標・行動目標を示す。講義により教科書および配付資料を理解するとともに、学生自身が学習の理解を確認するため、後半には積極的に演習課題、及び実習を展開し、再び講義、まとめの流れで実施する。印刷資料の配布方法は別途指示する。実技に関する講義は大学指定の実習着および検査器具で行う。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	9/27	火	1	湯口聡	217	評価とは何か(目的、意義、過程)。検査・測定の全体像
2	10/4	火	1	湯口聡	217	理学療法の目的となる患者の障害モデルの理解　国際生活機能分類(ICF)
3	10/11	火	1	湯口聡	217	全体像の把握　診療記録(カルテ)、医療面接(問診)の方法
4	10/18	火	1	湯口聡	217	バイタルサイン①　血圧、脈拍の測定
5	10/25	火	1	湯口聡	217	バイタルサイン②意識レベル、経皮的酸素飽和度の測定
6	11/1	火	1	湯口聡	217	形態測定①　目的、意義、ランドマークの確認
7	11/8	火	1	湯口聡	217	形態測定②　四肢長、周径の測定
8	11/15	火	1	湯口聡	217	まとめ(小テスト)
9	11/22	火	1	湯口聡	217	関節可動域測定①　測定の基本(目的、意義)・基本軸と移動軸、拘縮と強直
10	11/29	火	1	湯口聡	217	関節可動域測定②　関節可動域測定(上肢・体幹)　代償動作、エンドフィール
11	12/6	火	1	湯口聡	217	関節可動域測定③　関節可動域測定(下肢)　代償動作、エンドフィール
12	12/13	火	1	湯口聡	217	関節可動域測定④　関節可動域測定法(上肢・体幹・下肢)　代償運動、エンドフィール
13	12/20	火	1	湯口聡	217	バイタルサイン、形態測定、関節可動域測定総復習
14	1/10	火	1	湯口聡	217	バイタルサイン、形態測定、関節可動域測定の確認テスト①
15	1/17	火	1	湯口聡	217	バイタルサイン、形態測定、関節可動域測定の確認テスト②

成績評価方法・基準		前半筆記試験(50%)、授業内の実技確認テスト(50%)の計100%で評価し、60%以上を合格とする。
授業外における学習（予習・復習）		予習：(標準時間)15分、講義予定の箇所について教科書をあらかじめ読んでくる。 復習：(標準時間)45分、教科書で復習をする。
教科書・参考文献等	教科書	松澤正・江口勝彦著 『理学療法評価学 改訂第6版』(金原出版　2018年)　ISBN:9784307750547
	参考書	内山靖 『標準理学療法学～専門分野～<理学療法評価学> 第3版(STANDARD TEXTBOOK)』（医学書院、2019年） ISBN:9784260036399
		石川朗, 森山英樹　他 『理学療法評価学<1>(15レクチャーシリーズ　理学療法テキスト)』（中山書店、2013年） ISBN:9784521736686
		石川朗, 森山英樹　他 『理学療法評価学<2>(15レクチャーシリーズ　理学療法テキスト)』（中山書店、2013年） ISBN:9784521736693
		沖田 実 『関節可動域制限～病態の理解と治療の考え方～ 第2版』（三輪書店、2013年） ISBN:9784895904353
		世界保健機関, 障害者福祉研究会 『国際生活機能分類～国際障害分類改定版～』（中央法規出版、2002年） ISBN:9784805844175
		福田　修 『ROM測定　第2版(DVD Series PT・OTのための測定評価　1)』（三輪書店、2010年） ISBN:9784895903547
	その他	
連絡先・オフィスアワー		連絡先　：　研究室415　湯口聡 s-yuguchi@jhsu.ac.jp オフィスアワー：　木曜日以外の9:30～17:00(メール等での対応含む)
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 理学療法士としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。 【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP(1)③(2)①②③(3)①に該当。

科目コード	12310
授業科目名	理学療法評価学演習Ⅰ
配当年次	2学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	演習
担当教員	永野 克人
実務家教員	理学療法士：永野 克人
授業科目の概要	理学療法評価において基本的検査・測定である筋力検査に関してその意義、目的、種類、対象、方法、判定基準や結果の解釈について学習する。そして、筋力検査の中でも徒手筋力検査に関しては、関連する解剖学的、運動学的知識についても再確認しながら、頸部・体幹、上肢、下肢の各検査の具体的な方法を総合的に学習する。 本講義の演習で身につけた知識や技術を通して、その後の各臨床実習の基礎力を高めるものとする。
授業の到達目標	1. 徒手筋力検査法の意義、目的、測定方法を説明できる 2. 徒手筋力検査法の判定基準、基本的手技について説明できる 3. 各上肢の徒手筋力検査実施方法、主動作筋とその起始付着、神経支配と髄節レベルを説明できる 4. 各下肢の徒手筋力検査実施方法、主動作筋とその起始付着、神経支配と髄節レベルを説明できる 5. 頸部体幹の徒手筋力検査実施方法、主動作筋とその起始付着、神経支配を説明できる 6. 肢位別に検査測定項目を挙げることができる
特に関連する科目	解剖学　生理学　運動学　基礎理学療法学　各理学療法評価学・治療学
授業の具体的な進め方	演習時の服装は、KCまたは半袖・短パン、運動着等でマスク着用とする。 授業の形態は、状況により対面または遠隔授業で行う. 遠隔：オンラインやオンデマンド 対面：前半と後半の交代制や教室分散など

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	6/9	木	3	永野克人	306	オリエンテーション徒手筋力テストの原理
2	6/9	木	4	永野克人	306	頚筋のテスト
3	6/16	木	3	永野克人	306	体幹の筋力テスト
4	6/16	木	4	永野克人	306	上肢の筋力テスト1
5	6/23	木	3	永野克人	306	上肢の筋力テスト2
6	6/23	木	4	永野克人	306	上肢の筋力テスト3
7	6/30	木	3	永野克人	306	下肢の筋力テスト1
8	6/30	木	4	永野克人	306	下肢の筋力テスト2
9	7/7	木	3	永野克人	306	下肢の筋力テスト3
10	7/7	木	4	永野克人	306	脳神経支配筋のテスト
11	7/14	木	3	永野克人	306	総合実技演習・試験1
12	7/14	木	4	永野克人	306	総合実技演習・試験2
13	7/21	木	3	永野克人	306	総合実技演習・試験3
14	7/21	木	4	永野克人	306	総合実技演習・試験4
15	7/28	木	3	永野克人	306	総合実技演習・試験5

成績評価方法・基準		実技試験100%。だし課題や服装、講義マナー等で注意を受けた場合は1回につき10～30点を総合点から減点する。
授業外における学習（予習・復習）		演習授業に参加する前に徒手筋力検査のポイントである検者の立ち位置、検者の姿勢、患者の姿勢（体位と構え）、抵抗の部位，保持・固定の部位を教科書で把握し十分に自己練習してから演習授業でのペア練習に臨むこと。 特に、骨の名称、及び筋の起始、停止（付着）、支配神経、髄節レベルを十分に学習し演習授業に臨むこと。
教科書・参考文献等	教科書	Helen　J.　Hislop著、津山直一訳『新・徒手筋力検査法　原著第10版』（エルゼビア・ジャパン、2020年） ISBN:9784763900418
		松澤正、江口勝彦『理学療法評価学 第6版補訂版』（金原出版、2022年） ISBN:9784307750684
	参考書	野村 嶬編『解剖学　第5版(標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野)』（医学書院、2020年） ISBN:9784260039222
	その他	特になし
連絡先・オフィスアワー		オフィスアワー：平日の火曜日と金曜日12：40ー13：30。 研究室：416号室
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 理学療法士としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。 【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP(1)③(2)①②③(3)①に該当。

科目コード	12311
授業科目名	理学療法評価学演習Ⅱ
配当年次	2学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	演習
担当教員	髙橋 真
実務家教員	理学療法士：髙橋 真
授業科目の概要	本講義では、主に神経系疾患にみられる症状や障害に対する検査・測定項目(体性感覚検査、表在、深部、病的反射検査、姿勢反射検査、脳神経検査、筋緊張検査、バランス検査等)を中心に、その意義や目的、分類、対象、方法、判定基準、注意事項および結果の解釈に関して学習する。そして、演習を通してこれらの具体的な検査・測定手技を身につける。 本演習の知識や技術は「検査・測定実習」に直結し、その他の臨床実習の基盤となるため、実践的な視点をもちながら、学習に取り組まなければならない。
授業の到達目標	1. 神経系疾患にみられる症状、その結果生じる障害について説明することができる。 2. 神経系疾患に生じる障害に対する機能評価のための各種検査方法について説明することができる。 3. 神経系疾患機能評価のための各種検査方法を、注意点に留意し、安全に実施することができる。 4. 検査結果の記録をすることができる。 5. 判定基準を理解し、検査結果について解釈ができる。
特に関連する科目	解剖学Ⅱ、生理学Ⅱ、神経内科学1・Ⅱ、基礎理学療法学Ⅰ・Ⅱ、臨床推論演習、理学療法評価学、神経系理学療法評価・治療学Ⅰ・Ⅱ、神経系理学療法評価・治療学演習、検査・測定実習、評価実習、総合臨床実習Ⅰ・Ⅱ
授業の具体的な進め方	・演習時は運動着、マスクを着用する。 ・授業は学内で行う。授業は講義（演習内容の説明）と演習を中心に行う。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	6/10	金	3	髙橋真	306	神経系理学療法評価総論（陽性徴候・陰性徴候を含む）1
2	6/10	金	4	髙橋真	306	神経系理学療法評価総論（陽性徴候・陰性徴候を含む）2
3	6/17	金	3	髙橋真	306	実技テストと小テスト①
4	6/17	金	4	髙橋真	306	筋緊張，反射検査　相同性伸張反射，病的反射1
5	6/24	金	3	髙橋真	306	筋緊張，反射検査　相同性伸張反射，病的反射2
6	6/24	金	4	髙橋真	306	姿勢反射
7	7/1	金	3	髙橋真	306	平衡機能検査，バランスパフォーマンステスト
8	7/1	金	4	髙橋真	306	実技テストと小テスト②
9	7/8	金	3	髙橋真	306	痛みと感覚検査1
10	7/8	金	4	髙橋真	306	痛みと感覚検査2
11	7/15	金	3	髙橋真	306	脳神経検査
12	7/15	金	4	髙橋真	306	実技テストと小テスト③
13	7/22	金	3	髙橋真	306	協調性傷害・バイタルサイン
14	7/22	金	4	髙橋真	306	高次脳機能検査
15	7/29	金	3	髙橋真	306	実技テストと小テスト④

成績評価方法・基準		実技テスト①：25点、②：25点、③：25点、④：25点（概ね点数基準）
授業外における学習（予習・復習）		《予習》各講義の開講までに該当箇所について、教科書を読んでおくこと。 《復習》講義中に述べたことについて、教科書を中心に復習をすること。また検査手技については講義後に各自必ず復習し習得度を高め、定着をはかること。
教科書・参考文献等	教科書	松澤正 他 『理学療法評価学 第6版補訂版』（金原出版、2022年） ISBN:9784307750684
		医療情報科学研究所編 『病気がみえる<vol.7> 第2版 脳・神経』（メディックメディア、2017年） ISBN:9784896326864
		松澤正・江口勝彦著 『理学療法評価学 第6版補訂版』（金原出版、2022年） ISBN:9784307750684
	参考書	細田多穂 他 編 『理学療法ハンドブック<第1巻> 改訂第4版 理学療法の基礎と評価』（協同医書出版社、2010年） ISBN:9784763910561
	その他	
連絡先・オフィスアワー		髙橋真 メールアドレス ma-takahashi@jhsu.ac.jp 毎週月曜日以外9:00-17:30研究室412室
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 理学療法士としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。 【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP（2）に該当。

科目コード	12312
授業科目名	生体計測学
配当年次	2学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	永野 克人
実務家教員	理学療法士：永野 克人
授業科目の概要	理学療法の評価や治療場面において活用する様々なリハビリテーション機器の活用能力を身につけるために、数学および物理学の知識を応用しながら各測定・計測機器の原理や構造を理解し、その操作、使用方法、得られたデータの意味や解釈の方法について学習する。
授業の到達目標	1. 機器の基本原理を理解し，説明できる。 2. 機器の測定対象の疾患や障害を理解できる。 3. ある程度の使用方法を理解できる。 4. 結果について説明できる。
特に関連する科目	運動学Ⅰ　運動学Ⅱ　神経系理学療法評価・治療学Ⅰ　神経系理学療法評価・治療学Ⅱ　運動器系理学療法評価・治療学Ⅰ　運動器系理学療法評価・治療学Ⅱ　臨床動作分析学
授業の具体的な進め方	遠隔授業の場合，講義（meet）は教科書を中心に進める。 講義の理解度を確認するため、演習テストを行うことやレポート課題を出す場合がある。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	9/21	水	1	永野克人	306	オリエンテーション計ることの意味
2	9/21	水	2	永野克人	306	計るための臨床思考過程
3	9/28	水	1	永野克人	306	神経ー筋機能の計測1
4	9/28	水	2	永野克人	306	神経ー筋機能の計測2
5	10/5	水	1	永野克人	306	神経ー筋機能の計測3
6	10/5	水	2	永野克人	306	姿勢・運動機能の計測1
7	10/12	水	1	永野克人	306	姿勢・運動機能の計測2
8	10/12	水	2	永野克人	306	姿勢・運動機能の計測3
9	10/19	水	1	永野克人	306	呼吸・循環・代謝機能の計測1
10	10/19	水	2	永野克人	306	呼吸・循環・代謝機能の計測2
11	10/26	水	1	永野克人	306	呼吸・循環・代謝機能の計測3
12	10/26	水	2	永野克人	306	呼吸・循環・代謝機能の計測4
13	11/2	水	1	永野克人	306	認知機能の計測ー脳活動電位計測による試み
14	11/2	水	2	永野克人	306	認知機能の計測ー脳活動電位計測による試み2
15	11/9	水	1	永野克人	306	演習または認知機能の計測ー脳活動電位計測による試み3

成績評価方法・基準		定期試験100%。ただし、10～30%配点のレポート課題を出す場合がある。 レポート課題の未提出や内容が不十分な場合や講義マナー等で注意された場合は、「1回につき総合点から10～30点減点」する。
授業外における学習（予習・復習）		課題1：講義前に教科書を十分に読み、内容の理解に努め、また、分からないことを明らかし講義に臨むこと。 課題2：講義後は学習した範囲の復習を行い神経系理学療法について理解・説明できるように、しっかり覚えるまで学習を反復すること。 課題3：口頭や資料等で説明したことは、ノートやマーカー、アンダーラインをするなど復習できるように記録すること。 課題4：図書やオフィスアワーを利用し、分からないことを必ず解決すること。
教科書・参考文献等	教科書	内山靖・小林武・間瀬教史編集 『計測法入門～計り方，計る意味～』（協同医書出版社、2001年） ISBN:9784763910301
	参考書	特になし
	その他	特になし
連絡先・オフィスアワー		オフィスアワーを下記時間に設けるので，この時間帯に来室やメール等をすること（緊急以外，日時厳守）。 平日火曜日13時～15時 平日木曜日8時～12時 研究室416（E-mail: k-hisano@jhsu.ac.jp）
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 理学療法士としての（専門機関における）実務経験を活かした講義を行う。 【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP（2）に該当。

科目コード	12313
授業科目名	臨床動作分析学
配当年次	3学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	2単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	東 裕一
実務家教員	理学療法士：東 裕一
授業科目の概要	評価の一部として動作観察、動作分析が一般的に行われている。実際には医療面接の内容、カルテ情報が重要なヒントとなる。観察のポイント、表現方法などにきまりはないが、ある程度の方向性はあるので、それを学び、治療プログラム立案につなげることを学ぶ。
授業の到達目標	1. 症例に合わせて観察すべき動作項目を列挙できる。 2. 観察のポイントを列挙できる。 3. 観察したことを表記できる。 4. 付加しなければならない検査を列挙できる。 5. 治療プログラムの方向性を説明できる。
特に関連する科目	運動学Ⅰ、Ⅱ、日常生活活動学、理学療法評価学、理学療法評価学演習Ⅰ
授業の具体的な進め方	講義と演習

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/12	火	1	東裕一	312	オリエンテーション、総論
2	4/19	火	1	東裕一	312	姿勢・動作観察と動作分析
3	4/26	火	1	東裕一	312	起居動作の概要：寝返り
4	5/10	火	1	東裕一	312	起居動作の概要：起き上がり
5	5/17	火	1	東裕一	312	起居動作の概要：立ち上がり
6	5/24	火	1	東裕一	312	姿勢・歩行観察：正常アライメント・歩行の復習
7	5/31	火	1	東裕一	312	歩行観察
8	6/7	火	1	東裕一	312	中間試験
9	6/14	火	1	東裕一	312	試験解説、異常歩行、歩行機能検査
10	6/21	火	1	東裕一	312	実践練習：立ち上がり
11	6/28	火	1	東裕一	312	実践練習：起き上がり
12	7/5	火	1	東裕一	312	実践練習：歩行
13	7/12	火	1	東裕一	312	実践練習：階段昇降
14	7/19	火	1	東裕一	312	演習（グループ活動）1
15	7/26	火	1	東裕一	312	演習（グループ活動）2

成績評価方法・基準		基礎知識を問う中間試験、および演習による提出物による。
授業外における学習（予習・復習）		運動学Ⅰ、運動学Ⅱ、日常生活活動学、理学療法評価学、理学療法評価学演習Ⅰの復習
教科書・参考文献等	教科書	
	参考書	石井慎一郎 『動作分析臨床活用講座～バイオメカニクスに基づく臨床推論の実践～』（メジカルビュー社、2013年） ISBN:9784758314749 隈元庸夫 『症例動作分析～動画から学ぶ姿勢と動作～』（ヒューマン・プレス、2017年） ISBN:9784908933097 藤澤宏幸 『日常生活活動の分析～身体運動学的アプローチ～』（医歯薬出版、2012年） ISBN:9784263214008 藤澤宏幸 『データに基づく臨床動作分析』（文光堂、2016年） ISBN:9784830645433
	その他	
連絡先・オフィスアワー		
その他		

科目コード	12314
授業科目名	運動療法総論
配当年次	1学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	15時間
授業形態	講義
担当教員	鈴木 慶
実務家教員	理学療法士：鈴木 慶
授業科目の概要	運動療法総論では，理学療法において重要な部分を占める運動療法の基礎を学ぶ．運動療法の活用の場はあらゆる疾患・生涯といった医療の分野に限らずスポーツ・健康増進・予防に関する分野まで広がっているため，運動療法学的アプローチや基本原理と注意，器具使用方法について学修する．
授業の到達目標	1)運動療法の概念を説明できるようになる． 2)組織の病態生理を理解し運動療法の理解を深め説明できるようになる． 3)臨床現場において応用できるように理解を深める
特に関連する科目	解剖学，生理学，運動学の知識を活用する．
授業の具体的な進め方	講義またはグループ学習

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	9/21	水	2	鈴木慶	217	オリエンテーション、運動療法とは何か？基礎知識の確認，運動療法の基礎・リスク管理
2	9/28	水	2	鈴木慶	217	筋機能と運動療法
3	10/5	水	2	鈴木慶	217	関節可動域と運動療法
4	10/12	水	2	鈴木慶	217	バランス機能と運動療法
5	10/19	水	2	鈴木慶	217	呼吸循環機能と運動療法
6	10/26	水	2	鈴木慶	217	循環機能と運動療法
7	11/2	水	2	鈴木慶	217	代謝機能と運動療法
8	11/9	水	2	鈴木慶	217	基本動作と運動療法

成績評価方法・基準		レポート：50%、知識・実技レベルの評価50%
授業外における学習（予習・復習）		運動療法の基本原理を理解するために生理学，運動学，解剖学の基礎知識は必要となる．
教科書・参考文献等	教科書	対馬　栄輝，編集『 Crosslink 理学療法学テキスト　運動療法学』（メジカルビュー，2020年） ISBN9784758320054
	参考書	石川　朗，解良武士，玉木　彰『運動療法学　理学療法テキスト』(中山書店，2014年)ISBN：9784521736716
	その他	
連絡先・オフィスアワー		連絡先：研究室413 メールアドレス：k-suzuki@jhsu.ac.jp オフィスアワー：水曜日13：00～13：30、16:40～17:30
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 理学療法士としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。 【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP(1)-①,③,④,(2)-①,(3)-②に該当。

科目コード	12315
授業科目名	神経系理学療法評価・治療学Ⅰ
配当年次	2学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	2単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	永野 克人
実務家教員	理学療法士：永野 克人
授業科目の概要	脳血管障害・外傷性頭部損傷について、理学療法検査・測定、原因・症状およびそれにともなう障害について学習する。 脳血管障害・外傷性頭部損傷患者に対する理学療法評価（評価，問題点抽出）および理学療法治療（運動療法の原理，治療体系，問題点抽出後の目標設定、治療プログラム作成、理学療法実施方法）、日常生活活動（基本動作）の指導方法を学習する。
授業の到達目標	1．神経疾患特有の理学療法検査・測定を理解し、行うことができる 2．脳血管障害・外傷性頭部損傷の原因・症状、および、それにともなう障害について説明できる 3．脳血管障害・外傷性頭部損傷患者に対する理学療法評価（評価，問題点抽出）について説明できる 4．脳血管障害・外傷性頭部損傷患者に対する理学療法治療（運動療法の原理、治療体系、問題点抽出後の目標設定、治療プログラム作成、理学療法実施方法）について説明できる 5．脳血管障害・外傷性頭部損傷患者に対する日常生活活動（基本動作）の指導方法を説明できる
特に関連する科目	解剖学Ⅱ　生理学Ⅱ　神経内科学Ⅰ・Ⅱ　画像評価学　基礎理学療法学Ⅰ・Ⅱ　臨床推論演習　理学療法総合演習　理学療法評価学　理学療法評価学演習Ⅰ・Ⅱ　神経系理学療法評価・治療学Ⅱ　神経系理学療法評価・治療学演習　日常生活活動学　日常生活活動学演習　検査・測定実習　評価実習　総合臨床実習Ⅰ・Ⅱ
授業の具体的な進め方	遠隔授業の場合、講義（meet）は教科書を中心に進める。 講義の理解度を確認するため、演習テストを行うことやレポート課題を出す場合がある。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	11/9	水	2	永野克人	306	オリエンテーション脳卒中の障害総論1・2
2	11/16	水	1	永野克人	306	脳卒中の障害総論1・2
3	11/16	水	2	永野克人	306	脳卒中の障害総論3・4
4	11/30	水	1	永野克人	306	脳卒中の障害総論5・6
5	11/30	水	2	永野克人	306	脳卒中の障害と理学療法1・2
6	12/7	水	1	永野克人	306	脳卒中の障害と理学療法3・4
7	12/7	水	2	永野克人	306	脳卒中の障害と理学療法5・6
8	12/14	水	1	永野克人	306	脳卒中の障害と理学療法7・8
9	12/14	水	2	永野克人	306	脳卒中の障害と理学療法9・10
10	12/21	水	1	永野克人	306	脳卒中の障害と理学療法11・12
11	12/21	水	2	永野克人	306	脳卒中の障害と理学療法13・14
12	1/11	水	1	永野克人	306	脳卒中の障害と理学療法15・16
13	1/11	水	2	永野克人	306	総合演習1
14	1/18	水	1	永野克人	306	総合演習2
15	1/18	水	2	永野克人	306	総合演習3

成績評価方法・基準		筆記試験100%。ただし、講義スケジュール内に確認テストを行う場合がある。 演習および課題の未提出や内容不十分な場合や講義マナー等で注意された場合は、「1回につき定期試験の総合点から10～30点減点」する。
授業外における学習（予習・復習）		課題1：講義前に教科書を十分に読み、内容の理解に努め、また、分からないことを明らかし講義に臨むこと。 課題2：講義後は学習した範囲の復習を行い神経系理学療法について理解・説明できるように、しっかり覚えるまで学習すること。 課題3：口頭や資料で説明したことは、ノートやマーカー、アンダーラインを引くなど記録すること。 課題4：図書やオフィスアワーを利用し、分からないことを必ず解決すること。
教科書・参考文献等	教科書	吉尾雅春ほか 『標準理学療法学～専門分野～〈神経理学療法学〉 第2版(STANDARD TEXTBOOK)』（医学書院、2018年） ISBN:9784260036214
	参考書	相磯貞和他 『ネッター解剖学アトラス［電子書籍付］（原書第7版）』（南江堂、2022年） ISBN:9784524230082
		松澤正ほか 『理学療法評価学 第6版補訂版』（金原出版、2022年） ISBN:9784307750684
		田崎義明ほか 『ベッドサイドの神経の診かた 改訂18版』（南山堂、2016年） ISBN:9784525247980
		奈良勲他編 『図解理学療法検査・測定ガイド 第2版』（文光堂、2009年） ISBN:9784830643590
		市橋則明編 『理学療法プログラムデザイン～ケース別アプローチのポイントと実際～』（文光堂、2009年） ISBN:9784830643521
		市橋則明編 『運動療法学～障害別アプローチの理論と実際～ 第2版』（文光堂、2014年） ISBN:9784830645037
		齋藤宏ほか 『姿勢と動作～ADLその基礎から応用～ 第3版』（メヂカルフレンド社、2010年） ISBN:9784839213503
	その他	
連絡先・オフィスアワー		オフィスアワーを下記時間に設けるので、この時間帯に来室やメール等をすること（日時厳守）。 平日の火曜日13時～15時 平日の木曜日8時～12時 研究室416（E-mail: k-hisano@jhsu.ac.jp）
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 理学療法士としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。 【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP（1）に該当。

科目コード	12316
授業科目名	神経系理学療法評価・治療学Ⅱ
配当年次	2学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	加茂 智彦
実務家教員	理学療法士：加茂智彦
授業科目の概要	パーキンソン病、脊髄小脳変性症、筋萎縮性側索硬化症、前庭障害・めまい、ギラン・バレー症候群、末梢神経損傷等の成人神経系疾患の症状とそれに伴う障害の各病期や重症度に応じた理学療法の介入について評価および運動療法の実施から日常生活活動、患者・家族指導までを系統的に学習する。
授業の到達目標	1. 神経変性疾患・免疫性神経疾患に関連する大脳基底核・小脳の働きについて説明できる。 2. 神経変性疾患・免疫性神経疾患の症状、それにともなう障害について説明できる。 3. 神経変性疾患・免疫性神経疾患に対する理学療法評価について説明できる。 4. 神経変性疾患・免疫性神経疾患に対する理学療法（運動療法の原理、治療体系、評価、問題点抽出後の目標設定、治療プログラム作成、理学療法実施方法）について説明できる。 5. 神経変性疾患・免疫性神経疾患の理学療法を実施する上でのリスク管理について説明できる。
特に関連する科目	解剖学Ⅱ、生理学Ⅱ、神経内科学Ⅰ・Ⅱ、基礎理学療法学Ⅰ・Ⅱ、臨床推論演習、理学療法総合演習、理学療法評価学、理学療法評価学演習Ⅰ・Ⅱ、神経系理学療法評価・治療学Ⅰ、神経系理学療法評価・治療学演習、日常生活活動学、日常生活活動学演習、検査・測定実習、評価実習、総合臨床実習Ⅰ・Ⅱ
授業の具体的な進め方	講義を中心に授業を進める。十分な講義の復習を求める。 講義の理解度を確認するため、小テストを行う場合がある。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	9/30	金	1	加茂智彦	306	神経変性疾患・免疫性神経疾患についての概説
2	10/7	金	1	加茂智彦	306	大脳基底核の構造と役割、大脳基底核障害で生じる疾患
3	10/14	金	1	加茂智彦	306	パーキンソン病の症状・障害
4	10/21	金	1	加茂智彦	306	パーキンソン病に対する理学療法評価
5	10/28	金	1	加茂智彦	306	パーキンソン病に対する理学療法
6	11/4	金	1	加茂智彦	304	小脳の構造と役割、小脳障害で生じる疾患
7	11/11	金	1	加茂智彦	306	脊髄小脳変性症の症状・障害
8	11/18	金	1	加茂智彦	306	脊髄小脳変性症に対する理学療法評価
9	11/25	金	1	加茂智彦	306	脊髄小脳変性症に対する理学療法
10	12/2	金	1	加茂智彦	306	筋萎縮性側索硬化症に対する理学療法評価・理学療法
11	12/9	金	1	加茂智彦	306	多発性硬化症に対する理学療法評価・理学療法
12	12/16	金	1	加茂智彦	306	前庭障害・めまいに対する理学療法評価
13	12/23	金	1	加茂智彦	306	前庭障害・めまいに対する理学療法
14	1/13	金	1	加茂智彦	306	その他の神経変性疾患・免疫性神経疾患に対する理学療法評価・理学療法
15	1/20	金	1	加茂智彦	306	その他の神経変性疾患・免疫性神経疾患に対する理学療法評価・理学療法

成績評価方法・基準		小テスト30%、期末試験70%
授業外における学習（予習・復習）		復習中心での、講義時間外の学習を求める。その際、可能な限り学生間でのグループ学習を薦める。 講義内、またグループ学習を含めた授業外学習（復習）を行っても理解困難な場合は、必ず担当教員に質問し、わからない部分を解消すること。
教科書・参考文献等	教科書	松澤正・江口勝彦著 『理学療法評価学 第6版補訂版』（金原出版、2022年） ISBN:9784307750684
		潮見泰藏 編 『神経理学療法学(ビジュアルレクチャー)』（医歯薬出版、2017年） ISBN:9784263218136
		伏木宏彰・加茂智彦編 『前庭障害に対するリハビリテーション～EBMに即した実践アプローチ～』（メジカルビュー社、2019年） ISBN:9784758320221
	参考書	医療情報科学研究所編 『病気がみえる<vol.7> 第2版 脳・神経』（メディックメディア、2017年） ISBN:9784896326864
	その他	
連絡先・オフィスアワー		連絡先：研究室413 メールアドレス：t-kamo@jhsu.ac.jp オフィスアワー：月曜日、木曜日13：00～13：30、16:40～17:30
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 理学療法士としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。 【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP（1）に該当。

科目コード	12317
授業科目名	神経系理学療法評価・治療学演習
配当年次	3学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	演習
担当教員	永野 克人
実務家教員	理学療法士：永野 克人
授業科目の概要	神経系理学療法評価・治療学Ⅰ・Ⅱで学習した代表的な神経系疾患・障害に関して，模擬患者（紙上患者）を用いた問題点志向型学習を行い，各種障害像にあった情報収集，検査・測定，評価，目標設定，治療計画立案，リスク管理，患者指導について臨床思考的な能力を高めるよう学習する．そして，神経系理学療法で用いる各種治療手技に関しては基本的な技能を習得する．
授業の到達目標	1. 脳血管障害，神経変性疾患の障害に対する理学療法を選択できる． 2. 脳梗塞・脳出血などの脳血管障害に対する理学療法を施行できる． 3. パーキンソニズム・脊髄小脳変性症などの神経変性疾患に対する理学療法を施行できる． 4. 脳血管障害、神経変性疾患の理学療法を実施する上でのリスク管理ができる． 5. 脳血管障害、神経変性疾患における合併症を理解し，それに対する対応ができる．
特に関連する科目	解剖学Ⅱ　生理学Ⅱ　神経内科学Ⅰ　神経内科学Ⅱ　基礎理学療法学Ⅰ　基礎理学療法学Ⅱ　臨床推論演習　理学療法総合演習　理学療法評価学　理学療法評価学演習Ⅰ　理学療法評価学演習Ⅱ　神経系理学療法評価・治療学Ⅰ　神経系理学療法評価・治療学Ⅱ　日常生活活動学　日常生活活動学演習　検査・測定実習　評価実習　総合臨床実習Ⅰ　総合臨床実習Ⅱ
授業の具体的な進め方	実技演習時の服装は、KCまたは半袖・短パン，運動着とし，マスク着用とする． 遠隔授業の場合は，症例発表およびレポート作成等を行う． 対面授業の場合は，ペア実技演習を前半と後半の交代制または教室を分散して行う．

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/13	水	1	永野克人	301	オリエンテーション麻痺側上肢が低緊張のケース麻痺側下肢が低緊張のケース麻痺側体幹が低緊張のケース
2	4/13	水	2	永野克人	301	症例発表準備症例レポート作成 麻痺側上肢の分離運動ができないケース 麻痺側下肢の分離運動ができないケース 麻痺側の手指が屈曲位のままで，手指が伸ばしにくいケース 寝返り（背臥位から腹臥位）ができないケース
3	4/20	水	1	永野克人	301	症例発表準備、症例レポート作成 起き上がり（ベッド上背臥位から端座位）ができないケース 座位で円背姿勢をとるケース 座位で麻痺側に傾く姿勢をとるケース 座位で非麻痺側に傾く姿勢をとるケース
4	4/20	水	2	永野克人	301	症例発表準備、症例レポート作成 座位で前方への安定性が低いケース 座位で後方への安定性が低いケース 椅子から立ち上がる時に後方へ倒れ込む（座ってしまう）ケース 椅子から立ち上がる時に前方に倒れるケース
5	4/27	水	1	永野克人	301	症例1発表、症例発表準備 椅子から立ち上がる時に麻痺側に倒れるケース 床からの立ち上がりができないケース 平行棒内で片手支持での立位はできるが，支持なしではできないケース 立位時に膝のロッキングが生じるケース
6	4/27	水	2	永野克人	301	症例1発表、症例発表準備 立位時に膝屈曲位となるケース 立位時に体幹前屈ができないケース 立位時に側方への体重移動ができないケース 立位時にプッシャー現象を示すケース
7	5/11	水	1	永野克人	301	立位時に病的伸展共同運動のために麻痺側の下肢に体重が乗らないケース 歩行時に平行棒を引っ張って歩くケース 感覚障害が著明で歩行が不安定なケース 歩行時の立脚初期に内反が生じるケース
8	5/11	水	2	永野克人	301	歩行時の立脚初期に膝のロッキングが生じるケース 歩行時の立脚中期～後期に膝のロッキングが生じるケース 歩行時に膝折れが起こるケース 歩行時の立脚後期に蹴り出しができないケース
9	5/18	水	1	永野克人	301	歩行時に非麻痺側のステップが小さいケース 麻痺側の単脚立脚期が短いケース 歩行時の立脚期に尖足が起こるケース 歩行や階段を降りる時に麻痺側の足が内反するケース
10	5/18	水	2	永野克人	301	回復期の理学療法2
11	5/25	水	1	永野克人	301	患側前型歩行で膝折れが起こるケース 歩行時に麻痺側の振り出しが困難なケース 歩行遊脚期に股関節外転（分回し）で振り出すケース 歩行遊脚期に体幹後傾で振り出すケース
12	5/25	水	2	永野克人	301	歩行遊脚期に股関節屈曲や内転が大きいケース 歩行遊脚期に足尖の引きずりが生じるケース 非麻痺側での車椅子駆動ができないケース パーキンソン病，すくみ足があるケース
13	6/1	水	1	永野克人	301	突進現象があるケース小刻み歩行を呈するケース方向転換ができないケース寝返りや起き上がりができないケース
14	6/1	水	2	永野克人	306	総合実技演習・試験1
15	6/8	水	1	永野克人	306	総合実技演習・試験2

成績評価方法・基準		遠隔授業の場合は，実技試験50%，症例発表・症例レポート50%． 対面授業の場合は，実技試験100%．． 演習の服装違反やネット等からのコピー＆ペースト，盗用，不正行為，提出遅れ・未提出，内容不十分，発表不参加，講義マナー違反等は1回（1箇所）につき期末試験の総合点から10～30点減点する．
授業外における学習（予習・復習）		課題1：自宅学習として，教科書を十分に繰り返し読み手技の目的と方法を理解し，単独で手技を自主練習すること．そのことによって，対面授業の際にペアで実技を中心に練習することができるようにすること． 課題2：対面授業で練習した実技を自宅で反復練習し，正確・迅速にできるようにすること．
教科書・参考文献等	教科書	市橋則明編『理学療法プログラムデザイン～ケース別アプローチのポイントと実際』（文光堂、2009年） ISBN:9784830643521
	参考書	
	その他	
連絡先・オフィスアワー		平日の火曜日・金曜日12：40―13：30 研究室416 E-mail: k-hisano@jhsu.ac.jp
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 理学療法士としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う． 【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP(2)に該当．

科目コード	12318
授業科目名	運動器系理学療法評価・治療学Ⅰ
配当年次	2学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	2単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	旭 竜馬
実務家教員	理学療法士：旭 竜馬
授業科目の概要	筋骨格系障害領域の理学療法として、変形性関節症、関節リウマチ、脊椎疾患、腰痛症、肩関節周囲炎、胸郭出口症候群、慢性疼痛疾患、骨壊死性疾患等の代表的な運動器系疾患・障害に対する画像評価を含めた理学療法評価を学習する。更に、鎮痛、創傷治療からADL指導までの一連の理学療法過程について系統的に学習する。
授業の到達目標	代表的な運動器系疾患の各病期および症状に対応する具体的な検査・測定方法、判定基準、評価、運動療法、リスク管理、効果判定、日常生活活動の指導までの一連の理学療法過程について理解する。到達目標の一部を下記に示す。 ・変形性関節症、関節リウマチ、椎間板ヘルニアについて理解する。 ・肩関節周囲炎、胸郭出口症候群について理解する。 ・慢性疼痛疾患について理解する。 ・脊椎疾患・脊髄損傷について理解する。 ・骨系統疾患・先股脱等の先天性疾患、ペルテス病・骨端症等の成長期の疾患について理解する。
特に関連する科目	解剖学Ⅰ（運動器系） 解剖学Ⅱ（脈管系、神経系） 解剖学Ⅲ（感覚器系、内蔵器系） 解剖学実習 体表解剖学と触診法 運動学Ⅰ 運動学Ⅱ 運動学実習 リハビリテーション医学 整形外科学Ⅰ（基礎） 整形外科学Ⅱ（応用） 神経内科学Ⅰ（基礎） 画像評価学 臨床検査学 理学療法評価学 理学療法評価学演習 運動器系理学療法評価・治療学Ⅱ 運動器系理学療法評価・治療学演習 検査・測定実習 評価実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ
授業の具体的な進め方	学生自身が学習の到達状況を知る為に、形成的評価の一部としてミニクイズを実施する。 印刷資料の配布方法は別途指示する。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/12	火	1	旭竜馬	306	運動器疾患の疫学および運動器系理学療法の概要および特徴
2	4/19	火	1	旭竜馬	306	変形性関節症の病態と検査・測定方法、判定基準、理学療法評価
3	4/26	火	1	旭竜馬	306	変形性関節症の理学療法
4	5/10	火	1	旭竜馬	306	関節リウマチの病態と検査・測定方法、判定基準、理学療法評価と理学療法
5	5/17	火	1	旭竜馬	306	脊髄損傷の病態と検査・測定方法、判定基準、理学療法評価
6	5/24	火	1	旭竜馬	306	脊髄損傷の理学療法
7	5/31	火	1	旭竜馬	306	脊椎圧迫骨折と骨粗鬆症の病態と検査・測定方法、判定基準、理学療法評価と理学療法
8	6/7	火	1	旭竜馬	306	ここまでのまとめ
9	6/14	火	1	旭竜馬	306	腰痛症の原因となる代表的な疾患の病態と検査・測定方法、判定基準、理学療法評価と理学療法
10	6/21	火	1	旭竜馬	306	肩関節周囲炎の病態と検査・測定方法、判定基準、理学療法評価と理学療法
11	6/28	火	1	旭竜馬	306	頚椎疾患と胸郭出口症候群の病態と検査・測定方法、判定基準、理学療法評価と理学療法
12	7/5	火	1	旭竜馬	306	慢性疼痛の原因となる代表的な疾患の病態と検査・測定方法、判定基準、理学療法評価と理学療法
13	7/12	火	1	旭竜馬	306	骨壊死性疾患の病態と検査・測定方法、判定基準、理学療法評価
14	7/19	火	1	旭竜馬	301	骨壊死性疾患の理学療法、実技小テスト
15	7/26	火	1	旭竜馬	301	整形外科テスト、これまでに学習した運動器疾患のまとめ、実技小テスト

成績評価方法・基準		理解度の確認試験、実技テスト、総合評価（筆記試験）などを総合的に評価する。総合評価では、60%を合格最低ラインと定める。講義期間を通して出席を確認する。出席率2/3に満たない場合は、試験を受けることができない場合がある。講義の邪魔になるような態度（私語・他）がみられた場合は、受講を許可しない。 ＊試験については解説を実施する。
授業外における学習（予習・復習）		1）毎回、事前に講義予定部分に関する「解剖学」、「運動学」、「整形外科学」の復習を十分にしておくこと。該当部分についても復習するが、基本的には既に理解しているものとして講義を進める。 2）各講義終了後に必ず復習を行う。 3）講義時間内に質問などを行い十分理解することが望ましいが、理解不足や疑問点などは講義中に指示する参考図書などで補い、 それでもわからない場合は訪室あるいは電子メールにて質問を受け付ける。 ＊予習・復習には講義ごとに概ね60分以上必要である。
教科書 ・参考文献等	教科書	奈良勲、大畑秀穂 編著『運動器疾患の病態と理学療法』（医歯薬出版、2015年） ISBN:9784263219478
		石川齋、武富由雄、市橋則明 編著『図解理学療法技術ガイド～理学療法臨床の場で必ず役立つ実践のすべて～ 第4版』（文光堂、2014年） ISBN:9784830645150
	参考書	髙橋邦泰、芳賀信彦 編著『整形外科学テキスト 改訂第4版』（南江堂、2017年） ISBN:9784524259397
	その他	
連絡先・オフィスアワー		連絡先 ： 研究室412（4階） r-asahi@jhsu.ac.jp オフィスアワー： 月曜日、木曜日13：00～13：30、16:40～17:30
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 理学療法士としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。 【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP（1）に該当。

科目コード	12319
授業科目名	運動器系理学療法評価・治療学Ⅱ
配当年次	2学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	旭 竜馬
実務家教員	理学療法士：旭 竜馬
授業科目の概要	筋骨格系障害領域の理学療法として、骨折、切断、靭帯損傷・半月板損傷、腱板損傷等の代表的な運動器系疾患・障害に対する画像評価を含めた理学療法評価を学習する。更に、鎮痛、創傷治療からADL指導までの一連の理学療法過程について系統的に学習する。
授業の到達目標	代表的な運動器系疾患の各病期および症状に対応する具体的な検査・測定方法、判定基準、評価、運動療法、リスク管理、効果判定、日常生活活動の指導までの一連の理学療法過程について理解する。到達目標の一部を下記に示す。 ・骨折について理解する。 ・切断について理解する。 ・靭帯損傷・半月板損傷について理解する。 ・腱板損傷について理解する。 ・末梢神経損傷、熱傷について理解する。
特に関連する科目	解剖学Ⅰ（運動器系） 解剖学Ⅱ（脈管系、神経系） 解剖学Ⅲ（感覚器系、内臓器系） 解剖学実習 体表解剖学と触診法 運動学Ⅰ 運動学Ⅱ 運動学実習 リハビリテーション医学 整形外科学Ⅰ（基礎） 整形外科学Ⅱ（応用） 神経内科学Ⅰ（基礎） 画像評価学 臨床検査学 理学療法評価学 理学療法評価学演習 運動器系理学療法評価・治療学Ⅰ 運動器系理学療法評価・治療学演習 検査・測定実習 評価実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ
授業の具体的な進め方	学生自身が学習の到達状況を知る為に、形成的評価の一部としてミニクイズを実施する。 印刷資料の配布方法は別途指示する。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	9/27	火	2	旭竜馬	301	主な上肢の骨折の病態と検査・測定方法、判定基準、理学療法評価
2	10/4	火	2	旭竜馬	301	主な上肢の骨折の理学療法
3	10/11	火	2	旭竜馬	301	主な下肢の骨折の病態と検査・測定方法、判定基準、理学療法評価
4	10/18	火	2	旭竜馬	301	主な下肢の骨折の理学療法
5	10/25	火	2	旭竜馬	301	切断の病態と検査・測定方法、判定基準、理学療法評価
6	11/1	火	2	旭竜馬	301	切断の理学療法
7	11/8	火	2	旭竜馬	301	靭帯損傷と半月板損傷の病態と検査・測定方法、判定基準、理学療法評価と理学療法
8	11/15	火	2	旭竜馬	101	ここまでのまとめ
9	11/22	火	2	旭竜馬	301	上肢の外傷の病態と理学療法
10	11/29	火	2	旭竜馬	301	下肢の外傷の病態と理学療法(主にスポーツ外傷)
11	12/6	火	2	旭竜馬	301	上肢・下肢のストレッチングの実技
12	12/13	火	2	旭竜馬	301	末梢神経損傷、熱傷の病態と理学療法
13	12/20	火	2	旭竜馬	301	運動器疾患のまとめと運動器障害の予防について
14	1/10	火	2	旭竜馬	301	スポーツ外傷へのテーピング実技
15	1/17	火	2	旭竜馬	301	スポーツ外傷へのテーピング実技

成績評価方法・基準		理解度の確認試験、、実技試験、総合評価（筆記試験）などを総合的に評価する。総合評価では、60%を合格最低ラインと定める。講義期間を通して出席を確認する。出席率2/3に満たない場合は、試験を受けることができない場合がある。講義の邪魔になるような態度（私語・他）がみられた場合は、受講を許可しない。 ＊試験については解説を実施する。
授業外における学習（予習・復習）		1）毎回、事前に講義予定部分に関する「解剖学」、「運動学」、「整形外科学」の復習を十分にしておくこと。該当部分についても復習するが、基本的には既に理解しているものとして講義を進める。 2）各講義終了後に必ず復習を行う。 3）講義時間内に質問などを行い十分理解することが望ましいが、理解不足や疑問点などは講義中に指示する参考図書などで補い、それでもわからない場合は訪室あるいは電子メールにて質問を受け付ける。 ＊予習・復習には講義ごとに概ね60分以上必要である。
教科書・参考文献等	教科書	奈良勲 監修 森山英樹・木藤伸宏編著『運動器疾患の病態と理学療法』（医歯薬出版、2015年） ISBN:9784263219478
		石川齋・武富由雄・市橋則明編著 『図解 理学療法技術ガイド 第4版』（文光堂、2014年） ISBN:9784830645150
	参考書	髙橋邦泰、芳賀信彦 編著 『整形外科学テキスト 改訂第4版』（南江堂、2017年） ISBN:9784524259397
	その他	
連絡先・オフィスアワー		連絡先 ： 研究室412（4階） r-asahi@jhsu.ac.jp オフィスアワー： 月曜日、木曜日13：00～13：30、16:40～17:30
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 理学療法士としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。 【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP（1）に該当。

科目コード	12320
授業科目名	運動器系理学療法評価・治療学演習
配当年次	3学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	演習
担当教員	旭 竜馬
実務家教員	理学療法士：旭 竜馬
授業科目の概要	運動器系理学療法評価・治療学Ⅰ・Ⅱで学習した代表的な運動器系疾患に関して、模擬患者（紙上患者）を用いた問題点志向型学習を行い、各種障害像にあった情報収集、検査・測定、評価、目標設定、治療計画立案、リスク管理、患者指導について臨床思考的な能力を高めるよう学習する。そして、運動器系理学療法で用いる各種治療手技について基本的な技能を習得する。
授業の到達目標	運動器疾患を有する患者に対し、以下の過程が実践できる。 ・情報収集および必要な理学療法評価の立案 ・問題点の抽出、目標設定 ・治療プログラムの立案
特に関連する科目	解剖学　生理学　体表解剖学と触診法　運動学Ⅰ　運動学Ⅱ　運動学実習　リハビリテーション医学　整形外科学　理学療法評価学　理学療法評価学演習　評価実習　総合臨床実習Ⅰ　総合臨床実習Ⅱとリンクするため、2年生までに履修している科目については理解しているものとして授業を進行する。
授業の具体的な進め方	演習である本科目では、学生が主体的に「問い」を発し、その「答え」を個人で発見、検討していく形式で進める。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/12	火	2	旭竜馬	301	授業の導入および説明。
2	4/19	火	2	旭竜馬	301	歩行動作を文章化する（変形性膝関節症）。
3	4/26	火	2	旭竜馬	301	歩行動作から必要な検査を列挙する（変形性膝関節症）。
4	5/10	火	2	旭竜馬	301	Paper patientから問題点を列挙する(変形性膝関節症)。
5	5/17	火	2	旭竜馬	301	Paper patientへの治療を列挙する(変形性膝関節症)。
6	5/24	火	2	旭竜馬	301	Paper patientへのリスク管理・指導方法を考える(変形性膝関節症)。
7	5/31	火	2	旭竜馬	301	Paper patientの発表(変形性膝関節症)。
8	6/7	火	2	旭竜馬	301	歩行動作を文章化する（変形性股関節症）。
9	6/14	火	2	旭竜馬	301	歩行動作から必要な検査を列挙する（変形性股関節症）。
10	6/21	火	2	旭竜馬	301	Paper patientから問題点を列挙する(変形性股関節症)。
11	6/28	火	2	旭竜馬	301	Paper patientへの治療を列挙する(変形性股関節症)。
12	7/5	火	2	旭竜馬	301	Paper patientへのリスク管理・指導方法を考える(変形性股関節症)。
13	7/12	火	2	旭竜馬	301	A Paper patientの発表(変形性股関節症)。
14	7/19	火	2	旭竜馬	301	確認試験、実技試験、まとめ
15	7/26	火	2	旭竜馬	301	確認試験、実技試験、まとめ

成績評価方法・基準		理解度の確認試験、発表および成果物、実技など総合評価する。総合評価では、60%を合格最低ラインと定める。講義期間を通して出席を確認する。出席率2/3に満たない場合は、試験を受けることができない場合がある。講義の邪魔になるような態度（私語・他）がみられた場合は、受講を許可しない。 ＊試験については解説を実施する。 ＊レポートについては、コメントし返却する。
授業外における学習（予習・復習）		1）本授業では、学生主体による実技演習を行うため、進行に合わせて授業外でのグループ活動を要する。 2）実技演習の他に、グループごとにレポート、レジュメの作成、スライドを作成して発表を行う。 ＊授業外活動においては、講義ごとに最低でも60分以上必要であることが想定される。
教科書・参考文献等	教科書	石川齋・武富由雄・市橋則明編著 『図解理学療法技術ガイド～理学療法臨床の場で必ず役立つ実践のすべて～ 第4版版』（文光堂、2014年） ISBN:9784830645150
	参考書	柳澤健 『運動療法学(理学療法学ゴールド・マスター・テキスト 2)』（メジカルビュー社、2010年） ISBN:9784758311090
		石川朗、解良武士、玉木彰 『運動療法学(15レクチャーシリーズ 理学療法テキスト)』（中山書店、2014年） ISBN:9784521736716
	その他	
連絡先・オフィスアワー		連絡先 ： 研究室412（4階） r-asahi@jhsu.ac.jp オフィスアワー： 月曜日、木曜日13：00～13：30、16:40～17:30
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 理学療法士としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。 【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP（2）に該当。

科目コード	12321
授業科目名	内部系理学療法評価・治療学
配当年次	3学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	2単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	湯口 聡
実務家教員	理学療法士 ： 湯口　聡
授業科目の概要	生命維持に必要な器官である呼吸器系、循環器系、代謝系等の疾患や障害および悪性腫瘍に対する検査・測定方法、判定基準、評価、治療、リスク管理、効果判定、生活指導までの一連の理学療法過程について系統的に学習する。 呼吸器系障害においては、呼吸に関する解剖学、生理学、運動学的知識を確認した上で、呼吸障害および呼吸リハビリテーションに関する概念を理解し、呼吸理学療法の各手技について、前提となる評価方法とその理論および方法について学習する。代謝系障害においては糖尿病を中心に、その病態や障害構造を理解し、評価、治療（運動療法、食事療法、薬物療法等）、生活指導や発症予防について学習する。 循環器の解剖学的名称や生理的機能を確認し、代表的な循環器系疾患（虚血性心疾患や心不全）に関して病態や症状、合併症を理解し、代表的な評価項目（心電図や触診、視診、聴診の方法等）、治療方法（適応および禁忌）、生活指導について学習する。 代謝では糖尿病と腎疾患の理学療法の実施方法について、病態および理学療法評価、治療学について学習する。
授業の到達目標	1. 各内部疾患(者)の病態を理解し、基本的な評価項目と治療法を列挙することができる。 2. 各内部疾患(者)に対応した理学療法プログラムを立案することができる。 3. 各内部疾患(者)・合併者のリスクを判断し、理学療法の評価法・治療法を実施するための適応と禁忌の判断基準に基づいて、基本的技術を模擬患者および健常者に対して試みることができる。
特に関連する科目	解剖学Ⅰ、解剖学Ⅱ、解剖学Ⅲ、解剖学実習、生理学Ⅰ、生理学Ⅱ、生理学Ⅲ、生理学実習、運動学Ⅰ、運動学Ⅱ、運動学実習、運動生理学、リハビリテーション医学、内科学、画像評価学、臨床検査学、内部系理学療法評価・治療学演習、評価実習、総合臨床実習Ⅰ、総合臨床実習Ⅱ
授業の具体的な進め方	教科書に準じて授業を進めて行きますので、授業前に教科書をよく読んでおいてください。また、Google classroomを活用して授業を進めて行きます。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/12	火	3	湯口聡	312	内部系理学療法の概論
2	4/19	火	3	湯口聡	312	呼吸調整機能と呼吸機能評価の意義と方法；スパイロメトリ、呼吸困難感、血液ガス
3	4/26	火	3	湯口聡	312	呼吸器疾患に対する理学療法①：慢性閉塞性肺疾患、気管支喘息
4	5/10	火	3	湯口聡	312	呼吸器疾患に対する理学療法②：外科手術後
5	5/17	火	3	湯口聡	312	人工呼吸管理と気道内分泌物吸引法
6	5/24	火	3	湯口聡	312	包括的呼吸リハビリテーションと在宅酸素療法
7	5/31	火	3	湯口聡	312	心臓リハビリテーションの概要
8	6/7	火	3	湯口聡	312	まとめ
9	6/14	火	3	湯口聡	312	循環器疾患に対する理学療法①：虚血性心疾患
10	6/21	火	3	湯口聡	312	循環器疾患に対する理学療法②：心不全
11	6/28	火	3	湯口聡	312	不整脈と心電図の診かた
12	7/5	火	3	湯口聡	312	循環器疾患においける運動処方の方法(心肺運動負荷試験、6分間歩行、ボルグスケール)
13	7/12	火	3	湯口聡	312	循環器疾患に対する理学療法③：大動脈、閉塞性動脈硬化症、深部静脈血栓症
14	7/19	火	3	湯口聡	312	糖尿病に対する理学療法
15	7/26	火	3	湯口聡	312	腎疾患に対する理学療法

成績評価方法・基準		前半テスト50%、後半テスト50%課題により計100%で評価し、60%以上を合格とする。
授業外における学習（予習・復習）		授業は上記の計画通りに進行する予定であるので、これまで学習した解剖、生理、運動学およびリハ医学等の復習とともに、指定の教科書や参考書を使用して、各疾患、障害について予習を行い、病態のメカニズムを理解して授業に臨むようにする。また、各回の講義で得たこと(達成度の確認)や次回の課題と目標を明確化できるよう各自が整理することが望ましい。そして、授業で学んだ内容を実践できるように復習もしなければならない。各講義における予習は30分以上、復習30分以上、合計60分以上の自主学習が望まれる。わからないことは放置しないで、確認や質問する姿勢が必要となる。
教科書・参考文献等	教科書	高橋哲也編著 『内部障害理学療法学(最新理学療法学講座)』（医歯薬出版、2021年） ISBN:9784263267387
	参考書	奈良勲著 『標準理学療法学～専門分野～<内部障害理学療法学> 第2版(STANDARD TEXTBOOK)』（医学書院、2020年） ISBN:9784260042642
		細田多穂編集 『内部障害理学療法学テキスト 改訂第3版(シンプル理学療法学シリーズ)』（南江堂、2017年） ISBN:9784524254798
		医療情報科学研究所 編集 『病気がみえる<vol.3> 第5版 糖尿病・代謝・内分泌』（メディックメディア、2019年） ISBN:9784896327663
		医療情報科学研究所 編 『病気がみえる<Vol.4> 第3版 呼吸器』（メディックメディア、2018年） ISBN:9784896327304
		他。必要に応じて紹介する。
	その他	必要に応じてプリントを配布する。
連絡先・オフィスアワー		質問は湯口聡 メールアドレス s-yuguchi@jhsu.ac.jp . または、Google classroom上で随時受け付ける。内山覚、白木美代子の講義については、質問等は湯口へ上記方法で連絡すること。
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 臨床の現場で実際に行われている場面を動画および画像で示しながら講義を行う。 【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP(1)－①、(2)-②、(3)-②に該当。

科目コード	12322
授業科目名	内部系理学療法評価・治療学演習
配当年次	3学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	演習
担当教員	湯口 聡、内山 覚、白木 美代子、鈴木 慶
実務家教員	理学療法士 ： 湯口 聡・内山 覚・白木 美代子・鈴木 慶
授業科目の概要	内部系理学療法評価・治療学で学習した知識と関連づけながら、呼吸・循環・代謝系障害および悪性腫瘍に対する介入における基本的技術を紙上患者（模擬患者）や健常者に対して検討、実践できるよう評価から治療までの一連の過程として系統的に学習し、実践的方法を演習を通して習得する。 （オムニバス形式／全15回） （湯口　聡／7回） 呼吸器系障害においては、心電図モニタリング、呼吸疾患のフィジカルサイン等の評価を演習するとともに、具体的な疾患を示しながら、それらに適応した理学療法手技について演習によりその知識・技術を習得する。代謝系障害においては、糖尿病を中心として、運動処方の具体的方法について実践するとともに、運動指導や生活指導について演習を通して学習する。 （内山　覚／4回） 心臓リハビリテーションの実践のために、各病期段階に求められる理学療法の介入について模擬患者を提示し、評価、治療、生活指導等について演習を行う。 （白木　美代子／4回） 各病期に応じたアプローチが重視される悪性腫瘍の治療の中で、チームの一員として介入できる理学療法士としての役割や専門性について学習する。また、緩和医療として求められる理学
授業の到達目標	1. 視診、聴診、打診、触診を含む基本的フィジカルアセスメント手技が可能になる。 2. 換気改善手技（排痰, 呼吸介助など）の基本的手技を施行することができる。 3. 各内部疾患(者)・合併者について、与えられた情報からリスクや運動により誘発される症状等を予測し、運動負荷量、運動負荷方法を考慮した治療プログラムを立案することができる。
特に関連する科目	解剖学Ⅰ（運動器系）、解剖学Ⅱ（脈管系、神経系）、解剖学Ⅲ（感覚器系、内蔵器系）、解剖学実習、生理学Ⅰ（生体の恒常性）、生理学Ⅱ（神経生理学）、生理学Ⅲ（消化・吸収・排泄）、生理学実習、運動学Ⅰ、運動学Ⅱ、運動学実習、運動生理学、リハビリテーション医学、内科学、画像評価学、臨床検査学、内部系理学療法評価・治療学、検査・測定実習、評価実習、総合臨床実習Ⅰ、総合臨床実習Ⅱ
授業の具体的な進め方	対面形式での講義・演習に加えMeetを使ったグループ演習を通じて、評価方法、治療方法を見学する授業を並行して行っていく。コロナ禍の状況によっては、授業形式に変更がある可能性があります。 補助教員：鈴木 慶

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	11/1	火	1	湯口聡	312	呼吸器疾患評価①;スパイロメトリ、フィジカルアセスメント、6分間歩行試験
2	11/1	火	2	湯口聡	301	呼吸器疾患評価②;スパイロメトリ、フィジカルアセスメント、6分間歩行試験
3	11/8	火	1	湯口聡	301	呼吸理学療法①(腹式呼吸法、排痰法、胸郭可動域練習、徒手的呼吸介助手技)
4	11/8	火	2	湯口聡	301	呼吸理学療法②(腹式呼吸法、排痰法、胸郭可動域練習、徒手的呼吸介助手技)
5	11/15	火	1	湯口聡	301	心電図と不整脈の判別
6	11/15	火	2	湯口聡	301	心肺運動負荷試験と運動処方
7	11/22	火	1	湯口聡 内山覚	301	グループ演習①(模擬症例:虚血性心疾患患者)
8	11/22	火	2	湯口聡	301	まとめ
9	11/29	火	1	湯口聡 内山覚	301	グループ演習②(模擬症例:心不全患者患者)
10	11/29	火	2	湯口聡 内山覚	301	グループ演習③(模擬症例:心臓外科疾患患者)
11	12/6	火	1	湯口聡 内山覚	301	グループ演習④(模擬症例:大血管疾患患者)
12	12/6	火	2	湯口聡 白木美代子	301	がんのリハビリテーション①
13	12/13	火	1	湯口聡 白木美代子	301	がんのリハビリテーション②
14	12/13	火	2	湯口聡 白木美代子	301	緩和医療と理学療法,終末期における理学療法介入の実際
15	12/20	火	1	湯口聡 白木美代子	301	リンパドレナージとリンパマッサージ

成績評価方法・基準		演習の課題(80%)、がんリハビリテーションに関するレポート(20%)により行う。
授業外における学習（予習・復習）		模擬症例グループ演習内で必要となる文献や資料の収集、輪読、まとめ等の作業は、各グループ単位で必要に応じて空いている時間に行うこと。
教科書 ・参考文献等	教科書	高橋哲也編著 『内部障害理学療法学(最新理学療法学講座)』（医歯薬出版、2021年） ISBN:9784263267387
	参考書	医療情報科学研究所 編集 『病気がみえる<vol.3> 第5版 糖尿病・代謝・内分泌』（メディックメディア、2019年） ISBN:9784896327663 医療情報科学研究所 編集 『病気がみえる<Vol.4> 第3版 呼吸器』（メディックメディア、2018年） ISBN:9784896327304
	その他	必要に応じて、適宜資料を配布する。
連絡先・オフィスアワー		授業に関する質問等はすべて湯口へお願いします。
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 理学療法士としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。 【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP(2)に該当。

科目コード	12323
授業科目名	小児理学療法学
配当年次	3学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	2単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	糸数 昌史、小島 憲司
実務家教員	理学療法士：糸数 昌史、小島 憲司
授業科目の概要	本講義は、正常発達を理解するとともに、障害のある子供たちの発達過程とその理学療法について学習するものである。つまり、脳性麻痺とともに、発達遅滞、重症心身障害、筋ジストロフィー、二分脊椎等の疾患・障害に関する原因、症状、病態、予後等の知識を整理し、各々に対する理学療法評価、介入の体系や具体的方法について各病期段階や重症度、タイプ別に学習する。これらとともに『療育』という考えにおける理学療法士の役割についても学習する。
授業の到達目標	1.乳幼児の発達について説明できる。 2.原始反射、姿勢反応の発達についてその反射中枢と関連づけて説明することができる。 3.脳性まひの原因やタイプ、臨床症状、重症度について説明できる。 4.脳性まひ児に対する理学療法評価や治療について説明できる。 5.筋ジストロフィーや二分脊椎、ダウン症、重症心身障害の臨床症状について説明ができる。 6.筋ジストロフィーや二分脊椎、ダウン症、重症心身障害を持った子どもに対する理学療法評価や治療について説明ができる。
特に関連する科目	解剖学　生理学　運動学　基礎理学療法学　各理学療法評価・治療学
授業の具体的な進め方	本講義では各回の最後に講義内容に関連するミニテストをWeb上で実施し成績に反映する。 講義のフィードバックは各自の端末からリアクションペーパーを作成し、次回の講義にて必要に応じて紹介およびフォローを行う。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	11/4	金	1	糸数昌史 小島賢司	遠隔	オリエンテーション
2	11/4	金	2	糸数昌史 小島賢司	遠隔	小児理学療法学総論
3	11/11	金	1	糸数昌史 小島賢司	遠隔	正常発達①
4	11/11	金	2	糸数昌史 小島賢司	遠隔	正常発達②
5	11/18	金	1	糸数昌史 小島賢司	遠隔	正常発達③
6	11/18	金	2	糸数昌史 小島賢司	遠隔	脳性麻痺総論
7	11/25	金	1	糸数昌史 小島賢司	遠隔	脳性麻痺の理学療法評価と治療①
8	11/2	金	2	糸数昌史 小島賢司	遠隔	脳性麻痺の理学療法評価と治療②
9	12/2	金	1	糸数昌史 小島賢司	遠隔	脳性麻痺の理学療法評価と治療③
10	12/2	金	2	糸数昌史 小島賢司	遠隔	筋ジストロフィーの理学療法評価と治療
11	12/9	金	1	糸数昌史 小島賢司	遠隔	染色体異常の理学療法評価と治療
12	12/9	金	2	糸数昌史 小島賢司	遠隔	二分脊椎症の理学療法評価と治療
13	12/16	金	1	糸数昌史 小島賢司	遠隔	小児整形疾患の理学療法評価と治療
14	12/16	金	2	糸数昌史 小島賢司	遠隔	重症心身障害児（者）の理学療法評価と治療
15	12/23	金	1	糸数昌史 小島賢司	遠隔	小児理学療法学総括

成績評価方法・基準		各講義の課題および定期テストの結果を合算し60%以上の場合に単位認定とする
授業外における学習（予習・復習）		授業計画に沿って教科書で予習をおこなうこと、講義後は、配布した資料と実施したミニテストの問題等を用いて復習をおこなうこと。予習・復習には講義ごとに概ね60分以上必要である。
教科書 ・参考文献等	教科書	上杉雅之 『イラストでわかる小児理学療法』（医歯薬出版、2013年） ISBN:9784263214251
		必要に応じて、講義プリントを配布する
	参考書	Lois Bly 著 『写真でみる乳児の運動発達』（協同医書出版社、1998年） ISBN:9784763920706
		M.R.Barnes 著 『理学療法・作業療法のための神経生理学プログラム演習<第2巻> 運動発達と反射』（医歯薬出版、1983年） ISBN:9784263210727
		細田 多穂 監 『小児理学療法学テキスト 改訂第3版(シンプル理学療法学シリーズ)』 （南江堂、2018年） ISBN:9784524255337
		森岡周 『発達を学ぶ～人間発達学レクチャー～』（協同医書、2015年） ISBN:9784763910776
		大城昌平 『リハビリテーションのための人間発達学 第3版』（メディカルプレス、2021年） ISBN:9784907347901
		岩崎清隆・他 『標準理学療法学・作業療法学～専門基礎分野～<人間発達学> 第2版(STANDARD TEXTBOOK)』（医学書院、2017年） ISBN:9784260032643
		細田多穂 『人間発達学テキスト(シンプル理学療法学・作業療法学シリーズ)』（南江堂、2014年） ISBN:9784524268672
	その他	
連絡先・オフィスアワー		授業後にオンラインまたはメールにて対応する
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 理学療法士としての（専門機関における）実務経験を活かした講義を行う。 【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP（1）に該当。

科目コード	12324
授業科目名	装具学Ⅰ
配当年次	3学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	石井 博之
実務家教員	理学療法士：石井 博之
授業科目の概要	概論として、装具の定義、歴史、目的、装具の種類、装具の適応、装具の支給に関わる諸制度等について学習する。その中の基礎事項として、理学療法における一つの有効な治療手段としての装具療法の位置づけ、生体および装具の力学的影響等を理解する。各論として、頸部・体幹装具、上肢装具、下肢装具にについて、各種装具の名称、特徴、形態、構造と材料、適応等について理解する。
授業の到達目標	≪一般目標(GIO)≫ ①装具療法の目的を理解する。疾患別、症状別に応じて装具の種類と構造を理解する。 ②装具の処方、適合判定、調整を学ぶ。装具を使用する理学療法の基本的手技を学ぶ。 ≪個別目標(SBOs)≫ ①装具の名称とその目的を説明できる。 ②疾患別や目的別に使用する装具をあげ、その特性を説明できる。
特に関連する科目	装具学Ⅱ　義肢学　基礎理学療法学Ⅰ　基礎理学療法学Ⅱ　臨床推論演習　臨床動作分析学　運動療法総論
授業の具体的な進め方	遠隔配信授業を行う。 まず各テーマにおいての講義を行い、その後質疑応答を行う。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/14	木	1	石井博之	312	装具総論 装具の役割、分類、構造、構成要素などについて
2	4/21	木	1	石井博之	312	装具適応と運動学 装具適応に必要な立位・歩行の基礎知識
3	4/28	木	1	石井博之	312	上肢装具 上肢装具の種類と構造について
4	5/12	木	1	石井博之	312	下肢装具　1 下肢装具の基本構成などについて
5	5/19	木	1	石井博之	312	下肢装具　2 下肢装具の分類について
6	5/26	木	1	石井博之	312	体幹装具1 体幹装具の分類について
7	6/2	木	1	石井博之	312	体幹装具2 体幹装具の分類について
8	6/9	木	1	石井博之	312	疾患別適応(脳血管障害)1 脳血管障害に対する装具適応について
9	6/16	木	1	石井博之	312	疾患別適応(脳血管障害)2 脳血管障害に対する装具適応について
10	6/23	木	1	石井博之	312	疾患別適応(脳性麻痺) 脳性麻痺に対する装具適応について
11	6/30	木	1	石井博之	312	疾患別適応(脊髄疾患) 脊髄疾患に対する装具適応について
12	7/7	木	1	石井博之	312	疾患別適応(脊椎疾患) 脊椎疾患に対する装具適応について
13	7/14	木	1	石井博之	312	疾患別適応(骨関節疾患・関節リウマチ) 骨関節疾患・関節リウマチに対する装具適応について
14	7/21	木	1	石井博之	312	車椅子・座位保持装置・歩行補助具　1 車椅子、および座位保持装置、歩行補助具の分類と基本構造などについて
15	7/28	木	1	石井博之	312	車椅子・座位保持装置・歩行補助具　2　まとめ 車椅子、および座位保持装置、歩行補助具の分類と基本構造などについてと全体のまとめ

成績評価方法・基準		定期試験100%
授業外における学習(予習・復習)		1.～14.：(予習45分・復習45分)、15.：(予習90分・復習90分) 1.予習：装具の役割、分類、構造、構成要素などについて調べ、まとめる。 復習：装具の役割、分類、構造、構成要素などについて理解し、まとめる。 2.予習：装具適応と運動学に関するテキストを読んでまとめる。 復習：装具適応と運動学をまとめる。 3. 予習：上肢装具の種類と構造について調べ、まとめる。 復習：上肢装具の種類と構造について理解し、まとめる。 4.予習：下肢装具の基本構成などについて調べ、まとめる。 復習：下肢装具の基本構成などについて理解し、まとめる。 5.予習：下肢装具の分類について調べ、まとめる。 復習：下肢装具の分類について理解し、まとめる。 6.予習：体幹装具の分類について調べ、まとめる。 復習：体幹装具の分類について理解し、まとめる。 7.予習：体幹装具の分類について調べ、まとめる。 復習：体幹装具の分類について理解し、まとめる。 8. 予習：脳血管障害に対する装具適応について調べ、まとめる。 復習：脳血管障害に対する装具適応について理解し、まとめる。 9.予習：脳血管障害に対する装具適応について調べ、まとめる。 復習：脳血管障害に対する装具適応について理解し、まとめる。 10.予習：脳性麻痺に対する装具適応について調べ、まとめる。 復習：脳性麻痺に対する装具適応について理解し、まとめる。 11.予習：脊髄疾患に対する装具適応について調べ、まとめる。 復習：脊髄疾患に対する装具適応について理解し、まとめる。 12.予習：脊椎疾患に対する装具適応について調べ、まとめる。 復習：脊椎疾患に対する装具適応について理解し、まとめる。 13.予習：骨関節疾患・関節リウマチに対する装具適応について調べ、まとめる。 復習：骨関節疾患・関節リウマチに対する装具適応について理解し、まとめる。 14.及び15.予習：車椅子、および座位保持装置、歩行補助具の分類と基本構造などについて調べ、まとめる。 復習：車椅子、および座位保持装置、歩行補助具の分類と基本構造などについて理解し、まとめる。
教科書・参考文献等	教科書	日本整形外科学会・日本リハビリテーション医学会監 『義肢装具のチェックポイント 第9版』(医学書院、2021年) ISBN:9784260045896
	参考書	細田多穂 監 『義肢装具学テキスト 改訂第3版(シンプル理学療法学シリーズ)』 (南江堂、2017年) ISBN:9784524255979
		川村次郎 編『義肢装具学 第4版』(医学書院、2009年) ISBN:9784260005104
		石川 朗 編 『理学療法テキスト 装具学 第2版(15レクチャーシリーズ)』(中山書店、2020年) ISBN:9784521744919
	その他	
連絡先・オフィスアワー		クラスルームにて対応
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 理学療法士としての(専門機関における)実務経験を活かした講義を行う。 【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP(2)に該当。

科目コード	12325
授業科目名	装具学Ⅱ
配当年次	3学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	15時間
授業形態	講義
担当教員	江口 勝彦
実務家教員	理学療法士 ： 江口 勝彦
授業科目の概要	装具学Ⅰで学習した内容を基礎として、上肢および下肢の装具の作成を実際に経験することを通して、臨床で装具療法が実践できる能力が身につくように学習する。そのために、代表的な装具に関して上肢、下肢各1種類を採寸・採型、トレース、ギプス採型等を健常者に実際に施行する。
授業の到達目標	装具学Ⅰで学習した内容を基礎として，理学療法治療学との連携を考慮し，有効な治療手段として装具を選択できることを第一の目標とする．コロナ禍を考慮し，演習として足底挿板（ラテラルウェッジ+アーチサポート）作成などを行う。
特に関連する科目	関連し合う科目－各理学療法評価・治療学，臨床実習科目 この科目が基礎となる科目－
授業の具体的な進め方	演習

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	11/10	木	1	江口勝彦	107	第1講　コースオリエンテーション：演習ガイダンス　　足底板作成　測定スタンプと設計図．EVAへの転写と描線
2	11/17	木	1	江口勝彦	107	第2講　外形切り出し，中心線とアーチサポート
3	11/24	木	1	江口勝彦	107	第3講　薄基底面の切り出しA
4	12/1	木	1	江口勝彦	107	第4講　薄基底面の切り出しB
5	12/8	木	1	江口勝彦	107	第5講　直線的スロープ切り出し．内側縦アーチ
6	12/15	木	1	江口勝彦	107	第6講　横アーチと測定面カッター仕上げ
7	12/22	木	1	江口勝彦	107	第7講　紙やすり作業
8	1/12	木	1	江口勝彦	107	第8講　紙やすり作業

成績評価方法・基準		演習の成果（製作作品100%）を成績に反映する 実技演習は全時間の参加をもって，単位認定の条件とする
授業外における学習（予習・復習）		演習ガイダンスで説明する
教科書・参考文献等	教科書	指定せず
	参考書	
	その他	
連絡先・オフィスアワー		オフィスアワー:随時，メール，クラスルーム，またはチャットにて 連絡先：k-eguchi@jhsu.ac.jp 研究室：421号室
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 理学療法士としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。 【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP(2)に該当。

科目コード	12326
授業科目名	義肢学
配当年次	3学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	石井 博之
実務家教員	理学療法士：石井 博之
授業科目の概要	切断に関する医学的な基礎知識（代表的疾患、切断原因、切断術の種類と術式等）とともに、義肢の種類、その構造・部品や機能、切断者に対するリハビリテーション（運動療法プログラム、断端ケア・管理、リスク管理、生活指導等）、義肢の作成方法と適合判定ついて学習する。 そして、特に、理学療法士として臨床で介入する機会が多い下肢切断者に対する義足のアライメントチェック、断端訓練、義足装着訓練、歩行訓練および異常歩行の観察、分析について実践的に学習する。
授業の到達目標	≪一般目標(GIO)≫ 切断者のリハビリテーション過程で、理学療法士の役割を知る。理学療法の評価、断端ケア、義肢装着、立位・歩行練習の基本的な手技を理解し実施できる。義肢処方、作成の過程で、適合判定と義肢アライメント調整を理解する。歩行や技能獲得にむけて、義肢(義足・義手)と補助具の特性を理解し使用できる。 ≪個別目標(SBOs)≫ ①切断者の理学療法を理解し、基本的な断端評価や運動機能評価ができる。 ②義肢の種類と名称について理解し、説明できる。 ③理学療法の内容と目的を説明できる。
特に関連する科目	装具学Ⅰ　装具学Ⅱ　基礎理学療法学Ⅰ　基礎理学療法学Ⅱ　臨床推論演習　臨床動作分析学　運動療法総論
授業の具体的な進め方	遠隔配信授業を行う。 まず各テーマにおいての講義を行い、その後質疑応答を行う。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/14	木	2	石井博之	312	義肢学総論 切断患者におけるチームアプローチや処方概論に加え、義肢学全体について
2	4/21	木	2	石井博之	312	切断術 切断術や切断部位の特徴について
3	4/28	木	2	石井博之	312	切断者のリハビリテーション 切断者における理学療法評価と治療
4	5/12	木	2	石井博之	312	義手 義手の種類と特性を学ぶ。上腕切断と前腕切断の義手について
5	5/19	木	2	石井博之	312	義足の構造と足部 義足の構造と構成要素、足部について
6	5/26	木	2	石井博之	312	膝継手1 膝継手の種類と歩行時立脚相制御について
7	6/2	木	2	石井博之	312	膝継手2 膝継手の歩行時立脚相制御について
8	6/9	木	2	石井博之	312	膝継手3 膝継手の歩行時遊脚相制御について
9	6/16	木	2	石井博之	312	股継手とその他の部品 股継手の種類と構造、その他の部品について
10	6/23	木	2	石井博之	312	大腿義足1 大腿義足の構成とソケットについて
11	6/30	木	2	石井博之	312	大腿義足2 大腿義足のアライメントについて
12	7/7	木	2	石井博之	312	大腿義足3 大腿義足のアライメントについて
13	7/14	木	2	石井博之	312	下腿義足1 下腿義足の構成とソケットについて
14	7/21	木	2	石井博之	312	下腿義足2 下腿義足のアライメントについて
15	7/28	木	2	石井博之	312	その他の義足 大腿義足・下腿義足以外の義足について

成績評価方法・基準		定期試験100%
授業外における学習（予習・復習）		1.:（予習20分・復習45分）、2.～14.:（予習45分・復習45分）、15.:（予習90分・復習90分） 1.予習：切断患者におけるチームアプローチや処方概論について調べ、まとめる。 復習：義肢に対する全体像を理解する。 2.予習：切断術に関するテキストを読んでまとめる。 復習：切断術や切断部位の特徴をまとめる。 3.予習：切断術前と術直後の理学療法の基本原則をまとめる。 復習：切断者のリハビリテーションについて復習する。 4.予習：義手について調べ、まとめる。 復習：義手の種類と構造を理解しまとめる。 5.予習：義足の構造について調べ、まとめる。 復習：義足の構造と構成要素、足部について理解しまとめる。 6.予習：膝継手の種類について調べ、まとめる。 復習：膝継手の種類と歩行時立脚相制御について理解し、まとめる。 7.予習：膝継手の構造（特に荷重膝継手）について調べ、まとめる。 復習：膝継手の構造と調整法について理解し、まとめる。 8.予習：膝継手の歩行時遊脚相制御について調べ、まとめる。 復習：膝継手の歩行時遊脚相制御について理解し、まとめる。 9. 予習：股継手の種類と構造、その他の部品について調べ、まとめる。 復習：股継手の種類と構造、その他の部品について理解し、まとめる。 10.予習：大腿義足の構成とソケットについて調べ、まとめる。 復習：大腿義足の構成とソケットについて理解し、まとめる。 11.予習：大腿義足のアライメントについて調べ、まとめる。 復習：大腿義足のアライメントについて理解し、まとめる。 12.予習：大腿義足のアライメントについて調べ、まとめる。 復習：大腿義足のアライメントについて理解し、まとめる。 13.予習：下腿義足の構成とソケットについて調べ、まとめる。 復習：下腿義足の構成とソケットについて理解し、まとめる。 14.予習：下腿義足のアライメントについて調べ、まとめる。 復習：下腿義足のアライメントについて理解し、まとめる。 15.予習：大腿義足・下腿義足以外の義足について調べ、まとめる。 復習：大腿義足・下腿義足以外の義足について理解し、まとめる。
教科書・参考文献等	教科書	日本整形外科学会・日本リハビリテーション医学会監『義肢装具のチェックポイント 第9版』（医学書院、2021年） ISBN:9784260045896
	参考書	細田多穂 監『義肢装具学テキスト 改訂第3版(シンプル理学療法学シリーズ)』（南江堂、2017年） ISBN:9784524255979
	参考書	川村次郎 編『義肢装具学 第4版』（医学書院、2009年） ISBN:9784260005104
	参考書	石川 朗 編『理学療法テキスト 装具学 第2版(15レクチャーシリーズ)』（中山書店、2020年） ISBN:9784521744919
	その他	
連絡先・オフィスアワー		クラスルームにて対応
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 理学療法士としての（専門機関における）実務経験を活かした講義を行う。 【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP(2)に該当。

科目コード	12327
授業科目名	物理療法学
配当年次	2学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	2単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	大森 啓之
実務家教員	理学療法士：大森 啓之
授業科目の概要	温熱・寒冷、電気、光線、力等の物理的エネルギーを治療に用いる物理療法においては対象となる心身機能、身体構造の障害に対して、これらがどのような性質を有して、どのように作用するのかについて理解していなければ治療として活用することができない。そのため、様々な物理的エネルギーがどのように人体に影響を及ぼすのかについて学習する。そして、具体的な物理療法（温熱療法、寒冷療法、光線療法、電気刺激療法、牽引療法、水治療法等）について、定義、歴史、分類、原理、生理学的作用、適応、禁忌、注意事項等の基本的知識について学習する。
授業の到達目標	1. 各種物理療法の治療根拠を理解する。 2. 各種物理療法の適応および注意事項、禁忌等について理解する。 3. 疾患，症状に対して適切な物理療法が選択、実施できる。
特に関連する科目	物理学　数学基礎　生理学Ⅰ（生体の恒常性）　生理学Ⅱ（神経生理学）　生理学Ⅲ（消化・吸収・排泄）　生理学実習　運動学Ⅰ　運動学Ⅱ　運動学実習　整形外科学Ⅰ（基礎）　整形外科学Ⅱ（応用）　内科学　病理学　スポーツ医学　スポーツ傷害理学療法学　検査・測定実習　評価実習　総合臨床実習Ⅰ　総合臨床実習Ⅱ
授業の具体的な進め方	テキスト、配布資料を中心に講義形式でSyllabus通りに進める。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	9/22	木	2	大森 啓之	306	物理療法の定義、歴史、原理、分類・温熱療法の定義、熱力学、生理学的作用
2	9/29	木	2	大森 啓之	306	温熱療法の種類と実際
3	10/6	木	2	大森 啓之	306	寒冷療法の定義、分類、生理学的作用
4	10/13	木	2	大森 啓之	306	寒冷療法の種類と実際
5	10/20	木	2	大森 啓之	306	超音波療法の定義、原理、生理学的作用、治療効果
6	10/27	木	2	大森 啓之	306	超音波療法の適応、禁忌、治療の実際
7	11/10	木	2	大森 啓之	306	高周波療法の原理、生理学的作用、治療効果
8	11/17	木	2	大森 啓之	306	高周波療法の適応、禁忌、治療の実際
9	11/24	木	2	大森 啓之	306	ここまでのまとめ（まとめテスト）
10	12/1	木	2	大森 啓之	306	光線療法（光線療法の定義、分類、生理学的作用）
11	12/8	木	2	大森 啓之	306	光線療法（光線療法の実際：赤外線療法、紫外線療法、レーザー療法、日光浴）
12	12/15	木	2	大森 啓之	306	電気刺激療法の原理、生理学的作用、治療効果
13	12/22	木	2	大森 啓之	306	電気刺激療法の適応、禁忌、治療の実際
14	1/12	木	2	大森 啓之	306	水治療法の定義、生理学的作用　適応、注意事項、禁忌および治療の実際
15	1/19	木	2	大森 啓之	306	牽引療法・圧迫療法の原理、適応、注意事項、禁忌および治療の実際

成績評価方法・基準		筆記試験（小テスト、定期試験）にて100%判定する。
授業外における学習（予習・復習）		授業の前に予習として教科書の該当部分を必ず熟読した上で出席すること。 毎回の講義内容をよく復習し、重要事項を頭に入れておくこと。 知識の理解・習得のため、予習・復習を合わせて60 分以上行うこと。
教科書 ・参考文献等	教科書	松澤 正・江口 勝彦（編）『物理療法学 改訂第3版』（金原出版、2021年）ISBN: 9784307750639
	参考書	（公社）東洋療法学校協会編／内田さえ・原田玲子ほか著『生理学 第3版』（医歯薬出版，2014年）ISBN 9784263241721
	その他	必要に応じて資料を配布する。
連絡先・オフィスアワー		連絡先：h-omori@jhsu.ac.jp オフィスアワー：火曜日13：30～16：00（事前に連絡することが望ましい） 南キャンパス：413
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 理学療法士としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。 【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP(1)に該当。

科目コード	12328
授業科目名	物理療法学演習
配当年次	3学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	演習
担当教員	大森 啓之
実務家教員	理学療法士：大森 啓之
授業科目の概要	物理療法学で身につけた基礎的知識をもとに、対象者に対してインフォームドコンセントを確実に行えた上で、安全かつ迅速に各種物理療法が実践できるような技術を習得する。また、測定機器を活用して治療根拠となる生理学的作用について確認できるよう学習する。実習は①温熱、②寒冷、③牽引、④水治療法、⑤光線・電磁波、⑥超音波、⑦電気刺激について実施する。ただし、単に手技や方法を学ぶのではなく、実際の対象者を念頭に置きながら、どのような手段が適切か、他にどのような手段があるのか、禁忌および注意事項を確認しているのかといった臨床に基づいた思考や手技を習得するものとする。
授業の到達目標	1. 各種物理療法の治療根拠を理解する。 2. 各種物理療法の適応および注意事項、禁忌等について理解する。 3. 疾患、症状に対して適切な物理療法が選択、実施できる。
特に関連する科目	物理学　数学基礎　生理学Ⅰ（生体の恒常性）　生理学Ⅱ（神経生理学）　生理学Ⅲ（消化・吸収・排泄）　生理学実習、運動学Ⅰ、運動学Ⅱ、運動学実習、整形外科学Ⅰ（基礎）、整形外科学Ⅱ（応用）、内科学、病理学、スポーツ医学、スポーツ傷害理学療法学、検査・測定実習、評価実習、総合臨床実習Ⅰ、総合臨床実習Ⅱ
授業の具体的な進め方	各種物理療機器について、操作方法、治療効果、リスク管理、データ収集方法・考察の課題をレポート作成形式で行う。治療法・治療機器毎に課題を提示し、実施した課題をレポートとして提出する。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	6/9	木	4	大森 啓之	305	オリエンテーション，実習方法の確認①
2	6/16	木	3	大森 啓之	305	温熱療法の治療法とリスク管理①
3	6/16	木	4	大森 啓之	305	温熱療法の治療法とリスク管理②
4	6/23	木	3	大森 啓之	305	電気刺激療法の治療法とリスク管理①
5	6/23	木	4	大森 啓之	305	牽引療法の治療法とリスク管理
6	6/30	木	3	大森 啓之	305	実習結果のまとめ①，実習方法の確認②
7	6/30	木	4	大森啓之	305	寒冷療法の治療法とリスク管理①
8	7/7	木	3	大森 啓之	305	寒冷療法の治療法とリスク管理②
9	7/7	木	4	大森 啓之	305	電気刺激療法の治療法とリスク管理②
10	7/14	木	3	大森 啓之	305	電気刺激療法の治療法とリスク管理③
11	7/14	木	4	大森 啓之	305	実習結果のまとめ②，実習方法の確認③
12	7/21	木	3	大森啓之	305	超音波療法の治療法とリスク管理
13	7/21	木	4	大森 啓之	305	高周波療法の治療法とリスク管理
14	7/28	木	3	大森 啓之	305	電気刺激療法の治療法とリスク管理④
15	7/28	木	4	大森 啓之	305	光線療法の治療法とリスク管理

成績評価方法・基準		レポート課題 60%、演習内課題・小テスト40%で判定する。
授業外における学習（予習・復習）		授業の前に予習として教科書および物理療法学配布資料の該当部分を必ず熟読した上で実習に参加すること 毎回の演習授業毎にレポート作成・提出すること 実習内容をよく復習し、重要事項を頭に入れておくこと 知識の理解・治療技術習得のため、予習・復習を合わせて60 分以上行うこと
教科書・参考文献等	教科書	松澤 正・江口 勝彦（編）『物理療法学 改訂第3版』（金原出版、2021年）ISBN: 9784307750639
	参考書	（公社）東洋療法学校協会編／内田 さえ・原田 玲子ほか著『生理学 第3版』（医歯薬出版，2014年）ISBN 9784263241721
	その他	必要に応じて資料を配布する。
連絡先・オフィスアワー		連絡先：h-omori@jhsu.ac.jp オフィスアワー：火曜日13：30～16：00（事前に連絡することが望ましい） 南キャンパス：413室
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 理学療法士としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。 【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP(2)に該当。

科目コード	12329
授業科目名	日常生活活動学
配当年次	2学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	2単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	浅見 正人
実務家教員	理学療法士：浅見 正人
授業科目の概要	国際機能分類の基礎の理解とともに、日常生活活動に関する歴史、概念、範囲、定義および代表的な評価方法や対象者に対する動作・活動の評価、分析および指導について学習する。また、障害者に活用される支援機器・福祉用具に対する理解を深めるために、理学療法士が関与する機会の多い移動用補助具（杖、車いす等）の適応や使用、介助方法について、適切な採寸、選択や対象者の指導ができるように学習する。
授業の到達目標	1.ICFの構成概念と日常生活活動（ADL）の種類や範囲が理解できる。 2.代表的な評価表（FIM、BI等）の特徴を理解し、その採点及び判定ができる。 3.各基本動作やADLの特徴を理解し、運動学的な分析、評価ができる。 4.移動補助具の適応・環境整備の方法を理解し、正しく使うことができる。 5.移動動作の正しい介助及び患者、家族指導ができる。
特に関連する科目	運動学Ⅰ・Ⅱ　臨床動作分析学　疾患別理学療法評価・治療学および演習　日常生活活動学演習　地域理学療法学　生活環境学　生活支援理学療法演習　評価実習　総合臨床実習Ⅰ・Ⅱ
授業の具体的な進め方	履修する学生は初回講義までに、本学日常生活活動学のClassroomに参加する。 授業資料配布，課題提出はClssroomにて行う。 講義内容はシラバスに沿って遠隔授業(Google Meet)にて講義を実施する。 講義は「教科書」および「授業資料」を用いる。 各講義の最後およびまとめの際に実力確認テスト（小テスト）を行い，知識の定着度を確認する。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	9/22	木	1	浅見正人	306	総論：授業概要の説明，日常生活活動学の概要，ICF・QOL（教科書該当ページ：1～20）
2	9/29	木	1	浅見正人	306	総論：ADL評価とその実際①　ADL評価の概要と評価法（教科書該当ページ：21～36）
3	10/6	木	1	浅見正人	306	総論：ADL評価とその実際②　バーセルインデックス(BI)（教科書該当ページ：45～54）
4	10/13	木	1	浅見正人	306	総論：ADL評価とその実際③　機能的自立度評価法(FIM)①（教科書該当ページ：55～70）
5	10/20	木	1	浅見正人	306	総論：ADL評価とその実際④　機能的自立度評価法(FIM)②（教科書該当ページ：55～70）
6	10/27	木	1	浅見正人	306	各論：基本動作・床上動作（教科書該当ページ：85～104，107～109）
7	11/10	木	1	浅見正人	306	各論：車いすの種類と車いすのチェックアウトおよび操作・介助方法（教科書該当ページ：78～83，110～114）
8	11/17	木	1	浅見正人	306	各論：歩行補助具の種類と杖のチェックアウトおよび歩行介助方法（教科書該当ページ：72～78，115～122）
9	11/24	木	1	浅見正人	306	各論：セルフケア（教科書該当ページ：125～135）
10	12/1	木	1	浅見正人	306	各論：補装具・ADLを支援する機器・住環境整備（教科書該当ページ：137～148，149～156）
11	12/8	木	1	浅見正人	306	疾患別ADL指導①(中枢疾患：脳卒中片麻痺)（教科書該当ページ：157～163）
12	12/15	木	1	浅見正人	306	疾患別ADL指導②（神経難病）（該当ページ：157～166）
13	12/22	木	1	浅見正人	306	疾患別ADL指導③（脊髄損傷・関節リウマチ）（教科書該当ページ：167～175）
14	1/12	木	1	浅見正人	306	疾患別ADL指導④（運動器疾患：骨折，変形性関節症，切断，腰痛）（教科書該当ページ：176～183）
15	1/19	木	1	浅見正人	306	疾患別ADL指導⑤（循環器・呼吸器疾患）・まとめ

成績評価方法・基準		各授業ごとに出席確認および小テストを実施する。配点は小テスト(30%)、期末試験(70%)の合計にて判定し、60%以上を合格とする。しかし、1)一定以上の出席日数、2)課題の提出、3)期末試験が60%以上の3条件をすべて満たすことが必要である。その他判定に関しては学内判定基準に準じる。
授業外における学習（予習・復習）		【予習について（15分程度）】 ・配布資料の内容が教科書のどこに該当するかを確認する ・教科書にでてくる分からない部分や太字の部分を確認する 【復習について（30分程度）】 ・実力確認テストにて間違った箇所の確認を行う ・授業中の講義内容で分からなかった点を確認する
教科書・参考文献等	教科書	河元 岩男（編集）『日常生活活動学テキスト(改訂第3版)（シンプル理学療法学シリーズ)』（南江堂、2019年） ISBN:9784524245789
	参考書	臼田 滋（編集）『日常生活活動学（Crosslink 理学療法学テキスト）』（メジカルビュー社、2020年） ISBN:9784758320092
		鶴見 隆正他（編集）『標準理学療法学～専門分野～<日常生活活動学・生活環境学> 第6版(STANDARD TEXTBOOK)』（医学書院、2021年） ISBN: 9784260047517
		伊藤 利之他(編集)『新版日常生活活動(ADL)～評価と支援の実際～　第2版』（医歯薬出版、2020年） ISBN:9784263266069
	その他	
連絡先・オフィスアワー		連絡先　　：E-mail：m-azami@jhsu.ac.jp オフィスアワー　：水曜日9：30～12:30 その他　　：事前連絡うえ、Meetを用いた質疑等の受付可能
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 理学療法士としての実務経験を活かした講義・演習を行う。 【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP（1）-①、②、③、④、（2）-①、②、③、（3）-②に該当。

科目コード	12330
授業科目名	日常生活活動学演習
配当年次	3学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	30時間
授業形態	演習
担当教員	浅見 正人
実務家教員	理学療法士：浅見 正人
授業科目の概要	日常生活活動学で習得した知識をもとに以下の演習を行う。 ①具体的なADL評価，動作指導方法 ②疾患や障害の特異的動作や介助方法 ③福祉用具の使用方法
授業の到達目標	1．国際機能分類の趣旨を理解し活用ができる 2．ADLの評価を行うことができる 3．基本動作・セルフケアの具体的支援方法を説明・実践できる 4．疾患に応じた具体的支援方法を説明・実践できる
特に関連する科目	運動学Ⅰ・Ⅱ　臨床動作分析学　疾患別理学療法評価・治療学　疾患別理学療法評価・治療学演習　日常生活活動学　地域理学療法学　生活環境学　生活支援理学療法演習　評価実習　総合臨床実習Ⅰ　総合臨床実習Ⅱ
授業の具体的な進め方	履修する学生は初回講義までに、本学Classroom「2022年度_日常生活動作演習」に参加する。 授業資料配布，課題提出はClssroomにて行う。 講義内容はシラバスに沿って対面授業を原則とする。 講義は「教科書」および「授業資料」を用いる。 知識確認テストを行いを授業終了後に行い，知識の定着度を確認する。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	6/6	月	2	浅見正人	312	国際機能分類（ICF）の理解と実践①
2	6/13	月	1	浅見正人	312	国際機能分類（ICF）の理解と実践②
3	6/13	月	2	浅見正人	312	ADL評価の理解と実践①
4	6/20	月	1	浅見正人	312	ADL評価の理解と実践②
5	6/20	月	2	浅見正人	312	起居動作（寝返り・起き上がり・立ち上がり・移乗）に関する具体的支援①
6	6/27	月	1	浅見正人	312	起居動作（寝返り・起き上がり・立ち上がり・移乗）に関する具体的支援②
7	6/27	月	2	浅見正人	312	移動に関する具体的支援（車いすのフィッティングと自走・介助方法）①
8	7/4	月	1	浅見正人	312	移動に関する具体的支援（車いすのフィッティングと自走・介助方法）②
9	7/4	月	2	浅見正人	312	移動に関する具体的支援（杖のフィッティングと介助方法）①
10	7/11	月	1	浅見正人	312	移動に関する具体的支援（杖のフィッティングと介助方法）②
11	7/11	月	2	浅見正人	312	セルフケアに関する具体的支援①
12	7/18	月	1	浅見正人	312	セルフケアに関する具体的支援②
13	7/18	月	2	浅見正人	312	神経系神経に対する具体的なADL支援
14	7/25	月	1	浅見正人	312	運動器疾患に対する具体的なADL支援
15	7/25	月	2	浅見正人	312	まとめ

成績評価方法・基準		各授業ごとに出席確認および小テストを実施する。配点は小テスト(20%)、課題(20%)、期末試験(60%)の合計にて判定し、60%以上を合格とする。しかし、 1)一定以上の出席日数、2)課題の提出、3)期末試験が60%以上の3条件をすべて満たすことが必要である。その他判定に関しては学内判定基準に準じる。
授業外における学習（予習・復習）		【予習について（15分程度）】 ・上記に挙げた範囲について，指定教科書を活用に確認する ・教科書にでてくる分からない部分や太字の部分を確認する 【復習について（30分程度）】 ・実力確認テストにて間違った箇所の確認を行う ・授業中の講義内容で分からなかった点を確認する
教科書 ・参考文献等	教科書	河元 岩男（編集）『日常生活活動学テキスト(改訂第3版)（シンプル理学療法学シリーズ）』（南江堂、2019年） ISBN:9784524245789
	参考書	臼田 滋（編集）『日常生活活動学（Crosslink 理学療法学テキスト）』（メジカルビュー社、2020年） ISBN:9784758320092
		鶴見 隆正他（編集）『標準理学療法学～専門分野～<日常生活活動学・生活環境学> 第5版(STANDARD TEXTBOOK)』（医学書院、2017年） ISBN:9784260032568
		伊藤 利之他(編集)『新版日常生活活動(ADL)～評価と支援の実際～ 第2版』（医歯薬出版、2020年） ISBN:9784263266069
	その他	
連絡先・オフィスアワー		連絡先　　：E-mail：m-azami@jhsu.ac.jp オフィスアワー　：水曜日9：30～12:30
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 理学療法士としての実務経験を活かした講義・演習を行う。 【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP（1）-①、②、③、④、（2）-①、②、③、（3）-②に該当。

科目コード	12331
授業科目名	スポーツ傷害理学療法学
配当年次	3学年、4学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	選択
単位	1単位
時間数	15時間
授業形態	講義
担当教員	髙橋 真
実務家教員	理学療法士：髙橋 真
授業科目の概要	発育期の子どもから高齢者までの急性および慢性のスポーツ傷害（外傷・障害）の発生メカニズムや病態に関する知識を整理し、代表的な競技・スポーツによって発生する傷害に対する理学療法の評価（意義、目的、判断基準等）や基本的治療の方法とともに、傷害予防や再発防止に対するアプローチついて学習する。特に、発育期にある小児から高等学校におけるスポーツ・競技に関するトレーニングのあり方について、指導方法とともに学習する。
授業の到達目標	1.「スポーツ疾患とその特徴」を理解し，自分の言葉でわかりやすく説明することができる。 2. スポーツ外傷と障害の違いについて理解し，それぞれの疾患に対する理学療法を説明することができる。 3. スポーツ現場における理学療法士の役割についてわかりやすく説明することができる。
特に関連する科目	解剖学、生理学、運動学、整形外科学、運動療法学、物理療法学他
授業の具体的な進め方	・スポーツ現場における理学療法士の役割を明らかにするとともに，場面に応じた対応について学習する。 ・講義で学んだことをレポートにまとめ，主体的に調べ学習ができるように進める。 ・授業形態は対面で行う予定であり、マスクの着用および手指消毒を徹底する。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	11/28	月	3	髙橋真	312	スポーツ障害と傷害の違いについて・スポーツにおける障害とは（多くみられる疾患について）・スポーツにおける傷害とは（多くみられる疾患について）
2	11/28	月	4	髙橋真	312	スポーツ障害と傷害の理学療法評価／保存療法と術後の理学療法① 体幹・体幹（腰椎）
3	12/5	月	3	髙橋真	312	スポーツ障害と傷害に対する理学療法評価／保存療法と術後の理学療法② 下肢（足部）・足関節周囲の損傷（外側側副靭帯損傷）
4	12/5	月	4	髙橋真	312	スポーツ障害と傷害に対する理学療法評価／保存療法と術後の理学療法② 下肢（足部）・足関節周囲の損傷（外側側副靭帯損傷）
5	12/12	月	3	髙橋真	312	スポーツ障害と傷害に対する理学療法評価／保存療法と術後の理学療法③ 上肢・肩関節周囲の損傷・肘関節周囲の損傷
6	12/12	月	4	髙橋真	312	スポーツ障害と傷害に対する理学療法評価／保存療法と術後の理学療法③ 上肢・肩関節に対する理学療法・肘関節に対する理学療法
7	12/19	月	3	髙橋真	312	スポーツ障害と傷害に対する理学療法評価／保存療法と術後の理学療法④ 下肢（膝）・膝関節周囲の損傷（ACL損傷，半月板損傷）
8	12/19	月	4	髙橋真	312	スポーツ障害と傷害に対する理学療法評価／保存療法と術後の理学療法④ 下肢（膝）・膝関節周囲の損傷（ACL損傷，半月板損傷）

成績評価方法・基準		レポート：第8回終了後にレポート課題を提示。100% ＊レポートについては、採点し返却する。
授業外における学習（予習・復習）		授業計画に沿って教科書で予習し、講義後は、教科書、講義で配布される資料、参考文献を用いて復習をおこなうこと。 予習に30分、復習に30分程度必要である。
教科書・参考文献等	教科書	使用しない
	参考書	浦辺幸夫（著）『スポーツ理学療法(PTマニュアル)』（医歯薬出版、2006年） ISBN:9784263215098
		園部俊春（著）『スポーツ外傷・障害に対する術後のリハビリテーション 改訂版』（運動と医学の出版社、2013年） ISBN:9784904862087
		その他，講義内にて、適宜紹介する。
	その他	
連絡先・オフィスアワー		質問は授業前後でメールにて対応する。
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 理学療法士としての（専門機関における）実務経験を活かした講義を行う。 【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP（1）に該当。

科目コード	12332
授業科目名	理学療法技術論
配当年次	3学年、4学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	選択
単位	1単位
時間数	15時間
授業形態	講義
担当教員	東 裕一
実務家教員	理学療法士 ： 東 裕一
授業科目の概要	成人片麻痺に対する神経発達学的治療、神経系運動療法における代表的徒手療法である固有受容器神経筋促通法、および運動器系運動療法における代表的治療手技であるマニュアルセラピーおよび関節モビライゼーション等に関して、その基本的な概念、理論・原理や適応等について学習する。また、自らがそれらの基礎的な手技を選択し、実践できるように学習する。
授業の到達目標	1. PNFの原理・原則および基本テクニックを説明できる。 2. PNFの基本的運動パターンを行える。 3. 関節の凹凸の法則を説明できる。 4. 関節裂隙を触診し、治療肢位を説明できる。 5. 牽引の手技を実施できる。
特に関連する科目	運動学Ⅰ、Ⅱ、運動療法総論、運動器系理学療法評価・治療学、神経系理学療法評価・治療学
授業の具体的な進め方	対面にて実技を中心に進める。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	10/31	月	3	東裕一	312	オリエンテーション. 運動機能診断とPNFの原則
2	10/31	月	4	東裕一	312	肩甲帯、骨盤帯のパターン
3	11/7	月	3	東裕一	312	下肢のパターン
4	11/7	月	4	東裕一	312	上肢のパターン
5	11/14	月	3	東裕一	312	マニュアルセラピーの基礎理論
6	11/14	月	4	東裕一	312	上肢の代表的な治療
7	11/21	月	3	東裕一	312	下肢の代表的な治療
8	11/21	月	4	東裕一	312	総復習

成績評価方法・基準		授業毎の小テストの合計.
授業外における学習（予習・復習）		神経生理学、バイオメカニクスと合わせて復習すると良い。運動パターンは繰り返し練習し、覚えると良い
教科書・参考文献等	教科書	
	参考書	Adler SS, Becker D, Buck M 『PNFハンドブック第4版』（丸善出版、2018年） ISBN:9784621303375
		Freddy M. Kaltenborn 『四肢関節のマニュアルモビリゼーション』（医歯薬出版、1988年） ISBN:9784263211922
	その他	
連絡先・オフィスアワー		
その他		

科目コード	12333
授業科目名	ウィメンズヘルス
配当年次	3学年、4学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	選択
単位	1単位
時間数	15時間
授業形態	講義
担当教員	田舎中 真由美
実務家教員	理学療法士：田舎中 真由美
授業科目の概要	女性の各年代（思春期、青年期、老年期）による生理、身体的特徴や変化、社会・家庭における役割（仕事、出産・育児、家事等）の状況、あるいは、女性特有の疾患、症状等を理解する。その上で、様々な問題の解決に向けた多様なアプローチが求められる中で、リハビリテーションチームの一員として理学療法士がどのように介入すべきであるのか、その評価や治療の方法および役割について学習する。
授業の到達目標	1. 妊娠・出産、そして更年期障害と生涯を通して女性のからだに起こりうる変化を学ぶ。 2. 骨盤底機能障害に対する評価を説明し、実施できる。 3. 骨盤底筋群や腹横筋等のインナーユニットに対するトレーニングを説明し、指導できる
特に関連する科目	解剖学　運動学Ⅰ　解剖学Ⅰ　解剖学Ⅲ　生理学Ⅲ　理学療法評価学
授業の具体的な進め方	各回とも講義と実習を組み合わせて実施する。実技の習得状況の確認のために、実技実施時以降の授業時冒頭で学生に実技の発表を行って頂き、評価項目、方法を判断基準を確認していく。 トレーニング方法に関しては、自身またはペアの学生の体の変化を通して学ぶ。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	11/2	水	5	田舎中真由美	312	・女性の生涯を通して起こりうる変化と、機能障害、対応可能な理学療法を考える。 ・骨盤の構、下部尿路、骨盤底筋群の機能解剖を学ぶ。
2	11/9	水	5	田舎中真由美	312	・妊娠・出産が身体に及ぼす影響について学ぶ。腹部や骨盤底部にどのような機能障害が起こりうるかを学ぶ。
3	11/16	水	5	田舎中真由美	312	・恥骨痛、仙腸関節痛などの骨盤輪不安定症、尿失禁、骨盤臓器脱等の骨盤底機能障害とその原因について学ぶ。 ・骨盤のランドマークの触診。・骨盤底筋群の触診。
4	11/30	水	5	田舎中真由美	312	・腹横筋、骨盤底筋群をはじめとするインナーユニットの役割を確認する。 ・呼吸時における各々の運動機能を学ぶとともに機能評価の方法を学ぶ。
5	12/7	水	5	田舎中真由美	312	・骨盤底筋群の運動機能を学び、機能評価の方法を学ぶ。 ・腹部機能の評価方法を学ぶ。
6	12/14	水	5	田舎中真由美	312	・更年期障害について学ぶ。・排尿のメカニズムと尿失禁のタイプ、各尿失禁に対する対処法を学ぶ。骨盤臓器脱に対する対応方法を学ぶ。
7	12/21	水	5	田舎中真由美	312	・運動器症状に対する評価と対応方法、排泄機能障害に対する評価と対応方法を症例を通して学ぶ。
8	1/11	水	5	田舎中 真由美	312	まとめ

成績評価方法・基準		講義、グループワークの取り組みと参加状況：20%　定期試験：80%
授業外における学習（予習・復習）		授業後は講義時に配布された資料、参考文献を用いて復習を行うこと。予習・復習には講義ごとに概ね60分程度必要である。
教科書 ・参考文献等	教科書	特になし
	参考書	講義内にて、適宜紹介する。
	その他	特になし
連絡先・オフィスアワー		質問等は授業前後に対応する。
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 理学療法士としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。 【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP（1）に該当。

科目コード	12334
授業科目名	地域理学療法学
配当年次	3学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	2単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	加茂 智彦
実務家教員	理学療法士 : 加茂 智彦
授業科目の概要	地域理学療法の基礎となる地域リハビリテーションの概念や思想、歴史、法・制度について理解するとともに、地域における理学療法士の役割を理解、基本的知識や技術について学習する。また、理学療法士の保健、予防領域での活動に関する社会的ニーズに対応するため、地域住民を対象とした健康増進、ヘルスプロモーションおよび介護予防支援で求められる理学療法士の活動やそのための基礎的な知識や技術についても学習する。
授業の到達目標	1.地域における医療・保健・福祉の各領域で求められる理学療法を行うために必要な知識を得る 2.地域における理学療法について施行される環境別にその概要を把握する 3.介護保険システム、地域包括システムを理解する
特に関連する科目	リハビリテーションチーム論
授業の具体的な進め方	講義およびグループ学習

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/8	金	1	加茂智彦	312	地域における理学療法士の役割
2	4/15	金	1	加茂智彦	312	介護保険制度の理解
3	4/22	金	1	加茂智彦	312	地域理学療法に求められる医学的管理
4	5/13	金	1	加茂智彦	312	地域での理学療法評価
5	5/27	金	1	加茂智彦	312	地域理学療法の実際 (1)入所
6	6/3	金	1	加茂智彦	312	地域理学療法の実際 (2)通所
7	6/10	金	1	加茂智彦	312	地域理学療法の実際 (3)訪問
8	6/17	金	1	加茂智彦	312	疾患別地域理学療法 (1)中枢神経疾患
9	6/17	金	2	加茂智彦	312	疾患別地域理学療法 (2)運動器疾患
10	6/24	金	1	加茂智彦	312	疾患別地域理学療法 (3)循環器疾患
11	6/24	金	2	加茂智彦	312	疾患別地域理学療法 (4)がん、小児
12	7/1	金	1	加茂智彦	312	疾患別地域理学療法 (5)サルコペニア、フレイル
13	7/1	金	2	加茂智彦	312	生活環境の整備
14	7/8	金	1	加茂智彦	312	地域における予防理学療法
15	7/8	金	2	加茂智彦	312	まとめ

成績評価方法・基準		小テスト:30%、定期テスト70%
授業外における学習(予習・復習)		授業計画に沿って教科書で予習し、講義後は、教科書、講義で配布される資料を用いて復習をおこなうこと。予習・復習には講義ごとに概ね60分以上必要である。
教科書・参考文献等	教科書	牧迫飛雄馬・吉松竜貴編 『地域理学療法学(最新理学療法学講座)』(医歯薬出版、2021年) ISBN:9784263267349
	参考書	松澤 正 (著), 江口 勝彦 (著) 『理学療法評価学 第6版補訂版』(金原出版、2022年) ISBN:9784307750684
	その他	
連絡先・オフィスアワー		連絡先:研究室413 メールアドレス:t-kamo@jhsu.ac.jp オフィスアワー:月曜日、木曜日13:00～13:30、16:40～17:30
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 理学療法士としての(専門機関における)実務経験を活かした講義を行う。 【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP(3)に該当。

科目コード	12335
授業科目名	生活環境学
配当年次	3学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	2単位
時間数	30時間
授業形態	講義
担当教員	浅見 正人
実務家教員	理学療法士：浅見 正人
授業科目の概要	高齢者や障害者が自宅や住み慣れた地域で継続的に生活していくためには、身体状況に応じた生活環境の整備が必要である．理学療法士は専門的知識をもとに、対象者に適した住環境整備を行う必要がある。 そこで理学療法士が適切な住環境整整備を行うために必要な住宅改修、福祉用具の知識および住宅改修・福祉用具導入等を含めた生活環境整備に必要な過程を学習する。
授業の到達目標	1.日本における生活環境の特徴および法的制度について説明できる． 2.各場面における環境整備の特徴を説明できる。 3.生活環境整備における具体的な計画を立案ができる。
特に関連する科目	人間工学基礎　運動学Ⅰ　運動学Ⅱ　リハビリテーション概論　臨床動作分析学　疾患別理学療法評価・治療学　疾患別理学療法評価・治療学演習　日常生活活動学　日常生活活動学演習　地域理学療法学　生活支援理学療法演習　評価実習　総合臨床実習Ⅰ　総合臨床実習Ⅱ
授業の具体的な進め方	履修する学生は初回講義までに、本学Classroom「2022年度_生活環境学」に参加する。 講義は「教科書」および「授業資料」を用いる。授業資料はClassroomを通じて配布する。 講義内容はシラバスに沿って対面授業を基本として行う。 なお、感染症拡大の状況により適宜、遠隔授業(Google Meet)を使用することも想定する。 各講義の最後にGoogle Formを用いた確認テストにより知識の再確認をする。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	4/11	月	1	浅見正人	312	総　論①　生活環境学の考え方と日本の生活環境の特徴と課題（教科書：P1～20）
2	4/11	月	2	浅見正人	312	総　論②　生活環境整備に関する法的制度（教科書：P21～38）
3	4/18	月	1	浅見正人	312	総　論③　生活環境整備の進め方と基本的な建築図面の読み方・書き方　（教科書：P39～52，163～174）
4	4/18	月	2	浅見正人	312	総　論④　生活環境整備の基本（段差・スペース・床材・手すり・建具）　（教科書：P53～75）
5	4/25	月	1	浅見正人	312	環境別①　玄関・アプローチ・廊下・階段の環境整備（教科書：P77～94）
6	4/25	月	2	浅見正人	312	環境別②　トイレ・浴室・脱衣室の環境整備（教科書：P95～115）
7	5/9	月	1	浅見正人	312	環境別③　台所・食堂・居間・寝室の環境整備（教科書：P117～135）
8	5/9	月	2	浅見正人	312	動作別①　基本動作（起居動作・移乗・移動）
9	5/16	月	1	浅見正人	312	動作別②　日常生活活動・生活関連活動
10	5/16	月	2	浅見正人	312	疾患別①　中枢神経障害：脳血管障害，パーキンソン病）（教科書：P137～150）
11	5/23	月	1	浅見正人	312	疾患別②　運動器疾患　：脊髄損傷，関節リウマチ，変形性関節症）（教科書：P150～162）
12	5/23	月	2	浅見正人	312	演　習①　症例に基づく生活環境整備
13	5/30	月	1	浅見正人	312	演　習②　症例に基づく生活環境整備
14	5/30	月	2	浅見正人	312	演　習③　症例に基づく生活環境整備
15	6/6	月	1	浅見正人	312	全体まとめ（教科書：P1～159）

成績評価方法・基準		各授業ごとに出席確認および確認テストを実施する。配点は確認テスト(20%)、レポート（10%）、期末試験（70%）の合計にて判定し、60%以上を合格とする。しかし、 1)一定以上の出席日数、2)課題の提出、3)期末試験が60%以上の3条件をすべて満たすことが必要である。その他判定に関しては学内判定基準に準じる。
授業外における学習（予習・復習）		【予習について（15分程度）】 ・配布資料の内容が教科書のどこに該当するかを確認する ・教科書にでてくる分からない部分や太字の部分を確認する 【復習について（30分程度）】 ・実力確認テストにて間違った箇所の確認を行う ・授業中の講義内容で分からなかった点を確認する
教科書・参考文献等	教科書	細田多穂監修 『生活環境学テキスト 改訂第2版(シンプル理学療法学・作業療法学シリーズ)』（南江堂、2020年） ISBN:9784524227020
	参考書	鶴見隆正 他 編集 『 標準理学療法学～専門分野～<日常生活活動学・生活環境学> 第5版(STANDARD TEXTBOOK)』（医学書院、2017年） ISBN:9784260032568
		鶴見隆正 他 著書 『現場から学ぶ自立支援のための住宅改修～みてわかる工夫事例・不適事例～』（医学書院、2007年） ISBN:9784260004541
		金沢善智著 『 利用者から学ぶ福祉住環境整備』（三輪書店、2007年） ISBN:9784895902779
		木村哲彦 監修 『 生活環境論～生活支援の視点と方法～　第6版』（医歯薬出版、2010年） ISBN:9784263213452
	その他	
連絡先・オフィスアワー		連絡先　　：E-mail：m-azami@jhsu.ac.jp オフィスアワー　：水曜日9：30～12:30
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 理学療法士としての実務経験を活かした講義・演習を行う。 【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP（1）-①、②、③、④、（2）-①、②、③、（3）-②に該当。

科目コード		12336
授業科目名		検査・測定実習
配当年次		2学年
開講時期		後期
必修・選択・自由		必修
単位		2単位
時間数		80時間
授業形態		実験・実習
担当教員		江口 勝彦、永野 克人、湯口 聡、東 裕一、旭 竜馬、大森 啓之、浅見 正人、髙橋 真、鈴木 慶
実務家教員		理学療法士：江口 勝彦、永野 克人、湯口 聡、東 裕一、旭 竜馬、大森 啓之、浅見 正人、高橋 真、鈴木 慶
授業科目の概要		理学療法の治療対象となる代表的な疾病や障害に対して、これまで学内において習得した知識および技術を基礎として、理学療法評価における情報収集の重要な手段となる対象者への医療面接や適切な検査・測定の選択、実施を臨床実習指導者の指示、監督の下で経験し、理学療法評価の基礎について各種機関において実習を通して実践的に学習する。また、社会人・医療従事者として求められる責任ある態度や言動について身につける。
授業の到達目標		この実習の目標は、1)臨床実習指導者の実際の姿を見て、理学療法という職業の面白さや素晴らしさ、対象者都の接点を通じて実際の感動と難しさを体験すること、加えて2)情報収集に必要となる検査・測定の一部を実施し、臨床現場で実際の対象者に対して検査・測定を行うための基本的な技術と知識をみにつけることである。
特に関連する科目		・関連し合う科目：すべての専門科目 ・この科目が基礎となる科目：臨床推論演習、評価実習、理学療法総合演習、総合臨床実習ⅠおよびⅡ
授業の具体的な進め方		実習参加要件として、 1)2年前期までの必修科目の履修を修了していること、 2)OSCEなど実習前の判定試験において基準を満たしていること、 3)オリエンテーション、ガイダンスに出席していることが必要である。 実習前には、実習オリエンテーション・ガイダンス、学内における知識および実技の判定試験などを行う。臨床実習地では、指導者要件を満たした臨床実習指導者の指導とその他の職員スタッフのご協力を得て、進める。臨床実習地での実習後は、学内において、実習成果の発表会（実習報告会）を行う。
実習スケジュール（標準的実習モデル）		
		別途
成績評価方法・基準		病院、施設での実習状況（30%）、実習前後の学内活動（70%）を基準に総合的に評価する。
授業外における学習（予習・復習）		臨床実習地において1日当たり概ね8時間の実習時間に加え、概ね1時間の自己学習の約9時間を要する。週5日45時間を超えないようにし、学内にて指定された課題に取り組む。
教科書・参考文献等	教科書	リハドリル（オンライン）
	参考書	理学療法評価学等
	その他	
連絡先・オフィスアワー		アドバイザー・担任等。随時
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 理学療法士としての（専門機関における）実務経験を活かした実習を行う。 【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP(1)(2)(3)に該当。

科目コード		12337
授業科目名		評価実習
配当年次		3学年
開講時期		後期
必修・選択・自由		必修
単位		4単位
時間数		160時間
授業形態		実験・実習
担当教員		江口 勝彦、永野 克人、湯口 聡、東 裕一、旭 竜馬、大森 啓之、浅見 正人、髙橋 真、鈴木 慶
実務家教員		理学療法士：江口 勝彦、永野 克人、湯口 聡、東 裕一、旭 竜馬、大森 啓之、浅見 正人、髙橋 真、鈴木 慶
授業科目の概要		理学療法の治療対象となる代表的な疾病や障害に対して、これまでの学内教育および過去の実習で習得した知識および技術を基礎として、医療面接および検査・測定による情報収集から統合と解釈、問題点抽出、目標設定、治療プログラム立案などを臨床実習指導者の指示、監督の下で考察、経験し、理学療法介入の基礎について各種機関において実習を通して実践的に学習する。また、対象者や他の専門職から求められる理学療法士の役割や業務について理解する。 知識の定着、意欲・臨床における態度を含めた情意領域、精神運動領域の涵養を図る。理学療法士として求められる責務を理解し、それに適合した行動を身につけるため、指導教員、学生による総合討論を展開する。
授業の到達目標		1）理学療法の対象となる代表的な疾患・障害を持つ症例に対し、病歴など既に集められた情報、自ら得る情報、他医療従事者から得る情報などから適切な情報を整理し、問題点を考えることができる。 2）症例の傷病名から一般的に必要とされる検査・測定項目を挙げ、さらに、仮説を証明するための適切な評価項目とその計画を立てられるようになることができる。 3）臨床実習指導者の臨床思考過程、すなわち上記検査・測定から得られた結果の解釈や相互関係を吟味し、分析統合を経て、より具体的治療法に結びつく問題点として整理することなどを臨床実習指導者の指導を受け追体験し、理解できる。
特に関連する科目		・関連し合う科目－すべての専門科目 ・この科目が基礎となる科目－臨床推論演習、理学療法総合演習、総合臨床実習Ⅰおよび総合臨床実習Ⅱ
授業の具体的な進め方		臨床実習指導者による演示（デモンストレーション）や指導の下、検査・測定実習で実施した情報収集や検査・測定とともに、その後の理学療法評価の一連の過程として、問題点抽出、目標設定、治療プログラム立案などを経験し、ケースノート、症例レジュメ(空間概念図)およびポートフォリオを作成する。臨床実習地に赴き、臨床実習指導者の指導を受けながら、臨床参加型実習を通じ学習する。 実習参加要件は2つの要件を満たすことが必須である。 1）3年前期までの必修科目の履修を修了していること 2）オリエンテーション、ガイダンスに出席していること 実習前には、実習オリエンテーション・ガイダンス、学内における知識および実技の判定試験などを行う。 臨床実習地では、指導者要件を満たした臨床実習指導者の指導とその他の職員スタッフのご協力を得て、進める。 臨床実習地での実習後は、学内において、実習成果の発表会を行う。
実習スケジュール（標準的実習モデル）		
		別途
成績評価方法・基準		実習前後による学内評価を70%、実習地による学外評価を30%とする。学内および学外評価はルーブリックや技術項目チェックリスト等を用いて評価し、60%を合格基準とする。
授業外における学習（予習・復習）		臨床実習地において1日当たり概ね8時間の実習時間に加え、概ね1時間の自己学習の約9時間を要する。週5日45時間を超えないようにし、学内にて指定された課題に取り組む。
教科書・参考文献等	教科書	リハドリル（オンライン）
	参考書	
	その他	
連絡先・オフィスアワー		アドバイザー・担任等。随時
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 理学療法士としての（専門機関における）実務経験を活かした実習を行う。 【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP（1）（2）（3）に該当。

Ⅳ.

2022 年度
講義要綱･シラバス
（4 年次科目）

日本保健医療大学
保健医療学部　理学療法学科
JAPAN　UNIVERSITY　OF　HEALTH　SCIENCES

学籍番号 _____ 氏名_____

2022年度　理学療法学科授業科目 【 4年生 】

No.	区分1	区分2	科目ｺｰﾄﾞ	科目名	年次	学期	必修	単位	時間	授業形	担当教員	頁
1	専門科目	基礎理学療法学	12305	理学療法管理学	4年	後期	必修	1	15	講義	永野　克人	1
2	専門科目	基礎理学療法学	12307	理学療法研究	4年	後期	必修	2	60	演習	○湯口　聡	2
3	専門科目	理学療法治療学	12331	スポーツ傷害理学療法学	3･4年	後期	選択	1	15	講義	髙橋　真 新谷　益巳	3
4	専門科目	理学療法治療学	12332	理学療法技術論	3･4年	後期	選択	1	15	講義	東　裕一	4
5	専門科目	理学療法治療学	12333	ウィメンズヘルス	3･4年	後期	選択	1	15	講義	田舎中　真弓	5
6	専門科目	臨床実習	12339	総合臨床実習Ⅰ	4年	前期	必修	6	270	実験実習	○旭　竜馬	6
7	専門科目	臨床実習	12340	総合臨床実習Ⅱ	4年	前期	必修	6	270	実験実習	○旭　竜馬	7

【 科目コードの詳細】

1	2	1	0	1
学科		科目区分	番号	

学科コード		科目区分コード	
11	看護学科	1	基礎科目
12	理学療法学科	2	専門基礎科目
		3	専門科目

科目コード	12305
授業科目名	理学療法管理学
配当年次	4学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	1単位
時間数	15時間
授業形態	講義
担当教員	永野 克人
実務家教員	理学療法士：永野 克人
授業科目の概要	理学療法の質の保証および適切な理学療法提供システムの理解のために、理学療法業務における効率的な人的管理、リスク管理、情報管理、財政的・物質的管理について、その計画・組織および運用を医療機関内理学療法、施設内理学療法および地域理学療法のそれぞれの場面におけるマネージメントについて学習する。
授業の到達目標	病院・施設・在宅などでの対象者の課題の把握とリスク管理やマネージメントについて理解する．個々の対象者に対して必要なマネジメントを構築し，短・中期プランを構築できる．教育・研究・地域領域においてリスク管理ができる．
特に関連する科目	社会福祉学　生命倫理学　法学　公衆衛生学　安全管理・救急法　保健医療福祉行政論　解剖学　生理学　リハビリテーション医学　一般臨床医学
授業の具体的な進め方	理学療法士は，臨床，教育，研究の分野及び病院、施設，在宅，研究施設，教育施設など職場は多岐にわたる．様々な職場において，管理/マネージメント全般について取り上げる．講義を中心に進めるが，現場での実例を多く例示しディスカッションを交えて理解を深めていく．

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	9/27	火	1	永野克人	211	オリエンテーション管理学とは
2	10/4	火	1	永野克人	211	理学療法士・作業療法士が勤務する組織と関連法規
3	10/11	火	1	永野克人	211	職業倫理
4	10/18	火	1	永野克人	211	リスク管理
5	10/25	火	1	永野克人	211	病院における管理・運営
6	11/1	火	1	永野克人	211	臨床実習
7	11/8	火	1	永野克人	211	介護保険関連施設における管理・運営
8	11/15	火	1	永野克人	211	演習またはその他の管理・運営

成績評価方法・基準		期末試験定期試験100%．ただし，10～30%配点の演習レポート課題を出す場合がある． 課題の未提出や内容が不十分な場合，講義マナー等で注意された場合は，1回につき期末試験の総合点から10～30点減点する．
授業外における学習（予習・復習）		課題1 講義前に教科書を十分に読み，内容を十分に理解すること．また，分からないことを明らかし講義に臨むこと． 課題2 講義後は，学習した内容について復習を行い理学療法管理学について理解・説明できるように，しっかり覚えるまで学習すること． 課題3 講義中に口頭や資料で説明したことは，ノートやマーカー，アンダーラインをするなど講義後に復習できるように記録すること． 課題4 図書やオフィスアワーを利用し，分からないことを必ず解決すること．
教科書 ・参考文献等	教科書	奈良勲　編『理学療法管理学』（医歯薬出版、2018年） ISBN:9784263265833
	参考書	講義内にて，適宜紹介する．
	その他	特になし
連絡先・オフィスアワー		オフィスアワー：平日火曜・木曜日の昼休み 研究室：416室 連絡先：k-hisano@jhsu.ac.jp
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 理学療法士としての（専門機関における）実務経験を活かした講義を行う。 【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP(1)①②③(2)①②(3)①②③に該当。

科目コード	12307
授業科目名	理学療法研究
配当年次	4学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	必修
単位	2単位
時間数	60時間
授業形態	演習
担当教員	湯口 聡
実務家教員	理学療法士 ： 湯口 聡・江口 勝彦・永野 克人・東 裕一・旭 龍馬・大森 啓之・浅見 正人・高橋 真・鈴木 慶
授業科目の概要	理学療法研究では、理学療法研究法で学んだ方法を活用して、リハビリテーションや理学療法関連領域から初歩的な課題を設定し研究する。問題提起、過去の研究のレビュー、研究計画書および研究ノートの作成、調査・実験、データの記録・分析・検証、考察という一連の作業を経験することにより科学的思考と問題解決能力を身につける。理学療法士としての生涯学習および科学者としての基盤を形成する。
授業の到達目標	理学療法をサイエンス（科学）とアート（技術）と捉え、今後ますます求められる、根拠に基づいた理学療法を実施する上で必要な、科学的思考と問題解能力を養うことを目標とする。問題提起、過去の研究のレビュー、研究計画書および研究ノートの作成、調査・実験、データの記録・分析・検証、考察という一連の作業を経験する。 また、研究内容の発表を通して、プレゼンテーション資料の作成、プレゼンテーション技法を学ぶ。
特に関連する科目	すべての科目
授業の具体的な進め方	ガイダンスおよび発表会は合同で、研究倫理審査は卒業研究研究倫理審査会により、研究活動全般はゼミ単位で指導教員ごとに進める。4年生前期の総合臨床実習Ⅰまでに研究倫理委員会の承認を得ていることが望ましい。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	9/30	金	1	湯口聡・江口勝彦・永野克人・東裕一・旭龍馬・大森啓之・浅見正人・高橋真・鈴木慶	211	(3年後期)卒業研究ガイダンス
2	9/30	金	2	湯口聡・江口勝彦・永野克人・東裕一・旭龍馬・大森啓之・浅見正人・高橋真・鈴木慶	211	(3年後期)研究倫理審査(卒業研究倫理審査会)
3	10/7	金	1	湯口聡・江口勝彦・永野克人・東裕一・旭龍馬・大森啓之・浅見正人・高橋真・鈴木慶	211	(3年後期～4年後期)研究活動、成果のまとめ(各ゼミごとに進める)
4	10/7	金	2	湯口聡・江口勝彦・永野克人・東裕一・旭龍馬・大森啓之・浅見正人・高橋真・鈴木慶	211	(3年後期～4年後期)研究活動、成果のまとめ(各ゼミごとに進める)
5	10/14	金	1	湯口聡・江口勝彦・永野克人・東裕一・旭龍馬・大森啓之・浅見正人・高橋真・鈴木慶	211	(3年後期～4年後期)研究活動、成果のまとめ(各ゼミごとに進める)
6	10/14	金	2	湯口聡・江口勝彦・永野克人・東裕一・旭龍馬・大森啓之・浅見正人・高橋真・鈴木慶	211	(3年後期～4年後期)研究活動、成果のまとめ(各ゼミごとに進める)
7	10/21	金	1	湯口聡・江口勝彦・永野克人・東裕一・旭龍馬・大森啓之・浅見正人・高橋真・鈴木慶	211	(3年後期～4年後期)研究活動、成果のまとめ(各ゼミごとに進める)
8	10/21	金	2	湯口聡・江口勝彦・永野克人・東裕一・旭龍馬・大森啓之・浅見正人・高橋真・鈴木慶	211	(3年後期～4年後期)研究活動、成果のまとめ(各ゼミごとに進める)
9	10/28	金	1	湯口聡・江口勝彦・永野克人・東裕一・旭龍馬・大森啓之・浅見正人・高橋真・鈴木慶	211	(3年後期～4年後期)研究活動、成果のまとめ(各ゼミごとに進める)
10	10/28	金	2	湯口聡・江口勝彦・永野克人・東裕一・旭龍馬・大森啓之・浅見正人・高橋真・鈴木慶	211	(3年後期～4年後期)研究活動、成果のまとめ(各ゼミごとに進める)
11	11/4	金	1	湯口聡・江口勝彦・永野克人・東裕一・旭龍馬・大森啓之・浅見正人・高橋真・鈴木慶	211	(3年後期～4年後期)研究活動、成果のまとめ(各ゼミごとに進める)
12	11/4	金	2	湯口聡・江口勝彦・永野克人・東裕一・旭龍馬・大森啓之・浅見正人・高橋真・鈴木慶	211	(3年後期～4年後期)研究活動、成果のまとめ(各ゼミごとに進める)
13	11/11	金	1	湯口聡・江口勝彦・永野克人・東裕一・旭龍馬・大森啓之・浅見正人・高橋真・鈴木慶	211	(3年後期～4年後期)研究活動、成果のまとめ(各ゼミごとに進める)
14	11/11	金	2	湯口聡・江口勝彦・永野克人・東裕一・旭龍馬・大森啓之・浅見正人・高橋真・鈴木慶	211	(3年後期～4年後期)研究活動、成果のまとめ(各ゼミごとに進める)
15	11/18	金	1	湯口聡・江口勝彦・永野克人・東裕一・旭龍馬・大森啓之・浅見正人・高橋真・鈴木慶	211	(3年後期～4年後期)研究活動、成果のまとめ(各ゼミごとに進める)
16	11/18	金	2	湯口聡・江口勝彦・永野克人・東裕一・旭龍馬・大森啓之・浅見正人・高橋真・鈴木慶	211	(3年後期～4年後期)研究活動、成果のまとめ(各ゼミごとに進める)
17	11/25	金	1	湯口聡・江口勝彦・永野克人・東裕一・旭龍馬・大森啓之・浅見正人・高橋真・鈴木慶	211	(3年後期～4年後期)研究活動、成果のまとめ(各ゼミごとに進める)
18	11/25	金	2	湯口聡・江口勝彦・永野克人・東裕一・旭龍馬・大森啓之・浅見正人・高橋真・鈴木慶	211	(3年後期～4年後期)研究活動、成果のまとめ(各ゼミごとに進める)
19	12/2	金	1	湯口聡・江口勝彦・永野克人・東裕一・旭龍馬・大森啓之・浅見正人・高橋真・鈴木慶	211	(3年後期～4年後期)研究活動、成果のまとめ(各ゼミごとに進める)
20	12/2	金	2	湯口聡・江口勝彦・永野克人・東裕一・旭龍馬・大森啓之・浅見正人・高橋真・鈴木慶	211	(3年後期～4年後期)研究活動、成果のまとめ(各ゼミごとに進める)
21	12/9	金	1	湯口聡・江口勝彦・永野克人・東裕一・旭龍馬・大森啓之・浅見正人・高橋真・鈴木慶	211	(3年後期～4年後期)研究活動、成果のまとめ(各ゼミごとに進める)
22	12/9	金	2	湯口聡・江口勝彦・永野克人・東裕一・旭龍馬・大森啓之・浅見正人・高橋真・鈴木慶	211	(3年後期～4年後期)研究活動、成果のまとめ(各ゼミごとに進める)
23	12/16	金	1	湯口聡・江口勝彦・永野克人・東裕一・旭龍馬・大森啓之・浅見正人・高橋真・鈴木慶	211	(3年後期～4年後期)研究活動、成果のまとめ(各ゼミごとに進める)
24	12/16	金	2	湯口聡・江口勝彦・永野克人・東裕一・旭龍馬・大森啓之・浅見正人・高橋真・鈴木慶	211	(3年後期～4年後期)研究活動、成果のまとめ(各ゼミごとに進める)
25	12/23	金	1	湯口聡・江口勝彦・永野克人・東裕一・旭龍馬・大森啓之・浅見正人・高橋真・鈴木慶	211	(3年後期～4年後期)研究活動、成果のまとめ(各ゼミごとに進める)
26	12/23	金	2	湯口聡・江口勝彦・永野克人・東裕一・旭龍馬・大森啓之・浅見正人・高橋真・鈴木慶	211	(3年後期～4年後期)研究活動、成果のまとめ(各ゼミごとに進める)
27	1/13	金	1	湯口聡・江口勝彦・永野克人・東裕一・旭龍馬・大森啓之・浅見正人・高橋真・鈴木慶	211	(3年後期～4年後期)研究活動、成果のまとめ(各ゼミごとに進める)
28	1/13	金	2	湯口聡・江口勝彦・永野克人・東裕一・旭龍馬・大森啓之・浅見正人・高橋真・鈴木慶	211	(3年後期～4年後期)研究活動、成果のまとめ(各ゼミごとに進める)
29	1/20	金	1	湯口聡・江口勝彦・永野克人・東裕一・旭龍馬・大森啓之・浅見正人・高橋真・鈴木慶	211	卒業研究発表会(10月)
30	1/20	金	2	湯口聡・江口勝彦・永野克人・東裕一・旭龍馬・大森啓之・浅見正人・高橋真・鈴木慶	211	卒業研究発表会(10月)

成績評価方法・基準		留意事項 ・研究計画書は個人もしくはグループでの作成どちらでも可。 ・教員の研究テーマを基に計画書を指導しても可。 ・4年生前期の総合臨床実習Ⅰまでに卒研審査の承認を得ていることが望ましい。 ・コロナ禍の状況であり、データ測定など不可能なことが想定される(登校してのデータ測定は管理体制のstage2程度が望ましい)。可能なところまで進める形式で構わないが、成績は以下の基準により判断する(100点満点)。 ⅰ)基礎点（単位認定者） 第1段階（計画書作成過程。学科長承認に至らず）　:50点 第2段階（計画書完成、学科長承認まで）　:60点 ⅱ)加算点(担当教員の采配) ゼミ活動の評価で最大20点の加算を行う。 ⅲ) 発表会での審査(教員3～5名で審査)　プレゼンテーションの技術等について最大20点
授業外における学習（予習・復習）		全てゼミ形式であり、予習・復習の必要ないが、文献精読やまとめなどゼミ時間以外での自己学習は必要である
教科書・参考文献等	教科書	指定せず
	参考書	
	その他	
連絡先・オフィスアワー		各ゼミ担当指導教員より別途指示がある。
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 理学療法士としての実務経験を活かした研究指導を行う。 【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP(1)(2)(3)に該当。

科目コード	12331
授業科目名	スポーツ傷害理学療法学
配当年次	3学年、4学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	選択
単位	1単位
時間数	15時間
授業形態	講義
担当教員	髙橋 真
実務家教員	理学療法士：髙橋 真
授業科目の概要	発育期の子どもから高齢者までの急性および慢性のスポーツ傷害（外傷・障害）の発生メカニズムや病態に関する知識を整理し、代表的な競技・スポーツによって発生する傷害に対する理学療法の評価（意義、目的、判断基準等）や基本的治療の方法とともに、傷害予防や再発防止に対するアプローチついて学習する。特に、発育期にある小児から高等学校におけるスポーツ・競技に関するトレーニングのあり方について、指導方法とともに学習する。
授業の到達目標	1.「スポーツ疾患とその特徴」を理解し，自分の言葉でわかりやすく説明することができる。 2. スポーツ外傷と障害の違いについて理解し，それぞれの疾患に対する理学療法を説明することができる。 3. スポーツ現場における理学療法士の役割についてわかりやすく説明することができる。
特に関連する科目	解剖学、生理学、運動学、整形外科学、運動療法学、物理療法学他
授業の具体的な進め方	・スポーツ現場における理学療法士の役割を明らかにするとともに，場面に応じた対応について学習する。 ・講義で学んだことをレポートにまとめ，主体的に調べ学習ができるように進める。 ・授業形態は対面で行う予定であり、マスクの着用および手指消毒を徹底する。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	11/28	月	3	髙橋真	312	スポーツ障害と傷害の違いについて・スポーツにおける障害とは（多くみられる疾患について）・スポーツにおける傷害とは（多くみられる疾患について）
2	11/28	月	4	髙橋真	312	スポーツ障害と傷害の理学療法評価／保存療法と術後の理学療法① 体幹・体幹（腰椎）
3	12/5	月	3	髙橋真	312	スポーツ障害と傷害に対する理学療法評価／保存療法と術後の理学療法② 下肢（足部）・足関節周囲の損傷（外側側副靭帯損傷）
4	12/5	月	4	髙橋真	312	スポーツ障害と傷害に対する理学療法評価／保存療法と術後の理学療法② 下肢（足部）・足関節周囲の損傷（外側側副靭帯損傷）
5	12/12	月	3	髙橋真	312	スポーツ障害と傷害に対する理学療法評価／保存療法と術後の理学療法③ 上肢・肩関節周囲の損傷・肘関節周囲の損傷
6	12/12	月	4	髙橋真	312	スポーツ障害と傷害に対する理学療法評価／保存療法と術後の理学療法③ 上肢・肩関節に対する理学療法・肘関節に対する理学療法
7	12/19	月	3	髙橋真	312	スポーツ障害と傷害に対する理学療法評価／保存療法と術後の理学療法④ 下肢（膝）・膝関節周囲の損傷（ACL損傷，半月板損傷）
8	12/19	月	4	髙橋真	312	スポーツ障害と傷害に対する理学療法評価／保存療法と術後の理学療法④ 下肢（膝）・膝関節周囲の損傷（ACL損傷，半月板損傷）

成績評価方法・基準		レポート：第8回終了後にレポート課題を提示。100% ＊レポートについては、採点し返却する。
授業外における学習（予習・復習）		授業計画に沿って教科書で予習し、講義後は、教科書、講義で配布される資料、参考文献を用いて復習をおこなうこと。 予習に30分、復習に30分程度必要である。
教科書・参考文献等	教科書	使用しない
	参考書	浦辺幸夫（著）『スポーツ理学療法(PTマニュアル)』（医歯薬出版、2006年） ISBN:9784263215098
		園部俊春（著）『スポーツ外傷・障害に対する術後のリハビリテーション 改訂版』（運動と医学の出版社、2013年） ISBN:9784904862087
		その他，講義内にて、適宜紹介する。
	その他	
連絡先・オフィスアワー		質問は授業前後でメールにて対応する。
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 理学療法士としての（専門機関における）実務経験を活かした講義を行う。 【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP（1）に該当。

科目コード	12332
授業科目名	理学療法技術論
配当年次	3学年、4学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	選択
単位	1単位
時間数	15時間
授業形態	講義
担当教員	東 裕一
実務家教員	理学療法士 ： 東 裕一
授業科目の概要	成人片麻痺に対する神経発達学的治療、神経系運動療法における代表的徒手療法である固有受容器神経筋促通法、および運動器系運動療法における代表的治療手技であるマニュアルセラピーおよび関節モビライゼーション等に関して、その基本的な概念、理論・原理や適応等について学習する。また、自らがそれらの基礎的な手技を選択し、実践できるように学習する。
授業の到達目標	1. PNFの原理・原則および基本テクニックを説明できる。 2. PNFの基本的運動パターンを行える。 3. 関節の凹凸の法則を説明できる。 4. 関節裂隙を触診し、治療肢位を説明できる。 5. 牽引の手技を実施できる。
特に関連する科目	運動学Ⅰ、Ⅱ、運動療法総論、運動器系理学療法評価・治療学、神経系理学療法評価・治療学
授業の具体的な進め方	対面にて実技を中心に進める。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	10/31	月	3	東裕一	312	オリエンテーション. 運動機能診断とPNFの原則
2	10/31	月	4	東裕一	312	肩甲帯、骨盤帯のパターン
3	11/7	月	3	東裕一	312	下肢のパターン
4	11/7	月	4	東裕一	312	上肢のパターン
5	11/14	月	3	東裕一	312	マニュアルセラピーの基礎理論
6	11/14	月	4	東裕一	312	上肢の代表的な治療
7	11/21	月	3	東裕一	312	下肢の代表的な治療
8	11/21	月	4	東裕一	312	総復習

成績評価方法・基準		授業毎の小テストの合計.
授業外における学習（予習・復習）		神経生理学、バイオメカニクスと合わせて復習すると良い。運動パターンは繰り返し練習し、覚えると良い
教科書・参考文献等	教科書	
	参考書	Adler SS, Becker D, Buck M 『PNFハンドブック第4版』（丸善出版、2018年） ISBN:9784621303375
		Freddy M. Kaltenborn 『四肢関節のマニュアルモビリゼーション』（医歯薬出版、1988年） ISBN:9784263211922
	その他	
連絡先・オフィスアワー		
その他		

科目コード	12333
授業科目名	ウィメンズヘルス
配当年次	3学年、4学年
開講時期	後期
必修・選択・自由	選択
単位	1単位
時間数	15時間
授業形態	講義
担当教員	田舎中 真由美
実務家教員	理学療法士 ：田舎中 真由美
授業科目の概要	女性の各年代（思春期、青年期、老年期）による生理、身体的特徴や変化、社会・家庭における役割（仕事、出産・育児、家事等）の状況、あるいは、女性特有の疾患、症状等を理解する。その上で、様々な問題の解決に向けた多様なアプローチが求められる中で、リハビリテーションチームの一員として理学療法士がどのように介入すべきであるのか、その評価や治療の方法および役割について学習する。
授業の到達目標	1. 妊娠・出産、そして更年期障害と生涯を通して女性のからだに起こりうる変化を学ぶ。 2. 骨盤底機能障害に対する評価を説明し、実施できる。 3. 骨盤底筋群や腹横筋等のインナーユニットに対するトレーニングを説明し、指導できる
特に関連する科目	解剖学 運動学Ⅰ 解剖学Ⅰ 解剖学Ⅲ 生理学Ⅲ 理学療法評価学
授業の具体的な進め方	各回とも講義と実習を組み合わせて実施する。実技の習得状況の確認のために、実技実施時以降の授業時冒頭で学生に実技の発表を行って頂き、評価項目、方法を判断基準を確認していく。 トレーニング方法に関しては、自身またはペアの学生の体の変化を通して学ぶ。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	教員	教室	内容
1	11/2	水	5	田舎中真由美	312	・女性の生涯を通して起こりうる変化と、機能障害、対応可能な理学療法を考える。 ・骨盤の構、下部尿路、骨盤底筋群の機能解剖を学ぶ。
2	11/9	水	5	田舎中真由美	312	・妊娠・出産が身体に及ぼす影響について学ぶ。腹部や骨盤底部にどのような機能障害が起こりうるかを学ぶ。
3	11/16	水	5	田舎中真由美	312	・恥骨痛、仙腸関節痛などの骨盤輪不安定症、尿失禁、骨盤臓器脱等の骨盤底機能障害とその原因について学ぶ。 ・骨盤のランドマークの触診。・骨盤底筋群の触診。
4	11/30	水	5	田舎中真由美	312	・腹横筋、骨盤底筋群をはじめとするインナーユニットの役割を確認する。 ・呼吸時における各々の運動機能を学ぶとともに機能評価の方法を学ぶ。
5	12/7	水	5	田舎中真由美	312	・骨盤底筋群の運動機能を学び、機能評価の方法を学ぶ。 ・腹部機能の評価方法を学ぶ。
6	12/14	水	5	田舎中真由美	312	・更年期障害について学ぶ。・排尿のメカニズムと尿失禁のタイプ、各尿失禁に対する対処法を学ぶ。骨盤臓器脱に対する対応方法を学ぶ。
7	12/21	水	5	田舎中真由美	312	・運動器症状に対する評価と対応方法、排泄機能障害に対する評価と対応方法を症例を通して学ぶ。
8	1/11	水	5	田舎中真由美	312	まとめ

成績評価方法・基準		講義、グループワークの取り組みと参加状況：20%　定期試験：80%
授業外における学習（予習・復習）		授業後は講義時に配布された資料、参考文献を用いて復習を行うこと。予習・復習には講義ごとに概ね60分程度必要である。
教科書 ・参考文献等	教科書	特になし
	参考書	講義内にて、適宜紹介する。
	その他	特になし
連絡先・オフィスアワー		質問等は授業前後に対応する。
その他		【実務経験を活かした実践的教育内容】 理学療法士としての（専門機関における）実務経験を活かした講義（演習）を行う。 【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP（1）に該当。

科目コード		12339
授業科目名		総合臨床実習Ⅰ
配当年次		4学年
開講時期		前期
必修・選択・自由		必修
単位		6単位
時間数		270時間
授業形態		実験・実習
担当教員		旭 竜馬、江口 勝彦、永野 克人、湯口 聡、東 裕一、大森 啓之、浅見 正人、髙橋 真、鈴木 慶
実務家教員		理学療法士：旭 竜馬、江口 勝彦、永野 克人、湯口 聡、東 裕一、大森 啓之、浅見 正人、髙橋 真、鈴木 慶
授業科目の概要		理学療法の治療対象となる代表的な疾病や障害に対して、これまでの学内教育および過去の実習で習得した知識および技術を基礎として、医療面接および検査・測定による情報収集から統合と解釈、問題点抽出、目標設定、治療プログラム立案および修正までの理学療法評価の一連の過程を臨床実習指導者の指示、監督の下で考察、経験し、理学療法介入の基礎について各種機関において実習を通して実践的に学習する。また、対象者や他の専門職から求められる理学療法士の役割や業務について理解する。 知識の定着、意欲・臨床における態度を含めた情意領域、精神運動領域の涵養を図る。理学療法士として求められる責務を理解し、それに適合した行動を身につけるため、指導教員、学生による総合討論を展開する。
授業の到達目標		1）理学療法の対象となる代表的な疾患・障害を持つ症例に対し、病歴など既に集められた情報、自ら得る情報、他医療従事者から得る情報などから適切な情報を整理し、問題点を考えることができる。 2）症例の傷病名から一般的に必要とされる検査・測定項目を挙げ、さらに、仮説を証明するための適切な評価項目とその計画を立てられるようになることができる。 3）臨床実習指導者の臨床思考過程、すなわち上記検査・測定から得られた結果の解釈や相互関係を吟味し、分析統合を経て、より具体的治療法に結びつく問題点として整理することなどを臨床実習指導者の指導を受け追体験し、理解できる。 4)立案した治療プログラムの効果を判定し、必要に応じて治療プログラムを修正するといった一連の理学療法が実践できる。
特に関連する科目		・関連し合う科目－すべての専門科目 ・この科目が基礎となる科目－
授業の具体的な進め方		臨床実習指導者による演示（デモンストレーション）や指導の下、検査・測定実習で実施した情報収集や検査・測定とともに、その後の理学療法評価の一連の過程として、問題点抽出、目標設定、治療プログラム立案、それに基づく一貫した治療（一部）などを経験し、ケースノート、症例レジュメ(空間概念図)およびポートフォリオを作成する。臨床実習地に赴き、臨床実習指導者の指導を受けながら、臨床参加型実習を通じ学習する。 実習参加要件は2つの要件を満たすことが必須である。 1）3年前期までの必修科目の履修を修了していること 2）オリエンテーション、ガイダンスに出席していること 実習前には、実習オリエンテーション・ガイダンス、学内における知識および実技の判定試験などを行う。 臨床実習地では、指導者要件を満たした臨床実習指導者の指導とその他の職員スタッフのご協力を得て、進める。 臨床実習地での実習後は、学内において、実習成果の発表会を行う。
実習スケジュール（標準的実習モデル）		
		別途
成績評価方法・基準		実習前後による学内評価を70%、実習地による学外評価を30%とする。学内および学外評価はルーブリックや技術項目チェックリスト等を用いて評価し、60%を合格基準とする。
授業外における学習（予習・復習）		臨床実習地において1日当たり概ね8時間の実習時間に加え、概ね1時間の自己学習の約9時間を要する。週5日45時間を超えないようにし、学内にて指定された課題に取り組む。
教科書 ・参考文献等	教科書	リハドリル（オンライン）
	参考書	
	その他	
連絡先・オフィスアワー		アドバイザー・担任等。随時
その他		文科省高等教育局大学振興課：遠隔授業等の実施に係る留意点及び実習等の授業の弾力的な取扱い等について（令和2年5月1日）の通知に基づき、日本理学療法士協会と連携して、特例的な措置としてこのカリキュラムを作成展開をする。 【実務経験を活かした実践的教育内容】 理学療法士としての実務経験を活かした実習を行う。 【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP（1）（2）（3）に該当。

科目コード	12340
授業科目名	総合臨床実習Ⅱ
配当年次	4学年
開講時期	前期
必修・選択・自由	必修
単位	6単位
時間数	270時間
授業形態	実験・実習
担当教員	旭 竜馬、江口 勝彦、湯口 聡、永野 克人、東 裕一、大森 啓之、浅見 正人、髙橋 真、鈴木 慶
実務家教員	理学療法士：旭 竜馬、江口 勝彦、永野 克人、湯口 聡、東 裕一、大森 啓之、浅見 正人、髙橋 真、鈴木 慶
授業科目の概要	総合臨床実習Ⅰに引き続き理学療法の治療対象となる代表的な疾病や障害に対して、これまでの学内教育および過去の実習で習得した知識および技術を基礎として、医療面接および検査・測定による情報収集から統合と解釈、問題点抽出、目標設定、治療プログラム立案および修正までの理学療法評価の一連の過程を臨床実習指導者の指示、監督の下で考察、経験し、理学療法介入の基礎について各種機関において実習を通して実践的に学習する。また、対象者や他の専門職から求められる理学療法士の役割や業務について理解する。 知識の定着、意欲・臨床における態度を含めた情意領域、精神運動領域の涵養を図る。理学療法士として求められる責務を理解し、それに適合した行動を身につけるため、指導教員、学生による総合討論を展開する。
授業の到達目標	1）理学療法の対象となる代表的な疾患・障害を持つ症例に対し、病歴など既に集められた情報、自ら得る情報、他医療従事者から得る情報などから適切な情報を整理し、問題点を考えることができる。 2）症例の傷病名から一般的に必要とされる検査・測定項目を挙げ、さらに、仮説を証明するための適切な評価項目とその計画を立てられるようになることができる。 3）臨床実習指導者の臨床思考過程、すなわち上記検査・測定から得られた結果の解釈や相互関係を吟味し、分析統合を経て、より具体的治療法に結びつく問題点として整理することなどを臨床実習指導者の指導を受け追体験し、理解できる。 4)立案した治療プログラムの効果を判定し、必要に応じて治療プログラムを修正するといった一連の理学療法が実践できる。
特に関連する科目	・関連し合う科目－すべての専門科目 ・この科目が基礎となる科目－
授業の具体的な進め方	臨床実習指導者による演示（デモンストレーション）や指導の下、検査・測定実習で実施した情報収集や検査・測定とともに、その後の理学療法評価の一連の過程として、問題点抽出、目標設定、治療プログラム立案、それに基づく一貫した治療（一部）などを経験し、ケースノート、症例レジュメ(空間概念図)およびポートフォリオを作成する。臨床実習地に赴き、臨床実習指導者の指導を受けながら、臨床参加型実習を通じ学習する。 実習参加要件は2つの要件を満たすことが必須である。 1）3年前期までの必修科目の履修を修了していること 2）オリエンテーション、ガイダンスに出席していること 実習前には、実習オリエンテーション・ガイダンス、学内における知識および実技の判定試験などを行う。 臨床実習地では、指導者要件を満たした臨床実習指導者の指導とその他の職員スタッフのご協力を得て、進める。 臨床実習地での実習後は、学内において、実習成果の発表会を行う。

実習スケジュール（標準的実習モデル）	
	別途
成績評価方法・基準	実習前後による学内評価を70%、実習地による学外評価を30%とする。学内および学外評価はルーブリックや技術項目チェックリスト等を用いて評価し、60%を合格基準とする。
授業外における学習（予習・復習）	臨床実習地において1日当たり概ね8時間の実習時間に加え、概ね1時間の自己学習の約9時間を要する。週5日45時間を超えないようにし、学内にて指定された課題に取り組む。
教科書・参考文献等　教科書	リハドリル（オンライン）
教科書・参考文献等　参考書	
教科書・参考文献等　その他	
連絡先・オフィスアワー	アドバイザー・担任等随時
その他	【実務経験を活かした実践的教育内容】 理学療法士としての実務経験を活かした実習を行う。 【関連するディプロマポリシー】 理学療法学科DP（1）（2）（3）に該当。